

2017 教育関係共同利用拠点

# 報告書

山形大学教育開発連携支援センター  
Research Center for Higher Education

## 教育関係共同利用拠点としての使命

山形大学 教育開発連携支援センター長  
教育開発連携支援センター運営委員会委員長  
小田隆治

平成 29 年 8 月、山形大学教育開発連携支援センターが、文部科学省の「教育関係共同利用拠点」（以下、教育拠点と記す）に認定された。別に文科省からある日突然一方的に拠点を指名されたわけではなく、我々が申請書を書きヒアリングを受けた後に、審査の結果、認定されたのである。

文科省の教育拠点の制度の詳細については、文科省の Web サイトを参照して頂きたい。教育拠点制度は平成 21 年に開始されたのであるが、特色 GP、現代 GP、教育 GP、AP などの文科省の大学教育改革の支援事業と比べて認知度は極めて低く、一部の大学関係者しか知らないのが実情である。それは GP や AP にすべての大学がエントリーできるのに対して、教育拠点はほんの一握りの機関しか申請できないことが大きな理由の一つであると言えるだろう。だが、教育拠点の正式名称が「教育関係共同利用拠点」とあるように、共同利用の観点から、拠点が利用されるためには、すべての大学に認知される必要がある。だが、残念ながら「教育拠点」はそうはなっていないのが現状である。

教育拠点にも、練習船や臨海・臨湖等、いくつかの分野があるが、我々が属する分野は「大学の職員の組織的な研修等の実施機関」であり、この分野には 14 校・15 機関が認定されている。ここには FD 及び SD に取り組む拠点が並んでいるが、千葉大学の「看護学教育研究共同利用拠点」や岐阜大学の「医学教育共同利用拠点」などのように学問の専門性に依拠した拠点も存在している。我々の拠点の取組は、「教職員として必須の基礎的・共通なことに関すること」である。

では、居並ぶ拠点の中で我々のレゾンデートル（存在理由）はどこにあるのだろうか。それは我々の拠点の名称からはっきりと理解することができるだろう。拠点の名称は「地方中小規模大学の教育実践力の開発・向上を支援する連携・体験型拠点」である。そうなのだ。我々の拠点は共同利用の対象を「地方中小規模大学・短大」に設定している点において、明確な独自性を発揮しているのである。

「地方中小規模大学・短大」は、地方そして中小規模であるという理由で、学生確保については学校経営が厳しい状況にあり、その悪化はいや増すばかりである。眼の前に学生がいなければ、教育改善も改革もない。つまり、学生確保と教育改善・改革は切っても切り離せないかたまりなのである。

地方の魅力的な大学・短大がなくなったら、その地方は一旦に衰退してしまうだろう。2018 年の到来とともに、「地方中小規模大学・短大」の経営的クライシスは足元まで押し寄せてきている。

本センターは、平成 16 年に山形県内の大学・短大からなる「地域ネットワーク FD “樹氷”」を、そして平成 20 年には東日本全体に跨る大学間連携組織「FD ネットワーク “つばさ”」を設立し、これまで運営してきた。このことは多くの大学関係者の知るところであるし、活動は高く評価されていると自負している。そのなかでも、平成 24 年度の文部科

学省の「大学間連携共同教育推進事業」において、“つばさ”を母体にした5年間の取組が、平成30年3月に発表された事業終了後の評価で最高のSを与えられた。“つばさ”の加盟校の多くは、まさに地方中小規模大学・短大なのである。この教育拠点の認定によって、“つばさ”の羽を東日本から全国に広げることが使命の一つとなった。

当センターは、“つばさ”で培ってきた実績によって教育拠点に認定されたわけであるが、認定当初は“つばさ”の活動を踏襲して拡大していけば教育拠点の使命を果たすことができるかと楽観視していた。だが、“つばさ”の連携を拡大し発展するだけでは、現在の地方中小規模大学・短大が置かれた厳しい状況を打破することができないことに、拠点の活動を始めてすぐに気づかされることになった。待ちの姿勢だけでは、全国の地方中小規模大学・短大には届かないのである。そして、“つばさ”の実施しているFDやSDの研修会の場だけでは、各大学・短大の置かれた内情を深く理解し、それについて有益なアドバイスをすることはできないと考えた。我々は、それぞれの大学・短大の経営や教育改善・改革のキーマンに直接会って話をする事抜きで、この閉塞状況を打破することはできないのだ。そしてかれらから信頼を勝ち得なければ、我々の使命をまっとうすることはできない。そこで我々は新たなチャレンジとして、全国の大学を訪問し、学長たちと直接面談することを開始した。こうして、当センターは共同利用拠点であると同時に、我々の拠点名の中に能動的な「支援」という言葉を入れた意味を再確認することになった。

学長に会いに行くための予備調査も兼ねて、地方中小規模大学・短大の状況を把握するためにアンケート調査を行った。結果は、本冊子にまとめているので参照していただきたい。

能動的な支援と言っても、我々を受け入れてくれる大学や学長、教職員がいなければ我々の活動は成立しない。有り難いことに、多くの学長たちにアポを取って会うことができた。学長たちの中には学会などを通してすでに懇意にしている方々もいらっしたが、多くは初対面であった。学長との話し合いの場では、初めはこちらをいぶかしく思われていたふしもあったが、こちらの必死の説明によって、大学の内情を詳しく教えていただけるようになった。そしていくつかの大学には、我々の方から学生確保や教育改善・改革の具体的な方策を提案することができた。我々の提案が実を結んでくれるようにこれからも持続的な支援をしていかなければならないと考えている。

拠点の広報活動の一環として、大学新聞社の協力によって、社が発行している『大學新聞』に平成30年4月から毎月「大学訪問記」を連載することになった。当拠点のホームページに合わせて、こちらの情報発信も楽しみにしていただきたい。

我々は「地方中小規模大学・短大の発展に寄与する」という使命感を持って、粉骨砕身頑張っていく所存である。

これからの活動にご支援の程よろしくお願い致します。

気楽に当センターに声をかけてください。できるだけ速やかに貴校に伺います。

## 目 次

卷 頭 言

第 1 章 事業概要	.....1
第 2 章 運営委員会	.....5
第 3 章 F D合宿セミナー	.....15
第 4 章 基盤教育F Dワークショップ	.....59
第 5 章 授業改善アンケート	.....81
第 6 章 学習成果等アンケート	.....129
第 7 章 大学間連携S D研修会	.....163
第 8 章 学生F D会議	.....173
第 9 章 合同F D／S D研修会	.....189
第 10 章 シンポジウム	.....195
第 11 章 大学・短大のアンケート調査	.....201
第 12 章 大学・短大の学長等との面談・提言	.....245

卷 末 言



# 第1章

## 事業概要

## 背景

18歳人口の減少に伴い大学の学生確保は厳しくなり、早晚少なからずの大学が閉学を余儀なくされると予想される。現時点においても定員が充足できていない大学（私立大学44.5%、短期大学61%）が多い。読売新聞の『大学の實力』の調査によると、首都圏等（東京、神奈川、愛知、京都、大阪）の私立大学の定員充足率は平均107.4%であるが、それ以外の地方では92.6%とおよそ15ポイントも低い。さらに、地方においても大規模大学では106.8%と首都圏等の大学とそれほど遜色はないが、地方中小規模大学では90.5%と顕著に低い。地方中小規模大学の課題は定員充足率にとどまらず、退学率が首都圏等の大学に比較して高い値を示している。

日本全体の健全かつ均衡のとれた発展は、地域の存続にあり、それは地方の大学の生き残りにかかっていると言っても過言ではないだろう。地方に存在する中小規模大学の魅力や存在感は、それぞれの大学の実践的な教育力に依拠している。しかし、一大学の限られた人的・財政的資源だけでは、質的・量的に時代のニーズに対応し、さらには時代に先じた新たな展開を望むことは難しい。こうした状況の中で、中小規模大学を支援する共同利用拠点の設置が強く望まれている。

## これまでの実績

山形大学の教育開発連携支援センターは、山形県の大学間連携組織「地域ネットワークFD“樹氷”」（現代GP採択事業）から東日本全体の「FDネットワーク“つばさ”」の拠点校として14年間活動し、東日本にとどまらず全国の地方の中小規模の大学・短大・高専のFD・SDの支援を精力的に行い、大学間連携のマネジメントと教育支援のノウハウを蓄積してきた。“つばさ”加盟校は当初34校で始まり、その後それぞれの地域にコンソーシアムができていったにも関わらず、“つばさ”の加盟校は徐々に増加し、現在は51校となっている。これは“つばさ”の存在価値が地方の大学に口コミで広がっていったことによるものと考えられる。

本学が平成13年度に開始した「FD合宿セミナー」は、以後これまで毎年開催しているが、平成15年度から他大学の教員を受け入れ、現在まで北海道から沖縄まで全国の中小規模の大学・短大・高専から多数の教員が参加して研修を行ってきた。

本センターは伝統的な授業の改善を支援してきたが、同時に新しい授業法についても他大学の支援を行ってきた。現在、「主体的学び」いわゆる「アクティブ・ラーニング」が大学に導入されつつあるが、現場での混乱が少なからず起きている。山形大学では平成13年から「学生主体型授業」として「アクティブ・ラーニング」を研究・実践し、学内で共有を進め、平成21年度よりアクティブ・ラーニング専用の教室として「先端学習ラボ」を整備し、全国に授業を公開し、積極的に情報発信を行ってきた（教育GP採択事業）。毎年、大学間連携によって学生の発表による「学生

主体型授業発表コンテスト」を実施し、授業とカリキュラム改善に努めてきた。

現在、大学と地域が連携した教育活動が活発になっているが、山形大学は「エリアキャンパスもがみ」において、平成18年度から地域と連携した現地体験宿泊型授業（フィールド・ラーニング）を展開してきた（現代GP採択事業）。毎年200名を超える学生が履修している。山形大学のフィールド・ラーニングを大学間連携の「大地連携ワークショップ」に発展し、他大学に技術移転を行ってきた（大学間連携共同教育推進事業採択）。

本学はここに挙げた研修会以外にも毎年多様な研修会を実施するとともに、他大学からの調査に積極的に応じ、他大学で実施されたFDにも講演会やワークショップの講師として貢献してきた。

山形大学は文部科学省の平成28年度「大学教育再生加速プログラム（AP）」に採択され、学士課程教育の質保証のために、基盤力テストによる学生の達成度評価に着手したが、他大学にも情報を提供し、希望する大学は共同で実施していく。

以上概略した通り、地方の中小規模の大学において、建学の精神・専門性・地域性の違いを超えて、「教員として必須の基礎的・共通的なことに関する内容」について、これらを支援する実績を、本センターは十分に備えていると考える。

経営の効率化の旗印の下に、大学は職員の削減を進めているが、もともと絶対数の少ない中小規模の大学においては、一人の職員にかかる仕事の質の多様化と量の増大が進行している。大学が生き残るためには、大学職員としての意欲や資質・能力の向上が必須である。

全国の大学の職員を対象とした「大学間連携SD研修会」を平成20年度に開始し、以後毎年開催しているが、全国から多数の職員が参加して活動を伴った研修を実施している。

大学の教育改善のためには、教員と職員のコミュニケーションが重要であり、教員と職員が一緒になって研修を受けることが必須であるが、現実には職員が教員と一緒に研修会を受講すると、一部の人をのぞいて多くは口を閉ざしてしまう。本センターは“つばさ”の活動を通して、教員と職員の信頼関係を構築し、「合同FD/SD研修会」を開催し、教職員から高い満足度を得ている。

さらに、教職員と大学生が参加する「学生FD会議」を全国規模で開催し、教育改善を進めてきた。

山形大学のフィールド・ラーニングに参加することによって、フィールド・ラーニングの運営方法など、職員としての支援のあり方を身に付けた。

大学間のIR事業として、統一フォーマットによる「学生による授業評価」と「学習成果等アンケート」を進めてきたが、これによって職員のIRに対する認識や技量が向上した。

地方の中小規模の大学の職員は、本センターの研修を通

して視野が広がり、意欲や能力が向上した。本センターは、職員として必須の基礎的・共通的なことに関する内容について、これらを支援する実績を十分に備えていると考える。

#### 平成 29 年度実施事業

##### (1) 運営委員会

平成 29 年 10 月 26 日 (木)

場所：山形大学小白川キャンパス

##### 運営委員

北海道大学准教授 山田邦雅

東北大学教授 杉本和弘

名古屋大学教授 夏目達也

広島大学准教授 佐藤万知

札幌大学副学長・教授 小山茂

羽陽学園短期大学教授 高桑秀郎

最上地区市町村教育委員会協議会

山形大学エリアキャンパスもがみ

最上事務局長 森洋一

山形大学教授 出口毅

同 上 小田隆治

同 上 栗山恭直

同 上 千代勝実

同上准教授 松坂暢浩

##### (2) 大学間連携 SD 研修会

【開催日】 平成 29 年 9 月 1 日 (金)

【場 所】 山形大学小白川キャンパス

##### 【内 容】

テーマ「学生獲得のための大学職員の企画力と行動力」

プログラムⅠ「大学の現状認識と学生獲得の方法」

プログラムⅡ「バーチャル大学の学生獲得作戦」

プログラムⅢ「発表会」

【参加者】 合計 30 人

##### (3) FD 合宿セミナー

##### 【開催日】

第 1 チーム：平成 29 年 9 月 4 日 (月)～5 日 (火)

第 2 チーム：平成 29 年 9 月 5 日 (火)～6 日 (水)

【場 所】 協同の杜 J A 研修所 (山形市)

##### 【内 容】

##### 第 1 チーム

プログラムⅠ「アクティブ・ラーニングを導入した授業を設計する」

プログラムⅡ「授業設計 2：シラバスの完成」

プログラムⅢ「アクティブ・ラーニングの模擬授業の練習」

プログラムⅣ「アクティブ・ラーニングの模擬授業の発表」

##### 第 2 チーム

プログラムⅠ「授業に求められる合理的配慮とは？

－障害者差別解消法と授業」

プログラムⅡ「学生の学修を支援する授業とは？－発達障害等の配慮を必要とする学生が受講している授業の工夫」

プログラムⅢ「授業力の向上－わかりやすい授業を実現するために－」

プログラムⅣ「研修のふりかえりとまとめ」

【参加者】 第 1 チーム：23 人

第 2 チーム：21 人 合計 44 人

##### (4) 基盤教育 FD ワークショップ

【開催日】 平成 29 年 9 月 8 日 (金)

【場 所】 山形大学小白川キャンパス

##### 【内 容】

##### 第 1 部 基調講演

演題：「改革に役立つカリキュラムマップの実践例：追大はモデルとなるか」

講師：池田輝政 氏

追手門学院大学 基盤教育機構長・教授

##### 第 2 部 ラウンドテーブル

##### 第 1 分科会

「学士課程教育の質保証～直接評価と基盤力テスト～」

##### 第 2 分科会

「初年次教育のコア・カリキュラムを考える～山形大学導入科目改革 スタートアップセミナーの導入事例～」

##### 第 3 分科会

「地域連携型キャリア教育の取組～実践と評価のポイントについて～」

【参加者】 合計 45 人

##### (5) 学生 FD 会議

【開催日】 平成 29 年 9 月 13 日 (水)

【場 所】 北翔大学

【内 容】 「今と未来～なりたい自分になるために～」

【参加者】 合計 60 人

##### (6) シンポジウム

「地域連携とフィールド・ラーニング

－山形から日本・世界を考える－」

【開催日】 平成 29 年 12 月 9 日 (土)

【場 所】 金山町内及び新庄市民プラザ

##### 【内 容】

第 1 部 金山町内で実施されるフィールド・ラーニングの見学

第 2 部 基調講演 山形大学 教授 小田隆治  
事例発表

東北芸術工科大学教授 山下英一

沖縄県立芸術大学 准教授 呉屋淳子

山形大学 准教授 滝澤匡

レインボープラン推進協議会事務局

小林美和子

山形大学人文社会科学部 1年 山本嘉太  
パネルディスカッション

【参加者】 25名

(7) 学生主体型授業合同成果発表コンテスト

【開催日】 平成30年2月3日(土)

【場 所】 山形大学小白川キャンパス

【内 容】 発表(前半5チーム・後半5チーム)  
総評・表彰式・写真撮影

【参加者】 60名

(8) 合同FD/SD研修会

【開催日】 平成30年2月17日(土)

【場 所】 山形大学小白川キャンパス

【内 容】

第一分科会 学生の主体的な学び

第二分科会 大地連携

第三分科会 入試から卒業までの学生支援

第四分科会 連携IR(学習成果等アンケート)の分析と

活用

【参加者】 合計29人

(9) 統一フォーマットによる各種アンケート

授業改善アンケート

学習成果等アンケート

(10) 中小規模大学へのアンケート調査

実施時期 平成29年10月18日～平成29年11月10日

対 象 全国の738大学及び326短期大学

回 答 数 223大学及び67短期大学

(11) 中小規模大学における好事例調査

○調査先 共愛学園前橋国際大学

調査日 平成29年12月11日(月)

○調査先 松本大学

調査日 平成30年2月7日(水)

(12) 大学・短大の学長等との面談

○訪問先 東北文教大学

訪問日 平成29年8月30日(水)

○訪問先 東北文教大学

訪問日 平成29年10月6日(金)

○訪問先 東北文教大学

訪問日 平成29年10月10日(火)

○訪問先 山形県立保健医療大学

訪問日 平成29年10月11日(水)

○訪問先 東北公益文科大学

訪問日 平成29年10月16日(月)

○訪問先 羽陽学園短期大学

訪問日 平成29年10月16日(月)

○訪問先 東北芸術工科大学

訪問日 平成29年10月17日(火)

○訪問先 山形県立米沢栄養大学

訪問日 平成29年10月25日(水)

○訪問先 桜の聖母短期大学

訪問日 平成29年11月17日(金)

○訪問先 宮崎国際大学

訪問日 平成29年11月20日(月)

○訪問先 南九州大学

訪問日 平成29年11月21日(火)

○訪問先 公立大学法人名桜大学

訪問日 平成29年11月27日(月)

○訪問先 沖縄国際大学

訪問日 平成29年11月28日(火)

○訪問先 沖縄県立芸術大学

訪問日 平成29年11月29日(水)

○訪問先 群馬医療福祉大学

訪問日 平成29年12月12日(火)

○訪問先 富士大学

訪問日 平成29年12月19日(火)

○訪問先 神奈川工科大学

訪問日 平成29年12月22日(金)

○訪問先 大正大学

訪問日 平成30年2月13日(火)

○訪問先 東北文教大学

訪問日 平成30年3月7日(水)

(13) 他大学等への講師派遣

○平成30年2月2日(金)

平成29年度「いわて高等教育コンソーシアム・シンポジウム」における事例報告及びパネリスト

○平成29年12月15日(金)

会津短期大学FD研修会講師

○岩手大学人文社会科学部

○平成30年3月16日(金)

日本保健医療大学2017年度第2回合同FD・SD研修会講師

○平成30年3月22日(木)

明海大学学内FD/SD研修会講師

○平成30年3月2日(金)

宮城学院女子大学FD研修会講師

(13) 他大学等からの訪問調査

○明海大学

訪問日 平成29年12月18日(月)

○金沢大学

訪問日 平成29年12月21日(木)

○北海道大学

訪問日 平成30年1月10日(水)

○岩手大学

訪問日 平成30年2月5日(月)

## 第2章

### 運営委員会

第1回 山形大学教育開発連携支援センター  
教育関係共同利用拠点運営委員会

日時 平成29年10月26日(木) 15時～16時30分

- 議事 1. 委員長の選出について  
2. 平成29年度事業計画について  
3. その他

運営委員

北海道大学准教授 山田邦雅  
東北大学教授 杉本和弘  
名古屋大学教授 夏目達也  
広島大学准教授 佐藤万知  
札幌大学副学長・教授 小山茂  
羽陽学園短期大学教授 高桑秀郎  
最上地区市町村教育委員会協議会  
山形大学エリアキャンパスもがみ最上事務局長 森洋一  
山形大学教授 出口毅  
同 上 小田隆治  
同 上 栗山恭直  
同 上 千代勝実  
山形大学准教授 松坂暢浩

1. 委員長には小田が選出された。  
2. 平成29年度事業計画

**地方中小規模大学の教育実践力の開発・向上を  
支援する連携・体験型拠点**  
—教育関係共同利用拠点(大学の職員の組織的な研修などの実施機関)—

2017年10月26日

山形大学 教育開発連携支援センター  
FD部門長 小田隆治

**文部科学省の教育関係共同利用拠点とは何か？**

**資料参照**

**申請のスケジュール**

①6月2日(金)頃: 本年度の申請を初めて耳にする。  
(6月9日(木)～11日(日)大学教育学会(広島大学))

②6月14日(水)10時半～: 文科省に事前伺い

③6月23日(金): 申請の受付締切

④7月28日(金)14時10分～14時45分: 文科省のヒアリング

⑤8月16日(水): 認定(1年半)

注: 予算は国立大学の運営交付金を原資としている。

**本教育拠点の説明**

**申請書参照**

拠点の名称: 地方中小規模大学の教育実践力の開発・向上を支援する連携・体験型拠点

申請施設の名称: 教育開発連携支援センター

申請施設の種類: 大学の職員(教員を含む。以下同じ)の組織的な研修等の実施機関

申請組織の代表者: 出口毅

役職名: 教育開発連携支援センター

1. 取組の区分: FD及びSDを実施

全国の地方中小規模大学(短期大学を含む)が対象

小規模大学：入学定員500名以下  
 中規模大学：入学定員501～1000名

## 2. 取組の内容-1

取組内容:教員として必須の基礎的・共通的なことに関する内容

×(キャリア段階別に必要な内容、学問分野別に關する内容、教育プログラムの領域別に必要な内容、大学院生へのアプレDに關する内容、その他(〇〇〇に關する内容))

この取組が必要とされる理由:

18歳人口の減少に伴い大学の学生確保は厳しくなり、早晩少なからずの大学が閉学を余儀なくされると予想される。...

地方中小規模大学の課題は定員充足率にとどまらず、退学率が首都圏等の大学に比較して高い値を示している。

日本全体の健全かつ均衡のとれた発展は、地域の存続にあり、それは地方の大学の生き残りにかかっていると一言でも過言ではないだろう。地方に存在する中小規模大学の魅力や存在感は、それぞれの大学の実践的な教育力に依拠している。しかし、一大学の限られた人的・財政的資源だけでは、質的・量的に時代のニーズに対応し、さらには時代に先んじた新たな展開を望むことは難しい。こうした状況の中で、中小規模大学を支援する共同利用拠点の設置が強く望まれている。

## 2. 取組の内容-2

この取組が必要とされる理由:

本センターのこれまでの実績

### 本センターの主要なFD活動の開始年度

- 1999年(平成11年)
  - ・FDワークショップ
- 2000年(平成12年)
  - ・学生による授業評価
  - ・公開授業と検討会
- 2001年(平成13年)
  - ・FD合宿セミナー
  - ・学生主体型授業(アクティブラーニング)の研究
- 2004年(平成16年)
  - ・地域ネットワークFD「樹氷」(現代GP)
- 2006年(平成18年)
  - ・エリアキャンパスがみ(現代GP)
- 2007年度(平成19年)
  - ・個別支援型FDの開始(FD・授業支援クリニック部門の新設)
  - ・ベストティーチャー賞とベストティーチャー新人賞の創設
- 2008年(平成20年)
  - ・FDネットワーク「つばさ」
  - ・学生主体型授業開発共有化FDプロジェクト(教育GP)
- 2009年(平成21年)
  - ・授業改善ビデオ「あっとおどろく大学授業NG集」
- 2010年(平成22年)
  - ・英語版授業改善ビデオ「あっとおどろく大学授業NG集」
  - ・授業改善ビデオ「学生主体型授業へのアプローチ」
- 2012年(平成24年)
  - ・「つばさ」プロジェクト(大学間連携共同教育推進事業)

## 「FDワークショップ」

2001年(平成13年) 8月9日(木曜) 14:00 2F5B 999F 709A



大学教育改革が必要  
 出大教員らが議論交わす

山形大学教員が大学の存続や中長期的発展などを議論し、大学改革の必要性を認識した。...

### これまでの教養教育ワークショップの取組

年度	講演会	講演題目等
1 1	講演会	「現代学生と教養教育」 京都大学高等教育教授システム開発センター 教授 田中毎実 氏
	分科会 I	「学生の質の変化への対応(授業改善と評価)」
	分科会 II	「教養教育開講科目のあるべきバランス」
1 2	分科会 III	「教養教育実施組織論」
	分科会 IV	「各分科会の討議報告と意見交換」
	講演会	「大学教育と成績評価」 北海道大学大学院医学研究科教授 阿部和厚 氏
1 3	講演会	「北海道大学大学院医学研究科教授 阿部和厚 氏 「学生の学力変化の実態とその対応について」 「授業の質点検とその改善について」 一つの分科会の報告と意見交換」
	講演会	「大学教育システム 教養林大学副学長 諸星 裕 氏
	講演会	「平成12年度の山形大学教養教育の 授業改善の取り組みとその評価」
1 4	講演会	「山形大学活性化としてのFD活動」
	講演会	「開選った評価は教育を改善しない」 名古屋大学高等教育研究センター教授 池田輝政 氏
1 5	講演会	「教養教育と情報化戦略」 大学評価・学位授与機構教授 館 昭 氏
	講演会	「各学部における教育改善の取り組みについて」 山形大学における教育改善の取り組みについて」

## 「学生による授業評価 (授業改善アンケート)」

2001年度授業改善アンケート集計結果(後期)

29

2001年度授業改善アンケート集計結果(後期)

30

領域	授業科目	授業科目名	代表教員	履修者数(人)
文化・行動	哲学	カントの哲学(論)(哲学)	吉川 基明	23
		徳川の神楽(音楽)	小堀 宏文	178
		生命倫理学の発展(哲学)	清原 尚隆	58
心理学		認知心理入門(心理学)	藤澤 浩一	181
		認知心理の発展(心理学)	藤澤 浩一	74
文学		文学的想像力(文学)	松田 三郎	33
		日本文学概論(文学)	中村 三郎	43
芸術		芸術の歴史(芸術)	金子 喜久雄	18
		現代の芸術(芸術)	金子 喜久雄	18
言語学		現代の言語学(言語学)	藤澤 浩一	138
		言語学概論(言語学)	藤澤 浩一	68
英語学		英語学概論(英語学)	小田 幸雄	211
		英語学(英語学)	小田 幸雄	10
文化研究		現代文化研究(文化研究)	藤澤 浩一	7
		現代に生きる古典の心(教養セミナー)	小田 幸雄	84



「公開授業と検討会」

「FD合宿セミナー」



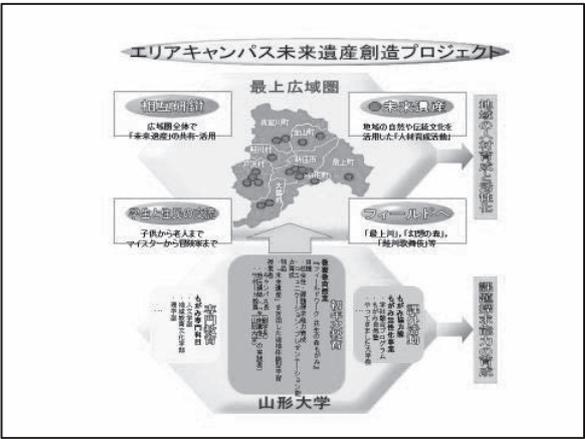
「大学間連携SD研修会」

「学生主体型授業  
アクティブラーニング」



**学生主体型授業**  
**「合同成果発表コンテスト」**

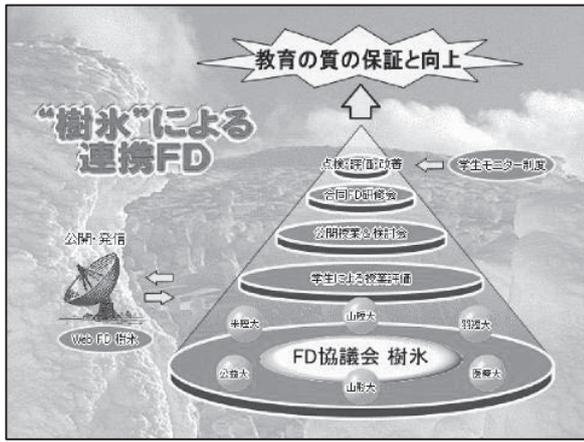
**「地域連携**  
**エリアキャンパスもがみ」**



**「フィールドワーク：共生の森もがみ」**

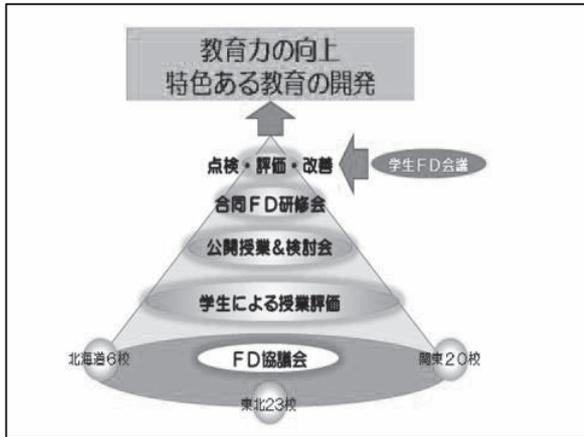
- ◆ 宿泊型の現地体験型学習
- ◆ 少人数教育
- ◆ 現地の講師
- ◆ 寄付授業
- ◆ 地元の子供の参加

**「大学間連携FDネットワーク」**



## 「FDネットワーク“つばさ”」

- ◆北海道・東北・関東の主に私立の大学・短大そして高専を対象。
- ◆2008年(平成20年)3月に設立。
- ◆当初、参加校は34校でスタートし、その後順調に増加し、現在50校となる。



文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」

## 東日本広域圏の大学間連携による教育の質保証・向上システムの構築

“

### 連携校(19校)

山形大学、会津大学、札幌大学、北翔大学、青森中央学院大学、石巻専修大学、東北芸術工科大学、東日本国際大学、明海大学、国際武道大学、了徳寺大学、東京家政学院大学、東京造形大学、日本女子大学、札幌大学女子短期大学部、北翔大学女子短期大学部、青森中央短期大学、羽陽学園短期大学、いわき短期大学

### 連携機関(14機関)

北海道教育委員会、釧路市、平取町、NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構、新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村、川崎市、相模原市

### 連携取組の概要

本取組は、東日本広域圏の国公立の大学等が連携する「FDネットワーク“つばさ”」の実績を基盤として、効率的かつ実質的な教育の質保証・向上システムを確立することを目的とする。この取組の目標は、学生が自己学習力と社会人基礎力を身に付けることにある。

目的・目標を達成するために、(I)連携主体的学習、(II)連携FD/SD、(III)連携IRの3つのプログラムを共同して遂行する。(I)では①学生主体型授業と②大地連携ワークショップを実施する。①では『合同成果発表コンテスト』を実施する。②では地域の人たちと一体となって現地体験型ワークショップを北海道-山形-首都圏-海外で開設し、学生は広い視野と社会性を身に付ける。(II)によって教職員の質向上に努め、(III)によって客観的データを重視する連携IRシステムを共同開発・運営する。

本取組のための運営体制は盤石であり、外部評価委員会によって恒常的に改善を図っていく。

### (1)大学間連携の戦略と連携取組の趣旨・目的(申請書pp2~3)

国土の均衡のとれた発展のためには、都道府県のレベルにとどまらず、地方と首都圏の広域レベルで現代の諸問題の解決に当たることが求められている。一方、日本における小規模大学等の存在は、地域の維持・発展の要諦であり、日本の高等教育の多様性に富んだ機能別分化の一翼を担っているが、人的・財政的資源が限られているので、大学間連携によってより効率的に教育改革・改善を行う必要がある。北海道・東北・関東の大学が参加する東日本広域圏の大学等が連携した本取組は、連携校がそれぞれの地域社会で培ってきた資産を積極的に活用し、広域圏で大学等と地域がダイナミックな交流を推進して、教育改革・改善を進めていくものである。本事業の目的は、連携校の教育資源の共同利用、FD/SDの共同実施、教育データの公開・共有、広域のステークホルダーとの教育連携によって、現実と将来を見据えた実質的かつ効率的な教育の質保証・向上システムを構築することにある。本取組によって、大学が地域の人たちと一体となって変わっていき、社会を改善・変革するボトムアップの力を生み出していく。

(平成24年度大学改革推進等補助金(大学改革推進事業)報告より)

## ○大地連携ワークショップ

**流れ：**

- 1 事前学習（サイボウズLive）
- 2 体験学習（現地）
- 3 発表会（現地）
- 4 事後学習（サイボウズLive）
- 5 レポート提出（サイボウズLive）

**○大地連携ワークショップ(平成26年度より毎年実施)**



**平成26年度大地連携ワークショップ**

開催場所	担当大学・機関	日時
北海道・平取町二風谷	札幌大学・平取町	8月5日(火)～8日(金)
北海道・釧路市阿寒湖	北翔大学・釧路市・NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構	8月5日(火)～8日(金)
神奈川県・川崎市	日本女子大学・川崎市	8月18日(火)～22日(金)
神奈川県・相模原市	東京家政学院大学・相模原市	8月18日(火)～22日(金)
山形県・戸沢村	山形大学・戸沢村	8月28日(水)～31日(日)

**平成27年度大地連携ワークショップ**

開催場所	担当大学・機関
北海道・釧路市阿寒湖	北翔大学・釧路市・NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構
神奈川県・相模原市	東京家政学院大学・相模原市
山形県・最上町	山形大学・最上町
アメリカ・ニューヨーク	山形大学・モンロー大学

**平成28年度大地連携ワークショップ**

開催場所	担当大学・機関
北海道沙流郡平取町二風谷	札幌大学・札幌大学女子短期大学部・北海道沙流郡平取町二風谷
神奈川県川崎市	日本女子大学・川崎市
山形県最上郡真室川町	山形大学・真室川町
大韓民国(ソウル・ナムヤンジュ)	山形大学・韓国国立民族博物館・韓国南楊州市外国人福祉センター

**「面接における事前の質問」**

**(基準1)**

①FD/SDの取り組みの体系的性について。また地方中小規模大学を対象とした特色がどのように体系的に構築されているか。

本取組の体系的性を図に示し、今日提出しました。特徴は、一に大学間連携による相互研鑽に基づいた課題と解決策の共有化にあります。この実績は、東日本の大学間連携組織「FDネットワークつばさ」にあります。

特徴の二点目は、各大学の実情に沿ったFD/SDを支援することにあります。そこには、山形大学が早くから取り組んできたアクティブ・ラーニングやフィールド・ラーニングを山形大学で体験し、それをもち帰って授業実践のピアレビューを行う、この双方向性で支援をしていきます。

三点目として、IRによるエビデンスベースの教育改善システムの構築を支援していきます。大学間連携による統一フォーマットの「学生による授業評価」や「学習成果」の実績があります。

②カリキュラム、教材等は体系的なものであるか。

職員として必須の基礎的・共通的などに関する内容として、カリキュラムと教材は体系的なものとなっております。

③本取組の計画と大学教育改革・質向上との関係性について。

山形大学のFD/SDは、これまで全面的に他大学にオープンにしてきました。APもその一環です。

④これまでの取組の普及にかかる具体的な成果(系統的、客観的)について。

“つばさ”加盟校が増加し、教育改善の意識が高く、積極的に取り組む大学が増加してきました。こうした大学の中には、つばさの成果が認証評価等の外部評価で高く評価されているところがあります。

各大学の成果の一部は、事前に配布しております「つばさプロジェクト報告書2015」の175-181頁に掲載しております。

**(基準2)**

⑤大学の学則やその他規程等における規定について(共同利用に供することの条文)条文がなかったため、規則の中に入れ込みます。

**(基準3)**

⑥運営委員会の構成(女性委員)について

ご指摘ありがとうございます。学外の委員として女性委員を追加します。

**(基準4)**

⑦広報・募集の方法について。(より広めるための工夫策)

具体名を出すことは差し控えますが、マスコミや各種団体と提携しようと考えています。

**(基準5)**

⑧調査研究、情報収集の整理について。

国内外の大学教育の調査研究を行い、それを整理してFD/SDの研修会を通して他大学に情報発信していきます。

⑨これまでの教材(NG集、名場面集など)の内容及びその後の事例収集、研究について

ビデオ教材の内容については、今日配布した資料に列挙しました。一つの事例毎に1-2分の内容となっております。この教材を全国のFD/SD講演会で使用し、ポストアンケートをとり、どの場面に心当たりがあり、改善策をどうするかを調査・研究をし、教材の活用法について改善を進めてきました。

**(基準6)**

⑩教職員による支援体制について

教育開発連携支援センターと「基盤教育評価改善会議」が支援します。事務局では教育企画係のみならず教務課全体で支援します。教育企画係はこれまで各種のOPを担当してきました。

#### ①講師派遣体制の実績について

申請書の5頁の中ほどの7にありますように、北海道から九州までFD/SDの研修会におよそ80校に講師を派遣してきました。

#### ②FD担当者の業績、新たな課題に応じたFD・教育開発等への取組について

FD担当者は、研究論文や専門書の執筆のみならず、FD/SD研修会の企画と実務を担当してきました。新たな課題に応じたFD・教育開発等につきましては、学会等で研修を積み、毎年FD/SD研修会のテーマや内容に組み込んできました。

#### (基準7)

##### ③本取組の成果指標及び成果分析について

成果指標は、個別のFD/SDのポストアンケートによって満足度と到達度調査を行います。大学全体としては、学生の満足度調査と学習成果調査(特にこの大学に入学してよかったか)で行います。成果分析は本センターと各大学との連携によって行います。

#### (基準8)

④利用実績の推移分析、今後の利用見込みについて(平成28年度で過去の実績を下回るものがある)FD/SD研修会の参加者数が毎年上下するのは理解しています。ご指摘の平成28年度で過去の実績を下回ったものとして、「大学間連携SD研修会」があります。研修会は毎年テーマを変えていますので、その影響が大きいです。ニーズ対応のたくさん参加者を呼ぶテーマを設定すると同時に、新たな課題に対応したテーマも盛り込み、体系的なFD/SDを進めていきます。今後の利用見込みは申請書の9頁に記載した通りです。ワークショップ型のは定員を設定します。講演会型のは、広報を充実し、利用者を増やしていきます。他大学へのコンサルテーションは、初年度は10校程度を見込んでいます。

#### 認定の通知に記された特記事項

地方中小規模大学の教育実践力の開発・向上に向けた研修などの実績は評価できる。しかしながら、教育開発に係る最近の進展状況や現代的な課題への対応という点で、今後の成熟過程を確認したいため2年間の認定とし、次回申請時に示される実績に期待する。

その際、以下の点に留意し、次回申請時に実績を示されたい。

- (1)教育開発に係る最近の進展状況や現代的な課題への対応を踏まえた取組に努めること。
- (2)内部質保証システムの構築や学修成果の可視化に資する取組に努めること。

## 「今後の教育拠点としての活動」

### 平成29年度教育拠点事業(つばさ)

	事業内容
4月	◆「週刊授業改善リレーエッセイ」連載開始
5月	◆(共通フォーマット)授業改善アンケート参加校照会 ◆公開授業と検討会の実施(～7月) ◆FD協議会の開催(27日(土))(山形大学)
7月	◆授業改善アンケートの実施 ◆学生主体型授業「合同成果発表コンテスト」(29日(土))(山形大学)
9月	◆大学間連携SD研修会の開催(1日)(山形大学) ◆FD合宿セミナーの開催(4・5日、5・6日)(山形) ◆FDワークショップの開催(8日)(山形大学)
10月	◆公開授業と検討会の実施(～2月)
12月	◆学習成果等アンケート実施(12月～1月)
1月	◆授業改善アンケートの実施
2月	◆FD協議会の開催
3月	◆研究年報の発行

今までの本センターの実績を「公開・共有」を拡大していけば、地方中小規模大学は息を吹き返し、発展するののか？

「待ちの姿勢から、  
押しかける姿勢へ」

—対話を基盤にしよう—

#### 「待ちの姿勢から、押しかける姿勢へ」

1. 地方中小規模大学(短大を含む)の一覧表の作成
2. 地方中小規模大学等(全大学・短大)へのアンケート調査(状況調査、我々の拠点は必要とされているのか?)
3. 全国の大学の訪問調査・コンサルティング(すでに山形県内の国公私立の全大学を回り、学長たちのインタビューは終わった。11月は沖縄県の大学の学長に会い、FD座談会などを開催する予定)
4. 協働団体制度の確立(大学新聞社、ライセンスアカデミーなど)
5. 拠点活用重点大学制度の確立(東北文教大学など)
6. 拠点活用重点地域制度の確立(FDネットワーク“つばさ”、江別市など)
7. 支部長の設置(沖縄支部)

その他: ■ホームページ

■パンフレット

■シンポジウム 平成29年12月9日(土)

■学生主体型授業合同成果発表コンテスト 平成30年2月3日(土)

(今年度は国からの予算配分はない)

**平成 29 年度  
山形大学教育開発連携支援センター教育関係共同利用拠点 事業計画**

平成 29 年

10 月 全国大学・短期大学へアンケート調査(11/10×切)

12 月 9 日(土) シンポジウム開催

(概要) 午前中に山形県金山町内で実施されている山形大学エリアキャンパスもがみのフィールドラーニング 2 プログラムを見学し、午後に新庄市内の会場で事例紹介・検討を行う。シンポジストとして、学外講師を招聘予定。

平成 30 年

2 月 3 日(土) 学生主体型授業合同成果発表コンテスト

(概要) 学生主体型授業を展開している教員の授業から学生が集まり、自分たちの活動の目的・内容・方法等について、合同で成果の発表を行う。1 チームあたりの発表時間は 10 分程度。

3 月 報告書作成



## 第3章

FD 合宿セミナー

## F D合宿セミナーに当たって

学士課程教育の充実のためには、第一義的には各学部がその責任を負っていますが、学部の専門を超えた幅広い学びのあり方や授業の改善、学生の主体的な学習支援などは、学部の垣根を超えて全学的に取り組まなければならない課題です。また、生き残りをかけた大学改革に際し、授業の充実は最も重要な課題の一つです。

本セミナーは、グループでアクティブ・ラーニングを導入した仮の授業を設計し、それを実際に体験することによって、自分の授業でアクティブ・ラーニングが導入できるようになることを目的としています。仮の授業のデザイン（シラバス作成）を通して、授業科目の存在意義、成績評価法、授業方法などについて、あらためて検討し、再構築していくことにもつながります。

セミナーは、主にシラバスの作成とアクティブ・ラーニングのプログラムから成り立っています。各プログラムは、グループ作業を中心に組まれており、これ自体がアクティブ・ラーニングの一例となっています。

本セミナーは、相互研鑽の精神に則り、「大学を越えた人的交流の拡大・充実を図る」目的があります。他大学の参加者と専門分野を越えて活発な議論を交わしながらプログラムを遂行し、セミナーが終了した後は、参加者が自校の教育の発展により一層貢献されることを期待しています。

このセミナーは「構成員こそが大学の財産」という精神でのぞんでいます。



第1チーム参加者と山形大学安田副学長（前列中央）

第17回 山形大学FD合宿セミナー日程表

期 間 第1チーム：9月4日（月）～5日（火）

○第1日目

時 刻	項 目	担 当	参照ページ
12:45	山形大学小白川キャンパス 集合		
13:00	送迎バス 大学出発		
13:45	会場到着・受付 記念撮影 セミナー開会 開会のあいさつ	司会：小田	
14:30	オリエンテーション	小田	P.5参照
14:50	アイスブレーキング	小田	
15:00～16:30	プログラムⅠ 「授業設計1：アクティブ・ラーニングを導入した授 業を設計する」	小田	P.8参照
16:30～16:40	休憩（10分間）		
16:40～18:10	プログラムⅡ 「授業設計2：シラバスの完成」	小田	P.12参照
18:10～	夕食・懇親会	小田	
20:30～	入浴・休憩		
22:30	就寝		

○第2日目

時 刻	項 目	担 当	参照ページ
7:30～	朝食・部屋退出		
8:30～10:00	プログラムⅢ 「アクティブ・ラーニングの模擬授業の練習」	小田	P.14参照
10:00～10:10	休憩（10分間）		
10:10～11:40	プログラムⅣ 「アクティブ・ラーニングの模擬授業の発表」	小田	P.16参照
11:40～	修了式	小田	
12:15	送迎バス出発		
13:00頃	山形駅経由 大学到着 解散		



開会の挨拶 安田副学長

平成29年度 F D合宿セミナー参加者一覧【第1チーム】

	機関名	氏名	専門分野	班	宿泊部屋
1	明海大学	吉田 敦	日本経済史	B	1号棟 1 FA
2	青森公立大学	高橋 基樹	法学、公法学、憲法学	B	2号棟 1 FA
3	羽陽学園短期大学	高桑 秀郎	体育	A	1号棟 1 FB
4	愛知工科大学	田川 和義	バーチャルリアリティ、ヒューマン インタフェース	A	1号棟 1 FB
5	常葉大学	関 真亮	東洋医学	A	1号棟 1 FC
6	ものづくり大学	土井 香乙里	言語学、応用語学、英語教育	B	3号棟 1 FA
7	ものづくり大学	大竹 由夏	建築計画、都市計画	C	3号棟 1 FB
8	鶴岡工業高等専門学校	和田 真人	工学・機械・トライボロジー	D	1号棟 1 FC
9	日本保健医療大学	稲田 貴子	英語教育	A	3号棟 1 FA
10	新潟薬科大学	井坂 修久	有機合成	B	1号棟 2 FA
11	前橋工科大学	森 友宏	土木工学、地盤工学、防災工学	C	2号棟 1 FC
12	國學院大学	齊藤 光弘	組織開発、人材開発	D	1号棟 2 FB
13	東北文教大学短期大学部	中俣 友子	心理学	C	3号棟 1 FB
14	了徳寺大学	岡村 知明	柔道整復学、スポーツ科学	A	1号棟 2 FB
15	ヤマザキ学園大学	内田 明彦	寄生虫学	C	1号棟 1 FA
16	東北芸術工科大学	青山 ひろゆき	洋画	D	1号棟 1 FC
17	沖縄県立芸術大学	呉屋 淳子	文化人類学	D	3号棟 1 FB
18	会津大学	スー チュンホ フ	情報セキュリティ	B	2号棟 1 FB
19	山形大学	斎藤 昌幸	景観生態学	D	1号棟 1 FC
20	山形大学	松井 弘之	有機エレクトロニクス	A	2号棟 1 FA
21	山形大学	赤松 正人	伝熱工学	D	1号棟 2 FA
22	山形大学	濱 定史	建築構法・建築設計	C	2号棟 1 FC
23	山形大学	橋爪 孝夫	教育学	B	2号棟 1 FB
24	山形大学	小田 隆治	ディレクター		5号棟 2 FA

ディレクター 小田 隆治

A班

所属	氏名
了徳寺大学	岡村 知明
常葉大学	関 真亮
日本保健医療大学	稲田 貴子
愛知工科大学	田川 和義
羽陽学園短期大学	高桑 秀郎
山形大学	松井 弘之

B班

所属	氏名
青森公立大学	高橋 基樹
ものづくり大学	土井 香乙里
新潟薬科大学	井坂 修久
明海大学	吉田 敦
会津大学	スー チュンホワ
山形大学	橋爪 孝夫

C班

所属	氏名
東北文教大学短期大学部	中俣 友子
ものづくり大学	大竹 由夏
前橋工科大学	森 友宏
ヤマザキ学園大学	内田 明彦
山形大学	濱 定史

D班

所属	氏名
沖縄県立芸術大学	呉屋 淳子
鶴岡工業高等専門学校	和田 真人
國學院大學	齊藤 光弘
東北芸術工科大学	青山 ひろゆき
山形大学	赤松 正人
山形大学	斎藤 昌幸

## オリエンテーション

### 1 FDの必要性

- ① 大学の組織的教育力の向上
- ② 大学教育を教員中心から学生中心へ移行することの教員の意識改革
- ③ 大学教員個々の教育力の向上
- ④ 大学生の質的变化への対応
- ⑤ 大学の社会的な教育責務の明確化

### 2 合宿セミナーの目的

- ① 教員個人が大学を支えること的位置付け
- ② 教育の基本的構成要素、大学における各科目の存在意義、授業設計、成績評価法などをあらためて整理する。
- ③ 教員相互の交流

### 3 セミナー形態

体験型のセミナーで、セミナー自体がグループ学習形式であり、参加者は、学生が運営する学生主体型授業を体験することになる。

- ① 参加者によるセミナー全体の運営
- ② セミナーのグループ構成：4班  
班の構成員の年齢は幅広くする。
- ③ 合宿セミナーに関するポストアンケートを実施

#### セミナーの形態

体験型のセミナーで、セミナー自体がグループ学習形式であり、参加者は学生が運営する学生主体型授業を体験することになる。

- ① 参加者によるセミナー全体の運営
- ② 班構成：4班 班の構成員の年齢は幅広くする。班は、参加者を見て、当日までに専門部会で決定しておく。

#### プログラムⅠ「授業設計1：アクティブ・ラーニングを導入した授業を設計する」

各班に分かれ、以下の目標を念頭においてバーチャルな科目を作り、その科目名（名は体を表す科目名）とその学習目標を明らかにする。履修の時期も明確にする。

- ・大学の個性を発揮する授業
- ・地域性と関連する授業：大学と地域の連携
- ・国際性を培う授業
- ・21世紀の諸課題に対応する授業
- ・職業意識と労働意欲を培う授業
- ・主体的に考える力を育成する授業

#### 学習方略

- ・授業内容（順次性を踏まえて設計）
- ・授業の方法（講義、ビデオ、見学、調査、討論、担当教員等）
- ・必ずアクティブ・ラーニングを導入する。15コマ全部でもいいし、数コマでもいい。1コマの授業の数十分でも構わない。授業目標を達成するために効果的に導入する。
- ・作った科目の授業内容を設計する。

- ・原則として、週に1回90分授業を15回実施するとして、15回分の授業内容（方略）を設計する。
- ・集中講義によるフィールド・ラーニングを導入しても構わない。
- ・授業の順序と各回の内容、授業法、媒体、資源などを現実的に示す。
- ・方略を設計するに当たり、目標の修正が必要になるかもしれない。この場合は、目標を手直しする。

## プログラムⅡ 「授業設計2：シラバスの完成」

プログラムⅠの問題点等を踏まえた上で、理想の大学をつくるためには、これからどのようなことを考え、実行していかなければならないか、具体的に提案する。

大学の理念・目標を実現するための具体的な行動目標、大学の「個性」と「売り」をどうするか。すべての班が同じテーマであるが、個性あふれる具体的な企画を期待する。

大学の「売り」を作る企画が求められる。

### ①理念・目標

- ・自覚的に個性的な校風を作り出していく
- ・個性的な大学像（理念・目標、キャッチフレーズ）

### ②方略（考えられるいくつかの方法、実現の可能性）

### ③実行計画（主な活動、資源、時期、担当、責任、具体的企画書等）

- ・その宣伝・普及の方法（4年計画案）

### ④評価（測定方法、学生、教員、ステークホルダー）

- ・目標が達成できたかどうかを検証する。

## プログラムⅢ 「アクティブ・ラーニングの模擬授業の練習」

各授業に分かれ、適当な科目を作り、その科目名（名は体を表す科目名）とその学習目標を明らかにする。履修の時期も明確にする。

A班：大学の個性を発揮する授業

B班：地域性と関連する授業：大学と地域の連携

C班：国際性を培う授業

D班：21世紀の諸課題に対応する授業

E班：職業意識と労働意欲を培う授業

F班：主体的に考える力を育成する授業

学習方略

授業内容（順次性を踏まえて設計）

授業の方法（講義、ビデオ、実地見学、調査、討論、担当教員等）

つづいて、授業内容を設計する。原則として、週に1回90分授業を15回実施するとして、15回分の授業内容（方略）を設計する。授業の順序と各回の内容、授業法、媒体、資源などを現実的に示す。方略を設計するに当たり、目標の修正が必要になるかもしれない。この場合は、目標を手直しする。

## プログラムⅣ 「アクティブ・ラーニングの模擬授業の発表」

- ・模擬授業を発表する。
- ・A41枚に発表するアクティブ・ラーニングをまとめる。

班名

授業名

アクティブ・ラーニングの到達目標

アクティブ・ラーニングの具体的内容

アクティブ・ラーニングの失点

## プログラムⅠ「授業設計1：アクティブ・ラーニングを導入した授業を設計する」

### ここでの課題

シラバス作成作業の第1段階として、グループごとの課題に対応した授業名と学習目標の設定を行う。

プログラムⅢ、Ⅳの各グループの課題

- A班：大学の個性を発揮する授業
- B班：地域性と関連する授業：大学と地域の連携
- C班：国際性を培う授業
- D班：21世紀の諸課題に対応する授業
- E班：職業意識と労働意欲を培う授業
- F班：主体的に考える力を育成する授業

学習方法と道筋（戦略、学習方略）を明示する。具体的には、学習者が到達目標に達するために必要な学習方法の、種類と順序を示す。

**作業1** 授業名の決定：○○○○○○○○○（仮称）←内容確定後、最後に決定しても構わない。

**作業2** 学習目標の設定

1 踏まえておくべきことから：

- (1) 教員中心ではなく、学生による学習を中心に考える（教員の果たすべき役割の再検討）
- (2) 大学に対する社会的ニーズ
- (3) 大学の全体的な教育目標

註：(1)について

大学の役割

- 講義の提供 → 学習方法と教育方法のデザイナー
- 学生から独立 → 教員と学生を一つのチームと考える
- 学力差を明確にする → すべての学生の能力と才能を引き出す

成功へ向けて

- 伝授する資源の重視 → 学習と学生の成功の産物を重視
- 資源の量と質の重視 → 産物の量と質を重視
- 入学生の質の重視 → 卒業生の質を重視
- カリキュラムの発展と拡大 → 学習技法の発展と拡大
- 大学の質・内容の質 → 学生の学習の質

使命

- 知識の提供・伝授 → 学習を生み出し、知識の発見と形成へ
- コース・プログラムの提供 → 強力な学習環境の提供
- 教育の質の改善 → 学習の質の改善
- 多様な学生への対応 → 多様な学生を卒業させる

教育

- 教員中心・知識伝授 → 学生中心・知識発見
- 教育の質 → 学習の質、学習効果・効率
- 指導者としての教員 → 学生の才能・能力を引き出す助言者
- 個人的・受動的学習 → 共同的・行動的・能動的学習

## 2 学習目標の記述

各科目の学習目標を表現することの必要性とその表現方法を学ぶ。学習の効果は、教育の受け手（学習の主体）である学生の変容で評価されるべきである。そのために、①授業の目標と②到達目標を定める。

註：授業の目標を作成する際の注意点

原則

- (1) 学習者を主語として書く
- (2) 学習の結果、いかなることができるようになるかを明示する

記述内容

- (1) 知識・技能の学習がなぜ重要か。それによって学生の要求がどのように満たされるかを明示する。
- (2) 複雑・総括的な概念を持つ動詞を用いる。  
知る、認識する、理解する、感ずる、判断する、評価する、考察する、位置付ける、実施する、適用する、示す、創造する、身に付ける、等々  
※単純な行動を示す動詞は用いない(述べる、列挙する、選ぶ、記載する等々)
- (3) 必要な目標分類（認知・態度・技能）を総括的に含める。

註：到達目標を作成する際の注意点

授業の目標を達成するためにどのようなことができるとよいか、具体的に明示する。

- (1) 学習者を主語として書く
- (2) 動詞を含むこと
- (3) 「理解する」のような概念的言葉ではなく、観察可能な行動を具体的に表す
- (4) 授業の目標と関連していること
- (5) 到達レベルを書く
- (6) 認知、態度、技能を分けて書く
  - 知識（認知領域）：知識を得て理解し、一定の能力を獲得する  
述べる、説明する、分類する、比較する、解釈する、推論する、一般化する、適用する、結論する、批判する、評価する、等々の動詞
  - 技能（精神運動領域）：知識・能力を活かして意識的・具体的に行動する  
感ずる、始める、模倣する、工夫する、行う、創造する、触れる、調べる、準備する、測定する、等々の動詞
  - 態度・習慣（情意領域）：獲得した知識・能力を、情報として相互に提供・交換し合う  
行う、コミュニケーションする、協調する、示す、表現する、系統立てる、参加する、応える、等々の動詞

### 作業3

原則として、週に1回90分の授業を15回実施するものとして、授業の内容を考えてみる。その際、授業の順序と各回の内容、学習法、利用する媒体、資源などについて明示する。授業外学習（主体的学習、予習・復習、宿題）についても適切に配慮し、授業全体をデザインする。内容によっては、授業の目標、到達目標、さらには科目名についても変更が必要になるかもしれない。

註：学習方法の種類

- (1) 受動的学習法：講義など
- (2) 能動的学習法：①グループ討議（演習、セミナー、ディベートなど）  
②実験・実習  
③自習（読書、個人研究、コンピュータ活用学習など）

註：学習のための資源

- (1) 人的な面で：
- (2) 物的な面で：①場所  
②媒体（スライド、OHP、標本、VTRなど）
- (3) 予算

## プログラムⅡ「授業設計2：シラバスの完成」

### ここでの課題

プログラムⅠで作成した授業について、シラバスを完成する。

#### ○成績評価

その位置付け

- (1) 教育評価は、学生、教員、カリキュラム（目標、学習方法の立案（方略）、評価）の三者が対象
- (2) 成績評価は、その中の一つ。

#### 留意点

- (1) どの行動領域を評価するか
  - ① 知識（認知領域）
  - ② 技能（精神運動領域）
  - ③ 態度・習慣（情意領域）
- (2) いつ評価するか
  - ① 学習前（プレテスト）
  - ② 学習中（中間テスト）
  - ③ 学習終了後（ポストテスト）
  - ④ フォローアップ・テスト
- (3) 評価の目的
  - ① 形成的評価：学生が理解している点、理解が不足している点を発見し、学習法、教授法へのフィードバックが目的。最終評価の参考にしない。
  - ② 総合評価：到達目標に対する学生の到達度を計測する。
- (4) いかん評価するか、複数の評価項目のウェイト
  - ① 論述試験
  - ② 口頭試験
  - ③ 客観試験
  - ④ 実地試験
  - ⑤ 観察試験
  - ⑥ 論文（レポート）

#### 評価の持つべき性格

- (1) 妥当性：計測しようとする項目を計測できる方法か？
- (2) 信頼性：計測結果の再現性は良いか？
- (3) 客観性：計測者（教員）が替わっても、同じ結果が得られるか？
- (4) 効率性：経済的にも時間的にも実用的か？
- (5) 特異性：なぜ、そういう解答がなされたか分かるか？

### プログラムⅢ「アクティブ・ラーニングの模擬授業の練習」

#### ここでの課題

プログラムⅡで設計した授業において、アクティブ・ラーニングの一場面をプログラムⅣで発表するための準備をする。

#### 作業

模擬授業の発表時間は1グループにつき7分である。先生と学生役に分かれて演技を行う。先生と学生の双方向のやり取りの場면을導入する。創意工夫をして、失敗と成功の場면을織り交ぜる。見ている人たちを感動させる。

### プログラムⅣ「アクティブ・ラーニングの模擬授業の発表」

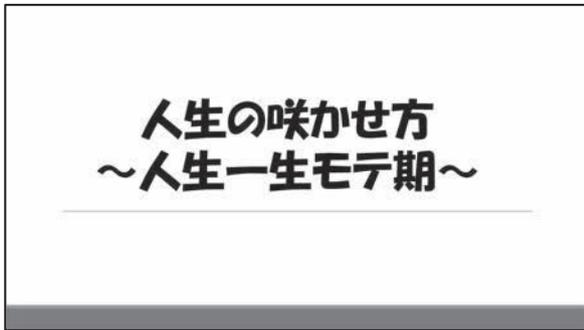
#### ここでの課題

アクティブ・ラーニングの模擬授業を発表と、その発表に対する質疑応答を通してアクティブ・ラーニングの理解を深め、自分の授業にアクティブ・ラーニングが導入できるようになる。

# プログラムⅣ記録

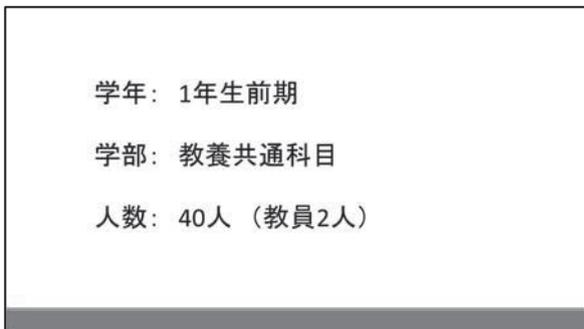
## 「アクティブ・ラーニングの模擬授業の発表」

### ○ A 班



#### 学習目標:

1. 学生が自分で調べて発表できる。
2. 学生が人の意見を尊重して聞ける。
3. 学生が自分の意見を言える。
4. 学生が主体的に考えることができる。
5. 学生が自分の人生目標を明確にできる。



#### 授業計画

1. ガイダンス、ニックネームを考える、自分史を振り返る、ライフレビュー、ニーズアンケート、(自己紹介)
2. モテるとは?  
男女別に意見をまとめる → 発表 → 後半はミックス
3. 2コマ目まで出てきた事柄に深く掘り下げる
4. 恋愛
5. 世界のモテ事情
6. モテ歴史
7. 世界のモテ生物
8. 結婚  
モテる、自分が好き、相手に求めること
9. 結婚後
10. 子育て、少子化
11. 不倫、恋愛ゲーム
12. (熟年)離婚
13. 老後・介護
14. 自分の人生設計
15. 初回との変化



○ B班



## ○ C 班

### 20 年後の働く姿を考えよう

開講学年：1 年 開講学期：前期

#### 授業の目的

- 将来の自分の職業に対する理解を深め、具体的に自分の働く姿を設計する

#### 授業の目標

- 自分が就きたい職業の歴史を調べ、理解できる
- その職業が社会の中でどのように役立っているかを調べ、理解できる
- 20 年後までの将来プランを考えることができる

#### 到達目標

- 様々な職業を理解する
- 問題を自分で設定し、課題を解決できるようにする
- 社会情勢とその職業の関連について具体的資料をもとに分析し、まとめる

#### 授業計画

- 第 1 回 オリエンテーション（授業目的・概要説明）・様々な職業紹介 VTR①
- 第 2 回 様々な職業紹介 VTR②
- 第 3 回 職業の歴史（講義）
- 第 4 回 過去を知る 1（グループディスカッション）
- 第 5 回 過去を知る 2（各自調べてきたものをまとめる）
- 第 6 回 過去を知る 3（グループごとにプレゼンテーション）
- 第 7 回 現在を知る 1（現役職業人からの講話①）
- 第 8 回 現在を知る 2（現役職業人からの講話②）
- 第 9 回 現在を知る 3（グループディスカッション）
- 第 10 回 現在を知る 4（各自調べてきたものをまとめる）
- 第 11 回 現在を知る 5（グループごとにプレゼンテーション）
- 第 12 回 未来を考える 1（グループディスカッション）
- 第 13 回 未来を考える 2（各自調べてきたものをまとめる）
- 第 14 回 未来を考える 3（グループ内プレゼンテーション）・レポート提出
- 第 15 回 総括・講評（全員のレポートをデータベース化する）

#### 評価方法

3 回のグループプレゼンテーションと、個人の最終レポートで評価する

## 20年後の働く姿を考えよう (1年生前期教養科目100名程度) 第17回山形大学FDセミナー

### 学習目標

- ▶自分が就きたい職業の過去・現在・未来を理解する
- ▶どのような職業があるかを知る
- ▶20年後までの将来プランを考える

#### 過去を知る

- ▶自分が就きたい職業の歴史を調べる

#### 現在を知る

- ▶その職業が社会の中でどのように役立っているかを調べる
- ▶現役職業人から話を聴く

#### 未来を知る

- ▶20年後までの将来プランを考える
- ▶必要な資格(科目)等を知り、学習意欲を高める



## ○ D班

仮定：大学1年生、教養科目、受講人数30名程度

人が減った未来を歩く

### 【授業の目的】

#### 【授業の到達目標】

- ・ 学習者は感覚ではなく、エビデンスに基づいて議論ができる
- ・ 資料に基づいて、定性的ではなく定量的に議論することができる
- ・ 学習者は21世紀の諸問題を認識し、課題を解決し、未来に希望が持てる

### 【科目の位置付け】

#### 【授業計画】

- ・ 授業の方法  
座学とフィールドワーク、成果発表会、ディスカッションをおこなう
- ・ 日程
  1. オリエンテーション、野生動物問題から社会を眺める  
→ 授業の説明、評価の仕方、フィールドワーク用の班分け、野生動物問題（導入的な話）
  2. 私たちが迎える人口減少社会  
→ 人口減少、少子化、核家族、介護
  3. フィールドワークをやってみよう  
→ アポの取り方、インタビューの方法、ノートの取り方、情報の信憑性、情報のまとめ方、資料の集め方
  4. フィールドワーク1：資料調査  
→ 図書館で資料検索と整理
  5. フィールドワーク1の成果発表  
→ フィールドワーク1の成果発表会
  6. 環境問題の現在と未来  
→ エネルギー、廃棄物、温暖化
  7. 食糧問題の現実  
→ 食糧
  8. 過疎化がはらむ文化の問題  
→ 文化
  9. フィールドワーク2：インタビュー調査  
→ 学内の教員・関係者にインタビュー
  10. フィールドワーク2の成果発表  
→ パワーポイント形式
  11. 90分間だけ生討論会1  
→ これまでのフィールドワークを踏まえた討論
  12. 「今」の問題を解決するための技術  
→ AI、SNS、職業の変化予測
  13. 人が減った現実を歩く：過疎地の巡検  
→ タイトルの回収、過疎地を訪問するフィールドワーク
  14. 90分間だけ生討論会2：私たちは大学で何を学ぶのか  
→ これまでの講義内容を踏まえて、これから必要な教育について考える
  15. 講義のおさらい

【学習の方法】

- ・ 受講のあり方
- ・ 授業学習時間へのアドバイス

【成績の評価】

- ・ 基準  
積極的に成果発表に参加しているか。
- ・ 方法  
グループワーク + 中間課題（フィールドノートの提出） + 最終課題（レポートの提出）

【テキスト・参考書】

【その他】

「授業設計1: アクティブラーニングを導入した授業を設計する」  
D班: 21世紀の諸問題に対応する授業

**タイトル: 人が減った未来を歩く**

**授業名の決定**  
人が減った未来を歩く

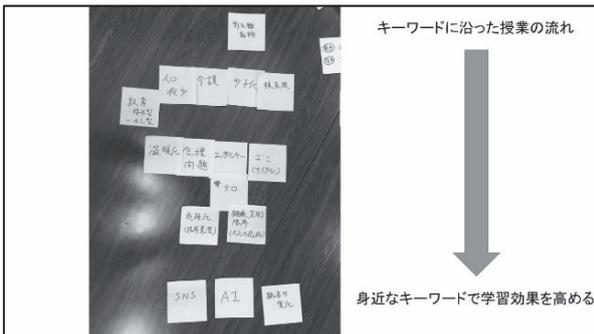
**学習目標**

- ・ 学習者は感覚ではなく、エビデンスに基づいて議論ができる
- ・ 学習者は21世紀の諸問題を認識し、課題を解決し、未来に希望が持てる

**概要:** 大学1年生、教養科目、受講人数30名

**学習方法**

- ・ 講義とフィールドワーク(計15回)
- ・ 最終回はグループワークにてパワーポイントによる発表会



## 【第2チーム】FD合宿セミナープログラム及び記録 ○プログラム抜粋

### FD合宿セミナーに当たって

山形大学では、平成13年度よりこの合宿セミナーを実施し、教養教育の目標や授業の企画、シラバス作成を通して授業のスキル向上を実現するとともに、学部間の人的交流の拡大・充実を図ってまいりました。このような基盤のうえに、さらに「授業改善」に焦点化したアドバンスプログラムを実施することになりました。

このセミナーの第一の目的は、「個人個人の教員が教育者としての自己認識の深まりと学生の学びを大切にする授業、および授業改善の方法を具体的なケースを交えて考察・議論し、学生を中心とする教育・授業を発展させること」です。この目的を達成するために、本セミナーでは4つの参加型ワークショップを行います。これにより、参加者は学生が運営する学生主体型授業を体験することにもなります。

また、「ワークショップを共通の題材として、学部間の人的交流の拡大・充実を図ること」が第二の目的です。他部局の参加者と活発な議論を交わしながらプログラムを遂行し、セミナーが終了した後は、参加者が大学の教育分野全般の発展に、より一層積極的に貢献されることを期待しています。

このセミナーは、「構成員こそが大学の財産」という精神でのぞんでいます。

更に、このセミナーはFDネットワーク“つばさ”の参加校を初めてとして、全国の大学等にかかれています。本セミナーが、相互研鑽の精神に則り、参加された大学・短大・高専の発展に寄与されることを願っております。



## 第17回 山形大学FD合宿セミナー日程表

期 間 第2チーム：9月5日（火）～6日（水）

### ○第1日目

時 刻	項 目	担 当	参照ページ
13:00	山形大学小白川キャンパス集合		
13:20	送迎バス大学出発		
14:00	会場到着・記念撮影 セミナー開会 開会のあいさつ		
14:30	オリエンテーション	小田	P. 6参照
14:40～15:10	アイスブレイキング	田実	
15:10～16:50	プログラムⅠ「授業に求められる合理的配慮とは？－ 障害者差別解消法と授業」	田実	P. 10参照
16:50～17:00	休憩（10分間）		
17:00～18:10	プログラムⅡ「学生の学修を支援する授業とは？－発 達障害等の配慮を必要とする学生が受講している授 業の工夫」	田実	P. 12参照
18:10～	夕食・懇親会		
20:30～	入浴・休憩		
22:30	就寝		

### ○第2日目

時 刻	項 目	担 当	参照ページ
7:30～	朝食・部屋の清掃・部屋退出		
8:30～10:00	プログラムⅢ「授業力の向上－わかりやすい授業を実 現するために－」	大島	P. 14参照
10:00～10:10	休憩（10分間）		
10:10～11:40	プログラムⅣ「研修のふりかえりとまとめ」	大島	P. 19参照
11:40～	修了式（ポストアンケート）		
12:15	送迎バス出発		
13:00頃	山形駅経由 大学到着・解散		

平成29年度 FD合宿セミナー参加者一覧【第2チーム】

	機関名	氏名	専門分野	班(1日目)	班(2日目)	宿泊部屋
1	明海大学	吉田 敦	日本経済史	A	A	1号棟1FA
2	青森公立大学	江連 敏和	ビジネス英語、英語音声学、英語教育	B	A	1号棟1FB
3	青森公立大学	大森 史博	哲学、倫理学	C	B	1号棟2FA
4	湘南医療大学	猪股 英輔	作業療法学	D	B	1号棟1FA
5	愛知工科大学	高橋 亮	電子工学、物理学	A	C	1号棟1FB
6	鶴岡工業高等専門学校	和田 真人	工学・機械・トライボロジー	B	C	1号棟1FC
7	ものづくり大学	岡田 公彦	建築設計空間デザイン	C	A	1号棟1FC
8	ものづくり大学	松岡 大介	建築環境、設備省エネ、健康・快適	D	B	1号棟2FB
9	青森大学	福井 雅之	免疫学	A	C	1号棟2FB
10	岐阜医療科学大学	煤田 雄大	画像診断学	B	C	1号棟2FA
11	日本保健医療大学	稲田 貴子	英語教育	C	C	3号棟1FA
12	新潟薬科大学	松本 均	栄養生化学	D	A	1号棟2FC
13	國學院大學	川村 尚子	民法	A	B	3号棟1FB
14	前橋工科大学	江本 聞夫	プロダクトデザイン、モビリティデザイン	B	B	1号棟2FC
15	東北文教大学短期大学部	石井 美和	教育学	D	A	3号棟1FB
16	新潟薬科大学	前田 武彦	薬理学	C	—	—
17	了徳寺大学	山口 浩美	在宅看護学	A	A	3号棟1FB
18	清泉女学院大学	石井 国雄	心理学	C	A	2号棟1FB
19	八戸学院大学	田中 克枝	小児看護学	B	B	3号棟1FA
20	会津大学	吉良 洋輔	社会学	D	B	2号棟1FB
21	山形大学	松坂 暢浩	キャリア教育	A	C	2号棟1FB
22	北星学園大学	田実 潔	ディレクター			5号棟2FB
23	東京工芸大学	大島 武	ディレクター			5号棟2FC
24	山形大学	小田 隆治	ディレクター			5号棟2FA

1 日 目

ディレクター 田実 潔

A 班

所属	氏名
明海大学	吉田 敦
愛知工科大学	高橋 亮
青森大学	福井 雅之
國學院大學	川村 尚子
了徳寺大学	山口 浩美
山形大学	松坂 暢浩

B 班

所属	氏名
青森公立大学	江連 敏和
鶴岡工業高等専門学校	和田 真人
岐阜医療科学大学	榎田 雄大
前橋工科大学	江本 聞夫
八戸学院大学	田中 克枝

C 班

所属	氏名
青森公立大学	大森 史博
ものづくり大学	岡田 公彦
日本保健医療大学	稲田 貴子
新潟薬科大学	前田 武彦
清泉女学院大学	石井 国雄

D 班

所属	氏名
湘南医療大学	猪股 英輔
ものづくり大学	松岡 大介
新潟薬科大学	松本 均
東北文教大学短期大学部	石井 美和
会津大学	吉良 洋輔

2 日 目

ディレクター 大島 武

A 班

所属	氏名
明海大学	吉田 敦
青森公立大学	江連 敏和
ものづくり大学	岡田 公彦
東北文教大学短期大学部	石井 美和
新潟薬科大学	松本 均
了徳寺大学	山口 浩美
清泉女学院大学	石井 国雄

B 班

所属	氏名
青森公立大学	大森 史博
湘南医療大学	猪股 英輔
ものづくり大学	松岡 大介
國學院大學	川村 尚子
前橋工科大学	江本 聞夫
八戸学院大学	田中 克枝
会津大学	吉良 洋輔

C 班

所属	氏名
愛知工科大学	高橋 亮
鶴岡工業高等専門学校	和田 真人
青森大学	福井 雅之
岐阜医療科学大学	榎田 雄大
日本保健医療大学	稲田 貴子
山形大学	松坂 暢浩

## オリエンテーション

### 1 FDの必要性

- ① 大学の組織的教育力の向上
- ② 大学教育を教員中心から学生中心へ移行することの教員の意識改革
- ③ 大学教員個々の教育力の向上
- ④ 大学生の質的变化への対応
- ⑤ 大学の社会的な教育責務の明確化

### 2 合宿セミナーの目的

- ① 教員個人が大学を支えること的位置付け。
- ② 学生一人ひとりの発達と同様に教員一人ひとりが同僚の力を得て発達することを改めて確認する。
- ③ 教授法について共に考え、スキルアップする。
- ④ 教員相互の交流。

### 3 セミナー形態

体験型のセミナーで、セミナー自体がグループ学習形式であり、参加者は、学生が運営する学生主体型授業を体験することになります。

- ① 参加者によるセミナー全体の運営
- ② セミナーのグループ構成：6班  
「プログラムⅠ・Ⅱ」（1日目）と「プログラムⅢ・Ⅳ」（2日目）で、班構成を替えます。
- ③ プログラムによっては、全体での発表の際に記録をとるための記録係を置く場合があります。また、グループワークにおいて、各班に、司会者、記録係等を置く場合もあります。
- ④ 「③」で記録したものは、各プログラム終了後に提出していただきます（この記録は、こちらでコピーした後、速やかに全班に配付します）。
- ⑥ 最終日に合宿セミナーに関するポストアンケートを実施します。

\*プログラムⅠ「授業に求められる合理的配慮とは？－障害者差別解消法と授業」では、最近増えている学生参加型授業についてこれない学生についてふれ、障害者差別解消法による授業での合理的配慮に基づく支援についてお話をします。その後、実際に発達障害とはどのような状態なのか、を体験して頂きます。

\*プログラムⅡ「学生の学修を支援する授業とは？－発達障害等の配慮を必要とする学生が受講している授業の工夫」では、発達障害のある学生が出席している授業場面や実習での支援の実際や授業評価事例を交えながら、すぐに役立つ具体的な支援方法についてお話したいと思います。

\*プログラムⅢ「授業力の向上－わかりやすい授業を実現するために－」は、授業スキルについての講義を聴いたうえで、「よりよい授業、わかりやすい授業」をテーマにディスカッションしていただきます。

\*プログラムⅣ「研修のふりかえりとまとめ」は、プログラムⅢの討議結果の発表、及び全体のまとめを行います。

平成 29 年度 第 17 回山形大学 F D 合宿セミナー  
「相互研鑽による大学教育の飛躍をめざして」

プログラムⅠ「授業に求められる合理的配慮とは？－障害者差別解消法と授業」では、最近増えている学生参加型授業についてこれない学生についてふれ、障害者差別解消法による授業での合理的配慮に基づく支援についてお話をします。その後、実際に発達障害とはどのような状態なのか、を体験して頂きます。

プログラムⅡ「学生の学修を支援する授業とは？－発達障害等の配慮を必要とする学生が受講している授業の工夫」では、発達障害のある学生が出席している授業場面や実習での支援の実際や授業評価事例を交えながら、すぐに役立つ具体的な支援方法についてお話したいと思います。

プログラムⅢでは、1日目のプログラムで検討した内容を実現するための基礎となる「授業力の向上」を目指して、講義＋ディスカッションを行います。

プログラムⅣでは、プログラムⅢのディスカッション結果を全体発表するほか、本研修全体のまとめを行います。自分のコミュニケーションスタイルは、この研修をとおして他のメンバーにどのように映ったのか、イメージ交換ゲームで体感してください。

**プログラムⅠ**「授業に求められる合理的配慮とは？－障害者差別解消法と授業」

(タイムスケジュール)

- プログラムの講師による講義 80分
  - 発達障害を体験してみる 20分
- 全体で100分

**プログラムⅡ**「学生の学修を支援する授業とは？－発達障害等の配慮を必要とする学生が受講している授業の工夫」

- 授業のヒントの説明 30分
  - 講義、ゼミ、実習、評価等々 25分
  - まとめと質疑応答 5分
- 全体で60分

**プログラムⅢ**「授業力の向上－わかりやすい授業を実現するために－」

- プログラムの講師による内容の説明 5分
  - 「授業力向上のためには－ケーススタディー－」(講義) 55分
  - 「よりよい授業を目指して－ディスカッション－」 30分
- 全体で 90分

**プログラムⅣ**「研修のふりかえりとまとめ」

- プログラムⅢの検討結果のプレゼン 5分 x 6班 30分
  - イメージ交換ゲームの実施 30分
  - イメージ交換ゲームのふりかえり 15分
  - 研修全体のまとめ－学びをFDに生かしていきましょう－ 15分
- 全体で 90分

## プログラムⅠ「授業に求められる合理的配慮とは？－障害者差別解消法と授業」

### ここでの課題

プログラムⅠ「授業に求められる合理的配慮とは？－障害者差別解消法と授業」最近増えている学生参加型授業についてこられない学生についてふれ、障害者差別解消法による授業での合理的配慮に基づく支援についてお話をします。その後、実際に発達障害とはどのような状態なのか、を体験して頂きます。

- プログラムの講師による講義 80分
  - 発達障害を体験してみる 20分
- 全体で100分

## プログラムⅡ「学生の学修を支援する授業とは？－発達障害等の配慮を必要とする学生が受講している授業の工夫」

### ここでの課題

- 授業のヒントの説明 30分
- 講義、ゼミ、実習、評価等々 25分
- まとめと質疑応答 5分

プログラムⅡでは、発達障害のある学生が出席している授業場面や実習での支援の実際や授業評価事例を交えながら、すぐに役立つ具体的な支援方法についてお話したいと思います。

- まとめと質疑応答 5分
- 全体で60分

## プログラムⅢ「授業力の向上－わかりやすい授業を実現するために－」

### ここでの課題

プログラムⅠ～Ⅱで検討した学生のモチベーション向上、授業への参画を実現するためには、まず教える教員自身に指導力・授業力が求められます。「わかりやすい」「興味の湧く」授業を実現するにはどうしたらいいのか。このセッションでは、授業スキルの向上という基本に立ち返り、講師の体験に基づく講義をベースにディスカッション形式で考えを深めます。

- プログラムの講師による内容の説明 5分
  - 「授業力向上のためには－ケーススタディー」 55分  
→次頁のレジュメにそった講義
  - 「よりよい授業を目指して－ディスカッション－」 30分  
→講義内容を踏まえ、よりよい授業を実現するためのポイントを整理する。  
→自分の持っている問題点の洗い出しと解決策の模索を行う。
- 全体で90分

## 【ケーススタディ ～私の授業法～】

### 1. ガイダンスのしかた

- 必ずワンペーパー作って渡す。 ← 最初の3週間で徹底

### 2. 授業の組み立て方

- 90分を3つのパートにわけると ← 話しの構造化
- 時間の使い方を予告し、守ると ← 全体像を見せることが大切
- 「つかみ」が大切（冒頭に力点） ← 終わりはすっきり

### 3. 効果的な表現技術

- 言語表現の工夫
  - ・「例示」の多用 ← 相手に合った例を挙げる
  - ・「つながり言葉」の活用 ← ゆっくり間を取って話す
  - ・「用語」の選択と位置付け ← 新出語に注意
- 非言語表現の効果
  - ・身体表現 ← gesture と posture の使い分け
  - ・対人距離 ← 机間巡視／指導はどこまで有効か
  - ・アイコンタクト ← プレッシャーと激励

### 4. 授業ツールの活用

【提示資料】・・・ 学生の注意を惹きつける

- 「聴かせる」と同時に「見せる」 ← 視覚効果は絶大
- Cf. 日常生活における知覚機能別情報量  
視覚83% 聴覚11% 嗅覚3.5% 味覚1.5% 触覚1%  
(小林敬誌他著『プレゼンテーション技法・演習』より)
- ← やりすぎは逆効果
- Cf. 木像よりは絵像、絵像よりは名号といふなり（蓮如）
- 板書は最高のビジュアル ← 小学校時代からのお約束

【配付資料】・・・ 学生の手元に残す

- レジュメの効果 ← 情報を与えすぎない
- 教科書の使い方 ← 買わせたら使う

### 5. 双方向性の確保

- 発問のしかた ← 大切なのはリズム
- 紙ベースでのやりとり ← ex) 巨大出席カード  
大手前短大「なるほどポイント」

## 6. 評価のしかた

- 「合わせ技」が基本 ← 内訳をシラバスに明記  
ex) 参加 10% 小テスト 40% 発表 20%  
提出物 30%
- 個人情報保護と説明責任 ← 授業期間と終了後で区別

## 7. まとめ

- アリストテレスの話し方3要件 ← ログス・パトス・エートス

## プログラムIV「研修のふりかえりとまとめ」

### ここでの課題

プログラムⅢで議論、検討したより良い授業を実現するためのポイントについて、各グループに発表していただき、全体での分かち合いを行います。また、2日間の研修を通じて、自分のコミュニケーションスタイルが他人にどんな印象を与えたのか、イメージ交換ゲームを通じてふりかえります。

- プログラムⅣの検討結果のプレゼン 5分 x 6班 30分
- イメージ交換ゲームの実施 30分
- イメージ交換ゲームのふりかえり 15分
- 研修全体のまとめ -学びをFDに生かしていきましょう- 20分

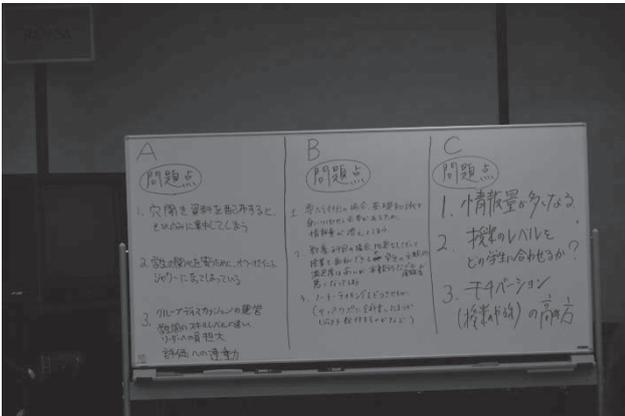
全体で90分

プログラムⅠ記録「授業に求められる合理的配慮とは？－障害者差別解消法と授業」

プログラムⅡ記録「学生の学修を支援する授業とは？－発達障害等の配慮を必要とする学生が受講している授業の工夫」



プログラムⅢ記録 「授業力の向上—わかりやすい授業を実現するために—」  
 プログラムⅣ記録 「研修のふりかえりとまとめ」



## FD合宿セミナー参加者感想

### 第1チーム参加者

○FD合宿セミナーに参加して

ものつくり大学 大竹由夏

アクティブ・ラーニングを導入した授業について研修に参加しました。セミナー自体がグループで行うアクティブ・ラーニングとなっており、とても貴重な経験をさせて頂きました。

私が参加したC班では、「20年後の働く姿を考えよう」というタイトルの職業意識と労働意欲を培う授業を設計しました。本授業の設計にあたり、学習者自身に、20年後までの将来プランを考えさせ、将来の自分の職業に対する理解を深め、具体的に自分の働く姿を設計させる方法を模索しました。

プログラムⅠとプログラムⅡでは、学習者を主語として表現するなどのテクニックを使うことで、シラバスに載せる授業の目標や到達目標を学習者目線に作成することができると実感しました。さらに、シラバスをみた学習者に能動的な授業を受講するとの意識が芽生えさせるところから、アクティブ・ラーニングがはじまるのだなと気づきました。

プログラムⅢでは、模擬授業の練習を行うことで、発表時間が足りないなどの問題に直面し、より具体的な場面を想定し授業の設計をしなくてはならないと痛感いたしました。

また、プログラムⅣでは、各グループの発表形式が異なり、少し驚きました。アクティブ・ラーニングを導入した授業では、実際に起こり得る問題であり、成績評価が難しくなるだろうと実感しました。

私は、4月に助教になったばかりで、まだ、自身で授業を設計した経験がありません。本セミナーを受講し、今まで私自身が受講していた授業も教員の方々が一生懸命考えてくださっていたのだと、感謝の気持ちでいっぱいになりました。今後、授業設計を行う際には、本セミナーで学んだことを取り入れ、より充実した授業を行うよう努力したいと思います。

また、本セミナーに参加したことで、他大学の先生方と専門分野を越えて議論を交わし、有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございます。

○青森公立大学 高橋基樹

本セミナーに参加するまでは、大学での講義に関する授業設計について詳細に検討したことも意識したこともありませんでした。またシラバスの作成方法についても、自分自身の教育経験だけを基に、自己流に考えて作成してきたことがほとんどであり、他者からそれに対する評価をもらうことも少なかった。そのため、学生を中心にした授業設計を特に意識することなく、従来型の大学での講義スタイル(教員が学生に対して一方的に講義するスタイル)を展開することが多かったと思う。しかし、本セミナーを通じて、FDの必要性

から特に学生中心に授業設計を行うことを意識する必要性と、アクティブ・ラーニングの授業を実施する必要性をまず学んだ。そのうえで、学生が授業でアクティブになるためにはどのような展開をしていくべきかということ徹底して考えた2日間であり、とても充実していた。加えてセミナーの中では、シラバスの作成だけではなく、アクティブ・ラーニングの模擬授業の練習・発表も行うことで、実践するうえで、どのような失敗が想定されるか、そして失敗したとしてもどのように挽回すべきかを考えることもできたため、実に有意義な時間を過ごさせていただいた。また他大学・他分野の先生とアクティブ・ラーニングの実施方法を検討するという一つのテーマで考察することができたため、自分自身の凝り固まった思考だけでなく、様々な思考に触れ、様々な意見や見方を参考にすることができ、幅広い教養教育としてのアクティブ・ラーニングの実践方法を学ぶことができた。

しかし、本セミナーでは、事前に①大学の個性を発揮する授業、②地域性と関連する授業、③国際性を培う授業、④21世紀の諸課題に対応する授業、⑤職業意識と労働意欲を培う授業、⑥主体的に考える力を育成する授業という6つのテーマが提示されている中でアクティブ・ラーニングの実践方法を検討するものであったため、教養教育としてのアクティブ・ラーニングの実践方法を学ぶことはできたが、自分自身の専門分野科目(法学教育)の教育におけるアクティブ・ラーニングの実践方法はいまだに漠然としている点が残っている。上記の6テーマであるならば、幅広く教養教育として学生の関心を惹き、アクティブ・ラーニングの展開が可能であると考えられるが、たとえば、資格試験に向けた教育(公務員試験対策の法学教育など)では、資格を取得するための知識の教授が優先される必要があり、その中でどのようにアクティブ・ラーニングを構築することができるのかを今後検討すべきだと感じた。そこで、上記の6テーマのような提示がなく、自分自身の専門分野の教育や資格対策の教育などにおけるアクティブ・ラーニングの実施計画について、グループだけでなく個人でも検討し、そのシラバスや実践案を評価・検討することを対象にしたFDセミナーがあるならばぜひ参加したいと思った。

### 第2チーム参加者

○平成29年度第17回山形大学FD合宿セミナーに参加して

新潟薬科大学応用生命科学部 松本 均

本セミナーにおいて、障がい者差別解消法の施行に伴う、大学における支援の方法について、実例を挙げての貴重な解説を聞けたと思います。

確かに、身近に授業参加に苦勞し、試験成績が思わしくない学生もおり、障がいの可能性と十分な配慮や対応ができていたのか、思い返すことになりました。また、保護者を含めた学生とのコミュニケーションが大切で、プライバシーに

関わるため、1人の教員では、対応は不可能なこともあると感じました。そのため、通常からの他の教員との情報交換を綿密にし、配慮の必要かもしれない学生への「気づき」を大切にすること。学内サポート部署の専門職員との密接な連携も重要であると感じました。

授業力向上に関するケーススタディーについて、私は、4月に初めて教職についたため、現代の学生が求める授業とその準備、授業運営に不安を持っていました。

特に、限られた時間で多くのことを教えすぎ、情報過多になり、学生が理解できない嫌いがありました。授業中の90分間で、すべてを習得させるのは不可能であり、教員として重要なのは、学生に興味を持たせ、勉強の方法を指し示すことであると理解しました。情報過多の時代に情報入手は容易であり、意欲があり方法がわかれば、学生自ら進んで勉強し、スキルやナレッジを蓄積していくことが目指すべき方向だと感じました。

最後に、研修中も終了後も親身になって相談に乗っていただいた先生方に深く感謝します。

○第17回山形大学FD合宿セミナー「相互研鑽による大学教育の飛躍をめざして」

第2チーム【9月5～6日】に参加して

八戸学院大学 田中克枝

今回、この合宿セミナーには『授業に求められる合理的配慮とは？』『発達障害等の配慮を必要とする学生が受講している授業の工夫』というプログラムを見て参加させていただきました。私の専門分野は小児看護学であり、以前から発達障害の自閉症スペクトラム障害やADHD(注意欠如・多動性障害)に関心があり、研修会等で学習する機会がありましたが、さらにその取り組みを学びたいと思いました。1日目は北星学院大学の田実潔先生より、大学で学生主体型授業についてこれない学生や合理的配慮の講義や大学でやられている教職部門の専任教員のアクセシビリティ支援室について講義でした。発達障害等の学生に教員個人で関わるのではなく、大学として専門にコーディネートする教員がいるシステムのことやその具体的な配慮の仕方など大変参考になりました。今後、大学全体で発達障害の学生にどのように関わっていくか考えなければならないと思う一方で、実際にシステム化していくことは難しいなあとも感じました。

2日目の東京工芸大学の大島武先生の『授業力の向上—わかりやすい授業を実現するために—』を聞き、教員生活も長くやっていますが、どのような授業方法がよりよいかと少し迷いながら試案して行っています。講義の表現技術など具体的方法で分かりやすく参考にしたいと思います。また、他の様々な専攻の先生とディスカッションすることによって、教養科目と資格を取るような科目とは違うところもありますが、問題点が明確になり、解決策がでない場合でも、ディスカッションすること自体意味がある気がしました。

さらに、プログラム以外の懇親会や部屋に帰っての会話など様々な大学、専攻科目も年齢も違う参加者の方と話をすることによって、自分自身も新たなモチベーションがもて、相互研鑽になりました。有意義なセミナーを開催していただき、ありがとうございました。

○東北文教大学 石井美和

9月6日7日のFD合宿セミナーに参加させていただき、多くの学びと刺激を得ることができました。1日目の講義では、発達障害の学生の現状や認知の特性についてわかりやすく教えていただき、大学での学習において発達障害を持つ学生がどのような困難を感じているのか、改めて認識することができました。グループワークでは、それぞれの教員が感じている学生指導や教育上の課題を具体的に話し合うことができ、分野や規模の違う大学においても、同様の課題を感じているということが実感できました。特に分野は違っても専門職養成を行っている大学においては共通する課題が多くあり、共感できることがたくさんありました。

2日目の講義とワークショップでは、普段なかなか取り組むことができない授業改善の方法について、具体的な内容を取り上げていただき、改めて自らの授業の方法について考えることができました。授業のレベルをどの学生に合わせて設定するのか、情報の量をどのようにコントロールするのか、すぐに授業に役立てられる内容が多くあり、後期の授業から取り入れたいと授業改善に前向きになれる内容となっていました。

2日間のFDセミナーを通して、普段接することの少ない、年齢層やキャリア、専門分野が異なる先生方とともに学び、話し合うことで、たくさんの刺激を受けることができました。特に、大学教員になったばかりの先生方は、戸惑いを感じながらも意欲的に授業に取り組んでいる姿勢や熱意に溢れており、大学教員の仕事に少し慣れてきた自分に気づくとともに、大学教員になった当時の新鮮な気持ちを思い出すことができました。

今回のFDセミナーでは楽しい雰囲気の中で、充実した学びを得ることができました。先生方との交流を通して得たことを自分自身の大学教育の実践に生かしていきたいと思えます。

○第17回山形大学FD合宿セミナーを終えて

岐阜医療科学大学 保健科学部 放射線技術学科

榎田 雄大

平成29年3月まで、病院で診療放射線技師として仕事していた私。縁があり、4月より診療放射線技師を育成する立場として入職。現場にいた技師として理解しておいて欲しいこと、国家試験合格の為にと思いパワーポイントを多用した講義をしていた。今、思うと学生の理解度を無視した詰込講義であり、範囲を全て講義したという自己満足であっ

た。

今回のFD合同セミナーは、「授業に求められる合理的配慮とは？-障害者差別解消法と授業」「学生の学修を支援する授業とは？-発達障害等の配慮を必要とする学生が受講している授業の工夫」「授業力の向上-わかりやすい授業を実現するためには-」等のプログラムに沿って行われた。セミナーにおいて、わかりやすい授業法の講義において、板書が効果的やパワーポイントを上手に使用することを学んだ。

FD合同セミナーにおいて、本来新人の私は1グループを受講した方が良いのかもしれないが、私の娘が医師の診断はされていないが、発達障害の可能性があり、どのように接していけば良いか興味があり2グループを受講した経緯がある。4月の入職時に他の教員より、「発達障害の学生もいるから」と言われていたが、今回参加された他大学においても同じような傾向であることを知った。あまり発達障害について理解していなかった私は、学生に対し、同じことを説明したのに？なぜ理解しないのと心の中で苛立ちをおぼえていたが、

これからは、どこまで理解できたのか？どう説明したら学生に理解されるかを、学生とともに考えていきたい。

セミナー終了後職場に戻り、他の教員に発達障害についての理解を伺ってみたが、セミナー受講前の私のようにほとんど理解できていなかった。そのため、セミナーで学んだことを他の教員に啓発していきたい。今回のセミナーを開催していただいた山形大学に感謝申し上げます。

○第17回 山形大学 FD 合宿セミナー『相互研鑽による大学教育の飛躍をめざして』

國學院大學法学部 講師 川村尚子

周知のとおり、現在の大学教員は、「高校までの受け身の勉強とは質的に異なる主体的な学び」を実現するために、グループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワークなどによる課題解決型の能動的学修(アクティブ・ラーニング)に取り組むことが求められている。

こうした要請のもと、従来型の一方通行的な講義に慣れ親しんできた教員がまず直面する問題は、どのように授業を組み立てていくべきかであろう。今回のセミナーでは二日目の研修でこの問題が取り上げられた。また、学生主体型の授業が行われるなかで、授業にうまくついてこれない学生、とりわけ発達障害を抱えている学生にどのように対応すべきかが現場では問題となっているということで、一日目の研修ではこの問題がテーマとして取り上げられた。

まず、後者の問題については、私の教育経験がまだ5カ月程度しかないこともあり、こうした問題の存在を特に意識することがなかったため、問題の存在を認識できたこと自体が大きな収穫であったように思われる。また、発達障害の学生に対応していくには個々の教員ができることと、個々の教員だけでは対応しきれない部分があり、事務方も含めた大

学全体で制度的に対応していくことが必要である点、そしてまた、大学全体で発達障害の学生の支援に取り組んでいる北星学園大学の事例は大変参考になった。しかし、そうした体制を築いたとしても学生側からの自己申請がなければ対応できないことや、どの大学にもそうしたマンパワーがあるわけではないなど、まだまだ課題は多い。

二日目の研修では、研修講師の授業方法が呈示された。特に、視覚情報が聴覚情報に優先するという点について、セミナーのなかで講師が用意したしかけを実際に参加者と体験するなかで気づけたことは今後の授業を行っていくうえで非常によかった。

合宿セミナー全体としては、参加者同士で日頃抱えている悩みを共有し、アドバイスしあえる時間が設けられていた点が大変参考になった。特に、私の場合、着任して間もなかったこと、また、日々の業務に追われている他の先生方と業務外のことについて話す機会をあまり持ていなかったこともあり、他大学のそれも他学部の先生方から同じように悩みながら日々研鑽されているという話を聞いたことは大きな励みとなった。

## 第1・2チーム参加者

○第17回山形大学 FD 合宿セミナーに参加して

日本保健医療大学 稲田貴子

昨今の少子化現象に直面し学生獲得のために、各大学では授業の質保証を高めることが必須になってきている。そのため大講堂での教師中心の講義形式の授業から、生徒中心のアクティブ・ラーニングへの移行が注目され始めて久しい。TESOL(英語教授法)が専攻なので、自分なりのやり方でアクティブ・ラーニングを授業に取り込んできたが、他の先生方のやり方も学びたいと思い第1チームに参加した。このプログラムは参加形式で最初からグループで作業に取りかかり、翌日は順番に模擬授業を発表するという誠実に実践的かつ有意義な活動だった。学生の立場に置かれて初めて彼らの気持ちが分かるので、こういう経験ができて良かったと思っている。

第2チームに参加した理由は発達障害の学生を受け持った経験があるため、もっとその障害に関しての知識を深めたいと思ったからだ。初日に「障害者差別解消法と授業」というタイトルで講師の先生がレクチャーしてくれた。発達障害の特徴が理解でき、授業での対応例等も教わった。今後この教わった知識があれば、とっさの対応もできるようになるかも知れないと心強く思っている。次に、「現在日本で行われている障害のある学生への支援」を学び、日本もここまでのか感動した。より多くの大学がこのような支援の輪を広げて行ってほしいと希望する。最後に「発達障害を感じてみるコーナー」では、実際に体験することで、障害を持つ学生がどのように見え聞こえているのかを知り、障害者への理解がより深まった。

次の日は「授業力の向上一わかりやすい授業を実現するために」で、直ぐにでも使える学生の注意を途切れさせない為にやれる工夫を伝授してもらった。例えば、90分授業を3つのパートに分ける、最初に全体像を示す、板書の重要性等、色々なコツを学べた。さらに、グループワークで他の先生達が実際に抱えている問題を提示し、解決策を練り、講師の先生からのアドバイスを頂けたのは実践的で役に立った。また、イメージ交換ゲームでは、他人の自分に対するイメージと自分の思い込みとの違いが分かり、興味深い体験をさせて頂いた。

短時間に多くのことを学べた非常に充実した3日間だった。是非自分の大学に還元していきたい。講師の先生方はじめ、お世話役で支えて下さった皆様に心から感謝を申し上げたい。

○明海大学 吉田 敦(経済学部准教授)

9月4～6日山形大学FD合宿セミナー(第1・第2チーム)に参加しました。2013年第1チーム、14年第2チームに参加しましたので通算3度目、チームとしては各々2度目です。今回の第1チームではアクティブ・ラーニングの授業設計、シラバス作成、模擬授業を行いました。模擬授業コンテストでは、私の所属チームが優勝しました。山形大学小田先生の言＝「日本人にはユーモアが足りない」を真に受けて、使えない地域の先生(県会議員)役で笑いを取りました。またここでは親しい他大学の方々、羽陽学園短期大学高桑先生、東北芸術工科大学青山先生、沖縄県立芸術大学呉屋先生、山形大学橋爪先生等と再会できました。

第2チームでは北星学園大学田実先生の「発達障害学生への合理的配慮」、東京工芸大学大島先生の「わかりやすい授業の実現」について学びました。前者では「発達障害」と「知的障害」の区別が曖昧になっていた事、後者では自分の講義で使用している「グループ作業記録」が大島先生の模倣であった事を思い出しました。以上はここ数年の、自分の授業改善の歩みについての確認の好機になりました。

ところで今夏参加した別の研修会で、高等教育政策等について学びました。それ自体は大変興味深く、私個人にとっても自校にとっても有益だったと思います。ただし一抹の違和感を禁じ得ませんでした。高等教育政策には、少子高齢化の下での労働=産業政策的理念が根底にあり、学生達の学力向上に対して即効性を求め過ぎる傾向があるからです。「学士課程教育の質保証」は、我々大学人にとって、現時点での重要課題です。しかし恒久的な理想は、教員と学生とが、共に成長できる「学びの場」の構築であると思います。これについては、今回FD合宿セミナーの懇親会でも話題の一つになりました。私は山形大学卒業生として、教員同士と同時に、学生達を交えた「相互研鑽」を、生ある限り追い求めたいです。

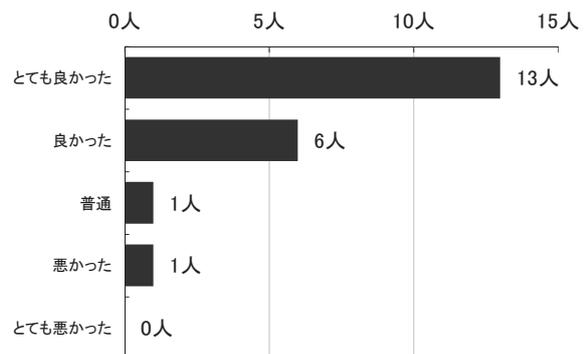
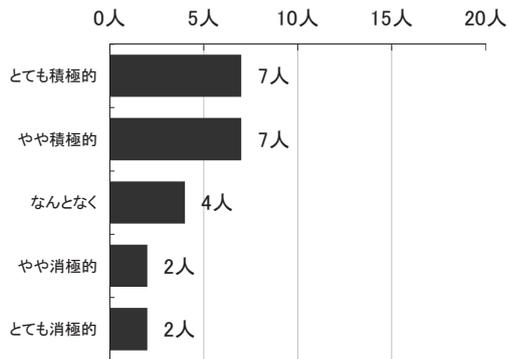
## FD合宿セミナーポストアンケート集計結果

1 このセミナーには積極的に参加しましたか。 2 このセミナーに参加して良かったと思いますか。

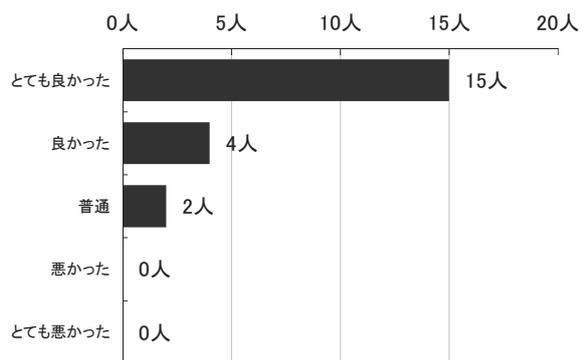
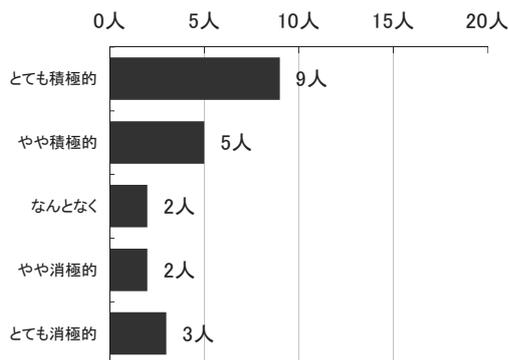
〈セミナー参加前〉

〈セミナー修了後〉

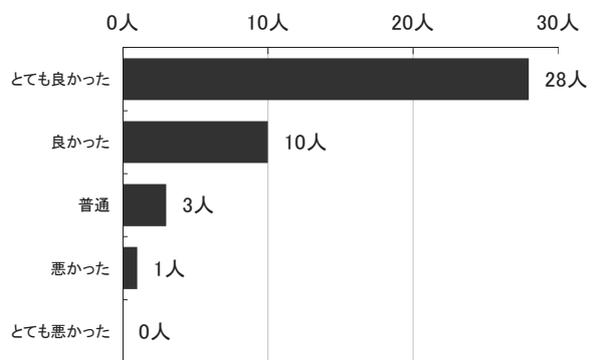
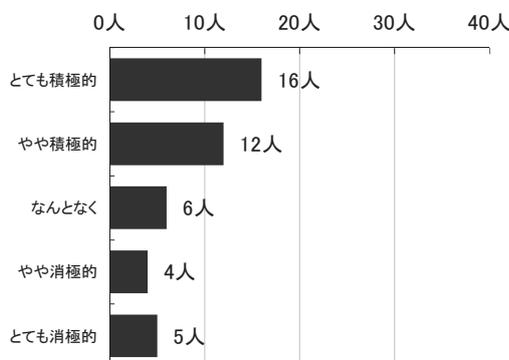
### ○第1チーム



### ○第2チーム

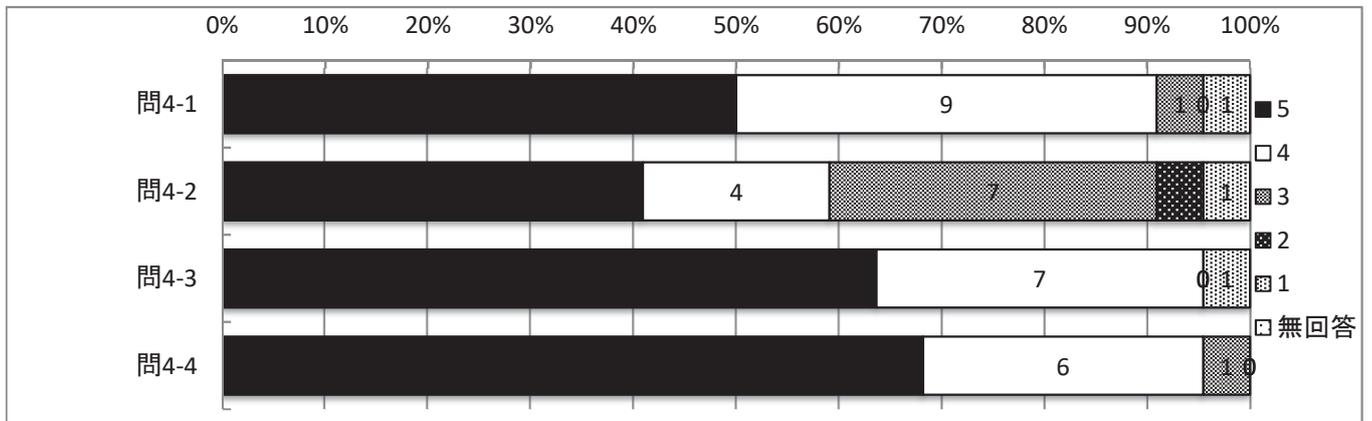


### ○全体

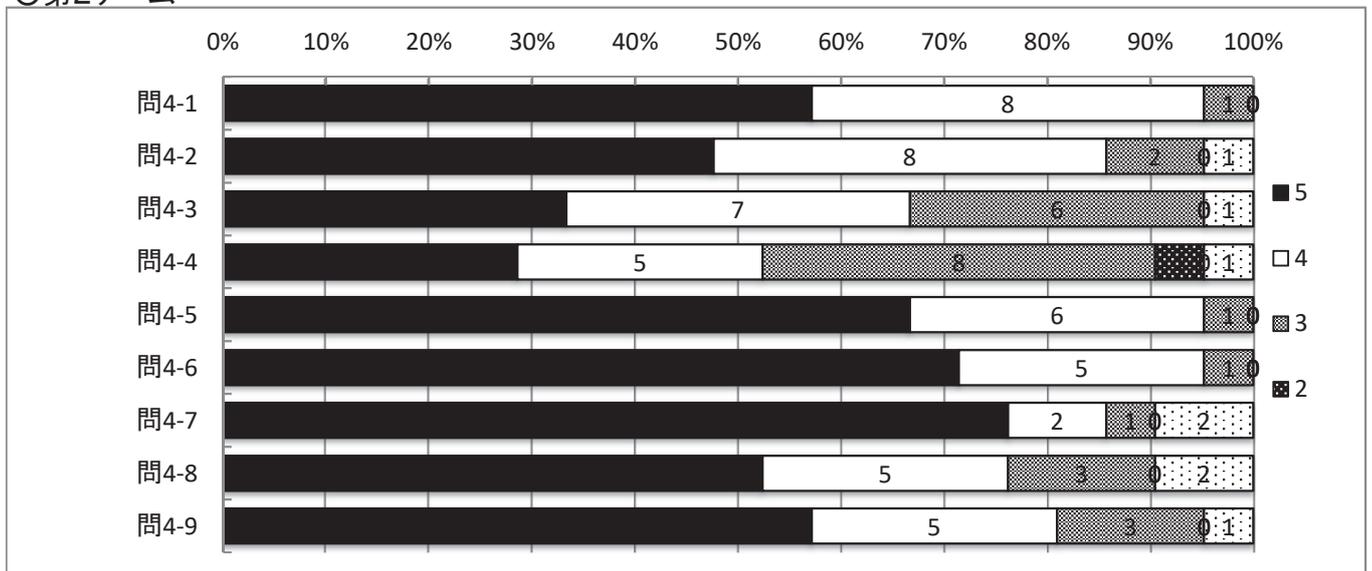


3 今回のセミナーにおける次の項目について、個人的な収穫度(意欲、理解、応用など)を5段階で評価してください。(5:良い・・・1:悪い)

○第1チーム

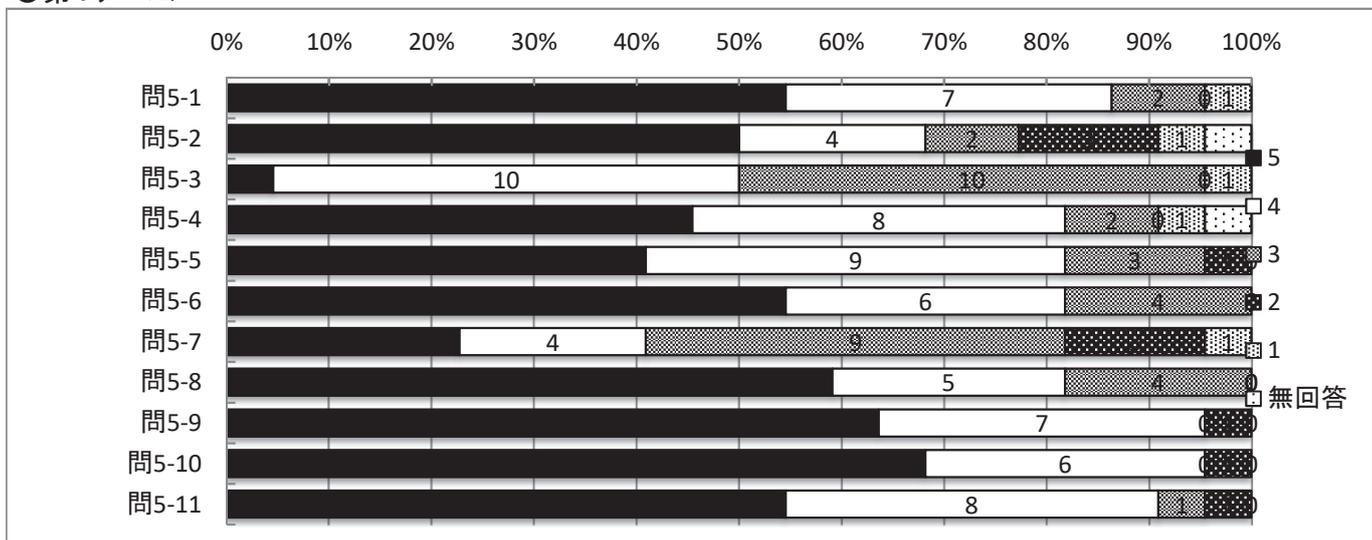


○第2チーム

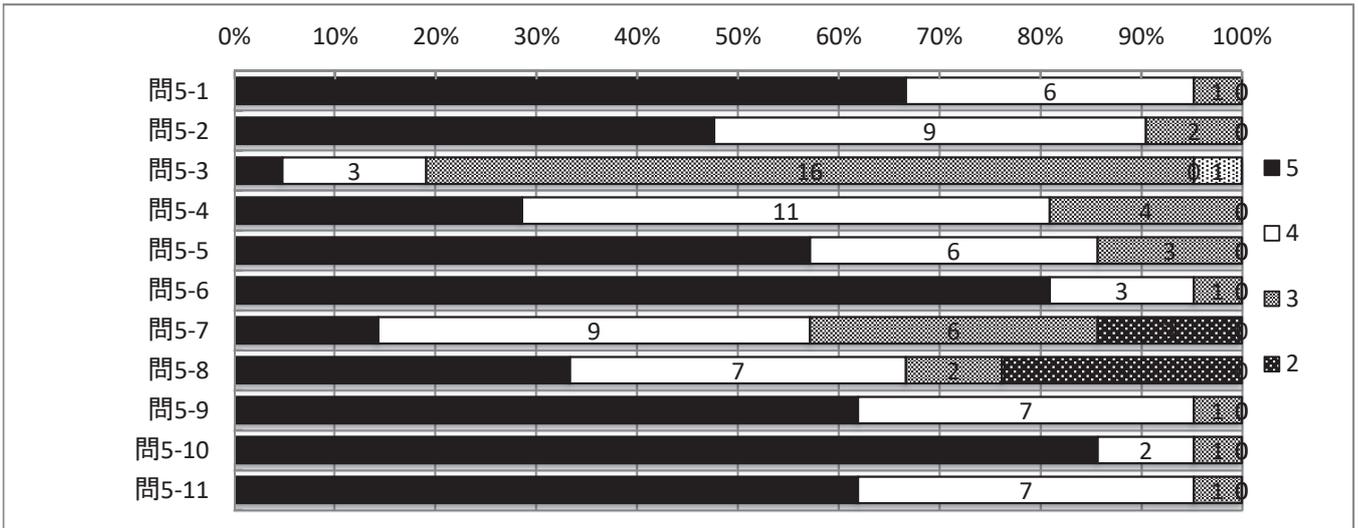


4 今回のセミナーを5段階で評価してください。(5:良い・・・1:悪い)

○第1チーム



○第2チーム



## ○自由記述

### (1)第1チームの回答

#### ① このセミナーにおいて、良かったと思う点

- ・参加者が交流できた点。
- ・シラバスの作成、模擬授業まで実施した点。
- ・時作り話し合いながら新たな授業プログラムを組むことができた。
- ・様々な分野の専門家で考える授業の可能性を感じた。
- ・3回目の参加ですが、いちばん良いチームでした。
- ・楽しめたこと。
- ・FD研修の重要性、アクティブ・ラーニングの本質を説明いただけた点。
- ・年齢、専門を混ぜたグループ作りが楽しい。
- ・初参加でいろいろと学ぶことが多かったこと。
- ・様々な他大学の先生と交流できたこと。
- ・同様の問題をかかえる他大学の先生とディスカッションできたこと。
- ・皆と交流できるのは一番良かったと思います。
- ・過去2回と比べると、ずっとチーム形成がスムーズにできた。自チーム以外についてもそのように思います。
- ・他の大学の参加者との交流や意見の交換。
- ・ミッションに取り組むことで、グループの教員と議論ができた。
- ・実際にグループワークをしたことで、学生の気持ちを少し理解できた。
- ・アクティブ・ラーニングの良さを実感できた。
- ・漫然と考えていたFDについて、考え始めることができた。建築の授業は比較的アクティブ・ラーニングを含んでいると思っているが、まだまだ改善できる余地があると考えさせられた。
- ・アクティブ・ラーニングについて、実際に体験型のセミナーを通じて学ぶことができたことが良かった。また他大学、他分野の先生方とセミナーや懇親会等を通じて、垣根を越えた意見交換やコミュニケーションをとれたことがとても新鮮だった。
- ・他大学の教員とグループ活動で課題に取り組んだ。
- ・アクティブ・ラーニングについて理解を深めることができて大変良かった。
- ・様々な分野の先生方と交流ができたこと。
- ・各学科との交流により、様々なことが学べた。
- ・いろいろな分野の方々といろいろお話しする機会が持て良かったと思います。
- ・他大学の先生と交流ができた点。
- ・アクティブ・ラーニングを学生役として、体験してみることができ、学生の立場で考えてみることもできた点。
- ・色々なバックグラウンドの先生方とディスカッションすることで、自分では気づけないグループワークの問題点や活

用法を知ることができた。

- ・これまで、講義の構成やシラバスの作成は自分一人で行っており、周囲の教員間での意見交換等はなかった。今回様々な分野の方々と、自分の専門外のテーマについて議論を行いながらシラバス作成を行えたことは、非常に良い刺激となった。
- ・今までとは違った授業のあり方を知ることができた。

#### ② このセミナーにおいて、良くなかったと思う点(改善すべき点)

- ・アクティブ・ラーニングに対する理論的な部分や必要とされている背景などのインプットがほぼなく、参加者の感覚的な部分でのアクティブ・ラーニングに終始していた点。参加者の対話や内省の時間がなく、現場への接続を併得る時間がもう少しあるといいなと思いました。
- ・ふせんの枚数が少なく、模造紙やホワイトボード・ペンの備品がなく、一番導入しやすいツールが揃っていないのが残念でした。
- ・各セッション毎の司会や記録など役割を指示するか、割り当てるかすると進みやすいのでは、特に初日。
- ・会場の質(少し金額が高い)
- ・布団が羽毛布団なので、今の時期はあつい。
- ・自分は簡単な役であったのに、セリフでミスがあった。
- ・懇親会の告知は食事前をお願いします。
- ・版画固定されてしまい、あまり他班のメンバーとコミュニケーションできなかった。
- ・各プログラムにおいて、もう少し時間の余裕があると良かった。しかし、時間制限があることで、その時間内で目標を達成すべきことが明確になったことは良かったと思う。
- ・フード、ドリンク関係
- ・ビデオ、写真撮影の許可を得てほしい。(個人的には撮影してほしくない)
- ・突然「グループディスカッションをはじめて」と言われてとまどった。しかしながら、とまどう感じも学生の立場になることができたとも言える。
- ・所属している大学がクォーター制で、15回のシラバスを考えるのが難しかった。
- ・私が担当している講義が物理や数学などの基礎科目なので、今回のようなグループワークは取り入れにくいと感じた。分野ごとに違ったアクティブ・ラーニングのスタイルがあるので、ある程度近い分野の人で集まることも必要だと思った。
- ・もう少し時間があつたらと思った。

#### ③ このセミナーに参加して、これからの自分の授業並びに教育活動をどのように展開していこうと考えていますか。

- ・日頃アクティブ・ラーニング形の授業を展開している中では既知のものが多くあまり得るものはありませんでした。
- ・対象者がアクティブ・ラーニングの初級者向けなのかも

知れませんが、であるならばそういった点を事前に明記しておいた方がいいかもしれません。(自分の期待値が高かったのではなおさらそう感じるのかも知れません)

・学科、コースを越えて、授業プログラムを形成する試みを実践してみたいと考えました。

・新たな授業形態の在り方を検証し、前向きに取り入れていきたい。例えば、場の問題、テーマ、そして社会との関係などこれからの学生を育むためのプログラム。

・授業内容をどのように組み立てるのかについては個別の問題ですが、今回のレクチャーを通して「楽しい/楽しめる授業づくり」を忘れないようにしたいと思います。

・学生の興味を引く授業、トライアンドエラーで作上げていきたい。

・工学の授業内にアクティブ・ラーニングをどのように取り入れるのが良いのか考えて実践していきたいと思います。

・アクティブ・ラーニングを自分の授業に取り組みます。

・授業設計から模擬授業に至までの作業を学生達自身にやらせてみたい。 (FD 委員ではないのですが、10月末に学部 FD 研修会を任せられています。そこでは学生達だけで「実演」するつもりでしたが、出席教員の中に学生を混ぜる形で実施します)

・FD を推進する立場だと思うので、キャンパス内に広めていきたい。

・「アクティブ」とは何かを再考できた。より良い授業にしたい。

・学生自ら考える教育、授業を行っていきたい。実験的で良いということは、安心して実験的な学生と一緒に授業をつくっていくことをしたいと思います。

・今回のセミナーでは、受講者が少数であることを想定したアクティブ・ラーニングの教授方法を考察していることが主だったが、今後、大人数の講義でもこれを活用できるように模索していきたい。そのためにまずは、学生の主体性を作る切り口の講義内容を考え、実施していこうと思う。

・第三者の視点を意識して客観的な展開を心がけたい。

・まず、授業を想定して仮に授業を計画してみたいと思いました。

・小さなアクティビティから少しずつ取り入れようと思う。

・資格を取得することが目標の学科であるため、アクティブ・ラーニングを取り入れるのが難しいと思っていたが、学生にもっと考えさせる授業を考えていきたい。

・これまで授業で行っていた方法とは異なる様々な分野の先生方のアクティブ・ラーニングについての考え方を知ることができました。授業にも取り入れられると良いと思いました。

・アクティブ・ラーニングを通して、授業そのものを活発にするだけでなく、今後の自主学習の方法を勉強する機会になるように、また、学生同士の仲が深まるように展開していきたいと思います。

・授業ではないが、ブレインストーミングなどが必要な会議などに生かせそうに感じた。

・グループワークを通じて、アクティブ・ラーニングのある一つの形を体験することができた。自分の教育分野でどの程度導入していけるか、講義形態や効果を考えながら模索していきたい。

・現実には専門教科では、応用することはむずかしいと思うが、教養科目では使って行きたいと思う。

#### ④ 自由に感想を書いてください。

・参加された皆さんがどれだけアクティブ・ラーニングの本質的な部分を理解できたのか気になりました。

・日頃そういうタイプの授業をされていない方が多かったので特に。「アクティブ・ラーニング」という注意しなければいけないと自戒を込めて思いました。

・リラックスして研修ができました。このような雰囲気だからこそ、面白い授業設計ができるのだと思いました。ありがとうございました。

・小田先生との懇親会での深い話、部屋に戻ってからの語り合いが充実していて良かった。

・2013年、2014年と比べるとあっという間に終わりました。正直忙しい時期でしたが、多少無理をしても参加して良かったです。

・SD 義務化に伴い、教員も SD の対象となりました。次回以降で、FD 側からこの問題に取り組んでいただければ幸いです。

・毎年、スタッフの方も運営大変かと存じますが、参加者は感動しています。ありがとうございました。

・これまで、他大学の先生方と教育方法について意見を交わすことがなかったことから、とても貴重な機会でした。今後もこうした貴重な機会に積極的に参加をしていきたいと思いました。

・二日間大変勉強になりました。とても有意義な意見交換ができました。ありがとうございました。

・貴重な経験ができて本当に良かったです。ありがとうございました。

・他大学の先生と交流することができ楽しかったです。

・小田先生のお話がとても興味深かったです。

・アクティブ・ラーニングは、必ずしも学生の体験学習というわけではないことを再認識できた。講義の画一化を防ぎ、自由な発想の元で学生の自主的な学習意欲や思考を引き出せるようにしたい。今回は貴重な勉強の機会を与えていただき、ありがとうございました。

・結構唐突なテーマの振り、短い時間配分など、困惑したことも多かったですが、以外となんとかなるもんだと感じました。本当に苦労しましたが良い思い出です。土木分野は「チームプレイ」が重要ですので、巧く取り入れたいと思います。

・素晴らしかった。スタッフの方々が親切に、気を遣っていただき、ありがとうございました。

## (2) 第2チームの回答

### ① このセミナーにおいて、良かったと思う点

- ・様々な分野の先生から、授業における難しさや工夫を聞くことができた。
- ・障害学生の対応について勉強になりました。
- ・ホットなテーマについて、コンパクトにまとめていただいていたありがとうございます。本務校に戻って、しっかり報告をしたいと思います。参加して良かったです。先生方の熱意が素晴らしかったです。
- ・具体例が分かり易く、自分も取り入れたいと思った。
- ・授業内容について意見交換ができた。どの大学もかかえている問題は同じなのだった。
- ・知的障害者と発達障害の差異の重要性に気づいた点。
- ・発達障害という学生がいるということがわかった点。
- ・授業内容を改善しようと思った点。
- ・セミナー自体が講義の進め方の参考になった。
- ・体験型のエッセンス、工夫をたくさん学びました。
- ・発達障害への対応の仕方を深く考えることができました。講義のやり方次第では、個別、全体の進め方ができると実感しました。
- ・発達障害について知り考えることができた。
- ・大島先生のWS
- ・発達障害について耳にすることはあったが、具体的に知る機会を積極的に持とうとあまりしてこなかったのが、基礎的な情報を得ることができて良かった。
- ・授業方法について、いろんな先生方の工夫を聞くことができて良かった。
- ・時間をゆっくり使った交流とディスカッション。お二人の講師の方々がとても良かったです。楽しい講義でした。
- ・いろいろな大学、領域の先生とお2人の講師の方など聞けたり、話し合えてよかった。
- ・どのセッションも勉強になりました。
- ・実際に悩んでいるトピックスを取り上げていただいた点。
- ・最初のアイスブレイク。
- ・4月より教育現場にはいって、学生の理解度、自分の授業のすすめ方等なやんでいましたが、接し方や授業のすすめ方(板書、資料を上手に使う)を学べた。
- ・現在課題に感じている点(特に発達障害の学生)について丁寧に解説いただき、グループワークで理解を深められたから。
- ・専門の先生の話聞いたこと。

### ② このセミナーにおいて、良くなかったと思う点(改善すべき点)

- ・グループワークの人数が多すぎると思います。
- ・もう少し長い講義でも良かったと思います。(内容は飽きさせないものだったので)
- ・会場、施設面。「悪い」という程度ではないが、例えばセ

ミナールームはもう少し「オープンな環境」がより良いと思います。

- ・「さん」づけが行われていなかった。ぜひやってほしい。
- ・施設があまり良くなかった。
- ・人間の能力といった根本をさらにえぐる探求に踏み込んで考えたい。個々の授業内容に即した検討に結びつける必要性を感じました。
- ・宿泊場所は温泉とかが良かった。
- ・一番最後が慌ただしかったと思います。アンケート書きながら他の人のふりかえりを聞くとか、もっときちんと時間をとってやればよかったですと思いました。

### ③このセミナーに参加して、これからの自分の授業並びに教育活動をどのように展開していこうと考えていますか。

- ・障害学生の評価方法(試験のつくり方)について再考しなければと思いました。
- ・発達障害を持った子が授業に参加している、という認識を持って、学生にわかりやすい授業をしていこうと思います。
- ・特に障害者対応について、思い返してみると思い当たるフシもあり根気強く考えていかなければと思いました。
- ・本学のFD活動を組織的なものにしたいです。
- ・授業の特にパワーポイントを簡潔に直す。
- ・学生をいかに授業に参加してもらうか、を念頭に置きながら講義の進行を考えていきます。
- ・発達障害の可能性のある学生を意識することができる。対応はその場で考えていくしかないと思うが・・・。
- ・講義内容を限定する際には聞き手である学生の目線にたち、どこまで身につけて欲しいのか、ということを吟味していきたい。また、一方的に話すだけでなく作業を入れるなどして、90分間学生が集中力を持続させるように工夫していきたい。
- ・分かり易い、面白い授業への改善。
- ・具体的な授業計画の再構築。
- ・発達障害児に関心があり、参加し、北星学園大学の取組を聞くことができてよかった。
- ・授業力の向上もたくさんの方と話し合え、また、講義の内容も参考になりました。
- ・障害者に対する対応、講義の改善に取り組みたい。
- ・特に、支援が必要な学生に対する学習フォローに展開していこうと思う。
- ・パワーポイントのシャワーをやめ、10をおしえるのではなく、8をおしえて8理解してもらうように努力していきたいと思う。
- ・まず、チームでも話題になった情報量の問題(情報のシャワー)はすぐに後期から手をつけることから初めていければと考えています。

#### ④ 自由に感想を書いてください。

- ・2日間大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・参加して大変勉強になりました。楽しかったです。アイスブレイクの口を使う漢字が思い浮かなくてくやしかったです。
- ・女性にとって宿泊は負担が大きいので日帰りにしていただきたい。
- ・新任の為、現在の大学における教授法の現状がよくわかりました。ありがとうございます。
- ・次回参加する際には、さらに対応力を高めて臨みたいと存じます。
- ・懇親会は楽しい思い出になります。様々な分野の異業種の考え方に触れ貴重な機会になりました。
- ・山形大学さんへの要望ではありませんが・・・専門教育を対象としたセミナーがあれば参加したい。
- ・様々な分野の先生方とお話しする機会をいただき、ありがとうございました。
- ・お酒をもう少し飲んでもよかったかな、もっと質問したりもっと多く話してもよかったなと反省しています。ほどほどでよかったのかも知れませんが。楽しかったです。
- ・今後もセミナーを継続してやっていくと教員のFD向上につながると思いました。
- ・アンケート記録時、感想 800 字といわれたので、そこを分けてやったほうがよいと思います。
- ・参加して本当に良かったと思います。
- ・2日間お世話になりました。有難うございました。
- ・ありがとうございました。
- ・発達障害との理解が深められたので良かったです。
- ・自分の大学にもどって、他の教員に合宿の内容をレクチャーしていきたいと思いました。
- ・貴重な機会をありがとうございました。
- ・お忙しいところありがとうございました。

平成 29 年度 第 17 回 山形大学FD合宿セミナー  
 「相互研鑽による大学教育の飛躍をめざして」  
 ポ ス ト ア ン ケ ー ト

第1チーム

所属		氏名	
----	--	----	--

1 このセミナーには、積極的に参加しましたか。○で囲んでください。

①とても消極的 ②やや消極的 ③なんとなく ④やや積極的 ⑤とても積極的

2 セミナーが終了した現在、参加して良かったと思っていますか。○で囲んでください。

①とても悪かった ②悪かった ③普通 ④良かった ⑤とても良かった

3 どのようにして本セミナーの開催を知りましたか。

--

4 今回のセミナーにおける次の各項目について、個人的な収穫度(意欲, 理解, 応用など)を5段階で評価し, ○で囲んでください。

	悪い ←				→ 良い
(1) 教育全般	1	2	3	4	5
(2) シラバスの書き方	1	2	3	4	5
(3) アクティブ・ラーニング	1	2	3	4	5
(4) 参加者の相互合流	1	2	3	4	5

5 今回のセミナーを5段階で評価し, ○で囲んでください。

(1) プログラムの内容の選択はいかがでしたか。	1	2	3	4	5
(2) 内容に対する時間配分はいかがでしたか。	1	2	3	4	5
(3) 内容の難易はどうでしたか。(1:簡単...5:難しい)	1	2	3	4	5
(4) グループ学習による体験型のFD合宿セミナーの教育効果はどうでしたか。	1	2	3	4	5
(5) このセミナーで示されたアクティブ・ラーニングを, あなたの授業に取り入れようと思いますか。	1	2	3	4	5
(6) このセミナーの成果を, これからのあなたの教育活動に活かそうと思いますか。	1	2	3	4	5
(7) 今回のセミナー会場として『協同の杜JA研修所』を利用したことについては, いかがでしたか。	1	2	3	4	5
(8) 今回のセミナーの開催時期はいかがでしたか。1または2に○を付けた方は, 下記の欄に御希望の時期を具体的に記入してください。 ※御希望の時期 [ 月 旬頃]	1	2	3	4	5
(9) 今回のセミナーの企画・運営を総合的に評価してください。	1	2	3	4	5
(10) 今回のDR陣を総合的に評価してください。	1	2	3	4	5
(11) 今回のセミナー全体を総合的に評価してください。	1	2	3	4	5

【裏面にも御記入願います。】

自由記述欄

6 このセミナーにおいて、良かったと思う点

7 このセミナーにおいて、良くなかったと思う点(改善すべき点)

8 このセミナーに参加して、これからの自分の授業並びに教育活動をどのように展開していこうと考えていますか。

9 御自由に感想を書いてください。

平成 29 年度 第 17 回 山形大学FD合宿セミナー  
 「相互研鑽による大学教育の飛躍をめざして」  
 ポ ス ト ア ン ケ ー ト

第2チーム

所属	氏名
----	----

1 このセミナーには、積極的に参加しましたか。○で囲んでください。

①とても消極的 ②やや消極的 ③なんとなく ④やや積極的 ⑤とても積極的

2 セミナーが終了した現在、参加して良かったと思っていますか。○で囲んでください。

①とても悪かった ②悪かった ③普通 ④良かった ⑤とても良かった

3 どのようにして本セミナーの開催を知りましたか。

4 今回のセミナーにおける次の各項目について、個人的な収穫度(意欲, 理解, 応用など)を5段階で評価し, ○で囲んでください。

		悪い ←			→ 良い
(1) 授業改善全般	1	2	3	4	5
(2) 学生を中心とする教育・授業の発展	1	2	3	4	5
(3) グループ学習形式による学生主体型授業の体験	1	2	3	4	5
(4) 所属大学に対する主体的な参画意識	1	2	3	4	5
(5) プログラムⅠ 授業に求められる合理的配慮とは? - 障害者差別 解消法と授業	1	2	3	4	5
(6) プログラムⅡ 学生の学修を支援する授業とは? - 発達障害等の 配慮を必要とする学生が受講している授業の工夫	1	2	3	4	5
(7) プログラムⅢ 授業力の向上-わかりやすい授業を実現するために-	1	2	3	4	5
(8) プログラムⅣ 研修のふりかえりとまとめ	1	2	3	4	5
(9)参加者の相互合流	1	2	3	4	5

5 今回のセミナーを5段階で評価し, ○で囲んでください。

(1) プログラムの内容の選択はいかがでしたか。	1	2	3	4	5
(2) 内容に対する時間配分はいかがでしたか。	1	2	3	4	5
(3) 内容の難易はどうか。(1:簡単...5:難しい)	1	2	3	4	5
(4) グループ学習による体験型のFD合宿セミナーの教育効果はどうか。	1	2	3	4	5
(5) このセミナーで示された学生主体型授業を, あなたの授業に取り入れようと思いませんか。	1	2	3	4	5
(6) このセミナーの成果を, これからのあなたの教育活動に活かそうと思いませんか。	1	2	3	4	5
(7) 今回のセミナー会場として『協同の杜JA研修所』を利用したことについては, いかがでしたか。	1	2	3	4	5
(8) 今回のセミナーの開催時期はいかがでしたか。1または2に○を付けた方は, 下記の欄に御希望の時期を具体的に記入してください。 ※御希望の時期 [ 月 旬頃]	1	2	3	4	5
(9) 今回のセミナーの企画・運営を総合的に評価してください。	1	2	3	4	5
(10) 今回の講師・DR陣を総合的に評価してください。	1	2	3	4	5
(11) 今回のセミナー全体を総合的に評価してください。	1	2	3	4	5

【裏面にも御記入願います。】

自由記述欄

6 このセミナーにおいて、良かったと思う点

7 このセミナーにおいて、良くなかったと思う点(改善すべき点)

8 このセミナーに参加して、これからの自分の授業並びに教育活動をどのように展開していこうと考えていますか。

9 御自由に感想を書いてください。



## 第4章

### 基盤教育 FD ワークショップ

# 山形大学教員研修会「第19回基盤教育ワークショップ」

日 時：平成29年9月8日（金）  
会 場：山形大学基盤教育1号館  
主 催：山形大学教育開発連携支援センター

## 趣 旨

学士課程教育におけるFDが義務化された現在、大学教育の質の向上が以前にも増して求められています。本ワークショップは、大学教育の発展を目的とし、相互研鑽の理念の下、本学の教職員及び「FDネットワーク“つばさ”」を始めとした学外からの参加者と一緒に議論を深めていきます。

## 日 程

10:00 開会

あいさつ 山形大学教育開発連携支援センター長  
出口 毅

日程説明

10:15 【第1部】基調講演

演題「改革に役立つカリキュラムマップの実践例  
：追大はモデルとなるか」

講師 池田 輝政  
追手門学院大学 基盤教育機構長

12:00 昼食・休憩

13:30 【第2部】ラウンドテーブル

第1分科会「学士課程教育の質保証  
～直接評価と基盤力テスト～」

コーディネーター：山形大学 学術研究院  
学士課程基盤教育機構 教授 千代 勝実

第2分科会「初年次教育のコア・カリキュラムを考える  
～山形大学導入科目改革 スタートアップセミナーの事例～」

コーディネーター：山形大学 学術研究院  
理学部 教授 栗山 恭直

第3分科会「地域連携型キャリア教育の取組  
～実践と評価のポイントについて～」

コーディネーター：山形大学 学術研究院  
学士課程基盤教育機構 准教授 松坂 暢浩

16:30 閉会

## ○基調講演の様子



## ○ラウンドテーブルの様子



## 【第1部】基調講演 記録

司会：小田

おはようございます。定刻となりましたので、平成29年山形大学教員研修会第19回基盤教育ワークショップを開催します。それでは開催の挨拶としまして、主催者側から山形大学教育開発連携支援センター長の出口毅よりご挨拶をいただきます。



挨拶：出口

皆さんおはようございます。本日は学内外、県外からも基盤教育ワークショップにご参加いただき誠にありがとうございます。山形大学教育開発連携支援センター長を仰せつかっております出口と申します。どうぞよろしく願いいたします。

さて、2008年からFDの義務化ということがあり、間もなく10年となります。FDはその間広く大学に普及してきたといえます。山形大学では今年でFD合宿セミナーが17回目、そしてこのワークショップが19回目の開催ということになります。FD義務化以前から教員の研修会を継続して続けていますことは、本学の優れた取組みだというふうに自負しております。

まず、本日の基調講演では『改革に役立つカリキュラムマップの実践例』という演題で追手門学院大学 基盤教育機構長の池田先生にご講演をいただきます。池田先生にはお忙しい中、遠方よりおいでいただきまして誠にありがとうございます。私は10年以上前に読ませていただいた「成長するティップス先生」を先生からイメージします。このタイトルは最初読んだ時ということなのだろう、とわくわくしながら読んだという覚えがあります。現在ご所属の大学がモデルとなるかとサブタイトルに入っておりますが、主催者としては当然モデルとして学びたいということでお招きしております。大学における改革の中で、議論や活用事例など具体的なお話を伺うことを楽しみにしております。どうぞよろしく願いいたします。

また、午後は本学の取組みを題材にして3つの分科会を用意しております。学士課程教育の質保証、コアカリキュラム、キャリア教育について、コーディネータ・パネリストと共に参加者の皆様とじっくり議論し学び合う機会にしたいと思っております。これまでと同様、これらのテーマについて考えることを通して大学教育を考える充実した時間となることを期待しております。

最後に教育開発連携支援センターはこれまでの教育実践力の開発・向上に向けた研修等の実績が評価され、8月に「教育関係共同利用拠点」に認定されました。これまで以上に皆様におかれましては当センターの事業にご協力いただくと共に今後の事業展開や現代的な教育課題の対応に連携して取り組んでいただけますようお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

それでは本日よりどうぞよろしく願いいたします。



司会：小田

どうもありがとうございました。

それでは今日一日の16:30までの長きにわたりますが、皆さんと充実したお話ができることを願っております。それでは早速ですが午前の部の基調講演にはいります。

今回講師をお願いしたのは追手門学院大学基盤教育機構長の池田輝政先生です。先生は九州大学の大学院を出られ、同大学の助手、大学入試センター教授、メディア教育開発センター教授、そして名古屋大学教授のときに先ほど話しにありました「成長するティップス先生」という本を出版されました。全国で誰もが知る国内きってのFDの教材で、皆様に支持される教材として大変な評判をよびました。山形大学でも感化されて同じようなものを作りました。また、名古屋大学に在職された時に、池田先生はメルボルン大学のスケールの大きなマップを参考にされて大学の大きな見取り図と戦略を描かれました。かなり巨大なものです。私もスケール感を学ばせていただきました。

それから名城大学教授になられまして、大学院研究科長、副学長・理事(教育担当)を歴任されました。名城大学におられた時に私をFD講演会の講師として呼びいただき、お話をさせていただきました。

2017年4月現在は追手門学院大学教授、学長補佐(IRとFD担当)、基盤教育機構長、アサーティブ研究センター長、IRオフィス長を務め、2016年3月からはまなびのコミュニティ協会の評議会議長を務められています。先生は「成長するティップス先生」で有名ですが、専門の一つとして高等教育の戦略経営というものがあり、この戦略経営という広いスコップを持っておられる、研究者としては日本では稀有な存在だと私はずっと感じており、これは凄いといつも尊敬しているわけです。視野の広さをその大学に落とし込んで、それをさらに教室の中に落とし込もうという一貫性というのは、日本で

は意味のある形だと思っております。そういうところで本日お話しただけの事は、私個人としても楽しみにしております。

タイトルは「改革に役立つカリキュラムマップの実践例：追大はモデルとなるか」となっておりますが、先生自体の経歴からいってもスケールの大きいことで、一大学に決してとどまることではないと思います。質疑応答の時間をとっておりますので、是非とも皆様の大学と照らし合わせながらお聞きいただきたいと思います。

それでは先生よろしくお願いたします。

## 池田

おはようございます。今日ホテルでかつての仲間と会って開口一番「元気ないですね」と言われてしまって、今日の基調講演では元気を見せないといけないなと思っておりますが、一生懸命がんばりますのでよろしくお願いたします。



今日はこちらから一方向で話すという発想でない基調講演にしたいなと思っております。本日の話題はカリキュラムマップです。先ほど紹介された「成長するティップス先生」の本のあと書きに「一つ一つの科目のシラバス設計にとどまらずカリキュラム全体の設計にまで踏み込んでやる課題が残されている」という趣旨のことを書いています。カリキュラム全体に手をつけるのは難しい課題です。しかし、そこまで踏み込んだティップスが出来てはじめて「成長するティップス先生」の目標達成になるのかなと私たちは考えていました。あの時点では予定は立ちませんでした、やっと目標にかなり近いところに来ました。当時は「さよならティップス先生」というタイトルが最終ゴールになるといいと思っておりましたが、「学び成長し続けるティップス先生」というタイトルで一つ書かなきゃいけないという思いは強くなっています。ここにA3判縦長の追大の基盤教育カリキュラムマップをお示ししていますが、学内でも作成途上の限定配布資料です。これは2019年度から運用開始するために準備しているカリキュラムマップです。このマッピング手法を提案したのが私です。これを教務課と協働して担当教師や教室などの条件と照らし合わせ、建築でいう構造計算をしてもらい、時間割編成や教務運営に移せるよ

うに仕上げつつある段階です。カリキュラム設計の研究と開発が実務レベルに使えるツールとして仕上がってきたといえます。そういう意味では研究と実務の橋渡しが可能となった事例になります。

先ほど小田先生から私の紹介がありましたが、私自身は研究者としてのアイデンティティをもって大学院で学び、教員のアイデンティティはその後です。これまで研究者あるいは教育者として自分に足りないものは何かを考えてきましたが、振り返ると名古屋大学ではじめて実践と研究を橋渡しする方向が生まれたとわかります。私が大事にしたいのは学問の理論や「科学」です。アイデアや仮説・分析・検証・確からしい根拠に基づいた理論が風雪に耐えて、ある意味普遍性を認められる。そうした理論とは個人が身につけ役立てるようになるまでには時間がかかります。でも、そういう普遍的な科学・理論というものは国境を越え、人や年齢を超えて使うことができる。この科学を使う力は伝統的に大学が強かったのですが、だんだん企業の方にシフトしています。私は科学を使う力を大学の教育や経営にも応用することにこだわりたい。

もう一つのこだわりは、「戦略」という考え方に会ったことに始まります。「成長するティップス先生」のアイデアと開発にはこの考え方の力があつたかも知れません。「戦略」は全体を俯瞰し構想することから始まります。それを開発ベースに乗せて細部を作り込み機能することを確認する。私たち教師にとっても大事な考え方です。「成長するティップス先生」のなかで宛先を学生にする「授業デザイン力」にこだわった理由はここにあります。これは分析力を重視する「科学」の考え方には弱いところかも知れません。ものごとを俯瞰する力は科学の思考法でいえば、演繹と帰納の思考法を双方向で行ったり来たりする使い方に近いのかな。そんなことがようやく分かってきました。

ですから、カリキュラム全体を誰宛てに俯瞰できるようなマップを作るのかと考えたときに、宛先を文部科学省と答える人は戦略的思考法が弱いと判断します。「マップで俯瞰できるように」するのは文部科学省ではなくて高校生でしょう。あるいは、父兄もはいます。学ぶ人に向けてカリキュラムマップを作ることにまで認識が変わらないと「戦略」の考え方にはならない。これは「科学」の思考法からはなかなか出てきませんね。相手とコミュニケーションのできるカリキュラムマップを設計・開発していくには「科学」と「戦略」の二つの思考の力がどうしても必要になる。ということ伝えるべきだと気づいたのは最近ですね。そのきっかけは、この二つの思考法の大事さに気づいて発信されている企業人の記事を読んで改めて確信したことです。大学教育の中で「科学・戦略」の意図をもってカリキュラムを伝える工夫はされているのか、私は現状に不安を感じる状況です。個人的には、カリキュラムをマッピングという方法で設計・開発することで、学生募集や新入生オリエンテーションを通して自然な形で高校生や大学生に伝えられないかと勝手に考えています。という話を前振りにして、用意したスライドの中で大事なポイントを解説させていただきます。

「追大はモデルになるか」という副題は、追大で挑戦させてもらってできたことを、色んな大学でも受入れてもらいたいなど考えて付けたものです。



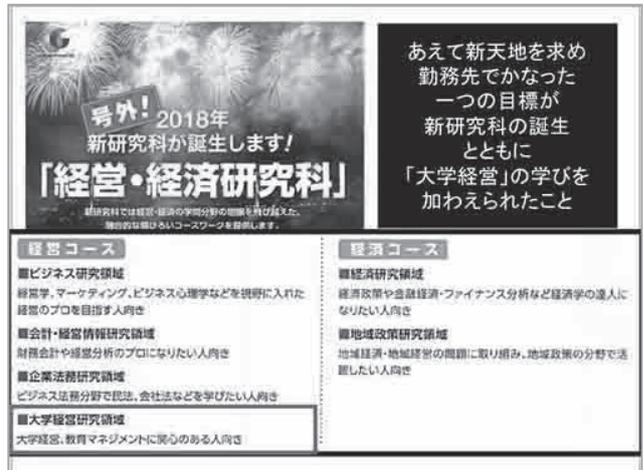
まず私に起きた最近のグッドニュースの紹介です。日本教育会の愛知県支部が主催する教員研修会を16年間続けてきました。毎年11月初旬頃に、県下の公立高等学校の先生が参加して土日の丸2日間を使う合宿研修です。研修講座の企画・設計を任された先生から「手伝ってくれ」と頼まれたのがきっかけです。いまから16年も前に学校の教師に戦略的思考法が必要だと判断した、その先生の先見の明には頭が下がります。研修会1期生から15期生の修了生が一堂に集まるこの夏の研修会で話した話題を紹介します。

文部科学省は最近、「課題解決のための思考力や判断力・表現力」、「主体的に取り組む態度」という学力の新しい要素を打ち出しました。これらは世界の共通語として捉えれば、コンピテンシーをどのように身につけさせるかというテーマになると思います。このテーマについて私自身はコンピテンシーの本質は何なのかという問いかけをしながら学術的に探ってきました。いまでは、コンピテンシー概念の本質部分にはモチベーション・マネジメントが位置づくのではないかと考えています。専門用語としてのモチベーション・マネジメントは最近使われるようになっていますが、まだコンピテンシーの概念に関連づけて位置づけられてはいないようです。ましてや、カリキュラムに対するモチベーション・マネジメントの意味づけはまだ意識されてはいないと思います。

モチベーション・マネジメントというのは、自分自身が大事にしていることを持ち努力を続けることです。子どもにも教師にとっても大事な能力です。にもかかわらず、モチベーション・マネジメントをどのように学んで身につけるかは、教育の範囲としては未知の部分です。研修会では、モチベーション・マネジメントの育成を先生方に訴えました。ベテランの先生方からどんな反応が返ってくるのか興味があったのですが、先生方からの反応は予想以上に良かったです。例えば、「要するに、私たちが子どもや生徒のモチベーション・マネジメントをきちんと自覚して可視化して方法化して、それを指導に役立てなきゃいけないということを言いたいのですね」というコメントが返ってきました。私はドンピシャなので「その通り

です」と答えるしかありません。教師が手取り足取りで手をかけすぎると、生徒は「先生の言うとおりにすればいいや」という受け身の態度になります。生徒が誠実に努力して優等生になっても、身についた態度はなかなか抜けません。それではたとえ大学での勉学では通用したとしても、社会に出ると本人も会社も困ることになります。「どこまで手をかければいいのか」という悩みは大学の先生もお持ちですが、本人のモチベーションのスイッチを切るのではなく、少々突き放すことや、見守ることなど方法はいろいろあり得ます。

モチベーション維持に関しては、これまでの私のキャリアでも本当に気持ちがぶち切れそうな場面がありました。だけど、幸いにして、それにストップをかけるまでにはならなかったから、いまここで教育学のなかに意味づけて話ができているのでしょう。そう考えると、自分で自分のモチベーションをコントロールする力を、学術と戦略の両方の観点から、学校や大学の教育に広げたいというのが私の新たな目標宣言になります。カリキュラムマップの手法も現実を使って前任校では実証できなかったことが見通せたので、追手門学院大学に移った甲斐があったということになります。



二つ目のグッドニュースです。仕事上の目標を見失わずに気持ちをつないできたもう一つが、大学職員の専門職化をお手伝いするための大学院づくりでした。前任校ではそれが実現できて10期生までは続きましたが、組織再編で現在は募集停止になっています。追手門学院大学では新たな研究科の中に大学経営領域の専攻を新設できました。赴任のタイミングとしても幸運でした。新研究科はざっくりばらんに言うと定員充足の生き残り策です。具体的には、経済学研究科と経営学研究科を併せて充足率が実質見込めるように統合することでした。私の赴任前に両研究科は当事者同士で統合策を進めていましたが、当事者間でまとめるのに難航していました。そんな理由で、第三者の私が統合案をまとめる座長に任じられたのでしょうか。座長としてお願いしたのが、三つの方針を組み込んだカリキュラムマップを作って審議を進める案です。設置の事務スタッフと一緒にカリキュラムマップ案のたたき台を提出しました。マップを活用する効果としては、学問や専門分野の系統性を大事にする議論ができることです。それから社会人を含む入学生の多様な学習歴に配慮をしたカリキュラムの

議論ができることです。人間関係のしがらみはマップ上では議論しないことにしました。この三つがポイントでした。結果的には実質6ヶ月くらいでまとまり2018年4月の新研究科発足に間に合うことになりました。新しい経営・経済学研究科に企業経営や公共経営の専攻に加えて大学経営の領域を入れてもらったのはありがたかったです。

新研究科には戦略的カリキュラム設計の手法を生かす	
1	新研究科の設置計画（設置要綱）
2	新研究科の設置計画（設置要綱）
3	新研究科の設置計画（設置要綱）
4	新研究科の設置計画（設置要綱）

では、本日お渡しした研究科のカリキュラムマップをご覧ください。これは文部科学省の設置届出審査の資料として要求されてはいませんが、事務スタッフが審査資料に入れることを提案してくれました。私にとっては嬉しい提案でした。

マップには人材養成目的、学位授与方針、カリキュラム編成方針、入学受入れ方針の三ポリシーがそれぞれの科目群と対応しています。マップを使って博士課程から修士課程の一貫性を一覧できるように表現しています。資料は修士課程のカリキュラムマップの例です。各科目群では専門の学術の論理にそって科目も精選しました。担当する先生方の適材適所にも目配りできました。入学生の学習歴にも配慮した学際的な導入科目も新設できました。既存の経営と経済の研究科のカリキュラムのパッチワークにならないようにこだわった結果です。出来上がった内容が先生方のモチベーションを下げるようなマップにならなくて良かったです。座長としては嬉しい仕事でした。

このようにマッピングの手法を使えば、議論を重ねる時間は大幅に削減できます。マップ案の修正は教師数、教室数、時間割展開などの裏付けをとりながら進めることができます。これは建築学という建物の構造計算に似ていると説明したことがあります。出来上がったマップの内容を学位授与、教育課程編成、入学者受入れの三ポリシーの順に目で追っていけば、論理的な一貫性も比較的容易に確認することができます。順番としては、「この教育内容であれば、入ってくる学生に対してアピールする言葉はこうだ」というアドミッションポリシーが明確になってきます。

マップの基幹部分がディプロマポリシーと各科目群の対応関係になります。ディプロマポリシーは読む人にとって理解しやすいように箇条書きの形式に表現し直して書いています。例えば先生方がシラバスを作成する際には、箇条書きの指針部分を基準にして科目設計してもらうことになります。もちろん、ディプロマポリシーの指針の全てに対応して科目設計をする必要はなく、例えばポリシー内の1・2・3のいずれかの方針に対応しておけばよいという考え方を取っています。

カリキュラムの構造を表現する科目群の設計も大事なポイントです。例えば経済学と経営学の既存の研究科を統合する際には、構造なき科目区分の切り貼り文書になることを怖れました。結果的にも新研究科はそうはならずに済みました。その証拠となるのが新研究科の科目群構造に統合を象徴するような共通科目群を置くことができました。カリキュラムに対する誠実な議論の流れは設置事務スタッフの良識にも支えられたものです。共通科目群の編成方針の中身ですが、経済学からは初級ミクロと初級マクロの経済学が導入科目として配置されています。学部で経済学を専攻しないで入学してきた学生への配慮がなされています。専門の科目群に目を向けると、中級ミクロ・中級マクロの経済学が必須として配置できています。経済学の専門を深めるための必須科目という意味で配慮された結果がこの科目名の切り分けです。これも経済学の専門的センスを尊重したからできたことです。

新研究科での人材養成目的では研究者養成をメインにしないという合意から出発しました。そういう意味では、アドミッションポリシーには専門学部からストレートに入る学部生向け、そしていったん社会に出て学び直す社会人向けの両方に向けて表現することになります。経済学・経営学を専門に学んでなくても、入学後にカリキュラム対応するという考え方はカリキュラム編成方針で配慮してありますから、アドミッションポリシーの表現にもその関連づけが必要になります。従来の研究科の考え方ですと、入るには“学部で専門の経済と経営を学んでから来てください”というのが常識でした。これは煙突型といわれる学部・研究科一体型を前提とする考え方でした。この前提を自覚しないと社会のニーズとはかけ離れたままで研究科が運営され、学習者の市場を限定する大学院となって当然ながら存続できなくなります。

このように、戦略的なマッピング手法を生かした結果として、法制度が求める一貫性のある三ポリシーを組み込んだカリキュラムマップが現場でも使える形でなんとか仕上がりました。これは私の個人的な判断ですがそう考えています。皆さんの大学でもぜひ生かしていただきたい。この手法は大学基準協会の認証評価にも使ってもらいたいのですが、ある関係者の方からは、「これは役に立つと思うが、認証評価ではすぐに使えません」と現実判断されてしまいました。これはよく分かります。組織的に使うには現実の大学側の事情が目に見えてぶるでしょう。学会仲間の国立大学の先生の反応でも、「わかりやすくいい方法だと思うけど、すでに別の方法をとっているので今更やると混乱の極みですから使えません」ということでした。こういう反応は十分に予想できていましたので、声をかけてもらえる関係者に個別の働きかけをする戦法をとって手法開発を続ける私のモチベーションを維持してきました。前任校でもいろいろ働きかけをしました。学部レベルで協力してくれる人達はいましたが、大学としては動きそうにないと判断して、新天地に可能性を求め、ガバナンス改革で活発な追手門学院大学でやっと思いを遂げました。に移るという決断をしました。その結果が、本日お話ししてきた内容です。

**最近の改革課題**  
**カリキュラム改革の法制化をどう受けとめるのか**

「学校教育法施行規則の一部を改正する省令」  
 平成28年3月31日に公布  
 平成29年4月1日から施行

↓

＜ 高等教育局長通知 ＞

全ての大学等において、その教育上の目的を踏まえて、「卒業の認定に関する方針」、「教育課程の編成及び実施に関する方針」及び「入学者の受入れに関する方針」（以下「三つの方針」という。）を策定し、公表することを求める。

ところで、すでにご存じのように、三ポリシーを組み込むカリキュラム改革は平成29年から法制レベルの課題となりました。それぞれのホームページを見る限り、この課題への対応は各大学で表面上の形式としては整備されてきているので、法律で一律に求めても大丈夫だとの状況判断が国にはあるのでしょうか。

**直前の大学教育部のガイドラインを確認する**

「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）、「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）及び「入学者受入れの方針」（アドミッション・ポリシー）の策定及び運用に関するガイドライン

平成28年3月31日  
 中央教育審議会大学分科会大学教育部会

法制化とほぼ同時に、三ポリシーの策定の方法について中教審の大学教育部会がガイドラインをまとめています。ガイドラインという名称を期待して読むと、肝心のノウハウは全く書かれていなので、肩透かしされた気持ちになります。

(1) 三ポリシーの記述に関する大学の現状が示されている  
 抽象的で形式的で**相互の関連性**が意識されていない

(2) 学教法施行規則改正（第165条2）の狙いを語る  
 一貫性をもった三つのポリシーの策定・公表を大学に義務づけ、高校教育・大学教育・大学入学者選抜の**一体的改革**の進捗をみる指針とする  
 ※関連答申：将来像答申→学士課程答申→質的転換答申  
 →高大接続答申

その内容のポイント部分を資料に示しましたが、要は「大学に対する現状への不満」と「三ポリシーの一貫性を大事に策定してくれ」と繰り返し述べるにとどまっています。これがガイドラインと呼べるものが疑問に思いますが、国の立場ではここまでしか書けないのでしょうか。しかも、こうした一貫性ある三ポリシーの策定を高校教育・大学入試選抜・大学教育の高大接続の一体的改革を測る進捗指針にすると書かれています。やや強引ですが、こうなると大学の責任は大変重たくなります。

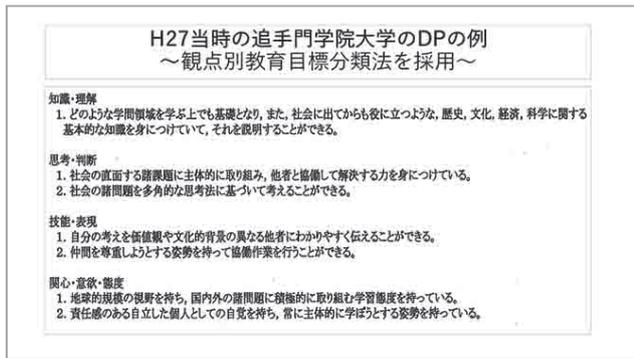
**関連答申の一つを振り返ってみる**  
 - 「学士課程答申」 (H20) -

<p>【現状・課題】</p> <p>(1) 学位授与の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の先進国では「何を教えるか」より「何ができるようになるか」を重視した取組が進展</li> <li>・一方、我が国の大学が掲げる教育研究の目的等は総じて抽象的</li> <li>・学位授与の方針が、教育課程の編成や学修評価の在り方を律するものとなっていない</li> <li>・大学の多様化は進んだが、学士課程を通じた最低限の共通性が重視されていない</li> </ul>	<p>【改善方策の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学は、卒業に当たっての学位授与の方針を具体化・明確化し積極的に公開</li> <li>・学士力に関し、参考指針を提示</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 知識・理解（文化、社会、自然等）</li> <li>2. 汎用的技能（コミュニケーションスキル、教養的スキル、問題解決能力等）</li> <li>3. 態度・志向性（自己管理能力、チームワーク、倫理観、社会的責任等）</li> <li>4. 総合的な学習経験と創造的思考力</li> </ol>
--	--

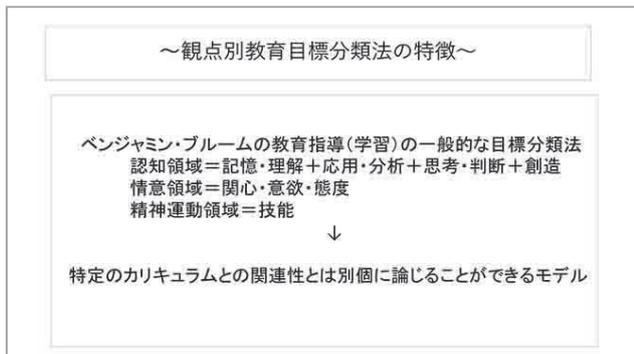
三ポリシーの施策が打ち出された「学士課程答申」の内容を今一度振り返ってみます。資料には【現状・課題】のつぎに【改善方策】の例を示しています。「学士力の学位授与方針に関する参考指針」を見てください。いまだから言えることは、この段階では国の方でも学位授与方針の書き方はまだ分かっていなかったと思います。むしろ、あえて言えば間違った指針の例を出したことになります。そして、この参考指針の例に飛びついて対応した大学の関係者は金太郎飴のような形式で DP を書いてしまった。その広がりがいまの DP の混乱の一因になっていると私は考えています。

<p>【現状・課題】</p> <p>(2) 教育課程編成・実施方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学修の<b>系統性・順次性</b>が配慮されていないとの指摘</li> <li>・学生の学習時間が短く、授業時間外の学修を含めて45時間で1単位とする考え方が徹底されていない</li> <li>・<b>成績評価</b>が教員の裁量に依存しており、組織的な取組が弱いとの指摘</li> </ul>	<p>【改善方策の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・順次性のある体系的な教育課程を編成</li> <li>・国は分野別のコア・カリキュラム作成を支援</li> <li>・学生の学習時間の実態を把握した上で、単位制度を<b>実質化</b></li> <li>・<b>成績評価基準</b>を策定し、GPA等の客観的な評価基準を適用</li> </ul>
---	--

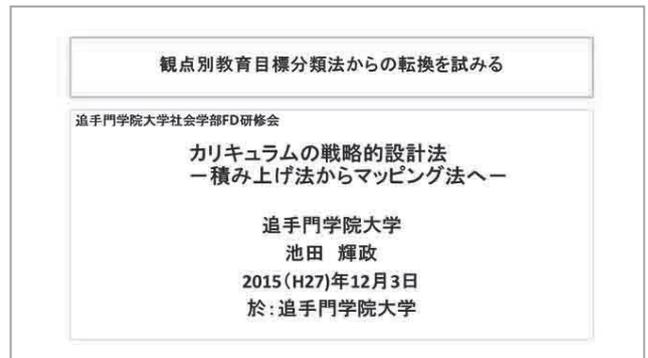
教育課程編成・実施方針にしても、資料の【改善方策】の例のように、分野別のカリキュラムの参照基準については日本学術会議に頼んでいます。学術団体は特定の専門分野に関しては体系的なカリキュラムの枠組みは示せても、学部専門教育や教養教育といった広がりのある文脈では一律の参照基準を示すことは避けるはずで、事実そういう議論があったと聞いています。教育課程は大学の教育理念や人材養成目的という経営の「戦略」を大事にして展開されるものなので、学術団体に DP を組み込む形のカリキュラム編成のスタンダードづくりを依頼することにはそもそも無理があると思います。教育課程編成方針は教育現場と向き合う人々が独自の DP を意識して責任をもって設定するしかないものです。



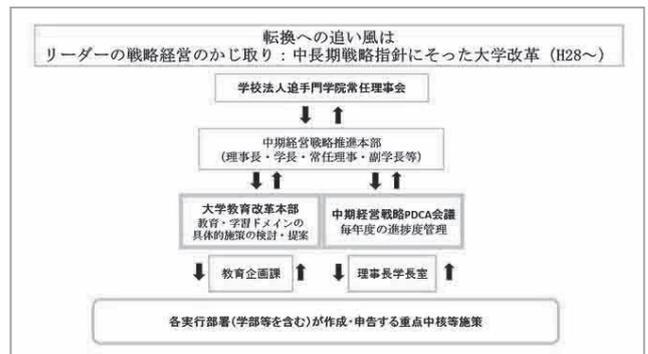
私が赴任する前の追大もディプロマポリシーは策定していました。資料はH27当時の例です。これを見ると、①知識・理解、②思考・判断、③技能・表現、④関心・意欲・態度という評価の観点にそって表現されています。これは評価の観点別に教育目標を分類するという考え方に則っています。この考え方は測定・評価を目的に靴に合わせて足を切る考え方なので、目標を設定する方法としてはやっつけはいいけない。具体的にみると、「知識・理解」の観点なかの目標は「どのような学問領域を学ぶ上でも基礎となり、また、社会に出てからも役に立つような、歴史・文化・経済・科学に関する基本的な知識を身につけていて、それを理解することができる」と書かれています。「知識・理解」の観点に立てば論理的に整合的ですが、対応する実際のカリキュラムの科目群構造を視野に納めなくても作れる文章です。特定の科目群との関連はつけられていません。他の評価の観点でも同じように論理的整合性に配慮された文章が並んでいる。測定・評価の要素に分解してディプロマポリシーを語ることは全体設計の趣旨にはあっていません。



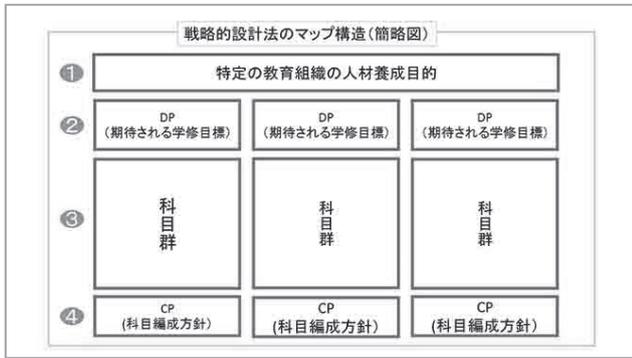
目標を測定・評価の観点から分類法で表現する考え方はどこから来たのか調べてみると、心理学者のベンジャミン・ブルームが1950年代に教育指導の一般的な目標分類法として提案しています。人の脳内にある認知領域・情意領域・精神運動領域を根拠に対応する学びのスキルや態度を分類しています。教育指導の目標を科学的に分析・評価する考え方として教育学・心理学では大事にされてきました。ですから、この分類法がディプロマポリシーの設計に応用されていることは分かります。しかし、特定のカリキュラムの構造とその関連性を考慮しながら全体的な視点でもって学生の学びと成長の姿を設計する場合には、この分析・評価型の分類法は避けてほしいものです。



赴任してからは早速、観点別教育目標分類法の考え方からの転換を計画することにしました。状況はすでにDPの策定が終わって再改訂をお願いするしかない難しい局面でした。「手間をかけて策定したのに、またか」という声なき声は十分理解できました。転換法を思案していたときに、機会は赴任後の8か月ころやってきました。社会学部から「FD研修会」の依頼があったので、手始めに一学部から再改訂の必要性を訴えてみよう決めました。タイトルは「カリキュラムの戦略的設計法～積み上げ法からマッピング法へ」に大胆に設定させてもらって、学習者に伝わるカリキュラムマップの必要性に耳を傾けてもらいました。



新参者の私にこういうことができたのも追大の意思決定のスピードが追い風になっていたからだと思います。教授会の決定があって改革を進めるのではなく、経営の決定があって教授会が動いている。全学的な改革は教授会ベースでなく経営ベースが適切です。教授会ベースと違うのはスピードが圧倒的に違います。ムーアの法則ではないですが、10年かかることが1年でできるというくらい改革のスピードは違うかもしれませんね。組織論としては、改革の課題がスピードよく伝わるには経路の設計が大切になります。資料の図のように、組織の意思決定の経路は中期経営戦略推進本部がまず要にあって、経営課題は中期経営戦略PDCA会議、そして教学課題は大学教育改革本部がそれぞれ分担して推進していく体制です。大学教育改革本部の教務系の司令塔としては教育企画課が新設されました。教育企画課は教務現場で仕事をしながら学部の教務には足場をおかないのが基本の位置づけです。私は学長補佐として両方の意思決定経路にかかわっていますが、とくに大学教育改革本部への出席と教育企画課のスタッフとの打ち合わせに時間を使っています。



本題のマッピングの考え方をもう少し詳しく話します。戦略的設計法のマップ構造を模式図にしたのが資料の図です。人材養成目的を基点にして、DP と科目群と CP が一つの3点セットになっています。この模式図は2019年度から始める追大の基盤教育の新カリキュラムを根拠に作成しました。追大の一般教育を担う新カリキュラムはファウンデーション科目群、リベラルアーツ・サイエンス科目群、そして主体的学び科目群の三つに対応するDPとCPが設定されています。

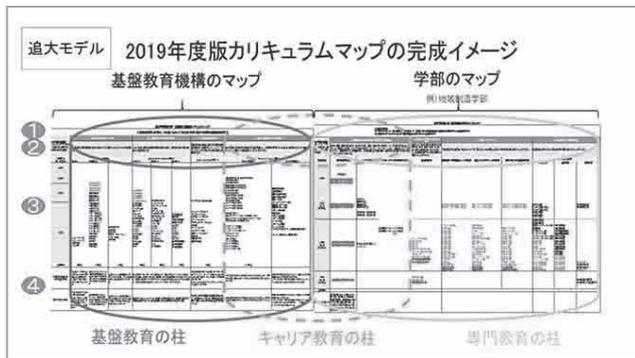
ファウンデーション科目群には、大学での学びの基礎力となる初年次科目、語学や体育の科目が含まれています。新入生演習などの初年次科目は大学生としての学びのモチベーションを育てる意味でも大切になっています。米国やオーストラリアの大学を訪問して初年次教育のコンセプトと実践を学んだことがあります。日本の現状の初年次教育はこれらとは違った方向に展開しているのではと少し懸念をもっています。それから語学、日本語表現、数学基礎、コンピューター、体育などの基本スキル科目はいわゆる学びの基盤力として欠かせないものです。

二つ目のリベラルアーツ・サイエンス科目群には、学問の知恵やそこに展開されている多様なテーマや世界観、ものの見方・考え方を学生に醸成してくれる人文・社会、芸術・文化・身体、自然科学の三科目区分が入っています。これまでは、人文、社会、自然という三つのくくりでこの科目群を構成していましたが、追大は人文社会系の総合大学なので人文・社会は同じくくりにして、新たに芸術・文化・身体のかくりを設け、自然はそのまま残しました。下位に位置づく科目区分のかくり方を再編成しながら、他方では細分化して科目数が多くなっていった問題についても手をつけました。方法は、例えば、最大公約数の考え方で近接の科目を統合的な科目名に変え、くくられた科目は学生がシラバスを読んで選択履修できるようにするという考え方です。教育課程表には統合した科目名を載せますからかなりスリムになりました。この方法は他の科目群でも行い、結果としては100科目ほどが減りました。基盤教育の専任の先生方からは担当科目が減るということではないので、この方法には納得してもらいました。ただし、担当の先生方には2019年度のシラバス設計の際には、新たなDPを指針としながら、この統合的な科目名の趣旨にそった内容に書き改めるといった手間は生じます。

三つ目の科目群は大学設置基準に最近加えられたキャリア教育にかかわる科目群です。これは教育課程の内外で学生の

社会的・職業的自立を支える仕組みづくりなのでこれまでにない考え方です。いまは就職・キャリア支援課が主導権を握るという状況です。スタート状況がそうであっても、正課の教育と正課外の支援とを連携するには、やはりカリキュラムにこの関連の科目群を位置づけるのが本筋だと思います。基盤教育のカリキュラムマップづくりにかかわった学長補佐の山本先生に、学生中心のコンセプトを象徴する科目群に新たな命名を相談したら、「主体的学び科目群」を提案してもらいました。「キャリア教育」という言葉では学生中心が明確に意識されないと思っていたので、「この科目群は学生が主役となるものです」というアピールがきちんとできる命名だと心底喜びました。この科目群のDPもいい感じで出来上がりました。新たに設計したDPの指針は既存のキャリア関連科目の見直しやすスリム化、そして教育課程外のキャリア支援プログラムとの連携のあり方の議論に役立てることが出来ます。

このカリキュラムマップの構造は学修成果の目標に向かう筋道を科目群ごとに可視化できるので、戦略的設計法と私自身が名づけました。資料には、追大で実際に活用できた事例として二つのカリキュラムマップを紹介しておきます。一つは今年の4月から再出発する経営・経済研究科のカリキュラムマップです。それから基盤教育のカリキュラムマップです。他の大学にはモデルとして参考になることを願っています。マッピングの手法と結果についてはこの程度にとどめておきます。



追大モデルの全体を俯瞰する学士課程のカリキュラムマップが資料の図です。学士課程のカリキュラムマップのイメージは、基盤教育の柱と専門教育の柱の両方をキャリア教育の柱でつなぐという構造です。主体的学び科目群という共通の科目群が基盤教育と専門教育の双方をつなぐように構造化されています。とくに専門教育の主体的学び科目群には卒論指導やゼミ指導にかかわる科目、それから学外実習やインターンシップを再配置するようアドバイスしました。卒論指導のゼミ科目はこれまでは個々の先生の専門分野の延長に位置づけられてきました。学生が自分一人の力で卒論を仕上げることはまれで、先生方のサポートが必要だとしても、卒論は先生のためにあるのではなく学生のために編成されているはずで、卒論の仕上げは学生から見れば4年間の統合的な学びの成果ですから、この再配置の考え方は先生方には納得してもらいしかなかったですね。でも、先生方には抵抗感はなかったと思います。他の大学のFDワークショップでこの考え方を説明した時には、ある先生がすごい抵抗感を顕わにされたことがありました。

**追大のこれから：現場リーダーシップのカリキュラム経営**

(1) 目的：ディプロマポリシー（DP）と科目群を柱にしたカリキュラムマップを設計し、それが適切に機能しているかを学生データで検証するためのカリキュラムマネジメントの仕組みを構築する。

(2) 方法：検証のためには、  
 ① 学生の履修行動と結果（成果を含む）  
 ② それ以外の活動成果、を利用する。

(3) 改善：検証結果は、カリキュラムマップへのフィードバック、学生の履修計画作成、学生からの履修相談、教職員によるオリエンテーション、に反映・活用する。

2017年3月17日 追手門学院大学 教育企画課作成

カリキュラムマップの実質的な形ができると、この延長線上でつぎに追大のやるべきことが見えてきます。それは一人一人の学生の学びと成長に向き合う方法に歩みを進めるということです。その一つがエビデンスをベースにした学修成果の可視化の方法です。例えば学びと成長を診断するカルテ化、あるいは成績情報と学修成果を保存するポートフォリオ化のような、学生が成長を自己確認できる可視化ツールを作ることが挙げられます。とくにポートフォリオのツールは学生が使えるようにシンプルにデザインすることが求められます。カルテ化に進むのであれば、学生個人の総合的なIRのデータが整備されていて、そのなかから必要情報を上手くカルテマ

ップのなかにデザインされるというのが開発の手順だと考えています。だから、そういうIRのデータが整備されて分析結果を公表できない大学ではカルテ化の開発には時間がかかります。こういう開発の考え方は追大の中でもまだ共有されてはいませんが、身近な現場からは徐々に理解されつつあります。

最後の資料で用意したのは「現場リーダーシップのカリキュラム経営」というスライドです。内容は教務の現場で改革の司令塔役を果たす教育企画課のスタッフが作成したものです。教育企画課の当面の目的の一つが、出来上がったカリキュラムマップの形を実質化して、学生の学びと成長を検証するカリキュラムマネジメントのシステムを構築することです。この目的を遂行するプロセスが方法・検証と改善に分けてアピールされています。方法・検証のフェーズでは学生個票のIRデータがどこまで整備されているかが実現可能性の課題となります。検証結果のフィードバックをする改善のフェーズでは、学生の履修計画やオリエンテーションなどに反映していくことが示されています。他への波及効果としては、学生の退学の予兆を早期に発見する支援ツールとして生かされるかも知れません。要するに、学生管理のためのカリキュラムマネジメントではないことを明確に発信する意図がここにはあります。難しい言葉を並べるのではなく、これまでの実績を踏まえて次のステップを検討する姿勢が現場のリーダーシップだと考えます。私に残された時間は1年半となりますが、この現場リーダーシップの方向感覚が生かされるかを見届けてさよならできたらと思っています。以上でいったん話を終えますが、ご静聴ありがとうございました。

#### 小田

どうもありがとうございました、時間がまだまだありますので、質疑応答に移りたいと思います。大学教育・授業一般のことについてもあらゆることに池田先生答えてくださいます。日頃困っていることでも構わないですし、このカリキュラムの話でも構いません。

#### 山形大学：橋爪孝夫

今日のお話の中でカリキュラムの大学教育を動かそうと思いついている人たちがカリキュラムを作っていくのは楽しい作業だとの話がありまして、非常に前向きにとらえて行きたいと思ったのですが、初年次教育学会に行き、そこで山形大学のスタートアップセミナーの参考にしたく色々なことを聞いていたのですが、どうもうまくないなというところを感じており、先生のお話ですごくお伺いしたかったのは、初年次教育は日本に来て変わった形になったとスタートアップのようなファーストエクスペリエンスというよりは、もっと違う言い方といいますか、僕が初年次教育学会で聞いた話だと非常に高尚な話が多くてレポートの書き方とか図書館の使い方とか一つ上の次元の話を皆さんしていたような気がしたんです。もしよければ、先生の中での一年次教育と初年次教育の違い

などのお話をもう少し詳しく伺えればと思います。

#### 池田

初年次教育を言葉だけで理解するのは間違った学びになりそうだと思います。米国の先進校として日本で紹介されたサウスカロライナ大学に自らを納得させるために行きました。その後には日本ではリメディアル教育学会、そして初年次教育学会が立ち上がりましたが、前者は補習教育に特化しすぎ、後者は1年次の教育全般に広げすぎて、初年次の概念に混乱が生じているかなと外からは観ています。そこは学会の関係者は分かってはいると思いますが、元々の初年次のコンセプトから考えると、大学で最初に出会う学業経験と生活経験の両方を視野に収めた適応力を形成する支援プログラムとして検討し直す必要があります。オリエンテーションのプログラムもその支援プログラムの大事な部分です。これが1年後に大学に生き残るための最初の支援となるファースト・イヤー・エクスペリエンスの意味だと考えます。「将来の卒論に生かす図書館の使い方」とか「表現力を鍛えるライティング」といった学び方の作法のトレーニングがスタンダードとなる日本の初年次教育科目は、ある意味金太郎飴的な動きかなと思います。このままではそういう科目を担当する先生方のモチベーションを維持するのが大変になるかなと心配です。追大でも新入生演習という科目が初年次コンセプトの科目ですが、いまは何とか動いてはいます。個人的には、2019年度から導入される主体的学び科目群のなかにキャリアデザイン科目が配置されているので、この科目のなかにキャリアを自覚する学生のモチベーションのスイッチを入れる初年次経験の支援ができないかと思案している状況です。DPの学修指針とも整合的なので、インフォーマルな場で私からのアイデアを出しましたが、人的コストと時間的に実現は難しいでしょう。

#### 東北公益文科大学：佐藤 隆也

先生のこの資料の中で主体的学び科目の中の1年次でプロジェクト科目の1～8と言うものが削除されたと言うふうにご覧いただき、この内容がどういったもので合理的判断と言うことでございますが、なぜ削除されたのかプロジェクトの内容も是非お教えていただければと思います。

#### 池田

プロジェクト科目はキャリア教育におけるアクティブラーニングの目玉科目の一つとして導入された経緯があります。先生方が自ら手を上げて担当するテーマ探求型で、1年生から4年生までの学生を募り学びを進めるものです。例えば、ここから日本酒開発プロジェクトというのが生まれ、実際に商品化までこぎつけた例もあります。2018年度まではこの科目は継続しますが、2019年度からは担当コマ数の適正化と絡んで科目数のスリム化の対象になりました。面白い科目になるという理由で色々な新規科目を増やしてきた経緯のなかで生まれたこともあり、DPを含めた見直しのなかでは生き残りの根拠は弱くならざるを得ません。この科目で培われた先生の

指導のノウハウは個人の中で、あるいは他のキャリア科目のなかで生かしてもらうこととなります。

話しは別ですが、今年からはライティングセンターを創設しました。いまは授業外の支援活動を軌道に乗せることに努力を傾けていますが、2019年度からは特定の授業科目との関係プレー、例えば1年生が全員履修するキャリアデザイン科目のライティング指導とうまく関係できるような形になればと期待しています。

#### 日本保健医療大学：稲田 貴子

このカリキュラムマップが凄くよく出来ており、感銘を受けたのですが、私に基礎がないので分からないと思うのですが、私が当番でマスターの生徒さんが言っていたのがファウンデーションというのは修士で入ってくるときに、私はファウンデーションをとってから合格したので修士に入りましたということをおっしゃっていたのですね。それでここは大学1年から4年までの学士課程なので、高校生が予備校で大学に入る前の出来てない学生のファウンデーションのかなと考えており、私は科目が英語なので少し英語のようなのがついていたのですね、ファウンデーションの英語のような科目でインテグレーション、カンパセーション、実用英語、英会話、英語購読というのがあり、それをひらめいたというのを見ると、外国人の名前なのかジェイカルチャーとかこういうのがキャリアであって、これはファウンデーションをパスした学生がこのキャリアを学べるのかそれとか、どういう仕掛けになっているのだろうという疑問があり、そしてリベラルアーツ・サイエンス科目の中に、多くの枠で自然科学入門だったらこの中から選択で取れるかたちになっているのですが、このファウンデーションの英語だったらコミュニケーション入門というくくりがあり、この中からいくつか選択できるということなのでしょうか。これをパスしないと次のキャリアは履修が出来ないのか、もう少し詳しく教えていただきたいのと、ライティングセンターを作ったというのは凄くいい試みで、海外だたあるのですよね、外国人の学生に対してライティングセンターが設置されていて私もよく通っていたのですが、英語のライティングの指導とかをやってもらえるのかそのようなこと立ち上げているのかとか。アセスメントの仕方とか、データビジュレーションなのかとかパスケールなのか。

#### 池田

英語系のある大学ではファウンデーション科目をF科目と称して、高校までの英語教育から大学への英語教育に学びを転換させることをやっていると聞いたことがあります。追大での2019年度のファウンデーション科目群はそこまでハイレベルではなく、基本というより基本の前の基礎のレベルに焦点を当てています。しかも、英語に限らず、数学やコンピューターなどのスキル系科目がここには入っています。

英語の学力水準ですとTOEICだと300点前後のレベルの学生は授業を受けるだけでは基礎力は簡単には上がりません。得点を上げるには相当手間がかかります。だからといってそ

ここで教師が諦めるのではなく、何とか教材や指導方法を工夫して、基礎スキルを上げて達成感を与えて学生のモチベーションを上げることはできないか。ファウンデーション科目群の設計のプロセスにはそういう議論もありました。学業における成長をGPAで追うということも大事ですが、Sを多くとる人とCやBが多い人の成長を比べるだけでは一人一人の成長とは向き合えないことになります。カリキュラムマップ上に示す科目群のDPやCPの狙いに照らせば、GPAの数値の解釈も違っていいはずです。例えば、主体的学び科目群の1年次科目キャリアデザイン論のGPAを優劣で比較するのは意味がないでしょう。成長の出発点となる科目と位置づければ違った見方をすることが可能です。そういう見方が理解されれば、科目に向き合う学生のモチベーションも違ってくると思います。

英語は2019年に4単位必修になります。必修だと先生によって可否の水準が分かれクラスごとに不合格者にばらつきがでると困ります。こういう状況に対応して、2019年度からは英語の基礎力検定テストを開発・導入して、共通の可否基準にしろまい先生方には合格者を増やす指導の工夫をもらおう。2018年からは開発した検定テストを特定の英語クラスで実証実験しようという計画で進めています。2019年の基盤教育の全科目のなかで必修はこの英語だけです。残りの科目は科目群ごとに選択必修があるだけで、卒業要件の選択必修単位は28単位を下限に設定します。

ライティングセンターの創設は経営の判断によるところが大きく、その仕事は当面は日本語表現に特化することになります。

#### 東北文教大学 柳谷 豊彦

入学定員が90名で幼児教育・初等教育小学校教員養成・保育所教員養成を基本とする規模の小さな私大です。お話をお聞きしながら改めて2点先生にお伺いしたいことがあります。一点目は、モチベーション・マネジメント力のお話を聞きし、なるほどという感銘を致しましたが、これは教師あるいは学生にとっても深く必要なものであると、そして、目指すところは学びと成長であると言うお話をいただきました。その場合、モチベーションといった場合、教員側の手取足取りは厳禁ですよと言うような話もいただきました。そういう中で日々直面するのが、我々もさることながら学生自身のモチベーションをどう耕したり高揚したりしていくかということに直面しているのですが、その場合いくつか先生のご経験の中で学生の高揚というポイントや要素というところで付け加えていただけたような話があれば幸いです。二点目は、長く30数年高等学校と教育行政において、今は実務家教員として大学の方に行っておりますが、初等中等教育の中に3つのポリシーがなかなか浸透していかなければ、目指すところの高大接続といったところはないだろうと言う話をいただきました。その中で一方、義務教育9年間は、大きくくれば完成教育をどう保証するかという責任を負ってもいまず。そのような場合、完成教育の保証のために学習指導要領と

いう一定のルールや枠組みがあり、それを目指しながら小中高の教員は日々実践に取り組んでいる、確かにアクティブラーニングなどの動きもあって、高校でも高校の独自性・学校経営と言われ完成教育の保証と3つのポリシーを少なくとも高等学校段階に浸透させていくためのポイントと言いますか留意事項のお話をいただければ幸いです。

#### 池田

私のほうが聞きたい質問をしていただきました。議論するだけでも面白い内容です。今の二点の質問のなかで、学生のモチベーション・マネジメントの大事さに気がついたのは最近です。授業のなかで能力上位の学生に出会うことで逆に私のモチベーションを維持してきたのがこれまでです。下の方の学生は手に負えないと考えて自己責任の論理で一方向的に処理してきました。とくに国立大学に勤めていたときにはそれで困ることはなかったからです。でも私立大学を二校勤務するなかで変わらざるを得なくなりました。そのきっかけは、一人一人の学生と向き合う授業をどうしたらつくれるかというFDテーマを自分に課したときからです。学生の授業満足度で言えば、80%以上の水準をどの授業でも達成できるような目標設定をするようになりました。いま考えると、学生の満足度の本質はモチベーション・マネジメントの問題に深くかかると思います。

一人一人の学生と向き合う目を大事にし始めてからは、クラスの中の微妙な人間関係で学びのモチベーションが影響を受けることが見えてきました。授業の中でスマホをいじる学生がいたら怒りが先にきていましたが、ある時にその学生はクラスで孤独を感じてそうした行動を無自覚にしているのではないかと考えるようになりました。ある授業のときに試しに、「スマホをいじる人というのは自分が孤独に耐えられなくてやるんだよね」と話すと、そのときはスマホをいじらなくなりました。授業の終わりに提出してもらい振り返りシートのなかに、「スマホをいじらせない言葉としては、池田先生さすがでした」と書いた学生がいました。学生の学びのモチベーションはちょっとした声かけや、人間関係づくりの方法、その他にも様々な理由で影響される敏感な性質をもっています。勉学以外のスポーツの分野でも小学生、中高生が監督やコーチの一言や態度で競技をやめたり、気持ちを直したりということが多々見られます。大学生、社会人、プロのスポーツ選手でも同じだと思います。それを耐えてきた人はモチベーションの自己管理が上手く、環境や人間関係の要因からの影響を最小化して気持ちが折れないように維持できる何かが身についています。

社会を生き抜く力の原動力となるモチベーション・マネジメントの視点をもつと、学生の気持ちが少しずつ見えてきて、自分の授業を少し変えていくことを楽しめるようになりました。それをアクティブラーニングという型から入ってやってきたのがこれまでの私です。型に囚われると授業に対する私のモチベーションを見失いそうになりますが、これからはきちんと向き合います。10年15年前の私は何を伝えるかとい

うコンテンツ重視でしたが、学生と私の両方のモチベーション・マネジメントをそこに加えることができるようになりました。企業もモチベーション・マネジメントをきちんと取り入れている会社はいい会社ではないかと考えるようになりました。成果主義を声高に叫ぶ企業は危ないですね。もっと言えば、老いに向き合う人生のテーマにもなるのが個人としてのモチベーション・マネジメント力です。

二番目の質問は高大接続あるいは完成教育にかかわることですね。高等学校段階での「完成教育」という言葉を出されましたが、大学と高校のカリキュラムの連続性の中で高校の完成教育とは何なのかと言う議論はいまでは希薄になりました。これに対して、小学校から高校までは一つのカリキュラム体系で表現できます。その観点からの見方がいわゆる高校の完成教育という形のあり方です。でも、小学校から高校までのカリキュラムを「俯瞰する」という感覚と実際が学校現場にどれだけあるかを問う視点はいまだ希薄ではないでしょうか。学校現場のカリキュラムの現実、小・中・高のそれぞれで非連続に運営されていて、これが例えば、高校の先生が「中学校で何を習ってきたんだ」と生徒の学力不足を批判するような言葉に表れる。もし、本来の意味で完成教育の言葉が理解されていけば、不足する学力は社会に出ても困らないように高校の最終段階で補ってあげばよいことです。こういう態度の先生に出会ったとしたら、その先生が教科書というコンテンツしか見ていないと感じ取った生徒はモチベーションを低下させることになるかも知れません。

こういう現状に気づくには、学習指導要領を小学校・中学校・高等学校の全体を視野に収め、DPを組み込んだカリキュラムマップを設計してみることから始めるのはどうでしょうか。迂遠な方法かも知れませんが、完成教育または高大接続の課題に対してもカリキュラムマッピングという手法から向き合うことも考えられると思います。

#### 東北公益文科大学：川上 佐知

貴重なお話ありがとうございます。学部は来年度から105分授業ををすると言うことで検討しておりまして、時間割と教室の数で科目の削減をしなければならぬと言う課題があるのですが、先ほど先生のお話で、科目を足して議論の中で皆さんの合意の基で100科目ほど削減されたと言うことですが、そこをもう少し詳しく伺いたいと言うことが一つと、先ほどのお話の中でGPAの質・中身がちがうそれはそれでありだというお話がありましたが、一方で私立大学等改革総合支援事業とか、他にもGPAを基に何かしているかも国からも聞かれますし本学としてもGPAでCAP制を設けていたりしているわけで、GPAが異なることを想定していない、事実としてばらつきがあるのは分かっているのですが、出来ればそろえたいということもありますから、全然真逆の考えだったので、そこを詳しく教えてほしい。例えばプロジェクト科目だとSが多くなるし資格の演習系もSが多くなるのでバランスが取れず、それぞれで進めているのですが、改革の中ではそろえるのかなと思っていましたのでそこからそのお話をお聞きしたい

です、お願いいたします。

#### 池田

8月の訪問では色々教えていただきありがとうございます。科目削減の直接的な端緒は、学内部署を横断するIRデータが新たに整備できたので、科目数の増減を年度別に追って見たことからでした。追大で教育改革が始まってから科目数が膨らんできたのを皆さんは実感できていたんですが、急激な増加を数値で確認できたのが大きかったと思います。そういう状況だと適正規模のクラス数の増減や分割は無理になってきます。そこで「減らしましょう」という決断ができてからは、問題はその方法でした。

まずは増加した科目の担当者のモチベーションに配慮する必要があります。「改革の名の下に新しいアクティブラーニング科目を増やしたのに、その努力が無駄になってしまうのか…」と当事者のやる気がなくなる解決法は避けたい。先に述べたように削減の基本の方法は統合法です。科目群のDPとの一貫性を保ちながら、いくつかの科目を高次の目的にそって一つの科目に統合し、それぞれの下位科目はカリキュラム表には掲載しないという方法です。個々の科目はその高次の目的にそっていれば、シラバスの作成では先生方に自由度を与えればよいという方針にしました。これを学生の側からみると、例えば「アジアの多文化社会」という科目であれば、中国、インドなどいずれの国からこのテーマにアプローチするかという選択肢が増えるという考え方ができます。もう一つの方法は、新たに設定されたDPの指針に合わない場合は、他の科目群に移動してもらうか、あるいはどの科目群にも入らない場合は削減の候補にすることにしました。

科目の成績分布についてもIRデータを活用しました。追大でもS、A、B、Cに変換されたGPAの成績分布は科目によってかなりバラツキがありました。モデルとしては釣り鐘型の分布が基本の形状です。それを基本するので私はS評価とC評価の両端の分布については、Aではない、Bではないと根拠において納得できることを大切にしています。科目の目的によっては可否の2分法もありますが、GPAの場合は社会的通用性という観点から成績分布の割合ルールが大事になります。このルールが個々の先生方にゆだねられているのが現状なので、問題解決へのステップとして成績分布の指針をつくる話でました。が、改革の優先順位としては科目数のスリム化が先ということで、当面は見送ることになりました。この問題は学内のIRデータでもって引き続き分析し、説得できるようなデータができれば適当なタイミングを見計らって執行部に打開策を提案することになると思います。



### 創価大学：碓井 健寛

今日はどうもありがとうございました。最近世の中で社会が「原因」というものを検証しようという流れがでてきていて、原因と結果の上流にさかのぼっていこうと言うのが、流行になっていると思います。私も経済学で統計学をやっているので、そういったことには関心があるのですが、すごくやっかいだなと言う気もしています。今日の先生のお話の中で、モチベーション・マネジメントという初めて聞きましたが、おそらく私の中でも実感している部分があるのかなと言うふうに思っております。ただ、大学にしか私は所属したことはないで、中等教育とかそういった様々な学びを経ていった学生がどのような原因によりマネジメントが出来る子に育っていくのかということに大変関心があります。先生は色々なところに所属され見聞を深められていて立証されている部分も多いかと思しますので、そういった学生の傾向・ペルソナと言いますかそういったヒントとなるようなことを教えていただければと思います。

### 池田

これまでの人生でこの言葉の存在を私自身が実感させられたのは、1998年ごろに千葉市幕張のメディア教育開発センターにいたときです。当時文部科学省からきた経理事務の方と仕事上での接点ができて、ある日お昼を一緒にしたときにその人が「先生を見ているとモチベーションが全然切れませんね、どうしてですか？」というようなことを口にしました。仕事上は一目置いていた人からの言葉なので妙に記憶に残りました。

そこから私の専門である教育学のなかにモチベーション・マネジメントを言語化し意味づけるまでに時間がかかりました。意味づけができ始めてからは、ゼミや授業のなかでこのことを話題にするようになりました。前任校ではゼミ生に話してわかったのは、やはり高い水準で勝負している運動系の学生はモチベーションのセルフコントロールが上手い。逆にモチベーションを喪失したケースもありました。それは中学校や高校時代に「ある監督の一言で私は切れて辞めました」というよくありそうな例です。高校までバスケットで高いレベルで活躍し、大学のバスケット部の水準を見切った在学中はストリートバスケットを楽しむ学生もいました。その学生はバスケットそのものを楽しむモチベーションは維持しながら、故郷の県警合格を1年生から目標にして見事達成したつわも

のでした。そういう事例にいろいろ出会いながら、モチベーション・マネジメントの複雑な動きを知ることができました。

追大で忘れられない場面では、新入生中心の課題解決型授業で「私は不本意で入学し、別の大学を受け直す勉強をするのでこの授業にあまり力を入れられません」と堂々とアピールされたことがあります。こういうケースは初めての教師経験なので一瞬ひるみましたが、これが大学での学びのモチベーションをストップさせている仮面浪人の例です。でも、その学生は仲のいい友達ができただのか学内で時々見かけるので最低限の学びのモチベーションは取り戻したようです。これはモチベーションは無くなってしまわずに増減を繰り返す性質があるという例です。人間関係を含めて何かのきっかけで学びのモチベーション行動を取り戻すことはできるのですね。それをもう戻らないものと勘違いして、大事にすべきことをすぐ諦める人もいます。

人間関係がモチベーション・マネジメントの要因としては大きいですが、大学の先生方へのFDというテーマでは、例えば山形大学の小田先生のように全国区で頑張っている同僚の存在は、私のモチベーション維持には見えない効果としてあると思います。仲間の存在やネットワークという要因以外にも、目標への欲求度もモチベーション・マネジメントには関係しています。私自身の例で言えば、16年間の大学入試センターでの勤務の終り頃には居心地の良さを感じていたのに、このままでは面白くないと感じ始めてもいました。入試という研究の対象を教育に拡張したいと考えていたころに、いくつかの大学からオファーがあり異動を決断しました。そんなことも思い出しました。人生のいろいろな局面でかわるモチベーションは、人間関係や仲間や目標など様々な要因とは切り離せないセルフコントロール力だと解釈すれば、学生に対するアドバイスやケアのし方も自ずと変わらざるを得ませんね。

### 創価大学：碓井 健寛

今お聞きした話を自分なりに解釈してみるとアクティブラーニングとモチベーション・マネジメントというのがつながった気がします。まずは私が教える言葉で学生が分からないときに、交換的アクティブラーニングの手法を使うのですが、学生同士が振返りを互いにしますが、このときに仲間の言葉がこういうふうに解釈しているのだなということを理解することで、学生が理解していることが腑に落ちる時が多々あり、私の説明がへたくそな部分が多いかと思うのですが、仲間がそういう解釈をしたことを自分が分かるなど言う共感みたいなものを得られた時孤独ではなくなるのかなと。ありがとうございます。

### 東北文化学園専門学校：増田 学身

私は専門学校の教員ですので、大学の先生方とは少し違うのですが、専門学校は各科の科長がカリキュラムを編成しますので、現場にしながら自分でマネジメントをしながら自分で作っていく、非常に面白い作業なのです。その分悩みも多い

のですが、今日の話聞いて、池田先生のいらっしゃるところで働いてみたいと思うくらい大変興味深く聞かせていただきました。質問なのですが、そもそも論なのかもしないのですが、「市民として」と言う言葉がございませう。先生のカリキュラムマップの一番下のところにも、カリキュラムポリシーのリベラルアーツの一番下のところの市民として言うところが赤字になっていらっしゃって、私も「市民として」と言う言葉を主語にするというか、それを何年も前から割と深く考えるようになっており、シチズンシップと言う言葉がございませうよ。海外の文献なんかを見ると、例えば国が求める人となるものを作るという時にシチズンシップと言う言葉が使われてきたことを拝見してきたと言うことがあり、それ以来自分自身、市民としてと言う言葉を使うことに、結構重要だなと気をつけなければならぬと考えるときがあります。先生の全体のマップを拝見しますと、この社会の中で自分がどういう役割を果たすべきなのか社会の構成員であり、それもまた、アイデンティティを確認するという意味で、「市民として」とあえて使っていらっしゃるのかなと思ひながら、拝聴してありました。先生があえて「市民として」と言う言葉をあえて使った理由がございましたら、お聞かせ願えればと思ひます。

#### 池田

これは先に紹介した哲学の山本先生がこだわった言葉です。私がこの言葉に共感したのは、ヨーロッパでは国に対峙できる主体としての市民という言葉に想起したからです。アメリカの教養教育でも市民性は大事にされています。そういうことも含めて受け取った言葉です。全学共通の基盤教育と学部専門教育との関係で言えば、キャリア開発の視点で議論されるワーク・アンド・ライフの中の、ワークが専門教育の目指す領域、ライフが教養教育の目標領域になる、ということに基づいてカリキュラムマップの DP を議論しながら話し合いました。教養のカリキュラムは何のためにあるのか、という問いに対する私たちの回答として DP のなかに表現させてもらった大事な言葉です。

#### 小田

今の市民という言葉の中曾根元首相は「市民という言葉は嫌いだ」と言うのが何かに載っていました。なぜ嫌いかというと「フランス革命を想起させるから」と言うことなんですね。そして彼が好きなのは、落語に出てくる庶民だと言うのです。私ははっきり言わせてもらえば、ふざけるなという感想です。先生は国家権力・国と対峙するものと言われましたけれども、私は国そのものが市民だと思ひています。国対市民というのはあり得ない。それは確かに過去にあり得たことですが、そうしたことを乗り越えて市民が国を作っています。常にそのような国そのものになるように、まだ見ぬものかもしれませんが、これからの国家というのは市民そのものを作るのだという、その中に大学教育というのはあるのだと思ひています。まだまだ質問はおありかと思ひますが、私からも質問させていただければと思ひます。カリキュラムマップという概念

が世の中を席卷し、文科省からの上意下達のようなかたちで成り立っています。おそらくマップ概念は池田先生が深く、メルボルン大学の大学経営戦略マップから学ばれた巨大なものを名古屋大学で作成されて、色々な形でズバズバにされながら、池田先生本人もこんなに複雑なものじゃ誰も見られないんだと、1 ページに収まる形を作られていった話をお聞きしたことがあります。他人から借りたものではなくて、自分で色々な形で戦いつつ、考えながら学ばれたことだろうと思ひます。

そこでカリキュラムマップは、お話を聞いていて、実際によその大学でもやられている。この意味は、1 つは見える化ということですね。学習者にとっても社会にとっても分かるようになってきた。しかし、出来上がってきた今流行のカリキュラムマップから見たら、出来上がってきたから分かるけども、分かるからってこの大学に入学しようかということとはまた全然別のことですね。

そして、いくつかの大学を選ぶ選択肢があり、その大学に行くかどうかというの、ただ単に資格や大卒の資格を取るか、この偏差値ならこの学部とか言うことだけではないのだろうと私は思ひています。偏差値だけの問題ではなくなってきたのが現状だろうと思ひます。

じゃあこの中に、追大のカリキュラムマップの中に魅力、人を引きつけるための魅力というのがどのように提示されているのか、これをお聞きしたいと思ひます。

#### 池田

1 枚で表現できるカリキュラムマップの方法に至るまでのプロセスを簡単に言ひますと、メルボルン大学の経営戦略をマップに表現できたのが 2003 年ごろの名古屋大学のときです。当時の総長や副総長に経営戦略マップの方法を認めてもらい普及を約束したのがモチベーションとしてこれまで続ひています。カリキュラムマップは実はその応用版です。

カリキュラムマップの活用に話を進めますと、新入生のオリエンテーションにどう生かすか、入学者募集にどう生かすかは、まだ可能性の話です。その具体的な知恵は教務など現場チームに任せたいと思ひています。この方面では私の役目は促進役に回ることだと考えています。

残された時間での私の役目は、例えばカリキュラムマップの設計法と学生の学びと成長の可視化データを関連づけるような新たな一歩に挑戦することかなと思ひています。その一つとして、追大ではカリキュラムマップの 2 階建て構造を提案しています。すべての学生を対象とした科目群の構造をファーストレイヤーの 1 階に配置し、特定の 2 年次以降の学生を対象としたまとまりのある小科目群はセカンドレイヤーの 2 階部分に配置するという案です。例えば主体的学び科目群を見てください。線で囲ってある小さな科目群はスポーツキャリアコースという小科目群です。ここに含まれるのがスポーツ心理学、スポーツ栄養学、スポーツビジネス、スポーツ特殊講義など 10 単位程度の配当科目です。このコースは企業に自信をもって推薦できる体育系学生を育てるという趣旨で編

成されたものです。全学部に開かれていますし、履修する学生はモチベーションが続かない場合はふるい落とすという運営がされています。実際には4年次修了までには60名が30名程度に半減するのではないかと聞いています。残っていく学生の成長度は年間10回ほどの説明会に遅刻・欠席しない自己管理能力が一番わかりやすいと、運営担当の先生から聞きました。このようなコースの場合は、修了・就職できたという自信・実績がGPAの成績よりは成長の指標になるようです。GPAの効果について聞いた限りでは、1、2年次の導入科目で成績が悪い学生はその後のモチベーションも続かない傾向があるようです。担当の先生に根掘り葉掘り聞いて理解を深めた結果、これを全学部に開かれた基盤教育の付加価値プログラムの例として意味づけたいと考えて、セカンドレイヤーに配置する方法を思いつきました。

#### 小田

まだまだ議論はつきないと思いますが、時間となりましたのでここで終わりたいと思います。最後になりましたが、池田先生に盛大な拍手をお願いいたします。

## 【第2部】 ラウンドテーブル

### ○第1分科会 「学士課程教育の質保証～直接評価と基盤力テスト～」

コーディネーター：山形大学 学術研究院 学士課程基盤教育機構 教授 千代 勝実



### ○第2分科会 「初年次教育のコア・カリキュラムを考える

～山形大学導入科目改革 スタートアップセミナーの事例～」

コーディネーター：山形大学 学術研究院 理学部 教授 栗山 恭直



### ○第3分科会 「地域連携型キャリア教育の取組 ～実践と評価のポイントについて～」

コーディネーター：山形大学 学術研究院 学士課程基盤教育機構 准教授 松坂 暢浩



## 第1分科会「学士課程教育の質保証～直接評価と基盤力テスト～」

会 場：山形大学基盤教育1号館126番教室

コーディネーター：山形大学 学術研究院 学士課程基盤教育機構 教授 千代 勝実

パネリスト：山形大学 学術研究院 企画部 教授 浅野 茂

山形大学 学術研究院 エンロールメント・マネジメント部 教授 藤原 宏司

参加者数：12名

感想：

愛知工科大学 工学部情報メディア学科 教授 杉浦 伸明

「学士課程教育の質保証」をテーマとした第1分科会ワークショップに参加したのは、現在、学部教育の質保証をどのように評価するかということを考えており、小職自身、評価に対する大雑把なイメージを持っていたが、その内容をさらに確かなものにするために参考となる知見を得られればという目的からである。分科会ワークショップ全体に対する感想は、非常に意味あるものであった。ワークショップ全体を振り返ると、まず、コーディネーターである千代勝美教授による山形大学で進めている「教育の質保証」に関する基本コンセプトの講演があった。次に、藤原宏司教授による「米国の大学において直接評価が求められている理由」の講演があった。この講演では、氏がアメリカの大学で教育力の評価の分析にかかわってきた経験に基づいて、アメリカにおける教育現場の実情や社会と大学との関係などが示された。講演を通して、なぜ、アメリカで教育効果の評価が変わってきているのかということの背景を知ることができるとともに、日本の教育事情を考慮した日本版の学士課程質保証の評価方法が必要となる事を改めて感じた。そのためには、単なるアメリカで行っていることの導入・模倣ではなく、日本の教育現場および各大学の教育環境などを活かせるようなものが必要であることを感じた。次に、浅野茂教授による「山形大学における内部質保証」の講演では、山形大学が取り組んでいる内部質保証に向けた内容や取り組みの過程を知ることができた。国立大学と一地方の小さな私大ということでは組織規模も異なるので同じ土俵では議論できないが、内部質保証は大学認証評価の第3ラウンドで重視されていることもあり、その仕組みづくりと実践の在り方を具体化していくことが必要ということも改めて感じた。本ワークショップを通して得たヒントをもとに、仕組みづくりを進めたいと思っている。まずは、最初から100%の結果を求めるのではなく、一歩踏み出すことだと思っている。

## 第2分科会「初年次教育のコア・カリキュラムを考える ～山形大学導入科目改革 スタートアップセミナーの事例～」

会 場：山形大学基盤教育1号館127番教室  
コーディネーター：山形大学 学術研究院 理学部 教授 栗山 恭直  
パネリスト：山形大学 学術研究院 人文社会科学部 教授 下平 裕之  
山形大学 学術研究院 学士課程基盤教育機構 講師 橋爪 孝夫

参加者数：11名

### 感想：

仙台青葉学院短期大学 学長室 藤田 奈美子

この度は、基調講演から分科会まで貴重な機会をいただき、ありがとうございました。参加致しました第2分科会では、貴学のスタートアップセミナーの制度設計、内容、成果と今後の課題等について、詳細な説明と貴重な資料により知ることが出来ました。

多くの刺激を得ましたが、とりわけ以下の点に感服致しました。

まずは、学びの「型」を体得させるということです。卒業後の自分を見据え、大学の4年間の学習イメージを確立する、そのために、学びのための基本的な考え方と技術である学びの「型」を身に付けることをスタートアップセミナーのねらいと定め、教員及び学生に予めかつ繰返し示しています。「型」の体得のために、グループワーク（ブレインストーミング～ディスカッション～プレゼンテーション）と個人活動（レポート作成）の往来により構成するサイクルを2回行い、課題の設定に際しては学生の生活に根差したものとし、グループワークに際しては全ての学生が役割を担うなどの仕掛けを図っています。毎受講後寝る前までにLMS(Webclass)にて提出するレポートについても、「型」を実施していれば8割は評価されるという、ねらいと一貫した基準を教員及び学生に明示しています。

さらに、セミナーをねらい通りに実施するためのシステムを構築していることです。LMSの活用等により教員が軽減できることは軽減し、一方、共通テキストや統一ルーブリックの開発、実施要領や手引きの作成を行い、全ての担当教員への活用を求めています。学部混合40名もの教員に徹底して実施していただくためには、相当の準備、理解を得るための活動、想定外の事柄への対応等を経てきたことと拝察致します。さらに毎年度振返りを行い、課題の追加・変更や、新たな「型」の検討等、改善を加え続けています。

同セミナーの受講前～1サイクル後～2サイクル後の学生たちの変化と深化を目の当たりにしてみたいと思った分科会でした。

### 第3分科会「地域連携型キャリア教育の取組～実践と評価のポイントについて～」

会 場：山形大学基盤教育1号館128番教室

コーディネーター：山形大学 学術研究院 学士課程基盤教育機構 准教授 松坂 暢浩

パネリスト：山形大学 学術研究院 COC 推進室 教授 横井 博

山形大学 学術研究院 地域教育文化学部 准教授 滝澤 匡

参加者数：9 名

感想：

創価大学・経済学部 准教授 碓井 健寛

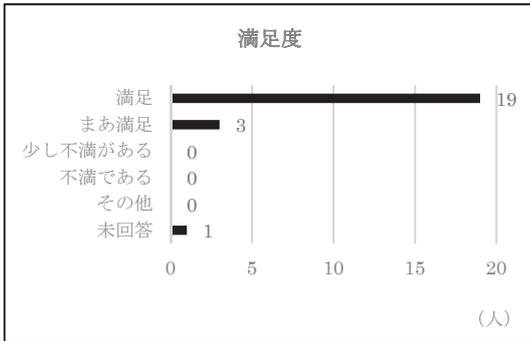
第3分科会で、地域で学ぶ授業実践について学びました。最初に本セッションのコーディネーターの山形大学学術研究院・学士課程基盤教育機構・松坂暢浩氏による「フィールドワーク山形の企業の魅力」をうかがいました。本取組は、低学年向けに開講されるインターンシップ科目です。地元中小企業で短期インターンシップを開講しています。体験を通じて、学生の就業意識を変容させることを目的としています。「地域体験型科目によるキャリア教育」という演題では、民話の語り部やチェーンソーを使った就業体験など、地元講師を活用しながら、学生たちに山形の面白さを体感させる実践について聞きました。学びの場は大学ではなく地域であることがポイントです。最後に、地域連携のPBLに関する評価手法の提案に関する報告がありました。

興味深かったのは、山形大学が県内中小企業への就職を、予想以上に意識しておられることでした。私の勤める創価大学とは明確に異なります。山形大学の地域連携の取組には、県内中小企業への就職を通じて、地元地域への貢献することが射程に入っていると考えられます。学生という未熟なよそ者が、地元企業にインターンシップで入り込んでいくことにより、「地域で若者を育てる」という課題を、大学と地域で共有できるのではないかと、思わず期待がふくらみました。また中小企業との関わり方や、学生が真剣に課題に向き合えるよう事前の準備についても、実践に裏打ちされた報告により学ぶことができました。それとともに、コーディネーターとなる教員の育成にも力を入れているのではないかと考えました。例えば、評価ルーブリックを作成することで、教員間で到達目標を可視化・共有できます。山形大学による地域連携の授業実践から得た学びを、創価大学に持ち帰り、日々の実践の手がかりにしていこうと思います。

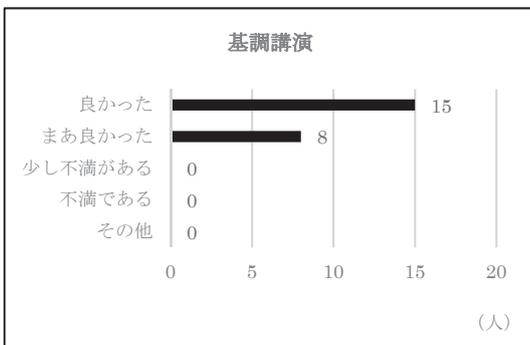
## ○基盤教育ワークショップに関するアンケート調査

(n=23)

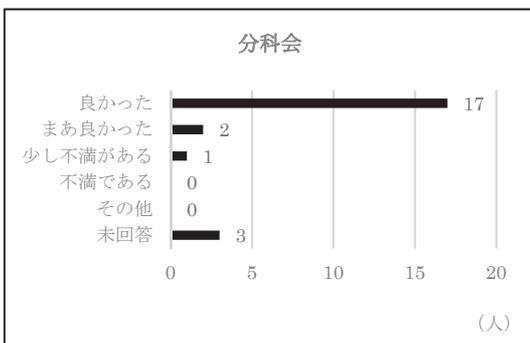
### (1) 今回のワークショップに参加して満足されましたか。



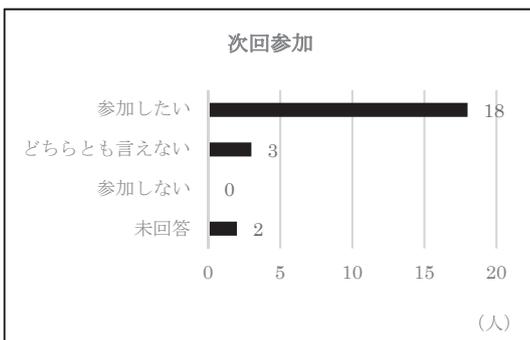
### (2) 基調講演に参加していかがでしたか。



### (3) ラウンドテーブルに参加していかがでしたか。



### (4) 次回もワークショップに参加しますか。



## (5) 良かったと思う点・印象に残った点

### 基調講演について

・池田先生の基調講演を聴いて自分自身が今どのような方向に進んでいかなければならないのか、はっきりとわかった。ありがとうございました。

・基調講演については「カリキュラムマップの作成」という新しい考え方を学ぶことができました。カリキュラムの編成・再編やディプロマポリシーの作成にはまだ関わったことはありませんが、今後の参考にしたいと思います。

・学びました！基調講演ではカリキュラムの構築法についてよく理解できました。いろいろな視点、考え方、あらためて気づくことができました。

### 第1分科会について

・どの大学でも苦心して取り組んでいるのがわかった。

・内部保証に対するイメージを固めること（方針のヒント）が持てた。

・具体的な事例についての説明が聞けて良かったです。大変参考になりました。

・参加規模（人員）が適当であり質疑応答に余裕ができ、課題の整理ができた。

・参加者の必要感に裏づけられた積極姿勢が感じられた。

・基盤力テストについて理解が深まった。

・質保証の考え方について知見を深めることができた。

・率直に話せる雰囲気があり議論がしやすかった。すぐに役立情報というより、考え方やコンセプトを理解することができたと思う。

・ほかの大学の取り組みを知れてすごくよかった。

・テーマがタイムリーで関心のある内容だった。

### 第2分科会について

・ラウンドテーブルで活発な意見交換があり非常に勉強になった。

具体的な資料を提示していただきましたこと。ありがとうございました。

・分科会にてスタートアップセミナーについて多くの疑問に丁寧にお答えいただき大変参考になりました。ありがとうございました。

・ラウンドテーブルについては、「スタートアップセミナー」

という初年次教育の取組について細部を知ることができ、大変参考になりました。アクティブラーニングの実践教育は私の大学では系統立てて導入できていないので、参考にさせていただきたいと思います。

### 第3分科会について

- ・まさに本務校で抱えているテーマであった。
- 活発な意見交換が十分な時間の中で行われたと思います。有意義な時間でした。
- ・山形大学の先生方の取り組みが大変参考になりました。実際に自分の授業にも取り入れ、実践したいと思います。
  - ・内容をあまり把握せずに参加したのですが、思いもよらず関心や問題意識が近かったのが良かったです。
  - ・ラウンドテーブルでは地域へのアプローチの仕方について発見がありました。今後に生かしていきたいと思います。
  - ・積極的な意見が出されている。
  - ・生の情報は貴重です。ありがとうございます。

### ○良くなかった点・改善点

- ・APの経過について、もう少し詳しく聞きたかった。(勝手な都合で21日に参加できないため)
- ・自分の努力が足りないと思った。
- ・所属校に参加状況をお知らせしてほしいです。(次回もまた伺いたいのので) よろしく願いいたします。ありがとうございました。
- ・基調講演の会場が少し窮屈な感じでした。

## 第5章

### 授業改善アンケート

## はじめに

FDネットワーク“つばさ”の中心事業として授業評価アンケートがある。アンケート用紙は山形大学で行われてきたものと共通のものを利用している。

現在、共通フォーマットによる授業評価アンケートの実施は、16校が利用している。

アンケート結果については、つばさ事務局でデータを集計し、その結果を各校にフィードバックしている。

参加校の実施状況は、以下のとおりである。

### 各大学の授業評価アンケート実施状況（前期）

大学等名	実施科目数
北翔大学 北翔大学短期大学部	283
山形大学（基盤教育）	355
山形県立保健医療大学	112
青森中央学院大学	137
仙台大学	299
東北生活文化大学 東北生活文化大学短期大学部	184
東北文教大学 東北文教大学短期大学部	278
東日本国際大学	179
青森中央短期大学	135
仙台青葉学院短期大学	254
羽陽学園短期大学	48
桜の聖母短期大学	77
いわき短期大学	47
鶴岡工業高等専門学校	406
了徳寺大学	167
湘南医療大学	129

### 北翔大学 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教養平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均	板書平均	環境平均	オプション	総合平均	
肢体不自由教育Ⅰ	81	81	100.00		9	5	6	1.95	3.83	3.65	3.8	3.95	3.99	3.81	3.43	3.2	3.89	3.6	3.8	3.44
肢体不自由者の心理・生理・病理	120	120	100.00		9	5	6	1.75	4.1	3.77	3.95	4.04	4.08	3.85	3.69	3.58	4.05	3.78	3.89	3.91
生涯スポーツ(障がい者スポーツ)	11	11	100.00		1	2	3	2.75	5	5	5	4.91	5	4.82	5	5	4.91	5	4.82	5
生涯スポーツ(障がい者スポーツ)	17	17	100.00		1	2	3	2.5	4.29	4.41	4.47	4.35	4.35	4.53	4.47	4.53	4.35	4.47	4.18	4.41
生涯スポーツ(野球・ソフトボール)	36	36	100.00		9	2	5	1.39	4.69	4.61	4.61	4.61	4.56	4.64	4.64	4.72	4.75	4.74	4.61	4.72
生涯スポーツ(陸上競技)	32	32	100.00		9	5	6	1.69	4.59	4.59	4.5	4.47	4.41	4.78	4.59	4.53	4.56	4.72	4.38	4.53
生活習慣病概論	94	94	100.00		1	2	3	2.18	4.12	3.96	4.07	4.05	4.09	3.94	3.95	3.66	4.05	3.92	3.97	3.99
野外教育論	150	150	100.00		1	5	6	1.96	4.12	4.08	4.11	4.11	4.07	4.15	3.88	3.97	4.04	3.87	3.99	3.99
競技スポーツ論	57	57	100.00		9	5	3	2.16	4.39	4.33	4.32	4.32	4.25	4.39	4.32	4.3	4.38	4.28	4.21	4.14
生涯スポーツ(エアロビク)	12	12	100.00		1	5	6	1.75	4.75	4.75	4.75	4.92	4.75	4.83	4.67	4.75	4.75	4.67	4.58	4.58
生涯スポーツ(エアロビク)	18	18	100.00		1	6	10	1.71	4.44	4.44	4.5	4.33	4.33	4.5	4.5	4.5	4.67	4.5	4.56	4.5
食生活と健康	116	116	100.00		1	6	6	2.46	4.16	4.16	4.19	4.21	4.21	4.23	4.25	4.28	4.35	4.29	4.19	4.18
食生活と健康	131	131	100.00		1	6	6	2.2	4.32	4.16	4.37	4.26	4.27	4.29	4.34	4.34	4.39	4.35	4.3	4.34
モチベーション心理学	9	9	100.00		1	2	5	2.43	4.33	4.67	4.78	4.78	4.78	4.89	4.67	4.56	4.78	4.78	4.89	4.78
心理統計法	104	104	100.00	1	9	2	3	2.14	3.78	3.43	3.7	4.01	4.03	4.07	3.7	3.64	4.01	3.89	4.06	3.88
キャリア演習Ⅲ	6	6	100.00	1	6	1	2	4.67	4.5	4.67	4.83	4.83	4.33	4.67	5	4.83	4.83	4.33	4.67	
知的障害者の心理・生理・病理	151	151	100.00		9	5	5	2.26	4.28	4.05	4.17	4.21	4.17	4.23	4.13	4.05	4.32	4.23	4.19	4.16
心理面接演習	32	32	100.00		1	5	3	1.92	4.12	4.28	4.38	4.5	4.47	4.5	4.19	4.22	4.41	4.41	4.16	4.41
専門演習Ⅰ	4	4	100.00	3	5	6	9	2.25	4.25	4.5	4.75	4.75	4.75	4.75	5	5	5	4.75	4.75	
生涯スポーツ(バドミントン)	21	21	100.00		1	2	2	4.52	4.62	4.57	4.86	4.76	4.86	4.81	4.81	4.86	4.76	4.71	4.76	
生涯スポーツ(バドミントン)	22	22	100.00		1	5	6	1.38	4.91	4.91	4.91	4.86	4.82	4.91	4.91	4.91	4.95	4.91	4.86	4.91
生涯スポーツ(バドミントン)	32	32	100.00		1	2	1	3	1.89	4.66	4.62	4.56	4.53	4.5	4.56	4.47	4.59	4.5	4.44	4.56
スポーツ教育学	88	88	100.00		9	5	10	2.62	4.18	4.07	4.11	4.1	4.14	4.32	4.12	4.28	4.18	4.16	4.2	4.59
レクリエーション実技	76	76	100.00		1	2	3	1.91	4.64	4.67	4.67	4.5	4.45	4.71	4.64	4.7	4.72	4.61	4.57	4.61
スポーツ教育学概論	168	168	100.00		9	2	6	2.22	4.02	4.1	4.16	4.18	4.25	4.19	4.08	3.67	4.26	4.19	4.11	4.19
スポーツマネジメント	75	75	100.00		1	5	3	2.25	4.29	4.3	4.31	4.35	4.36	4.35	4.28	4.23	4.35	4.43	4.25	4.19
スポーツマネジメント	78	78	100.00	1	9	5	6	1.86	4.21	4.08	4.08	4.09	4.1	4.05	4.05	4.06	4.14	4.05	4.05	3.99
健康体育(実技を含む)	42	42	100.00		9	1	6	2.03	4.48	4.43	4.5	4.48	4.5	4.64	4.21	4.36	4.4	3.95	4.36	4.54
生涯スポーツ指導演習(水泳・水中運動)	28	28	100.00		1	6	6	1.9	4.57	4.46	4.64	4.57	4.54	4.68	4.64	4.75	4.75	4.64	4.61	4.71
生涯スポーツ(水泳・水中運動)	29	29	100.00		1	1	1	6	2.15	4.28	4.38	4.41	3.97	4.03	4.52	4.31	4.48	4.34	4.31	4.03
生涯スポーツ(水泳・水中運動)	22	22	100.00		9	2	6	2.12	4.64	4.68	4.73	4.91	4.82	4.82	4.86	4.91	4.82	4.86	4.68	4.9
生涯スポーツ(水泳・水中運動)	28	28	100.00		9	3	1	1.93	4.54	4.71	4.75	4.54	4.5	4.82	4.64	4.75	4.71	4.82	4.61	4.75
生涯スポーツ(水泳・水中運動)	35	35	100.00		9	5	5	1.8	4.77	4.69	4.6	4.54	4.63	4.71	4.69	4.71	4.71	4.74	4.71	4.74
生涯スポーツ(水泳・水中運動)	35	35	100.00		1	5	1	2	4.66	4.66	4.66	4.43	4.46	4.8	4.69	4.8	4.8	4.83	4.54	4.6
生涯スポーツ学	102	102	100.00		9	6	5	2.26	3.89	3.78	3.79	3.83	3.86	3.98	3.7	3.78	3.91	3.87	3.84	3.97
生涯スポーツ学	94	93	98.94		9	6	1	1.96	4.06	4.05	4.13	4.21	4.22	4.23	4.03	4.18	4.15	4.08	4.1	4.2
生涯スポーツ指導演習(体つくり運動)	41	41	100.00		9	2	6	1.87	4.27	4.15	4	4.2	4.22	4.12	4.07	4.1	4.15	4.05	4.07	4.02
生涯スポーツ指導演習(体つくり運動)	42	41	97.62		9	5	6	2	4.1	4.17	4.15	4.1	4.1	4.17	4.05	4	4.2	4.07	3.85	3.71
スポーツ施設管理論	12	12	100.00		9	2	10	3	4.08	3.58	4	4.25	4.17	4.33	3.75	3.75	3.92	3.42	3.92	3.83
空間デザイン史	21	21	100.00		1	4	6	10	2.36	3.4	2.62	3.1	3.48	3.38	2.68	2.48	2.67	3.29	2.76	3.14
スポーツ施設管理論	2	2	100.00		9	5	10	6	4	4	4	4	4	4	4.5	3.5	3.5	3.5	4	4
生涯スポーツ指導演習(バスケットボール)	18	17	94.44		1	2	3	5	1.57	4.71	4.76	4.76	4.65	4.59	4.71	4.82	4.76	4.82	4.76	4.82
保健体育科教育法Ⅰ	105	105	100.00		9	5	1	1.72	4.17	3.9	4.1	4.19	4.12	4.3	4	3.68	4.16	4.01	4.11	4.03
スポーツ解剖学	23	23	100.00		9	5	6	1.64	4.52	4.17	4.43	4.57	4.57	4.52	4.35	4.43	4.52	4.43	4.39	4.3
基礎教育セミナーⅠ	9	9	100.00		9	4	5	1.57	4.11	4.11	4.22	4.11	4.11	4.33	4	3.89	3.78	4.22	4.11	4.33
生涯学習論	48	48	100.00		1	1	6	2.12	4.29	4.12	4.19	4.33	4.35	4.77	4.25	4.12	4.46	4.48	4.29	4.34
社会教育施設論	20	20	100.00	1	9	5	6	2.07	3.7	3.85	3.9	4.05	4.05	4.4	3.75	3.95	4	3.9	3.75	4.1
専門演習Ⅰ	4	4	100.00		1	3	1	1	5	4.75	4.5	4.5	5	5	5	4.75	4.75	5	5	5
健康福祉専門職演習Ⅰ	9	9	100.00		5	5	8	2	4.11	4	4.33	4.11	4	4.11	4.11	4.22	4.11	4.11	4.22	4
運動処方	55	55	100.00		9	5	1	2.48	4.02	3.95	4.07	4.15	4.2	4.24	4.07	3.96	4.24	4.2	4.02	4.07
健康学	87	87	100.00		9	1	1	1.92	4.26	4.22	4.25	4.29	4.28	4.3	4.2	4.1	4.34	4.24	4.16	4.13
健康学	125	125	100.00		9	2	1	1.99	4.13	3.94	4.03	3.98	3.95	4.16	3.91	3.78	4.06	4.04	3.92	3.74
障害者福祉論	55	55	100.00		9	5	1	1.7	4.15	3.11	3.38	3.76	3.64	3.56	2.67	2.6	3.05	2.62	3.07	3.38
医療的ケアⅠ	5	5	100.00		9	5	9	6	9	1	4.4	4.2	4.2	4.6	4.2	4.4	3.6	4.4	4	3.6
相談援助演習Ⅰ	10	10	100.00		9	3	1	6	1.38	4.6	4.6	4.5	4.5	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7
生涯スポーツ学	28	28	100.00		9	5	1	2.38	3.96	3.79	4.14	4.11	4.11	4.29	4.11	4.18	4.29	3.96	4.14	4.21
認知症論	28	28	100.00		9	5	6	3	3.96	4.21	4.14	4.21	4.25	4.25	4.32	4.07	4.21	4.25	4.21	4.18
介護技術演習Ⅱ	6	6	100.00		9	5	6	1.75	4.33	4.5	4.67	4.5	4.5	4.33	4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
キャリアデザインⅢ	52	52	100.00		9	2	3	4	2.36	4.21	4.27	4.35	4.25	4.23	4.38	4.35	4.45	4.37	4.37	4.35
健康管理論	162	162	100.00		1	5	6	2.21	4.28	4.29	4.3	4.26	4.3	4.41	4.31	4.19	4.35	4.34	4.35	4.37
生涯学習論	51	51	100.00		1	6	1	1.79	4.43	4.29	4.37	4.27	4.25	4.57	4.12	4.29	4.43	4.35	4.22	4.39
専門演習Ⅲ	7	7	100.00	3</																

北翔大学 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教養平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均	板書平均	環境平均	オプション	総合平均
現代生活と芸術	45	45	100.00	1	5	6	2.54	3.69	3.71	3.73	3.76	3.87	4.14	3.55	3.47	3.69	3.96	3.71	3.98
ピアノ基礎演習 I	7	7	100.00	9	6	9	1	4.86	4.86	4.71	4.71	4.71	5	4.89	5	4.86	5	4.77	5
ピアノ表現演習 I	9	9	100.00	9	1	5	1.14	5	5	5	4.78	4.78	5	4.89	4.89	4.78	4.89	4.78	4.89
教職概論	56	56	100.00	9	5	6	1.46	4.55	4.55	4.71	4.64	4.64	4.95	4.75	4.57	4.89	4.77	4.64	4.66
社会科学概論	56	56	100.00	9	5	1	1.59	4.64	4.66	4.89	4.66	4.66	4.91	4.8	4.64	4.91	4.86	4.8	4.84
生活科指導法 I	56	56	100.00	9	5	1	2.52	4.02	3.89	4.02	4.02	4.07	4.27	3.55	3.64	3.89	4.07	4	4.11
国語科指導法 III	21	21	100.00	1	5	6	1.2	4.81	4.81	4.76	4.29	4.43	4.8	4.62	4.86	4.43	4.76	4.76	4.76
卒業研究	4	4	100.00	1, 3	5	1, 3, 9	1.67	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
保育内容(言葉)	46	46	100.00	9	5	6	2.04	4.41	4.43	4.48	4.33	4.33	4.72	4.65	4.7	4.65	4.7	4.54	4.52
保育内容(表現)	50	49	98.00	9	5	5	2.52	4.53	4.57	4.63	4.53	4.53	4.69	4.49	4.59	4.63	4.57	4.61	4.57
看護学概論	48	48	100.00	9	5	1	1.2	4.79	4.58	4.73	4.6	4.67	4.33	4.27	3.71	4.46	3.85	4.23	4.06
図画工科指導法 II	10	10	100.00	1, 3, 5	5	1, 2, 6	1	4.8	4.8	4.3	4.3	4.3	4.9	4.3	5	4.6	4.7	4.5	4.6
キャリアデザイン III	52	52	100.00	9	6	5	2.18	4.25	4.42	4.42	4.44	4.44	4.46	4.31	4.44	4.31	4.37	4.42	4.38
図画工科指導法 III	4	4	100.00	1	6	5	2.5	4.75	4.75	5	4.5	4.5	5	5	5	5	5	4.75	5
造形美術研究	1	1	100.00	9	6	1	2	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4
教育相談論(カウンセリングを含む)(幼・小)	71	71	100.00	9	3	1	1.55	4.41	4.35	4.56	4.42	4.38	4.69	4.58	4.42	4.62	4.54	4.59	4.49
理科指導法 I	57	57	100.00	9, 3, 5	6	2	1.11	4.54	4.51	4.63	4.46	4.46	4.65	4.72	4.51	4.6	4.66	4.6	4.63
メディアデザイン概論	83	83	100.00	1	1	2	1.98	4.19	4.12	4.23	4.34	4.25	4.49	4.31	4.02	4.53	4.45	4.4	4.41
デジタルイメージ I	29	29	100.00	9	1	6	1.68	4.38	4.14	4.34	4.38	4.31	4.66	4.41	4.41	4.52	4.55	4.62	4.54
プレゼンテーションデザイン	12	12	100.00	1	3, 4, 10	1.3	4.25	4.5	4.58	4.5	4.58	4.58	4.83	4.83	4.83	4.92	4.75	4.64	4.73
リビングデザイン論	11	11	100.00	1	3	9	2.29	4.27	4.27	4.36	4.45	4.45	4.73	4.73	4.82	4.82	4.82	4.82	4.82
就業力特別講義 II (前半)	182	182	100.00	9	6	6	1.39	3.84	3.72	3.7	3.85	3.83	3.88	3.51	3.37	3.73	3.61	3.68	3.75
空間デザイン基礎	24	24	100.00	1	5	3	2.24	4.5	4.5	4.5	4.62	4.61	4.7	4.62	4.62	4.71	4.61	4.67	4.67
ドローイング I	9	9	100.00	1	5, 1, 6	2	1.7	4.67	4.67	4.78	4.78	4.78	4.67	4.78	4.78	4.89	4.67	4.89	4.89
ドローイング II	9	9	100.00	1	5, 2, 3, 4	1	1.67	4.78	4.56	4.56	4.44	4.44	4.56	4.44	4.67	4.78	4.56	4.67	4.78
絵画 I	8	8	100.00	1	1, 2, 3, 4, 5, 6	1, 2, 3, 5, 6, 10	1.8	4.62	4.62	4.75	4.62	4.62	4.75	4.75	4.75	4.62	4.62	4.62	4.62
映像論	19	19	100.00	1	5	6	2.57	4.32	4.42	4.63	4.63	4.63	4.79	4.74	4.21	4.89	4.78	4.74	4.53
写真	11	11	100.00	1	5	6	2.33	4.82	4.73	4.91	4.91	4.91	4.91	4.54	4.64	4.91	4.71	4.73	4.73
デジタルデザイン I	26	26	100.00	9	6, 1, 2, 4	2	1.12	4.23	3.81	4.23	4.38	4.38	4.35	3.73	4.15	4.62	4.08	4.46	4.54
教育心理学	44	44	100.00	1	5	6	2.05	4.43	4.18	4.43	4.52	4.52	4.82	4.39	4.25	4.62	4.66	4.43	4.33
臨床心理学	29	29	100.00	9	5	5	2	4.21	4.21	4.48	4.28	4.28	4.62	4.34	4.07	4.07	4.45	4.34	4.45
精神保健福祉学 I	25	25	100.00	1	5	3	2.24	4.36	4.2	4.52	4.48	4.44	4.8	4.72	4.72	4.68	4.68	4.52	4.52
育児支援の心理学	45	45	100.00	1	5	6	2.04	3.82	4	4.02	4.25	4.18	4.43	3.82	3.66	4.11	3.61	4.18	4.02
心理学概論	181	180	99.45	1	5	6	1.92	4.14	4.02	4.17	4.29	4.29	4.41	4.33	3.82	4.41	4.46	4.47	4.46
臨床心理援助技法論 I (精神分析療法)	29	27	93.10	1	3	5	2.5	3.74	3.7	4.04	4.37	4.44	4.56	4.33	4.15	4.56	4.56	4.41	4.33
キャリアデザイン III	47	47	100.00	9	2	3	2.59	3.83	4.04	4	4.06	4	4.26	4.28	4.23	4.19	4.28	4.28	4.17
医学概論	65	65	100.00	9	5	1	1.94	4.05	3.91	4.05	4.15	4.17	4.32	3.95	3.91	4.05	3.92	4.09	4.06
精神保健福祉援助技術総論	25	25	100.00	1	5, 3, 5	2	4.24	3.84	4.24	4.16	4.24	4.84	4.64	4.42	4.6	4.76	4.48	4.6	4.6
キャリアデザイン III	48	48	100.00	9	4	10	2.38	4.35	4.46	4.35	4.35	4.35	4.48	4.54	4.38	4.58	4.56	4.58	4.44
精神科リハビリテーション	12	12	100.00	5, 1, 5	3	2	4.17	3.83	4.5	4.33	4.5	4.58	4.17	4.33	4.67	4.67	4.67	4.5	4.58
精神保健/精神保健 I	42	42	100.00	9	5	5	2.2	4.02	4.1	4.26	4.31	4.29	4.26	4.14	3.9	4.36	4.31	4.33	4.4
キャリアデザイン	30	30	100.00	9	6	6	3.04	3.63	3.87	4.07	4.1	4.07	4.5	4.1	4.23	4.17	4.2	4.3	4.3
秘書実務 II	9	9	100.00	1	6, 1, 2, 5, 10	2, 8	4.56	4.56	4.67	4.67	4.56	4.56	4.44	4.44	4.44	4.56	4.56	4.56	4.56
韓国語	38	37	97.37	1	6, 3, 10	2, 1	4.38	4.05	4.32	4.38	4.54	4.62	4.41	4.59	4.59	4.62	4.54	4.32	4.32
ファッション造形実習 I	8	8	100.00	9, 1, 5, 6	1, 5, 9	2, 17	4.62	4.12	4.75	4.62	4.5	5	4.12	4.38	4.5	4.12	4.12	4.88	4.88
情報機器操作 I	12	12	100.00	9	6	2	3	4.25	4.25	4.5	4.25	4.25	4.17	4.58	4.33	4.58	4.58	4.5	4.17
情報機器操作 II	15	15	100.00	1, 9	1	6	2.83	4.87	4.87	4.87	4.73	4.73	4.8	4.87	4.87	4.87	4.87	4.73	4.8
器楽応用	6	6	100.00	1	6, 3, 5	1, 4	4.33	4.83	4.67	4.67	4.5	4.67	4.5	4.33	4.67	4.5	4.5	4.67	4.67
器楽 I	7	7	100.00	9, 1, 5, 6	1, 5, 6	2, 25	4	4.83	4.67	4.17	4.17	4.83	4.67	4.71	4.71	4.86	4.86	4.86	4.86
器楽 II	5	5	100.00	9, 4, 5, 6, 9	6	2, 33	4.4	4.4	4.8	4.4	4.6	5	5	4.6	4.6	5	5	5	5
音楽科指導法	12	12	100.00	5, 1, 6	1, 3, 5, 10	1, 5	4.75	4.08	4.75	4.33	4	4.58	3.92	4.25	4.58	4.5	4.25	4.58	4.58
こどもと自然	48	48	100.00	1	6, 5, 6	1, 9, 4	1.94	4.75	4.85	4.79	4.73	4.73	4.9	4.85	4.83	4.94	4.79	4.83	4.85
児童家庭福祉	120	120	100.00	9	5	6	1.18	4.6	4.52	4.62	4.69	4.68	4.77	4.62	4.42	4.77	4.76	4.68	4.71
日本国憲法	119	119	100.00	9	6	6	1.64	4.39	4.29	4.34	4.49	4.5	4.37	4.21	4.08	4.55	4.49	4.46	4.48
身体表現	32	32	100.00	9	5	5	1.25	4.66	4.69	4.78	4.78	4.75	4.81	4.78	4.78	4.84	4.81	4.69	4.62
身体表現	43	43	100.00	9	5	1	1.58	4.91	4.91	4.84	4.77	4.79	4.98	4.93	4.86	4.91	4.88	4.74	4.81
身体表現	41	40	97.56	9	5, 1, 6	1, 6, 9	1.69	4.88	4.85	4.85	4.92	4.92	5	5	4.95	4.97	4.92	4.97	4.82
保育課程論	98	98	100.00	9	5	6	1.55	4.64	4.61	4.69	4.64	4.7	4.81	4.78	4.67	4.78	4.77	4.73	4.76
教育原理	111	109	98.20	9	5	6	1.62	4.37	4.18	4.41	4.45	4.48	4.79	4.27	4.6	4.64	4.39	4.49	4.46
教育方法論(情報機器-教材活用を含む)	115	115	100.00	9	5	6	1.41	4.42	4.29	4.47	4.52	4.54	4.75	4.38	4.58	4.63	4.37	4.4	4.46
音楽表現	40	40	100.00	9	6	1	1.69	4.75	4.8	4.9	4.82	4.85	4.88	4.78	4.72	4.82	4.82	4.78	4.87
音楽表現	46	46	100.00	9	5	6	1.35	4.83	4.8	4.83	4.74	4.67	4.83	4.78	4.87	4.83	4.8	4.85	4.85
音楽表現	31	31	100.00	9	6	5	1.29	4.68	4.77	4.84	4.71	4.71	4.81	4.74	4.71	4.84	4.77	4.71	4.71
保育者論	109	109	100.00	9	5	5	1.47	4.59	4.53	4.74	4.76	4.77	4.7	4.8	4.64	4.82	4.83	4.81	4.79
道徳教育論	47	47	100.00	9	5	5	2.28	4.43	4.57	4.72	4.72	4.68	4.72	4.73	4.55	4.72	4.64	4.77	4.74
道徳教育論	52	51	98.08	9, 5, 6	5	5	1.73	4.29	4.27	4.33	4.33	4.27	4.29	4.2	4.18	4.24	4.25	4.18	4.24
外国語活動	17	17	100.00	9	5, 1, 5	3	4.71	4.76	4.71	4.76	4.76	4.82	4.94	4.94	4.76	4.94	4.71	4.82	4.82
こどもの遊び論	27	27	100.00	9	5	5	2	4.52	4.59	4.63	4.67	4.67	4.81	4.81	4.7	4.7	4.67	4.7	4.78
体育科指導法	14	14	100.00	1, 3, 6	1	1, 2	4.93	4.93	4.79	4.71	4.64	4.93	4.86	5	4.86	4.93	4.86	4.93	4.93
相談援助	27	27	100.00	9	5	6	1.56	3.48	3.26	3.37	3.81	3.85	4	2.89	3.07	3.67			

## 北翔大学 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発平均	探求平均	熱意平均	教養平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均	板書平均	環境平均	オプション	総合平均	
生理学	114	114	100.00	9	6	1.6	1.86	4.1	3.7	3.91	3.98	4.08	4.07	3.82	3.21	4.21	4.13	4.11	4.1	
ファッションビジネス	9	9	100.00	9	1.5	2.4	2.5	3.67	3.44	4.33	4.22	4.38	4.78	4.56	4.67	4.44	4.43	4.33	4.44	
社会福祉行政・福祉計画論	29	29	100.00	9	5	1	2.15	4.21	3.79	4.21	4.38	4.41	4.45	4.38	3.83	4.32	4.55	4.31	4.43	
社会保険論Ⅰ	78	77	98.72	1	1	6	1.95	4.48	4.36	4.56	4.49	4.48	4.64	4.66	4.39	4.61	4.74	4.73	4.64	
情報機器操作Ⅰ	45	45	100.00	9	6	2	1.7	4.33	4.31	4.38	4.38	4.42	4.22	4.24	4.16	4.4	4.33	4.38	4.32	
生理心理学	46	46	100.00	1	5	4	1.89	4.22	3.78	4.28	4.39	4.37	4.7	4.41	4.33	4.57	4.54	4.46	4.43	
食生活学	5	5	100.00	9	1.6	1	1	4.8	4.6	4.8	4.6	4.6	4.6	4	4.8	4.8	4	4.6	4.6	
家庭科指導法	9	9	100.00	5	6	1	1.5	4.67	4.78	4.78	4.44	4.44	4.78	4.22	4.22	4.33	4.33	4.33	4.78	
マンガ表現研究	10	10	100.00	1	2, 3, 4, 5, 7, 8	3, 4	2.62	4.5	4.8	4.7	4.4	4.4	5	5	4.7	5	5	5	5	
社会的養護論	2	2	100.00	6	1		1	4.5	4	4.5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
障害児保育	34	34	100.00	9	6	5	2	3.94	3.82	4.06	4.29	4.32	4.26	3.94	4.18	4.12	4.15	4.15	4.29	
障害児保育	32	32	100.00	9	5, 6		1.47	3.84	3.81	3.84	4.09	4.22	4.25	3.31	3.53	3.88	3.59	3.72	4.16	
障害児保育	29	29	100.00	9	6	1	1.62	3.79	3.64	3.82	3.75	3.82	4	3.71	3.96	4.07	3.89	3.86	3.79	
ファッション造形実習Ⅲ	5	5	100.00	1	5	6	2.67	4.4	4.6	5	5	5	5	4.8	5	5	5	5	5	
美学	41	40	97.56	1	2	10	2.5	3.28	3.05	3.1	3.31	3.28	3.48	2.6	2.58	3.05	2.8	3.02	2.98	
生涯スポーツ(バドミントン)	10	9	90.00	2	6	4, 6	3	4.33	3.89	3.89	3.56	3.25	4.44	2.56	2.78	2.67	3	3	3.22	
生涯スポーツ(バドミントン)	26	26	100.00	1	2	6	1.88	4.46	4.08	4.23	4.08	3.92	4.08	3.5	3.62	3.84	3.42	3.85	4.04	
社会福祉	115	115	100.00	9	5	6	1.58	3.92	3.42	3.86	4.22	4.27	4.34	3.89	4.19	4.5	4.37	4.3	3.9	
ビジネス関連法規Ⅰ	8	8	100.00	1, 2	6	4	2.29	4.38	4.5	4.38	4.75	4.62	4.75	4.62	4.5	4.75	4.75	4.62	4.38	
教育原理(幼・小)	23	23	100.00	9	5	6	1.69	4.61	4.57	4.65	4.43	4.48	4.78	4.61	4.61	4.43	4.65	4.52	4.27	
教育原理(幼・小)	57	57	100.00	9	6	5	1.89	4.44	4.3	4.65	4.54	4.54	4.74	4.49	4.35	4.61	4.65	4.46	4.46	
介護技術演習Ⅳ	5	5	100.00	9	5, 6, 9	2, 5, 9	1.5	4.6	4.6	4.6	4.4	4.6	5	4.6	4.6	5	4.8	4.6	4.6	
レクリエーション実技	9	9	100.00	9	5, 6	3	4.33	4.44	4.44	4.22	4.33	4.56	4.56	4.67	4.67	4.67	4.67	4.6	4.44	
レクリエーション実技	10	10	100.00	1	2	3	2.17	4.44	4.56	4.56	4.56	4.56	4.44	4.56	4.56	4.33	4.33	4.33	4.33	
地域学Ⅰ	11	11	100.00	2	1	1.5	4	4.09	3.82	4.09	4	4.73	4.36	4.09	4.55	4.48	4.13	4.27	4.27	
器楽応用	4	4	100.00	9	5	6	4.75	5	4.75	4.75	4.75	5	5	5	5	5	5	5	4.75	
器楽Ⅰ	6	6	100.00	9	9, 5, 6	2	4.5	4.5	4.83	5	5	5	5	5	5	4.83	5	4.83	5	
子どもの保健ⅠA	120	120	100.00	9	5	6	1.55	4.67	4.61	4.72	4.68	4.67	4.72	4.55	4.56	4.62	4.51	4.55	4.64	
社会的養護内容	18	18	100.00	9	5	6	1.82	4.61	4.56	4.67	4.39	4.44	4.72	4.39	4.67	4.5	4.5	4.59	4.44	
子どもの保健Ⅱ	26	25	96.15	9	5	5	2.1	4.68	4.76	4.84	4.68	4.64	4.84	4.6	4.76	4.6	4.76	4.68	4.76	
子どもの保健Ⅱ	31	31	100.00	9	5	6	1.86	4.61	4.61	4.81	4.45	4.45	4.74	4.61	4.55	4.71	4.65	4.77	4.48	
子どもの保健Ⅱ	36	36	100.00	9	6, 5, 6		1.95	4.78	4.81	4.83	4.89	4.89	4.89	4.92	4.92	4.92	4.89	4.92	4.91	
社会的養護	18	18	100.00	9	2, 5	5	2.18	3.89	3.82	3.89	3.99	3.94	4	3.89	4.11	3.94	4.06	3.67	3.83	
グラフィックデザインⅠ	7	7	100.00	1, 1.6	5	1.6	4.43	4.71	4.71	4.71	4.71	4.86	5	5	4.86	4.86	5	4.86	5	
体力測定評価演習	41	41	100.00	1	5	3, 6	2.03	4.37	4.41	4.44	4.29	4.29	4.44	4.24	4.39	4.34	4.37	4.24	4.34	
体力測定評価演習	31	31	100.00	1	2, 3, 6	5	1.85	4.45	4.32	4.39	4.39	4.39	4.29	4.5	4.29	4.45	4.35	4.42	4.39	
和声学	10	10	100.00	1, 9	3, 5, 6	2, 14	4.7	4.7	4.7	4.8	4.6	4.4	4.9	4.9	4.9	4.8	5	5	4.9	
器楽応用	6	6	100.00	9	6	1, 4, 5	3.2	4.17	4	3.67	3.83	3.67	4.17	4	4	3.83	3.83	4	3.83	
器楽応用	5	5	100.00	9	5	1, 5, 6, 10	1.67	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.2	4.4	4.6	4.6	4.6	4.6	
器楽応用	3	3	100.00	9	5	1, 2, 6	1.5	4.67	4.67	4.67	5	4.33	4.67	4.67	4.33	5	5	5	4.67	
器楽Ⅰ	7	7	100.00	9	5	1, 9	1.5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.86	5	5	5	
器楽Ⅰ	6	6	100.00	9	5	1, 6	2.5	4.33	4.83	4.83	4.67	4.67	5	4.5	4.83	4.67	4.5	4.67	4.83	
博物館資料保存論	4	4	100.00	9	1	6	3.33	4	3.25	3.5	4.25	4.25	4.25	4.25	3.75	4.5	4.25	4	4.25	
基礎解剖学	73	73	100.00	1	5	1	1.98	4.37	4.26	4.29	4.27	4.25	4.08	4.15	3.96	4.25	4.23	4.07	4.3	
基礎解剖学	70	70	100.00	9	1	6	1.77	4.34	4.03	4.27	4.21	4.17	3.75	3.94	3.64	4.14	3.84	3.67	4.1	
体力測定評価	72	72	100.00	1	5	6	2.52	4.21	4.06	4.27	4.26	4.3	4.31	4.14	3.96	4.15	4.19	4.15	4.11	
体力測定評価	139	139	100.00	1	5	3	2.06	4.05	3.8	3.91	3.98	3.99	4.04	3.76	3.72	3.85	3.81	3.66	3.85	
英語(中級)	6	6	100.00	1, 6	1, 6	5	2.67	4	3.83	4.17	4.67	4.67	4.33	4.17	4.83	4.67	4.17	4.5	4.5	
英語(中級)	12	12	100.00	1, 2, 6	6, 10	2, 3, 3	2.33	4.33	4.33	4.17	4.17	4.27	4.33	3.67	4.42	4.17	4.33	4.33	4.33	
高齢者心理学	16	16	100.00	1	5	1, 3	2.38	4.25	4.25	4.5	4.56	4.5	4.38	4.5	3.94	4.62	4.56	4.56	4.56	
韓国語	11	11	100.00	1	2	6	2.38	4.64	4.36	4.64	4.45	4.45	4.73	4.45	4.64	4.73	4.64	4.73	4.64	
陶芸	9	9	100.00	1	6, 2, 10	1, 2, 5	4.78	5	4.78	5	4.78	4.56	5	5	5	5	5	5	5	
ファッション画	7	7	100.00	1	5	6	2.25	5	5	5	4.71	4.71	5	4.86	5	5	4.86	4.71	5	
グラフィックデザインⅢ	5	5	100.00	1	5	6	1.25	5	5	5	5	5	5	5	4.4	5	5	4.6	4.8	5
器楽応用	6	6	100.00	9	5	1, 6	2	4.83	4.83	4.83	4.83	4.83	4.83	4.67	4.83	4.83	4.83	4.83	4.67	
器楽応用	5	5	100.00	9	5	1, 6	2	4.8	5	5	5	5	5	4.8	5	4.8	5	5	5	
器楽応用	5	5	100.00	9	5	1	2	4.4	4.6	4.8	4	4.2	4.8	4.8	5	5	4.8	4.6	4.4	
器楽Ⅰ	7	7	100.00	9	5	1, 6	1.2	4.57	5	4.86	4.71	4.86	5	5	4.86	5	4.71	5	5	
器楽Ⅰ	6	6	100.00	9	5	1, 2, 4, 6	1.5	4.67	5	4.83	4.83	5	5	5	4.67	5	5	5	5	
器楽Ⅰ	5	5	100.00	9	5	1	2	4.6	4.6	4.8	4.4	4.4	5	5	4.8	4.6	4.8	4.6	4.4	
薬理概論	31	31	100.00	9	5	6	1.93	4.1	4.13	4.52	4.77	4.74	4.74	4.23	4.06	4.58	4.65	4.23	4.65	
現代と経済	9	9	100.00	1	5	6	3	4.22	4	4.33	4.22	4.22	4.67	4.33	4.33	4.56	4.56	4.56	4.22	
美術科教育法Ⅰ	2	2	100.00	5	1	9	1.5	5	4	5	5	5	5	4.5	5	5	5	5	5	
生活の中の介護福祉	31	31	100.00	1, 2	1, 6	3, 6	2.41	3.9	3.87	3.97	4.16	4.1	4.03	4	3.94	4.19	3.97	4.19	3.9	
社会教育計画	45	45	100.00	9	5	3	2.39	4.24	4.2	4.33	4.29	4.4	4.47	4.27	4.29	4.49	4.38	4.29	4.3	
子どもと絵本	112	112	100.00	1	5	6	1.97	4.48	4.69	4.71	4.6	4.63	4.79	4.73	4.3	4.71	4.63	4.58	4.51	
彫刻Ⅲ	10	10	100.00	1	5	5	2	4.8	4.8	4.8	4.9	4.9	4.9	4.8	4.9	4.9	4.9	4.8	4.67	
介護技術演習Ⅰ	9	9	100.00	9	5	6	2	4.44	4.44	4.33	4.44	4.33	4.33	4.44	4.11	4.33	4.33	4.33	4.44	
介護過程Ⅳ(知的・精神障害者、内部疾患者)	6	6	100.00	9	2, 5, 9	5, 6, 9	1.67	4	3.83	4	4.5	4.67	4	3.83	4.17	4.17	4.33	4	4.17	
保育相談支援	15	15	100.00	9	5	5	3.15	4.67	4.73	4.73	4.47	4.53	5	4.93	5	4.93	5	4.8	4.8	
スポーツバイオメカニクス	57	57	100.00	1	5	5	1.84	4.35	3.93	4.04	4.18	4.18	4.3	4.16	4.3	4.33	4.28	4.28	4.32	
英語コミュニケーションⅠ	44	44	100.00	9	6	5	1.35	4.43	4.14	4.25	4.25	4.3	4.55	3.93	4.16	4.42	4.07	4.11	4.23	
英語コミュニケーションⅠ	34	34	100.00	9	6, 5, 6		1													

## 北翔大学 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均	板書平均	環境平均	オプション	総合平均
メンタルトレーニング演習	37	37	100.00	1	6	3.6	2.84	4.51	4.54	4.46	4.51	4.49	4.54	4.54	4.54	4.57	4.54	4.54	4.51
スポーツ心理学	96	96	100.00	9	1	6	1.9	4.49	4.51	4.55	4.51	4.57	4.58	4.59	4.54	4.58	4.58	4.55	4.53
微生物学(免疫学を含む)	42	42	100.00	9	5	1	1.55	4.76	4.6	4.76	4.81	4.79	4.83	4.79	4.21	4.93	4.9	4.9	4.69
ソーシャルワーク概説 I	53	53	100.00	9	5	6	1.97	3.85	3.47	3.64	3.98	4.02	4.04	3.67	3.27	3.94	3.88	3.98	3.77
基礎教育セミナー I	104	104	100.00	9	2	2	2.11	4.08	4.17	4.06	4.08	4.15	4.12	4.08	4.1	4.19	4.13	4.14	4.12
基礎教育セミナー I	91	91	100.00	9	2	4.10	1.9	4.23	4.42	4.18	4.36	4.43	4.29	4.28	4.28	4.37	4.47	4.39	4.51
就業力特別講義 II (後半)	161	160	99.38	9	6	10	1.46	4.01	4.01	4.05	4.24	4.26	4.38	4.18	3.65	4.18	4.19	4.14	4.08

# 山形大学基盤共通教育 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

			履修登録者数(a)	回答数(b)	回答率(b/a)%	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教養平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均	板書平均	環境平均	オプション	総合平均			
導入科目	スタートアップセミナー	スタートアップセミナー	35																					
			35	33	94.29	6	5	1	4.33	4.39	4.36	4.12	4.18	4.33	4.48	4.42	4.42	1.91	4.42	4.58	5.00	4.39		
			35	31	88.57	6	5	8	4.19	4.23	4.23	3.90	4.13	4.48	4.32	4.48	1.77	4.16	4.29	3.67	4.23			
			35	31	88.57	6	5	7	4.42	4.65	4.61	4.35	4.39	4.71	4.77	4.63	1.68	4.70	4.80	4.25	4.70			
			35	31	88.57	6	5	1, 7	4.03	4.45	4.23	4.00	4.16	4.48	4.32	4.32	1.71	4.19	4.29	4.04	4.10			
			50	31	62.00	6	5	5	4.32	4.26	4.16	4.00	4.10	4.29	4.10	4.07	1.90	4.10	4.16				4.03	
			35	33	94.29	6	5	2	4.24	4.48	4.48	4.30	4.52	4.55	4.48	4.38	2.06	4.30	4.45	4.67	4.44			
			35	32	91.43	6	5	5	4.38	4.47	4.32	4.16	4.25	4.62	4.56	4.66	1.84	4.47	4.66	5.00	4.68			
			35																					
			35	34	97.14	6	2	8	3.91	3.97	3.97	3.44	3.71	3.71	3.82	3.73	1.62	4.21	4.06	5.00	3.88			
			35	34	97.14	6	5	2	4.21	4.38	4.35	4.12	4.24	4.74	4.47	4.65	1.71	4.32	4.56	3.20	4.48			
			35	33	94.29	6	7	5	3.70	3.94	4.03	3.48	3.73	4.03	3.76	3.91	1.75	3.88	4.09	3.77	3.67			
			35	34	97.14	6	7	8	3.91	4.06	4.09	3.79	3.91	3.82	3.85	4.24	1.76	3.94	4.27	4.14	3.81			
			38	30	78.95					3.83	4.37	4.03	3.83	3.93	4.73	4.37	4.47	2.40	4.10	4.60	3.87	4.13		
			35	33	94.29	6	5	1	4.45	4.52	4.61	4.33	4.39	4.64	4.58	4.64	2.12	4.70	4.67	5.00	4.81			
			35	30	85.71	6	2, 5	5, 8	3.50	4.13	4.00	3.37	3.50	3.80	3.83	3.97	1.83	3.57	4.13	3.75	3.52			
			35	31	88.57	6	5	8	3.90	4.16	4.23	3.71	4.19	4.03	3.81	3.84	1.87	4.23	4.55	5.00	4.07			
			35	32	91.43	6	8	8	3.53	3.66	3.53	3.34	3.38	4.06	3.81	4.00	1.72	3.84	4.16			3.37		
			35	32	91.43	6	5	1	3.97	4.38	4.31	3.78	4.06	3.97	3.84	4.22	1.38	3.97	4.25	3.00	3.97			
			35																					
			35	28	80.00	6	5	8	4.07	4.29	4.07	3.86	3.93	3.86	4.18	4.11	2.32	4.14	4.29	4.33	3.96			
			35	29	82.86	6	2	5	3.86	4.48	4.17	3.59	3.90	4.14	4.10	4.03	1.82	3.83	4.43	5.00	4.00			
			36	35	97.22	6	2	8	3.66	3.91	3.94	3.51	3.66	3.91	3.69	3.66	1.91	3.89	4.17	4.00	3.80			
			35	28	80.00	6	2, 5	5	3.82	4.25	4.43	3.64	3.93	4.32	4.29	4.39	1.71	3.96	4.54	3.00	4.00			
			35	33	94.29	6	5	8	3.79	3.73	3.73	3.21	3.67	3.94	3.42	3.88	1.73	3.58	4.24	4.00	3.41			
			35																					
			35	34	97.14	6	5	2	3.79	4.03	3.91	3.50	3.88	4.29	4.29	4.50	1.59	4.03	4.35			3.55		
			35																					
			35	33	94.29					3.94	4.27	4.15	3.82	3.85	4.36	4.42	2.21	4.36	4.33	3.12	4.33			
			35	33	94.29	6	5	5	4.18	4.55	4.45	4.15	4.24	4.94	4.79	4.73	2.27	4.52	4.84	5.00	4.59			
			35	33	94.29	6	2, 7	5, 8	3.88	4.00	4.03	3.73	4.03	4.64	4.48	4.64	1.91	4.42	4.58	4.00	4.06			
			35	30	85.71	6	5	2, 5	4.47	4.53	4.50	4.17	4.30	4.67	4.67	4.63	2.20	4.70	4.63	4.00	4.67			
			41	39	95.12	6	5	5, 7	4.28	4.41	4.44	3.97	4.13	4.66	4.44	4.38	2.21	4.28	4.54	4.21	4.21			
			35	30	85.71	6	5	2	4.27	4.40	4.57	4.33	4.33	4.57	4.60	4.63	1.90	4.55	4.62	4.00	4.55			
			35	28	80.00	6	1	5	4.50	4.64	4.54	4.18	4.43	4.79	4.61	4.64	1.96	4.32	4.71		4.52			
			35																					
			38	32	84.21					4.16	4.56	4.34	3.91	4.12	4.66	4.41	4.62	1.94	4.31	4.56	4.06	4.44		
			36	31	86.11	6	5	2	4.23	4.29	4.39	4.10	4.19	4.84	4.48	4.48	2.26	4.35	4.65	3.97	4.60			
			35	22	62.86	6	2	8	4.09	4.45	4.45	4.18	4.23	4.50	4.55	4.73	1.73	4.59	4.64	4.33	4.50			
			35	33	94.29	6	5	2	4.39	4.58	4.42	4.15	4.21	4.64	4.70	4.79	1.73	4.73	4.70	4.60	4.64			
			35	32	91.43	6	5	5	4.03	4.38	4.34	3.84	4.09	4.16	4.19	4.25	1.88	4.47	4.38	3.03	4.34			
			35	32	91.43	6	5	1, 2	4.12	4.56	4.47	4.12	4.19	4.91	4.59	4.62	1.77	4.25	4.53	4.00	4.62			
			35	35	100.00	6	5	5, 8	3.97	4.14	4.34	3.63	3.97	4.34	4.40	4.31	1.91	4.54	4.57		4.14			
			35	29	82.86	6	2	2	4.31	4.38	4.48	4.17	4.24	4.62	4.59	4.48	2.00	4.41	4.62	4.50	4.41			
			35	29	82.86	6	5	8	3.55	3.90	3.79	3.45	3.59	3.83	3.72	3.62	1.76	3.93	4.07	2.50	3.46			
			35	32	91.43	6	5	2	4.00	4.34	4.19	3.59	4.00	4.09	4.06	4.00	1.59	3.91	4.28	4.50	4.17			
			35	30	85.71	6	5	8	3.83	4.20	4.33	3.59	3.77	4.17	4.10	4.17	2.20	4.23	4.30	5.00	4.17			
			35	33	94.29	6	7	8	4.18	4.48	4.24	4.06	4.09	4.15	4.36	4.55	1.55	4.12	4.47	4.00	4.15			
			35	34	97.14	6	5	8	3.44	3.56	3.59	2.94	3.29	3.24	3.56	3.91	2.06	3.03	3.94	4.00	2.85			
			計	1,744	1,362	78.10				4.04	4.27	4.23	3.85	4.02	4.33	4.25	4.32	1.89	4.20	4.43	4.12	4.15		
			学部導入セミ	125																				
			計	125	0	0.00																		
			学部導入セミナー(工学部)	72	61	84.72	6	4	1	4.46	4.41	4.50	4.18	4.03	4.11	4.16	3.52	2.75	3.89	4.03	4.75	4.25		
			計	72	71	98.61	6	4	1	4.24	4.39	4.45	3.97	3.90	4.49	4.28	4.10	2.14	4.14	4.31	4.50	4.38		
			学部導入セミ	144	132	91.67				4.35	4.40	4.48	4.08	3.97	4.30	4.22	3.81	2.45	4.02	4.17	4.63	4.32		
計	86																							
科目計	2,099	1,494					4.05	4.28	4.24	3.86	4.02	4.33	4.25	4.29	1.91	4.19	4.42	4.14	4.16					
基幹科目	人間を考える・共生を考える	人間を考える	55	42	76.36	1	1, 2	5	3.76	3.76	3.86	3.69	3.62	4.26	3.88	3.64	1.81	3.64	4.12	2.00	4.08			
			49	47	95.92	6	1	5	4.30	4.02	4.15	3.83	3.87	4.64	4.43	4.36	1.43	4.30	4.40	3.50	4.51			
			計	104	89	85.58				4.03	3.89	4.01	3.76	3.75	4.45	4.16	4.00	1.62	3.97	4.26	2.75	4.30		
			山形から考える	50	49	98.00	6	5	1	3.78	3.63	3.86	3.53	3.53	4.24	3.65	3.55	1.48	3.79	4.02	4.00	3.74		
			計	50	49	98.00				3.78	3.63	3.86	3.53	3.53	4.24	3.65	3.55	1.48	3.79	4.02	4.00	3.74		
			人間を考える	55	43	78.18	1	5	2	4.44	4.56	4.47	4.26	4.37	4.51	4.60	4.05	3.33	4.56	4.56	5.00	4.58		
			55	47	85.45	1	5	5	3.83	3.89	3.87	3.57	3.32	3.94	3.91	3.72	1.36	4.30	4.17	4.00	4.04			
			50	43	86.00	1	2	5	4.16	4.09	4.09	3.93	3.67	4.67	4.58	4.28	1.43	4.47	4.51		4.65			
			27	21	77.78	1	2	2	4.24	3.81	3.95	3.90	3.76	4.38	4.33	4.10	1.43	4.00	4.43		4.40			
			44	32	72.73																			

# 山形大学基盤共通教育 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

			履修登録者数(a)	回答数(b)	回答率(b/a)%	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教養平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均	板書平均	環境平均	オプション	総合平均	
			20																			
			55	46	83.64	1	5	5	4.41	4.43	4.41	4.30	4.09	4.63	4.41	4.35	1.53	4.30	4.28	4.25	4.48	
			49	41	83.67	6	2	5	3.93	4.10	4.32	3.93	4.05	4.54	3.95	4.59	3.29	4.08	4.32	4.50	4.25	
		計	769	617	80.23				4.18	4.21	4.27	4.03	3.99	4.45	4.22	3.95	1.84	4.17	4.34	4.45	4.35	
	領域計		1,626	1,223					4.19	4.14	4.21	4.01	3.96	4.46	4.23	4.00	1.69	4.20	4.37	4.11	4.37	
	山形から考える	山形から考える	72	68	94.44	6	2	2	4.22	4.32	4.32	4.12	4.15	4.66	4.43	4.57	1.34	4.32	4.49	4.50	4.31	
			29	25	86.21	1	2	2	4.56	4.64	4.32	4.24	4.20	4.68	4.48	4.60	1.52	4.48	4.60	5.00	4.72	
			42																			
			19	16	84.21	1	1, 2	5	4.38	4.50	4.69	4.75	4.44	4.62	4.69	4.56	2.06	4.56	4.44	5.00	4.88	
			40																			
			14	12	85.71	1	2, 8	4.58	4.67	4.33	4.25	4.33	4.75	4.08	4.42	1.25	4.33	4.42			4.50	
			50	50	100.00	1	2, 1, 6	4.38	4.46	4.45	4.06	4.12	4.68	4.44	3.90	1.51	4.24	4.43	4.67		4.53	
			50																			
			19																			
			28																			
			83	74	89.16	2	2	5	3.95	3.74	3.81	3.52	3.33	3.93	3.58	3.51	1.41	3.52	3.77	4.00	3.74	
			52	45	86.54	1	2, 5, 7	4.29	4.29	4.33	4.13	4.22	4.36	4.36	4.13	1.89	4.09	4.18	4.64	4.74	4.26	
			140	91	65.00	6	2	5	4.27	4.48	4.30	4.32	4.10	4.90	4.76	4.32	1.84	4.58	4.66	4.68	4.76	
			140	124	88.57	6, 1, 5	2	2	4.40	4.56	4.44	4.27	4.26	4.84	4.77	4.31	1.61	4.64	4.76	4.79	4.81	
			15																			
			30																			
			11																			
			12																			
			14																			
			177	175	98.87	1	5	5	4.82	4.77	4.73	4.70	4.71	4.57	4.43	4.45	2.18	4.38	4.29	4.43	4.82	
			12	12	100.00	1, 6	5	6	4.58	4.58	4.58	4.42	4.25	4.83	4.50	4.64	1.67	4.17	4.50		4.58	
			64	53	82.81	1	2	5	4.47	4.45	4.36	4.23	4.21	4.47	4.25	4.51	1.85	4.21	4.34	4.50	4.38	
			12	12	100.00	1, 1, 2	7	4.42	4.33	4.42	4.17	4.08	4.50	4.25	4.67	1.58	4.42	4.58			4.58	
			30	29	96.67	6	7	1	3.97	3.83	3.86	3.52	3.79	4.45	3.86	4.00	1.62	3.86	3.96	3.75	4.23	
		領域計	1,155	786					4.38	4.40	4.35	4.19	4.16	4.59	4.35	4.33	1.67	4.27	4.39	4.55	4.51	
		科目計	2,781	2,009					4.25	4.22	4.26	4.07	4.02	4.50	4.27	4.11	1.68	4.23	4.38	4.25	4.42	
教養科目	文化と社会	哲学	190	118	62.11	1	5	2	4.08	3.95	4.04	3.82	3.80	4.45	4.30	3.95	1.68	4.40	4.51	4.45	4.41	
		計	190	118	62.11				4.08	3.95	4.04	3.82	3.80	4.45	4.30	3.95	1.68	4.40	4.51	4.45	4.41	
		歴史学	209	64	30.62	7	2	5	4.25	4.12	4.16	4.11	4.16	4.66	4.20	4.23	1.56	4.20	4.39	4.17	4.56	
			190	171	90.00	1	5, 2, 5	4.01	3.97	4.06	3.93	3.79	4.42	4.21	3.82	1.69	3.93	4.38	4.11	4.35		
			209	66	31.58	1	2, 1, 3	4.48	4.39	4.35	4.27	4.24	4.61	4.29	4.11	1.71	4.07	4.21	3.20	4.56		
			22	20	90.91	1, 2, 5	5	4.35	3.70	3.85	4.00	3.70	4.20	3.75	3.90	1.90	3.65	4.60	5.00	4.20		
		計	630	321	50.95				4.27	4.05	4.11	4.08	3.97	4.47	4.11	4.02	1.72	4.04	4.40	4.12	4.42	
		文学	53	33	62.26	1, 7	5	8	3.94	3.91	3.91	3.64	3.21	4.30	3.94	3.03	1.24	3.16	3.62	3.00	3.81	
			36	25	69.44	1	1, 2, 3	4.40	3.80	4.20	4.12	3.88	4.52	4.20	3.36	2.04	3.32	4.56	5.00	4.33		
			89	72	80.90	1	2	5	3.67	3.40	3.68	3.46	3.33	3.90	3.36	3.28	1.53	3.49	4.13	4.50	3.80	
		計	178	130	73.03				4.00	3.70	3.93	3.74	3.47	4.24	3.83	3.56	1.60	3.66	4.10	4.17	3.98	
		芸術	73	59	80.82	1	5	2	4.27	4.14	4.20	3.95	3.49	4.39	4.41	3.32	1.50	4.39	4.44	5.00	4.46	
		計	73	59	80.82				4.27	4.14	4.20	3.95	3.49	4.39	4.41	3.32	1.50	4.39	4.44	5.00	4.46	
		言語学	301	217	72.09	1	2	5	4.06	4.19	4.12	3.85	3.73	4.46	4.41	3.62	1.72	4.35	4.37	4.33	4.40	
			289	232	80.28	1	2	5	4.18	4.23	4.13	3.95	3.89	4.50	4.42	3.71	1.73	4.34	4.53	4.55	4.50	
		計	590	449	76.10				4.12	4.21	4.13	3.90	3.81	4.48	4.42	3.67	1.73	4.35	4.45	4.44	4.45	
		文化論	209	199	95.22	2	2	5	3.62	3.56	3.57	3.28	3.00	3.74	3.43	3.10	1.43	3.54	3.86	3.50	3.61	
		計	209	199	95.22				3.62	3.56	3.57	3.28	3.00	3.74	3.43	3.10	1.43	3.54	3.86	3.50	3.61	
		法学	39																			
			21	18	85.71	1	2	5	4.28	4.06	4.17	4.17	3.94	4.28	4.17	3.72	2.22	4.17	4.53	4.00	4.41	
			131	105	80.15	2	5, 2, 8	3.53	3.30	3.48	3.28	3.25	4.12	3.39	3.01	1.40	3.01	3.96	3.67	3.59		
		計	191	123	64.40				3.91	3.68	3.83	3.73	3.60	4.20	3.78	3.37	1.81	3.59	4.25	3.84	4.00	
		経済学	38	37	97.37	1	2	8	3.53	3.49	3.64	3.49	3.34	4.17	3.80	3.89	2.29	4.03	3.94	3.67	3.77	
			50	43	86.00	1	2	5	4.09	3.79	3.95	3.67	3.47	3.95	3.95	2.81	1.67	3.88	3.93	4.00	3.88	
			70	60	85.71	1	5	2	3.68	3.48	3.62	3.43	3.22	3.78	3.08	2.97	1.92	3.17	3.78	3.00	3.41	
			107	80	74.77	1	5, 2, 5	3.78	3.61	3.80	3.64	3.48	4.14	3.89	3.84	1.66	3.94	4.14	3.25	3.95		
		計	265	220	83.02				3.77	3.59	3.73	3.56	3.38	4.01	3.68	3.38	1.89	3.76	3.95	4.48	3.75	
		社会学	169	27	15.98	1	2	5	3.78	3.56	3.33	3.22	3.30	3.78	2.96	3.15	2.15	3.26	3.81	4.17	3.12	
			32	23	71.88	1	2	5	3.83	3.57	3.83	3.52	3.57	3.48	3.00	3.30	1.91	3.22	3.87	5.00	3.26	
			57	54	94.74	1	5	5	3.98	4.06	4.17	4.00	3.98	4.26	4.22	3.70	1.28	4.13	4.26		4.32	
		計	258	104	40.31				3.86	3.73	3.78	3.58	3.62	3.84	3.39	3.38	1.78	3.54	3.98	4.59	3.57	
		政治学	31	28	90.32	1	4	2	4.57	4.32	4.36	4.21	3.71	4.14	4.36	4.39	1.75	4.04	4.70		4.57	
			77	64	83.12	1	5	2	4.14	3.97	4.20	4.00	3.97	4.31	4.11	3.79	1.90	3.92	4.30	3.32	4.07	
		計	108	92	85.19				4.36	4.15	4.28	4.11	3.84	4.23	4.24	4.09	1.83	3.98	4.50	3.32	4.32	
		地理学	107	94	87.85	1	2	5	4.17	4.18	4.02	3.86	3.79	4.27	4.07	3.56	1.57	3.79	4.23	4.20	4.17	
			122	117	95.90	1	5	5	4.15	3.84	3.96	3.59	3.46	4.33	4.12	3.10	1.56	4.09	4.28	4.25	4.03	
		計	229	211	92.14				4.16	4.01	3.99	3.73	3.63	4.30	4.10	3.33	1.57	3.94	4.26	4.23	4.10	
		日本国憲法	71	59	83.10	1	2, 1, 8	4.05	3.56	3.78	3.59	3.58	4.07	3.64	3.31	1.73	3.66	4.22	4.33	3.86		
			87	82	94.25	5	2, 1, 2	4.11	4.09	4.09	3.77	3.74	4.35	4.23	4.35	1.80	4.28	4.26	3.60	4.25		
			205	188	91.71	6	5, 1, 5	4.09	3.66	3.88	3.71	3.63	4.11	3.86	3.14	1.90	4.12	4.13	3.60	4.04		
		計	363	329	90.63				4.08	3.77	3.92	3.69	3.65	4.18	3.91	3.60	1.81	4.02	4.20	3.84	4.05	
		領域計	3,284	2,355					4.04	3.85	3.95	3.77	3.63	4.20	3.92	3.59	1.73	3.89	4.21	4.03	4.06	
	自然と科学	生物科学	178	159	89.33	1	4	2	3.95	3.73	4.04	3.74	3.45	4.54	4							



# 山形大学基盤共通教育 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

			履修登録者数(a)	回答数(b)	回答率(b/a)%	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教養平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均	板書平均	環境平均	オプション	総合平均	
			34																			
			32	31	96.88	6	5	8	4.35	4.32	4.23	4.06	3.74	4.81	4.58	4.58	2.10	4.26	4.60	3.75	4.66	
			35	34	97.14	6	2	1	4.47	4.41	4.56	4.47	4.21	4.79	4.53	4.82	3.24	4.35	4.69	5.00	4.76	
			38	35	92.11	6	1	8	4.60	4.49	4.51	4.31	4.29	4.66	4.60	4.67	1.89	4.66	4.71	4.67	4.77	
			34	32	94.12	6	5	5	4.81	4.81	4.81	4.72	4.47	4.94	5.00	4.97	1.72	4.84	4.91		5.00	
			39	37	94.87	6	1	5	4.46	4.54	4.43	4.27	3.89	4.84	4.70	4.73	1.78	4.43	4.54	5.00	4.83	
			37	34	91.89	6	5	2	4.21	4.18	4.03	3.94	3.82	4.65	4.56	4.68	2.06	4.35	4.65	4.00	4.45	
			31	31	100.00	6	5	2	4.16	4.13	4.10	3.87	3.77	4.42	3.90	4.26	1.61	4.23	4.58	4.00	4.32	
			33	33	100.00	6	5	8	4.09	4.42	4.33	4.03	3.91	4.48	4.45	4.42	2.36	4.21	4.47		4.61	
			34	33	97.06	6	5	8	4.33	4.42	4.06	3.91	4.27	4.24	4.33	1.64	4.30	4.36	4.00	4.41		
			34	32	94.12	6	5	5	4.16	4.19	4.28	3.88	3.56	4.59	4.09	4.38	2.47	4.19	4.62		4.53	
			36	35	97.22	6	5	1, 4	4.06	4.00	4.03	3.97	3.94	4.37	4.03	4.17	2.32	3.83	4.26		4.23	
			35	33	94.29	6	5	1, 8	4.33	4.45	4.06	3.85	3.52	4.33	4.55	4.41	2.52	4.61	4.61	3.00	4.55	
			34	33	97.06	6	5	8	4.27	4.33	4.39	3.97	3.55	4.27	4.67	4.24	2.06	4.48	4.61	5.00	4.53	
			36	35	97.22	6	5	2	3.97	4.06	4.09	3.83	3.69	4.23	4.03	4.14	1.54	4.43	4.11		4.29	
			35	33	94.29	6	5	1	3.91	4.33	4.15	3.73	3.64	4.52	4.61	4.42	1.70	4.27	4.52	5.00	4.50	
			38	37	97.37	6	1	5	4.16	4.32	4.24	3.89	3.95	4.41	4.30	4.28	2.11	4.36	4.42	5.00	4.35	
			37	36	97.30	6	5	1, 5	4.33	4.28	4.03	4.08	3.92	4.31	4.22	4.11	1.94	4.40	4.43	5.00	4.31	
			36	36	100.00	6	5	8	4.14	3.94	3.83	3.61	3.42	4.36	3.97	4.14	2.36	4.14	4.40		4.34	
			32	32	100.00	6	5	1	4.47	4.47	4.50	4.25	4.84	4.69	4.72	2.59	4.55	4.62	4.75	4.75		
			38	37	97.37	6	5	1, 2	3.92	4.03	3.89	3.68	3.54	3.84	4.00	3.76	1.94	4.08	4.11	4.00	4.14	
			37	35	94.59	6	5	8	4.09	3.89	3.94	3.71	3.57	4.31	4.00	4.06	2.06	3.91	4.14	4.00	4.06	
			37	36	97.30	6	5	2	4.19	4.36	4.14	3.97	3.92	4.31	4.31	4.06	2.09	4.25	4.42		4.36	
			36																			
			34	33	97.06	6	5	5	4.24	4.24	4.24	4.21	4.12	4.55	4.39	4.27	2.03	4.24	4.24	5.00	4.44	
			34	31	91.18	6	2	8	4.23	4.39	4.23	3.90	3.81	4.65	4.43	4.13	2.16	4.35	4.73	5.00	4.65	
			35	33	94.29	6	5	8	4.18	4.18	4.00	3.97	3.75	4.58	4.27	4.36	2.39	4.12	4.67		4.55	
			35	31	88.57	6	2	1, 5	4.16	4.35	3.97	3.77	3.42	4.61	4.39	4.03	1.68	4.19	4.52		4.45	
			計	3,458	2,729	78.92			4.25	4.29	4.20	4.00	3.85	4.52	4.38	4.39	2.15	4.28	4.49	4.36	4.48	
		英語(C)(再履修)	13	9	69.23	6	2	8	4.11	4.44	4.44	4.11	4.22	4.56	4.67	4.75	2.00	4.67	4.78		4.67	
			6																			
			1	1	100.00	6	4	5	5.00	5.00	4.00	2.00	2.00	4.00	4.00	4.00	1.00	4.00	4.00		4.00	
			13																			
			12	8	66.67	6	2, 7		4.12	4.12	3.50	3.25	2.88	4.38	4.25	3.88	1.38	3.88	4.50		4.00	
			12	9	75.00	6	2, 4, 8		4.56	4.67	4.78	4.44	4.22	4.78	4.78	4.67	2.44	4.78	4.78	4.50	4.78	
			13																			
			計	70	27	38.57			4.45	4.56	4.18	3.45	3.33	4.43	4.43	4.33	1.71	4.33	4.52	4.50	4.36	
		英語(R)(再履修)	20	11	55.00	6	7, 2, 8		3.91	4.27	4.00	3.64	3.45	4.45	4.55	4.55	1.73	4.64	4.80		4.45	
			2	1	50.00	6	5	8	5.00	5.00	5.00	4.00	4.00	5.00	5.00	5.00	1.00	5.00	5.00		5.00	
			10																			
			11	8	72.73	6	2	8	3.88	4.25	4.00	3.62	3.62	4.38	4.62	4.25	2.50	4.25	4.00		4.62	
			19																			
			13																			
			8	9	112.50	6	1, 2	5	4.22	4.22	4.00	4.00	3.78	4.56	4.56	4.56	2.56	4.44	4.67		4.56	
			計	83	29	34.94			4.25	4.44	4.25	3.82	3.71	4.60	4.68	4.59	1.95	4.58	4.62		4.66	
		領域計	3,611	2,785					4.26	4.30	4.20	3.97	3.82	4.52	4.40	4.39	2.12	4.29	4.50	4.37	4.48	
		コミュニケーション・スキル2	13	14	107.69	1	2	2	4.29	4.21	4.43	4.36	3.86	4.79	4.71	4.64	2.57	4.29	4.43	4.50	4.71	
			14	13	92.86	6	1	2	4.38	4.69	4.92	4.31	4.00	4.92	4.62	4.69	3.15	4.62	4.62	5.00	4.50	
			25	23	92.00	6	3	5	4.61	4.00	4.57	4.30	4.00	4.70	4.87	4.87	2.04	4.61	4.70		4.91	
			21	22	104.76	1	1, 2, 5		4.64	4.14	4.64	4.32	3.95	4.41	4.68	4.82	2.55	4.50	4.59		4.82	
			36	36	100.00	6	5	1	4.53	4.39	4.47	4.28	4.03	4.42	4.61	4.61	2.08	4.39	4.61	5.00	4.69	
			22	21	95.45	6	1, 2, 5	5	4.62	4.57	4.57	4.38	4.38	4.71	4.71	4.52	1.90	4.35	4.67	5.00	4.71	
			6	6	100.00	1, 5	2, 5	2	4.17	4.17	4.50	4.33	4.17	4.83	4.50	4.50	2.00	4.33	4.67	4.17	4.50	
			40	35	87.50	6	5	5	4.37	4.26	4.40	4.20	3.97	4.57	4.51	4.32	2.26	4.49	4.45	3.67	4.56	
			24	24	100.00	1	2	5	4.29	3.79	4.38	4.12	3.67	4.29	4.42	4.12	2.17	4.00	4.38		4.29	
			23	21	91.30	6	2	5	4.57	4.24	4.60	4.67	4.24	4.38	4.76	4.86	2.62	4.70	4.71		4.90	
			17	16	94.12	1, 6	3	5	4.69	4.38	4.75	4.69	4.12	5.00	5.00	4.88	2.38	4.88	4.94	4.19	5.00	
			4	4	100.00	6	1	5	4.75	4.75	4.75	4.50	4.00	5.00	4.50	5.00	2.67	4.25	4.25		4.75	
			42	37	88.10	6	2	5	4.16	4.22	4.30	3.92	3.68	4.27	4.22	4.08	2.14	3.97	4.32	5.00	4.14	
			9	8	88.89	1	5	2	4.50	4.75	4.75	4.12	4.25	4.75	4.50	4.62	2.12	4.75	4.88		4.75	
			0																			
			0																			
			計	296	280	94.59			4.47	4.33	4.57	4.32	4.02	4.65	4.62	4.61	2.33	4.44	4.59	4.57	4.66	
		フランス語	29	29	100.00	1	1, 6	5	4.52	4.38	4.45	4.28	3.93	4.76	4.76	4.66	2.52	4.45	4.62	3.25	4.62	
			13																			
			24	24	100.00	1	5	2	4.54	4.29	4.38	4.38	3.92	4.62	4.67	4.58	1.96	4.25	4.62		4.75	
			29	28	96.55	1	1	5	4.21	3.79	4.18	3.96	3.54	4.32	3.75	4.36	2.25	3.75	4.36	4.61	4.25	
			28	27	96.43	1	5	6	4.48	4.33	4.56	4.37	4.00	4.78	4.67	4.89	2.22	4.11	4.67	5.00	4.85	
			15	15	100.00	6	1, 1, 5		4.27	3.80	4.40	4.07	3.53	4.27	4.00	4.47	2.20	3.93	4.67	4.00	4.33	
			0																			
			計	138	123	89.13			4.40	4.12	4.39	4.21	3.78	4.55	4.37	4.59	2.23	4.10	4.59	4.34	4.56	
		ロシア語	3	3	100.00	1	5	6	5.00	4.33	4.67	4.67	4.33	4.67	5.00	5.00	2.00	4.67	5.00	3.00	5.00	
			3	3	100.00	1, 8	5	1, 2	4.33	4.00	4.33	4.33	4.00	4.00	4.00	4.00	2.67	3.67	3.33	3.00	4.00	
			30	26	86.67	1	2, 3, 5		4.65	4.31	4.58	4.46	4.08	4.77	4.69	4.62	2.85	4.46	4.77		4.68	
			17	16	94.12	1	5	7	4.69	4.56	4.81	4.5										

# 山形大学基盤共通教育 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

		履修登録者数(a)	回答数(b)	回答率(b/a)%	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教養方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均	板書平均	環境平均	オプション	総合平均			
情報科学	情報処理	24	24	100.00	1	1	5	4.67	4.25	4.54	4.50	4.12	4.88	4.58	4.58	2.96	4.29	4.62		4.52			
		48	45	93.75	1	5	2	4.58	4.27	4.51	4.40	4.04	4.84	4.67	4.76	2.62	4.40	4.76	4.50	4.76			
				計	93	89	95.70			4.63	4.34	4.53	4.45	4.09	4.91	4.65	4.70	2.83	4.33	4.73	3.75	4.63	
				日本語	17	17	100.00	1	2	4	4.76	4.82	4.65	4.24	4.29	4.82	4.71	4.76	2.76	4.82	4.76	4.69	4.56
					12	9	75.00	4	3	1, 4	4.67	4.89	4.78	4.22	4.33	4.89	4.89	2.22	5.00	4.78	4.71	4.89	
					16	14	87.50	4	1	3	4.64	4.64	4.79	4.29	4.43	4.86	4.86	4.64	2.57	4.57	4.79	4.86	4.77
					25	25	100.00	1	4	3	4.88	4.80	4.92	4.64	4.76	4.96	4.96	4.80	2.52	4.92	4.92	5.00	4.88
					8	7	87.50	1, 4	1	2, 4	4.71	4.57	4.86	4.57	4.43	5.00	4.71	5.00	2.86	5.00	4.86	4.29	4.86
					18	15	83.33	1	4	3, 7	5.00	5.00	4.80	4.93	4.73	4.87	4.93	4.87	3.50	4.93	5.00	5.00	5.00
					18	16	88.89	1	1	3	4.81	4.75	4.94	4.69	4.62	5.00	5.00	4.88	3.38	5.00	5.00	5.00	5.00
					計	114	103	90.35			4.78	4.78	4.82	4.51	4.51	4.91	4.87	4.83	2.83	4.89	4.87	4.79	4.85
				領域計	1,071	930				4.55	4.37	4.56	4.33	4.08	4.67	4.59	4.61	2.44	4.43	4.60	4.37	4.64	
				情報科学	43	39	90.70	1	5	5	4.49	4.64	4.56	4.31	4.13	4.59	4.72	3.97	1.54	4.56	4.69	3.00	4.55
					51	46	90.20	6	5	1	4.33	4.41	4.50	4.24	4.22	4.48	4.52	4.16	1.76	4.54	4.59	4.00	4.64
					63	58	92.06	6	5	4, 5	4.07	4.33	4.33	3.96	3.90	4.10	4.26	4.00	1.95	4.14	4.26	5.00	4.32
					64	61	95.31	6	5	1	4.30	4.46	4.54	4.03	3.87	4.49	4.75	3.98	1.20	4.51	4.60	5.00	4.50
					64	41	64.06	6	5	1	4.37	4.32	4.41	4.02	3.90	4.27	4.20	3.71	1.54	4.07	4.22	4.00	4.27
					64	62	96.88	6	5	1	4.24	4.29	4.44	3.82	3.81	4.10	4.21	3.63	1.54	4.21	4.17	4.00	4.26
					44	42	95.45	6	5	1	4.43	4.48	4.60	4.10	3.83	4.71	4.69	3.81	1.46	4.60	4.62	4.33	4.64
					42	42	100.00	5	1	1, 4	4.43	4.38	4.64	4.24	4.12	4.38	4.40	4.22	1.62	4.40	4.57	3.00	4.55
					37	34	91.89	5	2	2	4.68	4.59	4.85	4.32	4.15	4.79	4.85	4.32	1.68	4.76	4.76		4.91
					62	60	96.77	6	5	8	4.08	4.27	4.25	3.90	3.97	4.07	3.98	3.61	1.67	3.95	4.12	5.00	4.03
					62	7	11.29	6	5	2	4.71	4.43	4.71	4.57	4.57	4.86	5.00	3.86	1.43	4.71	5.00		4.86
					60	57	95.00	6	5	8	4.02	4.11	4.28	3.81	3.84	4.28	4.35	3.75	1.61	4.26	4.37	4.33	4.26
					63	50	79.37	6	5	4	4.42	4.42	4.39	4.10	4.04	4.16	4.22	3.86	1.70	4.18	4.32	4.00	4.31
			50	41	82.00	6	5	2	4.07	4.27	4.34	3.76	3.68	4.29	4.49	3.76	1.39	4.25	4.29	5.00	4.35		
			62	52	83.87	6	5	4	4.48	4.48	4.58	4.31	4.23	4.60	4.63	3.96	1.35	4.44	4.54	5.00	4.46		
			45	27	60.00	6	5	4	4.41	4.56	4.67	4.33	4.26	4.78	4.74	4.41	1.78	4.48	4.74	4.00	4.78		
			49	38	77.55	6	5	2	4.24	4.37	4.47	4.11	4.13	4.47	4.42	4.24	1.34	4.39	4.45	4.00	4.50		
			63	46	73.02	6	4	1	4.43	4.57	4.54	4.09	4.00	4.41	4.50	3.85	1.67	4.41	4.43	4.50	4.51		
			62	58	93.55	6	5	5	4.00	4.17	4.19	3.78	3.79	4.21	4.14	3.76	1.60	4.11	4.23	2.00	4.22		
			63	61	96.83	6	5	8	3.85	4.26	4.54	3.87	3.52	4.26	4.44	3.61	1.43	4.30	4.21		4.34		
			63	48	76.19	6	4	2	4.25	4.50	4.54	3.85	3.92	4.35	4.35	3.79	1.08	4.19	4.46		4.35		
			63	59	93.65	6	5	1	4.17	4.32	4.36	3.86	3.81	4.17	4.34	3.88	1.29	4.20	4.32	4.50	4.37		
			64	56	87.50	6	5	4	4.38	4.54	4.54	4.21	4.16	4.52	4.51	3.95	1.80	4.25	4.36	4.50	4.52		
			60	19	31.67	6	1	5	4.37	4.32	4.42	4.00	3.74	4.53	4.42	3.74	1.28	4.37	4.32		4.42		
			45	32	71.11	1	5	2	4.50	4.34	4.59	4.16	3.91	4.44	4.50	4.16	1.69	4.31	4.55		4.53		
			59	58	98.31	6	5	5	4.45	4.45	4.47	4.17	4.02	4.21	4.19	3.83	1.61	4.02	4.21	4.33	4.35		
			50	46	92.00	5	1	5	4.54	4.63	4.67	4.37	3.96	4.59	4.78	4.22	1.74	4.70	4.49		4.68		
			63	61	96.83	6	1	8	4.05	4.25	4.48	3.80	3.72	4.41	4.61	4.00	1.39	4.48	4.51	4.00	4.47		
			61	32	52.46	6	5	8	4.34	4.50	4.69	4.19	3.94	4.72	4.75	4.03	1.50	4.56	4.59		4.66		
		領域計	1,641	1,333				4.31	4.40	4.50	4.08	3.97	4.42	4.48	4.93	1.54	4.36	4.45	4.17	4.47			
		健康・スポーツ	30	26	86.67	1	2	5	4.15	4.50	4.62	4.19	4.00	4.58	4.62	3.50	1.27	4.81	4.58	4.00	4.58		
			53	49	92.45	1	5	5	4.43	4.53	4.45	4.22	4.04	4.71	4.67	3.80	1.56	4.43	4.67		4.73		
			140																				
			63	57	90.48	1	2	5	4.16	4.14	4.07	3.91	3.77	4.42	4.49	4.14	1.56	4.14	4.54	4.40	4.48		
			90	72	80.00	1	5	2, 5	3.94	3.44	3.71	3.67	3.51	4.17	3.58	3.06	1.92	3.81	3.99	3.20	4.00		
			計	376	204	54.26			4.17	4.15	4.21	4.00	3.83	4.47	4.34	3.63	1.58	4.30	4.45	3.87	4.45		
			38																				
			15																				
			4																				
			13																				
			8	8	100.00	1	7	7	5.00	4.88	4.62	4.38	4.38	4.75	4.75	5.00	1.00	3.25	4.75		5.00		
			31	22	70.97	1	7	7	4.86	4.91	4.68	4.73	4.50	4.77	4.77	4.73	1.41	4.91	4.32		4.95		
			33	30	90.91	1	7	2	4.80	4.80	4.53	4.57	4.47	4.67	4.67	4.66	1.20	4.67	4.47		4.80		
			41	39	95.12	1, 7	2	2	4.82	4.72	4.59	4.44	4.33	4.79	4.67	4.74	1.47	3.41	4.18	3.60	4.75		
			15	16	106.67	1, 3, 5	2	2	4.94	4.94	4.75	4.88	4.88	5.00	5.00	5.00	2.25	3.67	4.62	5.00	4.94		
			47	35	74.47	1	2	8	4.69	4.60	4.51	4.34	4.09	4.43	4.47	4.20	1.80	3.82	4.23	4.40	4.42		
			21	20	95.24	1	2	7	4.95	4.75	4.65	4.60	4.40	4.40	4.65	4.40	1.85	4.05	3.95	4.50	4.70		
			26	24	92.31	1	7	7	4.83	4.88	4.83	4.88	4.83	4.83	4.83	2.25	4.75	4.67	4.75	4.96			
			29	21	72.41	1	7	2	4.71	4.81	4.71	4.52	4.29	4.62	4.57	4.52	1.19	4.19	4.25	5.00	4.79		
			32	28	87.50	1	7	5, 7	4.79	4.71	4.57	4.79	4.68	4.75	4.64	4.75	3.04	4.17	4.64	4.53	4.79		
			27	26	96.30	1, 2, 5	2, 7	4.85	4.81	4.58	4.62	4.58	4.58	4.54	4.50	1.19	3.68	4.23		4.76			
			29	29	100.00	1	1	7	4.69	4.59	4.59	4.34	4.21	4.66	4.59	4.48	1.24	3.93	4.14	5.00	4.66		
			37	37	100.00	1	2	2	4.76	4.84	4.68	4.65	4.49	4.84	4.70	4.68	2.36	4.25	4.58	5.00	4.89		
			29	29	100.00	1, 2, 7	7	7	4.97	4.79	4.59	4.72	4.66	4.41	4.41	4.45	1.61	3.50	4.29	4.84	4.64		
			3	3	100.00	2, 1, 2	6, 7	4.67	5.00	4.67	4.67	3.67	5.00	5.00	5.00	5.00	1.00	4.00	5.00	5.00	5.00		
			15	16	106.67	1	2	7	4.69	4.81	4.56	4.38	4.38	4.81	4.88	4.88	1.12	4.53	4.60		4.81		
			19	19	100.00	1	2, 5	5	4.95	4.95	4.84	4.89	4.84	5.00	5.00	5.00	1.32	4.95	4.89		5.00		
			22	23	104.55	6	2	7	4.87	4.91	4.74	4.65	4.48	4.91	4.87	4.91	1.35	4.26	4.70	5.00	5.00		
	</																						

山形大学基盤共通教育 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

		履修登録者数(a)	回答数(b)	回答率(b/a)%	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均	板書平均	環境平均	オプション	総合平均		
理工学	物理学	110	102	92.73	6	5	5	4.26	4.22	4.39	4.00	3.87	4.26	4.27	3.76	2.64	4.32	4.41	4.12	4.42		
		219	184	84.02	6	5	8	3.55	3.26	3.45	3.32	3.30	3.67	3.08	3.04	1.67	3.35	3.82	3.31	3.31		
		計	1,298	869	66.95				3.95	3.72	3.97	3.72	3.63	3.96	3.63	3.40	2.41	3.73	4.10	3.76	3.86	
		109	99	90.83	6	5	1, 8	3.79	3.57	3.62	3.39	3.34	3.39	3.39	3.40	2.76	3.59	3.97	3.67	3.50		
		109	107	98.17	6	5	1	3.93	3.63	4.02	3.85	3.62	4.36	4.15	4.17	2.59	4.25	4.49	3.67	4.32		
		153	131	85.62	6	4	2	3.87	3.56	3.75	3.50	3.25	3.79	3.50	2.74	2.15	3.42	3.75	3.55	3.77		
	171	141	82.46	6	4	1	4.34	4.46	4.38	4.23	4.12	4.50	4.43	3.99	1.96	4.31	4.56	4.11	4.50			
	152																					
	53	49	92.45	1	2	5	4.20	3.78	4.00	3.94	3.82	3.96	3.98	3.61	1.90	4.04	4.19	4.33	4.12			
	計	747	527	70.55				4.03	3.80	3.95	3.78	3.63	4.00	3.89	3.58	2.27	3.92	4.19	3.87	4.04		
	化学	59																				
		160																				
		113	103	91.15	1	1	2	4.38	4.32	4.42	4.24	4.10	4.60	4.50	4.32	2.31	4.50	4.51	4.67	4.63		
		2																				
		46	45	97.83	1	2	5	4.53	4.11	4.36	4.07	3.87	4.53	4.47	4.24	2.18	4.43	4.40	4.33	4.67		
		計	380	148	38.95				4.46	4.22	4.39	4.16	3.99	4.57	4.49	4.28	2.25	4.47	4.46	4.50	4.65	
	生物科学	61																				
		158																				
		39	38	97.44	6	5	1	4.03	4.32	4.39	4.05	3.89	4.53	4.42	4.50	1.68	4.22	4.54	4.00	4.22		
		27	24	88.89	6	1, 2	1, 5	4.42	4.33	4.46	4.21	3.92	4.67	4.42	4.54	2.00	4.46	4.58	5.00	4.57		
		35																				
		31																				
	計	351	62	17.66				4.23	4.33	4.43	4.13	3.91	4.60	4.42	4.52	1.84	4.34	4.56	4.50	4.40		
	地球科学	110	108	98.18	6	5	1	4.05	3.94	4.00	3.87	3.74	4.12	3.96	3.64	2.06	3.83	4.12	3.59	4.03		
		108	101	93.52	6	5	5	3.82	3.83	3.78	3.46	3.39	3.87	3.45	3.49	2.09	3.68	4.00	4.00	3.60		
		37	22	59.46	6	1, 2, 5		4.32	3.86	3.77	3.73	3.59	4.23	4.14	3.82	1.68	3.95	4.18	4.00	4.36		
		39																				
		36	34	94.44	6	5	5	4.35	4.12	4.24	4.03	4.12	4.53	4.21	4.16	1.41	4.03	4.47		4.41		
		33																				
	計	363	265	73.00				4.14	3.94	3.95	3.77	3.71	4.19	3.94	3.78	1.81	3.87	4.19	3.86	4.10		
	領域計		3,139	1,871				4.09	3.90	4.05	3.84	3.71	4.15	3.94	3.74	2.17	3.95	4.23	3.97	4.10		
	キャリアデザイン	キャリアデザイン	128	111	86.72	1	1	7	4.35	4.42	4.36	4.14	4.05	4.74	4.57	4.67	1.25	4.22	4.57	4.00	4.60	
			304	279	91.78	1	2, 5		4.34	4.43	4.33	4.06	4.03	4.65	4.48	4.43	1.50	4.29	4.50	4.00	4.47	
			222	215	96.85	1	2	7	4.36	4.47	4.37	4.12	4.12	4.71	4.56	4.47	1.36	4.23	4.52	4.56	4.61	
			209	183	87.56	1	2	5	4.38	4.44	4.38	4.13	4.12	4.74	4.61	4.63	1.31	4.39	4.62	4.40	4.60	
			60																			
			計	923	788				4.36	4.44	4.36	4.11	4.08	4.71	4.56	4.55	1.36	4.28	4.55	4.24	4.57	
	科目計		#####	8,553				4.38	4.36	4.36	4.13	3.97	4.53	4.45	4.34	2.01	4.27	4.48	4.28	4.52		
	総計		#####	#####	73.83			4.29	4.27	4.29	4.05	3.95	4.46	4.34	4.22	1.94	4.22	4.43	4.23	4.41		

## 山形県立保健医療大学 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発平均	探求平均	熱意平均	教養平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均	板書平均	環境平均	オプション	総合平均
心理学	105	104	99.05	1	2	5	4.57	4.5	4.43	4.39	4.28	4.76	4.76	4.63	1.38	4.7	4.65	4.76	4.8
教育学	5	5	100.00	1, 4	1, 5	2	4.6	4.6	4.2	4.4	3.8	4.6	4.4	4.6	1.6	4.8	4.6	4.8	4.8
生命倫理学	49	48	97.96	1	2	5	4.35	4.5	4.33	4.27	4.17	4.58	4.12	4.25	1.75	4.06	4.12	4.54	4.4
宗教学	10	10	100.00	1	2	5	4.5	4.3	4.4	4.1	4	4.4	4.2	3.9	1.78	4	4.4	4	4.5
文学	41	38	92.68	7	2	1	4.13	4.08	4.03	3.97	3.87	3.87	3.76	3.66	1.63	3.63	3.87	4.12	3.97
音楽	28	27	96.43	1	2	5	4.81	4.7	4.7	4.48	4.22	4.93	4.85	4.93	1.41	4.81	4.78	4.85	4.89
自然科学(物理)	36	35	97.22	6	2	8	3.91	3.26	3.5	3.34	3.46	3.66	3.09	3.44	2.46	3.17	3.63	4.24	3.48
自然科学(化学)	36	34	94.44	6	2, 4	5	3.53	3	3	2.88	2.68	3.79	3.88	3.21	1.62	3.41	3.85	4.2	3.48
自然科学(生物)	35	35	100.00	6	5	1, 4	4.09	3.71	3.71	3.69	3.57	4.29	3.47	3.37	1.49	3.2	3.97	3.57	3.76
数学	6	6	100.00	1	7	2	4.83	4.67	4.5	4.17	4.17	4.5	4.17	4.5	2.17	4	4.33	5	4.67
体育実技	104																		
法学	12	12	100.00	5	5	3	4.08	3.58	4.25	3.83	3.33	4.83	4	4.25	1.75	4.08	4.08	3.67	3.92
経済学	101	102	100.99	1	2	7	4.22	4.25	4.17	3.97	3.77	4.52	4.48	3.67	1.62	4.36	4.2	4.45	4.47
環境学	5	4	80.00	1	5	2, 5, 7	4.25	4	3.75	3.75	4	4.5	4	4.5	1.25	3.5	4	4.25	4.25
社会福祉論	106	71	66.98	6	4, 4, 5	4.07	4.08	4.17	4	4.01	4.4	4.19	4.19	4.19	2.14	4.11	4.2	4.37	4.25
国語表現法	65	40	61.54	7	5, 3, 5	4.22	4.22	4.28	4.12	4.18	4.25	4.18	4.12	4.12	2.7	4.18	4.3	4.42	4.32
国際関係論	48	47	97.92	1	5	1	4.09	3.55	3.89	3.77	3.68	4.32	3.64	3.34	1.65	3.28	4	4.48	4.07
文化人類学	31	28	90.32	1	5	2	3.86	3.64	3.79	3.61	3.61	4.07	3.82	3.64	1.68	3.79	3.96	4.39	3.93
英語 I	107	104	97.20	1	2	5	4.37	4.51	4.21	4	4.04	4.33	4.16	4.34	2.07	4.1	4.25	4.64	4.35
英語 III	36	36	100.00	1	5, 2, 5	4.31	4.44	4.67	4.36	4.36	4.72	4.64	4.56	1.83	4.56	4.44	4.68	4.67	
英語表現法 I	105																		
医療英会話	32	30	93.75	1	3	3	4.47	4.43	4.6	4.4	4.43	4.7	4.57	4.73	2.87	4.4	4.4	4.59	4.63
医療英会話	1																		
ハングル語	7	7	100.00	1	5	8	4.57	4.29	4.57	4.29	4.14	5	5	5	1.29	4.43	4.57	4.71	5
情報科学	103	99	96.12	1	1	5	4.69	4.67	4.66	4.47	4.3	4.69	4.66	4.53	1.48	4.47	4.57	4.72	4.74
カウンセリング論	11	9	81.82	1	4	5	4.44	4.44	4.67	4.56	4.22	4.78	4.78	4.78	1.67	4.56	4.67	4.67	4.78
保健医療論	87																		
生体形態学(看護)	64	64	100.00	6	4	1	4.67	4.2	4.48	4.56	4.12	4.69	4.73	4.48	2.97	4.67	4.58	4.83	4.76
生体形態学(理学・作業)	43																		
生体組織学	107	93	86.92	6	4	5	4	3.99	4.1	3.9	3.62	4.18	3.85	3.57	2.18	3.42	4	4.05	4.17
生体機能学 I	107																		
生体防御学	63	48	76.19	6	4	1	4.38	4	4.11	4	3.83	4.53	4.38	4.17	1.8	4.07	4.09	4.36	4.43
生体機能学演習	43	43	100.00	6	4	1	4.37	3.28	3.7	3.79	3.7	4.05	3.65	3.93	1.84	3.6	4.05	4.42	4.08
薬理学	107	75	70.09	6	4	1	4.16	3.53	4.01	4.03	3.89	4.29	4.05	3.85	2.64	4.09	4.17	4.39	4.24
成人老年疾病論 I	107	73	68.22	6	4, 1, 5	4.29	4.03	4.28	4.11	4.07	4.49	4.35	4.21	2.68	4.1	4.28	4.46	4.35	
成人老年疾病論 II	108	64	59.26	6	4	5	4.11	4	4.09	3.98	4.02	4.36	4.09	4.08	2.57	4.09	4.25	4.31	4.21
リハビリテーション概論	43	43	100.00	6	4	4	3.79	2.74	3.37	3.49	3.3	3.7	2.93	3.56	2.44	2.79	3.65	2	3.42
小児疾病論	64																		
チーム医療論	112																		
看護学概論	64	64	100.00	6	4	1	4.06	3.94	4.06	4	3.97	3.98	3.84	3.91	1.23	3.91	4.06	4.45	4.06
家族看護学	64	50	78.12	6	4	5	4.64	4.58	4.56	4.5	4.46	4.82	4.7	4.76	1.9	4.44	4.7	4.8	4.74
成人看護学概論	63	34	53.97	6	4	5	3.82	3.82	3.88	3.76	3.74	4.21	3.91	3.68	1.82	3.85	4.12	4.19	4
精神看護方法論	65	45	69.23	6	5	4	4.42	4.31	4.49	4.4	4.27	4.69	4.62	4.64	2.2	4.47	4.42	4.64	4.64
母性看護学概論	63	41	65.08	6	4, 1, 4, 5	4.28	4.18	4.22	4.18	4.05	4.47	4.35	4.15	2.21	4.22	4.2	4.39	4.43	
母性看護学方法論 II	65	34	52.31	6	5	4	4.47	4.38	4.62	4.44	4.41	4.62	4.56	4.56	2.41	4.35	4.53	4.67	4.62
小児看護学概論	63	43	68.25	6	4	5	4.28	4.23	4.22	4.1	4.05	4.4	4.08	4.24	1.95	4.22	4.31	4.26	4.26
小児看護学方法論	65	52	80.00	6	4, 1, 4	4.6	4.54	4.71	4.6	4.62	4.69	4.63	4.58	2.62	4.6	4.69	4.7	4.69	
在宅看護学方法論 II	65	35	53.85	6	1, 4, 5	4	4.5	4.4	4.54	4.35	4.29	4.57	4.46	4.47	1.95	4.36	4.34	4.83	4.39
健康危機管理論	57	30	52.63	6	4	5	4.52	4.43	4.62	4.5	4.4	4.71	4.67	4.8	2.26	4.38	4.65	5	4.79
看護管理学	66	42	63.64	6	5	5	4.21	4.26	4.31	4.21	4.19	4.52	4.38	4.24	2.24	4.21	4.4	4.62	4.52
地元論	59																		
ジェネラリズム看護論	25																		
義肢装具学	21	19	90.48	6	1, 4	4	4.16	4	4.16	4.11	4.05	4.11	4.16	4.05	3	4.05	4.16	4	4.16
義肢装具学演習	21	21	100.00	6	1, 3, 4	4.48	4.33	4.57	4.48	4.48	4.76	4.67	4.62	2.05	4.29	4.43	4.31	4.62	
神経障がい基礎論	44	38	86.36	6	5	4	4.29	4.29	4.34	4.32	4.32	4.47	4.39	4.34	3.16	4.16	4.34	4.39	4.45
精神障がい論	108																		
発達障がい基礎論	44																		
老年期障がい理学療法	21																		
生活障がい援助論	22	22	100.00	6	4	1	4.86	4.59	4.82	4.82	4.64	4.95	4.95	4.82	2.64	4.68	4.64	4.52	4.95
地域リハビリテーション学	21	19	90.48	6	1	6	4.26	4.26	4.37	4.26	4.37	4.58	4.47	4.58	2.26	4.42	4.42	4.53	4.58
理学療法評価論	21	19	90.48	6	1, 4, 5	4.32	4.11	4.37	4.42	4.32	4.26	4.32	4.32	3	4.26	4.26	4.18	4.47	
理学療法研究法	21	21	100.00	6	4	3	4.19	4.05	4.19	4.19	4.14	4.1	4.1	4.29	2.86	4.19	4.24	4.35	4.33
運動障がい作業療法	22	20	90.91	6	4	1	4.39	4.33	4.61	4.47	4.16	4.71	4.62	4.65	3	4.5	4.56	5	4.57
神経障がい作業療法	23	17	73.91	6	4, 1, 5	4.47	4.18	4.47	4.35	4.35	4.65	4.53	4.47	2.82	4.53	4.47	4.71	4.47	
精神障がい作業療法	22	17	77.27	6	4, 1, 5	4.25	4.06	4.31	4.31	4.19	4.31	4.19	4.19	2.06	4	4.25	4.5	4.38	
発達障がい作業療法	23	20	86.96	6	4	5	4.3	4	4.35	4.05	3.9	4.5	4.25	4.25	3.1	4.15	4.25	4.33	4.35
老年期障がい作業療法	22	18	81.82	6	4	1	4.61	4.33	4.61	4.28	4.17	4.83	4.83	4.78	2.17	4.83	4.72	4.69	4.75
作業療法国際比較論	19																		
看護過程論	63	61	96.83	6	4	4	4.56	4.16	4.46	4.41	4.38	4.75	4.15	4.34	3.3	4.32	4.34	4.65	4.43
基礎看護学方法論 II	63	61	96.83	6	4	1	4.82	4.46	4.66	4.69	4.59	4.87	4.74	4.75	2.51	4.69	4.75	4.84	4.83
成人急性期看護学方法論 II	65	33	50.77	6	4	5	4.61	4.42	4.55	4.67	4.45	4.85	4.67	4.81	2.39	4.34	4.66	4.8	4.67
成人慢性期看護学方法論 II	65	28	43.08	6	4	6	4.14	3.79	3.89	3.82	3.89	3.96	3.54	3.68	2.04	3.61	3.89	3.67	3.71
公衆衛生看護学概論	64	49	76.56	6	4	5	4	4.04	4.1	4.02	3.94	4.4	4.19	4.04	1.87	4.21	4.21	4.35	4.47
保健統計学	56	25	44.64	6	4	5	4.2	4	4.24	4.04	4.04	4.32	4.16	4.29	2.2	4.24	4.2	4.42	4.4
学校保健論	56	31	55.36	6	5	4	4.32	4.32	4.35	4.26	4.19	4.45	4.32	4.35	2.71	4.23	4.35	4.17	4.4
産業保健論	56	26	46.43	6	5	4	4.19	4.19	4.27	4.08	3.96	4.35	4.27	4.15	1.92	4.27	4.27	4.47	4.31
公衆衛生看護学方法論 I	56	34	60.71	6	4	5	4.29	4.11	4.21	4.18	4.11	4.5	4.25	4.56	1.82	3.89	4.5	4.43	4.36

## 山形県立保健医療大学 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均	板書平均	環境平均	オプション	総合平均
理学療法検査技術学(徒手筋力検査法)	22	20	90.91	6	4	1	4.8	4.55	4.8	4.75	4.6	4.8	4.7	4.75	3.4	4.6	4.65	4.6	4.7
物理療法学演習	21	23	109.52	6	1	1	4.58	4.25	4.6	4.53	4.33	4.38	4.55	4.6	3.15	4.47	4.53	4.5	4.59
運動障がい理学療法学Ⅱ	21	19	90.48	6	4	3	4.32	4.11	4.32	4.32	4.16	4.42	4.37	4.37	2.79	4.28	4.16	4.32	4.53
神経障がい理学療法学Ⅰ	21	23	109.52	6	4	4	4.29	4	4.15	4.38	4.19	4.38	4.14	4.38	2.29	4.14	4.33	4.44	4.5
神経障がい理学療法学Ⅱ	21	19	90.48	6	1.4	3	4.21	4.26	4.37	4.37	4.47	4.21	4.16	4.32	2.47	4.21	4.42	4.55	4.42
発達障がい理学療法学Ⅱ	21																		
内部障がい理学療法学Ⅰ	21	21	100.00	6	4	3	4.65	3.95	4.78	4.58	4.47	4.83	4.8	4.75	2.3	4.32	4.53	4	4.82
理学療法技術学Ⅰ	21	21	100.00	6	4	1.3.4.6	4.48	4.24	4.48	4.38	4.19	4.52	4.48	4.43	2.9	4.33	4.38	4.27	4.57
作業療法学概論	21	21	100.00	6	4	1	4.76	4.52	4.67	4.57	4.62	4.81	4.76	4.57	2.05	4.38	4.57	4.57	4.75
作業学Ⅰ	21	21	100.00	6	4	1	4.81	4.71	4.62	4.52	4.29	4.81	4.81	4.71	2.24	4.52	4.52		4.9
作業療法評価学演習Ⅰ	22	19	86.36	6	4	1	4.28	3.94	4.33	4.24	4.18	4.39	4.11	4.35	2.56	4.06	4.47	3.67	4.24
地域作業療法学Ⅱ	19	19	100.00	6	1.4	4	4.42	4.42	4.42	4.47	4.32	4.58	4.58	4.58	1.78	4.47	4.39	4.33	4.68
高次脳機能障がい作業療法学	22	22	100.00	6	4	3	4.5	4.18	4.68	4.5	4.18	4.82	4.86	4.82	2.09	4.82	4.86	4.91	4.86
日常生活活動学	22	21	95.45	6	4	1.4	4.57	4.43	4.62	4.57	4.52	4.76	4.81	4.52	3.1	4.57	4.71	4.79	4.7
運動障がい作業療法学実習	25																		
神経障がい作業療法学実習	25	24	96.00	6	4	1.4.5	4.62	4.29	4.46	4.46	4.42	4.54	4.42	4.25	4.17	4.5	4.58	4.25	4.55
精神障がい作業療法学実習	25	23	92.00	6	5	4	4.43	4.3	4.48	4.35	4.35	4.26	4.09	4.13	3.96	4.22	4.39	4.25	4.32
発達障がい作業療法学実習	25	20	80.00	6	5	4	4.65	4.6	4.7	4.65	4.6	4.75	4.7	4.75	4	4.7	4.7	4.33	4.7
老年期障がい作業療法学実習	25	25	100.00	6	4	4	4.92	4.96	4.96	4.96	4.92	5	5	5	4.12	4.96	4.96	5	5
福祉機器・住環境整備学	25	23	92.00	6	4	4	4.7	4.7	4.7	4.74	4.7	4.78	4.74	4.77	3.83	4.78	4.78	4.33	4.73

## 青森中央学院大学 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	欠席者数平均	意欲平均	理解平均	向上平均	シラバス平均	評価平均	熱意平均	授業法平均	コミュニケーション平均	準備平均	話方平均	資料平均	環境平均	オプション	総合平均
感染看護論	55	50	90.91	1	5	6	0.26	4.36	4.38	4.54	4.5	4.56	4.58	4.36	4.28	4.46	4.38	4.46	4.35	4.56	4.43
地域看護学概論	93	92	98.92	9	5	1	0.04	4.59	4.41	4.51	4.63	4.66	4.67	4.51	4.48	4.62	4.35	4.54	4.54	4.81	4.63
地域と生活習慣病	90	61	67.78	9	5	6	0.2	3.92	3.62	3.72	4.1	4.18	4.07	3.38	3.79	3.82	3.61	3.3	3.9	4	3.69
疾病治療論Ⅰ	92	73	79.35	9	5	1	0.14	4.29	3.84	4.16	4.38	4.41	4.32	4.03	3.73	4.34	4.32	3.94	4.16	4.5	4.14
認知症高齢者ケア	46	45	97.83	1	5	6	0.2	4.51	4.69	4.8	4.67	4.71	4.71	4.6	4.64	4.73	4.56	4.4	4.58	4	4.64
個人・家族・集団・組織の支援論	20	19	95.00	9	5	5	0	4.68	4.58	4.79	4.74	4.74	4.74	4.47	4.79	4.84	4.53	4.68	4.68	4.25	4.84
発達心理学	88	86	97.73	9	5	5	0.18	4.6	4.37	4.53	4.69	4.74	4.83	4.69	3.9	4.76	4.76	4.79	4.71	4	4.79
臨床栄養学	93	88	94.62	9	5	5	0.06	4.4	3.68	4.07	4.24	4.31	4.35	3.69	3.99	4.06	3.77	3.99	4.24	4.21	4.1
スキンケア論	58	57	98.28	1	5	6	0.27	4.7	4.7	4.79	4.7	4.79	4.86	4.81	4.81	4.81	4.81	4.68	4.74	4.44	4.8
チーム医療論	89	82	92.13	9	5	6	0.19	4.12	4.02	4.13	4.46	4.46	4.28	3.85	3.98	4.3	4.05	4.06	4.26	4.29	4.09

## 青森中央学院大学 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教養平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均	板書平均	環境平均	オプション	総合平均
管理会計論	127	95	74.80	1	1.5	5	4.21	4	4.03	3.85	3.77	4.27	3.91	4.07	2.98	3.68	4.02	3.95	4.04
教師論	24	22	91.67	3	5	1	4.55	4.05	4.18	3.91	3.45	4.5	3.77	3.68	1.73	4.09	4.29	4.53	4.32
日本の政治と経済	68	57	83.82	1	3	7	4.12	4.11	4.11	3.89	3.79	4.61	4.39	4.16	2.96	4.14	4.28	3.87	4.18
経営財務論	107	83	77.57	1	5	3	4.01	3.81	3.88	3.75	3.8	4.18	3.67	3.89	2.55	3.54	3.93	3.8	3.95
情報処理IE	30	28	93.33	6	4	7	4.18	4.5	4.11	4.04	4.04	4.54	4.5	3.89	3.04	4.07	4.29	4.36	4.14
道徳教育の研究	5	3	60.00	1	2, 3, 4	3, 4, 5	3.33	3.67	3.33	3.33	3.33	3.33	2.67	3.33	2.33	3	2.67	2.5	3.33
有価証券法	112	73	65.18	1	5	3	4.27	3.96	4.1	3.79	3.67	4.18	4.16	3.79	2.57	4.19	4.26	4.22	4.27
教育行政学	11	9	81.82	4, 6	5	4, 6	4	4.11	4.11	4	3.78	4.11	4	3.89	2.89	4.33	4.22	4	3.89
新事業構築論	164	126	76.83	1	2	3	4.1	4.01	4.02	3.94	4.01	4	3.93	3.98	3.49	4.01	4	4.08	4.03
教育総論(経法)	24	23	95.83	3	5	1	4.61	4.61	4.57	4.35	4.52	4.61	4.55	4.68	2	4	4.62	4.7	4.7
秘書学概論(経法)	3	3	100.00	5	1	2, 3, 4	5	4.67	5	5	4.67	5	5	4	2	4	5	1	5
日本史概説	6	3	50.00	1, 4, 6	1, 2, 5	3, 5, 7	3.33	4.33	3	3.33	3.33	2.67	2.33	4	2	3.33	3.67	4	3
経営管理論	215	151	70.23	1	2	5	3.84	3.56	3.4	3.36	3.28	3.74	3.06	3.03	2.44	3.31	3.4	3.36	3.27
英語上級IA	1	1	100.00	5	1	7	4	4	5	4	4	4	4	5	3	5	3	4	4
国際私法	100	65	65.00	1	2	3	4.18	3.94	3.85	3.77	3.74	4	3.83	3.94	3.06	3.97	3.91	3.85	3.89
暮らしと地域	201	172	85.57	1	5	1	4.11	4.03	3.95	3.81	3.75	3.5	3.6	3.33	2.18	3.74	3.78	3.86	3.76
対人コミュニケーションI	132	118	89.39	1	5	7	4.69	4.61	4.55	4.49	4.33	4.75	4.71	4.59	2.38	4.64	4.63	4.35	4.77
英語IA②	34	31	91.18	6	5	1, 5	4.68	4.42	4.42	4.26	4.1	4.87	4.65	4.84	3.06	4.52	4.71	4.6	4.72
学術日本語I-2	13	12	92.31	1	1, 4	3	4.83	4.83	4.67	4.67	4.25	4.83	4.92	4.83	4.5	4.83	4.83	4.91	4.67
会社I	231	135	58.44	1	4	3	4.16	3.93	4.01	3.99	3.84	4.19	4.16	3.99	2.83	4.15	4.07	4.05	4.19
債権各論	164	124	75.61	1	5	5	4.12	3.75	3.83	3.76	3.7	3.83	3.57	3.46	2.76	3.56	3.75	3.72	3.74
経営学基礎	165	138	83.64	6	5	1	4.21	4.03	4.12	4.06	3.93	4.19	4	3.74	3.15	3.83	4.08	3.95	4.13
人間と芸術(経法)	30	26	86.67	1	5	2	4.31	4.08	4.12	4.08	3.81	4.38	4.04	3.65	2.23	4.12	4.15	4	4.31
経営学基礎	108	92	85.19	6	1	5	4.37	3.61	3.86	3.87	3.67	4.25	3.65	3.76	3.01	3.65	3.99	3.6	4
憲法II	92	75	81.52	1	5	3	4.08	3.89	3.93	3.76	3.83	4.19	4.03	3.95	2.56	4.13	4.04	4.03	4.19
法学基礎	128	99	77.34	6	5	8	3.93	3.14	3.33	3.39	3.3	3.56	2.82	2.86	2.6	3.41	3.47	3.79	3.06
消費者法	102	69	67.65	1	2	5	4.12	3.99	3.91	3.85	3.81	4.01	3.86	3.83	2.84	3.75	3.94	3.97	3.94
人間と宗教(経法)	108	69	63.89	1	2	3	4.13	3.94	4.01	3.99	3.93	4.1	3.81	3.51	2.63	3.65	3.82	3.9	3.94
法学基礎B	156	126	80.77	6	1	5	4.15	3.84	3.96	3.86	3.7	4.17	4.02	3.79	2.62	4.09	4.13	4.03	4.16
韓国事情と言語(経法)	18	16	88.89	1	5	8	4.69	4	4.38	3.88	4.19	4.19	4.25	4.25	3.07	3.75	4	3.71	4.19
中小企業経営論	137	77	56.20	1	2	3	4.01	3.82	3.77	3.78	3.78	3.9	3.73	3.75	2.97	3.95	3.94	3.93	3.86
自然と生物(経法)	92	84	91.30	1	2	3	4.12	3.92	3.81	3.79	3.83	4.11	3.77	3.58	2.6	3.74	3.86	3.75	3.94
自然の生態系(経法)	93	65	69.89	1	5, 7	3	3.98	3.77	3.66	3.57	3.55	4.25	3.75	3.32	2.08	3.5	3.78	3.57	3.86
人間と存在(経法)	119	89	74.79	1	5	5	4.39	4.01	4.2	4.06	4.11	4.44	4.1	4.17	2.47	4.1	4.19	4.17	4.34
学術日本語I-1	19	18	94.74	6	1	5, 6, 7	4.5	4.5	4.56	4.39	4.39	4.61	4.56	4.56	3.71	4.53	4.39	4.28	4.5
ビジネス日本語	2	2	100.00	1, 4, 5	3, 4	4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	3.5	4.5	4.5	4.5	4.5
日本語III	12	11	91.67	1	3	3	4.91	4.82	4.64	4.64	4.64	4.82	4.91	4.64	3.27	4.73	4.82	4.82	5
国際関係論(経法)	105	85	80.95	1	3	3	4.47	4.39	4.38	4.25	4.21	4.45	4.45	4.25	3.12	4.36	4.32	4.25	4.41
暮らしと法律	16	14	87.50	1	1	8	4.07	4	4.07	3.79	3.71	4.07	3.86	4.14	3.07	3.86	4	3.92	4.07
英語ID	28	26	92.86	6	5	5	4.54	4.42	4.46	4.35	4.08	4.77	4.46	4.85	2.08	4.65	4.77	4.45	4.77
英語IA①	36	33	91.67	6	3	1	4.64	4.58	4.58	4.38	4.22	4.78	4.69	4.69	3.32	4.19	4.5	4.58	4.56
英語IB	36	31	86.11	6	1	1	4.58	4.45	4.48	4.23	4.26	4.71	4.67	4.48	2.97	4.48	4.71	4.64	4.83
学術日本語I-1	19	18	94.74	1	4	7	4.5	4.44	4.28	4.33	4.28	4.67	4.56	4.56	3.78	4.22	4.44	4.07	4.33
英語IE	28	28	100.00	6	5	5	4.39	4.21	3.93	4.07	3.93	4.14	3.71	4.25	3.14	4.11	4.22	3.86	4.11
英語IC	39	33	84.62	6	5	1	4.33	4.48	4.18	4	3.79	4.24	4.3	4.09	2.5	4.3	4.21	4.06	4.38
地場産業論	157	83	52.87	1	3	3	4.12	4.17	4.06	4	3.92	4.22	4.22	4.04	2.73	4.05	4.1	4.07	4.25
英語III C	30	28	93.33	1	3	5	4.54	4.32	4.32	4.04	4	4.64	4.5	4.68	2	4.25	4.43	4.33	4.71
体育理論	24	21	87.50	1, 3	5	1	4.71	4.62	4.38	4.38	4.1	4.71	4.71	4.55	1.8	4.43	4.57	4.36	4.81
英語III A	6	5	83.33	1	5	4	3.6	3.4	3.6	3.4	3.2	4	3.8	4	3	3.8	3.8	3	4
社会事業論	71	31	43.66	1	2, 5	3	4.06	3.9	3.94	4	4	4.26	3.71	3.97	3.03	3.58	3.87	3.77	3.77
日本語II	20	21	105.00	1, 4	4	4	4.57	4.52	4.57	4.52	4.52	4.9	4.71	4.57	4.33	4.43	4.52	4.45	4.71
英語III B	44	31	70.45	1, 5	8	8	3.97	3.9	3.65	3.58	3.55	3.87	3.87	3.81	2.81	3.87	3.9	3.9	4.07
担保物権法	67	57	85.07	1	3	5	4.32	3.61	4.11	4	3.82	4.3	4.21	4.63	2.51	4.23	4.42	4.46	4.38
国際経済学	157	66	42.04	1	5	1	4.08	3.73	3.64	3.65	3.61	3.71	3.5	3.2	2.83	3.58	3.86	3.6	3.78
日本語I	10	10	100.00	1	4, 3, 6	4	4.8	4.7	4.9	4.6	4.6	4.6	4.7	4.8	4	4.7	4.7	4.4	4.8
親族相続法	82	68	82.93	1	5	8	4.06	3.79	4.03	3.88	3.72	3.9	3.91	3.58	2.76	3.96	4.06	3.97	3.95
情報処理ID	26	25	96.15	6	1, 5	4	4.6	4.68	4.56	4.2	4.04	4.36	4.28	3.92	2.36	4.52	4.32	4.36	4.4
情報処理IA	49	47	95.92	6	5	5	4.6	4.34	4.53	4.43	4.34	4.43	4.38	4.06	2.81	4.4	4.45	4.51	4.49
日本語III	12	11	91.67	1, 3	4, 6	4	4.91	4.82	4.91	4.73	4.45	5	5	4.73	3.82	4.91	5	4.64	5
情報処理IB	41	37	90.24	6	5	5	4.49	4.11	4.41	4.08	3.97	3.35	3.16	3.05	1.92	3.65	3.97	4.08	3.84
特別活動の研究	14	10	71.43	1, 4	4	5	4.1	4	4.2	3.6	3.7	3.7	3.4	3.7	1.7	4.3	4.1	3.62	3.9
情報処理IC	44	41	93.18	6	5	1	4.51	4.44	4.54	3.9	3.88	4.12	3.98	3.49	1.61	4	4.02	4.51	4.1
日本語II	20	21	105.00	1	1	4	4.38	4.38	4.43	4.24	4.43	4.81	4.67	4.57	4.14	4.52	4.52	4.33	4.62
簿記論	212	105	49.53	1	2	5	4.15	3.87	3.98	3.85	3.83	4.1	3.89	3.72	3.03	4.06	3.97	3.81	4.01
学術日本語I-2	13	9	69.23	1	4	6	4.67	4.78	4.44	4.33	4.11	4.56	4.67	4.67	4.22	4.44	4.67	4.62	4.56
学術日本語II	3	3	100.00	1	4, 3, 5, 6	4	4.67	4.67	4.33	4	4	4.67	4.33	4	2.67	4.33	4.33	4.5	4.33
行政学	156	108	69.23	1	5	3	4.14	4.12	4.16	3.91	3.83	4.04	4.08	3.82	2.61	3.98	3.92	3.91	4.06
社会と福祉	162	118	72.84	1	5	5	4.2	4.22	4.17	3.93	3.81	3.98	4.03	3.57	2.34	3.95	3.94	3.86	4.09
人間と心理(経法)	181	153	84.53	1	5	5	4.35	4.24	4.25	4.14	4.05	4.29	4.22	3.77	2.42	4.28	4.22	4.43	4.27
行政法I	163	66	40.49	1	5	5	3.77	3.27	3.38	3.35	3.33	3.58	3	3.11	2.46	2.91	3.33	3.61	3.28
日本語I	10	10	100.00	1	4, 3, 6	4	4.9	4.9	4.8	4.5	4.5	4.9	4.7	4.8	4.4	4.6	4.6	4.5	4.8
労働法	80	56	70.00																

## 青森中央学院大学 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教養平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均	板書平均	環境平均	オプション	総合平均
看護研究方法論	91	76	83.52	6	4	5	4.05	3.79	3.95	3.79	3.76	4.37	3.91	3.99	2.48	4.01	4.32	4	4.07
解剖生理学Ⅰ(人体の基本構造と働き)	88	79	89.77	6	4	1	4.05	3.22	3.56	3.66	3.24	4.18	3.71	3.37	2.01	3.63	4.15	3	4.04
疾病治療論Ⅱ	92	92	100.00	6	4	4	4.22	3.82	4.05	3.89	3.87	4.04	3.65	3.66	2.96	3.96	4.15	4.5	4.09
人間関係とリーダーシップ	92	84	91.30	6	5	4	3.76	3.26	3.44	3.26	3.24	3.81	3	3.12	1.99	3.05	3.58	3.67	3.37
母性看護学概論	93	88	94.62	6	1.4	4	4.75	4.55	4.68	4.59	4.37	4.79	4.76	4.71	3.29	4.58	4.68	4.8	4.78
看護展開論	88	83	94.32	6	4	5	4.35	3.64	4.23	4.23	4.22	4.75	3.47	4.41	3.18	3.72	4.39	4.33	4.35
自然と生物(看護)	40	40	100.00	5	1.2	1	4.05	3.85	3.75	3.82	3.92	4.2	3.88	3.22	1.77	3.82	4.1	3.8	4.05
自然の生態系(看護)	17	14	82.35	6	2	8	3.57	3.21	3.43	3.21	3.07	4	3.36	2.86	1.43	2.79	3.43	4	3.36
解剖生理学Ⅱ(臓器の構造と機能)	88	86	97.73	6	4	5	4.26	3.78	4	3.93	3.87	4.16	3.81	3.63	2.36	3.81	4.13	4	4.23
老年看護学概論	92	84	91.30	6	4	4	4.5	4.36	4.48	4.32	4.26	4.57	4.37	4.32	3.23	4.42	4.5	4.67	4.55
公衆衛生看護学概論	20	19	95.00	6	4	4	3.79	3.16	3.32	3.42	3.74	3.79	3	2.89	1.84	3.32	3.84	4	2.89
ヘルスアセスメント論	94	90	95.74	6	4	1	4.66	4.36	4.63	4.54	4.5	4.79	4.51	4.71	3.57	4.6	4.63	4.74	4.66
人間と心理(看護)	86	83	96.51	6	4	5	4.28	4.23	4.28	4.11	3.95	4.53	4.4	3.7	1.84	4.31	4.39	4.59	4.51
対人コミュニケーションⅠA	22	22	100.00	6	4	1	4.73	4.5	4.55	4.59	4.36	4.82	4.77	4.86	2.36	4.64	4.73	5	4.91
対人コミュニケーションⅠB	22	22	100.00	6	4.5	4	4.77	4.68	4.82	4.73	4.59	4.86	4.86	4.73	2.14	4.68	4.86	5	4.9
対人コミュニケーションⅠC	22	22	100.00	6	5	4	4.55	4.5	4.45	4.36	4.27	4.64	4.64	4.68	1.86	4.55	4.62	5	4.77
対人コミュニケーションⅠD	22	22	100.00	6	1	4	4.86	4.68	4.68	4.68	4.5	4.91	4.86	4.77	2.14	4.77	4.91	5	4.86
リハビリテーション論	67	65	97.01	1	4	4	4.46	4.2	4.29	4.26	4.03	4.37	4.34	4.45	2.77	4.29	4.34	4.26	4.21
薬理と薬剤	93	80	86.02	6	4	4	4.39	4.06	4.39	4.11	4.1	4.7	4.26	4.16	3.06	4.2	4.35	4.71	4.46
人間と芸術(看護)	33	30	90.91	7	5	1.8	4.47	4.17	4.23	4.07	3.9	4.4	4.17	3.9	1.57	3.93	4.2	4.17	4.34
成人看護学概論	93	81	87.10	6	4	4	4.52	4.31	4.54	4.37	4.25	4.72	4.53	4.62	3.16	4.58	4.62	4.7	4.64
家族看護学	92	90	97.83	6	4	4	4.32	4.21	4.28	4.14	4.17	4.37	4.04	4.26	3.08	4.28	4.28	4.64	4.31
小児看護学概論	93	90	96.77	6	4	4	4.53	4.32	4.47	4.39	4.36	4.59	4.21	4.31	3.3	4.33	4.44	4.64	4.43
看護と法律	91	73	80.22	6	5	4	4.18	4.15	4.25	4.11	4	4.55	4.47	4.24	2.26	4.25	4.28	4.27	4.31
疫学	94	71	75.53	6	5	4	4.07	3.49	3.85	3.75	3.83	4.11	3.76	3.9	2.51	3.94	4.04	3.57	3.94
英語Ⅰ①	44	42	95.45	6	5	5	4.43	4.45	4.36	4.19	4.1	4.38	4.43	4.57	2.31	4.31	4.45	5	4.5
英語Ⅰ②	44	44	100.00	6	5	4	4.45	4.36	4.27	4.16	4.05	4.41	4.36	4.36	2.11	4.34	4.41	4.25	4.41
医療英語Ⅰ①	44	44	100.00	6	5	5	4.39	4.23	4.25	4.14	4.09	4.57	4.57	4.66	2.75	4.27	4.57	5	4.64
医療英語Ⅰ②	44	44	100.00	6	5	5	4.45	4.36	4.3	4.14	4.09	4.52	4.55	4.48	2.77	4.34	4.43	5	4.64
グローバル社会と文化(看護)	3	2	66.67	1	2.4	2.3	5	4.5	4.5	5	4.5	5	5	5	1	5	5	5	5
人間と宗教(看護)	7	5	71.43	7	3	1.6.7	4.4	3.6	4	3.2	3.4	4.6	3.4	3.6	3.6	3.2	3.6	3	4.2
情報処理Ⅰ(情報リテラシー)①	44	43	97.73	6	5	5	4.3	4.05	4.4	3.93	3.88	4.3	4.33	3.72	1.42	4.07	4.36	4	4.4
情報処理Ⅰ(情報リテラシー)②	44	43	97.73	6	5	4	4.44	4.12	4.3	4.19	3.88	4.21	4.23	3.72	1.53	4.21	4.43	3.83	4.38
情報処理Ⅱ(実務の活用法)	2	2	100.00	1.5	5.7	1.7	5	4.5	4.5	4	4	5	5	4.5	1	4.5	5	5	5
人間と存在(看護)	40	38	95.00	1	5	1	4.16	3.63	4.29	4	3.89	4.47	4.13	4.29	2.13	4.18	4.29	4	4.32

## 仙台大学 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	欠席者数平均	意欲平均	理解平均	向上平均	シラバス平均	評価平均	熱意平均	授業法平均	コミュニケーション平均	準備平均	話方平均	資料平均	環境平均	オプション	総合平均	
体育系大学の基礎教養	27	25	92.59	9	6	10	1.42	3.68	4.24	3.84	4	3.92	3.92	3.76	3.6	3.84	4.28	3.96	4.08	4.16	4.04	
食品学演習	25	24	96.00	9	6	5	1.39	4.25	4.04	4.46	4.38	4.38	4.54	4.21	4.29	4.42	4.58	4.42	4.65	4.33	4.25	
食品学演習	33	29	87.88	9	5	3	1.62	3.93	3.79	4.03	4.07	4.14	4.14	3.59	4	4.34	4.21	4.17	4.24	4.11	3.79	
データ分析・活用演習Ⅱ	4	3	75.00	1	3	4	6	1	4.33	4	4	4.33	4	4.33	4	4	4.33	4	4.33		4	
映像実践論(演習)	13	9	69.23	1	6	4	5	1.12	4.11	3.78	4.11	3.89	3.89	4.11	3.78	4.11	4	4.33	4	4.67	4	4.11
栄養学実習	72	32	44.44	9	6	5		0.47	4.41	4.22	4.31	4.22	4.31	4.22	3.97	3.78	4.19	4.03	4.19	4.19	4.41	4.34
韓国伝統武道	44	16	36.36	1	3	6		0	4.88	4.94	4.94	4.81	4.81	4.88	4.94	4.94	5	4.94	4.81	4.81	5	5

# 仙台大学 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教養平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均	板書平均	環境平均	オプション	総合平均
スポーツ心理学	166	412	248.19	6	1	5	4.13	3.68	3.8	3.71	3.5	3.95	3.69	3.4	1.88	3.59	3.81	3.5	3.85
運動障害救急法(含実習)	159	141	88.68	6	5	3	3.89	3.68	3.79	3.67	3.62	3.52	3.42	3.14	2.6	3.56	3.45	3.7	3.54
運動生理学	170	74	43.53	6	5	4	4.18	4.04	4.08	4	3.93	4.14	4.07	3.7	2.23	4.07	4.12	4.5	4.11
スポーツ史	165	187	113.33	6	5	5	3.9	3.71	3.72	3.63	3.62	3.96	3.75	3.47	2.25	3.73	3.85	3.59	3.75
スポーツ心理学	115	200	173.91	6	5	5	4.33	3.98	4.09	3.98	3.74	4.32	4.22	3.84	2.05	3.98	4.08	2	4.35
レクリエーション実技Ⅱ	32	23	71.88	1	5	5	4.57	4.57	4.52	4.61	4.57	4.83	4.78	4.7	2.39	4.61	4.74	4.5	4.87
現代の思想	30	23	76.67	6	5, 4, 8	3	3.65	3.57	3.57	3.61	3.55	3.74	3.26	3.39	2.39	3.22	3.61	3	3.43
生徒指導論A(含進路指導の理論及び方法)	79	60	75.95	6	3	5	4.17	4.08	4.05	3.88	3.8	4.47	4.22	3.39	2.2	4.05	4.17	4.12	4.24
保健体育科教育論Ⅲ	110	60	54.55	6	4	5	4.55	4.4	4.45	4.52	4.37	4.63	4.53	4.51	3.08	4.35	4.32	4.36	4.52
コンディショニング論	132	79	59.85	1, 4, 5	5	4	4.11	3.96	4.09	4.05	3.86	4.1	3.97	3.76	2.38	3.9	4.04	3.69	4.01
スポーツマシナリ(含演習)	73	52	71.23	1	4	3	4.35	4.38	4.33	4.22	4.27	4.38	4.42	4.38	2.85	4.15	4.08	4.14	4.41
スポーツバイオメカニクス	119	99	83.19	6	2	3	4.33	3.94	4.13	4.07	4.03	4.4	4.21	4.12	3.24	4.18	4.32	4.42	4.3
スポーツ社会学	238	215	90.34	6	5	5	3.88	3.67	3.68	3.57	3.54	3.68	3.51	3.29	2.07	3.51	3.64	3.53	3.56
レクリエーション実技Ⅱ	62	45	72.58	1, 2, 4, 5	5	4	4.29	4.4	4.33	4.24	4.31	4.56	4.42	4.51	2.44	4.38	4.32	4.4	4.38
応用武道概論	32	29	90.62	1	2, 3, 4, 5	4	4.03	3.9	4.07	3.9	3.83	4.1	4.07	4.03	2.97	3.93	4.07	4	4.04
介護総合演習Ⅰ	32	31	96.88	6	4	1	4.06	4.1	4.1	3.9	3.87	4.26	4.16	4	2.26	4.16	4.19	4	4.13
肢体不自由者の心理・生理・病理	36	34	94.44	1, 6	2, 4, 5	1, 4, 5	4.35	4.26	4.38	4.41	4.26	4.41	4.44	4.58	2.73	4.34	4.03	4.2	4.31
社会教育計画A	24	24	100.00	1	3	4	4.54	4.46	4.54	4.46	4.25	4.71	4.67	4.54	2.17	4.62	4.67	5	4.62
社会調査法Ⅰ	92	54	58.70	1	5	5	4.04	3.87	3.94	3.83	3.74	4.19	4.02	3.85	1.8	4.06	4.07	3.33	4.04
社会統計学Ⅰ	16	13	81.25	1	5, 1, 2, 4, 5	4, 2, 3	3.85	4.15	4.15	4.15	4.15	4.15	4.08	3.54	1.85	4	4	4	4.08
知的障害者の教育	19	17	89.47	6	4	1	4.76	4.18	4.41	4.35	4.06	4.76	4.35	4.47	2.59	4.53	4.47	3.88	4.56
武道実技(形)	25	23	92.00	1, 2, 4	3	4	4.43	4.35	4.57	4.39	4.3	4.48	4.3	4.3	2.26	4.04	4.14	4.5	4.45
スポーツ社会学	54	47	87.04	1	5	5	4.23	3.89	4.02	3.83	3.91	4.36	3.87	4.09	2.46	3.81	4.17	3.5	4.06
教職総合演習	48	28	58.33	1	5	8	4.32	4.43	4.5	4.39	4.43	4.57	4.5	4.5	2.67	4.36	4.41	3.83	4.61
公衆栄養学概論	42	34	80.95	6	5	4	4.26	4.18	4.15	4.03	4.06	3.91	3.91	3.62	2.74	3.91	4.03	4.05	4.06
水泳	77	32	41.56	1	5	5	4.5	4.5	4.38	4.53	4.47	4.53	4.41	4.31	2.23	4.4	4.32	3.9	4.47
生徒指導論A(含進路指導の理論及び方法)	99	76	76.77	6	5	5	4.43	4.26	4.28	4.12	3.93	4.58	4.26	3.88	2.26	4.19	4.37	4.14	4.34
全学教養演習	6	5	83.33	1, 2, 5	5	4	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4	4	4	4	4.5
全学教養演習	12	9	75.00	1	3, 2, 3	4	4.67	4.11	4.22	4.22	4.33	4.89	4.67	4.67	3.11	4.56	4.78	5	4.89
全学教養演習	7	6	85.71	1	5, 5, 6	4	4.83	4.67	4.67	4.83	4.5	5	4.83	4.5	2.17	4.83	4.67	4	4.83
全学教養演習	13	6	46.15	1, 1, 2, 3, 4	5	4	4.67	4.5	4.67	4.67	4.67	4.67	4.33	4.67	2	4.33	4.83	5	4.83
全学教養演習	12	11	91.67	1, 6	1, 2, 3, 2, 5	4	4.82	4.82	4.64	4.73	4.55	4.64	4.55	4.64	2.82	4.73	4.64	4.75	4.48
全学教養演習	12	21	175.00	1, 2, 5	3	4	4.71	4.62	4.38	4.52	4.57	4.81	4.81	4.67	3.05	4.71	4.71	5	4.85
全学教養演習	5	4	80.00	1	2, 1, 3, 5, 6	4	4.25	4.5	4.25	4.25	4.25	4.5	4.25	4.25	2	3.75	4.25	4.25	5
全学教養演習	9	9	100.00	1, 2	6, 1, 5, 6, 7	4, 1, 1	4.56	4.44	4.11	4.22	4.44	4.22	4.22	4.22	2	4.33	3.78	4	4.44
陸上競技	151	167	110.60	1	2	3	4.44	4.4	4.36	4.29	4.38	4.37	4.31	2.9	1.18	4.2	4.16	4.32	4.32
エアロビックダンス	36	31	86.11	1	1, 5	4	4.74	4.81	4.71	4.71	4.58	4.84	4.81	4.84	3.26	4.58	4.48	4	4.77
スポーツ社会学	40	37	92.50	1	2	3	3.78	3.97	3.95	3.57	3.73	4.19	3.92	3.97	2.54	4.08	4.08	3.25	3.97
スポーツ広報論	13	13	100.00	1, 2, 3	4	4	4.15	3.92	4.15	4	3.31	4.38	4.38	4.23	2.38	4.15	4.46	4	4.31
スポーツ報道概論	17	14	82.35	1	5	4	4.29	4	4.07	3.93	3.79	4.5	4.36	4.5	1.64	4	4.23	3.5	4.62
介護福祉とレクリエーション活動援助	10	10	100.00	1, 6	1, 2	4	4.4	4.5	4.4	4.44	4.3	4.4	4.5	4.6	2.1	4.7	4.5	5	4.6
介護福祉とレクリエーション活動援助	32	31	96.88	6	5	4	4.19	4.26	4.03	4.06	4.03	4.19	4.23	4.1	2.4	4.23	4.17	4	4.17
教育の制度	165	126	76.36	1	4	5	4.65	4.28	4.42	4.39	4.26	4.69	4.52	4.48	3.05	4.49	4.53	4.77	4.54
教職総合演習	41	34	82.93	1	5, 3, 4	4	4.76	4.56	4.71	4.62	4.59	4.65	4.71	4.73	3.41	4.5	4.53	4.2	4.68
剣道Ⅱ	27	20	74.07	1, 1, 5	2, 7	4	4.4	4.6	4.6	4.55	4.6	4.7	4.7	4.35	3.5	4.35	4.16	4	4.37
公衆栄養学概論	37	36	97.30	6	4	4	4.1	4.19	4.14	3.83	3.83	4.44	4.36	3.75	2.06	4.06	4.33	4.19	4.36
社会教育演習B	11	5	45.45	1	3	1	4	4.4	4.2	4	4	4.6	4.6	4.2	1.4	4.2	5	4	4.6
水泳	48	31	64.58	6	5	1	4.58	4.68	4.58	4.65	4.58	4.74	4.74	4.71	1.87	4.54	4.6	4	4.77
生活と生活支援	32	32	100.00	4	5	4	4.25	4.03	4.03	3.91	3.84	4.06	3.84	3.72	1.97	3.68	4.03	4	4.03
生活支援と障害者介護Ⅲ	15	21	140.00	6	5	5	4.05	3.9	4.19	3.95	4	4.29	4.05	3.48	2.48	4.14	4.2	4.2	4.22
調理学実験	33	24	72.73	6	5	4	4.29	4.25	4.25	4.17	4.04	4.12	3.92	4.04	2.79	3.96	3.78	4	4.04
インタビュー論演習	14	8	57.14	1, 1, 2	3, 7	4	4.5	4.12	4	4.12	4.12	4.12	3.75	3.88	3	3.88	3.88	4	4.25
エアロビックダンス	34	33	97.06	1	5	4	4.75	4.61	4.66	4.62	4.44	4.72	4.66	4.73	2.64	4.41	4.28	3.8	4.69
スペイン語Ⅰ	32	19	59.38	1	5	8	4.37	4.05	4.21	4.26	4.11	4.26	4.11	4.21	2.16	4.21	4.05	5	4.06
スポーツ医学A	162	149	91.98	1	4	5	4.3	4.16	4.27	4.05	3.95	4.15	4.24	3.6	2.13	4.13	4.34	4.07	4.28
社会福祉概論Ⅰ	47	43	91.49	6	5, 2, 4, 5	3, 8, 3, 5	3.79	3.53	3.79	3.53	3.52	4.53	3.16	3.74	1.67	3.26	3.95	3.88	3.65
生活文化論	24	16	66.67	1	5	8	3.81	4.19	4.19	3.62	3.56	4.38	4.06	4.31	2.69	4.12	4.44	4.5	4.12
調理学実習Ⅱ	36	23	63.89	6	5	4	4.35	4.3	4.3	4.3	4.22	4.17	4.04	4.09	2.78	3.87	4	4	4.04
体育系大学の基礎教養	28	26	92.86	6, 5, 7	1	4	4.19	4.27	3.85	3.69	3.69	3.96	3.77	1.88	3.81	3.92	3.89	3.96	3.96
体育系大学の基礎教養	17	46	270.59	6	5	5	4.13	4.17	3.96	3.8	3.82	4.07	3.91	3.46	2.09	3.78	3.87	3.88	3.8
体育系大学の基礎教養	23	22	95.65	6	2	8	3.64	3.82	3.86	3.59	3.5	3.59	3.68	3.27	1.23	3.64	3.68	3	3.58
体育系大学の基礎教養	28	27	96.43	6	2	7	4.15	4.33	4.04	3.89	3.7	4.11	4.07	4.04	1.93	4.11	4.07	4	4.12
体育系大学の基礎教養	18	18	100.00	6	3	2	4.5	4.56	4.56	4.5	4.33	4.72	4.61	4.72	1.83	4.33	4.72	5	4.67
体育系大学の基礎教養	26	22	84.62	6	7, 2, 3, 5, 6	3, 9, 5	3.86	3.91	3.59	3.41	3.73	3.5	3.68	1.91	3.73	3.82	3.86	2	3.85
体育系大学の基礎教養	22	22	100.00	6	2	2	4.18	4.18	4.09	4.09	4	4.09	4	3.91	2.33	4.05	4	4	3.89
体育系大学の基礎教養	23	23	100.00	6	7, 5, 7	3, 7, 4	3.61	3.57	3.39	3.3	3.61	3.65	3.39	1.61	1.74	3.74	3.61	2.8	3.7
体育系大学の基礎教養	29	25	86.21	6, 2, 5, 7	1, 2, 3, 4	4, 6	4.64	4.56	4.52	4.48	4.68	4.2	4.28	2	4.36	4.56	4.5	4.32	4.32
体育系大学の基礎教養	17	17	100.00	6	2	5	4.47	4.47	4.41	4.41	4.24	4.59	4.47	4.12	1.18	4.41	4.53	4.33	4.53
体育系大学の基礎教養	30	25	83.33	6	2	8	4.4	4.4	4.24	3.96	4.08	4.36	4.36	4.04	2.16	4.2	4.12	4.15	4.17
体育系大学の基礎教養	18	8	44.44	6	7	5	4.25	4.											

## 仙台大学 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教養平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均	板書平均	環境平均	オプション	総合平均	
心理学概論	55	38	69.09	1, 6		5	8	3.95	3.53	3.61	3.42	3.39	3.34	3	2.53	3.18	3.5	3.86	3.27	
全学教養演習	8	6	75.00	1	4	5	5	4.67	4.83	5	5	4.33	5	5	3.17	4.83	4.83	5	5	
全学教養演習	12	9	75.00	1	1, 4, 6	2	2	4.67	4.78	4.67	4.67	4.78	4.89	4.89	3.89	4.33	4.89	4.67	4.88	
全学教養演習	3	3	100.00	1, 6, 8	1, 5	7, 8	5	5	5	5	5	4.67	5	5	1	5	5	5	5	
全学教養演習	12	10	83.33	1, 6		3, 2, 4, 7	4.3	4.3	4.4	4.1	4.1	4.4	4.4	4.4	1.3	4.3	4.5	3	4.4	
全学教養演習	8	7	87.50	1	6	1, 2, 3, 4	5	5	4.43	4.29	3.71	4.43	4.33	4.57	1.57	4	4.57	4	4.86	
体操(身体づくり運動)	57	55	96.49	6	5	1	4.71	4.85	4.76	4.64	4.65	4.48	4.82	4.8	2.65	4.58	4.3	4.44	4.75	
哲学入門	44	39	88.64	1	2	3	3.95	3.36	3.56	3.46	3.44	3.59	3.36	3.39	2.74	3.31	3.67	3.31	3.53	
法学	14	14	100.00	6, 4, 5		5	3.86	3.57	3.71	3.5	3.43	4.07	3.43	3.93	1.64	3.93	3.93	4	3.86	
歴史学入門	140	65	46.43	1	2	7	4.08	4.08	4.03	3.91	3.91	4.31	4.12	3.74	2.69	4.05	4.08	4.37	4	
アスレティックトレーニング論Ⅱ	27	19	70.37	1	4	5	4.11	3.89	4.05	4	4	4.42	3.95	4.11	2.47	3.89	4.05		4.16	
スポーツマネジメント演習	63	43	68.25	6	4	5	4.58	4.44	4.49	4.47	4.42	4.53	4.56	4.65	2.72	4.37	4.47	4.38	4.62	
スポーツ起業論	16	10	62.50	1	4	2, 4, 5	4.2	4	4	4.1	3.9	4.1	3.9	3.8	1.8	4	4.3	3	4.2	
レクリエーション実技Ⅰ	167	93	55.69	1	2	5	4.49	4.46	4.37	4.32	4.27	4.4	4.44	4.37	2.65	4.21	4.31	4.22	4.5	
衛生・公衆衛生学	187	168	89.84	1	2	3	4.06	3.91	3.96	3.83	3.77	3.84	3.78	3.64	2.74	3.82	3.95	3.85	3.83	
応用武道実技Ⅰ	34	31	91.18	1	2, 4	5	4.65	4.48	4.61	4.58	4.55	4.65	4.65	4.71	3.55	4.5	4.52	4.45	4.74	
解剖・生理学	136	118	86.76	6	5	5	3.99	3.57	3.69	3.75	3.69	3.75	3.38	3.23	2.5	3.66	3.66	3.73	3.61	
健康運動指導実技	103	88	85.44	6	5	1, 5	4.5	4.52	4.39	4.28	4.28	4.41	4.35	4.27	2.19	4.13	4.2	4.33	4.38	
情報処理	107	101	94.39	6	5	2, 8	4.28	3.87	4.12	3.8	3.84	4.07	3.65	3.62	1.61	3.78	4.03	4.08	3.96	
生活支援技術の基礎Ⅰ	11	27	245.45	4	5	4	4.33	4.37	4.44	4.33	4.22	4.44	4.26	4.37	2.04	4.33	4.22	4	4.48	
全学教養演習	11	10	90.91	1, 5		1, 1, 3, 4, 5	4.3	4	4.3	4.3	3.9	4.6	4.2	4.7	2	4.3	4.78	5	4.6	
全学教養演習	12	12	100.00	6	4	5	4.67	4.75	4.58	4.58	4.5	4.75	4.67	4.58	3.42	4.58	4.75	5	4.75	
全学教養演習	9	8	88.89	1	5	5	4.25	4.38	4.12	4.12	4.12	4.62	4.25	4.12	1.38	4.12	4.25	4.12	4.43	
全学教養演習	4	3	75.00	6	3, 6, 7	1	5	3.33	4	4.33	4.67	4.33	4.67	4.33	2	4	5	5	5	
全学教養演習	12	12	100.00	1	5	6	4.92	5	4.75	4.67	4.67	4.83	4.92	4.92	2.33	4.75	4.92	5	5	
全学教養演習	10	7	70.00	1	3	1, 3	4.86	4.71	4.43	4.71	4.71	4.71	4.86	4.67	2.86	4.43	4.71	4.67	4.86	
全学教養演習	11	14	127.27	6	4	1, 2, 6	4.71	4.64	4.57	4.29	4.29	4.64	4.71	4.71	1.57	4.43	4.46	5	4.79	
全学教養演習	3	3	100.00	1	5	3, 4, 5	5	5	5	5	5	5	5	5	1	5	5	5	5	
文章表現論Ⅰ	144	116	80.56	1	5	3	4.3	4.47	4.5	4.34	4.21	4.6	4.54	4.38	2.61	4.43	4.45	4.48	4.59	
保健体育科教育論Ⅱ	117	87	74.36	6	5	5	4.26	4.08	4.15	4.08	3.95	4.17	3.88	3.95	2.48	3.9	4.16	3.91	4.13	
スポーツターフ管理概論Ⅱ	52	33	63.46	1	2	3	3.52	3.58	3.7	3.45	3.45	3.73	3.48	3.3	1.91	3.52	3.53	3.6	3.55	
解剖・生理学Ⅱ	40	35	87.50	6	5	4	3.63	3.06	3.23	3.21	3.2	3.26	2.94	2.89	2.06	3.17	3.71	3.75	3.06	
生活支援と障害者介護Ⅰ	16	31	193.75	6	5	4	4.4	4.43	4.47	4.47	4.43	4.53	4.47	4.47	2.57	4.4	4.43	5	4.43	
生活支援と障害者介護Ⅱ	16	11	68.75	6	5	1, 4	4.18	4.36	4.45	4.45	4.36	4.55	4.55	4.55	2.36	4.27	4.36		4.55	
日本国憲法	148	89	60.14	1	2	3	4.16	3.82	3.89	3.79	3.71	3.88	3.69	3.7	2.49	3.52	3.82	3.87	3.88	
解剖・生理学Ⅱ	39	38	97.44	6	4	5	3.32	2.84	2.92	3	2.97	3.51	3.03	3.29	2.16	3.03	3.38	3	3.21	
生活支援と障害者介護Ⅱ	16	17	106.25	6	5	4	4.53	4.24	4.53	4.47	4.06	4.65	4.35	4.47	1.94	4.06	4.29	4	4.29	
コミュニケーション技術演習	79	59	74.68	6	1, 5	4	4.47	4.42	4.49	4.31	4.25	4.58	4.44	4.46	1.98	4.34	4.44	4.38	4.5	
コミュニケーション技術演習	26	32	123.08	6	5	4	4.56	4.47	4.56	4.53	4.55	4.68	4.5	4.5	2.47	4.53	4.47	4.5	4.65	
情報処理	109	85	77.98	6	5	2	4	3.55	3.76	3.52	3.39	3.7	3.43	3.31	2.18	3.51	3.69	3.53	3.57	
体育原理	117	90	76.92	1, 6		5	5	4.11	4	3.9	3.88	3.63	4.26	4.23	3.87	1.96	4.16	4.17	3.76	4.27
スポーツコーチング概論	227	170	74.89	6	4	4	4.44	4.44	4.44	4.39	4.33	4.34	4.39	4.2	2.82	4.19	4.34	4.49	4.36	
スポーツトレーナー概論	76	67	88.16	6	5	4	4.48	4.19	4.28	4.06	3.91	4.36	4.16	3.96	2.19	3.99	4.21	3	4.34	
スポーツバイオメカニクス	123	113	91.87	6	5	4	4.12	3.49	3.67	3.65	3.62	4.14	3.69	3.43	2.47	3.72	4.05	4.57	3.8	
スポーツマネジメント概論	72	64	88.89	6	4	1	4.31	4.2	4.36	4.28	4.02	4.27	4.27	4.3	2.16	4.14	4.27	3.17	4.35	
学校保健学	130	109	83.85	1	2	3	3.68	3.64	3.6	3.43	3.39	3.56	3.55	3.42	2.62	3.61	3.73	3.74	3.6	
教育方法論	129	41	31.78	1	5	4	4	3.83	3.85	3.73	3.63	3.95	3.83	3.9	2.51	3.88	3.98	3.67	3.9	
日本経済と警備業	32	24	75.00	1	2, 8	4	3.92	3.88	3.62	3.62	4.04	3.92	4.08	3	3.88	3.92	4.43	3.96	3.96	
子どもの生活Ⅰ	17	17	100.00	6	1, 4, 5		4.76	4.71	4.53	4.41	4.59	4.71	4.71	4.41	1.41	4.65	4.71	5	4.76	
ことばと人間A	104	85	81.73	1	2	3	4.48	4.52	4.55	4.44	4.28	4.59	4.48	4.44	2.69	4.49	4.56	4.38	4.64	
テーピング	86	55	63.95	1	5	4	4.71	4.75	4.69	4.53	4.27	4.82	4.76	4.64	1.69	4.45	4.53	4.08	4.85	
トレーニングの基礎	97	92	94.85	6	1	4	4.52	4.45	4.38	4.29	3.98	4.39	4.46	4.37	1.91	4.02	4.29	3.71	4.51	
学校保健学	143	127	88.81	1	2	3	4.09	3.94	3.94	3.83	3.81	3.9	3.83	3.79	2.84	3.84	3.89	4	3.86	
給食計画論	38	34	89.47	6	1	4	4.29	4.24	4.32	4.12	3.59	4.26	4.24	3.79	1.79	4.09	4.32	4.32	4.38	
教育方法論	136	66	48.53	1, 6		5	3	3.76	3.62	3.88	3.77	3.73	4.05	3.86	3.77	2.35	3.7	3.83	3.6	3.94
教養数学	60	48	80.00	5, 4, 5		1	4.19	4	3.96	3.77	3.67	3.9	3.57	3.77	2.27	3.9	3.94	4.71	3.98	
社会学概論	59	46	77.97	1	1	3	4.11	3.96	3.98	3.96	3.85	4.24	4.11	4.13	2.43	4.15	4.3	3.86	4.23	
情報処理	47	39	82.98	6	5	5	4.36	4.1	4.18	4.1	4	4.26	3.77	3.89	2.08	3.95	4.26	4	4.14	
心理学概論	53	45	84.91	1, 2, 5		5	4	3.82	3.67	3.51	3.42	3.56	3.31	3.31	2	3.49	3.69	4.33	3.64	
水泳	66	15	22.73	1, 2, 5	4	4	4.27	4.2	4.33	4.27	4.27	4.27	4.4	3.93	2.33	4.07	4.15	3.67	4.46	
体操(身体づくり運動)	55	49	89.09	6	2	5	4.55	4.61	4.53	4.45	4.38	4.63	4.67	4.53	2.08	4.45	4.2	4.06	4.71	
哲学入門	75	55	73.33	1	2	3	3.71	3.16	3.27	3.22	3.3	3.27	3.15	3.18	2.45	3.09	3.22	3.65	3.28	
法学	20	15	75.00	1, 2, 5		3	4.53	4.27	4.4	4.47	4.47	4.73	4.53	4.53	2.93	4.27	4.6	5	4.73	
歴史学入門	94	39	41.49	1	2	2	4.38	4.33	4.36	4.18	4.05	4.51	4.21	3.62	2.36	4.23	4.41		4.44	
イングリッシュリーディングA	15	13	86.67	1	1, 5, 7	4	4.62	4.54	4.69	4.38	4.38	4.38	4.62	4.62	2.92	4.46	4.5	4.42	4.62	
スポーツ情報戦略論演習A	24	22	91.67	6, 2, 4, 5, 6		4	4.23	3.64	3.95	3.73	4.05	3.95	3.55	3.55	2.68	3.59	3.86	5	3.71	
テニス	40	29	72.50	1	2	3	4.72	4.72	4.55	4.66	4.59	4.66	4.76	4.62	3.11	4.45	4.48	4.88	4.76	
ラグビー	65	51	78.46	1	2	3	4.57	4.57	4.57	4.49	4.49	4.55	4.59	4.55	3.6	4.39	4.49	4.6	4.64	
レクリエーション実技Ⅱ	39	36	92.31	1	5	3	4.69	4.75	4.61	4.47	4.39	4.72	4.67	4.75	2.19	4.31	4.33	5	4.71	
器械運動	48	41	85.42	1, 2, 5		5	4.73	4.59	4.56	4.56	4.34	4.4	4.46	4.46	2.34	3.78	4.2	5	4.37	
給食計画論	36	33	91.67	6	4	1	4.03	4.27	4.21	3.85	3.76	4.39	4.27	3.61						

## 仙台大学 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教養平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均	板書平均	環境平均	オプション	総合平均
解剖・生理学 I	45	44	97.78	6	5	4	4.27	4.11	4.25	4.16	4.05	4.09	4.09	3.86	2.18	4.05	4.05	4.29	4.11
教育社会学	25	18	72.00	1	5	2	3.44	3.33	3.56	3.17	3.17	3.19	3.39	3.28	1.44	3.39	3.56	3.5	3.44
導入演習	28	27	96.43	6	2, 7	7	4.37	4.15	3.85	3.93	3.63	4.19	4.22	4.11	1.52	3.96	4.22	3.75	4.26
導入演習	26	26	100.00	6	7	7	3.65	3.88	3.65	3.42	3.46	3.73	3.69	3.69	2.15	3.69	3.64	3.8	3.72
導入演習	24	22	91.67	6	4	8	4.32	4.23	4.23	3.91	3.91	4.32	4.36	4.32	2.59	3.91	4.18	3.62	4.36
保健医療論	102	97	95.10	6	2	5	4.12	3.9	3.97	3.87	3.72	3.81	3.48	3.32	2.29	3.7	3.7	3.86	3.76
スポーツバイオメカニクス	116	117	100.86	6	2	3	4.3	3.83	4.03	4.03	4.03	4.27	4.09	3.82	2.91	3.97	4.17	4.29	4.19
スポーツ障害の予防と評価	49	41	83.67	1	4	4	4.22	4.02	4.24	4.24	4.1	4.37	4.22	4.32	2.95	4.08	4.24	3.67	4.31
運動生理学	164	117	71.34	6	5	3	4.45	4.23	4.34	4.23	4.21	4.51	4.45	4.23	2.83	4.32	4.44	4.24	4.49
水上安全法(含実習)	9	6	66.67	1, 4, 5	1	5	4.83	4.5	4.83	4.5	4.83	4.67	4.33	1.5	4.33	4.5			4.83
生活支援技術の実践と応用 I	32	27	84.38	6	5, 1, 4	4	4.19	4.22	4.26	4	4	4.33	4.26	4.11	2	4.07	4.11	4	4.15
導入演習	28	25	89.29	6	2, 2, 7	4	4.88	4.92	4.88	4.84	4.8	4.88	4.92	4.88	1.6	4.84	4.84		4.92
導入演習	28	25	89.29	6	2	8	4.48	4.36	4.16	4.21	4.16	4.28	4.32	4.24	2.32	4.24	4.24	4.45	4.52
導入演習	28	24	85.71	6	7, 2, 8	3	3.92	3.75	3.75	3.62	3.54	4.26	3.58	3.5	1.42	3.54	3.62	3.71	3.54
導入演習	28	23	82.14	6	5, 5, 8	4	4.3	4.17	4.23	4.13	4.13	4.3	4.26	4.04	2.39	4.13	4.18	3.67	4.43
認知症の理解 II	43	38	88.37	6	4	5	4.05	4.08	4.11	3.89	3.84	4.21	3.92	3.89	2.34	3.95	3.7	4.5	3.97
野外レクリエーション・マネジメント(含演習)	33	32	96.97	1	5	5	4.44	4.38	4.41	4.41	4.25	4.34	4.38	4.38	2.44	3.94	4.19	4.4	4.45
幼児体育論	18	17	94.44	6	4, 1, 2, 4, 5	4	4.82	4.65	4.59	4.47	4.59	4.82	4.76	4.76	2.24	4.65	4.76	4.67	4.81
アスレティックパフォーマンス実習	36	23	63.89	1	1	5	4.09	4	4.17	4.13	3.87	4.3	4.17	4.26	2.74	4.09	3.87		4.26
スポーツ施設の経営・管理	144	117	81.25	1	2	5	4.41	4.22	4.19	4.21	4.15	4.36	4.36	4.22	2.57	4.23	4.18	4.15	4.27
栄養学	45	44	97.78	6	4	4	4.7	4.55	4.68	4.68	4.5	4.77	4.43	4.39	2.43	4.48	4.59	4.33	4.69
栄養指導論演習	35	34	97.14	6	5	4	4.47	4.47	4.68	4.47	4.35	4.38	4.24	3.79	2.61	4.15	4.35	4.58	4.47
解剖・生理学 I	45	44	97.78	6	4	5	3.93	3.32	3.5	3.39	3.39	3.77	3.25	3.2	1.52	3.5	3.82	3.8	3.66
教育の基礎理論	206	156	75.73	6	4	5	4.27	4.01	4.14	4.01	3.91	4.46	4.2	4.2	2.39	4.1	4.28	4.4	4.47
教育社会学	102	71	69.61	5	3, 8	3	3.77	3.18	3.17	3.11	3.07	2.96	2.75	2.82	2.24	3.31	3.32	2.67	3.06
体力相談と運動処方	39	117	300.00	1	5	4	4.08	3.83	4.05	3.93	3.92	4.29	3.99	4.16	2.46	3.91	4.18	4.25	4.12
導入演習	28	27	96.43	6	2	7	4.37	4.41	4.3	4.22	4.04	4.37	4.33	4.3	2.3	4.22	4.3	4.2	4.26
導入演習	27	23	85.19	6	7	2	4	3.91	3.48	3.52	3.48	3.83	3.87	4	1.48	3.91	3.87	3.62	4
導入演習	26	25	96.15	6	2	8	4.24	4.08	3.88	3.84	3.92	4.48	4.21	4.4	1.74	4.08	4.24	4.2	4.32
導入演習	28	26	92.86	6	7	2	3.85	3.65	3.58	3.46	3.5	3.65	3.27	3.69	1.73	3.35	3.62	3.88	3.6
導入演習	27	12	44.44	6	2	8	4	4.25	4.25	4.17	4.08	4.25	4.17	4.45	1.75	4	4.17	4.5	4.08
武道概論	50	43	86.00	6	4	5	4.33	3.91	3.91	3.86	3.4	4.19	3.93	3.63	1.86	3.77	3.84	3.91	4.05
福祉レクリエーション実技	33	28	84.85	1	4	3	4.5	4.57	4.46	4.36	4.39	4.61	4.64	4.75	1.65	4.64	4.5	5	4.65
保健体育科授業研究 I	23	10	43.48	1	5	1	4.5	4.5	4.7	4.5	4.4	4.3	4.3	4.4	2.6	4.3	4.4	4.33	4.25
ストレンクス&コンディショニング実習	45	42	93.33	6	1	5	4.57	4.29	4.4	4.29	4.21	4.55	4.55	4.45	2.64	4.24	4.24	4.5	4.45
リハビリテーション論	26	26	100.00	6	1	4	4.62	4.5	4.62	4.5	4.31	4.73	4.77	4.65	2.46	4.58	4.69	5	4.73
栄養指導論演習	25	23	92.00	6	5	1	4.35	4.57	4.78	4.35	4.26	4.3	4.43	3.83	2.61	4.35	4.48	4.8	4.48
介護総合演習Ⅲ	36	28	77.78	6	4	5	4.11	4.36	4.39	4	4.07	4.46	4.25	4.07	2.29	4.32	4.11	4.75	4.23
器械運動	40	38	95.00	1	5	1	4.74	4.66	4.66	4.63	4.68	4.66	4.59	4.68	2.45	4.22	4.55	4.7	4.78
剣道	40	33	82.50	6	5, 1, 7	4	4.3	4.21	4.06	3.97	3.88	4.06	4	4.09	2.7	3.82	3.97	3.87	4.09
社会福祉援助技術演習Ⅱ	7	7	100.00	4, 6	5	1	3.71	3.71	3.71	3.43	3.43	4.71	3.43	3.71	1.29	3.29	3.14		3.57
柔道	45	32	71.11	1	1, 3, 8	4	4.34	4.34	4.31	4	3.97	4.34	4.28	4.25	1.25	3.1	4.25		4.41
水泳	68	28	41.18	1, 3, 5	1	4	4.71	4.79	4.71	4.68	4.71	4.79	4.75	4.61	3.36	4.54	4.75	4.43	4.77
運動学(含運動方法学)	199	151	75.88	6	5	3	3.99	3.46	3.57	3.58	3.61	3.46	3.22	3.17	2.47	3.37	3.66	4.11	3.46
栄養指導論実習 I	71	59	83.10	6	4	5	4.39	4.31	4.34	4.24	4.17	4.16	4.22	3.92	2.44	4	4.24	4.19	4.26
器械運動	6	5	83.33	1, 2, 4, 5	5	5	4.8	4.4	4.4	4.4	4.6	4.8	4.8	4.1	4.8	4.6	4		4.6
教職キャリア演習 I	28	26	92.86	1	4	4	4.85	4.69	4.81	4.81	4.65	4.88	4.81	4.8	2.42	4.62	4.65	4	4.8
生活支援と居宅介護	29	31	106.90	6	5, 3, 4	4	4.16	4.06	4.19	4.03	4.13	4.48	4.32	4.32	2.52	4.26	4.45	4	4.42
生活支援と障害者介護Ⅲ	21	16	76.19	6	5	4	3.88	3.94	3.81	3.62	3.62	4	3.94	3.88	1.94	3.69	3.81	4	3.94
スポーツ施設管理概論 I	113	91	80.53	1	5	5	4	3.76	3.92	3.75	3.64	4.03	3.53	3.51	2.42	3.6	3.78		3.85
英会話A	30	20	66.67	1	5	5	4.6	3.9	4.25	4.25	3.9	4.9	4.6	4.75	2.1	4.45	4.65	4.75	4.63
認知症の理解 I	39	38	97.44	6	5	4	4.08	3.66	3.82	3.61	3.61	4.18	3.92	3.89	1.95	3.87	4.03	5	3.84
臨床栄養学実習	70	63	90.00	6	4	5	3.9	3.62	3.95	3.63	3.57	3.75	3.21	3.14	2.24	3.29	3.67	3.73	3.6
教育の基礎理論	151	116	76.82	1	2	3	4.45	4.31	4.34	4.27	4.21	4.53	4.4	4.41	2.75	4.32	4.44	4.37	4.56
導入演習	18	16	88.89	6	7	8	4.44	4.19	4.19	3.88	4	4.19	4.12	4.19	1.88	4.12	4.19	4.17	4.19
導入演習	17	15	88.24	6	2	2	4.53	4.53	4.47	4.47	4.47	4.53	4.47	4.53	2.4	4.53	4.47	3.33	4.47
日本国憲法	150	92	61.33	6	5	5	4.08	3.8	3.86	3.8	3.78	3.82	3.64	3.57	2.52	3.44	3.88	4.06	3.8
スポーツ史	201	53	26.37	1, 6	2	5	4.02	3.79	3.91	3.98	3.66	4.58	4.38	3.77	2.23	4.11	4.23		4.3
導入演習	24	23	95.83	6	5, 1, 2, 5, 8	4	4.39	4.39	4.26	4.13	4.13	4.65	4.39	4.48	1.38	4.26	4.39	3.17	4.45
導入演習	22	19	86.36	6	7, 8	4	4.32	4.37	4.32	4.21	4.26	4.47	4.37	4.32	1.68	4.32	4.37	4.33	4.38
導入演習	23	19	82.61	6	7, 2, 3	4	4.11	4	3.79	3.74	3.74	4.37	4.11	4.21	1.42	4.17	4.21	4	4.21
導入演習	15	15	100.00	6	2	7	4.07	3.8	3.4	3.73	3.47	4	3.67	3.47	1.87	3.53	3.8	3.67	3.79
導入演習	17	15	88.24	6	7	8	4.47	4.27	4.13	4.27	3.93	4.73	4.27	4.33	1.4	4.33	4.67		4.33
導入演習	17	13	76.47	6	5	1	4.85	4.85	4.54	4.38	4.62	4.85	4.77	4.83	1.46	4.69	4.77		4.92
導入演習	23	21	91.30	6	2	7	4.52	4.48	4.48	4.43	4.38	4.67	4.57	4.57	2.05	4.67	4.7	5	4.43
導入演習	23	22	95.65	6	5	2	4.45	4.45	4.5	4.55	4.27	4.41	4.45	4.36	1.91	4.41	4.27	4.38	4.55
導入演習	18	17	94.44	6	7, 3, 4, 5	4	3.76	4	3.76	3.71	3.71	4.29	4.12	4.12	2	4.06	4.06	3.67	4.06
導入演習	22	21	95.45	6	5, 1, 5	4	4.38	4.43	4.38	4.33	4.14	4.48	4.38	4.33	2	4.48	4.48	5	4.57
保健体育科教育論Ⅱ	93	63	67.74	1	5	3	4.22	4.1	4.11	3.94	3.97	4.25	4.14	4.06	2.63	4	4.16	4.06	4.15
スポーツマスメディア概論	51	48	94.12	6	1	4	4.25	4.12	4.17	4.02	3.83	4.17	4.08	3.94	2.68	4.08	4.15	4.09	4.29
スポーツ栄養学	47	39	82.98	6	5, 1, 4, 5	4	4.18	4.18	4										

## 仙台大学 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均	板書平均	環境平均	オプション	総合平均
スポーツ取材・報道演習B	21	18	85.71	6	5	3	4.17	4.17	4.06	3.83	4.06	4	3.89	3.94	3.28	3.72	3.89	3.7	4.06
運動障害救急法(含実習)	179	163	91.06	6	5	4	4.39	4.42	4.39	4.2	4.17	4.26	4.31	3.81	2.61	4.28	4.28	4.22	4.38
種目別コーチング演習 I	125	27	21.60	1	4	3	4.52	4.48	4.65	4.48	4.37	4.59	4.52	4.52	2.93	4.37	4.41	4.33	4.59
体育原理	119	97	81.51	1	5	3	4.33	4.14	4.14	4.07	4.03	4.4	4.35	4.03	2.02	4.21	4.36	4.09	4.35
体力相談と運動処方	61	57	93.44	1	5	8	3.6	3.04	3.11	3.12	3.19	3.56	3.05	3.57	1.77	3.33	3.64	3	3.18
調理学	45	44	97.78	6	4	1	4.27	3.75	4	3.86	3.77	4.14	3.57	3.48	1.7	3.67	3.9	3.75	3.98
犯罪・犯罪心理学	36	34	94.44	1	5	5	4.24	4.21	4.12	4.24	4.06	4.56	4.47	4.47	2.68	4.53	4.32	4.25	4.38
養護演習	18	17	94.44	6	4	5	4.47	4.53	4.53	4.53	4.18	4.56	4.41	4.12	2.59	4.24	4.47	4.75	4.6
運動栄養学概論	91	88	96.70	6	4	1	4.41	4.35	4.34	4.26	4.2	4.34	4.19	4	1.6	4.17	4.31	4.24	4.33
英会話A	32	27	84.38	1	1	5	4.44	4.19	4.22	4.37	4.3	4.59	4.37	4.56	2.59	4.19	4.52	4.2	4.59
介護過程と介護研究 I	11	10	90.91	6	1, 5	4	4.2	4	4.2	3.3	3.8	4.1	3.6	3.7	2.7	4	3.8	4	3.9
日本国憲法	35	26	74.29	1	2	4	3.96	3.73	3.62	3.54	3.65	3.92	3.73	3.54	2.56	3.48	4	3.5	3.96
養護概説	16	16	100.00	6	4	1	4.62	4.62	4.69	4.56	4.5	4.75	4.5	4.44	2.31	4.5	4.44		4.67
衛生・公衆衛生学	39	38	97.44	6	4, 5		3.87	3.55	3.61	3.37	3.34	3.63	3.32	3.27	2.16	3.24	3.82	3.57	3.38
社会福祉援助技術現場実習	10	4	40.00	6	4	1	4	3.25	3.75	4	4	4	2.25	3.5	2.25	2.75	2.5		3.5
認知症の理解 I	12	3	25.00	3, 4, 6	1, 4, 5	1	4.67	4.33	4.67	4.33	4.67	5	5	4.67	2	5	5		5

## 東北生活文化大学 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発平均	探求平均	熱意平均	教養平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均	板書平均	環境平均	オプション	総合平均
スタディスキルズ(健康栄養)	35	29	82.86	6	2, 4, 8	3.93	4.03	3.79	3.66	3.21	3.76	3.66	3.14	1.54	3.86	3.83			3.56
キャリア開発Ⅲ	39	34	87.18	4	4	5	3.76	3.26	3.52	3.7	3.65	3.65	3.32	3.21	1.94	3.41	3.71	3.94	3.58
スタディスキルズ(服飾文化)	10	8	80.00	6	5	2	3.5	3.5	3.12	2.88	2.75	3	3	1.25	3.38	3.12			3.38
スタディスキルズ(生活美術)	26	21	80.77	6	7	8	3.38	3.81	3.29	3.05	3.05	3.52	3.52	3.29	1.38	3.67	3.76	2	3.52
彫刻Ⅰ	35	17	48.57	6	5	5	3.76	4	4.24	3.88	3.88	4.82	4	4.06	2	3.88	4.18	3.62	4.06
心理学Ⅰ	47	54	114.89	1	2	5	4.06	3.94	3.98	3.76	3.7	3.98	3.83	3	1.63	3.76	3.91	3	4.17
栄養学実験	40	36	90.00	6	4	5	4.03	3.89	3.83	3.75	3.81	4.08	3.94	4.06	2.56	4	4.14	3.85	4.14
美術史Ⅰ	35	29	82.86	1	1, 4, 5	4	4.17	4.34	4.03	3.79	3.62	4.69	4.38	4.17	1.59	4.1	4.36	5	4.56
給食経営学	41	38	92.68	6	4	5	4.08	4	4.11	3.89	3.79	4.08	3.68	3.92	2.55	3.97	4.11	2.89	3.91
教育制度論(美術)	12	12	100.00	6	4, 1, 4, 5	4	4.17	4.17	4.17	4.17	4	4.17	4.33	3.67	1.82	4.08	4.08	4.5	4.36
応用栄養学Ⅰ	42	40	95.24	6	4	4	3.95	4.05	4	3.8	3.8	4.05	4.03	4	2.52	3.56	3.95	3.5	4
臨床栄養学実習Ⅰ	38	33	86.84	6	4	5	4.3	4.24	4.27	4.15	3.97	4.33	3.91	4.09	2.52	3.73	3.94	4	3.94
有機化学Ⅱ	42	38	90.48	6	4	5	3.61	3.03	3.03	2.87	2.95	3.82	2.47	2.61	1.71	2.39	2.71	2.62	2.71
食品学総論	42	38	90.48	6	4	5	3.84	3.66	3.74	3.66	3.76	3.84	3.74	3.92	2.63	3.74	3.84	3.84	3.82
保健栄養学	38	35	92.11	6	4, 4, 5	4	4.09	4.2	4.17	3.94	3.76	4.57	4.26	4	1.76	4.26	4.26	4	4.29
マーケティング論	11	7	63.64	1	4, 3, 8	4	4.29	4.43	4.71	4.43	4.43	4.71	4.71	4.57	3.14	4.57	4.57		4.57
陶芸Ⅰ	13	10	76.92	1	3	5	4.5	4.5	4.5	4.8	4.2	4.9	5	5	1.22	4.9	4.89	5	
洋画Ⅰ	15	15	100.00	1	1, 3	5	4.07	4.4	4.2	4.27	4.13	4.27	4.13	4.4	2.47	3.8	4.33		4.73
化学Ⅰ	39	35	89.74	6	4, 2, 4, 5	4	4.6	3.86	4.11	4.29	3.77	4.17	3.8	3.69	2.71	3.83	3.97	4.03	4.29
応用栄養学実習Ⅰ	40	38	95.00	6	4	5	3.92	3.92	3.92	3.84	3.82	3.92	3.82	3.92	2.53	3.86	3.99	3.25	3.87
デザイン基礎・平面Ⅰ(映像メディア表現を含む)	26	23	88.46	6	1	4	4.65	4.48	4.09	4.26	4.13	4.39	4.43	4.35	2.52	4.3	4.32		4.62
数学	34	32	94.12	2	5	7	3.97	2.44	2.78	2.88	3.16	3.5	2.28	2.66	1.62	3.22	3.47		2.94
家政特別講義Ⅳ(臨地実習演習)	41	37	90.24	6	4	1	4.38	4.35	4.3	4.27	4.08	4.27	4.19	4.16	2.16	4.14	4.14	3.8	4.22
卒業研究特別講義Ⅰ	24	19	79.17	6	4, 3, 8	4	4.11	4.26	4.05	4.21	4.26	4.32	4.32	4.21	3	4.05	4.05	4.29	4.21
キャリア開発Ⅱ	39	32	82.05	6	4	4	3.75	3.81	3.81	3.75	3.78	3.91	3.84	3.94	2.68	3.88	3.84	3.43	3.75
食品学実験Ⅰ	35	32	91.43	6	4	4	4.5	4.22	4	4	4.09	4.41	4.38	4.38	2.44	4.09	4.34	5	4.29
基礎調理学実習Ⅰ	10	9	90.00	6	1, 2, 4, 5	5	4.33	3.67	3.89	3.56	3.56	3.67	3.11	3.44	2.11	3.56	3.89		3.56
彫刻基礎Ⅰ	26	19	73.08	6	1, 5	5	4.37	4.26	4.26	4.21	4.16	4.58	3.95	3.47	2.37	4.26	4.21	4.19	4.42
臨床栄養学Ⅰ	44	38	86.36	6	4	1	4.21	4.08	4.21	4.13	3.76	4.34	4.05	4	3.13	3.81	4.11	3	4.19
キャリア開発Ⅳ	37	36	97.30	4	4	1	3.83	4.03	4.11	4.03	3.94	4.06	3.83	3.75	3.31	4.17	3.83	3.94	3.74
色彩学Ⅰ	22	17	77.27	1	4, 5	5	4.29	4.12	4.41	4.24	4.06	4.47	3.65	4	2.31	4.18	4.25		4.35
洋画Ⅲ	11	10	90.91	1	5, 4, 5	4	4.2	4.3	4.2	4.5	4.4	4.2	4.1	4.44	2.8	4	4.1	3	4.3
基礎調理学実習Ⅰ	35	33	94.29	6	4	5	4.55	4.33	4.39	4.27	4.09	4	3.24	3.73	1.97	3.61	3.97		3.82
公衆衛生学Ⅰ	40	33	82.50	6	4	5	3.76	3.36	3.58	3.42	3.15	3.85	3.55	3.18	1.61	3.58	3.61	3.5	3.69
解剖生理学Ⅱ	38	35	92.11	6	4	4	3.86	3.89	3.91	3.91	3.83	4	3.94	3.77	2.17	4.03	4	3.4	4.09
健康栄養学総合演習Ⅰ	40	32	80.00	6	4	5	4.03	4.09	4.16	3.97	3.75	3.81	3.72	3.5	1.84	3.94	3.5	3.33	3.93
化学Ⅱ	36	35	97.22	6	4	4	4.37	3.4	3.69	4.06	3.74	4	3.66	3.51	2.76	3.77	3.94	3.76	4.09
教育原理	34	32	94.12	6	5	8	3.78	3.81	4.03	3.75	3.78	3.94	3.81	3.53	1.97	3.47	4	3.5	3.94
臨床栄養指導論Ⅰ	41	37	90.24	6	4	4	4.24	4.08	4.16	4.05	3.89	4.22	3.78	4	2.03	3.54	4.05	4	4.03
被服繊維学	10	6	60.00	6	4, 4, 5	3	3.5	3.67	3	3.5	3.67	3	4.67	3.5	4	1.5	3.17	3.67	3.83
情報設計概論Ⅰ	15	13	86.67	1	2, 4	4, 5	4.31	4.31	4.31	4.31	3.85	4	3.85	4.08	1.69	3.64	4.23		4.38
教育心理学	33	31	93.94	6	4	8	3.71	3.84	3.94	3.68	3.48	4.16	3.9	3.71	1.48	3.9	3.9		4.03
情報処理Ⅰ	17	13	76.47	6	5	8	4.15	4	4.15	3.92	3.69	3.69	3.54	3.46	1.92	3.5	3.75	3.67	3.92
英語Ⅰ	32	31	96.88	6	5	5	3.94	3.42	3.35	3.48	3.39	3.48	3.1	3.26	2.39	3.29	3.52		3.35
給食管理学	49	44	89.80	6	4	5	3.91	3.73	3.8	3.73	3.52	3.68	3.48	3.57	2.82	3.52	3.73	1	3.77
臨床医学概論Ⅰ	31	29	93.55	6	4	4	4.14	3.9	4	3.97	3.79	4.14	3.86	3.48	1.68	4.14	4.07	5	4.11
スタートアップソート	11	7	63.64	6	1	4	4.71	4.14	4.43	4.57	4.14	4.71	4.43	4.71	3.14	4.43	4.43		4.71
工芸基礎Ⅰ(プロダクト制作を含む)	10	6	60.00	1	4, 1, 5, 6, 7	4	4.67	4.33	4.17	4.17	4.67	4.33	4.67	1.67	4.5	4.5	4.5		4.83
視覚デザインⅠ	22	19	86.36	1	3, 5	5	4.26	4.42	4.37	4.32	4.16	4.68	4.63	4.53	3	4.33	4.56		4.72
アパレル生産実習	13	10	76.92	1	4	1	4.5	4.5	4.6	4.3	4.5	4.6	4.4	4.6	2.3	4.3	4.5	3.9	4.7
家政学原論(健康栄養)	33	31	93.94	6	2, 4	5	4.19	4.16	3.97	3.87	3.68	4.32	4.29	4.07	1.71	4.32	4.23		4.23
応用調理学実習Ⅰ	38	38	100.00	6	4	5	4.03	4.11	3.89	3.84	3.87	4.13	3.45	3.63	2.16	3.74	3.89	3.33	3.74
生化学実験	40	31	77.50	6	4	5	4.39	3.84	4.13	3.97	3.94	4.48	4.35	4.29	2.21	4.26	4.32	4.17	4.37
英語Ⅰ(服飾文化)	11	8	72.73	6	5	8	3.5	3.38	3.38	3	3.12	3.38	3.5	3.62	2.12	3.25	3.88		3.38
壁画Ⅰ	11	5	45.45	1	3, 4	5	4.4	4.2	4.6	4.6	4.6	4.4	4.4	4.6	2.5	3.5	4.6		4.4
視覚デザインⅢ	16	13	81.25	1	5	3	4.77	4.62	4.62	4.77	4.92	5	4.77	4.92	3.31	4.54	4.54	5	4.92
栄養指導論実習	38	36	94.74	6	4, 4, 5	4	4.03	4.19	3.92	3.94	4.14	3.61	3.89	3.2	3.81	3.97	4.55	3.97	
キャリア開発Ⅰ	17	16	94.12	6	5	1	4.56	3.5	4.25	4.06	3.94	4.19	3.88	4.25	2.69	4.12	4.19	3.93	4.44
微生物学	40	36	90.00	6	5	4	3.61	3.64	3.61	3.53	3.56	3.81	3.43	3.43	2.22	3.37	3.53	3.67	3.5
化学Ⅰ	14	11	78.57	7	1, 2	5	4.09	3.45	3.73	3.55	3.36	4.36	3.73	4.18	1.64	3.18	3.18	3.22	3.91
キャリア開発Ⅰ	19	18	94.74	1, 6	2, 2, 5	4	4.67	4.17	4.5	4.33	4.17	4.5	4.39	3.49	2.72	4.33	4.5	4.11	4.5
情報基礎学	22	16	72.73	5	5	1	4	4	4	3.56	3.81	3.81	3.75	3.5	1.5	3.5	3.81	3	3.94
家政学原論	37	32	86.49	6	5, 5, 8	3.84	4.06	3.84	3.69	3.75	4.12	3.91	3.58	2	4.06	4.19	3	4.13	
運動生理学	40	31	77.50	6	4	5	3.42	3.35	3.42	3.45	3.32	3.77	3.29	3.55	2	3.29	3.55	3.21	3.55
公衆栄養学	38	35	92.11	6	4	4	4.03	4.14	4.09	3.83	3.94	4.46	4.23	4.06	2.12	4.34	4.2	4	4.17
絵画基礎Ⅰ(映像メディア表現を含む)	26	20	76.92	6	1	4	4.45	4.35	4.3	4.35	4.3	4.35	3.9	4.4	1.95	3.75	4.32		4.4
染織Ⅰ	11	11	100.00	1	3	5	4.73	4.82	4.55	4.55	4.36	4.82	4.82	4.91	1.55	4.73	4.73		4.91
染色加工学実験	13	11	84.62	1	4, 4, 8	4	4.18	4.18	4.27	4.09	4.36	4.18	4.18	4.55	3.45	4.27	4.27		4.27
被服学	17	15	88.24	1	1, 5	5	4.73	4.53	4.27	4.27	4.2	4.47	4.47	4.13	1.33	4.14	4.4	3	4.53
栄養教育論	42	40	95.24	6	4	5	3.85	3.6	3.8	3.65	3.62	3.95	3.75	3.8	2.45	3.78	3.82	4.1	3.82
食品衛生学	38	33	86.84	6	4, 4, 5	4	4.15	4	4.06	4.03	3.82	4.33	4.15	4.09	1.75	4.15	4.12	4	4.18
被服学	10	9	90.00</																

## 東北生活文化大学 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均	板書平均	環境平均	オプション	総合平均
運動生理学	40	31	77.50	6	4	5	3.42	3.35	3.42	3.45	3.32	3.77	3.29	3.55	2	3.29	3.55	3.21	3.55
公衆栄養学	38	35	92.11	6	4	4	4.03	4.14	4.09	3.83	3.94	4.46	4.23	4.06	2.12	4.34	4.2	4	4.17
絵画基礎Ⅰ(映像メディア表現を含む)	26	20	76.92	6	1	4	4.45	4.35	4.3	4.35	4.3	4.35	3.9	4.4	1.95	3.75	4.32		4.4
マンガⅠ	15	9	60.00	1	2, 3, 4	4, 5	4.33	4.33	4.67	4.44	4.44	4.78	4.56	4.67	3	4	4.56		4.44
染織Ⅰ	11	11	100.00	1	3	5	4.73	4.82	4.55	4.55	4.36	4.82	4.82	4.91	1.55	4.73	4.73		4.91
染色加工学実験	13	11	84.62	1	4, 8		4.18	4.18	4.27	4.09	4.36	4.18	4.18	4.55	3.45	4.27	4.27		4.27
被服学	17	15	88.24	1	1, 5	5	4.73	4.53	4.27	4.27	4.2	4.47	4.47	4.13	1.33	4.14	4.4	3	4.53
栄養教育論	42	40	95.24	6	4	5	3.85	3.6	3.8	3.65	3.62	3.95	3.75	3.8	2.45	3.78	3.82	4.1	3.82
食品衛生学	38	33	86.84	6	4, 5		4.15	4	4.06	4.03	3.82	4.33	4.15	4.09	1.75	4.15	4.12	4	4.18
被服学	10	9	90.00	6	4	1	4.33	4.11	4.56	4.33	4.11	4.44	4.33	3.78	2.11	4.22	4.33		4.33
生化学Ⅱ	45	43	95.56	6	4	5	3.86	3.67	3.72	3.65	3.7	4.07	3.77	3.7	2.77	3.81	3.79	3.63	3.88
調理科学実験	38	34	89.47	6	4, 5		3.97	3.79	3.82	3.71	3.79	3.91	3.09	3.38	2.5	3.44	3.82	5	3.59
哲学Ⅰ	24	17	70.83	1	5	2	4.06	3.65	3.82	3.65	3.29	4.29	4.18	3.47	1.82	4.12	4.06	4	4.12
英語Ⅰ	11	9	81.82	2, 5	5, 8	2	3.67	4.22	4	3.44	3.44	4.44	4.56	4.33	1.78	4.11	4.22		4.22
情報基礎学	23	18	78.26	6	5	8	4.11	4.22	4.39	4.17	4.06	3.78	3.56	3.28	1.17	3.33	3.83		4
技法研究Ⅰ-a	36	28	77.78	6	1	1	4.61	4.46	4.57	4.61	4.5	4.39	4.11	4.25	3.68	4.29	4.41	4.2	4.5
栄養管理論	42	40	95.24	6	5	4	3.9	3.6	3.88	3.72	3.82	3.95	3.9	3.8	2.62	3.65	3.8	3.29	3.8
日本語基礎	54	46	85.19	5	5	2	3.85	3.43	3.57	3.17	3.13	3.85	3.53	3.07	1.44	3.61	3.73	3.33	3.6
日本国憲法	70	59	84.29	6	2	2	3.37	3.02	3.08	2.93	2.75	4	3.25	2.53	1.29	3.39	3.61	2.83	3.29
生活美術特別講義Ⅰ	23	22	95.65	6	5, 4, 7		4.27	4.14	4.18	4.05	4.18	4.23	3.95	4.23	1.73	4.09	3.91	4.35	4.43
生活美術特別講義Ⅱ	24	15	62.50	1	5	4	4.73	4.47	4.4	4.73	4.2	4.8	4.73	4.67	1.13	4.4	4.47		4.8
写真Ⅰ	21	12	57.14	1	5	5	4.33	4.25	4.33	4.33	4.17	4.58	4.42	4.25	2.45	4.33	4.42	5	4.42
生活美術特別講義Ⅴ	27	15	55.56	1	5	3	4.6	4.67	4.73	4.67	4.6	4.93	4.8	4.47	3.33	4.6	4.71	3.67	4.6
生活美術特別講義Ⅲ	0	10																	
博物館実習Ⅰ(学内・見学実習を含む)	23	20	86.96	6	4	1	4.25	4.3	4.37	4.2	4.25	4.65	4.45	4.65	3.32	4.05	4.4	4	4.6

## 東北生活文化短期大学 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教養平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均	板書平均	環境平均	オプション	総合平均
数学基礎演習	30	27	90.00	6	5	5	3.81	3.74	3.59	3.41	3.44	3.85	3.41	3.44	1.7	3.44	3.7	3.5	3.88
食品衛生学実験Ⅰ	34	25	73.53	6	5	4	4.16	3.84	3.76	3.76	3.66	3.96	3.76	3.84	2.32	4	4.04	3.8	4
児童家庭福祉論	46	45	97.83	6	4	4	4	3.93	3.98	3.82	3.64	4.04	4.07	3.64	1.56	3.93	4	3.5	4.13
教育相談	38	30	78.95	6	5	4	4.27	4.13	4.07	3.97	4.07	4.37	3.93	4.03	2.87	4.13	4.27	4.33	4.77
健康スポーツⅠ	30	28	93.33	6	1	3	4.61	4.64	4.43	4.36	4.26	4.96	4.75	4.64	1.74	5	4.5	5	4.73
保育内容の指導法	38	38	100.00	6	4	4	4.53	4.58	4.58	4.42	4.26	4.76	4.68	4.63	2.55	4.71	4.63	4.67	4.7
心理学	30	30	100.00	5	5	8	3.83	3.5	3.67	3.37	3.43	4	3.63	2.8	1.21	3.6	3.77		3.76
調理学実習Ⅲ	34	29	85.29	6	4	5	4.38	4.38	4.31	4.34	4.21	4.41	4.21	4.41	2.68	4.31	4.45	4	4.43
生活文化概論(子)	46	41	89.13	6	2	8	3.49	3.2	3.34	3.24	2.98	3.9	3.46	2.93	1.62	3.63	3.78	3.38	3.59
臨床心理学	38	34	89.47	6	5	4	4.26	4.12	4.09	4	3.97	4.29	3.94	4.12	2.65	4.06	4.12	4.67	4.56
微生物学	30	29	96.67	6	4	5	3.93	3.24	3.52	3.48	3.34	4.21	3.62	3.52	1.41	3.59	3.97	3	4.04
相談援助	38	36	94.74	6	5	4	4.61	4.53	4.58	4.5	4.44	4.69	4.61	4.5	2.64	4.58	4.53	4.29	4.57
スタディスキルズ(子)	46	40	86.96	6	5	1	4.1	4.03	3.92	3.52	3.3	4.15	4.05	3.8	1.75	3.85	3.82	3.4	3.9
スタディスキルズ(食)	30	29	96.67	6	5	8	3.76	3.9	3.76	3.34	3.38	3.9	3.66	3.48	1.45	3.76	3.9	3.33	3.88
栄養指導論実習	33	31	93.94	6	4	5	4.13	4.03	4.06	4.06	4.03	4.26	4.26	4.19	2.71	4.1	4.19	4	4.21
英語Ⅰ	46	41	89.13	6, 2, 5	4, 8		3.95	3.95	3.8	3.56	3.34	3.8	3.76	3.76	2.07	3.76	3.79	3.5	3.95
音楽Ⅰ(A)	23	22	95.65	6, 1, 4		5	4.05	3.41	3.68	3.59	3.32	3.67	3.09	3.41	1.71	3.1	3.27	3	3.73
保育内容総論(B)	23	23	100.00	6	5	4	4	3.87	3.96	3.91	3.87	4.09	4.05	4.09	1.52	4	4.09	3.67	4.17
発達心理学Ⅱ	38	38	100.00	6	5	4	4.34	4.34	4.32	4.18	4.13	4.18	4.21	4	2.32	4.32	4.24	4.5	4.3
生活文化概論(食)	30	30	100.00	6	2, 1, 5, 8		3.67	3.6	3.67	3.7	3.43	4.47	4.07	3.8	1.53	4.37	4.17	4.67	4.24
栄養指導論Ⅱ	33	25	75.76	6	5	4	4.28	4.12	4.2	4.12	4.08	4.24	4.2	4.24	3	4.04	4.2	3.56	4.12
教育・保育方法論(B)	23	20	86.96	6	2	8	3.75	3.45	3.45	3.3	3.1	3.8	3.35	3.3	2	3.6	3.6	3.33	3.53
調理学実習Ⅰ	30	29	96.67	6	4	4	4.72	4.62	4.72	4.69	4.34	4.59	4.52	4.59	2.48	4.45	4.52	4.4	4.73
食品衛生学	34	33	97.06	6	5	4	3.91	3.79	3.88	3.85	3.76	4	3.85	3.97	2.47	3.79	3.97	3.67	3.97
教育・保育方法論(A)	23	19	82.61	6, 2, 5		4	3.58	3.16	3.37	3.37	3.26	3.42	3.16	3.05	2	3.37	3.37	3.5	3.33
公衆衛生学	34	25	73.53	6	5, 1, 4, 5		3.52	3.24	3.48	3.32	3.2	3.84	3.2	3.44	2	3.76	3.68	4.17	3.62
健康スポーツⅠ(A)	23	22	95.65	6	4, 4, 5		4.27	4.36	4.18	3.91	3.82	4.64	4.5	4.45	1.41	4	4.09	3	4.4
情報処理Ⅰ(A)	23	22	95.65	6	5, 4, 5		3.77	3.59	3.77	3.45	3.29	3.09	3	2.77	1.23	3.29	3.38	3.09	3.5
保育内容(環境Ⅱ)	24	21	87.50	1	4	4	4.71	4.71	4.67	4.57	4.33	4.76	4.76	4.67	2.43	4.67	4.76	3.67	4.76
食品学実験Ⅰ	30	30	100.00	6	4	5	4.43	3.63	3.93	3.93	3.93	4.6	3.86	4.2	2.1	3.9	4.03		4.28
給食管理実習Ⅱ	34	25	73.53	6	5	4	4.2	4.08	4.12	4.16	4.16	4.28	4.16	4.32	2.6	4.2	4.24	3.57	4.32
情報処理Ⅰ(B)	23	18	78.26	6	5	8	3.83	3.56	3.76	3.61	3.39	3.44	3	2.72	1.72	3.39	3.78	3	3.71
健康スポーツⅠ(B)	23	19	82.61	6	2	1	4.32	4.42	4.21	4.16	4	4.42	4.47	4.53	1.95	4.5	4.26	4	4.47
保育内容(言葉Ⅱ)	22	22	100.00	1	5	1	4.59	4.55	4.41	4.45	4.36	4.32	4.45	4.36	3.23	4.36	4.41		4.52
社会学	62	61	98.39	6	2	5	3.67	3.62	3.66	3.46	3.48	4.08	3.84	3.46	1.67	3.85	3.97	3.67	3.85
保育内容(人間関係Ⅰ)(A)	23	22	95.65	6, 2, 4		4	3.68	3.5	3.59	3.36	3.32	3.55	3.14	3.18	1.32	3	3.32	3	3.5
社会的養護内容	38	37	97.37	6	5	4	4.54	4.54	4.51	4.41	4.38	4.62	4.57	4.56	2.62	4.59	4.57	4.8	4.58
調理科学論	30	29	96.67	6	4, 1, 4, 5		4.45	4.21	4.21	4.1	3.93	4.66	4.14	4.04	2.07	4.34	4.29	4	4.31
病理学	34	25	73.53	6	5	5	3.92	3.68	3.68	3.64	3.68	3.88	3.48	3.64	2.24	3.6	3.92	3.67	3.8
保育内容(人間関係Ⅰ)(B)	23	20	86.96	6	4	4	4.05	3.95	3.95	3.75	3.8	3.9	3.9	3.55	1.8	4.1	4.05	4	3.9
子どもの食と栄養Ⅰ	38	34	89.47	6	1	5	4.35	4.18	4.29	4.18	4.03	4.5	4.09	4.15	2.62	4.03	4.24	3.94	4.3
食品学	32	32	100.00	6	4	1	4.44	3.59	3.84	3.88	3.91	4.62	4.03	4.09	1.81	4.06	4.41	4	4.35
給食管理実習Ⅰ	30	30	100.00	6	4	5	4.63	4.33	4.47	4.47	4.3	4.43	4.2	4.27	1.69	4.03	4.23		4.5
ライフステージ栄養学実習Ⅱ	34	31	91.18	6	5	4	4.35	4.32	4.29	4.32	4.26	4.26	4.26	4.03	2.29	4.26	4.23	4.33	4.43
体育Ⅱ	7	6	85.71	1	3, 1, 5, 6, 7		4.67	5	4.5	4.33	4.5	5	4.83	4.8	1.83		4.83	4.8	4.5
社会福祉論	46	42	91.30	6	5	4	3.88	3.79	3.67	3.57	3.57	3.93	3.74	3.67	1.68	3.67	3.88	3.44	4
障害児保育Ⅰ	38	38	100.00	6	5	4	4.34	4.24	4.32	4.13	4.16	4.21	4.24	4.13	2.5	4.24	4.35	4.29	4.38
給食管理学	30	30	100.00	6	4	5	4.3	4.03	4.37	4.27	4.07	4.37	4.13	3.97	1.6	3.9	4.17		4.32
保育内容総論	23	22	95.65	6	4	5	4.05	4.14	4.05	3.73	3.55	4.09	4.23	4.09	1.41	3.86	3.82		4.05
音楽Ⅰ(B)	23	20	86.96	6	5	4	4	3.8	3.95	4	3.85	4	3.5	3.85	2.15	3.5	3.85	3.67	4.1
健康管理学	10	10	100.00	1, 6		5, 2, 5	4.7	4.8	4.7	4.6	4.7	4.9	4.8	4.8	2.6	4.8	4.9	4.67	5
教育原理	46	41	89.13	6	2	4	3.34	3.15	3.12	3.1	2.9	3.41	2.98	3.12	1.71	3.24	3.15	3.25	3.22
栄養学Ⅰ	33	31	93.94	6	4	8	4.35	3.52	3.84	3.9	3.61	4.68	4.03	4.42	2.03	4.13	4.42	4	4.45
保育実践演習	19	19	100.00	6	1, 4, 6		4.53	4.53	4.58	4.37	4.37	4.79	4.58	4.58	2.05	4.58	4.58	5	4.67
保育実践演習	19	19	100.00	6	5	4	4.78	4.78	4.79	4.79	4.74	4.84	4.79	4.84	3.37	4.84	4.79	5	4.74
保育原理	46	45	97.83	6	5	4	3.98	3.98	3.96	3.8	3.73	4.02	4.11	3.84	1.49	3.93	3.91	3.57	4
英語Ⅰ	30	30	100.00	6	5	8	3.97	3.77	3.77	3.5	3.57	4.27	4	4.07	1.59	4.03	4.2		4.24
乳児保育Ⅰ(A)	23	22	95.65	6	4	5	4.09	4	4.14	3.91	3.73	4.27	4.23	3.9	1.82	4.05	4.09	2.75	4.27
児童文化	9	5	55.56	4	5	5	4.8	5	4.8	4.4	4.4	4.6	4.6	4.4	3.2	4.6	4.8	4	4.8
乳児保育Ⅰ(B)	23	21	91.30	6	5	4	4.14	4.05	4.19	4.05	4.1	4.19	3.95	3.86	1.67	4	3.9	3.67	4.14
情報処理Ⅰ	30	30	100.00	6	5, 1, 4, 5, 7, 8		4.23	3.9	4.1	3.97	3.63	3.57	3.5	2.9	1.21	3.6	4.3	3.22	4.07
英語Ⅰ	30	30	100.00	6	5	8	3.97	3.77	3.77	3.5	3.57	4.27	4	4.07	1.59	4.03	4.2		4.24
乳児保育Ⅰ(A)	23	22	95.65	6	4	5	4.09	4	4.14	3.91	3.73	4.27	4.23	3.9	1.82	4.05	4.09	2.75	4.27
児童文化	9	5	55.56	4	5	5	4.8	5	4.8	4.4	4.4	4.6	4.6	4.4	3.2	4.6	4.8	4	4.8
臨床栄養学概論	34	33	97.06	6	5	4	3.79	3.73	3.73	3.73	3.52	3.73	3.7	3.76	2.39	3.73	3.81	3.71	3.83
乳児保育Ⅰ(B)	23	21	91.30	6	5	4	4.14	4.03	4.19	4.05	4.1	4.19	3.95	3.86	1.67	4	3.9	3.67	4.14
情報処理Ⅰ	30	30	100.00	6	5, 1, 4, 5, 7, 8		4.23	3.9	4.1	3.97	3.63	3.57	3.5	2.9	1.21	3.6	4.3	3.22	4.07
日本国憲法	72	62	86.11	6	5	5	3.55	3.02	3.21	3.15	3.11	3.53	3.11	2.87	1.89	3.15	3.47	3	3.26
日本語基礎	51	49	96.08	6	5	4	3.37	3.22	3.29	3.08	3.16	3.51	3.16	2.98	1.42	3.29	3.29	3.5	3.29
ピアノⅠ(グループ1)	4	4	100.00	6	4	1	4.25	4.5	4.75	4.5	4.25	4.25	4	4	2.5		3.75		4.25
ピアノⅠ(グループ2)	4	2	50.00	6	4, 1, 5		4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	5	4.5	4.5	4	4.5	4.5		4.5
ピアノⅠ(グループ3)	5	5	100.00	6, 2, 5		4	3.8	4											

## 東北文教大学 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教養方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均	板書平均	環境平均	オプション	総合平均
日本語のしくみ	13	13	100.00	1	2, 3	5	4.77	4.54	4.62	4.31	4.33	4.83	4.85	4.69	1.69	4.77	4.62	2.33	4.77
デジタル・アーキスト概論	14	14	100.00	8	4	5	4.00	3.93	4.00	4.00	3.93	4.14	4.07	3.71	2.43	4.14	4.08	4.83	4.31
情報倫理と知的財産(1)	27	25	92.59	6	5	5	4.28	4.08	4.24	4.12	3.96	4.32	4.32	3.80	2.50	4.28	4.36	4.00	4.44
図書館概論	13	12	92.31	8	4	5	4.08	3.83	3.92	3.92	3.58	4.08	3.75	3.42	1.83	3.83	4.00		4.08
英語(1)	6	6	54.55	1, 5	1, 2	3	4.67	4.50	5.00	4.67	4.83	5.00	4.83	4.83	3.00	4.67	4.83	5.00	5.00
文書処理演習(1)	15	15	100.00	1	4	5	4.33	4.20	4.27	4.07	3.73	4.13	4.27	3.87	1.67	4.13	4.20	4.00	4.36
英米文化史	6	4	66.67	1	5	3	4.25	4.50	4.50	4.50	4.25	4.25	4.50	4.50	1.75	4.50	4.50	3.50	5.00
地域と経済	6	6	100.00	5	1	3, 4	4.50	4.17	4.17	4.33	3.83	4.33	4.17	4.17	3.00	4.50	4.50	3.50	4.50
フランス語 I	3	3	100.00	1	2, 5	3, 4	4.33	3.67	3.67	4.00	3.33	4.33	4.33	3.33	2.67	4.33	4.33	3.00	4.33
情報検索(1)	10	10	100.00	1, 2, 5	2, 4	4	3.90	4.00	4.00	3.60	3.60	3.90	3.90	3.30	2.40	3.90	4.00		4.00
日本語のしくみ	9	6	66.67	1	4, 5	5	4.17	4.33	4.17	3.83	3.67	4.67	4.33	4.50	2.67	4.33	4.50		4.33
デジタル・アーキスト概論	8	7	87.50	1	5	8	4.14	4.29	4.29	4.14	4.00	4.43	4.33	3.43	2.14	4.71	4.43	4.00	4.29
情報処理演習Ⅲ(1)	5	5	100.00	1	1, 2, 3, 4, 5	3	3.60	3.40	3.60	3.20	2.80	3.60	3.80	3.60	3.00	3.40	3.60		3.80
英語(2)	9	9	100.00	1	3	3	4.44	4.11	4.33	4.33	4.22	4.44	4.33	4.89	2.78	4.44	4.56		4.67
図書館制度・経営論	9	9	100.00	6	4	5	3.78	3.78	4.00	3.56	3.56	4.22	4.33	4.11	2.44	4.00	4.33	3.00	4.11
英米文化史	3	3	100.00	1	5	1, 2, 8	4.33	4.33	4.33	4.33	4.00	4.67	4.00	4.33	3.00	3.67	4.33	4.33	4.67
地域と経済	10	10	100.00	1	1, 2, 5	4	4.20	4.30	4.30	4.30	4.30	4.40	4.20	4.20	2.40	4.70	3.80	3.00	4.10
フランス語 I	5	5	100.00	1	5	3, 4	4.60	4.00	4.40	4.40	4.20	4.60	4.60	4.80	2.40	4.80	4.80		4.60
保育原理(aef)	52	52	100.00	6	4	5	4.02	3.90	3.92	3.83	3.65	4.54	4.10	4.12	1.69	3.98	4.10		4.33
体育A(cd)	34	30	88.24	6	4	1	4.87	4.70	4.60	4.66	4.33	5.00	4.73	4.77	2.40	4.45	4.70		4.83
体育A(ab)	34	32	94.12	6	4	4	4.69	4.50	4.53	4.28	4.09	4.88	4.28	4.16	2.34	4.22	4.03		4.47
子ども遊び(cef)	51	48	94.12	6	4	4	4.40	4.27	4.27	4.12	3.91	4.44	4.25	4.23	1.73	3.90	4.12		4.40
保育原理(bcd)	50	47	94.00	6	4	4	4.36	4.09	4.15	4.02	3.83	4.51	4.04	4.28	2.26	3.85	4.30	3.50	4.35
体育A(ef)	33	33	100.00	6	4, 5	5	4.64	4.52	4.39	4.24	3.91	4.85	4.42	4.39	1.85	4.27	4.30	5.00	4.62
野外活動/キャンプ概論	15	13	86.67	1	1	5, 7	4.31	3.85	4.00	3.92	3.62	4.15	3.54	4.00	1.00	3.54	4.31		3.92
英語 I	9	9	100.00	1	5	8	4.11	4.44	4.44	4.22	3.89	4.67	4.56	4.44	1.88	4.78	4.50		4.50
国語表現法(acd)	51	47	92.16	6	5	4	4.30	4.32	4.26	4.26	4.21	4.34	4.30	4.20	2.26	4.30	4.26	4.50	4.38
保育課程総論(bef)	44	44	100.00	6	5	4	4.11	4.00	4.00	3.86	3.88	4.00	3.95	4.05	2.82	4.09	4.05	4.10	4.09
保育課程総論(acd)	51	48	94.12	6	5	4	4.42	4.33	4.40	4.35	4.33	4.46	4.33	4.46	2.81	4.40	4.50	4.50	4.53
造形C(ef)	21	19	90.48	1	4	1, 5	4.84	4.89	4.84	4.79	4.79	4.84	4.84	4.84	2.68	4.63	4.74	5.00	4.84
造形C(ab)	32	30	93.75	6	5	4	4.53	4.53	4.40	4.47	4.50	4.63	4.60	4.57	2.77	4.47	4.60	5.00	4.61
子どもの保健Ⅱ(def)	47	40	85.11	6	4, 5	4	3.59	2.98	3.15	3.22	3.05	3.38	2.70	2.90	2.42	2.65	3.30	3.45	3.18
国語表現法(bef)	44	44	100.00	6	5	4	4.18	4.34	4.36	4.23	4.05	4.25	4.14	4.14	2.84	4.20	4.18	4.20	4.41
造形C(cd)	12	10	83.33	1, 4	5	4	4.80	4.80	4.80	4.80	4.70	4.80	4.80	4.80	2.10	4.80	4.80		4.80
生活支援技術Ⅰ(b)	18	17	94.44	6	4	4	4.18	3.76	4.06	3.88	3.82	4.47	4.12	4.24	1.76	4.00	3.94	3.50	4.29
介護過程Ⅰ(ab)	38	37	97.37	6	4	1, 4	3.84	3.70	3.81	3.65	3.65	3.95	3.65	3.76	1.59	3.92	3.92	3.00	3.97
生活支援技術概論(ab)	38	37	97.37	6	4	1, 4	4.00	3.86	3.84	3.76	3.51	4.27	3.97	4.00	1.57	4.03	3.97	5.00	4.11
レクリエーション理論	26	26	100.00	1	4	5	4.31	4.23	4.27	4.19	3.81	4.65	4.42	4.31	1.62	4.08	4.19		4.58
介護総合演習Ⅲ(b)	22	21	95.45	6	5	4	4.33	4.10	4.10	4.10	4.19	4.24	4.19	4.19	2.90	4.24	4.14	4.50	4.33
精神保健	43	41	95.35	6	4	5	3.76	3.44	3.51	3.39	3.34	3.63	3.54	3.15	2.41	3.63	3.59	3.20	3.68
介護総合演習Ⅲ(a)	22	22	100.00	6	5	4	3.95	3.90	3.77	3.67	3.55	4.00	3.86	3.91	2.14	3.86	3.90	3.00	3.80
福祉レクリエーション論	7	7	100.00	4, 5	5	1	4.43	4.57	4.57	4.57	4.43	4.57	4.57	4.57	2.71	4.29	4.29		4.67
日本語総合Ⅰ(2)	3	3	100.00	6	1		5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	4.00	5.00	5.00	5.00	5.00
日本語総合Ⅰ(2)	3	3	100.00	6			5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	4.00	5.00	5.00	5.00	5.00
情報倫理と知的財産(2)	15	14	93.33	6	4	5	4.07	3.93	3.93	3.79	3.57	4.14	4.07	3.43	2.14	4.14	4.07	3.00	4.21
読ませる文学	8	7	87.50	1	5	8	4.14	4.00	4.00	3.71	4.71	4.29	4.14	1.57	1.44	4.29		4.43	
くらしと食	15	15	100.00	1	2	5	4.67	4.60	4.33	4.47	3.87	5.00	4.80	4.87	1.80	4.67	4.93	2.33	5.00
基礎演習ⅠB(1)	22	22	100.00	6	5	2, 5	4.05	4.23	4.09	3.50	3.45	4.18	4.05	3.68	2.27	4.05	4.23	3.68	4.19
基礎演習ⅠB(2)	20	20	100.00	6	1, 5	2, 5, 7	4.20	4.00	4.00	3.70	3.47	4.25	3.95	3.65	2.30	4.15	4.10	3.40	4.40
情報技術の基礎(1)	22	22	100.00	1	2	5	4.32	3.82	4.00	3.91	3.77	4.18	3.95	3.64	2.00	4.05	4.14	3.50	4.14
情報資源組織論	13	13	100.00	8	1, 4	2	4.08	3.46	4.00	3.85	3.46	3.92	3.38	3.46	2.15	3.69	3.92		4.08
地域と民俗文化	5	5	100.00	1	4, 5	2	4.20	4.20	4.40	3.80	3.80	4.60	4.20	4.40	2.80	4.40	4.20	4.00	4.60
情報資源組織演習B	9	9	100.00	6	4, 5	1, 5	3.89	3.67	4.22	4.00	3.89	4.33	4.33	4.11	2.67	4.33	4.22		4.22
読ませる文学	20	20	100.00	1	5	5	3.95	3.85	4.15	4.00	3.65	4.50	4.15	4.25	2.55	4.15	4.45	4.00	4.32
情報処理演習Ⅱ(1)	33	31	93.94	1	5	4	4.23	4.26	4.23	4.19	4.06	4.26	4.32	4.29	3.19	4.13	4.27	4.40	4.50
地域と民俗文化	8	7	87.50	1	3, 4	3	4.29	4.57	4.00	3.86	3.86	4.86	4.57	4.57	2.00	4.57	4.71		4.57
地域と多文化	9	9	100.00	1	5	3	4.22	4.22	4.22	4.11	4.22	4.33	4.44	4.22	3.22	4.44	4.33	5.00	4.62
人間と宇宙	12	12	100.00	1	2	5	4.33	4.00	4.42	4.33	4.33	4.67	4.50	3.92	2.42	4.33	4.42		4.67
基礎演習A(abcdef)	101	96	95.05	6	5	4	3.94	3.91	4.01	3.56	3.59	4.18	3.91	3.45	3.69	4.14	4.07	4.00	4.04
子ども遊び(abd)	50	49	98.00	6	5	4	4.76	4.43	4.61	4.35	4.08	4.57	4.22	4.20	1.86	4.10	4.40		4.53
教育原理(cef)	51	49	96.08	6	4	4, 5	3.86	3.84	3.92	3.78	3.60	3.92	3.84	3.69	1.79	4.00	4.00	4.50	4.08
発達心理学(abd)	50	48	96.00	6	4	5	4.25	4.19	4.21	3.96	3.65	4.08	4.29	3.42	2.00	4.40	4.21	3.50	4.21
現代子ども論(abcdef)	101	96	95.05	6	5	4	3.98	3.88	3.84	3.67	3.55	4.08	3.76	3.46	1.54	3.89	4.16	3.00	4.02
音楽と保育A(ab)	32	30	93.75	6	4	1	4.60	4.57	4.53	4.47	4.43	4.67	4.63	4.67	3.53	4.63	4.63	4.00	4.57
障害児保育Ⅰ(cdf)	50	44	88.00	6	5	4	4.39	4.34	4.34	4.34	4.25	4.30	4.30	4.19	2.57	4.30	4.34	4.27	4.38
障害児保育Ⅰ(abe)	45	43	95.56	6	5	4	4.28	4.28	4.33	4.28	4.12	4.44	4.47	4.28	3.16	4.23	4.26	4.20	4.40
音楽と保育A(cd)	33	29	87.88	6	5	4	4.76	4.76	4.69	4.59	4.52	4.79	4.79	4.52	3.57	4.59	4.72	4.50	4.76
実習内容研究C(abcdef)	95	92	96.84	6	5	4	4.30	4.33	4.34	4.38	4.32	4.39	4.23	4.27	2.84	4.34	4.34	4.18	4.45
実習内容研究B(abcdef)	95	92	96.84	6	5	4	4.34	4.32	4.37	4.34	4.33	4.42	4.38	4.23	2.87	4.32	4.35	4.00	4.42
医療的ケア概論(ab)	38	36	94.74	6	4	1	4.14	3.92	4.00	3.89	3.72	4.33</							

## 東北文教大学 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教養平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均	板書平均	環境平均	オプション	総合平均
情報検索(2)	11	10	90.91	5	5	2	4.40	4.10	4.30	4.10	4.10	4.70	4.60	4.56	2.30	4.60	4.80		4.60
図書館サービス概論	10	10	100.00	6	4, 5	1	3.80	3.70	3.90	3.60	3.90	4.30	4.20	4.00	2.60	4.10	4.20		4.20
教育原理(abd)	50	47	94.00	6	5	4	4.32	3.87	4.23	3.81	3.55	4.04	4.02	3.89	1.76	4.02	4.39		4.26
保育内容総論(cef)	51	48	94.12	6	4, 5	4	4.12	3.96	4.06	3.85	3.83	4.46	4.08	4.08	2.08	3.87	4.15		4.27
子どもと体験(abcdef)	101	96	95.05	6	4	4	4.48	4.27	4.33	4.19	3.90	4.52	4.16	4.17	1.83	4.07	4.22	3.50	4.44
実習基礎論(abcdef)	101	98	97.03	6	4	4	4.11	3.93	3.94	3.78	3.74	4.02	3.63	3.35	1.69	3.72	3.91	5.00	3.94
保育内容総論(abd)	50	49	98.00	6	5	4	4.49	3.98	4.33	4.14	3.94	4.65	4.31	4.49	1.96	3.92	4.47		4.45
発達心理学(cef)	51	48	94.12	6	4	4, 5	4.06	4.00	3.96	3.92	3.58	4.08	4.17	3.42	1.81	4.10	3.98		4.11
スポーツサイエンスA(abc)	51	48	94.12	6	5	4	4.67	4.67	4.60	4.62	4.56	4.71	4.62	4.67	2.27	4.50	4.67	4.33	4.77
教育の方法と技術(def)	45	40	88.89	6	5	4	3.78	3.68	3.70	3.70	3.72	3.88	3.65	2.68	3.65	3.72	3.80		3.65
教育の方法と技術(abc)	50	47	94.00	6	5	4	4.02	3.89	3.89	3.87	3.94	4.02	3.68	3.81	2.34	3.85	4.02	3.67	3.74
子どもの食と栄養I(def)	45	43	95.56	6	5	4	4.19	4.07	4.19	4.09	3.93	4.21	4.09	3.88	3.16	4.21	4.19	3.90	4.26
子どもの食と栄養I(abc)	51	45	88.24	6	5	4	4.56	4.44	4.44	4.55	4.38	4.56	4.44	4.38	2.78	4.36	4.48	4.22	4.55
音楽と保育A(ef)	28	26	92.86	4, 6	5	4	4.23	4.35	4.38	4.44	4.38	4.54	4.38	4.36	3.85	4.31	4.35	5.00	4.62
子どもの保育I(abc)	49	45	91.84	6	4	4	4.16	4.14	4.16	4.11	3.98	4.34	3.95	4.02	2.27	3.98	4.30	4.17	4.26
相談援助(def)	47	37	78.72	6	5	4	4.11	3.92	4.00	3.97	3.89	4.14	3.95	3.92	3.08	4.05	4.14	4.00	4.19
生活支援技術I(a)	21	21	100.00	6	5	4	3.81	3.62	3.76	3.52	3.38	3.85	3.14	3.62	2.05	3.24	3.67	3.00	3.55
介護の基本I(ab)	38	37	97.37	6	4	1, 4	4.11	4.03	4.03	3.95	3.78	4.39	4.30	4.22	1.65	4.14	4.08	3.50	4.19
基礎演習I(ab)	38	37	97.37	6	4	4	3.92	3.97	3.97	3.70	3.68	4.43	4.14	4.00	1.56	4.14	4.00	3.00	4.19
社会福祉実践演習(ab)	43	43	100.00	6	4	5	4.35	4.29	4.21	4.05	3.93	4.12	3.98	4.14	1.79	4.05	4.24	4.00	4.14
介護の基本III(ab)	43	43	100.00	6	4	5	3.84	3.40	3.65	3.49	3.56	3.88	3.30	3.72	2.30	3.77	3.98	3.00	3.77
コミュニケーション技術II(a)	21	19	90.48	6	4	1	4.32	4.26	4.21	4.05	4.00	4.32	4.26	4.32	2.00	4.26	4.26		4.42
医療的ケアB(b)	22	22	100.00	6	4, 5	4, 5	4.64	4.41	4.64	4.64	4.23	4.68	4.55	4.68	2.77	4.59	4.55	4.00	4.64
医療的ケアB(a)	21	21	100.00	6	4, 5	4	4.48	4.33	4.33	4.14	3.95	4.62	4.52	4.43	2.38	4.48	4.43	4.50	4.48
コミュニケーション技術II(b)	22	22	100.00	6	4, 5	4	4.27	3.82	3.86	3.77	3.86	4.05	3.45	3.86	2.73	3.82	4.05		3.91
高齢者学(ab)	43	43	100.00	6	5	4	3.81	3.56	3.55	3.45	3.50	3.81	3.43	3.33	2.05	3.63	3.81	3.50	3.83
日本語総合I(2)	3	3	100.00	6	6	6	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	4.00	5.00	5.00	5.00	5.00
読解I(2)	3	3	100.00	6			5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	3.67	5.00	5.00	5.00	5.00
比較文化	11	11	100.00	1	1	2	3.91	4.00	3.91	3.91	3.45	4.27	3.91	3.64	1.82	4.18	4.18		4.18
ビジネス文書	25	23	92.00	5	4	1	4.30	3.96	4.04	3.83	3.74	4.04	3.74	3.30	2.35	4.39	4.30	4.17	4.17
文書処理演習(2)	21	21	100.00	1	2	1, 5	4.43	4.43	4.52	4.29	3.90	4.14	4.33	3.71	2.19	4.24	4.29	4.33	4.57
企業体験演習I	3	3	100.00	5	1	3, 4, 8	4.33	4.67	4.67	4.33	4.33	4.33	4.67	4.50	3.00	4.67	4.67		5.00
ビジネスコミュニケーション	19	19	100.00	1	5	2, 5	4.42	4.21	4.32	3.95	3.79	4.68	4.58	4.58	1.89	4.21	4.42		4.58
社会を見る眼	6	6	100.00	1	5	1, 2	4.50	4.00	3.67	3.67	3.50	3.83	3.83	3.50	1.50	3.67	3.83		4.00
比較文化	21	20	95.24	5	1, 2	1, 3	3.95	3.85	3.95	3.95	3.80	4.20	4.05	3.85	2.45	4.15	4.10	4.50	4.32
異文化相互理解	10	10	100.00	1	2	1, 4, 8	4.40	4.90	4.60	4.50	4.40	4.90	4.90	4.90	2.30	4.80	4.90	2.33	4.90
基礎演習III C	63	56	88.89	6	5	8	4.04	4.21	4.18	3.95	4.11	4.52	4.04	4.38	4.09	4.21	4.20	3.40	4.20
情報処理演習III(2)	17	17	100.00	1	5	1, 4	4.12	3.53	4.00	3.76	3.88	4.35	4.24	3.94	2.18	3.82	4.18	3.00	4.18
情報サービス論	11	9	81.82	6	1, 4, 5	1, 5	4.11	3.89	4.11	4.00	4.11	4.56	4.56	4.22	2.33	4.22	4.44		4.44
英米文学史	9	9	100.00	1	2	3	4.00	4.00	4.00	3.78	3.56	4.78	4.33	4.44	2.67	4.22	4.67		4.38
ビジネスコミュニケーション	17	17	100.00	1, 5	2	5	3.88	4.47	4.59	4.18	4.00	4.88	4.65	4.59	2.47	4.53	4.65		4.56
社会を見る眼	10	10	100.00	1	2	5	4.20	4.20	4.00	4.00	3.90	4.10	4.30	3.40	1.80	4.10	4.10		4.40
子どもの姿(abcdef)	101	97	96.04	6	4, 5	4	4.33	4.26	4.31	4.22	4.14	4.49	4.26	4.13	1.79	4.00	4.33	5.00	4.44
乳児保育I(abd)	50	49	98.00	6	4	5	4.24	3.73	4.00	3.80	3.45	4.33	3.47	4.12	2.16	3.92	4.24	2.75	4.00
造形A(ef)	33	33	100.00	6	5	4	4.36	4.39	4.18	4.03	3.79	4.45	4.38	4.24	1.24	4.00	4.06		4.36
造形A(ab)	34	33	97.06	6	5	4	4.73	4.45	4.36	4.64	4.09	4.58	4.55	4.30	1.48	4.58	4.70		4.67
音楽A(cd)	34	31	91.18	6	5	4	4.90	4.74	4.68	4.77	4.77	4.81	4.73	4.53	3.68	4.55	4.72	5.00	4.67
情報処理基礎(ef)	33	33	100.00	6	5	4	4.18	4.00	4.18	3.76	3.64	3.97	3.70	3.36	2.06	3.76	3.94	3.00	4.06
倫理学	22	20	90.91	5	4	1	4.35	4.45	4.25	3.95	3.80	4.30	3.95	4.20	1.40	3.90	4.30		4.35
家庭支援論(abc)	49	48	97.96	6	5	4	4.35	4.25	4.35	4.27	4.25	4.33	4.33	4.10	2.56	4.25	4.33	4.00	4.42
社会的養護内容(def)	46	39	84.78	6	5	4	4.10	3.97	4.00	3.97	3.92	4.18	4.03	4.03	2.90	4.26	4.31	4.25	4.18
社会的養護内容(abc)	50	41	82.00	6	5	4	4.15	4.12	4.12	4.07	3.93	4.41	4.20	4.10	2.39	4.15	4.41	4.50	4.29
スポーツサイエンスA(def)	45	45	100.00	6	5	4	4.62	4.60	4.58	4.56	4.43	4.69	4.64	4.62	2.82	4.49	4.48	4.67	4.67
介護総合演習I(ab)	38	37	97.37	6	4	1	4.30	3.92	4.05	4.00	3.76	4.43	4.30	4.28	1.89	4.35	4.35	3.25	4.46
地域活動実践演習(ab)	38	37	97.37	6	4	1	3.97	3.84	3.78	3.69	3.59	3.76	3.70	3.78	1.64	3.78	3.84	3.25	3.81
こことからのしくみI(ab)	38	38	100.00	6	4	4	3.34	2.97	3.11	3.11	2.74	2.71	2.97	3.03	1.61	3.47	3.38	3.60	3.11
社会福祉統計法	22	20	90.91	5	5	4	3.80	3.45	3.70	3.65	3.65	4.00	3.40	3.55	2.70	3.50	3.90		3.84
障がい者介護論(ab)	43	43	100.00	6	4	5	4.37	4.30	4.21	4.12	3.98	4.49	4.51	4.40	2.49	4.56	4.40	3.00	4.50
こことからのしくみIII(ab)	43	43	100.00	6	5	4	4.33	4.40	4.26	4.19	4.21	4.49	4.47	4.37	2.79	4.43	4.44	3.67	4.52
日本語総合I(2)	3	3	100.00	6			5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	4.00	5.00	5.00	5.00	5.00
基礎演習I C	42	41	97.62	6	5	2, 4	4.02	4.05	4.10	3.83	3.90	4.27	4.24	3.76	2.00	4.34	4.26	4.33	4.32
コミュニケーション演習	23	23	100.00	1	2	5	4.39	4.30	4.17	4.13	3.96	4.61	4.43	4.43	2.09	4.43	4.43	5.00	4.52
中国語I	3	1	33.33				3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	5.00	4.00	4.00	2.00	3.00	3.00		4.00
心理学	32	30	93.75	1	5	2, 5	4.03	3.33	3.70	3.63	3.37	4.30	3.50	3.67	2.00	3.47	3.93	3.39	4.03
日本文学史	3	3	100.00	1	5	2, 4, 5	4.00	3.67	4.00	4.00	4.00	4.33	4.33	4.00	1.33	4.00	4.00		4.00
コミュニケーション演習	9	8	88.89	1	1, 3, 5	3	4.62	4.50	4.50	4.38	4.38	5.00	4.88	4.88	2.75	4.75	4.75		4.88
中国語I	9	8	88.89	1, 5	5	8	4.50	4.38	4.75	4.62	4.50	4.88	4.75	4.62	3.00	4.62	4.62	4.00	4.75
心理学	17	17	100.00	1	1, 5	7	3.94	3.53	3.53	3.71	3.71	4.06	3.62	3.59	2.82	3.71	3.88	3.46	3.88
ネットワーク応用演習II	13	11	84.62	1	5	4	4.64	4.55	4.55	4.36	4.45	4.64	4.73	4.73	3.45	4.36	4.45	4.00	4.64
韓国語I	14	14	100.00	1	5	3	4.79	4.57	4.71	4.86	4.71	5.00	5.00	5.00	3.14	4.79	4.86		

## 東北文教大学 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発平均	探求平均	熱意平均	教養平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均	板書平均	環境平均	オプション	総合平均
表記 I (2)	3	3	100.00	6			5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	3.67	5.00	5.00	5.00	5.00
人間関係論	23	22	95.65	1	5	1, 4	4.23	4.27	4.18	4.09	4.00	4.36	4.41	3.62	1.64	4.23	4.36	5.00	4.55
人間関係論	5	5	100.00	1	5	1	4.20	4.80	4.60	4.20	4.40	4.60	4.60	3.80	2.60	4.60	4.60	5.00	4.40
教職概論	87	80	91.95	6	4	4	3.78	3.34	3.65	3.56	3.46	3.60	3.00	3.08	1.52	3.25	3.68	4.00	3.49
発達心理学(後半)	44	41	93.18	6	4	1	3.73	3.56	3.73	3.61	3.24	3.98	3.49	3.12	1.56	3.63	4.10		3.72
保育内容研究 I (前半)	33	31	93.94	6	4	1, 5	4.55	4.58	4.55	4.39	4.06	4.68	4.52	4.58	1.65	4.27	4.23		4.50
発達心理学(前半)	43	42	97.67	6	4, 8	8	3.79	3.21	3.29	3.24	2.90	3.67	2.98	2.67	1.62	3.33	4.00	2.50	3.22
保育内容研究 I (後半)	35	34	97.14	6	4	4	4.68	4.62	4.62	4.47	4.32	4.74	4.71	4.59	1.65	4.26	4.21		4.76
フランス語 I	3	3	100.00	1	1, 3, 5	5	4.67	4.00	5.00	4.67	4.67	5.00	4.67	5.00	3.00	5.00	5.00		5.00
心理学 A	74	69	93.24	1	5	4	4.59	4.52	4.55	4.54	4.51	4.61	4.68	4.52	2.29	4.39	4.58	4.00	4.73
社会的養護内容 I	52	51	98.08	6	5	4	4.31	4.41	4.47	4.31	4.18	4.67	4.49	4.27	2.00	4.33	4.47	3.00	4.63
保育内容研究(環境 II)(abc)	33	31	93.94	6	1	5	4.58	4.52	4.42	4.39	4.23	4.68	4.74	4.61	1.97	4.52	4.48		4.63
保育内容研究(環境 II)(def)	40	40	100.00	6	4	5	4.50	4.47	4.58	4.50	4.35	4.65	4.65	4.65	2.08	4.42	4.55	4.67	4.71
キャンパス概論/野外活動	8	8	100.00	1	5	8	4.62	4.50	4.88	4.62	4.62	4.62	4.38	4.50	2.00	4.62	4.75		4.62
教育の方法と技術	63	61	96.83	6	5	4	4.03	3.95	4.13	3.89	3.98	4.46	3.90	3.89	2.36	4.23	4.25	4.00	4.17
地域社会論	26	21	80.77	5	1, 5	1, 3	3.95	3.86	4.10	3.86	3.86	4.52	3.81	4.05	2.43	3.60	4.00		4.25
家族心理学	17	17	100.00	5	1	1, 3	4.24	4.12	4.47	4.12	3.88	4.59	4.53	4.18	1.94	4.29	4.29		4.41
児童文化論	9	8	88.89	1	4, 5	5	4.50	4.50	4.38	4.50	4.25	4.88	4.88	4.75	1.50	4.50	4.75		4.88
青少年問題と社会教育	7	7	100.00	1	4	5	4.71	4.71	4.57	4.71	4.29	5.00	4.57	3.71	1.43	4.00	4.57		4.86
子どもの英語	21	20	95.24	1	5	3	4.35	4.35	4.20	4.10	4.10	4.35	4.35	4.55	2.05	4.20	4.40		4.37
地域社会論	3	3	100.00	5	1, 4, 8	1, 4, 5	3.67	3.33	3.67	3.33	3.33	3.33	3.00	3.33	1.67	3.00	3.33		3.33
家族心理学	9	8	88.89	1	1	4	4.50	4.25	4.50	4.38	4.38	4.62	4.12	4.12	2.75	4.50	4.50		4.38
乳幼児心理学	19	18	94.74	6	4	1, 3, 5	4.22	4.11	4.28	4.17	4.17	4.17	4.17	4.22	4.06	1.83	4.17	4.22	4.17
青少年問題と社会教育	5	5	100.00	5, 7	1	4, 8	4.40	4.60	4.60	4.40	4.40	4.40	4.40	4.20	3.80	2.20	4.60	4.60	4.60
スポーツサイエンス I (前半)	43	39	90.70	6	1	5	4.49	4.49	4.23	4.36	4.10	4.62	4.36	4.49	1.54	4.08	4.31	3.67	4.57
図画工作 I (後半)	44	44	100.00	6	1, 4, 5	4	4.48	4.34	4.36	4.25	3.95	4.52	4.45	4.45	1.35	4.11	4.30	4.00	4.52
スポーツサイエンス I (後半)	44	40	90.91	6	1	1	4.72	4.60	4.47	4.47	4.30	4.47	4.32	4.30	1.81	4.13	4.23	4.67	4.63
図画工作 I (前半)	43	42	97.67	6	5	8	4.45	4.38	4.19	4.33	4.12	4.42	4.29	4.38	1.55	3.98	4.10		4.46
くらしと憲法	87	86	98.85	6	5	5, 8	3.74	3.47	3.65	3.41	3.36	3.87	3.39	3.14	1.73	3.50	3.88	3.71	3.73
保育内容研究(言葉 I)(前半)	39	39	100.00	6	5	4	4.23	4.36	4.31	4.11	4.03	4.23	4.36	4.00	1.87	4.37	4.18	3.00	4.41
算数科教育法 A	42	42	100.00	6	4	5	4.48	4.45	4.40	4.40	4.29	4.60	4.40	4.26	2.55	4.26	4.34	4.00	4.56
社会 I	44	42	95.45	6	4	5	4.52	4.43	4.38	4.33	4.29	4.67	4.33	4.38	1.93	4.24	4.33	5.00	4.28
障害児保育 II	55	55	100.00	6	5	4	4.49	4.51	4.62	4.51	4.35	4.55	4.56	4.22	1.85	4.38	4.44	4.50	4.67
理科 I	43	43	100.00	6	5	5	4.42	4.30	4.35	4.23	4.19	4.74	4.42	4.35	2.21	4.09	4.42	4.00	4.43
社会科教育法	45	41	91.11	6	4	5	3.71	3.95	4.05	3.63	3.68	3.88	3.68	3.24	2.54	3.73	3.68	4.00	3.61
理科教育法 B	40	38	95.00	6	5	4	4.21	3.82	4.03	3.97	3.87	4.41	3.66	3.66	2.68	3.61	4.03		4.00
家庭科教育法	40	36	90.00	6	4	5	4.28	4.22	4.36	4.28	4.17	4.56	4.25	4.22	2.56	4.31	4.36	5.00	4.37
小学校教育実習事前事後指導	39	38	97.44	6	4	4	4.42	4.45	4.58	4.43	4.39	4.76	4.53	4.24	2.49	4.39	4.47		4.67
心理学実験 A	8	6	75.00	6	1, 3, 4, 5, 6, 8	4, 5	4.67	3.83	4.50	4.50	4.17	4.67	4.83	4.83	3.67	4.83	4.83	4.83	4.67
英語コミュニケーション I (後半)	44	40	90.91	6	5	5, 8	4.40	4.30	4.22	4.22	4.00	4.65	4.50	4.53	1.43	4.18	4.38	5.00	4.60
音楽 I (前半)	43	43	100.00	6	4	8	4.30	4.35	4.42	4.26	4.19	4.63	4.37	4.47	3.09	4.33	4.44	4.00	4.56
英語コミュニケーション I (前半)	43	42	97.67	6	5	5, 8	4.57	4.50	4.36	4.40	4.33	4.67	4.62	4.55	2.02	4.43	4.52		4.66
音楽 I (後半)	44	44	100.00	6	4	1	4.48	4.41	4.52	4.35	4.27	4.66	4.50	4.55	3.20	4.27	4.36	5.00	4.50
保育内容研究(言葉 I)(後半)	36	34	94.44	6	5	4	4.44	4.44	4.44	4.12	4.06	4.35	4.41	4.18	1.56	4.03	4.12		4.44
言語表現の基礎	27	27	100.00	5	8	4	4.22	4.19	4.11	4.04	3.93	4.44	4.19	4.26	1.96	4.37	4.26	4.15	4.26
韓国語 I	21	21	100.00	1	5	3	4.71	4.38	4.57	4.52	4.10	4.90	4.71	4.48	2.29	4.52	4.71		4.75
国語基礎	16	13	81.25	8	5	2, 5, 8	3.54	3.31	3.54	3.08	3.23	3.85	3.92	3.75	1.54	3.69	3.77	3.46	3.67
国語科教育法 A	43	39	90.70	6	5	5	4.36	4.28	4.41	4.44	4.21	4.46	4.36	4.44	2.10	4.50	4.44	5.00	4.44
保育実習指導 I A	42	38	90.48	6	4	1	4.45	4.24	4.37	4.16	3.95	4.55	4.08	4.11	2.61	4.03	4.32	5.00	4.29
保育内容研究(表現 I)(def)	37	37	100.00	6	5	4	4.57	4.51	4.65	4.30	4.27	4.78	4.27	4.35	2.51	4.32	4.49		4.41
子どもの保健 II (abc)	23	22	95.65	6	4	1, 4	4.27	4.18	4.23	4.23	4.05	4.27	3.82	4.00	2.27	4.00	4.36	2.00	4.18
保育内容研究(表現 I)(abc)	32	31	96.88	6	5	5	3.97	4.10	4.39	4.00	3.87	4.81	4.03	4.29	2.26	4.10	4.48		4.19
子どもの保健 II (def)	20	20	100.00	6	5	4	4.25	4.45	4.40	4.05	4.20	4.55	4.00	4.25	2.10	4.11	4.45	5.00	4.40
教育心理学(小学校系)	41	29	70.73	6	5	5	3.86	3.76	3.83	3.72	3.66	4.52	3.79	3.72	2.17	3.72	4.24	3.89	4.00
臨床心理学	10	6	60.00	1, 8	5	4, 8	3.83	3.50	4.00	4.00	3.50	4.50	4.17	3.33	1.33	3.83	4.50	3.00	4.00
教育心理学(保育系)	30	28	93.33	6	5	4	3.82	3.46	3.68	3.54	3.39	4.07	3.43	3.52	1.68	3.46	3.79	3.50	3.75
家庭支援論	41	38	92.68	6	4	5	4.11	4.21	4.16	4.03	3.97	4.37	4.21	4.32	1.37	4.11	4.32	4.00	4.29
社会的養護 I	67	66	98.51	6	4	4	4.36	4.24	4.24	4.15	3.88	4.48	4.35	4.18	1.68	4.33	4.42	5.00	4.45
コンピュータ基礎演習(前半)	47	45	95.74	6	5	4	4.11	4.16	4.22	3.78	3.91	3.98	3.71	3.62	1.84	3.88	4.11	3.68	4.07
教育原理(後半)	45	45	100.00	6	4	5	4.24	4.18	4.16	3.93	3.82	4.27	4.20	4.02	1.73	3.98	4.16	4.00	4.31
教育原理	46	46	100.00	6	4	1	4.22	3.83	3.87	3.80	3.39	4.61	3.98	4.28	1.78	4.09	4.35	3.75	4.36
理科基礎	13	12	92.31	8	5	2, 5	3.42	3.50	3.58	3.42	3.42	4.58	4.08	4.42	1.50	4.42	4.50		4.25
音楽 III	46	42	91.30	1	4	5	4.52	4.57	4.57	4.48	4.40	4.71	4.48	4.69	3.14	4.45	4.50	5.00	4.69
心理学研究法	13	13	100.00	1, 6	5	1	4.15	4.08	4.31	4.08	3.92	4.46	4.38	4.46	1.92	4.41	4.38	4.00	4.38
保育実習指導 I B	44	42	95.45	6	4	5	4.52	4.40	4.43	4.26	4.10	4.57	4.26	4.40	2.62	4.36	4.52		4.64
心理統計学	13	10	76.92	6	5, 7	4	2.80	2.60	2.80	2.40	2.60	3.20	2.50	2.60	2.20	2.90	3.20		2.70
保育内容研究(人間関係 II)(def)	24	23	95.83	6	4	5	4.39	4.26	4.30	4.17	4.13	4.39	4.52	4.35	1.74	4.35	4.35	4.00	4.57
体育 II (abc)	35	32	91.43	6	4, 5	4	4.59	4.44	4.38	4.47	4.31	4.66	4.53	4.59	2.10	4.42	4.47	4.50	4.65
保育内容研究(人間関係 II)(abc)	33	31	93.94	6	5	4	4.61	4.61	4.48	4.52	4.52	4.84	4.74	4.71	2.16	4.66	4.68		4.84
体育 II (def)	34	31	91.18	6	5	4, 5	4.29	4.19	4.19	4.06	3.97	4.42	4.23	4.28	1.52				

### 東北文教大学 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均	板書平均	環境平均	オプション	総合平均
生徒指導論	39	37	94.87	6	5	4	4.41	4.46	4.54	4.32	4.22	4.65	4.54	4.24	2.16	4.14	4.41		4.46
野外レクリエーション	17	17	100.00	1	5	5	4.71	4.65	4.65	4.82	4.76	4.94	4.71	4.76	2.06	4.65	4.76		4.88

## 東日本国際大学(経済情報学部) 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教養平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均	板書平均	環境平均	オプション	総合平均
英語 I A	22	25	113.64	6	5	5	4.17	3.96	3.83	3.71	3.62	3.79	3.75	3.92	2.42	3.62	3.96	3.71	3.87
留学生のための英語A	24	22	91.67	1	3	7	4.32	4.24	4.25	4.15	4.1	3.82	4.1	4	4.23	4.09	4.19	3.65	3.67
教育心理学	13	9	69.23	1	3, 4	4, 5, 8	4.44	4.33	4.33	4.33	4.22	4.56	4.33	4.44	2.44	4.11	4.33	4	4.56
心理学	78	46	58.97	1	5	5	4.24	4.11	3.96	3.91	3.76	4.13	4.04	3.89	2.65	3.91	4.02	3.5	4.13
経済入門	105	124	118.10	6	4	5	4.19	3.73	3.76	3.62	3.57	3.92	3.87	3.49	2.6	3.99	3.84	3.89	3.93
交通経済	109	69	63.30	1	5, 8	4	4.13	3.83	3.91	3.88	3.78	3.84	3.88	3.76	2.88	3.78	3.91	3.77	3.96
会計	80	49	61.25	1	4, 3, 5	4, 3, 8	4.38	4.21	4.21	4.04	4	4.19	4.17	3.92	3.77	4.21	4.19	4.38	4.24
公務員試験対策講座 I A	28	22	78.57	1	4	5	4.64	3.95	4.09	4.36	3.95	4.27	4	3.59	3.23	4	4.59	3.67	4.38
平和経済A	70	62	88.57	6, 2, 5	3	3	4.12	3.9	3.9	3.92	3.82	4.1	3.72	3.73	2.98	3.64	3.88	3.93	4.02
文章理解 I	5	25	500.00	1	4, 1, 3	4, 6, 4	4.52	4.6	4.32	4.48	4.54	4.48	4.36	4.08	4.24	4.52	4.26	4.52	4.52
日本経済	89	61	68.54	1	2, 3, 5, 8	4, 2, 8	3.92	4.03	3.93	3.85	4.36	4.1	4.08	2.95	4.03	4.14	4.04	4.05	4.05
経済原論A	13	12	92.31	1	2	3	4.42	4.42	4.33	4.5	4.42	4.67	4.33	4.33	3.58	4.58	4.5	4.62	4.58
地域スポーツクラブマネジメント	40	31	77.50	1	4	2	3.87	3.52	3.68	3.45	3.48	3.9	3.61	3.37	2.29	3.58	3.74	3.64	3.77
スポーツビジネス産業論	66	52	78.79	1, 4, 5	3	3	4.13	3.77	3.85	3.85	3.6	4.06	3.9	3.6	2.69	3.63	3.88	3.64	3.92
スポーツ経営学	31	40	129.03	1	4	8	3.95	3.72	3.8	3.68	3.58	3.9	3.78	3.42	2.6	3.85	3.9	3.88	3.8
エジプト文明論	10	1	10.00	1	7	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
日本語 I A(月・火2)	44	32	72.73	1	4	6	4.31	4.1	4.23	3.61	3.84	3.94	3.97	3.88	3.39	3.91	4.06	3.78	3.84
日本語 I A(月2・火1)	27	15	55.56	1	2	3	4.73	4.33	4.2	4.27	4.67	4.4	4.5	4.27	4.33	4.4	4.43	4.67	4.57
中国語 I A	10	9	90.00	1, 6	6	5	3.67	3.78	4	3.89	3.67	4.22	3.56	4.22	2.88	4	4.22	4	3.78
スポーツコーチング I	52	29	55.77	1	3, 1, 5	4, 4, 1	4.17	4.25	3.97	3.97	4.21	4.31	4.38	3.55	4.1	4.17	4.44	4.21	4.21
社会と人間	52	44	84.62	1	5	3	4.36	4.12	4.27	4.09	4.07	4.36	4.42	4.16	2.64	4.05	4.39	4.2	4.4
文章理解 I	22	16	72.73	1	4	6	4.94	4.44	4.44	4.25	4.69	4.81	4.75	4.25	4.19	4.44	4.69	4.57	4.69
文章理解 I	3	3	100.00	1	3	6	5	4.33	4.67	4	3.67	4.67	5	4	2.67	4	4.67	4	5
観光学入門	55	39	70.91	1	5	3	4.51	4.38	4.28	4.1	4.15	4.44	4.41	4.58	3.18	4.31	4.26	4.25	4.32
簿記 I (再履)	27	16	59.26	6, 1, 3	8	8	4.25	4	4.25	4.38	4.12	4.5	4.38	4.19	3.75	4.31	4.25	4.5	4.25
簿記 I (木3)	55	57	103.64	6	4, 1, 5	5	4.18	3.82	3.74	3.84	3.7	4	3.96	3.95	2.68	3.93	4.02	3.83	4.02
簿記 I (木4)	50	51	102.00	6, 1, 5	5	5	4.31	4.12	4.16	3.96	4.08	4.2	4.2	4.1	2.74	4.06	4.1	3.76	4.26
経営戦略	63	53	84.13	1	2	3	4.09	3.83	3.81	3.73	3.6	3.96	3.77	3.7	3.15	3.98	4.09	4.17	4.11
ビジネスマネジメント	50	34	68.00	1	2	3	4.71	4.52	4.62	4.58	4.47	4.55	4.52	4.41	4.16	4.55	4.53	4.25	4.48
指導要領演習A	10	8	80.00	1, 3, 6	4	5	4.25	4.25	4.12	4	4.25	4.25	4.25	4.38	3	4.29	4.38	4	4.38
教育原理	12	12	100.00	6	4	5	4.42	4.17	3.83	3.92	4	4.17	3.92	4	2.42	4	4.33	4	4
特別活動研究	12	11	91.67	4, 6	4	1	4.55	4.64	4.64	4.73	4.55	4.91	4.82	4.27	2.55	4.09	4.73	5	4.82
教科教育研究 I (公民)	6	6	100.00	1, 4	3	5	4.67	4.17	4.67	4.5	4.5	4.83	4.17	4.5	2.5	3.83	4.33		4.5
教育の相談と指導 I (生徒指導論)	12	11	91.67	1	4, 1, 3, 5	4, 6, 4	4.55	4.55	4.55	4.27	4.27	4.91	4.45	4	2	4.4	4.45	5	4.64
データベース	123	59	47.97	1	5	3	4.47	4.48	4.39	4.4	4.38	4.48	4.47	4.42	3.96	4.45	4.5	4.53	4.45
コンピュータネットワーク	91	49	53.85	1	3	3	4.24	4.08	4.12	4.18	4.02	4.23	4.12	3.96	3.31	4.12	4.23	4.19	4.24
教育課程論	16	15	93.75	1, 6	4, 5, 8	4	4.73	4.53	4.67	4.6	4.6	4.73	4.67	4.87	2.47	4.67	4.6	4.5	4.8
教科教育研究 I (商業)	4	4	100.00	1, 3, 4, 5, 6	3	5	5	5	5	5	5	4.75	5	5	4.75	2	4.75	4.75	5
現代教職論	5	4	80.00	3	1	4	4.75	4.5	4.75	4	4	5	4.75	4.5	2.75	4.75	5	5	5
論語素読A	10	7	70.00	1, 4, 5	1, 3, 4, 5, 7, 8	4, 2, 9	4.29	4.29	4.29	4	3.86	4.29	4.43	4.29	2.29	4.43	4.43		4.57
論語を学ぶ I (木3)	12	17	141.67	1, 3, 5	2	4, 2, 4	3.65	3.71	3.47	3.47	4.35	4	3.82	2.65	4	4.06	4	4.06	4.06
論語を学ぶ I (木4)	14	29	207.14	1	1, 3, 8	4, 4, 1	4.03	4.1	4.18	4.07	4.39	4.14	4.21	3.43	4.1	4.19	4.08	4.46	4.46
文章理解 I	29	27	93.10	6	5	2	3.74	3.7	3.81	3.31	3.22	3.85	3.63	3.73	2.3	3.73	3.59	3.17	3.89
地域経済	68	72	105.88	1, 2, 5	3	3	3.89	3.31	3.46	3.45	3.35	3.87	3.5	3.23	2.77	3.5	3.7	3.54	3.77
財政	116	57	49.14	1	4	3	3.93	3.65	3.6	3.72	3.7	3.63	3.44	3.27	2.89	3.5	3.64	3.84	3.6
障害者スポーツ論A	60	47	78.33	1	2	3	4.4	4.45	4.4	4.32	4.35	4.45	4.45	4.23	3.57	4.39	4.41	4.32	4.52
スポーツ科学演習A	49	69	140.82	1	4	5	4.39	4.3	4.14	4.12	4	4.26	4.14	4.09	2.49	4.09	4.17	3.61	4.28
宇宙と先端技術	53	28	52.83	1, 2, 3, 5	3	4, 4, 1	3.89	4.11	4	4	4.07	4.46	4.41	4.39	3.04	4.39	4.36	4.4	4.36
情報処理入門	105	113	107.62	6	5	5	4.21	3.86	3.85	3.8	3.58	4.11	3.93	3.94	2.77	3.94	3.99	3.91	4.06
英語 I A	24	27	112.50	6	5	2	3.85	3.59	3.44	3.11	3.26	3.93	3.37	3.07	1.85	3.37	3.44		3.33
哲学概論	20	9	45.00	1	5, 8	3	3.67	3.33	4.22	4	3.89	4.22	3.78	3.78	2.22	4	4.25		4.11
文章理解 I	30	14	46.67	6	5	8	3.57	3.57	3.64	3.29	2.64	3.07	3	2.36	1.43	3.43	2.79		2.79
スポーツマッサージ	50	60	120.00	1	5	7	4.42	4.15	4.14	3.93	3.66	4.24	4.1	4.02	2.68	3.9	3.95	3.77	4.07
スポーツ I A	33	30	90.91	1	3	7	4.45	4.5	4.43	4.41	4.28	4.31	4.31	4.17	2.75	4.14	4.17	4.3	4.31
スポーツ I A	37	27	72.97	1	2	7	4.3	4.41	4.11	4.15	4.15	4.26	4.15	3.96	2.48	3.89	4.07	4	4.26
経済情報	95	53	55.79	1	4	5	4.15	3.83	4.09	3.92	3.92	4.25	3.92	4.17	2.81	3.96	4.19	4	4.08
金融	102	67	65.69	1	2	3	4.19	3.91	4.02	3.93	4.02	4.13	3.82	3.97	3.45	3.84	4.06	4.32	3.97
コンピュータ演習 II B (再履)	80	40	50.00	6	5	3	4.4	3.92	4.03	3.88	3.82	3.97	3.63	3.77	3.49	3.81	3.97	3.88	3.76
コンピュータ演習 II B	39	28	71.79	6	5	8	4.21	3.5	3.89	3.89	3.81	4.14	3.79	3.93	3.07	3.93	3.96	2	3.93
コンピュータ演習 II B	42	33	78.57	6	5	3	3.94	3.39	3.91	3.64	3.67	3.88	3.45	3.36	2.73	3.52	3.88	3.86	3.72
日本事情	56	64	114.29	1	5	3	4.05	3.78	3.61	3.67	3.63	3.92	3.71	3.59	2.75	3.57	3.83	3.81	3.79
アジア事情(中国・韓国)	61	51	83.61	1	2	3	4.16	3.98	3.94	3.94	3.94	4.06	4.04	3.8	3.18	4.08	4.04	3.94	4
教科教育研究 I (情報)	3	3	100.00	1, 4, 6	2	1, 3, 5	4.67	4.33	4.33	4.33	4.33	4.33	4.67	4.33	3.33	4.33	4.33		4.33
コンピュータ演習 I A (再履)	34	27	79.41	2	3	1	4.41	4.33	4.08	4.11	4.3	4.26	4.19	3.89	3.85	4	4.22	4.13	4.15
コンピュータ演習 I A	55	53	96.36	6	4	5	4.17	4.21	4.04	3.53	3.65	3.42	3.37	3.06	2.35	3.72	3.79	3.55	3.75
コンピュータ演習 I A	50	51	102.00	6	4	8	4.08	4	3.94	3.53	3.28	3.47	3.5	3	2.29	3.62	3.76	3.16	3.98
コンピュータ演習 II A	1	1	100.00	1	3	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
ビジネスガイダンス	9	8	88.89	1	5, 4, 7, 8	4, 3, 8	4.38	4.38	4.25	4.25	4	4.75	4.62	4.38	2.25	4	3.88	3.67	4.14
コミュニケーション	87	67	77.01	1, 2, 5	3	4	4.28	4.15	4.16	4.06	4.09	4.34	4.34	3.91	3	3.9	4.2	4.24	4.27
情報社会と倫理	72	53	73.61	1	2	3	4.26	4.08	4.25	4.06	3.98	4.23	4.13	3.85	3	4	4.08	3.85	4.12
キャリアデザイン	113	94	83.19	6	2	5	4.13	4.14	4.16	4.09	4.11	4.16							

東日本国際大学(福祉環境学部) 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均	板書平均	環境平均	オプション	総合平均
相談援助の理論と方法 I A	42	31	73.81	6	4	5	3.87	3.81	3.84	3.84	3.74	4.03	3.74	3.73	2.97	3.65	3.97	4.06	3.87
高齢者に対する支援と介護保険制度 II A	49	43	87.76	1	5	5	4.23	4.14	4.05	3.98	3.93	4.23	4.23	3.95	2.86	4.29	4.26	4.28	4.26
地域福祉の理論と方法 I	61	52	85.25	6	5	4, 5	4.25	4.1	4.04	4.1	4.02	4.25	4.21	4.19	3.19	4.27	4.21	4.27	4.3
低所得者に対する支援と生活保護制度	60	48	80.00	1	4	3	3.92	3.88	3.85	3.77	3.81	4	3.79	3.83	3.06	3.83	3.98	4.04	3.91
相談援助の理論と方法 II A	44	37	84.09	6	4	1	3.81	3.65	3.65	3.49	3.47	3.92	3.51	3.38	2.89	3.58	3.97	4	3.97
家族関係論 I	14	8	57.14	1	5	3, 5, 8	4.62	4.25	4.12	4.25	4.25	4.62	4.62	4.62	2.29	4.5	4.62	4.67	4.62
リハビリテーション論	19	17	89.47	1	3, 7	4	4.18	4.12	4.29	4.24	4	4.24	4.24	4.35	3.75	4.18	4.41	4.31	4.29
福祉まちづくり論	58	48	82.76	6	5	5	4	3.92	3.98	3.85	3.83	3.92	4	3.94	2.75	4.1	4.06	3.82	4.02
精神保健福祉援助技術総論 I	9	9	100.00	2, 6	4	5	4.11	4.11	4.22	3.89	3.89	4.22	4.33	4.67	2.89	4.11	4.33	4	4.25
情報処理演習 II A	62	47	75.81	6	5	5	4.04	4	4.04	3.94	3.91	3.96	3.85	3.89	3.13	3.96	4.06	4.35	4.02
障害者スポーツ論A	25	21	84.00	1	3	3	4.43	4.48	4.52	4.43	4.43	4.24	4.19	4.38	3.95	4.43	4.43	4.42	4.48
障害者に対する支援と障害者自立支援制度 I	44	36	81.82	1	3	4	4.33	4.25	4.31	4.22	4.06	4.64	4.36	4.5	3.03	4.42	4.56	4.38	4.58
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度 I	31	23	74.19	6	4	5	3.87	3.57	3.74	3.48	3.52	3.96	3.3	3.27	2.26	3.41	3.67	4.25	3.81
精神保健福祉論 I	18	17	94.44	1	2, 5	1	4	3.94	4.24	4	3.94	4.06	4.12	4.18	3.06	4.12	4.18	4.4	4
公務員試験対策演習 II	1	1	100.00	4	5	3	5	5	5	5	5	5	5	5	3	5	5	5	5
小児心理アセスメント	29	24	82.76	1	2, 3, 5	5	3.96	3.92	3.88	3.79	3.75	4.12	4.12	4.17	2.75	4.04	4.12	4	4.17
福祉レクリエーション	34	28	82.35	1	2, 5	3, 4	4.36	4.39	4.25	4.21	4.18	4.43	4.43	4.39	3.52	4.32	4.32	4.29	4.31
発達障害児療育論	18	14	77.78	1	4, 5	5	4.29	4.21	4.36	4.07	3.93	4.36	4.36	4.14	3	4.29	4.5	4	4.43
権利擁護と成年後見制度	18	13	72.22	6, 4, 5	1	4	4.54	4.23	4.38	4.54	4.54	4.46	4.46	4.31	2.92	4.46	4.46	4	4.46
福祉サービスの組織と経営	22	17	77.27	6	1	5	4.06	3.82	3.94	3.88	3.88	4.24	3.76	4.06	3.27	3.71	3.88	3.5	3.81
就労支援サービス	19	13	68.42	6	1, 4, 5	1, 3	4.15	4.15	4	4	4.08	4.08	4.08	4.08	3.15	4.15	4.08	4	4.17
国家試験対策講義 I	19	9	47.37	4	5	1, 4, 5, 8	3.78	3.67	3.44	3.44	3.33	3.44	3.44	3.33	2.89	3.44	3.33	3.67	3.5
福祉行政と福祉計画 I	22	13	59.09	1, 6	4	1	4	4.15	4.23	4.08	4.23	4.23	4	4.03	3.46	3.92	4.23	4	4.33
更生保護制度	14	10	71.43	6	4	1	2.8	2.6	2.8	2.6	2.7	3.1	2.4	2.7	1.9	2.6	3.1	1	2.89
精神科リハビリテーション学 I	3	2	66.67	1, 6	4	1, 5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
保健医療サービス	20	14	70.00	6	1, 4, 5	5	4	4.07	3.93	3.86	3.79	4	4	4.07	3.14	4.21	4.14	4	4.07
スポーツコーチング I	60	14	23.33	1	1, 3, 5	4	3.79	3.86	3.64	3.77	3.79	3.79	3.79	3.79	3.64	3.67	3.71	3.25	3.77
医療ソーシャルワーク論	13	11	84.62	1	4	5	4.4	4.09	4.4	4.3	4	4.2	4	4.18	3.2	4.22	4.3	3.5	4.5
指導のための理論と実際	7	5	71.43	1	1, 4	1, 3	4.8	4.8	4.8	4.25	4.6	4.6	4.4	4.4	4.4	4.4	4.6	5	4.6
国家試験対策講義 III	14	12	85.71	4	4	1	3.75	3.75	3.67	3.42	3.42	3.92	3.5	3.5	2.75	3.58	3.67	3.33	3.9
心理療法 I	10	9	90.00	5	1, 5	1	4.11	3.78	3.78	3.44	3.44	4.67	3.89	4.33	2.33	3.89	4.33		4.22
健康スポーツ論	71	60	84.51	6	5	5	4.13	4.12	3.86	3.72	3.5	3.93	3.87	3.38	2.1	3.87	4.03	3.76	4.05
論語を学ぶ I	22	15	68.18	1	2, 5	1, 3, 7, 8	4.47	4	3.93	3.8	3.67	4.27	4	3.8	2.6	3.73	4.27	4	4.4
生命倫理学 I	78	70	89.74	6	5	4	4.24	4.07	4.21	3.93	3.86	4.27	4.14	3.93	2.09	4.01	4.33	4.22	4.36
心理学理論と心理的支援	56	41	73.21	6	4	2	3.73	3.17	3.39	3.07	2.78	4.15	3.54	3.51	1.7	3.3	3.95	3.82	3.92
情報処理演習 I A	69	53	76.81	6	5	5	4.11	4.09	4.19	3.83	3.75	4.11	4.15	3.96	2.1	4.06	4.23	4.25	4.38
英語 I A	9	5	55.56	6	5	4	4.4	4	4.2	4	4	4.6	4.2	4.2	2.8	4.2	4.75		4.2
英語 I A	49	11	22.45	1	1	3	4.36	4.36	4.36	4	4.1	4.2	4.18	4.27	2.82	4.09	4.36	4.33	4.5
中国語 I A	12	11	91.67	6	5	8	3.55	3	3.45	3.36	3.36	3.91	3.27	3.55	2.18	3	3.45	2.75	4.09
韓国語 I A	23	25	108.70	6	1	5	4.04	3.68	3.48	3.52	3.4	4.32	3.83	4.04	2.08	3.72	4.12	4.5	4.12
日本語 I A	2	2	100.00	1, 6	6, 4, 6	2, 5	3	3.5	3	2.5	3.5	4	4	1.5	3.5	3.5	3	4	4
スポーツ I A	20	15	75.00	1	2, 4, 5	3	4.73	4.73	4.47	4.67	4.33	4.53	4.6	4.53	3.73	4.47	4.5	4.43	4.67
スポーツマッサージ	22	11	50.00	1	4	7	4.36	4.09	4.09	4.09	3.36	4.09	4.09	4.45	1.82	3.4	3.64	3.25	4.27
コミュニケーション I	35	26	74.29	6	7	8	3.77	4	3.65	3.38	3.32	3.96	3.69	3.92	1.88	3.73	3.96	3.86	4.12
コミュニケーション I	33	26	78.79	6	5	4	4.04	3.85	4	3.85	3.85	3.96	4.08	4.04	1.92	4.12	4.19	4.2	4.08
福祉環境論	66	60	90.91	6	5	4	3.67	3.63	3.53	3.47	3.43	3.65	3.42	3.17	1.85	3.37	3.66	3.46	3.49
現代社会と福祉 I	62	55	88.71	6, 4, 5	4, 5	4	4.22	3.96	4.02	3.8	3.76	4.55	4.4	4.09	2.17	4.3	4.3	4.33	4.44
相談援助の基盤と専門職 I	4	4	100.00	6	4	4	3.96	3.6	3.79	3.6	3.6	4.17	3.91	3.81	2.09	4.08	4.09	3.9	4.02
人体の構造と機能及び疾病 I	71	47	66.20	6	5	5	3.6	3.49	3.49	3.34	3.3	3.83	3.53	3.23	1.98	3.57	3.72	3.4	3.69
ストレスマネジメント論	27	22	81.48	1	4	1	4.05	4.05	4.09	3.64	3.73	3.95	3.95	3.55	2.27	3.82	4.19	4.12	4.05
スポーツ科学演習A	48	32	66.67	1	4, 1, 4	4	4.34	4.41	4.31	4.28	4.16	4.56	4.16	4.09	2.88	4.38	4.34	4.5	4.5
手話入門	26	24	92.31	1	5	4	4.08	4.29	4.13	4	3.92	4.33	4.04	4.17	1.67	3.75	3.38	3	4.04

青森中央短期大学 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	欠席者数平均	意欲平均	理解平均	向上平均	シラバス平均	評価平均	熱意平均	授業法平均	コミュニケーション平均	準備平均	話方平均	資料平均	環境平均	オプション	総合平均
基礎調理学実習(A組)	30	30	100.00	9	1.5	1	0.37	4.7	4.37	4.5	4.57	4.67	4.47	4.43	4.3	4.7	4.47	4.53	4.57	4.59	4.5
基礎調理学実習(B組)	29	27	93.10	9	5	6	0.07	4.74	4.52	4.56	4.7	4.59	4.56	4.56	4.54	4.81	4.67	4.44	4.67	4.47	4.77
調理学実習Ⅱ(A組)	28	27	96.43	9	5	6	0.7	4.78	4.78	4.81	4.81	4.81	4.81	4.81	4.81	4.81	4.81	4.81	4.81	4.81	4.72
調理学実習Ⅱ(B組)	26	23	88.46	9	5	6	0.26	4.78	4.83	4.83	4.78	4.7	4.7	4.65	4.61	4.7	4.65	4.61	4.65	4.71	4.78
アカデミックスキルズ入門	59	49	83.05	9	6	6	0.12	4.51	4.37	4.49	4.67	4.65	4.45	4.45	4.37	4.65	4.57	4.67	4.6	4.61	4.52
キャリアプランニングⅡ	54	52	96.30	9	6	5	0.48	4.38	4.44	4.63	4.65	4.69	4.65	4.4	4.37	4.71	4.6	4.62	4.63	5	4.63
英語Ⅰ(A組)	30	28	93.33	9	6	6	0.41	4.5	4.54	4.5	4.43	4.46	4.5	4.46	4.43	4.46	4.5	4.57	4.61	4.25	4.5
英語Ⅰ(B組)	28	26	92.86	9	6	10	0.69	4.62	4.62	4.65	4.62	4.62	4.65	4.65	4.58	4.69	4.65	4.73	4.77	4.57	4.65
解剖生理学実験(A組)	28	28	100.00	9	5	6	0.14	4.54	4.32	4.5	4.54	4.54	4.39	4.36	4.43	4.64	4.43	4.5	4.5		4.44
解剖生理学実験(B組)	26	25	96.15	9	6	1.5	0.29	4.64	4.56	4.6	4.68	4.68	4.64	4.6	4.56	4.72	4.76	4.68	4.71	5	4.71
情報処理演習Ⅰ(A組)	30	27	90.00	9	5	6	0.48	4.37	4.7	4.41	4.41	4.46	4.52	4.44	4.41	4.44	4.44	4.52	4.44	4.25	4.41
情報処理演習Ⅰ(B組)	28	24	85.71	9	6	5.10	0.25	4.71	4.71	4.75	4.78	4.75	4.79	4.79	4.75	4.75	4.79	4.75	4.79	5	4.79
家庭経営学	2	2	100.00	9	5	2	0	4.5	4.5	4.5	4	4	4	4.5	4.5	4	4.5	4.5	4.5	4	4.5
住居学	2	2	100.00	9	6	1	0	4.5	4.5	4	4	4	4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4	4.5
人間とくらし	58	55	94.83	9	6	1.6	0.2	4.49	4.47	4.53	4.6	4.6	4.55	4.55	4.45	4.6	4.6	4.6	4.6	4.5	4.6
食品機能論	24	24	100.00	9	6	4.6	0.79	4.58	4.46	4.58	4.58	4.58	4.62	4.58	4.67	4.62	4.67	4.62	4.67		4.67
食品衛生学実験(A組)	28	26	92.86	9	5	6	0.31	4.65	4.5	4.62	4.81	4.81	4.85	4.73	4.81	4.81	4.81	4.81	4.81	4	4.6
食品衛生学実験(B組)	26	26	100.00	9	6	5	0.38	4.46	4.31	4.42	4.58	4.54	4.62	4.54	4.54	4.54	4.62	4.54	4.54	4.51	4.72
応用栄養学	60	58	96.67	9	5	5	0.4	4.62	4.36	4.48	4.55	4.53	4.5	4.31	4.36	4.53	4.47	4.52	4.48	4.08	4.54
フードコーディネーター論	5	5	100.00	6	1	5	0.2	4.8	4.4	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	5	5	4.8	4.8	5	5	4.8
食事計画論	59	58	98.31	9	5	6	0.39	4.47	4.34	4.4	4.43	4.4	4.38	4.14	4	4.31	3.98	4.19	4.33	4.22	4.28
臨床栄養学実習(A組)	28	26	92.86	9	5	6	0.12	4.69	4.5	4.69	4.73	4.73	4.73	4.62	4.65	4.69	4.65	4.62	4.69	5	4.73
臨床栄養学実習(B組)	26	26	100.00	9	5	5	0.65	4.66	4.58	4.65	4.73	4.73	4.73	4.58	4.62	4.73	4.62	4.65	4.62	4.67	4.68
調理学	59	56	94.92	9	5	6	0.32	4.68	4.34	4.43	4.5	4.57	4.46	4.39	4.16	4.45	4.27	4.36	4.46	4.53	4.45
給食管理	61	55	90.16	9	5	6	0.38	4.62	4.45	4.62	4.56	4.57	4.6	4.38	4.42	4.53	4.58	4.58	4.6	4.14	4.51
臨床栄養学Ⅱ	53	51	96.23	9	5	5.6	0.27	4.31	4.06	4.35	4.43	4.43	4.47	4.02	4.29	4.35	4.16	4.22	4.39	5	4.24
栄養指導論Ⅰ	54	52	96.30	9	5	5	0.25	4.4	4.23	4.42	4.44	4.42	4.44	4.13	4.33	4.35	4.17	4.29	4.4	5	4.29
給食管理基礎実習(A組)	30	30	100.00	9	1.5	5	0.23	4.7	4.53	4.53	4.5	4.53	4.47	4.57	4.7	4.57	4.5	4.63	4.3	4.67	4.67
給食管理基礎実習(B組)	29	28	96.55	9	5	6	0.04	4.71	4.68	4.71	4.75	4.79	4.61	4.46	4.54	4.68	4.61	4.68	4.71	4.6	4.64
給食管理実習Ⅱ(A組)	27	26	96.30	9	5	6	0.35	4.58	4.54	4.65	4.65	4.69	4.62	4.54	4.62	4.65	4.54	4.62	4.62	5	4.62
給食管理実習Ⅱ(B組)	26	22	84.62	9	5	5	0.33	4.77	4.91	4.91	4.91	4.91	4.91	4.86	4.91	4.91	4.86	4.82	4.91		4.95
スタディスキルズ	60	57	95.00	9	6	6	0.49	4.56	4.49	4.54	4.58	4.58	4.54	4.44	4.54	4.56	4.54	4.54	4.52	4.33	4.47
生化学	54	53	98.15	9	5	5	0.12	4.26	3.32	3.98	4.45	4.4	4.26	3.57	3.94	4.34	4.04	4.08	4.3	5	4.4
食品学Ⅰ	71	68	95.77	9	5	1.6	0.49	4.35	3.56	4.13	4.43	4.4	4.32	3.85	4.03	4.22	4.04	4.15	4.34	4.16	4.1
基礎栄養学	72	69	95.83	9	5	6	0.39	4.42	4.1	4.25	4.41	4.36	4.39	4.2	4.25	4.38	4.24	4.26	4.38	4.23	4.26
食品学基礎実験(A組)	31	31	100.00	9	5	6	0.29	4.48	3.81	4.16	4.35	4.32	4.42	3.97	4.39	4.48	4.29	4.26	4.39	3.86	4.29
食品学基礎実験(B組)	32	31	96.88	9	5	6	0.07	4.45	3.73	4.29	4.61	4.55	4.52	4.06	4.35	4.48	4.26	4.42	4.48	4.25	4.26
食品衛生学	54	53	98.15	9	5	5.6	0.4	4.58	4.51	4.6	4.65	4.64	4.66	4.57	4.6	4.64	4.62	4.62	4.66	4.67	4.62
キャリアプランニングⅠ	76	67	88.16	9	6	6	1.15	3.96	4.04	4.25	4.3	4.31	4.22	4	3.81	4.36	4	4.27	4.34	3.95	4.15
相談援助(1組)	37	32	86.49	9	5	1	1.03	4.81	4.81	4.84	4.88	4.88	4.84	4.84	4.84	4.81	4.88	4.84	4.8	4.87	4.87
相談援助(2組)	39	36	92.31	9	5	6	0.57	4.31	4.36	4.5	4.47	4.47	4.5	4.47	4.47	4.44	4.47	4.47	4.44	4.3	4.53
表現発表基礎演習	74	73	98.65	9	5	6	0.32	4.82	4.77	4.77	4.75	4.73	4.77	4.7	4.73	4.77	4.75	4.75	4.71	4.6	4.75
保育内容研究(健康)a(1組)	37	35	94.59	9	5	5	0.17	4.31	3.97	4.23	4.37	4.4	4.34	3.74	3.89	4.31	4.17	4.49	4.51	4.4	4.31
保育内容研究(健康)a(2組)	37	36	97.30	9	5	6	0.19	4.61	4.58	4.64	4.69	4.67	4.53	4.25	4.17	4.44	4.33	4.44	4.53	4.5	4.47
英語Ⅰ(1組)	37	37	100.00	9	5.6	1	1.24	4.65	4.35	4.49	4.51	4.51	4.62	4.32	4.54	4.62	4.41	4.51	4.62	4.67	4.56
英語Ⅰ(2組)	39	39	100.00	9	6	5	1.05	4.21	4.03	4.21	4.24	4.26	4.41	4.13	4.36	4.31	4.21	4.36	4.31	4.11	4.13
保育内容研究(人間関係)(1組)	37	35	94.59	9	5	5.6	0.33	4.43	4.34	4.51	4.49	4.51	4.46	4.26	4.51	4.46	4.46	4.34	4.57	4.25	4.51
保育内容研究(人間関係)(2組)	37	36	97.30	9	5	6	0.31	4.44	4.36	4.5	4.53	4.53	4.39	4.14	4.33	4.39	4.19	4.17	4.49	4.4	4.28
児童文化(A組)	24	23	95.83	9	5	5	0.96	4.78	4.78	4.87	4.87	4.91	4.87	4.74	4.78	4.87	4.78	4.87	4.87	4.91	4.87
児童文化(B組)	26	20	76.92	9	5	1.5	0.35	4.3	4.45	4.35	4.35	4.35	4.32	4.25	4.4	4.35	4.3	4.35	4.35	3.5	4.32
児童文化(C組)	26	15	57.69	9	5	5	0.67	4.2	4.6	4.43	4.27	4.33	4.33	4.07	4.4	4.47	4.07	4.33	4.2	4	4.27
音楽表現法Ⅰa(A組)	25	24	96.00	9	5	5	0.3	4.83	4.88	4.92	4.79	4.79	4.96	4.83	4.92	4.88	4.92	4.88	4.87	4.5	4.92
音楽表現法Ⅰa(B組)	25	25	100.00	9	5	6	0.17	4.96	4.92	4.92	4.92	4.92	4.92	4.92	4.92	4.92	4.92	4.92	4.92	5	4.92
音楽表現法Ⅰa(C組)	24	24	100.00	9	5	6	0.25	4.92	4.92	4.96	4.96	4.96	4.96	4.92	4.92	4.92	4.92	4.92	4.88	4	4.96
レクリエーション論	28	28	100.00	1	6	6	0.32	4.89	4.82	4.89	4.86	4.82	4.86	4.86	4.89	4.86	4.89	4.86	4.86	5	4.89
乳児保育a(1組)	37	37	100.00	9	5	5	0.43	4.54	4.35	4.62	4.59	4.54	4.76	4.14	4.57	4.62	4.11	4.3	4.59	4.2	4.54
乳児保育a(2組)	37	37	100.00	9	5	6	0.39	4.7	4.41	4.51	4.59	4.59	4.78	4.32	4.68	4.81	4.43	4.42	4.75	4	4.62
子どもの食と栄養a(1組)	37	31	83.78	9	5	5	0.81	4.39	4.29	4.39	4.45	4.45	4.32	3.9	3.97	4.32	3.94	4.39	4.19	4.57	4.33
子どもの食と栄養a(2組)	39	31	79.49	9	6	5	0.52	3.74	3.65	3.81	3.84	3.87	3.55	3.42	3.39	3.77	3.35	3.68	3.58	3.57	3.58
保育相談支援(1組)	37	37	100.00	9	6	1.5	0.73	4.78	4.76	4.76	4.76	4.78	4.78	4.78	4.76	4.76	4.76	4.78	4.78	4.38	4.78
保育相談支援(2組)	39	38	97.44	9	5	6	0.61	3.92	4.11	4.21	4.24	4.26	4.16	4.05	4.24	4.29	4	4.21	4.26	4.25	4.13
幼児体育b(1組)	37	35	94.59	9	6	5	0.94	4.77	4.77	4.8	4.83	4.86	4.86	4.8	4.8	4.83	4.8	4.83	4.8	4.67	4.85
幼児体育b(2組)	39	39	100.00	9	6	5	0.72	4.44	4.56	4.69	4.62	4.67	4.64	4.59	4.56	4.67	4.64	4.62	4.59	4.57	4.59
教育総論	74	74	100.00	9	5	6	0.12	4.82	4.66	4.82	4.85	4.86	4.86	4.84	4.72						

## 青森中央短期大学 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	欠席者数平均	意欲平均	理解平均	向上平均	シラバス平均	評価平均	熱意平均	授業法平均	コミュニケーション平均	準備平均	話方平均	資料平均	環境平均	オプション	総合平均
保育内容研究(言葉)a(2組)	37	37	100.00	9	5	1	0.14	4.54	4.35	4.62	4.59	4.57	4.43	4.16	4.32	4.43	4.32	4.41	4.51	4.25	4.39
社会の理解	9	9	100.00	9	5	5	0.33	4.78	4.56	4.78	4.78	4.78	4.78	4.67	4.56	4.67	4.33	4.78	4.67	5	4.78
介護の基本 I	9	9	100.00	9	5	6	1	4.44	4.22	4.56	4.67	4.67	4.78	4.33	4.33	4.67	4.33	4.44	4.56		4.56
コミュニケーション技術 I	9	9	100.00	9	5	6	0.89	4.56	4.44	4.67	4.67	4.67	4.78	4.56	4.44	4.56	4.33	4.44	4.44		4.56
障害の理解	9	9	100.00	9	5	6	0.5	4.44	4.33	4.56	4.78	4.67	4.78	4.56	4.33	4.67	4.44	4.56	4.56	5	4.67
生活支援技術 II	9	9	100.00	9	5	6	1.11	4.44	4.44	4.67	4.44	4.56	4.67	4.56	4.56	4.56	4.56	4.56	4.5		4.56
生活支援技術 I	9	9	100.00	9	5	6	2.22	4.33	4.33	4.67	4.67	4.67	4.56	4.56	4.44	4.56	4.44	4.67	4.56		4.67
発達と老化の理解	9	9	100.00	9	5	6	0.67	4.56	4.22	4.67	4.56	4.56	4.78	4.56	4.78	4.33	4.33	4.33	4.78		4.78
こころからだのしくみ I	9	9	100.00	9	5	6	0.44	4.56	4.33	4.56	4.67	4.56	4.67	4.44	4.78	4.67	4.67	4.78	4.56		4.78
医療的ケア I	9	9	100.00	9	5	6	0.56	4.56	4.11	4.67	4.67	4.56	4.67	4.56	4.67	4.56	4.67	4.78	4.78		4.67
介護の基本 III	9	8	88.89	9	5	6	1	4.25	4	4.12	4.25	4.25	4.38	3.75	4.25	4.38	3.62	3.75	4		4.12
介護の基本 IV	9	8	88.89	9	5	6	1.12	4.5	4.12	4.38	4.12	4	4.38	3.5	3.88	4	3.5	3.75	4.12		4.12
介護過程 I	9	8	88.89	9	5	6	1.62	4.38	4.25	4.12	4	4	4.38	3.5	3.88	4.25	3.62	3.5	4		4.12
認知症の理解 I	9	9	100.00	9	1.5	6	0.78	4.33	4	4.33	4.33	4.22	4.44	3.56	4	4	3.56	3.89	4		4.11
道徳教育の理解(食栄)	4	4	100.00	9	5.6	5.6	0.25	4.75	4.75	4.75	5	5	5	4.75	5	4.75	5	5	5		5
青年心理学(食栄)	14	7	50.00	1.9	5	5.6.9	1.14	4.29	3.71	4	4.14	4.14	4.43	3.43	4.57	4.43	3.86	4.43	4.43	4.5	4
教師論(食栄)	14	8	57.14	9	6	5	0.5	4	3.88	3.86	3.88	4.12	4.38	3.12	3.75	4.25	3.62	3.88	4.12		3.75
現代社会論	19	17	89.47	9	6	1	0.41	4.06	3.88	3.94	3.94	3.94	3.76	3.59	3.29	4.18	3.76	3.76	4.06	3	3.76
国際関係論(短大)	15	12	80.00	1.9	2.6	2	0.08	4.92	4.75	4.83	4.75	4.75	5	4.92	4.67	4.92	5	5	5	5	4.83
郷土と文化	133	127	95.49	9	2	10	0.43	4.41	4.45	4.34	4.32	4.33	4.24	4.09	4.3	4.22	4.23	4.17	4		4.16
法学(日本国憲法を含む)	103	97	94.17	9	6	6	0.98	4.21	4.14	4.15	4.27	4.27	4.24	4.21	4.18	4.34	4.15	4.27	4.3	4.21	4.19
生命の科学	87	65	74.71	9	6	5	0.34	4.49	4.42	4.45	4.58	4.58	4.52	4.42	4.35	4.6	4.54	4.55	4.54	4.5	4.43
地球と環境	41	37	90.24	9	1	10	0.51	4.41	3.89	3.95	4.24	4.25	4.46	3.97	4.49	4.41	4.3	4.16	4.41	4.57	4.22
日本の文化(茶道)	23	9	39.13	9	5	6.9	0.56	4.89	4.89	4.89	4.78	4.78	4.89	4.89	4.78	4.78	4.78	4.78	4.78	5	4.89
日本の文化(華道)	27	22	81.48	9	6	6.10	0.45	4.77	4.77	4.77	4.77	4.77	4.82	4.86	4.91	4.86	4.82	4.82	4.86	5	4.86
情報技術の仕組みと活用	20	17	85.00	1	6	5	0.35	4.47	4.41	4.53	4.71	4.71	4.47	4.41	4.41	4.65	4.47	4.65	4.59		4.53
情報資源の流通と管理	30	26	86.67	9	5	10	0.62	4.35	4.35	4.31	4.12	4.04	4.54	3.96	3.96	4.31	3.88	4.31	4.23	4.5	4.15
図書館概論	23	18	78.26	6.9	1	1.6	0.56	4.56	4.22	4.5	4.5	4.28	4.28	4.28	4	4.61	4.5	4.61	4.67		4.44
児童サービス論	20	17	85.00	6	6	1.10	1.41	4.76	4.59	4.82	4.82	4.82	4.82	4.82	4.82	4.82	4.76	4.82	4.82	5	4.82
秘書学概論(短大)	16	15	93.75	1	6	10	0.2	4.47	4.07	4.6	4.6	4.53	4.53	4.4	4.73	4.73	4.6	4.73	4.6	4	4.6
ビジネス文書	7	7	100.00	6	1	1	0.86	4.43	4.14	4.57	4.57	4.57	4.57	4.43	4.57	4.57	4.43	4.71	4.29		4.29
情報サービス演習	21	16	76.19	1	6	1	1.4	4.25	4.06	4.5	4.31	4.38	4.38	4.25	4.5	4.69	4.62	4.62	4.56	4	4.5
情報資源組織演習	24	20	83.33	6	5	1	1.35	4.45	4.35	4.75	4.65	4.65	4.55	4.55	4.75	4.7	4.8	4.7	4.5	4	4.74

## 青森中央短期大学 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均	板書平均	環境平均	オプション	総合平均
教育総論(食栄)	14	6	42.86	6	4.5	1	4.83	4.67	4.5	4.67	4.67	4.5	4.83	4.83	2.83	4.5	4.83	4.67	4.83

## 羽陽学園短期大学 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均	板書平均	環境平均	オプション	総合平均
基礎教養入門	100	94	94.00	6	5	4	3.86	3.65	3.61	3.53	3.52	3.96	3.66	3.41	1.44	3.76	4.03	3.5	3.83
倫理学	9	9	100.00	1, 2	4, 5		4.22	4.22	4	3.78	3.67	4.33	3.78	4.33	1.44	3.78	4.5		4.11
文学	91	90	98.90	6	5	5	4.16	4.04	3.99	3.91	3.7	4.18	3.83	3.55	1.37	3.66	4.23	4	4.13
音楽基礎A	100	98	98.00	6	4	5	4.61	4.52	4.33	4.42	4.2	4.7	4.49	4.55	2.12	4.29	4.54	4.33	4.68
音楽基礎B	100	99	99.00	6	4	4	4.76	4.76	4.68	4.65	4.49	4.69	4.7	4.72	3.1	4.46	4.67	4.33	4.83
図画工作	100	99	99.00	6	5	4	4.68	4.68	4.51	4.5	4.35	4.52	4.64	4.61	1.58	4.49	4.55	4.71	4.76
幼児教育者論	100	96	96.00	6	5	4	4.44	4.15	4.23	4.16	3.52	4.89	4.56	4.01	1.52	4.5	4.68	5	4.72
教育原理	100	97	97.00	6	5	4	4.43	4.2	4.26	4.03	3.91	4.82	4.53	4.19	1.55	4.49	4.58	4.5	4.65
視覚教育論	100	98	98.00	6	5	4	4.33	4.2	3.99	3.83	3.72	4.11	3.9	3.82	1.55	3.91	4.08	3.75	4.16
教育実習指導	100	97	97.00	6	4	5	4.42	4.38	4.27	4.11	3.94	4.43	4.26	3.99	1.41	4.24	4.32	4.2	4.45
保育原理	100	98	98.00	6	5	4	4.4	4.19	4.19	4.03	3.93	4.49	4.34	4.08	1.65	4.3	4.4	3.5	4.54
社会福祉概論	100	98	98.00	6	5	4	4.2	4.08	3.99	3.84	3.73	4	3.92	3.77	1.56	4.05	4.22	4.4	4.26
社会的養護	100	100	100.00	6	5	4	4.16	3.93	3.97	3.91	3.9	4.32	3.97	3.93	1.64	3.88	4.18	4.57	4.24
子どもの食と栄養A	100	99	99.00	6	5	4	4.47	4.24	4.17	4.09	3.89	4.78	4.46	4.39	1.83	4.25	4.35	4.5	4.49
子どもの食と栄養B	50	47	94.00	6	5, 4, 5		4.55	4.53	4.51	4.43	4.21	4.85	4.74	4.7	2.26	4.57	4.68		4.73
乳児保育	100	95	95.00	6	5	4	3.18	2.72	2.84	2.73	2.68	3	2.29	2.36	1.35	2.83	2.82	1	2.77
児童文化	100	99	99.00	6	4	4	4.32	4.29	4.31	4.11	3.74	4.25	4.02	3.79	1.8	3.76	4.02	4	4.24
子どもの生活と福祉	34	34	100.00	5	5	5	4.24	4.21	4.06	4.12	3.94	4.03	4.12	4.03	1.18	4.29	4.41		4.47
日本国憲法	107	101	94.39	6	5	4	3.95	3.47	3.66	3.61	3.51	4.08	3.43	3.53	1.83	3.53	4.08	3.88	3.76
子どもと音楽B	107	104	97.20	6	5	4	4.59	4.62	4.65	4.61	4.6	4.62	4.62	4.67	3.5	4.5	4.62	4.5	4.63
子どもと音楽C	101	87	86.14	6	5	4	4.45	4.29	4.41	4.33	4.25	4.47	4.41	4.43	2.08	4.29	4.48	4.58	4.46
国語表現法	19	19	100.00	1	5, 4, 5		4.68	4.63	4.63	4.68	4.42	4.63	4.63	4.63	2.37	4.58	4.79	5	4.79
保育内容研究・健康	107	98	91.59	6	5	4	4.39	4.19	4.24	4.13	4.02	4.33	4.18	4.08	1.89	4.1	4.3	4.22	4.27
保育内容研究・人間関係	107	105	98.13	6	5	4	4.54	4.42	4.47	4.39	4.28	4.6	4.56	4.52	2.07	4.57	4.59	4.33	4.57
保育内容研究・言葉	107	98	91.59	6	5	4	4.36	4.28	4.28	4.18	4.06	4.43	4.27	4.3	1.93	4.23	4.41	4	4.37
保育内容研究・表現	107	100	93.46	6	5	4	4.24	4.18	4.25	4.13	4.05	4.24	4.04	4.31	2.01	3.97	3.94	4.1	4.15
子どもの生活と文化Ⅱ	29	27	93.10	1, 4, 5		5	4.78	4.81	4.85	4.81	4.67	4.89	4.89	4.85	1.74	4.74	4.78	3	4.93
臨床心理学	107	96	89.72	6	5	4	3.72	3.55	3.57	3.27	3.27	3.79	3.08	3.16	1.64	3.26	3.63	4.1	3.27
相談援助	107	103	96.26	6	5	4	4.44	4.33	4.34	4.29	4.3	4.5	4.41	4.45	1.97	4.4	4.45	4.3	4.48
保育内容総論	107	102	95.33	6	5	4	4.37	4.37	4.38	4.38	4.33	4.43	4.41	4.49	2.35	4.43	4.47	4.47	4.44
社会的養護内容	107	92	85.98	6	5	4	4.41	4.34	4.33	4.42	4.26	4.35	4.36	4.33	2.23	4.31	4.35	4.07	4.45
保育実践研究Ⅲ	74	64	86.49	1	5	4	4.53	4.48	4.52	4.48	4.46	4.56	4.41	4.58	2.21	4.36	4.41	4.67	4.55
介護福祉総論Ⅱ	31	30	96.77	6	5	1	4.73	4.7	4.8	4.77	4.67	4.83	4.83	4.7	1.7	4.57	4.63	4	4.83
介護保険制度	28	28	100.00	6	5	4	4.25	4.18	4.21	4.14	4.07	4.36	4.25	4.21	2.75	4.25	4.32	4.5	4.32
介護の基本Ⅱ	28	28	100.00	6	5	4	4.25	4.21	4.32	4.21	4.25	4.32	4.32	4.19	2.57	4.29	4.29	4.33	4.46
介護の基本Ⅲ	28	27	96.43	6	5	4	4.19	4.3	4.22	4.19	4.15	4.41	4.31	4.38	2.22	4.26	4.33	3.67	4.35
コミュニケーション技術Ⅰ	28	27	96.43	6	5	4	4.07	4.07	4.11	3.96	3.81	4.41	4.19	4	2.07	4.19	4.15	4.5	4.22
生活支援技術Ⅰ	28	28	100.00	6	5	4	4.43	4.39	4.43	4.5	4.39	4.68	4.61	4.57	2.75	4.5	4.5	4.5	4.57
生活支援技術Ⅱ	28	28	100.00	6	5	4	3.93	3.57	3.68	3.39	3.39	4	3.43	3.46	1.93	3.61	3.75	3.67	3.59
生活支援技術Ⅲ	28	23	82.14	6	5	4	4.22	4.26	4.35	4.22	4.13	4.65	4.57	4.48	2.26	4.52	4.48	4.5	4.52
生活支援技術Ⅳ	28	26	92.86	6	5	4	4.38	4.15	4.31	4.15	3.96	4.77	4.58	4.5	2	4.54	4.62	5	4.73
介護過程Ⅰ	28	28	100.00	6	5	4	4.29	4.25	4.25	4.32	4.21	4.61	4.5	4.5	3.11	4.43	4.43	4.67	4.54
介護過程Ⅱ	28	28	100.00	6	5	4	4.46	4.43	4.46	4.43	4.36	4.57	4.5	4.54	3.18	4.46	4.5	4.5	4.5
介護総合演習Ⅰ	28	28	100.00	6	5	4	4.29	4.29	4.33	4.21	4.11	4.57	4.5	4.5	2.74	4.36	4.46	4.67	4.54
発達と老化の理解	28	28	100.00	6	5	4	4.46	4.36	4.46	4.5	4.43	4.64	4.54	4.43	2.93	4.46	4.43	4.5	4.57
こころからだⅠ	28	28	100.00	6	5	4	4.5	4.39	4.39	4.5	4.43	4.64	4.57	4.61	3.14	4.54	4.5	4.5	4.64
社会福祉演習	28	28	100.00	6	5	4	4.32	4.25	4.21	4.29	4.11	4.36	4.21	4.29	2.93	4.43	4.36	4.5	4.39
医療的ケアⅠ	28	28	100.00	6	5	4	4.5	4.5	4.57	4.54	4.43	4.64	4.64	4.64	2.75	4.46	4.54	4.67	4.54

## 桜の聖母短期大学 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教養平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均	板書平均	環境平均	オプション	総合平均
キリスト教 I	74	73	98.65	6	5	8	3.4	3.39	3.41	2.96	3	4.3	3.62	3.01	1.37	3.67	4.15	5	3.48
キリスト教 I	42	41	97.62	6	5	1	3.78	3.66	3.56	3.37	3.39	4.39	3.88	3.68	1.52	3.78	4.15	4	3.88
キリスト教 I	52	48	92.31	6	5	1	4.02	3.88	3.85	3.62	3.46	4.5	4.15	3.79	1.23	4.15	4.25	4	4.17
英語 I (CE①)	19	18	94.74	1, 5	5	1, 2	4.5	4.56	3.94	4.17	3.72	4.89	4.5	4.65	2.35	4.33	4.82	1	4.72
英語 I (CE②)	18	16	88.89	1	5	2	4.5	4.5	4.25	4.4	4	4.75	4.69	4.69	1.94	4.62	4.5		4.53
ビジネス実務 I (CE①)	17	17	100.00	6	1, 2, 5	1	4	4.18	4.18	3.71	3.59	4.47	4.12	4.12	1.41	4.06	4.29	4	4.24
ビジネス実務 I (CE②)	19	17	89.47	5, 6	1	1	4.29	4.59	4.59	4.12	3.94	4.53	4.59	4.53	1.59	4.59	4.47		4.62
ビジネス実務 I (CE③)	18	17	94.44	6	5	4	4	4.31	4.35	3.82	3.29	4.41	4.41	4.06	1.53	4.06	4.24	5	4.35
ビジネス実務 I (CE④)	19	18	94.74	6	1, 2	2	4.5	4.61	4.61	4.33	4.22	4.72	4.72	4.67	1.44	4.61	4.67		4.67
ビジネス実務 I (D①)	21	21	100.00	6	5, 1, 4, 5	4	4.29	4.48	4.38	3.9	3.86	4.5	4.43	4.15	1.9	4.24	4.05	4	4.33
ビジネス実務 I (D②)	20	20	100.00	6	5	1	4.4	4.5	4.3	4.1	3.95	4.6	4.6	4.55	1.8	4.6	4.58	5	4.7
ビジネス実務 I (CH①)	26	26	100.00	6	5	2	4.54	4.46	4.46	4.19	4.15	4.38	4.31	4	1.96	4.35	4.23	4.33	4.48
ビジネス実務 I (CH②)	26	24	92.31	6	5	4	4.58	4.58	4.46	4.29	4	4.79	4.83	4.82	1.46	4.71	4.75	4	4.87
情報演習 I CE①	18	16	88.89	6	5	8	4.12	4.19	4.38	3.75	3.44	4	3.94	3.75	1.81	3.88	4.06		4.38
情報演習 I CE②	19	19	100.00	6	5	1	4.53	4.21	4.47	4.26	3.89	4.47	4.37	4.11	2.16	4.32	4.44	3.38	4.53
情報演習 I CE③	19	19	100.00	6	5	1	4.32	4.21	4.26	3.68	3.42	4.21	4.21	3.95	1.74	4.21	4.33		4.37
情報演習 I CE④	19	19	100.00	6	5	1	4.53	3.84	4.16	4	3.89	4.37	4.11	4.21	1.95	4.21	4.58	3.54	4.41
情報演習 I D①	21	21	100.00	6, 2, 5	5	4	4.43	3.95	4.29	4.05	3.81	4.29	4.19	3.86	1.81	3.9	4	4.07	4.29
情報演習 I D②	20	19	95.00	6, 4, 5	4	4	4.37	4.05	4.21	4.11	3.74	4.32	4.37	4	1.63	4	4.21	5	4.47
情報演習 I CH①	27	27	100.00	6	5	1	4.33	4.11	4.15	3.93	3.89	4.22	4.11	3.96	2.04	3.93	4.3	3.91	4.24
情報演習 I CH②	26	24	92.31	6	5	4	4.12	3.96	4.12	3.75	3.67	4.21	3.83	3.75	1.79	4.12	4.25		4.29
体育実技 I CH①	26																		
体育実技 I CH②	26																		
キリスト教 II	91	79	86.81	6	5	8	3.57	3.73	3.73	3.34	3.3	4.09	3.66	3.46	1.51	3.92	4.14	4.17	3.68
人間と教育 A	25	21	84.00	1	5	3	4.57	4.48	4.62	4.43	4.38	4.81	4.71	4.05	1.76	4.33	4.29	5	4.62
人間と教育 A (CH)	49	47	95.92	6	5	5	3.98	4.06	4.19	4.13	3.89	4.21	4.17	3.6	2.09	3.96	3.93	3.67	4.06
情報演習 II A①	27	21	77.78	5	1	1	4.14	4.05	4.05	3.86	3.75	4.1	4.14	3.57	1.62	4	4.33		4.14
情報演習 II A②	25	19	76.00	1, 5	1, 4, 8	4	4.32	4.21	4.26	4	3.89	4.37	4.21	4	2	3.94	4.32		4.16
北米の歴史と文化 (CE I)	37	35	94.59	1	5	3	3.97	3.57	3.66	3.57	3.26	4.6	3.89	4.2	1.54	3.21	4.09	3	4
地域形成論	60	60	100.00	1	5	5	4.35	4.17	4.18	4.02	3.95	4.66	4.28	4.18	1.6	4.1	4.05	4	4.19
キャリア教養特講 IV	50	50	100.00	1	2	5	3.98	4.08	4.16	4.12	4.04	4.02	4.08	4.06	1.57	4.14	4.12	5	4.04
労働法制と人権 I	69	61	88.41	1	5	2	4.44	3.97	4.11	4.1	3.7	4.62	4.38	4.49	2.03	4.05	4.44		4.6
上級リーディング A	11	10	90.91	1	5, 3, 4	4	4.7	4.4	4.4	4.6	4.4	4.4	4.4	4.8	2.9	4.2	4.2		4.4
TOEIC 演習 B	8	6	75.00	1, 3, 4	5	4	4.5	4.17	4.17	4.17	4	4.33	4.33	4.83	2.5	4.17	4.17		4.5
カウンセリング演習	67	60	89.55	1	5	5	4.2	4.25	4.13	3.95	3.82	4.35	4.32	4.38	1.53	4.23	4.35	4.71	4.37
戦後日本社会史 A	73	63	86.30	1	5	5	4	3.75	3.9	3.81	3.63	4.54	3.9	3.51	1.86	3.48	4.22	3.5	4.07
現代の国際関係 A	70	62	88.57	1	5	2	4.23	3.84	3.92	3.95	3.76	4.68	4.18	3.79	1.85	3.35	3.73	3.67	4.14
ビジネス実務総合演習	78	72	92.31	1	5	4	4.26	4.39	4.31	4.1	3.99	4.43	4.19	3.98	1.72	4.28	3.5	4	4.38
キャリア教養特講 III	33	33	100.00	1	5	3	4.79	4.85	4.67	4.67	4.58	4.82	4.7	4.91	3.79	4.64	4.67	4.83	4.8
基礎栄養学	41	41	100.00	6	4	1	4.27	3.71	3.66	3.95	3.66	4.61	4.15	3.8	2.34	4.12	4.37	4.28	4.33
食生活論	41	41	100.00	6	4	4	4.44	4.32	4.17	4.15	3.71	4.59	4.61	4	1.9	4.1	4.27	4	4.6
食品加工学	32	30	93.75	6	4, 1, 5	4	3.77	3.47	3.8	3.47	3.03	3.77	3.4	3.27	1.53	4.23	3.47		3.79
栄養教育論	33	28	84.85	6	5	4	3.68	3.75	3.82	3.57	3.25	4.82	4.36	3.66	1.46	4.11	4.29		4.44
こどもとことば	52	51	98.08	6	4	5	4.59	4.37	4.43	4.53	4.39	4.76	4.67	4.52	1.86	4.65	4.73	4.67	4.49
保育基礎演習①	26	26	100.00	6	5, 4, 5, 6	4	4.46	4.46	4.38	4.31	4.35	4.65	4.81	4.62	2.04	4.58	4.58	5	4.68
保育基礎演習②	26	24	92.31	6	4	5	4.38	4.29	4.38	4.29	4.25	4.67	4.5	4.52	1.67	4.5	4.42		4.57
保育原理	53	51	96.23	6	4	5	4.33	4.02	4.12	4.06	3.98	4.51	4.29	4.37	1.8	4.37	4.43	4.67	4.53
保育内容総論	52	47	90.38	6	4	5	4.55	4.38	4.51	4.49	4.3	4.77	4.66	4.5	1.87	4.57	4.47	4.5	4.66
保育内容演習(人間関係)	52	50	96.15	6	5, 4, 5	4	4.12	4.04	3.98	3.88	3.82	4.38	4.14	4.08	1.45	4.3	4.4	4.5	4.26
保育内容演習(言葉)	52	52	100.00	6	4	5	4.33	4.19	4.19	4.23	4.12	4.42	4.29	4.33	2.02	4.29	4.39		4.58
保育内容演習(表現)①	21	21	100.00	6	5	4	4.48	4.57	4.48	4.48	4.33	4.62	4.33	4.3	1.71	4.24	4.42	3.5	4.39
保育内容演習(表現)②	31	29	93.55	6	4	4	4.43	4.43	4.32	4.11	4.11	4.63	4.26	4.19	1.74	4	4.22	4.5	4.1
保育内容演習 II (表現)①	21	21	100.00	6	5	4	4.43	4.05	4.19	4.1	4.14	4.33	4.05	4	2.14	3.86	4.14		4.05
保育内容演習 II (表現)②	31	29	93.55	6	4	5	3.89	4	4.14	3.82	3.71	4.07	3.64	3.82	1.43	3.74	3.75		3.96
保育表現技術(身体表現)①	21	20	95.24	6	5	4	4.65	4.7	4.55	4.5	4.45	4.7	4.6	4.45	1.32	3.95	4.45	5	4.67
保育表現技術(身体表現)②	31	28	90.32	6	4	5	4.68	4.71	4.54	4.5	4.29	4.79	4.75	4.68	1.71	4.11	4.67	4.5	4.67
保育表現技術 II (身体表現)①	21	20	95.24	6	5	4	4.55	4.6	4.5	4.42	4.5	4.65	4.5	4.6	1.85	4.3	4.6		4.6
保育表現技術 II (身体表現)②	31	29	93.55	6	4	5	4.24	4.24	4.24	4.1	4.17	4.52	4.48	4.38	1.32	3.9	4.24		4.52
保育表現技術(音楽表現)①	26	26	100.00	6	4	1	4.77	4.77	4.38	4.62	4.31	4.58	4.42	4.58	2.73	4.19	4.5		4.52
保育表現技術(音楽表現)②	27	25	92.59	6	4	5	4.36	4.68	4.36	4.56	4.4	4.8	4.84	4.92	3.12	4.16	4.48	3.5	4.8
保育表現技術 II (音楽表現)①	26	26	100.00	6, 5, 6	1, 4	4	4.58	4.62	4.46	4.5	4.35	4.54	4.5	4.58	2.88	4.35	4.5	4.33	4.6
保育表現技術 II (音楽表現)②	26	23	88.46	6	4	4	4.57	4.48	4.52	4.39	4.3	4.43	4.26	4.35	3	3.83	4.17	5	4.35
生活福祉論	50	47	94.00	6	5	4	4.13	3.93	4.3	4	3.98	4.45	4.28	4.09	2.09	4.3	4.26		4.34
幼児理解の理論と方法	49	48	97.96	6	4	5	4.12	3.96	4.1	4.09	3.92	4.1	3.85	3.94	1.98	4.04	4.09		4.12
児童と共に	50	48	96.00	6	5, 4, 5	4	4.42	4.31	4.46	4.27	4.12	4.79	4.5	4.29	1.92	4.35	4.48	4	4.54
こどもの保健 II	50	49	98.00	6	4	4	4.47	4.41	4.63	4.37	4.16	4.8	4.61	4.51	2	4.45	4.59	4	4.65
こどもの保健(演習) I ①	25	25	100.00	6	4	4	4.6	4.52	4.76	4.56	4.28	4.92	4.8	4.72	2.08	4.68	4.96		4.92
こどもの保健(演習) I ②	25	25	100.00	6	4	5	4.44	4.24	4.4	4.2	3.72	4.8	4.48	4.54	1.44	4.24	4.64		4.56
こどもの保健(演習) II ①	25	25	100.00	6	4	4	4.48	4.4	4.68	4.36	4.16	4.92	4.72	4.52	2.58	4.68	4.76	4	4.8
こどもの保健(演習) II ②	25	25	100.00	6	5	4	4.36	4.24	4.12	4.08	3.96	4.48	4.28	4.17	1.72	4.26	4.16	3	4.28
保育表現技術 V (音楽表現) ①	20	20	100.00	4	5, 1, 5	4	4.65	4.7	4.4	4.6	4.55	4.6	4.3	4.5	3.2	3.85	4.45	5	4.55
保育表現技術 V (音楽表現) ②	16	16	100.00																

いわき短期大学 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均	板書平均	環境平均	オプション	総合平均
発達心理学 I	96	83	86.46	6	4	5	4.45	4.18	4.18	4.02	3.74	4.73	4.61	4.49	1.7	4.68	4.73	4.77	4.75
幼児音楽 I A	48	44	91.67	6	4	4	4.41	3.89	3.91	3.86	3.75	4.27	3.18	3.75	1.61	3.64	3.84	4	3.89
幼児音楽 I B	48	44	91.67	6	4	5	3.82	3.18	3.23	3.41	3.27	3.73	2.55	3.07	1.43	2.89	3.48	3.53	3.26
社会的養護	98	76	77.55	6	4	5	4.2	4.03	4.05	4.01	3.78	4.57	4.2	4.03	1.76	4.36	4.13	4.46	4.39
哲学	50	47	94.00	1	5	5	4.19	3.87	4.13	4.06	4	4.32	4.19	4.06	1.38	4.06	4.32	4.56	4.41
文化人類学	35	30	85.71	1	2	5	4.53	4.4	4.43	4.23	4.07	4.47	4.37	4.27	2	4.23	4.53	4.67	4.67
儒学と昌平学	97	88	90.72	6	5	5	3.98	3.3	3.5	3.36	3.32	4.28	3.49	3.51	1.41	3.77	4.16	4.13	3.83
幼児体育 I A	48	42	87.50	6	1	5	4.74	4.71	4.69	4.64	4.5	4.62	4.67	4.62	1.55	4.43	4.38	4.59	4.64
幼児体育 I B	48	42	87.50	6	5, 4, 5		4.69	4.71	4.62	4.6	4.33	4.74	4.74	4.67	1.51	4.57	4.61	4.59	4.63
造形表現 I a	32	32	100.00	6	1	1	4.74	4.87	4.74	4.77	4.58	4.81	4.84	4.9	1.57	4.58	4.81	4.87	4.9
造形表現 I b	32	26	81.25	6	1	1	4.96	4.92	4.73	4.73	4.54	4.88	4.96	4.96	1.35	4.88	4.96	4.96	4.96
造形表現 I c	32	25	78.12	6	4	1	4.68	4.8	4.44	4.64	4.28	4.68	4.71	4.8	1.52	4.36	4.56	4.88	4.88
歴史	20	15	75.00	1	1, 2, 5		4.73	4.6	4.4	4.27	4.2	4.64	4.6	4.73	1.47	4.33	4.67	4.71	4.67
国語表現 I A	48	20	41.67	6	5, 4, 5		4.6	4.6	4.45	4.25	4.2	4.7	4.7	4.5	1.65	4.5	4.55	4.8	4.8
国語表現 I B	48	21	43.75	6	4	5	4.52	4.33	4.1	4.05	4.05	4.81	4.57	4.62	1.67	4.52	4.38	4.57	4.67
教育原理	95	86	90.53	6	4	5	4.84	4.74	4.72	4.64	4.48	4.83	4.84	4.72	1.62	4.86	4.81	4.9	4.88
社会福祉	103	81	78.64	6	4, 4, 5		4.28	4.04	4.05	3.99	3.88	4.48	4.11	3.99	1.68	4.2	4.17	4.31	4.29
保育原理	96	87	90.62	6	5	5	4	3.6	3.61	3.48	3.41	3.72	2.97	3.07	1.84	3.33	3.63	3.41	3.43
日本国憲法	95	69	72.63	6	3	1	4.72	4.45	4.32	4.3	3.97	4.96	4.93	4.88	1.7	4.88	4.87	4.86	4.99
幼児音楽 I (再履修)	9	9	100.00	6	4	4	4	4	3.89	4	3.89	4.11	4.11	4.22	4.33	4.22	4.33	4.44	4.22
地域防災計画学 I	3	3	100.00	1, 2, 7		1	5	4.33	4.33	4.33	4	4	4.67	5	4.67	1.33	4.67	4.67	5
子どもとお話	56	50	89.29	1	4	5	4.34	4.32	4.44	4.29	4.24	4.58	4.44	4.32	2.32	4.34	4.26	4.55	4.56
子どもの造形と遊びA	35	30	85.71	5	4	1	4.33	4.27	4.3	4.23	4.17	4.21	4.23	4.27	2.07	4.28	4.2	4.23	4.27
教育心理学	75	57	76.00	6	4	4	4.14	4.14	4.12	4.11	4	4.44	4.32	4.26	2.42	4.42	4.37	4.46	4.4
子どもの音楽と遊び	38	30	78.95	4, 4, 5		5	4.23	4.3	4.23	4.13	4.03	4.33	4.3	4.23	2.2	4.13	4.17	4.27	4.3
スポーツ(講義)A	38	27	71.05	6	5	4	4.04	4.19	4.19	4.11	4.11	4.33	4.26	4.42	2.85	4.3	4.3	4.35	4.35
スポーツ(講義)B	36	22	61.11	6	4	4	3.91	3.86	3.91	3.86	3.86	4.09	4	4.14	2.05	4.05	4.14	4.23	4.19
教育課程総論	78	56	71.79	6	4	1	4.16	4.16	4.22	4.2	4.04	4.54	4.48	4.36	2.38	4.46	4.54	4.61	4.52
子どもの保健 II A	40	29	72.50	6	4	1	4.21	4.31	4.28	4.14	3.9	4.55	4.24	4.48	2.45	4.41	4.41	4.59	4.55
子どもの保健 II B	41	28	68.29	6	5	4	4.29	4.41	4.46	4.39	4.21	4.54	4.43	4.36	2.71	4.46	4.46	4.57	4.54
保育実習指導 I (2年生)	96	71	73.96	6	4	5	4.29	4.16	4.17	3.96	3.79	4.03	3.74	3.87	2.53	3.84	4.06	3.75	4
乳児保育 II	26	22	84.62	1	5, 1, 4		4.36	4.27	4.36	4.14	4	4.64	4.55	4.32	1.68	4.36	4.18	4.62	4.55
子どもの健康と運動	41	37	90.24	1, 4, 5		1	4.14	4.08	4.08	4.08	3.89	4.22	4.22	4.27	2.08	3.97	4.14	4.12	4.19
子どもの活動と自然	9	9	100.00	1	5, 1, 3, 4, 5		4.67	4.78	4.44	4.89	4.22	5	5	4.44	2	5	4.89	4.78	5
子どもの造形と遊びB	38	34	89.47	1	4	1	4.09	4.35	4.32	4.18	4.15	4.32	4.21	4.47	1.85	4.18	4.29	4.58	4.45
介護過程 I	7	7	100.00	6	2	1	3.57	3.29	3.71	2.86	2.71	4.43	3.43	3.71	2.14	3.71	4	3	3.57
介護の基本IV	7	7	100.00	6, 4, 5		5	4.14	3.14	3.86	3.86	3.86	4	3.86	3.86	2.57	4.14	3.86	4	4.14
介護の基本 II	7	7	100.00	6	1, 5, 6		4.71	4.43	4.57	4.43	4.29	4.57	4.57	4.71	3.86	4.29	4.71	4.71	4.71
生活支援技術B①	7	7	100.00	6	4, 2, 5, 6		4.71	4.57	4.57	4.57	4.57	4.86	4.71	4.86	3.71	4.57	4.71	4.71	4.71
発達と老化の理解	7	7	100.00	6	4	5	4.29	4.29	4.43	4.29	4.14	4.29	4	3.71	3.29	4.29	4.29	4.14	4.29
医療的ケア(講義)	7	7	100.00	6	1	5	4.29	4.14	4.57	4.29	4	4.57	4.29	4.57	3	4.14	4.43	4.43	4.57

## 鶴岡工業高等専門学校 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発平均	探求平均	熱意平均	教養平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均	板書平均	環境平均	オプション	総合平均
地域コミュニティ学 1年1組	160	160	100.00	6	5	5	3.75	4.06	3.73	3.43	3.58	3.87	3.84	3.42	1.22	4.04	4.22	4.67	3.98
国語 I 1年1組	40	40	100.00	6	1	5	4.42	3.92	4.47	4.12	4.12	4.55	3.98	4.1	2.12	4.18	4.65		4.51
地理 1年1組	40	40	100.00	6	5	1.8	4.12	4.15	4.08	3.82	3.85	4.62	4.45	3.92	1.48	4.18	4.55		4.38
数学 I 1年1組	40	40	100.00	6	4	5	4.32	3.92	4.22	3.88	3.82	3.95	4.12	3.42	3.02	4.03	4.05		4.26
数学 II 1年1組	40	39	97.50	6	4	1	4.23	4	4.23	3.77	3.92	4.44	4.21	4.21	2.64	4.08	4.36	4	4.42
英語 I 1年1組	40	40	100.00	6	5	1.5. 8	4.42	4.3	4.28	4.08	3.8	4.68	4.53	4.38	2.28	4.25	4.5	4	4.69
英語 I 1年1組	40	40	100.00	6	5	1	4.38	4.12	4.38	3.98	3.85	4.58	4.47	4.55	1.98	4.45	4.72	3.67	4.64
英語 II 1年1組	40	39	97.50	6	5	1	4.33	4.21	4.08	4	4.1	4.44	4.24	4.33	2.26	4.32	4.44	5	4.46
化学 I 1年1組	40	40	100.00	6	1. 5	5	4.21	4.1	4.12	3.92	3.98	4.18	4.15	3.72	2.28	4.28	4.32	5	4.3
音楽 1年1組	40	40	100.00	6	1	6	4.47	4.4	4.03	4	3.62	4.87	4.6	4.22	1.13	4.42	4.55		4.67
保健・体育(保健) 1年1組	40	40	100.00	6	3	1. 5	4.6	4.65	4.53	4.38	4.18	4.92	4.82	4.92	1.12	4.62	4.82	4.67	4.82
保健・体育(体育) 1年1組	40	40	100.00	6	1	5	4.6	4.6	4.32	4.28	4.03	4.92	4.8	4.65	1.18	4.62	4.75	5	4.84
情報リテラシー 1年1組	40	39	97.50	6	5	1. 5	4.38	4.05	4.45	4.08	3.85	4.28	4.33	3.92	1.9	4.51	4.46	3	4.42
国語 I 1年2組	40	40	100.00	6	5	1	4.05	3.62	4.15	3.9	3.8	4.22	3.82	3.92	2.02	4.15	4.62		4.28
地理 1年2組	40	40	100.00	6	5	1	3.8	3.95	3.95	3.62	3.62	4.3	3.98	4.03	1.65	3.85	4.3		4.03
数学 I 1年2組	40	39	97.50	6	4	5	3.92	3.82	4.05	3.67	3.59	3.82	3.54	3.44	2.9	3.56	4	4	3.87
数学 II 1年2組	40	39	97.50	6	5	5	3.85	3.85	3.95	3.56	3.54	4.28	4.13	4.26	2.53	3.79	4.14	4	4.15
英語 I 1年2組	40	39	97.50	6	1	5	4.08	4.08	4.26	3.72	3.54	4.67	4.51	4.38	2.23	4.13	4.44	4	4.49
英語 II 1年2組	40	39	97.50	6	3	1	3.87	3.72	3.97	3.72	3.51	4.56	4.21	4.62	1.59	4.31	4.64	4.67	4.56
英語 II 1年2組	40	40	100.00	6	5	1	3.8	3.95	3.92	3.42	3.22	4	3.88	4.08	2.41	3.92	4.13		4.13
化学 I 1年2組	40	40	100.00	6	4	5	4.15	3.95	4.22	3.88	3.68	4.05	4.1	3.82	2.4	4.13	4.28	4	4.2
音楽 1年2組	40	40	100.00	6	5	1	4.05	4.15	3.82	3.6	3.5	4.65	4.28	4.23	1.18	4.2	4.35		4.25
保健・体育(保健) 1年2組	40	40	100.00	6	5	3	4.35	4.42	4.3	3.64	3.59	4.7	4.68	4.62	1.18	4.44	4.44		4.6
保健・体育(体育) 1年2組	40	40	100.00	6	3	1	4.55	4.53	4.35	4.25	4.08	4.95	4.82	4.92	1.44	4.47	4.7		4.78
情報リテラシー 1年2組	40	40	100.00	6	1	5	4.08	3.7	4.2	3.7	3.32	4.22	4.05	3.68	1.51	4.22	4.55		4.31
国語 I 1年3組	40	40	100.00	6	5	5	4.25	3.42	4.28	4.03	3.85	4.53	3.98	4.03	2.05	4.22	4.22		4.4
地理 1年3組	40	40	100.00	6	5	1	3.6	3.68	3.68	3.18	3.28	4.22	3.72	3.52	1.35	3.75	4.15	3	3.88
数学 I 1年3組	40	40	100.00	6	5	5	4.1	3.82	4.08	3.78	3.62	3.98	3.65	3.38	2.75	3.22	3.9		4.05
数学 II 1年3組	40	40	100.00	6	5	1. 5	4.15	3.88	4.18	3.9	3.92	4.2	4.28	3.65	2.6	3.95	3.9	5	4.32
英語 I 1年3組	40	40	100.00	6	5	5	3.85	3.58	3.78	3.52	3.38	3.72	3.38	3.55	2.4	3.8	3.84	2.85	3.7
英語 II 1年3組	40	40	100.00	6	3	1. 2	4.36	3.8	4.03	3.85	3.75	4.47	4.35	4.6	1.95	4.03	4.38	4.38	4.65
英語 II 1年3組	40	40	100.00	6	5	1. 4	4.05	4.03	3.98	3.8	3.82	4.38	4.28	4.53	1.92	4.1	4.11	4.5	4.4
化学 I 1年3組	40	40	100.00	6	5	1	3.92	3.92	4	3.82	3.8	4.15	4.18	3.98	2.2	4.22	4.32		4.35
音楽 1年3組	40	40	100.00	6	5	2. 6. 7	3.92	3.95	3.92	3.52	3.6	4.5	4	3.9	1.15	4.22	4.18		4.15
保健・体育(保健) 1年3組	40	40	100.00	6	5	3	4.58	4.32	4.45	4.28	3.95	4.8	4.7	4.8	1.25	4.45	4.45	5	4.69
保健・体育(体育) 1年3組	40	40	100.00	6	3	5	4.47	4.45	4.28	4.38	4.25	4.82	4.72	4.8	1.36	4.28	4.51	5	4.65
情報リテラシー 1年3組	40	39	97.50	6	1	5	4.31	3.79	4.18	3.85	3.62	4.28	4.28	3.72	1.77	4.13	4.46		4.51
国語 I 1年4組	40	40	100.00	6	5	8	4.03	3.6	4.18	3.97	3.78	4.58	3.9	3.98	2.12	4.3	4.51		4.45
地理 1年4組	40	38	95.00	6	5	8	4.05	3.97	4.03	3.68	3.74	4.47	4.11	3.86	1.84	4.11	4.34		4.11
数学 I 1年4組	40	40	100.00	6	6	5	4.28	3.92	4.2	3.92	3.7	4.03	4.03	3.41	2.65	3.95	4.05	4	4.1
数学 II 1年4組	40	40	100.00	6	5	8	4.35	4	4.1	4.08	3.75	4.2	4.15	3.68	2.58	4.08	4.11	4.5	4.28
英語 I 1年4組	40	40	100.00	6	5	8	4.15	3.98	3.92	3.72	3.68	4.18	3.82	4.08	2.3	4	4.05	3.15	4.1
英語 II 1年4組	40	40	100.00	6	5	3	4.2	3.72	3.98	3.9	3.6	4.68	4.31	4.42	1.88	3.95	4.5	4.67	4.63
英語 II 1年4組	40	40	100.00	6	5	5	4.42	4.38	4.3	4.03	3.92	4.72	4.58	4.7	2.12	4.38	4.4		4.5
化学 I 1年4組	40	37	92.50	6	5	8	4.32	4.08	4.14	4.05	3.92	4.35	4.14	4	2.11	4.19	4.08	4.5	4.32
音楽 1年4組	40	40	100.00	6	5	5	4.38	4.4	4.15	4.03	3.82	4.75	4.45	4.45	1.9	4.42	4.47		4.62
保健・体育(保健) 1年4組	40	40	100.00	6	3	5	4.55	4.47	4.42	4.15	3.92	4.78	4.7	4.7	1.52	4.49	4.6	4	4.7
保健・体育(体育) 1年4組	40	40	100.00	6	3	1. 9	4.55	4.55	4.4	4.35	4.2	4.9	4.72	4.72	1.38	4.38	4.65		4.8
情報リテラシー 1年4組	40	40	100.00	6	5	8	4.25	3.7	4.05	3.75	3.5	4.32	3.95	3.74	2	4	4.28	4	4.05
国語 II 2M	40	40	100.00	6	5	7. 8	4.38	4.3	4.12	3.88	3.92	4.53	4.68	4.55	1.78	4.55	4.58	5	4.72
歴史 I 2M	40	40	100.00	6	3. 5	8	4.25	4.15	4.15	3.72	3.62	4.68	4.4	4.05	1.8	4.2	4.38	3.67	4.35
数学 III 2M	40	40	100.00	6	3. 4	1. 8	4.55	4.35	4.32	4.22	4.12	4.65	4.62	4.7	2.67	4.2	4.68	4.5	4.68
数学 IV 2M	40	40	100.00	6	1	8	3.98	4.05	4.18	3.8	3.78	3.82	3.5	3.65	2.38	3.65	3.92	3.25	3.77
英語 III 2M	40	40	100.00	6	4	8	4.15	3.92	4.22	4.05	3.95	4.59	4.55	4.45	2.33	4.32	4.44	5	4.47
英語 IV 2M	40	40	100.00	6	3. 4. 5. 6. 7. 8	5. 8	3.85	3.9	3.85	3.7	3.62	4.08	3.72	4.03	2.2	3.9	4.18	4.67	4.12
物理 I 2M	40	39	97.50	6	5. 4. 8	3. 87	3.54	3.69	3.72	3.62	4.08	3.59	3.72	2.21	3.9	4.05	3	3.97	
美術 2M	40	40	100.00	6	1	5. 8	4.42	4.35	4.3	4.08	4.05	4.45	4.28	4.4	1.75	4.18	4.5	4	4.47
保健体育 II 2M	40	40	100.00	6	1	6	4.5	4.58	4.1	4.2	3.82	4.6	4.45	4.4	2.15	4.1	4.24	3	4.41
情報処理 I 2M	40	40	100.00	6	5. 4. 8	4. 1	3.88	3.92	3.75	3.6	4.4	4.12	3.65	1.85	4.32	4.29	4.5	4.15	
電気基礎 I 2M	40	39	97.50	6	5	5	3.79	3.54	3.62	3.54	3.59	3.64	3.31	3.79	2.08	3.5	3.97	4.5	3.64
機械製図 2M	40	40	100.00	6	4	1	4.35	4.25	4.3	4.18	4.05	4.45	4.18	4.18	1.68	4.15	4.42	5	4.44
国語 II 2E	40	40	100.00	6	6	6	4.45	4.38	4.28	4.1	4.22	4.62	4.68	4.6	1.95	4.58	4.59	5	4.77
歴史 I 2E	40	40	100.00	6	6	6	4.3	4.28	4.08	4.15	4	4.68	4.62	4.4	1.95	4.45	4.5		4.53
数学 III 2E	40	40	100.00	6	6	6	4.4	4.15	4.28	4.2	4.15	4.32	4.32	4.03	2.6	4.32	4.4		4.36
数学 IV 2E	40	40	100.00	6	6	6	4.28	4.1	4.2	3.85	3.85	3.85	3.95	3.78	2.58	3.78	3.97		4.03
英語 III 2E	40	40	100.00	6	6	6	4.42	4.2	4.28	4.22	4.18	4.78	4.72	4.59	2.69	4.47	4.58	4.67	4.68
英語 IV 2E	40	35	87.50	6	6	6	4.31	4	4.14	4.17	4.06	4.26	4.2	4.26	2.32	4.37	4.44	4.5	4.29
物理 I 2E	40	40	100.00	6	6	6	4.4	4.05	4.4	4.18	4.18	4.47	4.5	4.4	2.6	4.4	4.55		4.6
美術 2E	40	40	100.00	6	6	6	4.47	4.55	4.28	4.35	4.15	4.58	4.55	4.47	1.8	4.47	4.64	5	4.56
保健体育 II 2E	40	39	97.50	6	6	2	4.46	4.69	4.26	4.15	4.15	4.31	4.18	4.31	2.31	4.08	4.05	3	4.31
プログラミング演習 2E	40	40	100.00																

## 鶴岡工業高等専門学校 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発平均	探求平均	熱意平均	教養平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均	板書平均	環境平均	オプション	総合平均
物理 I 2B	40	40	100.00	6	6	5	3.9	3.48	3.75	3.62	3.65	4.26	3.58	3.88	2.4	3.8	3.92	3.67	3.82
美術 2B	40	40	100.00	6	7	6	4.42	4.5	4.32	4.35	4.32	4.75	4.58	4.54	1.92	4.45	4.62	4.43	4.69
保健体育 II 2B	40	40	100.00	6	6	6	4.53	4.5	4.25	4.28	4	4.5	4.35	4.47	2.38	4.15	4.4	4	4.53
分析化学 2B	40	40	100.00	6	6	5	4.45	4.2	4.53	4.3	4.3	4.58	4.58	4.55	2.44	4.33	4.53	2	4.66
物質化学実験 2B	40	40	100.00	6	6	5	4.58	4.47	4.5	4.5	4.47	4.68	4.58	4.65	2.98	4.5	4.62	4.5	4.59
総合工学 II 2B	160	157	98.13	6	6	6	3.53	3.75	3.61	3.29	3.42	3.82	3.57	3.19	1.46	3.79	3.84	3.82	3.63
工学実験・実習 I 2B	40	40	100.00	6	6, 4, 5	5	4.47	4.5	4.5	4.38	4.47	4.62	4.62	4.68	3.05	4.45	4.55	5	4.67
歴史 II 3M	40	40	100.00	6	3	5	4.35	4.32	4.25	4.15	4	4.62	4.6	4.3	1.7	4.25	4.49	5	4.55
政治・経済 3M	40	40	100.00	6	5	8	4.05	4.03	4.12	3.92	3.9	4.3	4.22	4.12	1.75	4.26	4.08	5	4.21
数学 V 3M	40	39	97.50	6, 3, 4	5	5	4.38	4.36	4.38	4.28	4.13	4.46	4.62	4.23	2.41	4.34	4.46	5	4.59
数学 VI 3M	40	38	95.00	6, 4, 5	4	4	4.08	3.97	4.11	3.97	3.87	4.32	3.82	3.84	2.29	4	4.29		4.29
物理 II 3M	40	39	97.50	6	4	5	4	3.28	3.77	3.72	3.54	4.51	4.21	4.21	2.44	4.31	4.28	5	4.18
保健・体育 III 3M	40	39	97.50	6	3, 1, 5	4	4.44	4.41	4.44	4.41	4.37	4.72	4.72	4.69	1.97	4.31	4.26	4.5	4.64
国語 III 3M	40	40	100.00	6	5, 2, 5, 7, 8	4	4.28	4.3	4.15	4.1	4.03	4.62	4.6	4.35	1.6	4.35	4.42		4.53
英語 III 3M	40	40	100.00	6	5	5	4.3	4.22	4.3	4.12	4.22	4.42	4.42	4.3	2.35	4.38	4.47	4.75	4.4
情報処理 II 3M	40	40	100.00	6	5	4	4.32	3.88	4.12	3.98	4.03	4.35	4.25	3.98	1.85	4.35	4.5		4.23
応用物理 I 3M	40	40	100.00	6	4	8	3.95	3.65	3.9	3.65	3.6	4.62	4.2	3.88	2.38	4.33	4.55	3	4.24
材料力学 I 3M	40	40	100.00	6	4	4	3.78	3.5	3.78	3.58	3.52	4.22	3.55	3.6	1.98	3.6	3.85	4	3.79
材料工学 I 3M	40	40	100.00	6	4	5	3.9	3.58	3.82	3.58	3.52	4.18	3.88	3.7	2.12	3.88	3.98		3.88
生産加工学 3M	40	40	100.00	6	4	5	4.2	4.18	4.18	4.08	4.05	4.25	4.2	4.18	1.92	4.28	3.88		4.32
電気基礎 II 3M	40	40	100.00	6	5	4	4.08	3.88	4.03	3.82	3.85	3.92	3.78	3.97	2.05	4.08	4.15	5	4.05
歴史 II 3E	41	41	100.00	6	5, 4, 5	4	4.39	4.22	4.15	4.07	4.05	4.56	4.59	4.34	2.29	4.39	4.53	4	4.6
政治・経済 3E	41	41	100.00	6	5	1	4.05	4.1	4.02	3.88	3.85	4.24	4.1	4.12	1.9	4.17	4.1	2.5	4.15
数学 V 3E	41	41	100.00	6	5	5	4.22	4.12	4.2	4.1	4.05	4.51	4.2	3.93	2.76	4.2	4.22	4	4.38
数学 VI 3E	41	41	100.00	6, 5, 6	5	5	4.34	4.2	4.2	4.17	4.2	4.37	4.39	4.39	2.55	4.12	4.22	2.59	4.44
物理 II 3E	41	41	100.00	6	5	5	3.66	3.63	3.78	3.59	3.54	3.63	3.44	3.29	2.27	3.61	3.59	2.8	3.49
保健・体育 III 3E	41	41	100.00	6, 1, 5	1	4	4.46	4.49	4.51	4.44	4.39	4.78	4.68	4.73	2.15	4.41	4.61	4.71	4.62
国語 III 3E	41	41	100.00	6	5	5	4.29	4.27	4.12	3.93	3.9	4.66	4.51	4.41	1.95	4.07	4.27	4.33	4.44
英語 V 3E	41	41	100.00	6	5, 2, 5	4	4.12	4.02	3.98	4	3.9	4.37	4.22	4.17	2.39	4.18	4.17	4.5	4.18
英語 VI 3E	41	40	97.56	6	5	2	4.22	4.22	4.18	4.2	4.1	4.3	4.35	4.38	2.6	4.25	4.28	4.4	4.36
応用物理 I 3E	41	40	97.56	6, 2, 4	5	5	4.15	4.12	4.2	4.08	4.1	4.42	4.45	4.28	2.55	4.47	4.38	4	4.5
電気磁気学 II 3E	41	41	100.00	6	6, 4, 6	4	4.12	3.93	4.07	3.95	4.02	4.27	4.29	4.05	2.39	4.17	4.12	4.17	4.24
電気回路 II 3E	41	41	100.00	6	4, 1, 5	4	4.17	4.12	4.12	4.05	3.98	4.24	4.18	4.05	2.5	4.07	4.2	4.39	4.32
電気機器 I 3E	41	40	97.56	6	4	5	4.47	3.95	4.28	4.38	4.08	4.55	4.5	4.28	2.45	4.42	4.47		4.62
電子工学 3E	41	41	100.00	6	4	4	4	3.44	3.9	3.8	3.85	4.02	3.56	3.9	2.51	3.66	3.9	3.5	4.05
工学実験・実習 II 3E	41	41	100.00	6	1	5	4.49	4.22	4.44	4.34	4.32	4.41	4.29	4.51	3.46	4.39	4.34	4	4.49
歴史 II 3I	41	39	95.12	6	5	5	4.31	4.23	4.03	3.77	3.67	4.46	4.51	3.74	1.77	4.28	4.38	4	4.46
政治・経済 3I	41	38	92.68	6	5	1	3.84	4.03	3.84	3.58	3.26	4.08	3.79	3.58	1.58	3.76	3.79	4	3.84
数学 V 3I	41	39	95.12	6, 4, 5	5	5	3.92	3.79	3.95	3.74	3.59	3.56	3.32	3.67	2.26	3.62	3.72	3.17	3.68
数学 VI 3I	41	39	95.12	6	5, 1, 5	3	3.92	3.9	3.92	3.67	3.59	4.05	3.49	3.33	1.97	3.62	3.85	4	3.86
物理 II 3I	41	39	95.12	6	5, 1, 6	3	3.64	3.38	3.54	3.33	3.33	3.92	3.64	3.64	1.56	3.68	3.77	3.5	3.77
保健・体育 III 3I	41	40	97.56	6	5	3	4.35	4.45	4.25	4.2	3.95	4.78	4.7	4.72	2.12	4.38	4.33	4.2	4.49
国語 III 3I	41	39	95.12	6	5, 1, 2, 3, 8	4, 1	3.92	3.87	3.59	3.5	4.33	4.13	4.18	4.19	3.89	4.03			4.1
英語 VI 3I	41	39	95.12	6	5	1	3.74	3.62	3.62	3.41	3.36	3.77	3.56	3.56	1.79	3.85	3.82	3.33	3.67
応用物理 3I	41	40	97.56	6	5	1	3.48	3.48	3.62	2.95	2.8	4.12	3.38	3.08	1.78	3.8	4.32	4	3.55
プログラミング演習 3I	41	39	95.12	6	4	5	4.05	4.05	4.08	3.9	3.82	3.97	3.82	3.54	2.08	4.15	4.11	3.78	4.08
材料力学 3I	41	39	95.12	6	5	4	3.92	3.87	4	3.64	3.62	4.08	4.03	3.9	1.92	3.9	4	3.8	4.13
電気工学 3I	41	40	97.56	6	4	1	4.05	3.45	3.8	3.58	3.4	4.15	3.72	3.59	1.79	4.05	4.08	3.5	3.95
マイクロコンピュータ 3I	41	40	97.56	6	4	5	3.55	3.48	3.52	3.45	3.25	3.02	3.08	3.02	1.64	3.55	3.72	4	3.35
工学実験・実習 II 3I	41	41	100.00	6	4	1	4.44	3.98	4.29	4.07	3.73	4.37	4.29	4.42	2.25	4.49	4.39	4	4.38
機械・電気製図 3I	41	38	92.68	6, 4, 5	5	4	4.13	4.08	4.26	3.89	3.58	3.82	3.66	3.82	1.66	3.84	4.34	4.67	4.03
歴史 II 3B	42	40	95.24	6	5, 1, 5	4	4.65	4.55	4.53	4.4	4.38	4.78	4.78	4.5	2.22	4.7	4.72	4.67	4.8
政治・経済 3B	42	37	88.10	6	5	1	4.35	4.14	4.14	3.92	3.84	4.54	4.16	4.27	1.97	4.19	4.38	4.5	4.35
数学 V 3B	42	42	100.00	6	1	5	3.76	3.31	3.52	3.21	3.37	3.45	3.02	3.44	2.79	3.29	3.33	3.67	3.49
数学 VI 3B	42	41	97.62	6	5	1	4.37	4.2	4.22	4.07	4.1	4.72	4.47	4.51	2.98	4.58	4.7	4.67	4.68
物理 II 3B	42	42	100.00	6	5, 1, 4, 5	4	4.52	4.38	4.48	4.43	4.39	4.79	4.76	4.71	3.12	4.73	4.73	4.75	4.76
保健・体育 III 3B	42	42	100.00	6	1	1	4.67	4.73	4.45	4.6	4.5	4.86	4.81	4.83	2.75	4.67	4.8	4.75	4.88
国語 III 3B	42	39	92.86	6	5	1	4.51	4.38	4.46	4.28	4.1	4.72	4.59	4.69	2.39	4.54	4.64	4.67	4.7
英語 V 3B	42	42	100.00	6	5	5	4.45	4.33	4.43	4.26	4.24	4.71	4.64	4.64	2.67	4.55	4.6	4.5	4.64
英語 VI 3B	42	41	97.62	6	5	5	4.39	4.2	4.27	4.2	4.15	4.59	4.54	4.41	2.8	4.49	4.54	4.33	4.49
応用物理 I 3B	42	40	95.24	6	1	5	4.35	4.03	4.15	4.15	4.05	4.75	4.62	4.5	2.9	4.65	4.68	4.57	4.7
物理化学 3B	42	42	100.00	6	1	4	4.45	4.38	4.36	4.31	4.07	4.69	4.74	4.39	2.76	4.64	4.79	4.8	4.76
無機化学 3B	42	41	97.62	6	4	5	3.93	3.28	3.44	3.54	3.51	3.88	3.22	3.52	2.34	3.41	4.1	3.75	3.54
有機化学 3B	42	42	100.00	6	4	5	4.55	4.31	4.45	4.45	4.38	4.76	4.62	4.64	2.84	4.57	4.6	3.19	4.76
基礎生物学 3B	42	41	97.62	6, 5, 7	4	4	4.29	4.17	4.32	4.02	4.02	4.18	4	4	2.44	3.98	4.32	4.4	4.15
物質化学実験 3B	42	42	100.00	6	1	1	4.71	4.48	4.69	4.55	4.5	4.81	4.79	4.86	2.85	4.69	4.79	4.82	4.83
保健・体育 4M	42	42	100.00	6	5	4	4.62	4.62	4.48	4.43	4.43	4.74	4.52	4.79	2.62	4.4	4.57		4.71
情報処理 IV 4M	42	41	97.62	6	5	4	3.1	2.54	2.93	2.9	2.98	2.9	2.41	2.48	1.95	3	3.68		2.71
応用数学 4M	42	42	100.00	6	5	4	4.26	4.05	4.12	3.93	3.83	4.31	4.5	4.51	2.54	4.33	4.38		4.45
応用物理 4M	42	41	97.62	6	4	1	3.88	3.41	3.73	3.49	3.44	4.32	3.68	3.49					

## 鶴岡工業高等専門学校 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発平均	探求平均	熱意平均	教養平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均	板書平均	環境平均	オプション	総合平均
データ構造 4I	41	41	100.00	6,4,5		4	4.1	3.93	4.22	3.63	3.34	4.32	3.98	4.02	1.93	3.9	4.39	2.54	4.17
材料力学 4I	41	41	100.00	6	5,4,5,8		3.63	3.07	3.32	3.02	2.98	3.73	2.78	2.98	1.73	2.88	3.68	4	3.22
ロボット機構学 4I	41	41	100.00	6	5	8	4.02	3.51	4.2	3.8	3.63	4.54	3.95	4.66	1.83	4.15	4.24	5	4.1
論理回路 4I	41	41	100.00	6	3	1	4.44	4.37	4.32	4.1	3.73	4.68	4.73	4.75	1.78	4.37	4.66		4.63
電気工学演習 4I	41	41	100.00	6	3	5	4.2	3.85	4.02	3.83	3.48	4.76	4.54	4.63	1.93	4.24	4.56	5	4.51
制御工学 I 4I	41	41	100.00	6	5	4	4.05	3.95	4.2	3.76	3.59	4.41	4.17	3.98	1.75	4.07	4.3		4.34
工業英語 4I	41	41	100.00	6	5	8	3.51	3.88	3.78	3.41	3.24	3.9	3.49	3.93	1.85	3.88	3.9	3.51	3.73
制御情報工学実験・実習 4I	41	40	97.56	6	5	4	4.3	3.72	4.3	3.92	3.9	3.92	3.82	3.98	2	4.13	4.33	3.5	3.98
アルゴリズム演習 4I	30	30	100.00	6,4,5		4	4.33	3.7	4.37	4.03	3.87	4.17	4	4	2.57	4.27	4.13	3	4.13
水力学 4I	11	11	100.00	6	5	1	4.45	4.09	4.27	4.18	3.55	4.36	4.45	4.82	1.91	4.36	4.73		4.55
保健・体育 4B	48	44	91.67	6	5	8	4.75	4.77	4.7	4.61	4.66	4.82	4.77	4.82	2.38	4.61	4.68	5	4.81
応用数学 4B	48	45	93.75	6	5	4	4.16	3.96	4.18	3.93	3.87	4.44	4.18	4.2	2.27	4.36	4.18	4.25	4.4
応用物理 4B	48	45	93.75	6	5	8	4.16	3.47	3.82	3.69	3.58	4.36	3.67	3.96	2.44	3.98	4.05	3	3.89
物理学 4B	48	46	95.83	6	5	4	4.3	3.93	4.2	4.02	3.96	4.61	4.46	4.31	2.48	4.54	4.54	4.63	4.52
機器分析 4B	48	46	95.83	6	5	4	4.11	3.87	4.09	3.98	3.91	4.59	4.22	4.33	2.28	4.28	4.46	4	4.39
無機化学 4B	48	47	97.92	6	5	5	4.19	4.21	4.23	3.89	3.74	4.57	4.26	4.43	2.26	4.11	4.39	4	4.38
有機化学 4B	48	46	95.83	6	5	4	4.41	4.02	4.41	4.17	3.91	4.7	4.46	4.22	2.39	4.24	4.41	4.33	4.54
生物化学 4B	48	46	95.83	6	5,4,8		3.76	3.8	3.91	3.61	3.56	3.93	3.38	3.78	2.13	3.8	3.95	4	3.93
工業英語 4B	48	47	97.92	6	5,8		3.94	3.4	3.7	3.51	3.7	4.38	3.91	4.09	2.37	4.17	4.2	3.6	4.07
電気工学概論 4B	48	47	97.92	6	5	8	4.19	4.02	4.13	3.81	3.91	4.45	4.23	4.57	2.38	4.34	4.26		4.23
材料化学 4B	48	45	93.75	6	5	5	4.38	4.53	4.51	4.22	4.11	4.71	4.69	4.11	2.33	4.62	4.49	4.67	4.64
化学工学 4B	48	47	97.92	6	5	5	3.72	3.57	3.72	3.49	3.53	4.11	3.62	3.79	2.13	4.13	3.98	4.5	3.89
物質工学実験 4B	48	46	95.83	6	5	5	4.26	4.17	4.43	4.15	4.28	4.59	4.33	4.48	2.93	4.39	4.41	4.5	4.41
物質工学演習 4B	48	47	97.92	6	5,4,8		4.26	4.19	4.23	4.11	4.19	4.43	4.34	4.17	2.39	4.4	4.36	4	4.49
材料工学実験 4B	19	19	100.00	6,4,5	4,5		4.47	4	4.32	4.05	4.37	4.63	4.21	4.58	3.63	4.47	4.68	4.5	4.21
生物学実験 4B	29	27	93.10	6	5	8	4.44	4.22	4.52	4.26	4.3	4.59	4.56	4.63	2.7	4.41	4.33		4.44
保健・体育 5M	41	39	95.12	6	5	8	4.49	4.49	4.36	4.41	4.33	4.54	4.33	4.56	1.1	4.05	4.28	5	4.42
応用数学 5M	41	41	100.00	6	5	8	3.76	3.68	3.66	3.63	3.66	3.78	3.98	3.54	1.85	3.8	3.83	2	3.9
材料化学 5M	41	41	100.00	6	5	4	4.1	4.05	4.12	3.93	3.95	4.27	4.2	4.12	1.76	4.1	4.17		4.22
機械工学 II 5M	41	39	95.12	6,4,5	4,8		3.74	3.23	3.54	3.31	3.28	4.08	3.38	3.85	1.51	3.53	3.87	3.79	3.73
熱力学演習 5M	41	40	97.56	6	4	4	4.38	3.85	4.08	3.98	3.9	4.32	4.12	4.12	2.08	4.05	4.2	5	4.26
水力学演習 5M	41	35	85.37	6	4	1	3.6	2.97	3.63	3.26	3.31	4.09	3.97	4.06	1.91	4.11	4.03	5	3.67
制御工学 5M	41	41	100.00	6	5	4	3.98	3.68	3.93	3.78	3.8	4.2	4.15	4.12	1.8	4.17	4.17	4.25	4.17
数値解析 5M	41	41	100.00	6	5	8	3.41	3.02	3.39	3.05	3.05	3.78	3.1	3.68	1.37	3.44	3.85	1	3.41
メカトロニクス 5M	41	41	100.00	6	5	4	3.93	3.88	4	3.76	3.83	3.73	3.8	3.83	1.39	3.8	3.9	3.5	4.02
機械工学実験 II 5M	41	39	95.12	6	4	1	4.28	4.1	4.28	4.08	4	4.15	4.1	4.13	2.08	4	4.08	5	4.19
機械設計製図 II 5M	41	39	95.12	6	5	4	3.59	3.1	3.69	3.15	3.54	4.03	3.26	3.79	2.46	3.82	3.95	1	3.5
保健・体育 5E	35	33	94.29	6	1	3	4.33	4.33	4.21	4.18	4.06	4.27	3.94	4.18	1.82	3.82	4.03	4.5	4.3
情報処理 5E	35	33	94.29	6	5,3,5		3.58	3.27	3.39	3.36	3.3	3.52	3.21	3.3	1.73	3.34	3.53	3.33	3.42
応用数学 5E	35	33	94.29	6	5,5,6		4.18	3.97	4.06	3.88	3.85	4.61	4.45	4.36	1.84	4.12	4.39	4.33	4.33
発変電工学 5E	35	34	97.14	6	4	1	4.26	3.88	4.18	3.82	3.62	4.38	4.44	4.18	1.59	4.18	4.21		4.47
制御工学 5E	35	27	77.14	6	5	6	2.93	3.04	3.11	3	3.04	2.85	2.63	2.52	1.31	2.56	2.78	3.25	2.7
電気電子工学実験・実習 5E	35	33	94.29	6,2,6		5	3.91	3.88	3.94	3.82	3.91	3.85	3.7	3.79	2.18	3.88	3.82	3.6	4
ソフトウェア工学 5E	6	5	83.33	1,2,7		5	3	2.8	3.2	2.8	2.8	2.8	3	2.8	1.4	3.2	3.2	2	3
電気法規及び電気施設管理 5E	29	28	96.55	1,1,4		5	3.93	3.89	4.07	3.82	3.71	4.11	4	4	1.89	3.75	3.82	4	4.07
電子回路設計 5E	6	6	100.00	1,7		5	3.67	4	4	4	3.67	3.5	3.67	1.83	3.67	3.67	4	3.83	
電気機器設計 5E	29	27	93.10	1	5	5	3.7	3.58	3.63	3.59	3.56	3.74	3.7	3.62	1.81	3.64	3.62	3.75	3.69
保健・体育 5I	42	42	100.00	6	1	8	4.14	4.21	3.98	3.95	3.76	4.21	3.83	4.1	1.25	3.8	3.5		3.95
応用数学 5I	42	42	100.00	6,1,5,6		4	3.71	3.88	3.81	3.48	3.41	3.81	4.1	3.02	1.52	3.83	3.95		3.93
信号処理 5I	42	37	88.10	6	5,4,7,8,10		3.7	3.24	3.7	3.43	3.19	4.11	3.86	3.51	1.49	3.84	4.03	3	3.81
情報ネットワーク 5I	42	39	92.86	6	4,3,4,5,7,8		3.13	2.82	3.21	2.87	2.79	3.87	2.67	3.74	1.28	2.87	3.33	3	3.03
制御工学 II 5I	42	40	95.24	6	4	8	3.55	3.18	3.48	3.15	3.2	3.7	3.35	3.52	1.72	3.72	3.85	3.6	3.68
工業英語 5I	42	41	97.62	6	5	4	3.07	3.05	3.07	2.76	2.73	3.59	2.49	3.59	1.54	2.9	3.46	3	3.05
制御情報工学実験・実習 5I	42	37	88.10	6	5	4	3.86	3.68	4	3.68	3.59	3.95	3.54	3.97	1.89	3.92	3.89	3	3.78
保健・体育 5B	38	38	100.00	6	1	7	4.55	4.55	4.37	4.37	4.29	4.53	4.47	4.29	4	4.18	4		4.5
情報処理演習 5B	38	35	92.11	6	5	8	3	2.91	3	2.69	2.83	3.24	2.66	2.97	1.74	3.23	3.2	2	2.83
物質工学特別講義 5B	38	37	97.37	6	5	1	3.97	3.81	4.19	4.08	4.19	4.14	3.92	4.03	2.51	4.25	4.22	4.17	4.22
反応工学 5B	38	35	92.11	6	5	4	3.74	3.6	3.57	3.57	3.51	3.66	3.6	3.56	2.09	3.74	3.65	3	3.74
環境とエネルギー 5B	38	38	100.00	6	4	5	3.58	3.61	3.68	3.47	3.45	3.58	3.61	3.42	1.68	3.59	3.58	4	3.63
工業英語 5B	38	38	100.00	6	4,4,5		3.51	3.38	3.53	3.41	3.44	3.51	3.46	3.45	1.59	3.95	3.86	2	3.55
無機材料化学 5B	23	23	100.00	6	4	5	4.22	4.22	4.26	4.09	3.96	4.3	4.39	3.55	1.64	4.09	4.39	4	4.3
生物物理学 5B	15	14	93.33	6	4,5,8		4.14	4.07	4.07	3.79	3.93	4.21	4.14	4.14	2.07	4.14	4.07	3	4.21
語学演習(阿部) 5共	49	30	61.22	6	5	8	3.87	3.7	3.77	3.63	3.57	3.83	3.93	3.83	1.6	3.9	3.97	4.33	3.97
語学演習(田邊) 5共	92	88	95.65	6	5	3	3.78	3.67	3.73	3.56	3.47	4.01	3.92	3.94	1.62	3.89	3.94	4	3.99
語学演習(首野) 5共	14	14	100.00	6	5	5	4.07	3.79	3.86	3.86	3.57	4.21	4.29	4.31	1.71	3.86	4.15		4.21
生産工学 5共	84	80	95.24	1	5	3	3.95	3.92	3.98	3.78	3.7	3.91	3.98	3.55	1.95	4.05	3.92	3.43	4.01
国際政治 5共	37	36	97.30	1	5	1	3.97	3.92	4.06	3.94	3.69	4.03	3.97	3.36	2	4.03	4.06	4	4.03
医療福祉機器工学 5共	58	56	96.55	5	1	3	4.38	4.12	4.32	4.2	4.07	4.77	4.59	4.54	1.65	4.43	4.41	4	4.55
数理科学 5共	27	26	96.30	1	2,3,5		4.08	3.31	4.04	3.65	3.65	4.19	3.92	3.77	1.5	4.38	4.04	5	4.12
環境生態学 5共	35	34	97.14	1	5	7	4.03	3.88	3.97	3.85	3.74	4.06	4.06	3.79	1.79	3.76	3.97	3	3.94
デジタル制御システム 5共	71	43	60.56	1	5	3	3.42	3.05	3.37	3.3									

## 了徳寺 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教養平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均	板書平均	環境平均	オプション	総合平均
武道文化論	273	260	95.24	9	6	1	1.68	4.28	4.19	4.22	4.31	4.3	4.57	4.1	3.83	4.35	4.28	4.07	4.19
文化人類学	188	146	77.66	2	4	10	1.59	2.97	2.54	2.78	3.3	3.32	3.01	2.43	2.27	3.13	2.78	2.86	3.35
心理学[理・整]	162	156	96.30	9	5	1	1.44	4.38	4.28	4.39	4.31	4.35	4.36	4.45	4.31	4.44	4.44	4.47	4.36
心理学[看]	122	112	91.80	9	1	5	1.37	4.22	4.19	4.24	4.27	4.24	4.16	4.27	4.15	4.24	4.3	4.3	4.2
情報処理演習Ⅰ[理A]	44	44	100.00	9	1	1	1.25	4.64	4.45	4.57	4.41	4.5	4.5	4.61	4.27	4.61	4.55	4.61	4.5
情報処理演習Ⅰ[理B]	43	40	93.02	9	4	1	1.17	4.49	4.41	4.51	4.46	4.44	4.28	4.41	4.18	4.49	4.21	4.41	4.33
情報処理演習Ⅰ[整A]	38	32	84.21	9	6	1	1.25	4.59	4.56	4.53	4.53	4.41	4.34	4.41	4.16	4.62	4.47	4.47	4.41
情報処理演習Ⅰ[整B]	37	37	100.00	9	5	6	1.4	4.54	4.35	4.54	4.46	4.43	4.27	4.43	4.22	4.65	4.32	4.51	4.46
情報処理演習Ⅰ[看A]	61	53	86.89	9	1	6	1.09	4.48	4.44	4.42	4.38	4.37	4.38	4.4	4.38	4.48	4.4	4.42	4.38
情報処理演習Ⅰ[看B]	61	45	73.77	9	6	1	1.67	4.62	4.56	4.56	4.56	4.58	4.49	4.56	4.49	4.62	4.62	4.71	4.64
総合英語Ⅰ[火1]	18	18	100.00	9	6	5	1.25	4.06	3.83	4	4.06	4.28	4.44	4.22	4.28	4.33	4.22	4.28	4.22
総合英語Ⅰ[火1]	24	22	91.67	9	6	3, 9	1	4.55	4.45	4.36	4.23	4.27	4.55	4.64	4.59	4.32	4.55	4.41	4.27
総合英語Ⅰ[火2]	20	20	100.00	9	4	6	2	3.15	3.05	3.11	3.3	3.3	2.8	2.5	2.8	2.55	2.45	2.95	3.1
総合英語Ⅰ[火2]	10	10	100.00	9	5	1, 6	1	4.1	3.9	3.9	4	4.3	4.1	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3
総合英語Ⅰ[火2]	16	16	100.00	9	6	6	1	4.25	4	4.12	4	4.06	4.44	4.44	4.69	4.31	4.44	4.31	4.31
総合英語Ⅰ[水1]	28	25	89.29	9	6	1	2	4.44	4.4	4.24	4.4	4.48	4.64	4.48	4.52	4.32	4.4	4.68	4.64
総合英語Ⅰ[水1]	25	20	80.00	9	6	10	2	3.5	2.9	3.3	3.3	3.15	3	2.45	3.3	3.05	2.65	3	3.3
総合英語Ⅰ[水1]	14	13	92.86	9	2	9	2	4.69	4.54	4.69	4.85	4.85	4.92	4.92	4.92	4.92	4.92	4.92	4.92
総合英語Ⅰ[水2]	20	18	90.00	9	6	10	2.17	4.78	4.67	4.72	4.67	4.72	4.83	4.89	4.89	4.83	4.83	4.72	4.82
総合英語Ⅰ[水2]	24	23	95.83	9	6	10	2	3.65	2.78	3	3.57	3.65	3.39	2.65	3.3	3.48	2.74	3.39	3.65
総合英語Ⅰ[水2]	11	9	81.82	9	1, 6	3	2.5	4	4.22	4.44	4.33	4.44	4.44	4.33	4.33	4.22	4.56	4.44	4.22
総合英語Ⅰ[木2]	20	20	100.00	9	5	1, 6	1.5	4.85	4.75	4.9	4.9	4.8	4.95	4.95	4.85	4.9	4.9	4.95	4.95
総合英語Ⅰ[木2]	26	24	92.31	9	6	1	1.67	3.29	2.79	3.5	3.46	3.58	3.54	2.98	2.96	2.9	2.25	3.58	2.62
総合英語Ⅰ[木2]	19	18	94.74	9	6	10	1	4.83	4.61	4.67	4.44	4.44	4.89	4.61	4.83	4.78	4.67	4.61	4.72
総合英語Ⅰ[木2]	11	10	90.91	9	5, 6	1	2	4.5	4	4.2	4.5	4.4	4.5	4.4	4.4	4.5	4.5	4.4	4.4
中国語入門[理]	51	49	96.08	2, 4, 6	6	1.25	3.73	3.45	3.57	3.71	3.82	3.86	3.31	3.65	3.8	3.33	3.71	3.69	
中国語入門[整・看]	34	32	94.12	1, 1, 6	6	1.4	4.22	4	4.25	4.38	4.38	4.59	3.97	4.59	4.38	3.84	4.34	4.44	
朝鮮語入門	38	30	78.95	1	6, 10	2	4.13	3.8	4	4.33	4.33	4.57	4.27	4.27	4.47	4.27	4.13	4.17	
現代生物学[前期]	198	158	79.80	5	5	1	1.69	3.96	3.7	3.97	4.03	4.03	4.1	3.8	3.77	4.13	3.99	4.04	4.08
現代物理学[水5]	76	41	53.95	2	2	1	2.88	4.22	4.27	4.39	4.39	4.34	4.54	4.49	4.27	4.51	4.46	4.44	4.44
現代社会学	151	133	88.08	2	4	3	1.96	3.92	3.86	3.98	3.96	4	4.17	3.98	3.94	3.86	4.06	3.63	3.98
スポーツ理論と実習Ⅰ[理]	87	85	97.70	9	1	1	1.25	4.69	4.6	4.26	4.35	4.38	4.54	4.42	4.45	4.59	4.56	4.31	4.45
スポーツ理論と実習Ⅰ[整]	76	73	96.05	9	5	1	1.4	4.62	4.67	4.73	4.6	4.62	4.84	4.81	4.84	4.71	4.68	4.36	4.44
スポーツ理論と実習Ⅰ[看]	122	100	81.97	9	1	10	1.38	4.35	4.42	4.28	4.34	4.35	4.37	4.32	4.36	4.32	4.32	4.31	4.31
現代経済学	66	53	80.30	2	6	10	1.43	3.58	3.42	3.66	4.04	4.04	3.79	3.51	3.34	3.7	3.66	3.79	3.94
芸術表現Ⅰ(造形の感性と創造)[理]	20	20	100.00	1, 9	1	6	1.75	4.75	4.8	4.65	4.35	4.45	4.85	4.75	4.75	4.85	4.65	4.75	4.8
芸術表現Ⅱ(書の感性と創造)[理]	67	67	100.00	9	6	4	1.12	4.18	4.12	4.1	4.07	4.07	3.93	3.99	3.97	4.09	4.09	4.1	3.97
芸術表現Ⅱ(書の感性と創造)[看B]	61	54	88.52	9	1	6	2.25	4.24	4.31	4.33	4.22	4.26	4.35	4.22	4.37	4.46	4.22	4.24	4.22
芸術表現Ⅰ(造形の感性と創造)[看A]	61	58	95.08	9	1	6	1.6	4.48	4.57	4.53	4.47	4.48	4.52	4.51	4.57	4.6	4.59	4.55	4.41
人間関係実践演習Ⅰ(医療教養)[整]	89	86	96.63	9	2	6	1.88	3.91	3.99	4.08	3.98	3.95	3.97	4.09	3.69	4.08	4.19	4.15	4.05
人間関係実践演習Ⅰ(医療教養)[看]	76	71	93.42	9	2	1, 5, 6	1.7	3.89	4.01	4.1	4.01	4.14	4	4.04	3.42	4.17	4.31	4.28	3.97
人間関係実践演習Ⅲ[理]	88	80	90.91	9	5	1	1.29	4.14	4.08	4.18	4.1	4.11	4.16	4.1	4.12	4.11	4.12	4.11	4.14
人間関係実践演習Ⅲ[整]	73	58	79.45	9	5	10	1.73	3.9	4.03	4.21	4.16	4.05	4.36	4.07	3.93	4.26	4.17	4.09	4.03
実践医療英語Ⅰ(理・整)	31	30	96.77	6	1, 5, 6	1	1.33	3.93	3.9	3.9	4.03	4.13	3.83	3.83	4.03	4	3.97	3.9	
実践医療英語Ⅰ(理・整)	29	28	96.55	6, 1, 6	1	1.61	4.54	4.25	4.29	4.14	4.25	4.86	4.75	4.79	4.64	4.61	4.61	4.29	
実践医療英語Ⅰ(木3)	21	17	80.95	9	6	1, 2, 3, 6, 10	1.86	4.18	4.18	4.12	4.06	4.24	4.71	4.47	4.71	4.41	4.41	4.35	4.71
実践医療英語Ⅰ	18	12	66.67	9	1	6	1.67	3.91	3	3.09	3	3	3.18	2.91	3.27	3.27	3	3.27	3.18
実践医療英語Ⅰ	24	20	83.33	9	6, 1, 10	1.58	3.25	2.95	3.35	3.35	3.3	3.5	3.2	3.6	3.45	3.15	3.35	3.4	
実践医療英語Ⅰ	26	22	84.62	9	6	6	1	4.45	4.27	4.27	4.23	4.23	4.32	4.45	4.5	4.41	4.41	4.18	4.23
実践医療英語Ⅰ	11	7	63.64	9	1, 2, 3, 5, 6, 9	5	2.5	4.43	4.29	4.57	4.57	4.71	4.71	4.71	4.71	4.71	4.57	4.71	4.86
実践医療英語Ⅰ	20	18	90.00	9	1	5	2.33	4.17	4.33	4.22	4.28	4.33	4.67	4.61	4.5	4.61	4.44	4.56	4.61
人間関係実践演習Ⅰ(医療教養)[看]	131	110	83.97	9	1	5	1.63	4.13	4.14	4.21	4.25	4.25	4.2	4.3	4.04	4.38	4.44	4.39	4.28
人間関係実践演習Ⅲ[看]	115	73	63.48	9	5	5	1.9	3.81	3.86	3.88	3.9	3.89	3.9	3.84	3.85	3.9	3.89	3.89	3.86
生化学	75	73	97.33	1	5	1	1.36	3.6	2.63	3.21	3.56	3.51	3.59	2.7	3.11	3.33	3.12	2.9	3.54
解剖学Ⅰ[理]	87	82	94.25	9	5	1	1	4.24	3.61	4.09	4.02	3.95	3.9	3.51	3.39	4.04	3.15	3.74	3.99
解剖学Ⅰ[整]	75	74	98.67	9	5	1	1.12	4.54	4.03	4.51	4.38	4.38	3.96	3.96	4.51	3.78	4.27	4.35	
解剖学実習[理]	101	90	89.11	9	5	1	1.42	3.67	3.54	3.75	3.73	3.7	3.77	3.53	3.6	3.64	3.42	3.57	3.69
生理学Ⅰ[理]	87	86	98.85	9	5	1	1.8	4.51	4.01	4.27	4.24	4.38	4.67	4.51	4.17	4.45	4.41	4.49	4.33
生理学Ⅰ[整]	75	74	98.67	9	5	1	1.17	4.68	4.05	4.43	4.51	4.55	4.65	4.39	4.14	4.59	4.42	4.61	4.44
生理学実習[理]	100	90	90.00	9	5	1	1.38	4.04	3.92	4.03	3.98	3.99	4.13	4.03	4.09	4.12	4.08	4.09	3.97
運動生理学	80	47	58.75	9	5	1	1.43	4.43	4.19	4.28	4.09	3.96	4.09	3.98	4.19	4.09	4.11	4.09	4.09
臨床心理学[理]	100	85	85.00	9	1	5	1.35	3.91	3.86	3.85	3.8	3.8	3.94	3.96	3.87	3.91	3.91	3.93	3.95
臨床心理学[整・看]	45	34	75.56	1	6	2	4.35	4.32	4.44	4.44	4.5	4.53	4.59	4.71	4.59	4.62	4.56	4.47	
薬理学[理・整]	101	82	81.19	1	2	3	1	3.62	3.39	3.6	3.79	3.76	4.04	3.7	3.6	3.9	3.78	3.88	3.77
薬理学[看]	124																		
微生物学・免疫学[理・整]	101	77	76.24	1	2, 1, 4	1	1.33	3.35	3.23	3.26	3.45	3.55	3.64	3.22	3.21	3.35	3.32	3.17	3.34
病理学概論[整]	73	53	72.60	9	5	6	1.41	4.04	3.56	3.91	4	4.06	3.92	3.62	3.45	4.13	3.96	3.62	3.98
内科学Ⅰ[理]	101	85	84.16	9	5, 1, 6	1.68	3.74	3.71	3.62	3.66	3.69	3.72	3.64	3.65	3.69	3.66	3.62	3.69	
内科学Ⅰ[整]	71	61	85.92	9	5, 1, 5	1.91	3.92	3.85	4.2	4.03	4.1	4.16	3.97	3.49	4.3	4.07	4.07	4	4
整形外科Ⅱ[理]	34	28	82.35	1	5	1, 3	1	4.36	4.25	4.29	4.3	4.29	4.3	4.21	4.36	4.18	4.39	4.26	4.21

## 了徳寺 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教養平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均	板書平均	環境平均	オプション	総合平均	
スポーツ栄養学[看]	13	13	100.00	9	1.5	6	1.6	2.18	4.38	4	4.15	4.54	4.38	4.62	4.46	4.62	4.38	4.54	4.15	4.46
スポーツ心理学Ⅱ	67	57	85.07	9	5	5	1	2	4.21	4.46	4.58	4.37	4.39	4.82	4.53	4.81	4.56	4.56	4.47	4.44
体育原理	8	8	100.00	3	1.5	3.5	1	2.25	4.75	4.75	4.75	4.5	4.25	4.75	5	5	4.62	4.75	4.75	4.62
芸術療法実技Ⅱ(書の感性と創造)	25	20	80.00	9	4.6	1	1	2.55	3.9	3.9	4	4	3.95	4.3	4.05	4.2	4.1	4.15	4.2	4.05
運動学Ⅱ	100	93	93.00	9	5	1.5	5	1.5	3.99	3.86	3.92	3.86	3.81	3.88	3.76	3.75	3.8	3.74	3.84	3.81
臨床運動学実習	87	78	89.66	9	5	1	1	4.16	4.09	4.21	4.19	4.17	4.31	4.22	4.26	4.26	4.25	4.17	4.23	4.23
理学療法概論	87																			
日常生活活動学実習	101	96	95.05	9	5	1.6	6	1.59	4.08	3.95	4	4.02	4.02	4.05	4	4.01	3.99	4.05	3.99	3.94
理学療法評価学Ⅰ	100	93	93.00	9	5	6	1	4.58	4.58	4.58	4.58	4.58	4.58	4.67	4.67	4.58	4.67	4.67	4.67	4.58
理学療法評価学Ⅱ	13	12	92.31	1	3	6	1	1.58	4.08	4.58	4.58	4.58	4.58	4.67	4.67	4.58	4.67	4.67	4.67	4.58
物理療法学総論(実習を含む)	89	84	94.38	9	5	1.6	6	1.33	4.23	4.15	4.21	4.24	4.25	4.21	4.24	4.25	4.3	4.23	4.26	4.2
義肢装具学実習	89	82	92.13	9	5	1	1	1.3	4.15	4.1	4.2	4.16	4.16	4.2	4.15	4.16	4.24	4.2	4.18	4.13
整形外科系障害理学療法学演習	89	65	73.03	9	5	6	1.53	4.25	4.17	4.2	4.2	4.22	4.27	4.25	4.27	4.31	4.27	4.2	4.2	4.23
神経系障害理学療法学演習	88	80	90.91	9	5	1.3	5	1.2	4.29	4.22	4.28	4.3	4.28	4.35	4.3	4.31	4.29	4.32	4.28	4.32
内部障害理学療法学	88	83	94.32	9	5	1.5	5	1.2	4.2	4.02	4.13	4.12	4.21	4.17	4.13	4.2	4.09	4.1	4.12	4.12
内部障害理学療法学実習	87	80	91.95	9	5	1	1.12	4.18	4.04	4.18	4.15	4.14	4.2	4.13	4.19	4.19	4.1	4.11	4.11	4.19
発達障害理学療法学総論	88	80	90.91	9	5	1	1.29	4.22	4.08	4.27	4.26	4.29	4.33	4.28	4.27	4.27	4.27	4.2	4.22	4.22
スポーツ障害理学療法学演習	86	77	89.53	1	5	5	1.05	4.23	4.17	4.19	4.14	4.17	4.19	4.13	4.17	4.14	4.19	4.14	4.14	4.17
老年期障害理学療法学演習	20	19	95.00	1	5	6	1	4.11	4.05	4.16	4.11	4.16	4.16	4.16	4.16	4.11	4.16	4.16	4.16	4.11
生活環境学	88	72	81.82	9	5	1	1.29	4.07	4.01	4.06	4.08	4.09	4.11	4.08	4.07	4.07	4.07	4.03	4.04	4.04
スポーツトレーニング特論(実習を含む)	9	7	77.78	1	6	3	2	4.57	4.43	4.29	4.43	4.43	4.29	4.29	4.43	4.43	4.43	4.43	4.17	4.33
伝承東洋医学概論	76	75	98.68	9	5	6	1.75	4.23	4.25	4.32	4.29	4.23	4.17	4.25	3.99	4.41	4.35	4.29	4.27	4.27
整復医療学概論	75	71	94.67	9	5	6	1.43	4.44	4.15	4.51	4.39	4.39	4.39	4.32	4.01	4.66	4.58	4.62	4.32	4.32
整復ケア理論(骨折学)	75	74	98.67	9	5	1	1.19	4.65	4.74	4.73	4.47	4.51	4.76	4.78	4.31	4.69	4.81	4.78	4.64	4.64
整復ケア理論(脱臼学)	75	74	98.67	9	5	1	1.5	4.7	4.24	4.65	4.38	4.45	4.46	4.51	4.38	4.57	4.64	4.71	4.49	4.49
スポーツトレーニング概論	72	66	91.67	9	5	3	1.48	4.48	4.42	4.55	4.36	4.39	4.53	4.45	4.41	4.58	4.58	4.39	4.5	4.5
整復ケア骨損傷学Ⅰ	72	64	88.89	9	5	1	1.4	4.67	4.3	4.7	4.42	4.39	4.91	4.55	4	4.58	4.48	4.25	4.58	4.58
整復ケア関節損傷学Ⅰ	73	59	80.82	9	5	1	1.58	4.15	4.14	4.44	4.24	4.25	4.46	4.14	4.05	4.33	4.25	3.81	4.12	4.12
整復ケア関節損傷学Ⅱ	72	60	83.33	9	5	1	1.5	4.25	4.17	4.47	4.35	4.36	4.5	4.27	4.27	4.48	4.43	4.08	4.4	4.4
整復ケア軟部組織損傷学Ⅰ	72	66	91.67	9	5	1	1.58	4.58	4.52	4.56	4.44	4.44	4.56	4.68	4.56	4.69	4.67	4.42	4.56	4.56
検査・測定と評価	72	63	87.50	9	5	6	1.55	4.46	4.51	4.63	4.49	4.49	4.54	4.52	4.54	4.62	4.59	4.49	4.35	4.35
上肢骨折実技演習Ⅱ	73	66	90.41	9	5	3	1.9	4.32	3.92	4.58	4.18	4.14	4.94	4.18	4.06	4.65	4.17	3.7	4.21	4.21
東洋医療論	12	12	100.00	1	5	6	2.25	4.75	4.67	4.67	4.33	4.33	4.58	4.67	5	4.83	4.83	4.83	4.67	4.67
整復総合理論Ⅰ	89	71	79.78	9	5	1	1.9	4.35	4.13	4.25	4.13	4.13	4.37	4.25	4.21	4.35	4.31	4.34	4.1	4.1
検査・測定と評価演習Ⅰ	55	49	89.09	5	6	3	1.5	4.55	4.59	4.71	4.61	4.57	4.71	4.78	4.65	4.69	4.65	4.41	4.63	4.63
体幹下肢軟部損傷演習	75	70	93.33	9	5	1	1.78	4.6	4.67	4.73	4.59	4.63	4.67	4.79	4.73	4.73	4.73	4.49	4.56	4.56
下肢骨折脱臼実技	73	68	93.15	9	5	3	1.46	4.31	4.12	4.45	4.18	4.16	4.96	4.25	4.06	4.69	4.22	3.82	4.22	4.22
スポーツコンディショニング論Ⅰ	65	61	93.85	5	5	1.3	1.65	4.67	4.66	4.79	4.67	4.61	4.89	4.8	4.85	4.7	4.79	4.66	4.52	4.52
アスレティックリハビリテーションⅠ	46	46	100.00	5	5	3	1.53	4.5	4.61	4.78	4.52	4.54	4.78	4.74	4.76	4.7	4.72	4.59	4.7	4.7
看護学概論	122	112	91.80	9	5	1	1.75	4.29	3.96	4.25	4.21	4.21	4.45	4.09	4.26	4.38	4.25	4.07	4.14	4.14
看護過程論[看A]	61	54	88.52	9	5	1	1.3	4.33	4.06	4.28	4.24	4.26	4.33	4.06	4.13	4.39	4.31	4.13	4.22	4.22
看護過程論[看B]	60	53	88.33	9	5	6	1.5	4.25	3.89	4.4	4.57	4.42	4.45	4.34	4.32	4.51	4.47	4.43	4.42	4.42
生涯発達看護論	122	116	95.08	9	5	6	1.91	3.89	3.78	3.86	4	3.99	4.05	3.64	3.25	4.02	3.97	3.97	3.8	3.8
看護技術Ⅱ(生活支援技術・診療過程支援技術)[看A]	63	51	80.95	9	5	1	1.7	4.51	4.45	4.51	4.45	4.39	4.53	4.47	4.51	4.53	4.53	4.41	4.43	4.43
看護技術Ⅱ(生活支援技術・診療過程支援技術)[看B]	58	48	82.76	9	5	1.5	1.91	4.62	4.5	4.75	4.71	4.73	4.67	4.65	4.69	4.65	4.67	4.67	4.75	4.75
ヘルスアセスメント[看A]	61	47	77.05	9	5	1	1.75	4.11	3.96	4.04	3.98	4.04	3.98	3.91	3.91	3.98	4.02	3.91	4.02	4.02
ヘルスアセスメント[看B]	60	36	60.00	9	5	5	2.8	4.25	4	4.19	4.42	4.42	4.31	4.14	4.22	4.44	4.37	4.17	4.33	4.33
成人看護学概論	126	122	96.83	9	5	1	2.11	4.16	3.63	4.16	4.35	4.31	4.43	3.84	3.81	4.36	3.73	4.08	3.98	3.98
成人看護方法論Ⅱ(急性期・回復期・リハビリ期)	117	90	76.92	9	5	1	1.81	4.18	4.03	4.2	4.22	4.3	4.28	4.16	4.1	4.25	4.22	4.16	4.13	4.13
高齢者看護方法論	122	82	67.21	9	5	1	1.75	4.28	4.24	4.38	4.37	4.38	4.4	4.23	4.26	4.38	4.26	4.27	4.33	4.33
精神看護方法論	116	82	70.69	9	5	6	1.71	3.91	3.85	4.01	3.99	4.02	4.01	3.95	3.79	4.02	4.04	4.05	3.95	3.95
小児看護方法論	115	73	63.48	9	5	6	1.57	3.71	3.15	3.26	3.51	3.5	3.37	2.86	3.07	3.34	3.29	3.04	3.5	3.5
母性看護方法論	114	66	57.89	9	5	6	1.5	3.83	3.59	3.71	3.8	3.82	3.94	3.39	3.52	3.74	3.45	3.48	3.55	3.55
健康生活支援論Ⅱ	30	30	100.00	5	1.6	1	1.5	4.1	4	4.27	4.33	4.33	4.47	4.27	4.23	4.47	4.47	4.43	4.33	4.33
在宅看護方法論	114	83	72.81	9	5	5	1.94	4.1	3.91	4.02	4.12	4.14	4.41	4.05	4.25	4.07	4.14	4.09	4.1	4.1
災害看護論(救急法を含む)	114	87	76.32	9	5	6	1.38	4.52	4.41	4.55	4.47	4.44	4.46	4.53	4.46	4.47	4.48	4.34	4.24	4.24
医療安全支援論	112	96	85.71	9	5	6	1.12	4.22	4.15	4.2	4.21	4.26	4.33	4.22	4.15	4.24	4.22	4.2	4.07	4.07
看護倫理学	115	95	82.61	9	5	6	1.26	3.92	3.84	3.97	3.96	3.93	3.96	3.68	3.78	3.91	3.81	3.73	3.51	3.51
看護研究概論	92	64	69.57	9	5	5	1.71	4	3.89	4.08	4.2	4.19	4.44	4.27	4.06	4.28	4.31	4.23	3.98	3.98
公衆衛生看護活動論	115	71	61.74	9	5	6	1.59	3.93	3.94	4.04	4.13	4.18	4.17	4.1	4.15	4.17	4.17	4.13	4.04	4.04
公衆衛生看護管理論(健康危機管理を含む)	36	30	83.33	9	6	5	6	4.07	3.73	3.9	4.13	4.2	4.13	3.77	3.6	4.03	4	3.8	3.97	3.97
学校保健Ⅰ(保健師)	50	41	82.00	1	5	6	1.43	4.73	4.73	4.71	4.66	4.56	4.8	4.85	4.78	4.8	4.83	4.78	4.73	4.73
学校保健Ⅱ(精神保健)	9	9	100.00	9	5	3	2.33	4.78	4.56	4.78	4.56	4.44	4.67	4.78	4.67	4.56	4.78	4.56	4.56	4.56
養護概論	27	26	96.30	1	5	1	1.86	4.73	4.65	4.81	4.65	4.62	4.96	5	4.92	4.92	4.92	4.92	4.88	4.88
健康相談活動の理論及び方法	12	11	91.67	1	5	3	1	4.91	4.91	4.91	5	5	5	5	5	4.91	5	4.91	4.91	4.91
教職概論	46	44	95.65	9	5	6	1	1.33	4.18	3.89	3.98	3.93	4.05	3.98	3.7	3.86	3.91	3.84	3.93	3.93
保健科教育法Ⅱ	19	16	84.21	5	5	3	1.6	4.94	4.88	4.94	4.75	4.75	4.88	4.94	5	4.94	5	4.		

## 湘南医療大学 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教養平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均	板書平均	環境平均	オプション	総合平均
コミュニケーション論	190	182	95.79	6	1	5	4.24	4.25	4.1	3.97	3.9	4.4	4.4	4.41	2.21	4.27	4.15	3.4	4.35
英語(A)	51	48	94.12	6	2, 5	1, 5	3.81	4.42	3.69	3.62	3.52	3.9	3.65	3.35	1.69	3.85	4	3.43	3.81
英語II(A)	41	38	92.68	6	5	4	3.87	3.89	4.03	3.87	3.81	4.11	4.05	3.89	2.71	3.76	4.05	3.61	4.11
中国語	147	141	95.92	1	2	2	3.71	3.51	3.52	3.53	3.34	3.9	3.67	3.63	1.63	3.39	3.62	2.72	3.81
文学	66	57	86.36	5	2	2	3.75	3.67	3.67	3.54	3.33	4.07	3.72	3.65	1.59	3.58	3.55	2.63	3.79
文化人類学	165	155	93.94	1	2	8	3.79	3.72	3.7	3.67	3.6	3.95	3.88	3.83	1.77	3.71	3.68	2.59	3.86
国際関係論	164	151	92.07	7	5	2	3.67	3.44	3.49	3.38	3.42	3.91	3.43	3.28	1.82	3.56	3.68	2.95	3.66
栄養学(看護)	102	96	94.12	6	4	5	4.02	3.84	3.95	3.73	3.65	4.06	3.92	3.3	2.33	3.88	3.98	3.34	4.1
レクリエーションスポーツ(水3)	44	43	97.73	1	5	7	4.74	4.65	4.47	4.4	4.21	4.79	4.72	4.67	1.21	4.23	4.5	4.33	4.7
情報リテラシー	65	65	100.00	1	1	2	4.26	4.08	4.17	4	3.91	3.92	3.75	3.8	1.58	3.65	3.81	3.82	4.05
公衆衛生学	164	149	90.85	6	5	4	3.68	3.64	3.67	3.65	3.62	3.87	3.75	3.46	2.49	3.72	3.68	3.37	3.79
保健行政論	165	150	90.91	6	5	4	3.58	3.56	3.6	3.51	3.52	3.77	3.71	3.38	2.44	3.64	3.6	3.18	3.72
法学(含日本国憲法)	102	92	90.20	6	5	4	3.88	3.72	3.9	3.7	3.52	3.88	3.9	3.27	1.84	3.74	3.71	2.71	3.9
生物学	145	142	97.93	1	5	5	4.24	4.1	4.11	4.01	3.87	4.38	4.32	3.89	2.08	4.32	4.28	3.3	3.68
物理学	126	119	94.44	5	2	1	3.76	3.5	3.62	3.49	3.38	3.65	3.55	3.13	1.95	3.44	3.55	3.41	3.37
環境論	184	177	96.20	1	2	5	3.79	3.76	3.66	3.54	3.54	3.97	3.65	3.77	1.85	3.44	3.67	2.89	3.84
倫理学	174	168	96.55	1	5	5	4.27	4.12	4.1	3.99	3.72	4.65	4.42	3.93	1.93	4.2	4.13	4.15	4.46
心理学	190	183	96.32	6	1	5	4.15	3.99	4.08	3.99	3.91	4.32	4.22	3.87	1.88	3.97	4.04	3.67	4.27
人体の構造・機能 I	102	100	98.04	6	4	4	4.3	3.48	4.06	3.99	3.72	4.67	4.24	4.15	2.71	4.38	4.11	4.5	4.45
病態学 I (診断と治療)	83	80	96.39	6	4	1	4.1	3.65	3.86	3.92	3.85	4.06	3.75	3.66	2.89	3.8	3.92	3.6	3.96
病態学 II (診断と外科的治療、含救急と麻酔)	81	72	88.89	6	5	4	3.9	3.57	3.71	3.68	3.65	3.81	3.43	3.5	2.85	3.51	3.58	3.24	3.66
微生物学	102	97	95.10	6	4	5	4.45	4.1	4.21	4.19	4.01	4.67	4.58	4.31	2.64	4.49	4.28	4.12	4.6
現代医療論	81	69	85.19	6	5	4	4.1	4.12	4.17	4.01	4.1	4.23	4.12	4.12	2.52	4.2	4.07	3.5	4.24
看護関係法規	82	78	95.12	6	4	6	4.03	3.68	3.89	3.73	3.69	4.13	3.9	3.69	2.28	3.84	3.84	3	3.85
疫学(Aクラス)	40	36	90.00	6	5	4	4.19	3.61	4.06	3.92	3.83	4.36	3.67	3.72	2.31	3.94	3.97	4.14	3.97
疫学(Bクラス)	42	32	76.19	6	5	4	4.16	3.78	4.16	3.97	3.91	4.12	3.75	3.72	2.75	4	4.09	3.69	4
保健医療情報処理論	61	47	77.05	1	5, 4, 8	3	3.66	3.55	3.74	3.66	3.55	3.98	3.7	3.66	2.45	3.74	3.7	3.13	3.81
看護学概論	102	95	93.14	6	4	5	4.05	3.95	4.11	3.86	3.8	4.2	3.88	3.89	2.59	3.94	4.17	3.63	4.15
看護倫理	81	73	90.12	6	4	4	3.88	3.85	3.88	3.85	3.82	3.93	3.71	3.73	2.93	3.81	3.7	3.6	3.85
看護援助論 I (看護技術概論)	102	102	100.00	6	4	1	3.95	3.65	3.91	3.78	3.4	4.27	3.56	3.5	2.31	3.58	3.77	3.32	3.89
看護援助論 II (生活援助技術)	102	98	96.08	6	4	1	4.61	4.39	4.54	4.48	4.37	4.57	4.28	4.37	3.12	4.15	4.35	4.42	4.43
看護援助論 III (健康診断)(Aクラス)	40	40	100.00	6	6	4	4.6	4.6	4.75	4.62	4.53	4.9	4.82	4.84	3.32	4.54	4.64	4.28	4.65
看護援助論 IV (健康診断)(Bクラス)	41	40	97.56	6	4	5	4.65	4.5	4.62	4.55	4.55	4.85	4.75	4.62	3.42	4.55	4.6	4.45	4.75
成人看護学概論	84	83	98.81	6	4	5	4.19	4.1	4.17	4.1	4.09	4.33	4.3	4.09	2.79	4.23	4.16	3.45	4.34
成人看護方法論 I (周手術期ケア・クリティカ)	82	76	92.68	6	4	4	4.09	3.65	3.93	3.79	3.8	3.72	3.25	3.27	2.88	3.41	3.49	3.87	3.61
老年看護学概論	85	77	90.59	6	4	4	4.06	4.06	4.17	4.03	4	4.29	4.19	4.08	3.01	3.99	4.01	3.89	4.17
老年看護方法論 II (療養生活支援技術)	96	93	96.88	6	4	4	4.2	4.09	4.18	4.1	4.12	4.23	4.13	4.16	3.33	4.07	4.09	3.8	4.18
小児看護学概論	82	79	96.34	6	1	4	4.32	4.06	4.27	4.18	4.14	4.44	4.32	4.08	2.49	4.18	4.19	3.52	4.3
小児看護方法論 II (看護展開の方法)	95	85	89.47	6	5	4	4.31	4.26	4.34	4.22	4.22	4.38	4.16	4.28	3.45	4.15	4.2	3.81	4.24
母性看護学概論	82	76	92.68	6	5	4	4.18	4.12	4.19	4.09	4.03	4.36	4.16	4.22	3.03	3.99	4.11	4	4.25
母性看護方法論 II	95	88	92.63	6	5	4	4.23	4.1	4.2	4.16	4.12	4.31	4.23	4.19	3.32	4.1	4.15	3.89	4.2
精神看護方法論 I (主要症状への支援技術)	48	43	89.58	6	5	4	4.14	4.12	4.16	4.16	4.19	4.3	4.19	4.19	3.44	4.23	4.21	3.79	4.26
精神看護方法論 II (主要症状への支援技術)	47	44	93.62	6	5	4	3.84	3.75	3.82	3.75	3.66	3.77	3.77	3.84	3.02	3.75	3.66	3.52	3.75
精神看護方法論 III (社会生活適応への支援)	96	81	84.38	6	5	4	4	3.96	4.01	3.94	3.95	4.02	3.98	3.94	3.26	4	3.93	3.67	3.98
在宅看護方法論 I	95	77	81.05	6	5	4	4.22	4.19	4.22	4.13	4.09	4.23	4.19	4.2	3.17	4.06	4.04	3.71	4.17
家族看護学	95	78	82.11	6	5	4	4.15	4.09	4.13	4.06	4.06	4.15	4.12	3.99	3.36	4.05	4.14	3.87	4.14
看護管理学	95	86	90.53	6	5, 4, 5	4	4.02	3.96	3.98	3.96	3.95	4.07	3.89	3.91	3.12	3.89	3.91	3.75	4
国際医療と看護	81	81	100.00	6	1	3	4.59	4.65	4.67	4.6	4.41	4.79	4.79	4.74	2.26	4.52	4.68	4.84	4.77
災害看護	82	79	96.34	6	5	4	4.08	4.08	4.13	3.96	3.91	4.18	3.99	3.96	2.69	4.06	3.94	3.57	4.09
危機管理	95	94	98.95	6	4, 4, 5	4	4.31	4.26	4.22	4.1	4.08	4.17	4.13	4.15	2.74	4.02	4.05	3.31	4.17
看護カウンセリング(Aクラス)	40	38	95.00	1	5	5	4.13	3.97	4.08	3.97	3.92	4.13	3.97	4.08	2.32	3.76	4.05	3.57	4.03
看護カウンセリング(Bクラス)	40	35	87.50	1	4	5	4.29	4.2	4.14	4.14	3.97	4.14	3.97	4.15	3.4	4.09	4.09	3.77	4.11
公衆衛生看護学概論	92	85	92.39	6	5	4	4.02	3.86	3.98	3.92	3.91	4.08	3.92	3.99	3.06	3.87	4.02	3.75	3.99
公衆衛生看護方法論 I	12	12	100.00	6	4	1	4.5	4.42	4.83	4.5	4.75	4.83	4.5	4.83	2.5	4.25	4.75	3.83	4.83
公衆衛生看護方法論 II	12	12	100.00	6, 4, 5	1, 4, 5	4	4.67	4.83	4.92	4.83	4.75	4.92	4.92	4.92	2.33	4.67	4.92	3.92	5
公衆衛生看護活動論	12	12	100.00	6	4, 1, 5, 8	4	4.67	4.33	4.67	4.5	4.5	4.83	4.25	4.58	2.42	4	4.83	3.83	4.5
産業保健・学校保健論	12	12	100.00	6	4	5	4.58	4.5	4.75	4.58	4.58	4.67	4.58	4.83	1.92	4.17	4.75	3.33	4.67
健康危機管理論	95	79	83.16	6	5	4	3.92	3.94	3.9	3.92	3.94	4.03	3.89	3.94	3.1	3.89	3.9	3.64	3.95
公衆衛生看護管理論	12	12	100.00	6	5	1	4.58	3.92	4.42	4.33	4.42	4.75	4.08	3.83	1.5	4	4.75	3.17	4.33
保健医療福祉行政論	12	12	100.00	6, 4, 5	1	4	4.42	4.5	4.75	4.67	4.58	4.83	4.25	4.5	2.33	3.92	4.75	3.67	4.5
英語(C)	44	41	93.18	6	5	1	4.07	4.32	4.17	3.9	3.61	4.24	4.24	4.22	1.88	4.18	4.15	4.46	4.32
英語II(C)	42	42	100.00	6	5	7	3.62	3.57	3.52	3.45	3.43	3.64	3.48	3.45	2.05	3.45	3.45	3.45	3.52
栄養学	83	81	97.59	6	5	1	3.91	3.69	3.8	3.67	3.43	3.95	3.85	3.81	2.01	3.83	3.64	3.52	3.9
障害者スポーツ	84	83	98.81	1	4	5	4.48	4.36	4.29	4.21	3.83	4.4	4.14	3.93	1.58	4.06	4.14	4.17	4.37
情報リテラシー	63	60	95.24	1	5	5	4.07	3.95	3.93	3.77	3.71	3.67	3.45	3.43	1.52	3.48	3.63	3.44	3.85
法学(含日本国憲法)	73	70	95.89	1	5	1	3.99	3.7	3.91	3.86	3.66	3.66	3.42	3.94	1.69	4.16	4.16	4.26	4.28
解剖学 I (骨・筋)	90	84	93.33	6	4	1	4.42	3.7	4.17	4.33	4.06	4.77	4.5	4.42	3.82	4.54	4.33	4.6	4.57
解剖学 II (神経)	88	84	95.45	6	4	1	4.45	3.92	4.13	4.33	4.13	4.7	4.51	4.45	3.85	4.5	4.39	4.4	4.62
生理学 I	88	87	98.86	6	4, 4, 5	3	3.87	3.32	3.5	3.71	3.37	4.03	3.6	3.07	2.66	3.52	3.83	3.84	3.9
運動機能学	43	43	100.00	6	4	4	4.47	4.21	4.44	4.47	4.23	4.6	4.58	4.51					

## 湘南医療大学 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	意欲平均	理解平均	向上平均	自発的平均	探求平均	熱意平均	教え方平均	コミュニケーション平均	勉強時間平均	板書平均	環境平均	オプション	総合平均
日常生活活動学演習	41	39	95.12	6	4	5	4.69	4.44	4.64	4.54	4.44	4.85	4.79	4.72	2.41	4.63	4.59	4.38	4.85
義肢装具学Ⅱ	41	41	100.00	6	4	5	4.32	4.1	4.32	4.07	3.93	4.73	4.51	4.56	2.15	4.56	4.22	3.32	4.66
理学療法対象者行動論	40	38	95.00	6	4, 5	5	3.62	3.27	3.46	3.3	3.22	3.57	3.03	2.97	1.54	2.97	3.46	3.67	3.32
高次脳障害学	40	38	95.00	6	4	4	4.24	4.18	4.37	4.18	4.16	4.47	4.37	4.39	2.11	4.18	4.13	4.26	4.42
生活支援機器論	56	55	98.21	5	5	5	3.72	3.21	3.4	3.36	3.36	3.89	3.31	3.67	1.74	3.09	3.32	3.52	3.49
地域高齢者支援論	50	30	60.00	1	4	5	3.8	3.7	3.73	3.6	3.57	3.87	3.47	3.63	2.67	3.53	3.63	3.76	3.67
地域理学療法学	42	42	100.00	6	4, 5	4	3.21	3.12	3.14	2.95	2.9	3.29	2.67	2.67	1.67	2.88	3.19	3.28	3.02
バリアフリー	41	40	97.56	6	4	4	4.2	4.15	4.22	3.95	3.92	4.46	4.3	3.95	1.95	4.18	4	4.14	4.38
運動学Ⅱ	41	40	97.56	6	4	5	3.75	3.62	3.69	3.6	3.56	3.82	3.55	3.72	2.6	3.62	3.82	3.79	3.75
作業療法概論	42	38	90.48	6	4	5	4.03	3.97	3.89	3.95	3.95	4.26	4	4.05	2.11	4.16	4.11	4	4.26
作業療法理論	38	38	100.00	6	4	5	4.21	3.84	3.97	3.95	3.97	4.24	3.97	4.08	2.68	3.53	3.58	3.86	4
基礎作業学	42	40	95.24	6	4	1	4.12	3.8	3.88	3.75	3.75	4.2	3.6	3.88	1.82	3.95	4.08	4	4
作業技術学Ⅱ(木工・革細工)	40	39	97.50	1	4	5	4.18	4.13	4.1	4.03	4.05	4.05	3.87	4	2.72	3.79	3.92	3.78	4.05
作業技術学Ⅲ(手工芸)	23	23	100.00	1	4	4	4.09	3.91	3.91	3.87	3.91	3.83	3.83	4	2.65	3.83	3.87	3.79	3.96
作業療法研究法	38	31	81.58	6	5	5	3.84	3.61	3.74	3.81	3.74	3.84	3.71	3.61	2.23	3.58	3.42	3.63	3.8
作業療法評価学(身体Ⅰ)	41	41	100.00	6	4	5	4.1	3.88	4.07	3.93	3.83	4.17	4.12	4.2	2.8	4	4.07	3.94	4.2
作業療法評価学(身体Ⅱ)	39	39	100.00	6	4	5	4.28	3.92	4.18	4.13	4.03	4.33	4.03	4.41	3.49	3.97	4.15	3.92	4.28
作業療法評価学(精神)	41	41	100.00	6	4	5	3.83	3.76	3.9	3.76	3.68	3.85	3.83	4.05	2.27	3.78	3.85	3.82	4
(整形外科系・変性疾患)	38	34	89.47	6	4	4	4.12	3.94	4.12	4	3.79	4.41	4.38	4.06	2.56	4.24	3.71	3.86	4.32
精神障害作業療法Ⅱ(各論)	38	36	94.74	6	4, 5	4	4.06	3.78	3.81	3.75	3.5	4.14	3.97	4.03	2.23	3.91	3.39	2.97	3.97
発達障害作業療法Ⅰ(総論)	34	32	94.12	6	4, 5	5	3.91	3.78	3.84	3.66	3.56	3.88	3.84	3.62	2.34	3.77	3.66	3.55	3.84
老年期作業療法Ⅰ(総論)	38	36	94.74	6	4, 5	3	3.78	3.42	3.47	3.36	3.37	3.61	3.28	3.36	2.29	3	3.17	3.23	3.5
高次脳機能障害作業療法Ⅰ(総論)	38	37	97.37	6	4	3	4.24	4.14	4.27	4.16	3.86	4.49	4.44	4.22	2.78	4.3	3.84	4	4.43
日常生活支援論Ⅰ(総論)	41	41	100.00	6	4	5	3.9	3.98	3.98	3.8	3.71	4.1	3.98	4.17	2.49	4.05	4	3.9	4.1
地域作業療法Ⅰ(総論)	38	37	97.37	6	4	5	3.89	3.59	3.68	3.38	3.41	3.7	3.32	3.54	2.19	3.39	3.3	3.43	3.51
生活環境整備論	38	37	97.37	6	4	5	3.59	3.08	3.27	3.11	3.14	3.14	2.7	3	2.08	3.05	3.05	3.03	3.14
英語Ⅰ(B)	51	45	88.24	6	7	8	3.51	4.04	3.56	3.33	3.18	3.2	2.93	2.96	2.04	3.29	3.33	2	3.11
英語Ⅱ(B)	40	38	95.00	6	5	4	3.84	3.82	3.79	3.74	3.82	3.68	3.79	2.95	3.66	3.74	3.61	3.76	
レクリエーションスポーツ(水4)	39	39	100.00	1	1, 2	5	4.92	4.77	4.67	4.72	4.49	4.82	4.82	4.82	1.87	4.56	4.79	3.69	4.84
英語Ⅰ(D)	44	40	90.91	6	5, 7	1, 2	3.72	3.6	3.5	3.28	3.35	3.25	3.08	3.08	1.7	3.3	3.1	2.8	3.18
英語Ⅱ(D)	41	41	100.00	6	5	4	3.61	3.51	3.68	3.37	3.34	3.44	3.34	3.49	2.49	3.41	3.51	3.67	3.63
情報リテラシー	53	46	86.79	1	4	1, 5	4.28	4.11	4.2	4.11	4.02	4.11	4.09	4.11	1.65	3.87	4	4.29	4.24

## 仙台青葉短期大学 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	欠席者数平均	意欲平均	理解平均	向上平均	シラバス平均	評価平均	熱意平均	授業法平均	コミュニケーション平均	準備平均	話方平均	資料平均	環境平均	オプション	総合平均
日本語表現法 I	87	84	96.55	9			0.5	4.01	4.25	4.25	4.2	4.27	4.23	4.15	4.24	4.44	4.38	4.31	4.21	4.2	4.27
英語 I	87	78	89.66	9			0	4.33	4.23	4.14	4.35	4.37	4.41	4.42	4.6	4.58	4.53	4.44	4.38	5	4.42
暮らしの中の法律	90	86	95.56	9			0.29	4.35	4.29	4.45	4.48	4.48	4.53	4.43	4.12	4.53	4.53	4.41	4.22	3.75	4.45
現代の社会	87	82	94.25	9			0	3.93	4.01	4.07	4.17	4.27	4.37	4.27	3.67	4.21	4.09	4.2	3.93	4	4.14
心理学	91	87	95.60	9			0	4.53	4.33	4.49	4.48	4.49	4.66	4.43	4.51	4.43	4.06	4.2	4.26	4	4.51
情報処理	87	82	94.25	9	1, 3, 10	6	0.14	4.24	4.33	4.37	4.45	4.37	4.37	4.33	3.83	4.53	4.28	4.44	4.44	3.5	4.37
自然科学入門	87	84	96.55	9			0	3.82	3.07	3.58	4.31	4.33	4.5	3.76	3.83	4.27	4.38	4.08	4.14	3	3.88
数理解テラシー	87	83	95.40	9			0	4.2	3.83	4.19	4.43	4.45	4.81	4.35	4.69	4.6	4.67	4.38	4.41	2.82	4.41
スポーツ実技	90	88	97.78	9			0.22	4.63	4.6	4.53	4.55	4.55	4.77	4.65	4.7	4.6	4.45	4.32	4.22	4.31	4.61
生命科学と医療倫理	91	86	94.51	9			0.29	4.14	4.03	4.13	4.26	4.23	4.23	4.01	3.81	4.26	4.21	4.22	4.1	3.64	4.2
人間関係論	88	88	100.00	9	6	10	0.8	3.92	3.77	4.1	4.43	4.43	4.64	3.65	3.83	4.34	3.67	3.77	4.03	4	4.09
生活科学	91	89	97.80	9			0.36	4.26	4.21	4.28	4.38	4.38	4.45	4.38	3.85	4.45	4.43	4.36	4.25	3.83	4.36
家族論	88	86	97.73	9	1, 5	1, 2, 5, 6	0.14	3.91	3.97	4.03	4.24	4.4	4.21	3.93	3.59	4.3	3.99	4.1	3.92	3.86	4.1
人体構造と機能 I	87	82	94.25	9		9	0.17	4.23	3.68	4.2	4.34	4.38	4.4	3.95	4.06	4.48	4.12	3.93	4.23	4	4.34
人体構造と機能 II	87	85	97.70	9			0.25	4.39	4.08	4.44	4.47	4.41	4.52	4.28	4.45	4.43	3.36	4.09	4.2	4.33	4.45
生化学	87	86	98.85	9			0	3.24	2.55	3.06	4	4.05	3.48	2.47	2.51	3.47	3.13	2.73	3.62	4	3.04
微生物学	87	86	98.85	9			0.25	4.08	3.47	3.9	4.26	4.28	4.14	3.84	3.84	4.22	4.02	3.99	4.05	4	4.18
病態治療学 IV	91	88	96.70	9			0.14	4.15	3.7	3.99	3.72	3.78	3.92	3.64	3.52	3.79	3.78	3.67	3.73	3.67	3.84
栄養学	90	85	94.44	9			0	4.25	4	4.21	4.21	4.25	4.02	3.75	3.74	4	3.98	3.88	3.98	3.3	4.04
保健行動学	87	83	95.40	9			0.67	3.74	3.45	3.84	4.23	4.23	4.42	3.39	3.61	4.06	3.67	3.7	4.04	4	3.78
公衆衛生学	91	87	95.60	9			0.11	3.3	2.33	2.63	3.22	3.27	2.32	1.78	1.83	2.2	1.85	1.7	2.52	1.6	2.18
看護学原論	87	85	97.70	9			0.67	3.54	3.2	3.64	4.21	4.18	3.88	3.14	3.18	4.01	3.21	3.47	3.9	4	3.57
看護倫理	87	87	100.00	9	5, 1, 4, 6		0	3.82	3.56	4.06	4.46	4.5	4.51	3.78	3.72	4.37	4.37	4.32	4	3.67	3.97
基礎看護技術 I	87	86	98.85	9	5, 1, 9		0	4.41	4.33	4.49	4.58	4.56	4.69	4.65	4.23	4.69	4.63	4.72	4.45	4.17	4.7
基礎看護技術 II	88	86	97.73	9	1, 5	1, 5, 9	0	4.49	4.31	4.69	4.58	4.51	4.67	4.5	4.35	4.64	4.49	4.44	4.47	4.75	4.66
成人看護学援助論 I	91	90	98.90	9			0	4.51	4.19	4.54	4.46	4.43	4.5	4.32	4.39	4.5	4.46	4.33	4.36	3.28	4.53
老年看護学概論	91	87	95.60	9	1, 6	5	0.38	4.24	3.83	4.1	4.3	4.44	4.32	3.63	3.86	4.1	4.06	3.69	4.14	3.4	4.09
老年看護学援助論 I	91	89	97.80	9			0	4.27	4.01	4.16	4.13	4.27	4.35	3.93	4.03	4.19	4.13	3.92	4.17	3.62	4.13
小児看護学概論	91	86	94.51	9	1, 5	5, 6	0.17	4.36	4.3	4.51	4.51	4.57	4.47	4.21	3.92	4.47	4.43	4.1	4.27	3	4.43
母性看護学概論	91	86	94.51	9			0	4.42	4.24	4.42	4.41	4.41	4.36	4.27	4.26	4.34	4.36	4.35	4.28	3.43	4.4
母性看護学援助論 I	92	91	98.91	9			0.11	4.1	3.46	3.89	3.82	3.97	3.67	3.13	3.36	3.07	3.26	3.02	3.4	4.14	3.52
精神看護学概論	91	89	97.80	9			0	4.06	3.79	3.97	4.06	4.09	3.94	3.62	3.8	3.94	3.7	3.93	3.97	3.38	3.95
看護管理論	85	80	94.12	9			0.13	4.12	4.04	4.24	4.32	4.35	4.45	4.35	4.05	4.36	4.45	4.35	4.06	5	4.36
在宅看護概論	91	90	98.90	9	1, 2, 5	3, 5, 6	0.31	4.37	4.31	4.44	4.52	4.56	4.73	4.43	4.35	4.59	4.46	4.52	4.43	3.5	4.51
在宅看護援助論 I	92	91	98.91	9			0	4.51	4.36	4.56	4.59	4.59	4.7	4.66	4.64	4.66	4.65	4.62	4.57	3.5	4.67
暮らしの中の法律	127	117	92.13	9	14, 5		0	4.14	4.01	4.31	4.41	4.39	4.46	4.21	3.86	4.41	4.43	4.39	4.46	3.82	4.37
現代の社会	126	112	88.89	9	1	6	0.33	4.17	4.13	4.23	4.31	4.28	4.38	4.25	3.89	4.26	4.1	4.23	4.25	4.08	4.26
ビジネス英語	86	73	84.88	1	6, 1, 3, 5, 6	0.33	4.1	3.71	4.05	4.33	4.34	4.51	3.85	4.25	4.36	4.18	4.27	4.32	4.75	4.21	
フランス語	39	32	82.05	10	3	6	4	3.91	3.59	4.06	4.06	4.06	4.12	3.91	3.94	4.22	4.06	4.09	4.03	4.2	3.97
情報リテラシー	129	115	89.15				4	4.1	4.18	4.26	4.26	4.25	4.38	4.19	4.26	4.37	4.37	4.36	4.26	3.9	4.25
ビジネス基礎演習	128	122	95.31				4.3	4.27	4.5	4.56	4.6	4.5	4.29	4.39	4.52	4.44	4.3	4.42	4.67	4.4	
計算実務	128	94	73.44	9	1	6	0.67	4.14	4.37	4.46	4.48	4.49	4.36	4.43	3.96	4.47	4.48	4.5	4.23	4.5	4.46
現代社会とこころの健康	15	12	80.00				4.67	4.58	4.83	4.75	4.75	4.75	4.83	4.67	4.75	4.83	4.83	4.83	4.58		4.83
会計学	128	116	90.62				3.95	3.64	4.04	4.36	4.39	4.46	4.25	4.13	4.48	4.42	4.34	4.47	4.86	4.31	
現代企業論	128	113	88.28	1	1	1	2	4.11	4.16	4.31	4.42	4.46	4.5	4.25	4.06	4.53	4.39	4.41	4.38	4.75	4.37
地域文化と経済	77	61	79.22	1, 6	1, 5	5, 6	0	4.02	3.85	3.95	4.28	4.25	4.3	3.82	3.66	4.41	4.07	4.31	4.2	5	4
税金入門	71	64	90.14	1	3, 5, 6	5, 6, 10	0	4.11	3.8	4.17	4.31	4.34	4.47	4.33	4.11	4.47	4.43	4.36	4.44	4	4.34
金融のしくみ	55	48	87.27				4.15	3.92	4.27	4.46	4.44	4.52	4.38	4.15	4.5	4.52	4.42	4.46	4.48	5	4.54
ビジネス心理	11	7	63.64				4.57	4.43	4.57	4.86	4.86	4.86	4.57	4.86	4.71	4.71	4.71	4.71	4.57		4.67
簿記演習 II	43	35	81.40				4.31	4.4	4.6	4.66	4.69	4.66	4.63	4.46	4.71	4.63	4.63	4.63	5	4.63	
診療報酬請求論	49	46	93.88	5	1	3	0	4.67	4.48	4.74	4.67	4.74	4.76	4.59	4.63	4.74	4.61	4.65	4.7	4	4.76
社会保障論	37	30	81.08	1, 5	2, 6	3, 4	0.5	4.13	3.97	4.3	4.3	4.33	4.53	4.33	4.1	4.43	4.43	4.2	4.37	5	4.34
日本語表現法	153	139	90.85	9	6, 9	1, 9	1	4.18	4.31	4.31	4.39	4.42	4.52	4.4	3.87	4.53	4.44	4.53	4.34	4.42	4.4
英語 I	153	146	95.42	9	6	1	0.66	3.82	3.17	3.37	4.07	4.12	4.25	3.22	3.96	3.97	3.4	3.8	3.97	3.75	3.75
情報処理	153	144	94.12	9	1, 9	6, 9	0.57	4.2	4.3	4.38	4.44	4.43	4.38	4.38	4.06	4.56	4.34	4.5	4.38	4.2	4.38
スポーツ実技	72	67	93.06	1	3	3	0.67	4.75	4.72	4.63	4.63	4.72	4.79	4.78	4.79	4.75	4.75	4.66	4.73	4.72	4.82
コミュニケーション論	126	121	96.03	1	5	6	0.5	4.07	4.32	4.49	4.44	4.48	4.4	4.02	3.88	4.29	4.02	4.16	4.05		4.08
ホスピタリティ論	49	48	97.96	6	5	1	1	4.42	4.46	4.54	4.58	4.62	4.71	4.65	4.52	4.65	4.71	4.64	4.74	4.13	4.73
ビジネスマナー	156	144	92.31	1, 9	5	6	1.75	3.99	4.23	4.43	4.4	4.44	4.42	4.1	4.01	4.23	4.15	4.14	4.29	4	4.26
経済学	154	140	90.91	9	4	6	0.27	3.29	2.18	2.72	3.73	3.94	3.73	2.19	2.24	3.53	2.48	2.81	3.4	3.56	2.8
経営学	153	148	96.73	9	1, 6	1, 5	0.57	4.09	3.94	4.16	4.29	4.34	4.66	4.14	4.32	4.45	4.36	4.26	4.29	4.5	4.28
基礎簿記	136	122	89.71	1	6, 10	5, 7	0	4.46	3.94	4.33	4.4	4.42	4.49	4.3	3.8	4.47	4.45	4.39	4.49	4.33	4.57
医療保障論	78	74	94.87	6	1	4	0	4.49	4.09	4.36	4.47	4.49	4.58	4.12	4.04	4.38	4.27	4.01	4.38		4.38
医療事務入門	74	71	95.95	6	1	4	0	4.71	4.38	4.58	4.55	4.65	4.46	4.37	4.59	4.48	4.41	4.48	4.67	4.61	4.61
マーケティング	52	48	92.31	5	1	10	0	4.33	4.12	4.21	4.27	4.33	4.6	4.06	3.83	4.52	4.46	4.62	4.43	3.67	

## 仙台青葉短期大学 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	欠席者数平均	意欲平均	理解平均	向上平均	シラバス平均	評価平均	熱意平均	授業法平均	コミュニケーション平均	準備平均	話方平均	資料平均	環境平均	オプション	総合平均
乳児保育	103	92	89.32					4.71	4.67	4.84	4.78	4.78	4.85	4.77	4.78	4.83	4.78	4.7	4.79		4.83
教育方法論	103	95	92.23					4.34	4.12	4.36	4.49	4.47	4.52	4.17	4.29	4.4	4.31	4.34	4.45	4	4.38
社会的養護内容	103	97	94.17					4.53	4.46	4.6	4.58	4.6	4.64	4.66	4.53	4.72	4.67	4.65	4.61	4.25	4.68
保育指導法	103	95	92.23					4.69	4.67	4.77	4.77	4.78	4.83	4.74	4.79	4.8	4.75	4.81	4.74	1	4.8
基礎理学療法Ⅲ(職業倫理)	72	67	93.06	9	6	9	0.21	3.97	3.94	3.95	4.03	4.02	4.09	4.06	4.05	4.02	4.05	4.05	4.02	4	4.05
病態運動学Ⅱ(応用)	72	67	93.06	9	1	3	0.08	4.57	4.37	4.54	4.54	4.55	4.66	4.51	4.58	4.58	4.6	4.55	4.59	4.5	4.55
理学療法治療学演習Ⅱ(総合)	72	67	93.06	9	1	3	0.12	3.88	3.48	3.76	3.9	3.91	4.24	3.63	4	4.06	3.97	3.84	3.9	3.71	3.61
地域理学療法実践	72	68	94.44	9	9	6	0.06	4.3	4.26	4.24	4.38	4.37	4.44	4.32	4.32	4.35	4.32	4.37	4.37	4.44	4.43
日本語表現Ⅰ	76	74	97.37	9	6	10	0.03	3.8	3.96	3.93	4.15	4.31	3.97	3.73	3.97	4.07	3.8	4.09	3.96	3.9	3.87
英語Ⅰ	76	71	93.42	9	6	3	0.06	4.42	4.51	4.44	4.48	4.51	4.56	4.43	4.49	4.59	4.34	4.3	4.42	4.37	4.48
歴史と文化	81	64	79.01	9	9	9	0.22	4.41	4.31	4.31	4.39	4.41	4.41	4.3	4.25	4.44	4.49	4.39	4.41	4.33	4.47
暮らしの中の法律	81	64	79.01	9	9	9	0.17	4	3.83	3.97	4.02	4.09	4.11	3.95	3.66	4.06	4.03	4.03	3.97	3	3.98
現代の社会	76	76	100.00	9	2	3	0.07	4.32	4.45	4.38	4.5	4.49	4.46	4.41	4.33	4.53	4.41	4.41	4.49	4.67	4.41
情報処理	76	72	94.74	9	6	3	0.06	4.46	4.38	4.43	4.59	4.51	4.39	4.42	4.28	4.49	4.43	4.35	4.44	4.54	4.44
生物学	76	76	100.00	9	2	3	0.07	3.78	3.58	3.91	3.96	3.78	3.37	3.42	4.2	3.75	3.53	3.53	3.7	4	3.53
物理学	76	75	98.68	9	2	3	0.04	4.04	3.97	4.05	4.25	4.27	4.31	4.25	3.84	4.28	4.16	4.36	4.27	4.16	4.2
健康スポーツ科学	76	76	100.00	9	2	9	0.04	4.18	4.21	4.18	4.37	4.46	4.32	4.08	3.96	4.37	4.17	4.32	4.18	4.41	4.18
解剖学Ⅰ	76	74	97.37	9	5	3	0.09	4.73	4.64	4.69	4.69	4.69	4.7	4.65	4.68	4.73	4.68	4.66	4.63	4.84	4.69
解剖学Ⅱ	76	76	100.00	9	5	3	0.06	4.71	4.29	4.61	4.57	4.62	4.72	4.53	4.68	4.7	4.68	4.42	4.57	4.6	4.61
基礎運動学Ⅰ	76	74	97.37	9	2	1	0.04	4.57	4.38	4.55	4.59	4.58	4.57	4.59	4.55	4.61	4.61	4.62	4.49	4.62	4.53
運動学演習	81	72	88.89	9	1	9	0.28	4.43	4.03	4.36	4.43	4.41	4.53	4.28	4.51	4.5	4.46	4.28	4.42	4.5	4.42
内科学Ⅰ	81	68	83.95	9	9	9	0.4	3.44	2.87	3	3.34	3.35	3.03	2.63	2.79	3.18	2.81	2.96	3.09	3	2.96
小児科学	81	63	77.78	9	9	9	0.1	4.11	3.97	4.08	4.08	4.06	4.17	4.08	3.86	4.24	4.17	4.16	4.02	3	4.16
臨床心理学	81	70	86.42	9	9	9	0.25	3.59	3.39	3.56	3.79	3.81	3.7	3.41	3.34	3.66	3.61	3.66	3.77	3.33	3.65
公衆衛生学	81	71	87.65	9	9	9	0.2	4.59	4.58	4.62	4.65	4.65	4.7	4.72	4.71	4.68	4.68	4.56	4.65	4.75	4.7
理学療法概論	76	76	100.00	9	5	1	0.11	4.29	4.22	4.26	4.43	4.46	4.47	4.2	4.05	4.48	4.26	4.32	4.24	4.32	4.3
理学療法基礎評価学Ⅱ	81	71	87.65	9	9	9	0.34	4.31	4.13	4.34	4.34	4.38	4.38	4.3	4.35	4.37	4.37	4.15	4.3	4.4	4.33
小児理学療法	81	73	90.12	9	9	9	0.31	4.38	4.26	4.36	4.33	4.38	4.4	4.33	4.44	4.48	4.34	4.33	4.38	4.25	4.44
日常生活活動学	76	76	100.00	9	5	6	0.09	4.55	4.29	4.39	4.54	4.54	4.6	4.53	4.5	4.55	4.47	4.49	4.45	4.55	4.53
医療関連法規	14	7	50.00	9	9	9	0	3.57	3.14	2.71	3.57	3.57	2.86	2	2.29	1.86	3.29	3.14	3.14		2
理学療法研究法	14	9	64.29	9	9	9	0	4.67	4.44	4.44	4.44	4.67	4.89	4.33	4.67	4.56	4.56	4.44	4.56		4.62
高齢者の運動療法	14	10	71.43	9	9	9	0	4.7	4.6	4.5	4.5	4.5	4.4	4.7	4.4	4.5	4.4	4.5	4	5	4.75
地域理学療法実践	14	9	64.29	9	9	9	0	4.78	4.67	4.67	4.44	4.33	4.33	4.56	4.56	4.33	4.44	4.33	4.67	5	4.88
日本語表現Ⅰ	8	8	100.00	9	6	10	0	4.38	4.12	4.25	4	4.25	4.5	4	4.38	4.62	4.38	4.38	4.14		4.17
英語Ⅰ	8	8	100.00	9	5	8	0	4.88	4.62	4.62	4.75	4.88	5	4.75	5	4.75	4.62	4.5	4.75		5
歴史と文化	8	8	100.00	9	1	6	0	4.62	3.88	4.12	4.75	4.5	4.75	4.25	3.88	4.75	4.62	4.38	4.5		4.57
暮らしの中の法律	8	8	100.00	9	6	3	0.14	4.25	4	4.25	4.62	4.62	4.88	4.5	3.88	4.75	4.75	4.75	4.5	5	4.67
現代の社会	8	8	100.00	9	2	6	0.2	4.38	4	4	3.88	4.12	4.38	3.5	4.25	4.12	4.12	4	4		3.71
心理学概論	8	7	87.50	9	5	1	0.57	4.57	4.14	4.57	4.43	4.57	4.86	4.57	3	4.57	4.71	4.86	4.43		4.57
生物学	8	8	100.00	9	5	6	0	4.25	3.75	3.88	4.38	4.38	4	3.38	3.38	4	3.5	3.75	4		3.71
物理学	8	8	100.00	9	6	10	0	4.38	3.75	4.25	4.62	4.75	4.62	4.12	3.88	4.5	4.5	4.38	4.25	4	4.43
解剖学Ⅰ	8	8	100.00	1	6	9	0	5	4.75	4.88	5	5	5	5	5	5	4.88	5	5	5	5
解剖学Ⅱ	8	8	100.00	9	1	6	0	4.88	4.5	4.88	4.88	4.88	4.88	4.75	4.88	4.88	4.88	4.75	4.88		4.86
生理学Ⅰ	8	8	100.00	9	5	6	1	3.88	3	4	4	4.62	4.38	2.75	3.88	3.88	2.12	3.12	3		2.86
基礎運動学Ⅰ	8	8	100.00	9	1	5	0	4.75	4.5	4.75	4.88	4.88	4.88	4.75	4.88	4.88	4.88	4.75	4.62		4.86
運動学演習	19	18	94.74	9	5	10	0.94	4.56	4.39	4.78	4.61	4.61	4.83	4.56	4.61	4.67	4.5	4.5	4.56	4	4.55
内科学Ⅰ	19	19	100.00	9	5	10	0.75	3.74	3.11	3.32	3.89	3.79	3.47	2.95	2.68	3.37	3.11	3.47	3.42	3	3.37
整形外科	19	23	121.05	9	5	10	0.86	4.22	4.13	4.23	4.22	4.22	4.17	3.96	4	3.87	3.91	3.91	4.17	4	4.17
臨床心理学	19	18	94.74	9	9	10	0.56	4.11	4.11	4.33	4.33	4.22	4.39	4.44	4	4.5	4.61	4.06	4.53		4.33
公衆衛生学	19	15	78.95	9	10	3	0.57	4.73	4.8	4.87	4.87	4.87	4.93	4.93	4.93	4.93	4.93	4.93	4.87	4	4.87
社会福祉概論	8	7	87.50	9	5	6	0	4.71	4.71	4.57	4.71	4.71	4.71	4.71	4.57	4.71	4.57	4.43	4.71		4.5
理学療法概論	8	8	100.00	9	5	3	0	4.75	4.75	4.88	4.88	4.88	5	4.75	4.62	5	4.88	4.75	4.62		4.71
理学療法基礎評価学Ⅱ	19	18	94.74	9	5	10	0.72	4.61	4.11	4.39	4.28	4.28	4.5	4.39	4.56	4.44	4.61	4.39	4.61		4.41
小児理学療法	19	15	78.95	9	5	3	0.73	4.13	4	4	4.2	4.33	4.47	4.4	4.2	4.47	4.4	4.33	4.27	3	4.36
物理療法学	19	19	100.00	9	5	1	0.76	4.58	4.47	4.58	4.68	4.68	4.74	4.63	4.63	4.63	4.68	4.63	4.63	4	4.68
義肢装具学	19	19	100.00	9	5	10	0.88	4.26	4.05	4.32	4.32	4.42	4.32	4.32	4.42	4.42	4.37	4.42	4	4.47	
日常生活活動学	8	8	100.00	9	5	9	0	4.88	4.38	5	4.75	4.88	4.88	4.62	5	4.88	4.88	4.62	4.62		4.86
作業療法の倫理管理	31	31	100.00	9	9	0	0.03	4.32	4.29	4.55	4.42	4.48	4.58	4.39	4.42	4.45	4.58	4.45	4.35	4.67	4.52
作業療法研究法	31	30	96.77	9	9	0	0.07	3.87	3.87	4.03	3.9	4	3.9	3.77	3.97	3.83	3.87	3.87	3.72	4.33	4
地域作業療法実践	31	31	100.00	9	9	0	0.07	4.06	4	4.13	4	4.03	4.19	3.9	3.94	3.97	4	3.9	3.9	3.5	4
日本語表現Ⅰ	24	22	91.67	9	6	1	0	4.27	4.23	4.09	4.27	4.36	4.36	4.14	4.09	4.45	4.14	4.45	4.36	4	4.33
英語Ⅰ	24	22	91.67	9	6	6	0.45	4.77	4.38	4.5	4.77	4.64	4.95	4.41	4.82	4.77	4.59	4.45	4.82	5	4.77
歴史と文化	34	28	82.35	9	9	0	0.11	3.96	3.82	3.79	4.39	4.29	4.21	4.14	3.86	4.43	4.29	4.18	3.96	4	4.15
暮らしの中の法律	34	26	76.47	9			0.19	3.38	3.54	3.92	3.96	4.08	4.08	3.88	3.31	3.92	3.96	3.85	3.65	3	3.8
現代の社会	24	21	87.50	9	6	1	0	4.62	4.43	4.67	4.71	4.71	4.76	4.71	4.62	4.71	4.67	4.71	4.76	5	4.71
情報処理	24	22	91.67	9	6	1	0.25	4.64	4.59	4.68	4.64	4.68	4.55	4.64	4.68	4.68	4.64	4.68	4.68		

## 仙台青葉短期大学 授業改善アンケート集計結果(平成29年度前期)

授業科目名	履修者数	回答数	回答率	動機1	動機2	動機3	欠席者数平均	意欲平均	理解平均	向上平均	シラバス平均	評価平均	熱意平均	授業法平均	コミュニケーション平均	準備平均	話方平均	資料平均	環境平均	オプション	総合平均	
人体の構造と機能Ⅲ(組織発生)	62	59	95.16	9	5	6	0.1	4.12	3.56	3.93	4.14	4.17	4.31	3.86	4.08	4.27	3.12	3.68	4	4.09	3.93	
栄養学	62	62	100.00	9	6	6	0.13	3.79	3.45	3.66	4.13	4.23	4.1	3.74	3.15	4.26	4.06	4.11	4.13	4.14	4.05	
生化学	62	57	91.94	9	5	6	0.25	4.34	4.12	4.29	4.39	4.41	4.39	4.29	4.27	4.32	4.2	4.19	4.21	2.96	4.31	
臨床医学	62	60	96.77	9	2, 9	3	0.15	4.1	4	4.08	4.2	4.18	4.07	3.85	3.98	4.03	4.03	4.08	4.1	3.86	4.05	
衛生学・公衆衛生学	62	61	98.39	9	6	1	0.11	4.07	3.95	4.13	4.16	4.15	4.03	4.1	3.56	4.25	4.18	4.23	4.07	4	4.16	
社会福祉論	62	58	93.55	9	5	6	0.19	4.44	4.38	4.47	4.53	4.54	4.58	4.59	4.6	4.56	4.58	4.51	4.58	4.67	4.55	
口腔外科学	62	58	93.55	9	5	6	0.29	4.12	3.77	3.89	4.11	4.09	4	3.75	3.75	3.98	3.79	3.88	4.02	4	3.89	
歯科矯正学	62	60	96.77	9	5	6	0.28	4.43	4.35	4.37	4.43	4.45	4.45	4.43	4.4	4.48	4.42	4.4	4.42	4.38	4.37	
発達歯科学	62	55	88.71	9	1, 5	5	0	4.36	4.29	4.42	4.45	4.44	4.57	4.44	4.42	4.49	4.5	4.45	4.45	4.43	4.51	
高齢者口腔保健学	62	61	98.39	9	5	6	0.17	4.39	4.41	4.38	4.39	4.43	4.39	4.39	4.31	4.41	4.39	4.39	4.39	4.2	4.44	
歯科放射線学	62	58	93.55	9	9	1, 5	0.28	4.77	4.7	4.79	4.82	4.82	4.84	4.88	4.86	4.88	4.86	4.84	4.84	4.5	4.91	
歯科予防処置演習Ⅱ(臨床前期)	62	58	93.55	9	6	5, 6, 9	0.33	4.6	4.52	4.55	4.57	4.59	4.59	4.57	4.55	4.57	4.59	4.59	4.59	4.44	4.61	
歯科予防処置演習Ⅳ(臨床総合)	62	62	100.00	9	2	6	0.24	4.56	4.48	4.6	4.58	4.6	4.56	4.45	4.45	4.53	4.5	4.48	4.48	4	4.59	
保健指導演習Ⅱ(臨床応用)	62	62	100.00	9			0.13	4.56	4.39	4.55	4.53	4.55	4.55	4.19	4.32	4.35	4.44	4.45	4.44	3.8	4.44	
口腔リハビリテーション論	62	57	91.94	9	5	6, 9	0.12	4.39	4.32	4.45	4.49	4.49	4.51	4.53	4.46	4.49	4.54	4.51	4.52	4.4	4.55	
歯科診療補助法	62	63	101.61	9	5	1	0.29	4.49	3.86	4.41	4.47	4.32	4.33	3.95	3.76	4.44	4.21	4.46	4.19	4	4.18	
歯科診療補助演習Ⅲ(臨床総合)	62	60	96.77	9		9	0.17	4.67	4.52	4.58	4.58	4.6	4.68	4.63	4.65	4.66	4.7	4.7	4.63	4	4.64	
介護技術の基礎	62	57	91.94	9	5	6	0.2	4.53	4.49	4.49	4.6	4.6	4.58	4.56	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.56	4.71	4.6
周術期在宅口腔ケア演習	62	62	100.00	9	2, 3, 4, 6	3, 4, 5, 9	0.07	4.45	4.19	4.48	4.58	4.58	4.68	4.48	4.4	4.63	4.61	4.56	4.44	4.5	4.53	
日本語表現法	83	83	100.00	9	6	5	0.22	3.88	4.04	3.9	4.05	4.05	4.01	3.83	3.63	3.82	3.93	3.3	3.38	3.8	3.83	
暮らしの中の法律	88	71	80.68	1	6	4	0.47	3.83	3.48	3.79	3.97	3.99	4.03	3.7	3.38	3.97	3.97	3.86	3.8	3.38	3.78	
ビジネスマナー	88	63	71.59	1	6	4	0.65	4.14	4.35	4.37	4.33	4.32	4.48	4.41	4.46	4.43	4.35	4.41	4.29	4	4.4	
食生活論	83	79	95.18	9	5	5	0.28	3.44	3.41	3.48	3.84	3.83	3.46	3.23	3.24	3.47	3.43	3.46	3.59	3.75	3.51	
公衆衛生学	88	66	75.00	9	6	6	0.78	3.92	3.82	4.11	4.18	4.17	4.36	4.02	4.28	4.26	4.14	4	4.14	4.4	4.14	
生理学	83	82	98.80	9	5	6, 9	0.15	3.87	3.49	3.68	3.94	3.96	4.27	3.57	3.61	3.89	3	3.65	3.85	3.3	3.79	
解剖学	83	83	100.00	9	6	6	0.16	3.66	3.13	3.51	4.02	4.1	4	3.51	3.57	3.95	2.52	3.53	3.82	3.71	3.62	
医学概論	88	67	76.14	9	5	6	0.63	3.85	3.27	3.73	4.06	4.09	4.03	3.61	3.99	4.15	3.85	3.91	3.96	3.67	3.97	
食品学	83	72	86.75	9	5	1	0.27	3.79	3.49	3.67	4.14	4.17	4.06	3.65	3.39	4.1	4.36	3.82	4.03	3.67	4.01	
食品学実験Ⅰ(基礎)	83	81	97.59	9	5	6	0.18	4.14	3.81	4.01	4.19	4.21	4.35	4.14	4.26	4.32	4.06	4.23	4.23	4.33	4.26	
栄養学	83	83	100.00	9	5	6	0.16	3.86	3.59	3.84	4.06	4.11	4.13	3.83	3.76	4.1	3.9	4.01	4.02	4	4.05	
栄養学実験	83	83	100.00	9	5	6	0.25	4.17	3.58	3.84	4.05	4.1	4.11	3.8	4.06	4.2	3.95	3.73	4.12	3.29	4.1	
健康栄養管理概論	83	82	98.80	9	5	6, 9	0.33	3.87	3.91	4.01	4.15	4.13	3.96	3.99	3.83	4.11	3.91	4.06	4	3.86	4.09	
ライフステージ栄養管理実習	88	59	67.05	9	5	6	0.49	4.27	4.24	4.27	4.33	4.29	4.14	4.17	4.1	4.25	4.19	4.27	4.31	3.78	4.29	
調理学	83	80	96.39	9	5	1	0.21	3.7	3.59	3.7	3.92	3.92	3.55	3.22	3.42	3.69	3.2	3.38	3.62	3.22	3.59	
調理学実習Ⅰ(基礎)	83	82	98.80	9	5	6	0.21	4.29	4.3	4.35	4.21	4.21	4.23	4.11	4.2	4.32	4.07	4.22	4.27	4.3	4.32	
給食計画実務論	83	83	100.00	9	5	5, 6, 9	0.23	3.8	3.59	3.76	4	4.02	4.02	3.65	3.63	3.95	3.86	3.85	3.95	3.89	3.96	
食品衛生学	88	67	76.14	9	5, 6	1	0.57	4.3	4.04	4.19	4.42	4.45	4.55	4.29	4.19	4.52	4.49	4.42	4.31	4.5	4.46	
食品加工学	88	65	73.86	9	5	6	0.67	4.09	3.75	4.03	4.15	4.15	4.22	3.69	3.74	4.11	3.91	3.91	4.08	4.33	4.02	
臨床栄養学	88	63	71.59	9	5	1, 6	0.89	4.22	4.13	4.27	4.29	4.27	4.41	4.4	4.19	4.46	4.4	4.37	4.29	4.67	4.4	
栄養指導論Ⅱ(応用)	88	68	77.27	9	5	6	0.78	4.07	4.03	4.12	4.18	4.22	4.21	4	3.99	4.12	4.03	4.13	4.13	4	4.12	
栄養指導実習	88	62	70.45	9	5	6	0.83	4.08	4.02	4.15	4.28	4.24	4.06	4.1	4.13	4.23	4.13	4.19	4.18	3.5	4.13	
給食管理実習Ⅱ(応用)	88	67	76.14	9	5	1	0.7	4.16	3.96	4.21	4.06	4.04	4.24	3.85	3.95	4.12	3.9	3.93	4.06	3.46	4.03	
食品とアレルギー	88	59	67.05	9	5	1	0.57	3.93	3.85	3.98	4	3.93	3.92	3.88	3.88	4.07	4.03	3.97	3.95	3.88	3.93	
子どもと食育	88	65	73.86	9	5, 6	6	0.91	4.06	4.09	4.08	4.09	4.12	4.15	4.08	4.08	4.12	4.03	4.05	4.06	4	4.14	
情報処理	83	82	98.80	9	5	9	0.25	4.28	4.24	4.26	4.28	4.27	4.32	4.35	4.3	4.33	4.35	4.27	4.28	4.56	4.34	
生活環境と化学	83	81	97.59	9	5	6	0.32	3.93	3.86	3.91	4.28	4.31	4.59	4.38	4.1	4.48	4.42	4.33	4.35	3.88	4.41	
日本語表現法	46	44	95.65	9	6	5, 9	0.32	3.93	4.05	4.11	4.64	4.68	4.57	4.07	3.98	4.61	4.41	4.41	4.57	5	4.25	
英語Ⅰ	46	43	93.48	9	6	5, 6	0.33	4.12	3.58	3.72	4.38	4.4	4.26	3.43	4.09	4.07	3.81	4.02	4.19	5	3.77	
中国語会話	31	20	64.52	1	5	6	2.46	4.55	4.45	4.74	4.7	4.75	4.85	4.7	4.8	4.75	4.85	4.75	4.8	4	4.85	
暮らしの中の法律	31	29	93.55	9	6	6	1.35	4.21	4.07	4.41	4.34	4.34	4.41	4.28	3.83	4.38	4.34	4.34	4.28	4.33	4.39	
コミュニケーション論	37	34	91.89	6	5, 6	10	0.32	4.56	4.32	4.62	4.82	4.82	4.91	4.76	4.82	4.88	4.88	4.91	4.85	5	4.85	
情報処理	46	44	95.65	9	6	1, 5	0.43	4.59	4.5	4.7	4.73	4.75	4.8	4.8	4.61	4.84	4.86	4.82	4.75	4.8	4.77	
数理解テラシー	46	45	97.83	6	6	4	0.39	4.58	4.16	4.42	4.78	4.8	4.98	4.76	4.8	4.82	4.93	4.87	4.89	3.83	4.82	
経済学入門	46	45	97.83	9	6	5	0.44	4.4	3.56	3.96	4.62	4.64	4.76	4.16	4.49	4.6	4.36	4.38	4.4	5	4.36	
経営学入門	46	43	93.48	9	6	6	0.36	4.35	4.05	4.26	4.77	4.81	4.84	4.67	4.47	4.79	4.72	4.81	4.7	5	4.63	
観光概論	46	44	95.65	9	1	5, 6	0.37	3.89	3.59	3.64	4.52	4.61	4.36	3.52	3.27	4.57	4.16	3.93	4.34	4.75	3.86	
観光ビジネス実務総論	46	43	93.48	9	6	5, 6	0.28	4.26	4	4.26	4.67	4.67	4.56	4.12	3.84	4.7	4.42	4.28	4.44	4.75	4.23	
ビジネスマナー	46	42	91.30	9	6	6	0.24	4.57	4.69	4.79	4.88	4.83	4.86	4.83	4.69	4.88	4.79	4.86	4.78	4.8	4.74	
ビジネス英会話	46	42	91.30	9	1, 6, 9, 10	1, 5, 6, 10	0.55	4.63	4.57	4.64	4.74	4.81	4.74	4.76	4.86	4.79	4.79	4.81	4.81	4.76	4.76	
旅行ビジネス実務	13	11	84.62	1	6	5	3.1	3.82	3.82	4	4.09	4.09	4.09	3.91	4	4	3.91	3.82	4.09	3.5	4.09	
観光交通ビジネス実務Ⅱ	11	8	72.73	1	1, 5	6	3.8	4.25	4.5	4.12	4.12	4.25	4.38	4	3.62	3.88	4.12	3.88	3.88	4.5	3.88	
ブライダルビジネス実務	23	17	73.91	1	2	5	2.79	4.24	4.47	4.41	4.47	4.41	4.24	4.35	4	4.35	4.47	4.47	4.29	4	4.38	
地域観光論	31	22	70.97	9	6	1, 3, 5	2.33	4.14	4.18	4.23	4.5	4.5	4.45	4.36	3.86	4.45	4.5	4.45	4.32	4.5	4.5	
東北学	31	24	77.42	9	6	1, 5	3	3.71	3.54	3.92	4.08	4.17										



## 第6章

### 学習成果等アンケート

## 第4章 学習成果等アンケート

山形大学 学術研究院 教授  
栗山 恭直

今年度も、全学年に対してアンケートを実施した。学年進行による意識の変化を含めて解析することが可能になった。昨年も記載したが、大学 IR コンソーシアムの記述にあるように「IR とは本来、教育、経営、財務情報を含む大学内部のさまざまなデータの入手や分析と管理、戦略計画の策定、大学の教育プログラムのレビューと点検」に用いられる手法である。毎年 2 月に開催される FD ネットワーク “つばさ” FD 協議会の部会でも IR をトップダウンでやることになったが、他の大学でどのように実施しているかなどの情報交換が活発に行われている。いきなり IR を分析しろといわれても、簡単に分析することは難しいかもしれない。得られたデータは単なる数字だが、その数字をどのように読み解くかも大学 IR コンソーシアムの HP (<http://www.irnw.jp/applicability.html>) にわかりやすい例が紹介されているので、ぜひ目を通してほしい。「相互比較の結果の理由や意味づけについては、各大学の教学システムや実践しているプログラムなどと結びつけて考えること」が大切なことである。自分の大学の仕組みを理解しないと間違った分析をすることになる。また、特徴として加盟大学の平均と自校を比較して特徴を知ることができる。アンケートを継続することにより変化を見て取ることができ、IR の結果を元にカリキュラムを変更した場合、改組等で変化した場合、それらの影響を変化から知ることになる。学内のほかのデータを併用してより詳しい解析が可能になる。

今回も報告するにあたり各加盟校名は、伏せることにした。各大学には自校の結果と加盟校の平均の値を返却することになる。ただし、山形大学の各学部のデータは掲載しているので、各加盟校で使用していただいてもかまわない。そこでいくつか解析してみたいと思う。

大学ごとに平均化してしまうと各大学での特徴的なものは、あまりない。入学満足度の結果を 1 年生と卒業年次を比較する。肯定的回答の割合とその平均点は、学年変化では、若干の上下があるが、どの大学も最終的に上がっている。これは、大学人としてはうれしい結果である。

今年も山形大学の各学部、学年を主に分析したいと思う。特に今年は人文社会科学部・地域教育文化学部・理学部・工学部で学科またはコースの再編があった。さらに、一年生の基盤教育が変わり、全学共通でのスタートアップセミナーが 35 人規模になり、学生の所属は学部学科の混成になった。教える内容も統一化され全員が同じ内容を学ぶように変更した。アクティブラーニングを基幹科目に取り入れるなど学生が主体的に学ぶ環境を作るように変わった。このような変化がアンケートの結果に影響したか注目したい。

1. 入学について：地域教育文化学部では、「地元の大学だから」の理由をあげる割合が多いのだが多学部では 3 位までに入らない。29 年度地域教育文化学部は、山形県出身者が 49% だが、他の学部では、山形県と宮城県の割合が拮抗している。人文・理・医（医）では宮城県が山形県より多い。他大学では、地元大学での進学が上位にある大学が多く見られる。どの大学でも 4 の学びたい学部・学科や 3 の自分の学力が上位にきている。
2. 授業について：1 年生は、全学共通の基盤（教養）教育を履修しているので 1 年生での学部での違いは今年もなかった。2 年生になると専門教育が始まる関係で 2-1, 2-2 のポイントがどの学部でも平均値は上がっている。違いが見えたのは、「2-5；就職に役に立ちそうな授業が多い」の設問である。医学部の平均値が大学の平均値よりも高い。国家試験をめざすカリキュラムの関係であろう「2-4；主体的に考える」の項目も 6 年次になると低くなるのも予想できる。「2-6；国際性に関する」も、地域教育文化学部の異文化交流コースでは、2 年生になると 3.5 以上を示しており、コースの特徴を示している。このように学部学科あるいはコースでの特徴から詳しく解析することができる。改組後の学生が進級する来年度、この項目を解析して改組後のカリキュラムの妥当性が解析できる。

3. 今回の新基盤教育の成果を一年で評価することはできないが、顕著な変化をみることができる。大学平均値が昨年と比べると減っている。減った学部は、医学部と理学部で、ほとんどの項目で減少した。逆に工学部と農学部では、値が増加した。人文社会科学部と地域教育文化学部でも増えた項目は二つしかない。そこでここ数年の変化を確認したが、明らかに変化を確認できた。

年度	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	3-6	3-7	3-8
H25	3.62	3.48	3.3	3.33	3.19	3.03	3.38	2.82
H26	3.74	3.63	3.41	3.44	3.29	3.11	3.48	2.92
H27	3.79	3.69	3.38	3.39	3.31	3.18	3.45	2.93
H28	3.73	3.71	3.43	3.4	3.4	3.2	3.49	2.94
H29	3.57	3.48	3.34	3.35	3.38	3.15	3.54	2.98

この理由を考えてみた。今回の基盤教育の改革は、学部混合のスタートアップセミナー、基幹科目へのアクティブラーニングの導入、情報教育の外部依頼などがあげられる。スタートアップ後でのアンケート結果では、項目は異なるが学部間での差がなかった。今回、教養科目の科目数を減らし、一クラスの規模が大きくなった。成績の厳密化で教える内容が変化した可能性がある。これらのことから、教養科目全体の内容が工学部と農学部の学生にとっては最適だが、他学部の学生にとっては知識や能力を身につける力を習得する内容になっていないことを示す可能性もある。さらに、各学部の学生の学習能力等を入学時の偏差値で比較するなど、さらに検討する項目がある。今年一年だけなので来年度以降の結果を待ちたい。

この年度変化から3-6の値があまり上昇しているとはいえない。改革の余地がありそうだ。3-8は、一年生の学ぶ内容になっていないので相変わらず低い値のままである。

4. この項目は学生がどのような講義を希望しているかを判断することができる項目である。施設や設備は、対応できれば簡単に満足度があがるものだが、ほかの項目は教員側の能力の向上が求められているものであり、簡単に満足度をあげることは難しい項目である。医学科で「4-1カリキュラム改善」を望む声がどの学年も4点近く、学生の要求が多い。地域教育文化学部の造形芸術と音楽芸術コースは、どの項目でも4点近い学生の要求があり、他のコースや学科との違いが明らかである。芸術に関する教育カリキュラムの難しさを表しているのかもしれない。
5. 学習時間のデータは、他のアンケートデータが手に入ることもあり、比較検討することができる項目である。医学部に学習時間が短いのは、基盤教育の内容が医学部学生にとって簡単に勉強しなくても良いと考えていることが予想される。実際、医学部の学生は試験をすると高得点をとることが多いこともこの事実をサポートしていると思う。総務省の社会生活基本調査に大学・大学院、および短大・高専生が一日あたりに学業（授業や予習復習）と学業以外の学習にかけている時間の経年変化を示したものがある。2011年の値は大学・大学院で一日あたり216分で、授業時間を含めるとほとんど勉強していないことになり、今回の結果をみると山形大学生が非常に勉強していることになる。

総務省のHP (<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do?bid=000001040666&cycode=0>)

曜日、男女、教育、ふだんの就業状態、行動の種類別総平均時間、行動者平均時間及び行動者率(在学者)でより詳しく参照可能

卒業研究の学生に対してのこの4の項目は答えにくいと考えられる。理学部物質生命化学科では、卒業研究と文献購読があり、予習・復習として解答できるのは文献購読しかない。4年次を除けば、学習時間が増えていることは、専門の講義が増えることに因ることが考えられ、当然の結果だと思う。人文

学部では、公務員試験を受験する学生は、明らかにもっと勉強していると考えられる。分析が難しい項目である。

6. 医学科を除き、他学部では、どのコース・学科も最終学年で4点を超える値を示している。満足度は高いようである。医学科は、新入生の満足度が低めである。それに比べると最終学年も満足度は上がっているが他の学部の値に比べると低い。友人の医者がこの話をした時に、医者は常に患者の命を救うために日々勉強をしているので、満足するように教育していないと言われ、別の見方があり、分析には各学部のポリシー等を理解していないと間違った判断をする可能性があると思った。

以上のように、経年変化等での解析と専門教育との詳しい相関を持って初めて IR の結果が生きてくる。さらに各学生と紐付けされることにより、GPA との関係や入学における入試形態との相関など、より詳しい分析が可能になり、学生に対してもどの様な教育プログラムが最適なのか考察することができる。現在、全国で大学改革が進んでいるが教学 IR に基づいているのだろうか。今後継続して測定することによりこれらのデータが生かされると思う。

(1) FDネットワーク“つばさ”加盟校中14校実施 集計結果

平成29年10月~平成30年2月実施

表1 学習成果等アンケート回収率

回答率	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
山形大学	91.1%	73.2%	69.0%	56.4%	62.4%	69.0%
A大学	92.0%	94.4%	92.9%	/	/	/
B大学	85.6%	77.2%	78.9%	60.5%	/	/
C大学	93.0%	94.7%	/	/	/	/
D大学	49.2%	66.3%	65.0%	54.0%	/	/
E大学	84.5%	89.5%	/	/	/	/
F大学	90.9%	81.6%	77.4%	71.0%	/	/
G大学	95.6%	83.9%	82.4%	59.6%	/	/
H大学	90.2%	82.6%	72.1%	53.7%	/	/
I大学	99.4%	93.2%	95.1%	88.8%	/	/
J大学	80.1%	69.7%	84.5%	63.0%	/	/
K大学	94.4%	85.9%	88.8%	83.7%	/	/
L大学	81.9%	91.2%	86.4%	/	/	/
M大学	92.2%	95.6%	58.9%	68.9%	/	/

【1】 あなたが本学への入学を決定された理由を強い順に3つ下記から選んでマークしてください。

- 1：建学の理念に共感したから 2：入試科目があっていたから 3：自分の学力にあっていたから  
 4：学びたい学部・学科・コースがあつたから 5：カリキュラムが充実しているから 6：資格を取得出来るから  
 7：就職に役立つから 8：キャンパスの施設・設備が良いから 9：地元の大学だから  
 10：大学の知名度が高かつたから 11：大学が設置されている地域に魅力があるから 12：学費が安いから  
 13：親や教員に勧められたから 14：本学しか合格しなかつたから 15：その他（理由を裏面の【7】にご記入ください）

注：「第一理由」「第二理由」「第三理由」それぞれの回答数を集計し、「第一理由」回答数に「3点」、「第二理由」回答数に「2点」、「第三理由」回答数に「1点」をかけた上で合計し、その合計点の上位3位。

表2 動機の上位3位（山形大学）

学部	学科・課程	1年生			2年生			3年生			4年生			5年生			6年生		
		1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位
人文社会科学部	人文社会科学科	4	3	2	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	人間文化学科	/	/	/	4	3	2	4	3	9	4	3	9	/	/	/	/	/	/
	法経政策学科	/	/	/	3	4	2	3	4	2	3	4	9	/	/	/	/	/	/
地域教育文化学部 地域教育文化学科	児童教育コース	4	9	3	4	3	9	4	3	9	4	3	9	/	/	/	/	/	/
	文化創生コース	4	2	3,9	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	異文化交流コース	/	/	/	4	9	12	4	3	2,9	4	3	9	/	/	/	/	/	/
	造形芸術コース	/	/	/	4	2,9	3	9	4,1,3	2	4,10	7,9	3,12	/	/	/	/	/	/
	音楽芸術コース	/	/	/	3	9	2	4	2	3,9,12	4	2	3	/	/	/	/	/	/
	スポーツ文化コース	/	/	/	4	9	3	4	2	3	3	4	2	/	/	/	/	/	/
	食環境デザインコース	/	/	/	4	6	3	3	4	6	4	3	6	/	/	/	/	/	/
	生活環境科学コース	/	/	/	3,4	7	13	4	3	9	3,4	2,6	9	/	/	/	/	/	/
	システム情報学コース	/	/	/	4	3	6	3	4	6,12,14	3	4	9	/	/	/	/	/	/
	養護教諭特別科	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
理学部	理学科	4	3	2	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	数理科学科	/	/	/	3	4	9	3	4	2	4	3	2	/	/	/	/	/	/
	物理学科	/	/	/	4	3	2	4	3	2	3	4	2	/	/	/	/	/	/
	物質生命化学科	/	/	/	3	4	2	3	2	4	3	4	2	/	/	/	/	/	/
	生物学科	/	/	/	3	4	2	4	3	2	4	3	2	/	/	/	/	/	/
	地球環境学科	/	/	/	4	3	2	4	3	2,9	4	3	2	/	/	/	/	/	/
医学部	医学科	3	4	2	4	3	2	4	3	2	3	4	2	3	2	4	3	2	4
	看護学科	4	3	2	4	3	6	4	6	3	4	3	6	/	/	/	/	/	/
工学部	高分子・有機材料工学科	4	3	2	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	化学・バイオ工学科	4	3	2	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	情報・エレクトロニクス学科	3	4	2	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	建築・デザイン学科	4	2	3	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	機能高分子工学科	/	/	/	4	3	13	3	4	2	3	4	2	/	/	/	/	/	/
	物質化学工学科	/	/	/	3	2,4	9,13	3	4	2	3	4	2	/	/	/	/	/	/
	バイオ化学工学科	/	/	/	4	3	2	4	2	3	4	3	2	/	/	/	/	/	/
	応用生命システム工学科	/	/	/	3	4	2	3	4	2	3	2,4	9,13	/	/	/	/	/	/
	情報科学科	/	/	/	3	4	2	3	4	2	3	4	9	/	/	/	/	/	/
	電気電子工学科	/	/	/	3	4	2	3	4	2	3	4	9	/	/	/	/	/	/
	機械システム工学科	3	4	2	3	4	2	3	4	2	3	4	2	/	/	/	/	/	/
	システム創成工学科(フレックスコース)	/	/	/	3	12	4	12	3	13	3	12	4	/	/	/	/	/	/
	農学部	食料生命環境学科	4	3	2	3	4	2	3	4	2	4	3	2	/	/	/	/	/

表3 動機の上位3位（加盟校）

加盟校	1年生			2年生			3年生			4年生		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位
A大学	4	6	9	4	6	7	6	4	9	/	/	/
B大学	4	9	7	4	9	3	4	9	3	4	9	7
C大学	4	6	9	4,6	9	3	/	/	/	/	/	/
D大学	4	13	3	4	9	3	4	13	9	4	3	9,13
E大学	6	4	9	6	4	9	/	/	/	/	/	/
F大学	4	6	13	4	13	6,7	4	13	6	4	13	6
G大学	4	6	3	4	6	3	4	6	3	4	6	3
H大学	4	5	8	4	13	9	4	8	9	4	13	9
I大学	4	9	3	4	6	3	4	3	6	4	3	6
J大学	4	3	6	4	3	6	4	3	6	4	3	6
K大学	4	6	3	4	6	3	4	6	3	4	6	7
L大学	4	6	3	4	6	3	4	6	14	/	/	/
M大学	4	6	9	6	9	4	6	4	9	4	6	9

【2】 本学の授業に関する以下の項目について、該当する数字をそれぞれ一つ選んでマークしてください。

- 2-1 興味をもてる授業が多い
- 2-2 ためになる授業が多い
- 2-3 わかりやすい授業が多い
- 2-4 主体的に考え行動する授業が多い
- 2-5 就職に役立ちそうな授業が多い
- 2-6 国際性を養うことができる授業が多い
- 2-7 授業がよくなるよう工夫をしている教員が多い
- 2-8 授業や学生指導に対して熱心な教員が多い

回答に対する評価（5点満点）をはい=5点、まあそうである=4点、どちらとも言えない=3点、あまりそうとは言えない=2点、いいえ=1点とし、アンケート回答者の平均値を計算したものである。

表4 各加盟校1年生のアンケート2の結果を設問ごとに集計

1年生	加盟校	1年生							
		2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	2-6	2-7	2-8
	山形大学	3.33	3.38	3.30	3.15	2.95	2.79	3.30	3.28
	A大学	3.98	4.28	3.62	3.43	4.38	2.77	3.58	3.97
	B大学	3.82	3.93	3.43	3.65	3.99	3.23	3.59	3.72
	C大学	4.02	4.30	3.70	3.96	4.16	3.11	3.88	4.05
	D大学	3.64	3.71	3.51	3.29	3.69	3.40	3.54	3.69
	E大学	3.90	4.16	3.38	3.66	4.10	2.80	3.33	3.69
	F大学	3.61	3.64	3.32	3.33	3.44	3.14	3.19	3.32
	G大学	4.00	4.11	3.66	3.52	3.88	2.96	3.64	3.58
	H大学	4.12	4.11	3.55	3.96	3.48	2.88	3.65	3.80
	I大学	3.64	3.88	3.29	3.54	3.87	2.53	3.35	3.48
	J大学	3.52	3.63	3.46	3.54	3.70	3.45	3.36	3.55
	K大学	3.83	4.05	3.50	3.40	4.08	2.72	3.42	3.61
	L大学	3.54	3.79	3.31	3.36	3.88	2.68	3.25	3.63
	M大学	4.00	4.24	3.81	3.73	4.36	2.92	3.81	4.00
	全体平均	3.78	3.94	3.49	3.54	3.85	2.96	3.50	3.67

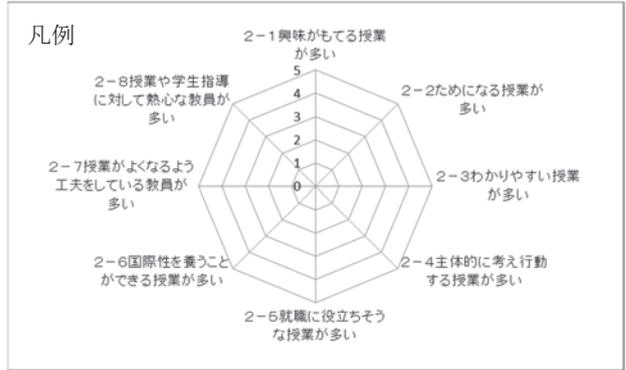


図1 問2の授業におけるアンケート結果のレーダーチャート

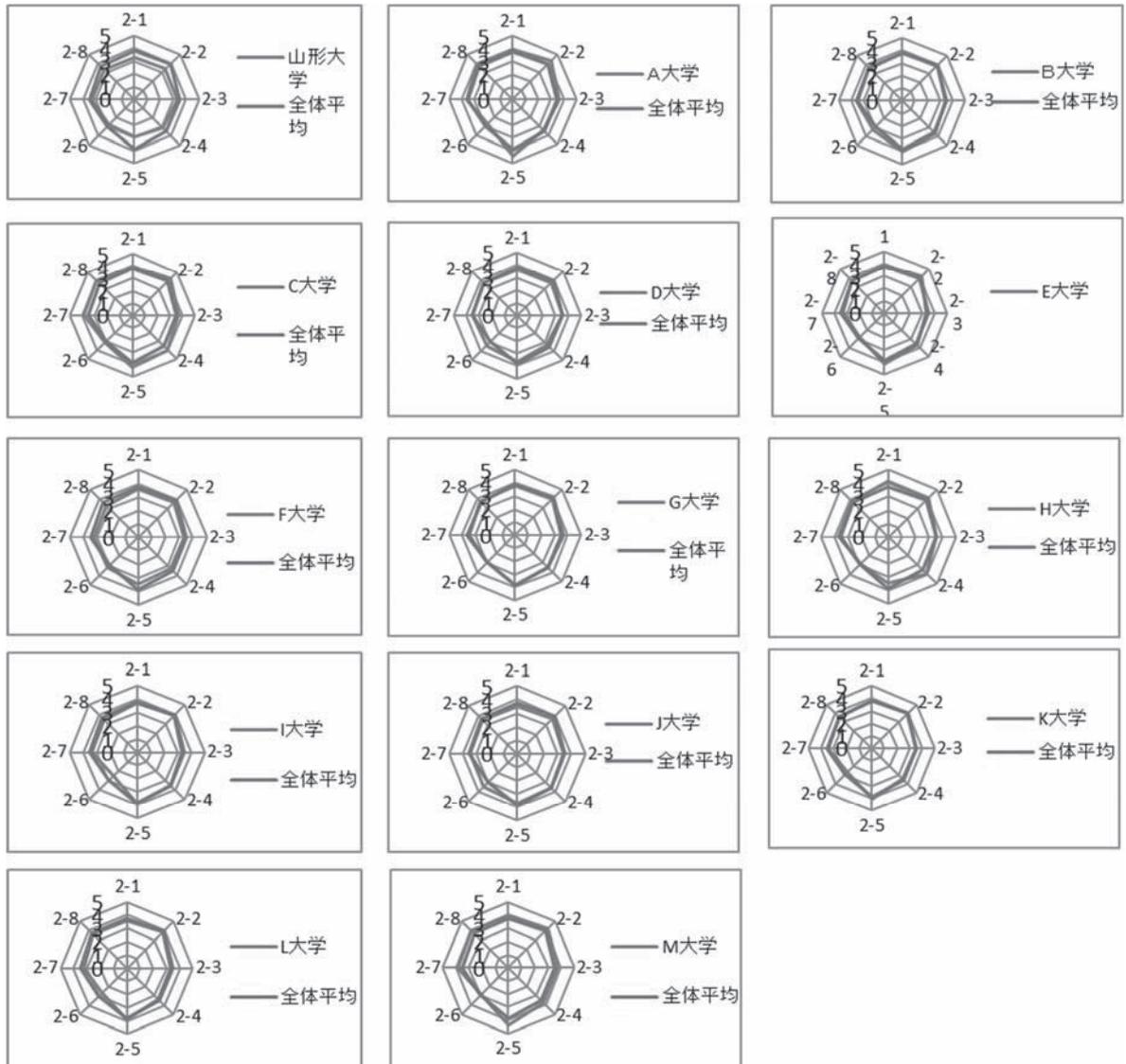


図2 問2の加盟校(1年生)ごとのレーダーチャート

表5 各加盟校2年生のアンケート2の結果を設問ごとに集計

2年生	加盟校	2年生							
		2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	2-6	2-7	2-8
	山形大学	3.73	3.81	3.43	3.20	3.34	2.86	3.49	3.59
	A大学	4.19	4.43	3.95	3.91	4.58	2.88	3.84	4.10
	B大学	3.75	3.87	3.46	3.50	3.82	3.20	3.53	3.66
	C大学	3.74	4.08	3.30	3.70	3.88	2.70	3.58	3.72
	D大学	3.56	3.60	3.43	3.26	3.74	3.25	3.64	3.65
	E大学	4.00	4.21	3.65	3.90	4.24	2.85	3.62	3.87
	F大学	3.61	3.66	3.48	3.36	3.52	3.48	3.32	3.50
	G大学	3.82	3.96	3.55	3.54	3.71	2.84	3.50	3.54
	H大学	3.76	3.83	3.29	3.73	3.29	2.50	3.32	3.50
	I大学	3.79	4.11	3.43	3.54	4.00	2.30	3.40	3.65
	J大学	3.42	3.51	3.31	3.33	3.43	3.34	3.26	3.30
	K大学	3.81	4.02	3.22	3.18	3.84	2.34	3.20	3.51
	L大学	3.66	3.94	3.23	3.35	3.92	2.54	3.30	3.59
	M大学	3.84	3.99	3.35	3.72	4.02	2.33	3.41	3.99
	全体平均	3.76	3.93	3.43	3.52	3.81	2.82	3.46	3.66

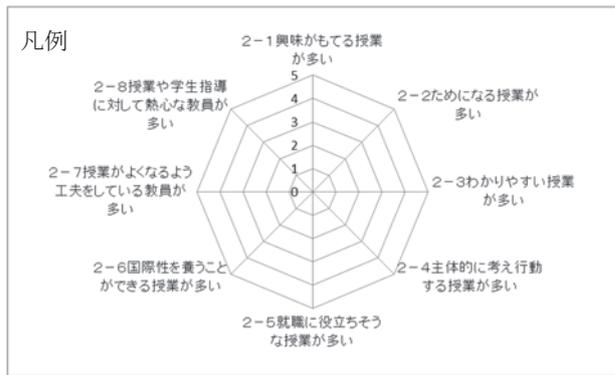


図1 問2の授業におけるアンケート結果のレーダーチャート

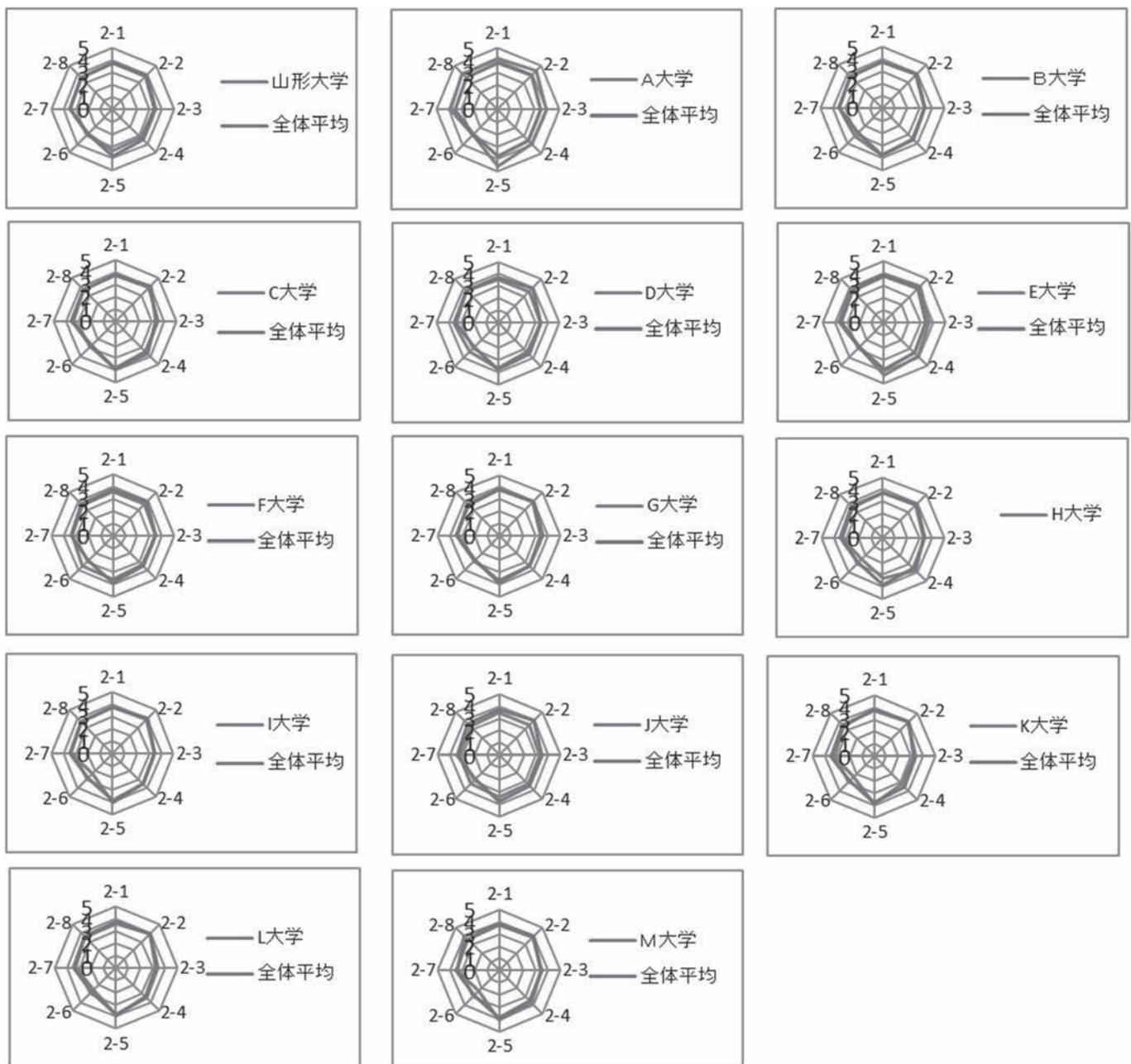


図3 問2の加盟校(2年生)ごとのレーダーチャート

表6 各加盟校3年生のアンケート2の結果を設問ごとに集計

3年生

加盟校	3年生 ※専攻科を含む							
	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	2-6	2-7	2-8
山形大学	3.77	3.83	3.55	3.22	3.38	2.78	3.56	3.65
A大学	4.35	4.54	4.08	4.00	4.58	3.19	4.19	4.35
B大学	3.65	3.70	3.34	3.22	3.59	3.05	3.32	3.46
C大学								
D大学	3.62	3.82	3.41	3.46	3.64	3.43	3.71	3.76
E大学								
F大学	3.51	3.63	3.23	3.14	3.31	3.05	3.09	3.41
G大学	3.83	3.91	3.49	3.38	3.47	2.49	3.38	3.38
H大学	3.81	3.84	3.39	3.72	3.15	2.55	3.33	3.53
I大学	3.81	4.13	3.51	3.69	3.86	2.40	3.57	3.87
J大学	3.64	3.68	3.48	3.30	3.61	3.38	3.38	3.52
K大学	3.70	3.90	3.30	3.22	3.58	2.27	3.29	3.46
L大学	3.62	3.84	3.32	3.30	3.57	2.49	3.54	3.75
M大学	4.11	4.30	3.68	3.85	4.34	2.75	3.68	4.32
全体平均	3.78	3.93	3.48	3.46	3.67	2.82	3.50	3.71

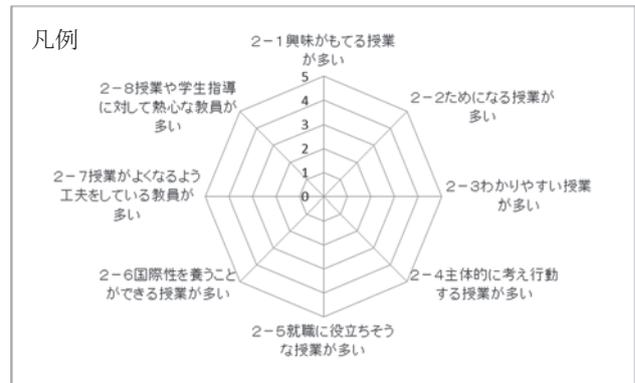


図1 問2の授業におけるアンケート結果のレーダーチャート

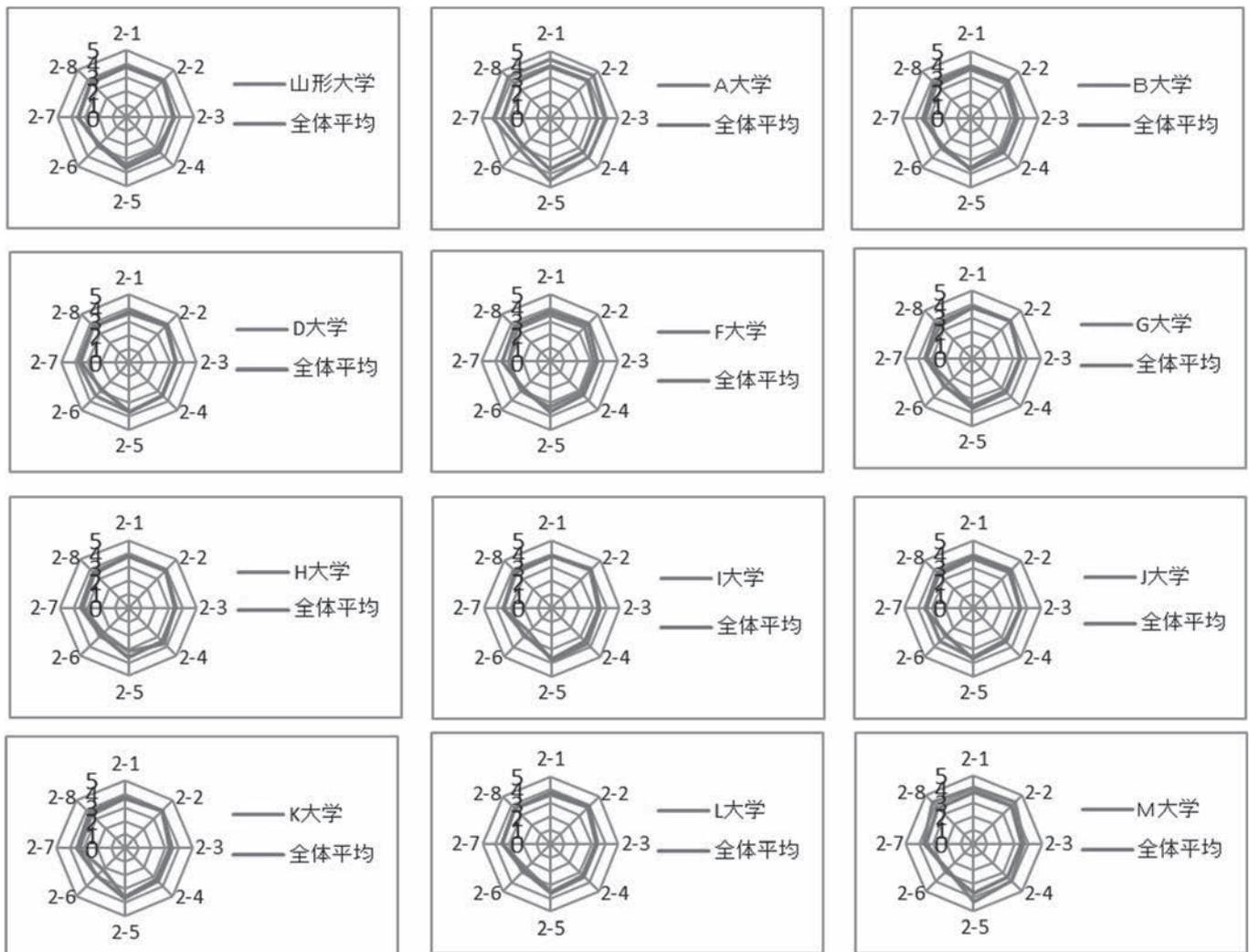


図4 問2の加盟校(3年生)ごとのレーダーチャート

表7 各加盟校4年生のアンケート2の結果を設問ごとに集計

4年生

加盟校	4年生							
	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	2-6	2-7	2-8
山形大学	3.84	3.85	3.53	3.16	3.16	2.80	3.51	3.60
A大学								
B大学	3.59	3.68	3.40	3.36	3.67	3.22	3.53	3.64
C大学								
D大学	3.61	3.64	3.62	3.45	3.56	3.44	3.57	3.57
E大学								
F大学	3.28	3.19	3.16	2.88	2.81	3.10	2.86	2.94
G大学	3.84	3.94	3.51	3.31	3.35	2.36	3.36	3.48
H大学	3.93	3.83	3.40	3.66	2.75	2.48	3.39	3.55
I大学	3.71	4.05	3.36	3.74	3.79	2.33	3.39	3.67
J大学	3.88	3.83	3.70	3.40	3.69	3.57	3.59	3.73
K大学	3.72	3.85	3.34	3.18	3.67	2.27	3.45	3.70
L大学								
M大学	3.90	4.19	3.60	3.52	4.13	2.48	3.53	3.95
全体平均	3.73	3.80	3.46	3.37	3.46	2.80	3.42	3.58

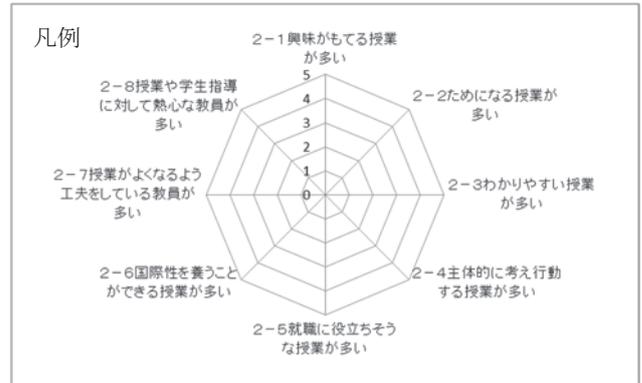


図1 問2の授業におけるアンケート結果のレーダーチャート

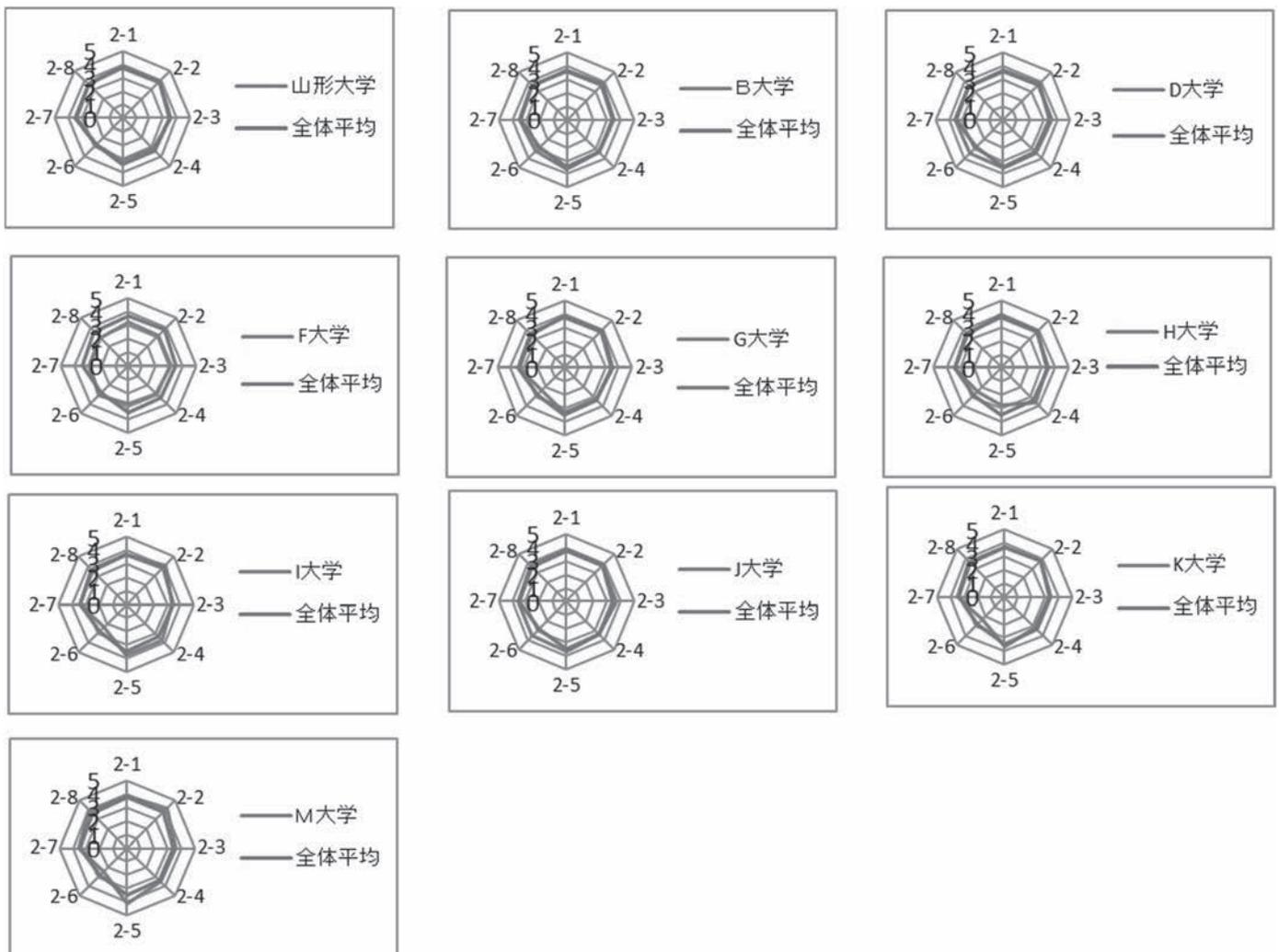


図5 問2の加盟校(4年生)ごとのレーダーチャート

【3】 授業を受けて、あなたは下記の知識や能力を身につけることができましたか。該当する数字をそれぞれ一つ選んでマークしてください。

\*以下の質問に次の5段階で答えてください。

5：はい 4：まあそうである 3：どちらとも言えない 2：あまりそうとは言えない 1：いいえ

3-1 幅広い教養

3-2 専門知識や技能

3-3 課題解決能力（課題を発見し、解決する力）

3-4 物事を批判的に捉え思考する力

3-5 情報機器を使いこなす能力

3-6 外国語を運用する能力

3-7 コミュニケーション能力（議論・発表・協働する力）

3-8 リーダーシップをとる力

表8 各加盟校（1年生）のアンケート3の結果を設問ごとに集計

1年生	加盟校	1年生							
		3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	3-6	3-7	3-8
	山形大学	3.57	3.48	3.34	3.35	3.37	3.15	3.54	2.98
	A大学	4.00	4.33	3.70	3.41	2.80	2.48	3.92	3.29
	B大学	3.88	4.00	3.80	3.73	3.69	3.19	3.84	3.30
	C大学	4.00	4.23	3.98	4.04	3.96	2.86	3.82	3.63
	D大学	3.64	3.68	3.42	3.54	3.60	3.34	3.60	3.22
	E大学	3.98	4.23	3.63	3.53	3.53	2.50	3.61	3.03
	F大学	3.44	3.77	3.33	3.41	3.10	2.98	3.37	3.25
	G大学	3.75	4.09	3.57	3.46	3.71	3.21	3.38	2.98
	H大学	3.69	4.24	3.99	3.71	3.53	2.65	3.85	3.23
	I大学	3.50	4.00	3.51	3.34	3.40	2.66	3.70	3.12
	J大学	3.52	3.70	3.44	3.39	3.42	3.46	3.78	3.34
	K大学	3.74	4.25	3.56	3.35	3.61	2.99	3.57	3.21
	L大学	3.67	4.02	3.48	3.33	3.18	2.44	3.53	2.93
	M大学	4.04	4.08	3.77	3.75	3.58	3.05	3.76	3.33
	全体平均	3.74	4.01	3.61	3.52	3.46	2.93	3.66	3.20

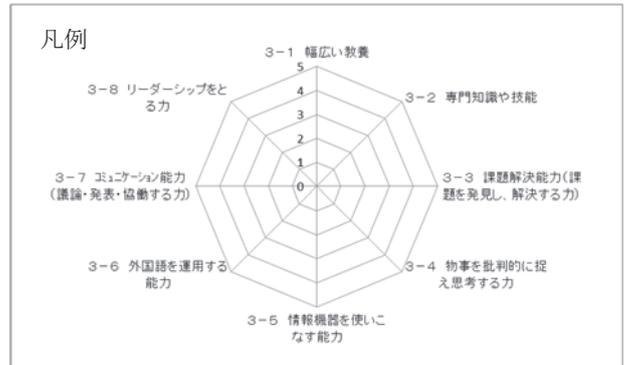


図6 問3の授業におけるアンケート結果のレーダーチャート

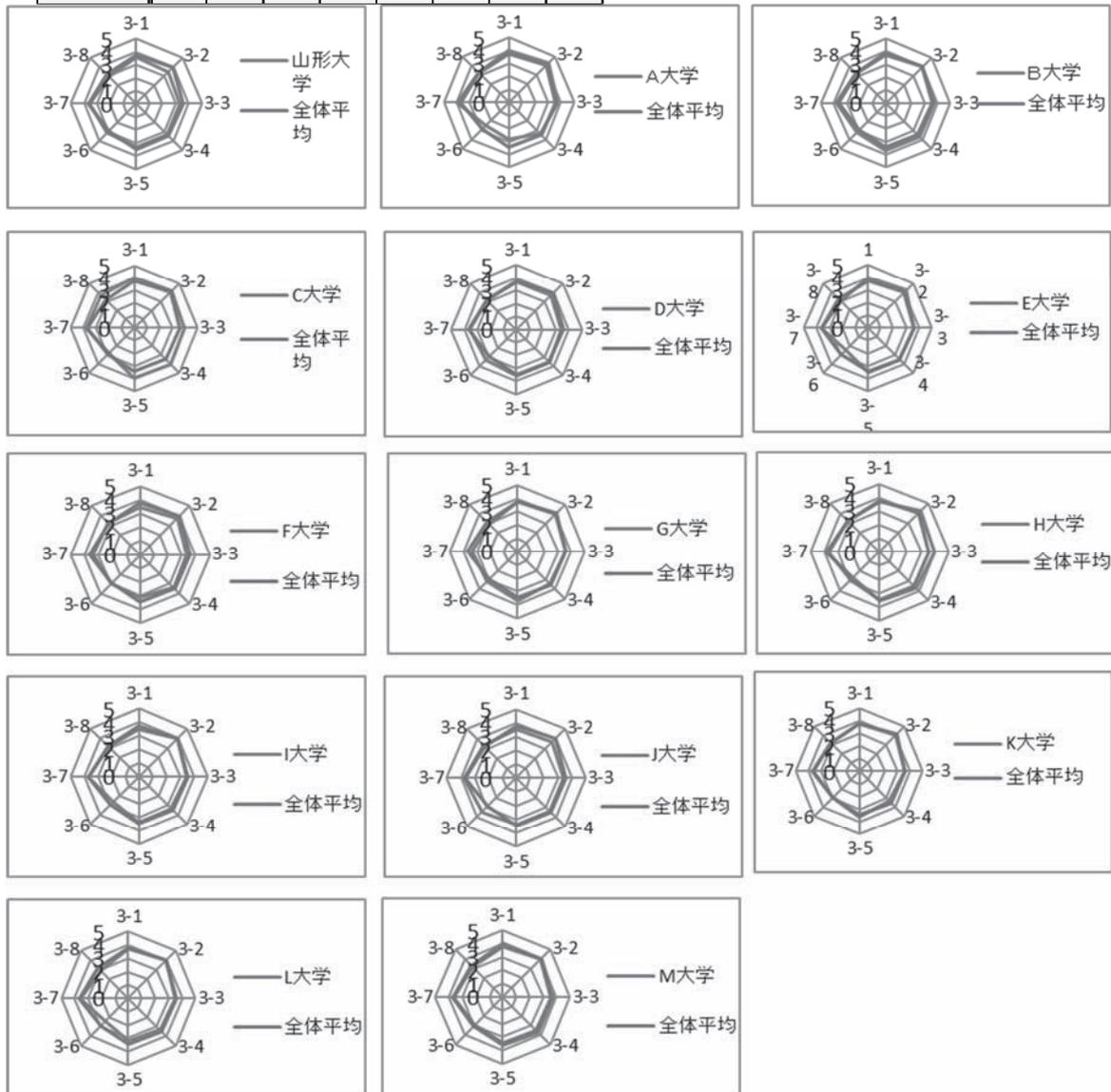


図7 問3の加盟校（1年生）ごとのレーダーチャート

表9 各加盟校（2年生）のアンケート3の結果を設問ごとに集計

2年生

大学名	2年生							
	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	3-6	3-7	3-8
山形大学	3.75	4.02	3.57	3.59	3.41	2.95	3.38	2.96
A大学	4.18	4.48	3.97	3.76	3.83	2.64	3.88	3.46
B大学	3.80	3.93	3.75	3.64	3.54	3.00	3.69	3.33
C大学	4.06	4.30	3.96	3.57	3.54	2.50	3.66	3.36
D大学	3.63	3.72	3.50	3.57	3.68	3.04	3.65	3.08
E大学	4.00	4.24	3.79	3.68	3.60	2.74	3.87	3.37
F大学	3.57	3.89	3.39	3.48	3.21	3.48	3.64	3.40
G大学	3.74	4.05	3.64	3.57	3.59	3.04	3.52	3.20
H大学	3.50	4.23	3.92	3.68	3.49	2.26	3.72	3.12
I大学	3.51	4.26	3.58	3.21	3.10	2.45	3.65	3.00
J大学	3.35	3.67	3.37	3.28	3.14	3.45	3.71	3.31
K大学	3.41	4.14	3.49	3.31	3.24	2.38	3.20	2.86
L大学	3.59	3.96	3.46	3.30	3.17	2.41	3.40	2.92
M大学	3.93	4.26	3.63	3.53	2.99	2.69	3.90	3.55
全体平均	3.72	4.08	3.64	3.51	3.40	2.79	3.63	3.21

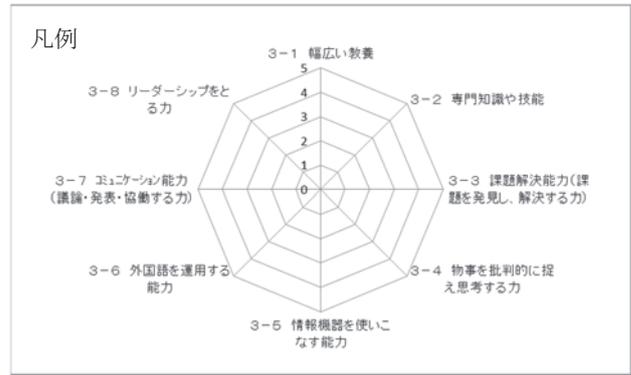


図6 問3の授業におけるアンケート結果のレーダーチャート

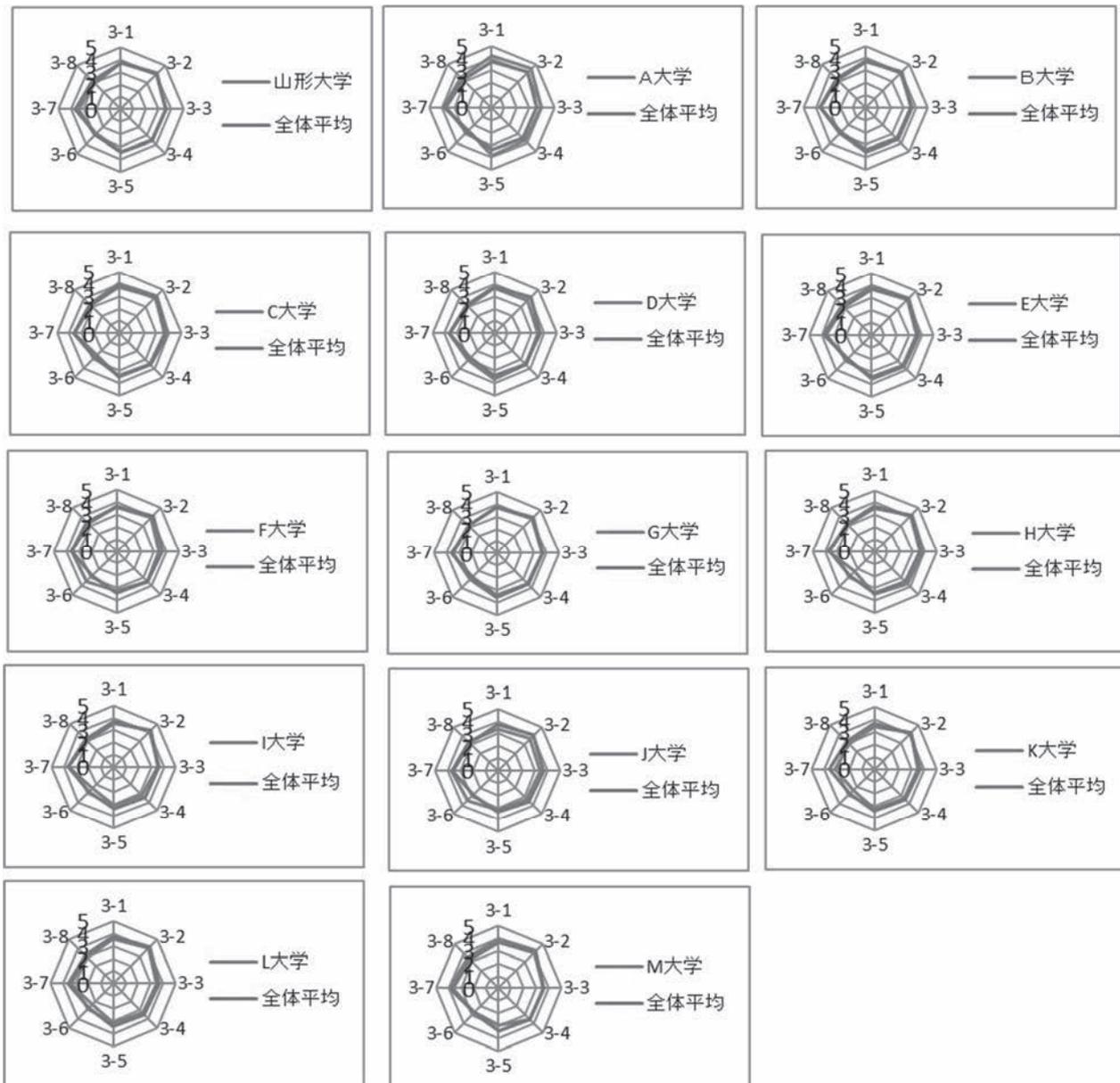


図8 問3の加盟校（2年生）ごとのレーダーチャート

表 10 各加盟校（3年生）のアンケート3の結果を設問ごとに集計

3年生

3年生 ※専攻科を含む								
大学名	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	3-6	3-7	3-8
山形大学	3.66	3.99	3.60	3.51	3.35	2.76	3.39	3.00
A大学	4.42	4.46	4.23	3.96	3.88	2.65	4.15	3.88
B大学	3.75	3.86	3.58	3.59	3.34	2.71	3.61	3.25
C大学								
D大学	3.77	3.64	3.60	3.52	3.63	3.29	3.59	3.29
E大学								
F大学	3.42	4.09	3.47	3.38	3.29	2.88	3.31	3.24
G大学	3.52	4.03	3.52	3.38	3.40	2.59	3.42	3.06
H大学	3.57	4.18	3.96	3.64	3.48	2.52	3.79	3.14
I大学	3.57	4.25	3.88	3.37	3.18	2.30	3.75	3.30
J大学	3.49	3.76	3.40	3.37	3.21	3.41	3.81	3.32
K大学	3.32	4.08	3.42	3.21	3.06	2.16	3.39	3.07
L大学	3.62	3.89	3.52	3.34	3.03	2.21	3.37	3.00
M大学	4.13	4.32	3.87	3.85	3.40	2.91	4.15	3.58
全体平均	3.69	4.05	3.67	3.51	3.35	2.70	3.64	3.26

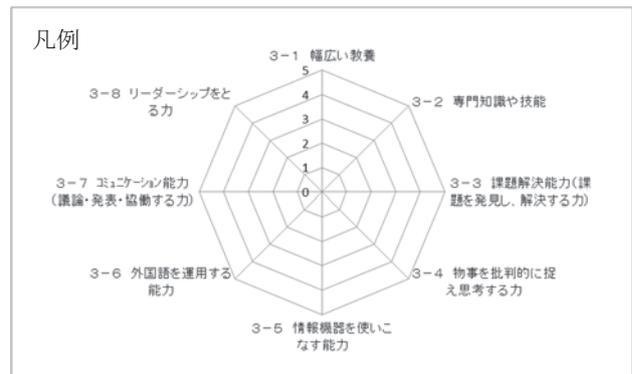


図 6 問3の授業におけるアンケート結果のレーダーチャート

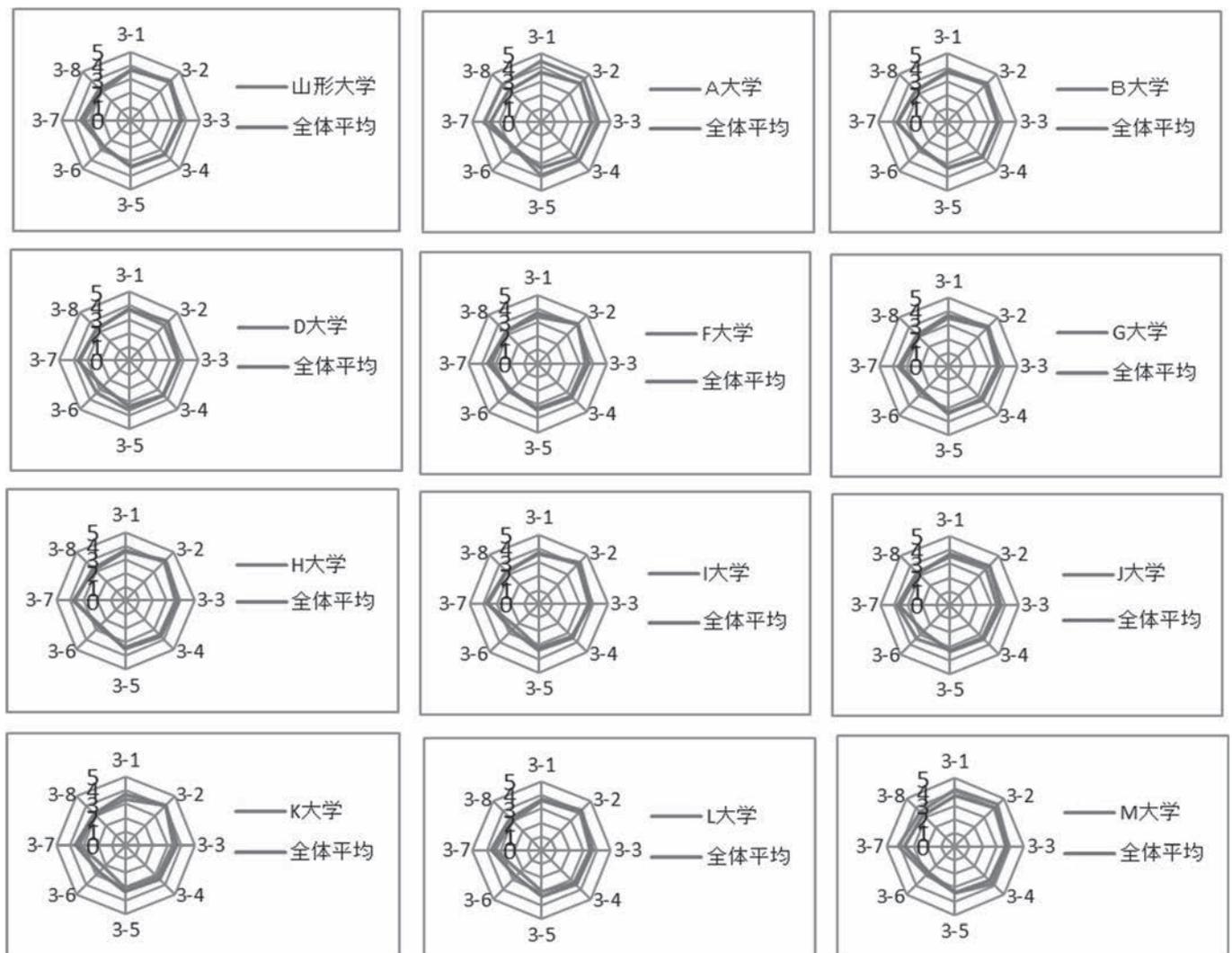


図 9 問3の加盟校(3年生)ごとのレーダーチャート

表 1 1 各加盟校（4年生）のアンケート3の結果を設問ごとに集計

加盟校	4年生							
	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	3-6	3-7	3-8
山形大学	3.76	4.08	3.62	3.59	3.40	2.91	3.49	3.06
A大学								
B大学	3.70	3.88	3.61	3.62	3.48	2.95	3.66	3.42
C大学								
D大学	3.61	3.68	3.57	3.51	3.75	3.00	3.64	3.31
E大学								
F大学	3.13	3.71	3.19	3.10	2.91	2.67	3.14	2.94
G大学	3.46	4.07	3.44	3.25	3.27	2.47	3.37	3.08
H大学	3.57	4.15	3.86	3.63	3.55	2.47	3.64	3.18
I大学	3.61	4.21	3.77	3.44	3.22	2.25	3.82	3.28
J大学	3.65	3.80	3.54	3.49	3.43	3.42	3.80	3.29
K大学	3.40	4.08	3.51	3.34	2.89	2.17	3.30	2.95
L大学								
M大学	3.97	4.18	3.74	3.66	3.37	2.58	4.03	3.47
全体平均	3.59	3.98	3.59	3.46	3.33	2.69	3.59	3.20

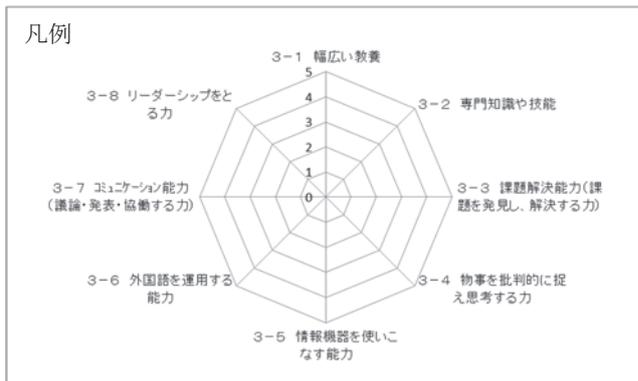


図 6 問3の授業におけるアンケート結果のレーダーチャート

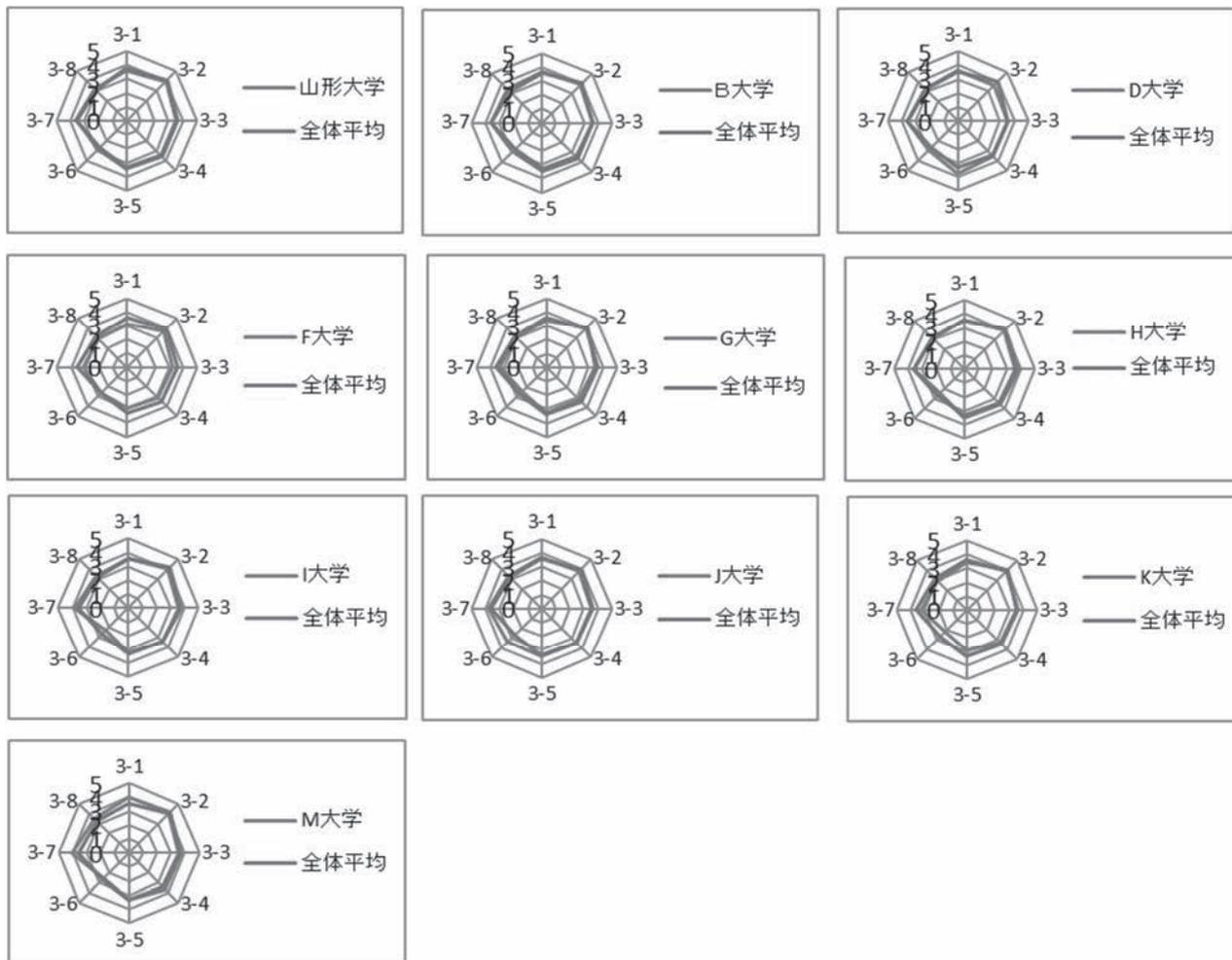


図 1 0 問3の加盟校（4年生）ごとのレーダーチャート

【4】 本学の改善に向けて今後取り組むべき事項について、該当する数字をそれぞれ一つ選んでマークしてください。

\*以下の質問に次の5段階で答えてください。

5：はい 4：まあそうである 3：どちらとも言えない 2：あまりそうとは言えない 1：いいえ

- 4-1 カリキュラムを改善する
- 4-2 教員の授業力を向上する
- 4-3 コミュニケーション能力の向上を重視した教育を充実する
- 4-4 学習相談等、学習を支援する体制を充実する
- 4-5 学生生活を支援する体制を充実する
- 4-6 就職に役立つ授業を充実する
- 4-7 地域社会との関わりを重視する
- 4-8 施設や設備を充実する

表 1 2 各加盟校（1年生）のアンケート4の結果を設問ごとに集計

1年生	加盟校	1年生							
		4-1	4-2	4-3	4-4	4-5	4-6	4-7	4-8
	山形大学	3.69	3.61	3.41	3.37	3.54	3.61	3.33	3.78
	A大学	2.99	3.28	3.17	3.24	3.34	3.52	3.37	3.87
	B大学	3.34	3.55	3.51	3.45	3.54	3.73	3.52	3.74
	C大学	3.29	3.50	3.30	3.41	3.48	3.66	3.45	3.50
	D大学	3.54	3.61	3.65	3.70	3.78	3.88	3.64	4.00
	E大学	3.37	3.71	3.51	3.55	3.71	3.82	3.44	4.03
	F大学	3.43	3.63	3.52	3.40	3.64	3.81	3.40	3.80
	G大学	3.17	3.24	3.30	3.25	3.32	3.56	3.25	3.62
	H大学	3.32	3.34	3.35	3.48	3.77	3.76	3.49	3.65
	I大学	3.35	3.54	3.40	3.32	3.62	3.70	3.47	3.89
	J大学	3.52	3.58	3.61	3.53	3.62	3.75	3.29	3.66
	K大学	3.48	3.64	3.54	3.54	3.71	3.78	3.36	4.07
	L大学	3.76	3.74	3.58	3.58	3.92	3.90	3.53	4.21
	M大学	3.35	3.60	3.52	3.54	3.59	3.84	3.64	3.83
	全体平均	3.40	3.54	3.46	3.45	3.61	3.74	3.44	3.83

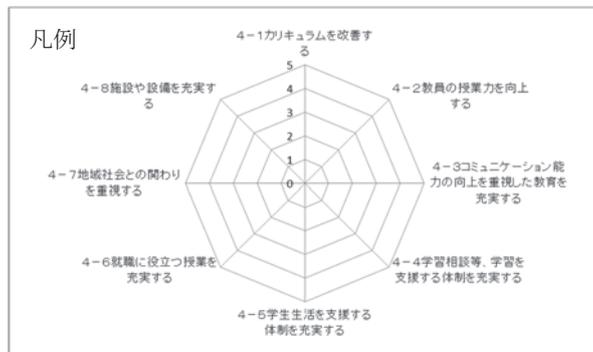


図 1 1 問 4 の授業におけるアンケート結果のレーダーチャート

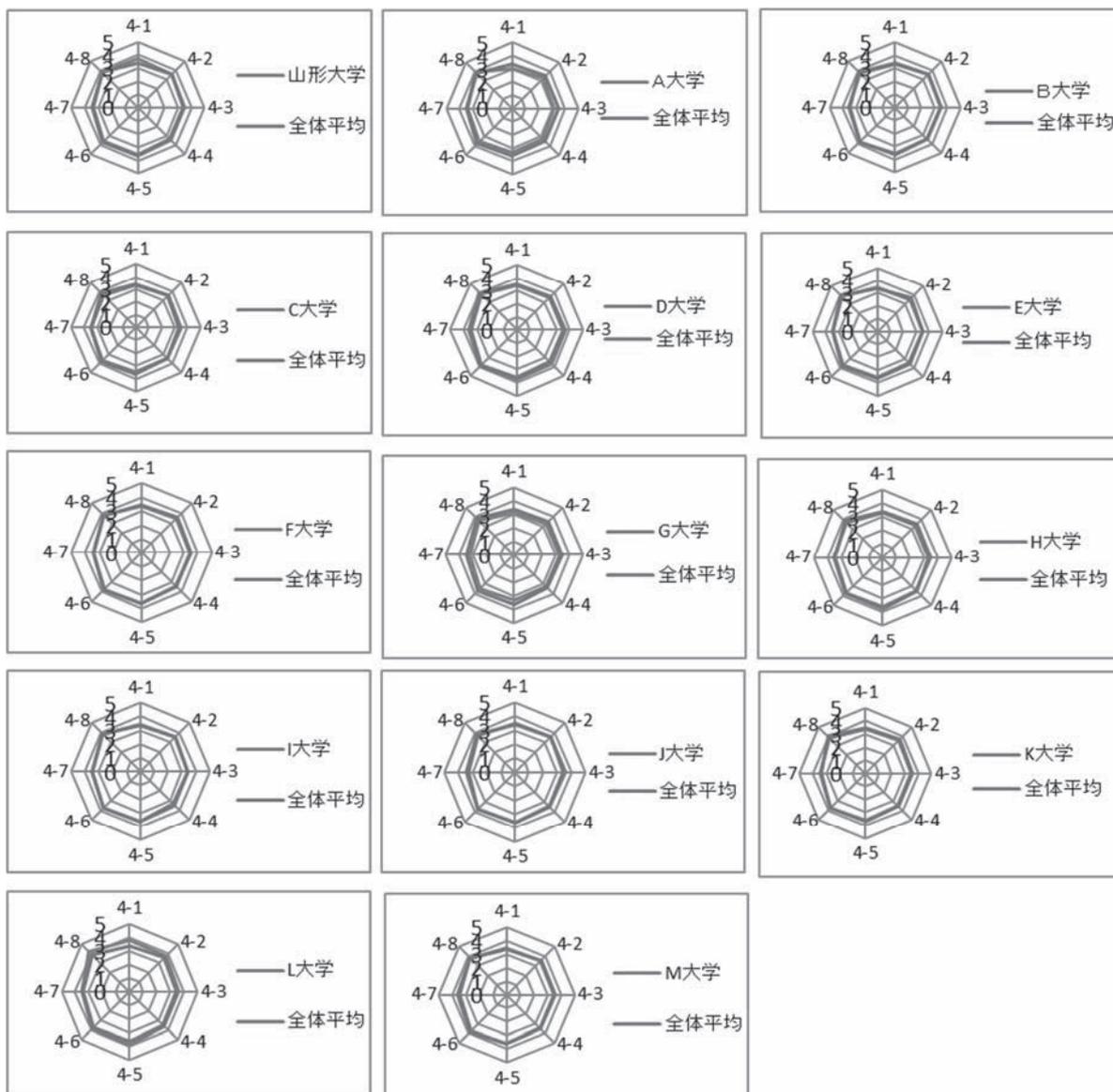


図 1 2 問 4 の加盟校（1年生）ごとのレーダーチャート

表 1 3 各加盟校（2年生）のアンケート4の結果を設問ごとに集計

2年生

加盟校	2年生							
	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5	4-6	4-7	4-8
山形大学	3.55	3.58	3.44	3.45	3.62	3.73	3.28	4.08
A大学	3.05	3.16	3.28	3.26	3.48	3.54	3.39	3.99
B大学	3.51	3.68	3.62	3.51	3.67	3.85	3.58	3.83
C大学	3.34	3.58	3.56	3.60	3.72	3.58	3.48	3.62
D大学	3.63	3.58	3.62	3.72	3.76	4.06	3.78	3.94
E大学	3.18	3.44	3.41	3.47	3.62	3.69	3.44	4.06
F大学	3.73	3.71	3.66	3.68	3.87	4.13	3.64	3.95
G大学	3.52	3.62	3.45	3.51	3.57	3.81	3.51	3.87
H大学	3.70	3.54	3.31	3.50	3.82	3.74	3.44	3.90
I大学	3.32	3.34	3.24	3.29	3.47	3.65	3.27	3.79
J大学	3.61	3.62	3.54	3.55	3.60	3.86	3.27	3.78
K大学	3.60	3.77	3.51	3.58	3.80	3.70	3.33	4.03
L大学	3.81	3.83	3.61	3.77	4.03	4.02	3.55	4.47
M大学	3.37	3.54	3.50	3.40	3.55	3.65	3.45	4.14
全体平均	3.49	3.57	3.48	3.52	3.68	3.79	3.46	3.96

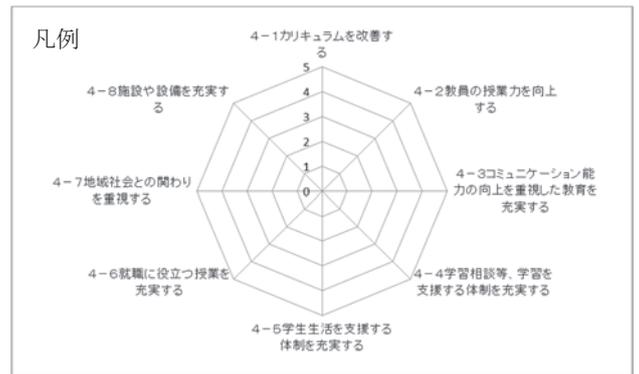


図 1 1 問4の授業におけるアンケート結果のレーダーチャート

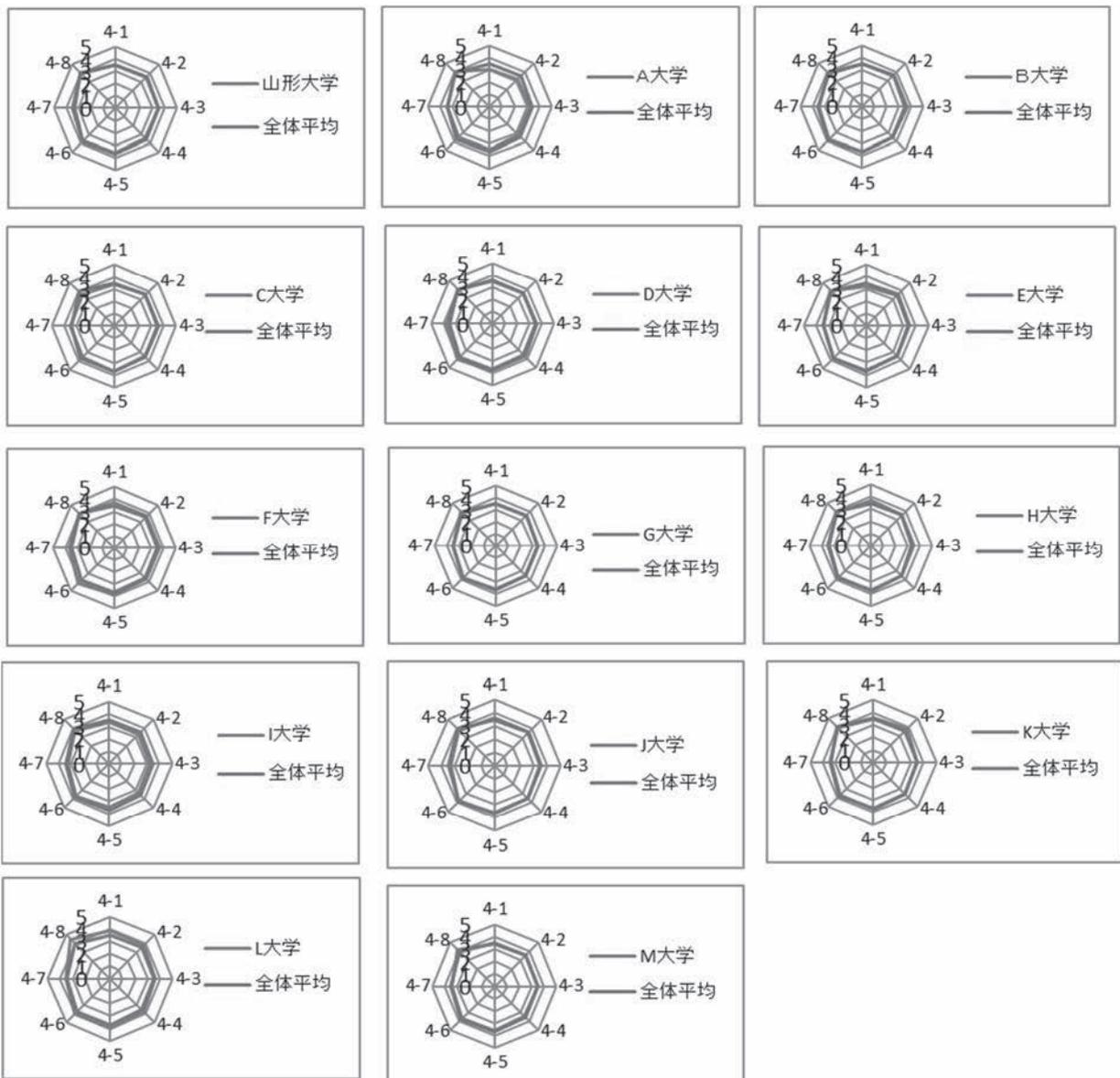


図 1 3 問4の加盟校（2年生）ごとのレーダーチャート

表 1 4 各加盟校（3年生）のアンケート4の結果を設問ごとに集計

3年生

加盟校	3年生 ※専攻科を含む							
	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5	4-6	4-7	4-8
山形大学	3.57	3.56	3.48	3.48	3.70	3.77	3.33	4.12
A大学	2.92	2.96	3.27	3.23	3.31	3.35	3.35	3.77
B大学	3.90	3.90	3.60	3.52	3.69	3.96	3.56	3.92
C大学								
D大学	3.60	3.51	3.73	3.75	3.73	3.77	3.53	3.93
E大学								
F大学	3.68	3.60	3.54	3.35	3.65	3.95	3.33	3.96
G大学	3.54	3.55	3.55	3.55	3.54	3.94	3.38	3.79
H大学	3.69	3.52	3.44	3.58	3.91	3.70	3.44	3.91
I大学	3.32	3.29	3.23	3.43	3.50	3.63	3.23	3.81
J大学	3.57	3.51	3.51	3.49	3.58	3.70	3.28	3.66
K大学	3.74	3.84	3.60	3.73	3.96	3.91	3.47	4.25
L大学	3.77	3.50	3.50	3.63	3.82	3.84	3.57	4.18
M大学	3.45	3.66	3.70	3.49	3.79	3.72	3.53	4.02
全体平均	3.56	3.53	3.51	3.52	3.68	3.77	3.42	3.94

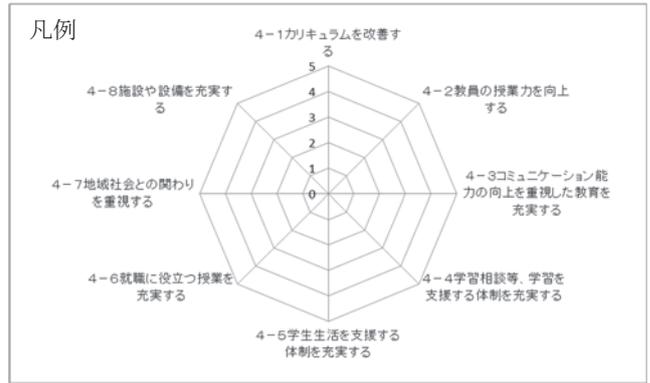


図 1 1 問 4 の授業におけるアンケート結果のレーダーチャート

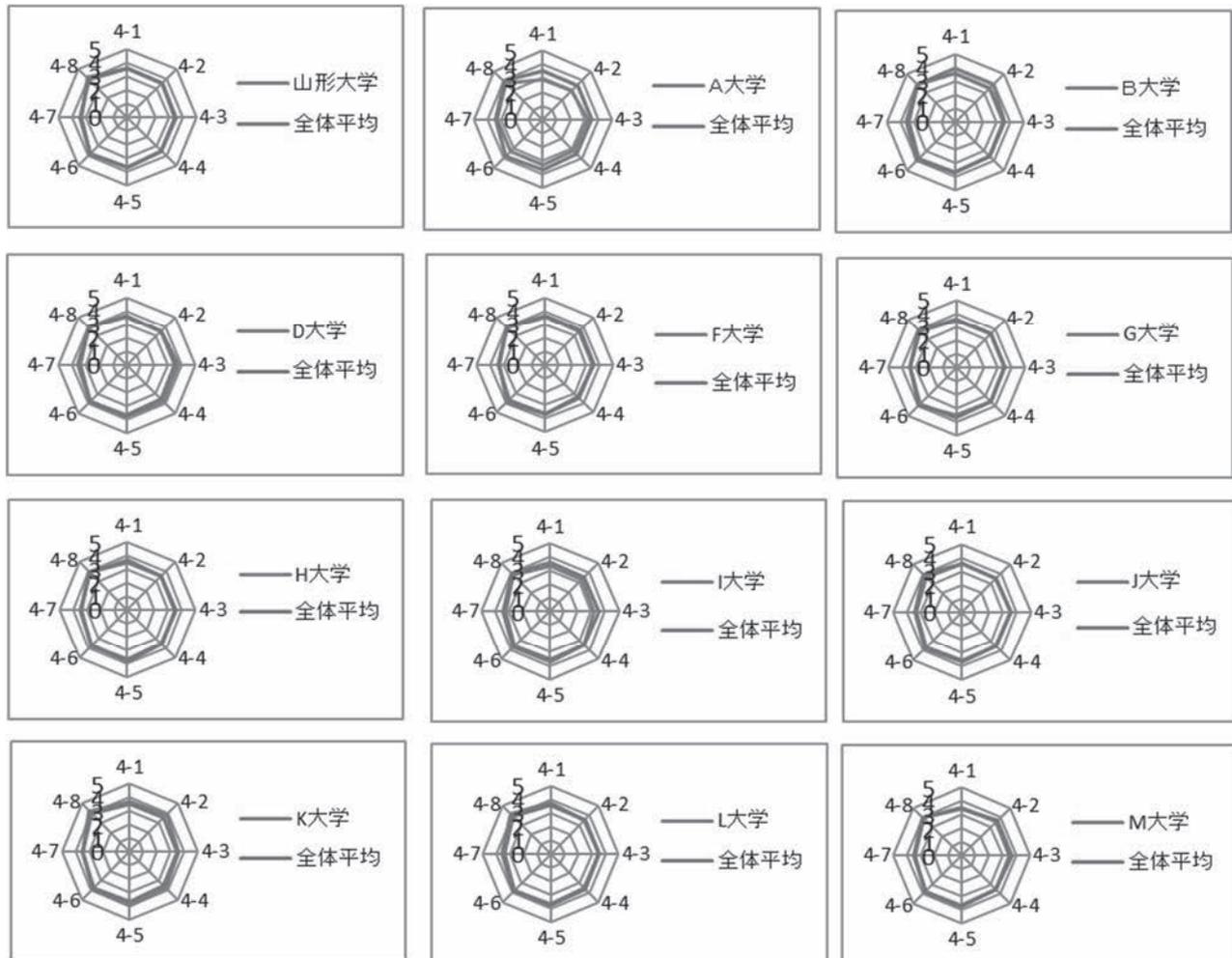


図 1 4 問 4 の加盟校（3年生）ごとのレーダーチャート

表 15 各加盟校（4年生）のアンケート4の結果を設問ごとに集計

4年生

加盟校	4年生							
	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5	4-6	4-7	4-8
山形大学	3.66	3.54	3.58	3.53	3.72	3.64	3.42	4.08
A大学								
B大学	3.84	3.63	3.61	3.63	3.65	3.72	3.48	3.72
C大学								
D大学	3.49	3.44	3.51	3.37	3.53	3.71	3.45	3.88
E大学								
F大学	3.52	3.52	3.57	3.41	3.52	3.88	3.25	3.59
G大学	3.53	3.56	3.52	3.51	3.59	3.88	3.28	2.79
H大学	3.46	3.44	3.35	3.44	3.66	3.40	3.25	3.90
I大学	3.50	3.40	3.34	3.54	3.50	3.52	3.27	3.86
J大学	3.59	3.42	3.62	3.54	3.59	3.63	3.40	3.58
K大学	3.66	3.56	3.45	3.60	3.80	3.78	3.35	3.94
L大学								
M大学	3.92	3.57	3.79	3.50	3.66	3.87	3.56	4.02
全体平均	3.62	3.51	3.53	3.51	3.62	3.70	3.37	3.74

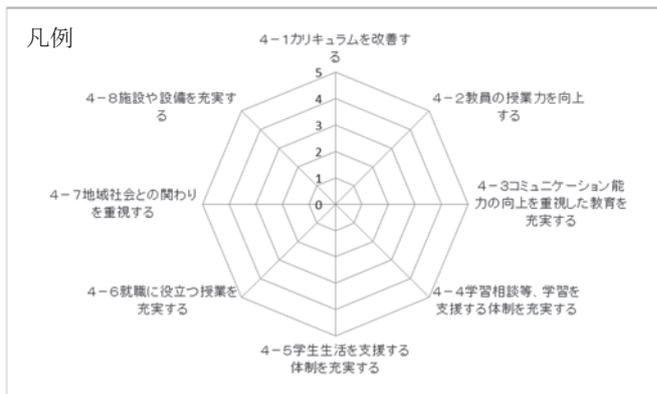


図 11 問4の授業におけるアンケート結果のレーダーチャート

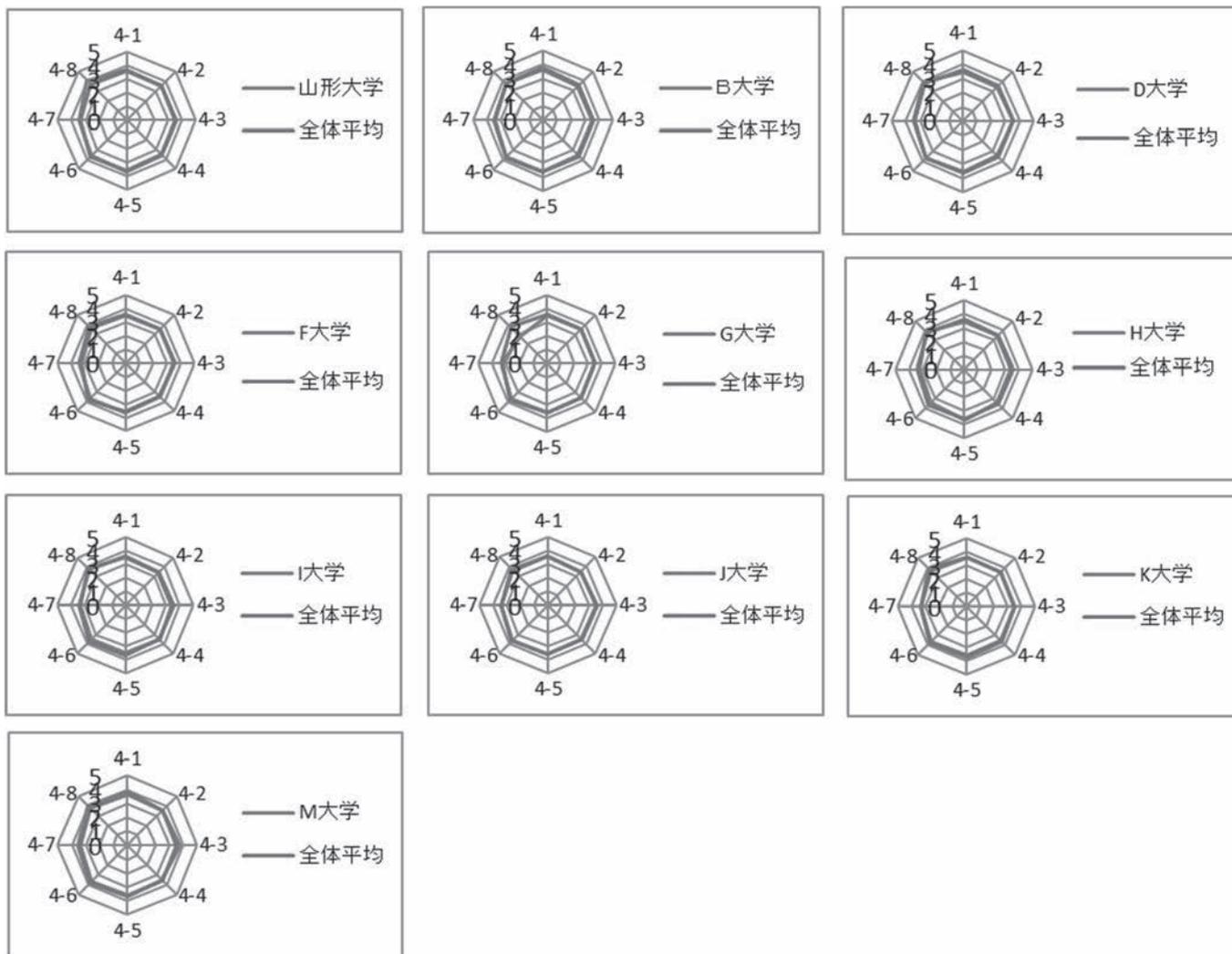


図 15 問4の加盟校（4年生）ごとのレーダーチャート

【5】 この一年間において、授業の予習・復習時間は1日につき平均何時間ですか。

5：3時間以上 4：2時間以上3時間未満 3：1時間以上2時間未満 2：30分以上1時間未満 1：30分未満

表16 各加盟校予習・復習時間平均点（1年生）

加盟校	平均点
山形大学	2.14
A大学	1.70
B大学	2.67
C大学	2.75
D大学	1.97
E大学	1.91
F大学	1.93
G大学	2.03
H大学	2.64
I大学	2.42
J大学	2.27
K大学	2.18
L大学	2.77
M大学	2.43

図16 各加盟校学習時間（1年生）



表17 各加盟校予習・復習時間平均点（2年生）

加盟校	平均点
山形大学	2.42
A大学	1.82
B大学	2.73
C大学	2.52
D大学	2.10
E大学	2.24
F大学	1.61
G大学	2.21
H大学	2.80
I大学	2.47
J大学	2.36
K大学	2.19
L大学	2.53
M大学	2.48

図17 各加盟校学習時間（2年生）



表18 各加盟校予習・復習時間平均点（3年生）

加盟校	平均点
山形大学	2.59
A大学	3.23
B大学	2.92
D大学	2.20
F大学	2.09
G大学	2.12
H大学	2.99
I大学	2.94
J大学	2.16
K大学	2.53
L大学	4.18
M大学	2.53

図18 各加盟校学習時間（3年生）

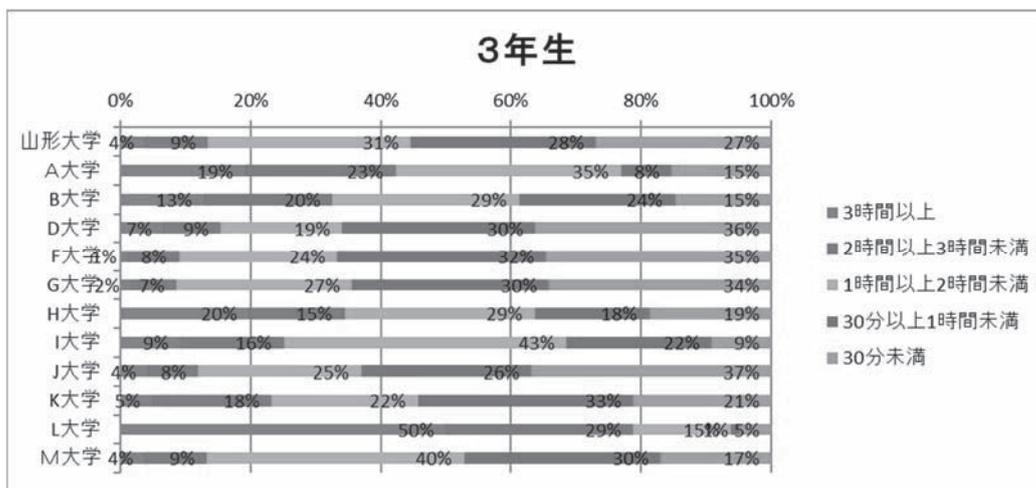


表 19 各加盟校予習・復習時間  
平均点（4年生）

加盟校	平均点
山形大学	2.52
B大学	2.88
D大学	2.15
F大学	1.84
G大学	2.27
H大学	3.00
I大学	3.03
J大学	2.20
K大学	3.36
M大学	2.42

図 19 各加盟校学習時間（4年生）



【6】 あなたは、本学に入学して良かったと思いますか。該当する数字を一つ選んでマークしてください。

5 : はい 4 : まあそうである 3 : どちらとも言えない 2 : あまりそうとは言えない 1 : いいえ

※肯定的回答とは「はい」と「まあそうである」の合計

表 20 加盟校ごとの入学満足度（1年生）

加盟校	肯定的回答の割合	平均点
山形大学	66%	3.76
A大学	90%	4.37
B大学	56%	3.61
C大学	62%	3.77
D大学	60%	3.71
E大学	64%	3.71
F大学	56%	3.49
G大学	72%	3.90
H大学	82%	4.21
I大学	78%	4.06
J大学	55%	3.56
K大学	57%	3.54
L大学	52%	3.40
M大学	83%	4.15

図 20 各加盟校満足度（1年生）

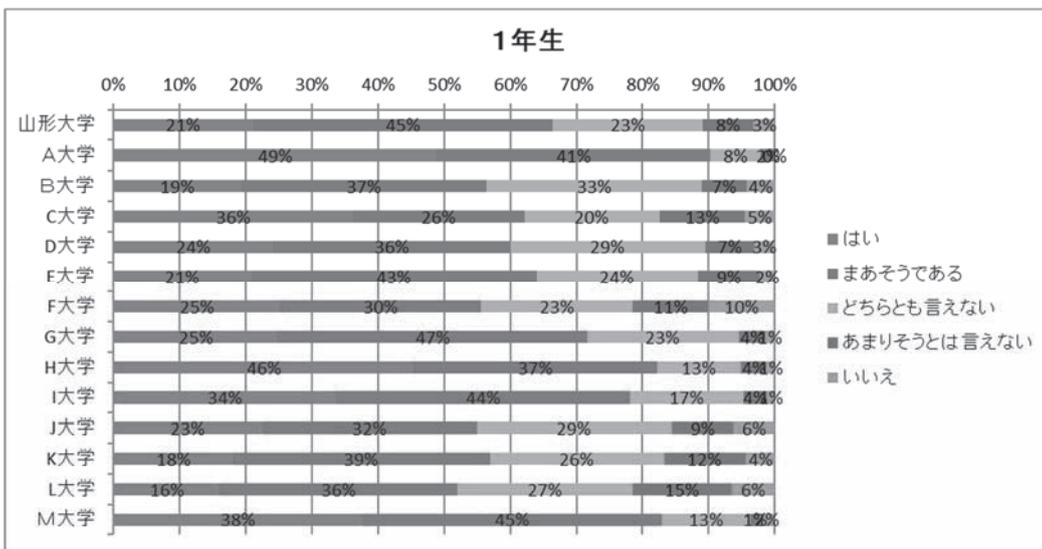


表 21 加盟校ごとの入学満足度（2年生）

加盟校	肯定的回答の割合	平均点
山形大学	68%	3.81
A大学	90%	4.52
B大学	67%	3.64
C大学	77%	3.77
D大学	61%	3.53
E大学	71%	3.96
F大学	45%	3.26
G大学	66%	3.79
H大学	72%	3.97
I大学	80%	4.13
J大学	47%	3.33
K大学	39%	3.21
L大学	38%	3.22
M大学	68%	3.86

図 21 各加盟校満足度（2年生）

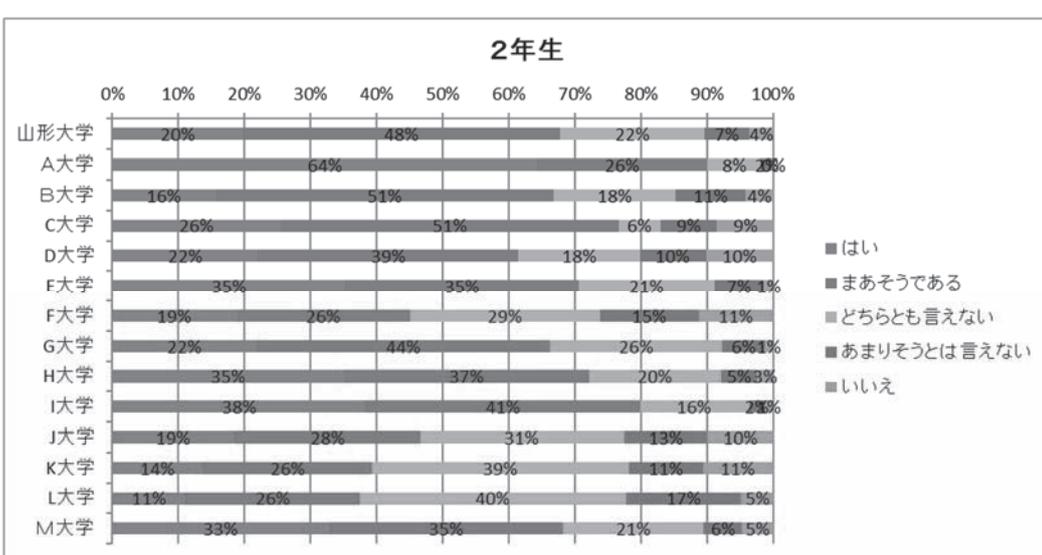


表 2 2 加盟校ごとの入学満足度（3年生）

加盟校	肯定的回答の割合	平均点
山形大学	71%	3.82
A大学	100%	4.65
B大学	59%	3.47
D大学	60%	3.57
F大学	58%	3.59
G大学	61%	3.64
H大学	79%	4.17
I大学	83%	4.06
J大学	59%	3.60
K大学	39%	3.17
L大学	40%	3.29
M大学	81%	4.23

図 2 2 各加盟校満足度（3年生）

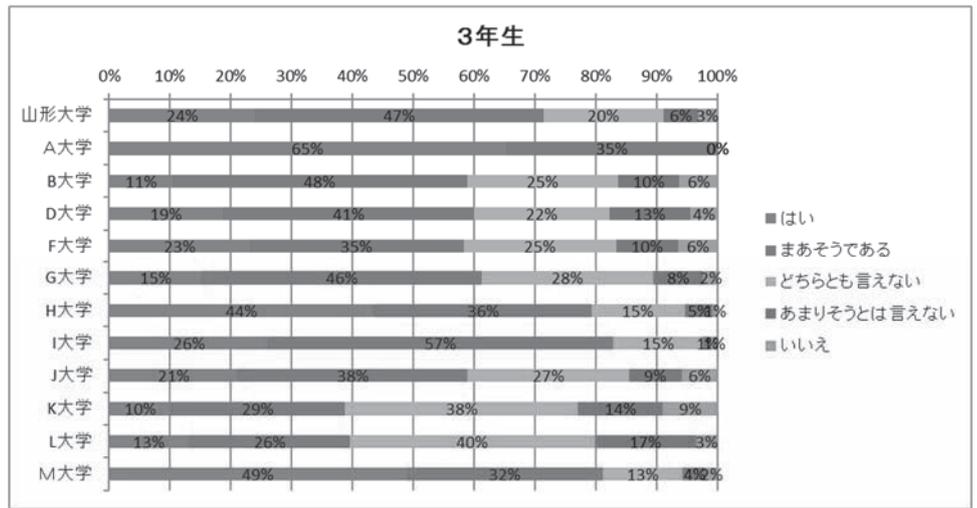
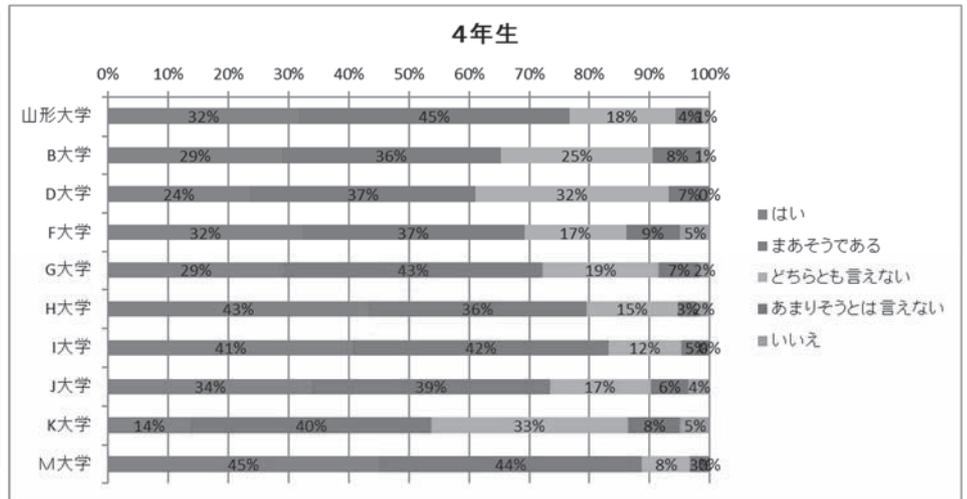


表 2 3 加盟校ごとの入学満足度（4年生）

加盟校	肯定的回答の割合	平均点
山形大学	77%	4.12
B大学	65%	3.83
D大学	61%	3.78
F大学	69%	3.83
G大学	72%	3.91
H大学	80%	4.15
I大学	83%	4.19
J大学	73%	3.94
K大学	54%	3.49
M大学	89%	4.31

図 2 3 各加盟校満足度（4年生）



(2) 山形大学学部別集計結果

表 2 4 山形大学回収率

学部	学年	在籍者数	回答者数	回答率
人文社会科学部	1年	308	298	96.8%
	2年	317	176	55.5%
	3年	336	144	42.9%
	4年	383	144	37.6%
地域教育文化学部	1年	181	163	90.1%
	2年	248	192	77.4%
	3年	244	149	61.1%
	4年	263	131	49.8%
理学部	1年	219	204	93.2%
	2年	194	171	88.1%
	3年	186	168	90.3%
	4年	226	143	63.3%
医学部	1年	185	177	95.7%
	2年	186	133	71.5%
	3年	190	157	82.6%
	4年	192	166	86.5%
	5年	125	78	62.4%
	6年	168	116	69.0%
工学部	1年	623	535	85.9%
	2年	658	505	76.7%
	3年	651	508	78.0%
	4年	716	441	61.6%
農学部	1年	164	154	93.9%
	2年	158	112	70.9%
	3年	158	91	57.6%
	4年	176	78	44.3%
全体合計	1年	1680	1531	91.1%
	2年	1761	1289	73.2%
	3年	1765	1217	69.0%
	4年	1956	1103	56.4%
	5年	125	78	62.4%
	6年	168	116	69.0%

【1】 あなたが本学への入学を決定された理由を強い順に3つ下記から選んでマークしてください。

- 1：建学の理念に共感したから 2：入試科目があっていたから 3：自分の学力にあっていたから  
 4：学びたい学部・学科・コースがあつたから 5：カリキュラムが充実しているから 6：資格を取得出来るから  
 7：就職に役立つから 8：キャンパスの施設・設備が良いから 9：地元の大学だから  
 10：大学の知名度が高かつたから 11：大学が設置されている地域に魅力があるから 12：学費が安いから  
 13：親や教員に勧められたから 14：本学しか合格しなかつたから 15：その他（理由を裏面の【7】にご記入ください）

注：「第一理由」「第二理由」「第三理由」それぞれの回答数を集計し、「第一理由」回答数に「3点」、「第二理由」回答数に「2点」、「第三理由」回答数に「1点」をかけた上で合計し、その合計点の上位3位。

表 2 5 山形大学における動機上位3位

学部	学科・課程	1年生			2年生			3年生			4年生			5年生			6年生			
		1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位							
人文社会科学部	人文社会科学科	4	3	2																
	人間文化学科				4	3	2	4	3	9	4	3	9							
	法経政策学科				3	4	2	3	4	2	3	4	9							
地域教育文化学部 地域教育文化学科	児童教育コース	4	9	3	4	3	9	4	3	9	4	3	9							
	文化創生コース	4	2	3,9																
	異文化交流コース				4	9	12	4	3	2,9	4	3	9							
	造形芸術コース				4	2,9	3	9	4,13	2	4,10	7,9	3,12							
	音楽芸術コース				3	9	2	4	2	3,9,12	4	2	3							
	スポーツ文化コース				4	9	3	4	2	3	3	4	2							
	食環境デザインコース				4	6	3	3	4	6	4	3	6							
	生活環境科学コース				3,4	7	13	4	3	9	3,4	2,6	9							
	システム情報学コース				4	3	6	3	4	6,12,14	3	4	9							
養護教諭特別科																				
理学部	理学科	4	3	2																
	数理科学科				3	4	9	3	4	2	4	3	2							
	物理学科				4	3	2	4	3	2	3	4	2							
	物質生命化学科				3	4	2	3	2	4	3	4	2							
	生物学科				3	4	2	4	3	2	4	3	2							
	地球環境学科				4	3	2	4	3	2,9	4	3	2							
医学部	医学科	3	4	2	4	3	2	4	3	2	3	4	2	3	2	4	3	2	4	
	看護学科	4	3	2	4	3	6	4	6	3	4	3	6							
工学部	高分子・有機材料工学科	4	3	2																
	化学・バイオ工学科	4	3	2																
	情報・エレクトロニクス学科	3	4	2																
	建築・デザイン学科	4	2	3																
	機能高分子工学科				4	3	13	3	4	2	3	4	2							
	物質化学工学科				3	2,4	9,13	3	4	2	3	4	2							
	バイオ化学工学科				4	3	2	4	2	3	4	3	2							
	応用生命システム工学科				3	4	2	3	4	2	3	2,4	9,13							
	情報科学科				3	4	2	3	4	2	3	4	9							
	電気電子工学科				3	4	2	3	4	2	3	4	9							
	機械システム工学科	3	4	2	3	4	2	3	4	2	3	4	2							
	システム創成工学科(フレックスコース)				3	12	4	12	3	13	3	12	4							
	食料生命環境学科	4	3	2	3	4	2	3	4	2	4	3	2							

【2】 本学の授業に関する以下の項目について、該当する数字をそれぞれ一つ選んでマークしてください。

\*以下の質問に次の5段階で答えてください。

5 : はい 4 : まあそうである 3 : どちらとも言えない 2 : あまりそうとは言えない 1 : いいえ  
 回答に対する評価 (5点満点) をはい=5点、まあそうである=4点、どちらとも言えない=3点、あまりそうとは言えない=2点、いいえ=1点とし、アンケート回答者の平均値を計算したものである。

- 2-1 興味もてる授業が多い
- 2-2 ためになる授業が多い
- 2-3 わかりやすい授業が多い
- 2-4 主体的に考え行動する授業が多い
- 2-5 就職に役立つ授業が多い
- 2-6 国際性を養うことができる授業が多い
- 2-7 授業がよくなるよう工夫をしている教員が多い
- 2-8 授業や学生指導に対して熱心な教員が多い

表 2 6 問 2 の設問に対する山形大学学部別結果

学部	学科・課程	1年生								2年生							
		2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	2-6	2-7	2-8	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	2-6	2-7	2-8
人文社会科学部	人文社会科学科	3.41	3.44	3.44	3.30	3.09	3.06	3.25	3.30	4.03	4.14	3.79	3.59	3.26	3.67	4.14	4.07
	人間文化学科									3.73	3.77	3.40	3.24	3.50	3.13	3.62	3.54
	法経政策学科																
	学部平均	3.41	3.44	3.44	3.30	3.09	3.06	3.25	3.30	3.88	3.96	3.60	3.42	3.38	3.40	3.88	3.81
地域教育文化学部	児童教育コース	3.43	3.45	3.41	3.34	3.08	2.99	3.36	3.32	3.76	3.95	3.57	3.64	3.50	2.93	3.57	3.61
	文化創生コース	3.22	3.36	3.28	3.17	2.94	2.83	3.30	3.32								
	異文化交流コース									4.13	4.00	3.87	3.73	3.53	4.27	3.60	3.73
	造形芸術コース									3.50	3.80	3.60	3.60	3.00	2.90	3.10	3.40
	音楽芸術コース									3.79	4.00	3.64	3.00	2.93	3.07	3.50	3.50
	スポーツ文化コース									3.80	3.60	3.40	3.33	3.13	3.33	3.27	3.47
	食環境デザインコース									3.48	3.77	3.26	3.65	3.55	2.65	3.32	3.71
	生活環境科学コース									3.73	3.67	3.60	3.33	3.20	2.80	3.20	3.33
	システム情報学コース									3.89	4.05	3.74	3.47	3.53	2.89	3.47	3.84
	看護教諭特別別科																
	学部平均	3.33	3.41	3.35	3.26	3.01	2.91	3.33	3.32	3.76	3.86	3.59	3.43	3.30	3.11	3.38	3.57
理学部	理学科	3.22	3.42	3.17	3.05	2.86	2.78	3.36	3.25								
	数理科学科									3.62	3.67	3.36	3.23	3.05	2.79	3.31	3.28
	物理学科									3.33	3.33	3.39	2.83	2.61	2.56	3.47	3.42
	物質生命化学科									3.63	3.72	3.14	3.23	3.02	2.84	3.30	3.28
	生物学科									3.90	3.52	3.33	2.86	2.43	2.29	3.48	3.71
	地球環境学科									4.00	3.84	3.75	3.34	3.06	3.19	3.91	3.81
学部平均	3.22	3.42	3.17	3.05	2.86	2.78	3.36	3.25	3.70	3.62	3.39	3.10	2.83	2.73	3.49	3.50	
医学部	医学科	2.69	2.66	2.99	2.70	2.44	2.29	3.03	2.99	3.85	3.86	3.24	3.08	3.96	2.19	3.26	3.63
	看護学科	3.41	3.43	3.40	3.17	2.97	2.69	3.34	3.34	3.84	4.11	3.64	3.48	4.33	3.00	3.75	4.06
学部平均	3.05	3.05	3.20	2.94	2.71	2.49	3.19	3.17	3.85	3.99	3.44	3.28	4.15	2.59	3.51	3.85	
工学部	高分子・有機材料工学科	3.48	3.67	3.23	3.47	3.18	2.95	3.43	3.44								
	化学・バイオ工学科	3.29	3.28	3.19	3.11	2.87	2.67	3.15	3.25								
	情報・エレクトロニクス学科	3.29	3.30	3.19	3.31	3.20	2.84	3.23	3.25								
	建築・デザイン学科	3.38	3.28	3.52	3.10	2.93	2.83	3.28	3.28								
	機能高分子工学科									3.84	3.79	3.09	3.06	3.26	2.73	3.49	3.59
	物質化学工学科									3.88	3.88	3.36	3.20	3.20	2.68	3.68	3.84
	バイオ化学工学科									3.97	3.97	3.56	3.26	3.32	2.74	3.69	3.77
	応用生命システム工学科									3.41	3.64	3.03	3.19	3.28	2.62	3.24	3.41
	情報科学科									3.73	3.72	3.31	3.07	3.16	2.51	3.61	3.37
	電気電子工学科									3.36	3.73	3.23	3.01	3.37	2.51	3.17	3.36
	機械システム工学科	3.60	3.66	3.45	3.50	3.29	2.92	3.58	3.50	3.36	3.60	2.95	3.10	3.27	3.47	3.04	3.06
	システム創成工学科(フレックスコース)									3.85	3.97	3.44	3.44	3.47	3.15	3.65	3.68
	学部平均	3.41	3.44	3.32	3.30	3.09	2.84	3.33	3.34	3.68	3.79	3.25	3.17	3.29	2.80	3.45	3.51
農学部	食料生命環境学科	3.56	3.55	3.36	3.06	2.94	2.66	3.32	3.32	3.55	3.66	3.29	2.81	3.10	2.55	3.26	3.33
	学部平均	3.56	3.55	3.36	3.06	2.94	2.66	3.32	3.32	3.55	3.66	3.29	2.81	3.10	2.55	3.26	3.33
山形大学平均		3.33	3.38	3.30	3.15	2.95	2.79	3.30	3.28	3.73	3.81	3.43	3.20	3.34	2.86	3.49	3.59

学部	学科・課程	3年生								4年生							
		2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	2-6	2-7	2-8	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	2-6	2-7	2-8
人文社会科学部	人文社会科学科	4.02	4.06	3.82	3.65	3.14	3.27	3.96	4.02	4.26	4.19	3.74	3.58	3.26	3.56	4.02	4.09
	人間文化学科	3.95	3.98	3.92	3.50	3.66	3.34	3.94	3.96	4.10	3.99	3.74	3.35	3.39	3.24	3.78	3.77
	法経政策学科																
	学部平均	3.99	4.02	3.87	3.58	3.40	3.31	3.95	3.99	4.18	4.09	3.74	3.47	3.33	3.40	3.90	3.93
地域教育文化学部	児童教育コース	3.98	4.06	3.66	3.70	3.56	2.80	3.64	3.90	3.98	4.13	3.85	3.62	3.82	2.98	3.71	3.87
	文化創生コース																
	異文化交流コース	4.13	4.20	3.87	3.47	3.00	4.07	3.73	3.93	3.71	3.71	3.64	3.36	2.64	3.86	3.79	3.93
	造形芸術コース	4.00	4.00	3.67	3.67	3.00	2.67	3.33	3.67	4.50	4.50	3.00	2.50	2.50	3.00	3.00	3.00
	音楽芸術コース	3.92	3.75	3.50	3.67	3.00	2.83	3.42	3.75	3.90	3.60	3.70	3.70	3.00	2.80	3.40	3.30
	スポーツ文化コース	3.44	3.38	3.50	3.19	3.06	3.13	3.25	3.50	3.38	3.63	3.38	3.63	3.63	3.38	4.00	3.88
	食環境デザインコース	3.62	3.83	3.38	3.59	3.79	4.14	3.59	4.24	3.70	3.75	3.40	3.55	3.30	2.80	3.30	3.35
	生活環境科学コース	3.75	3.75	3.92	3.50	3.00	2.75	3.75	3.75	3.60	3.60	3.50	3.40	3.50	2.60	2.90	2.90
	システム情報学コース	3.69	4.00	3.15	3.08	3.08	3.08	3.15	3.46	3.92	3.92	3.77	3.23	3.08	2.85	3.46	3.62
	看護教諭特別別科																
	学部平均	3.82	3.87	3.58	3.48	3.19	3.18	3.48	3.78	3.84	3.86	3.53	3.37	3.18	2.97	3.45	3.48
理学部	理学科	3.50	3.48	3.30	3.11	2.63	2.65	3.33	3.22	4.00	3.92	3.54	3.54	2.92	2.79	3.58	3.79
	数理科学科									3.53	3.47	3.28	2.91	2.78	2.75	3.31	3.34
	物理学科									3.83	3.73	3.50	2.97	2.83	2.60	3.50	3.47
	物質生命化学科									3.84	3.91	3.56	3.24	2.95	2.74	2.53	3.53
	生物学科									3.85	4.08	3.65	3.38	2.65	2.73	3.85	4.00
	地球環境学科									3.72	3.56	3.28	3.08	2.56	2.76	3.12	3.40
学部平均	4.32	4.41	4.09	3.55	3.05	3.00	4.18	4.27	4.26	4.37	4.00	3.67	3.30	3.22	4.00	4.00	
医学部	医学科	3.81	3.87	3.58	3.24	2.81	2.77	3.66	3.68	3.93	3.86	3.58	3.25	2.87	2.78	3.55	3.66
	看護学科	3.64	3.76	3.34	2.89	3.85	2.52	3.37	3.44	3.56	3.71	3.28	2.87	3.69	2.45	3.38	3.45
学部平均	3.77	4.09	3.53	3.51	4.16	2.54	3.42	3.67	3.80	4.14	3.71	3.61	4.14	2.75	3.38	3.79	
工学部	高分子・有機材料工学科	3.71	3.93	3.44	3.20	4.01	2.53	3.40	3.56	3.68	3.93	3.50	3.24	3.92	2.60	3.38	3.62
	化学・バイオ工学科																
	情報・エレクトロニクス学科																
	建築・デザイン学科																
	機能高分子工学科	3.70	3.84	3.42	2.98	3.10	2.71	3.53	3.60	3.65	3.72	3.36	3.08	3.00	2.73	3.34	3.48
	物質化学工学科	3.64	3.66	3.45	2.74	3.09	2.45	3.60	3.74	3.69	3.69	3.38	2.98	2.95	2.43	3.62	3.52
	バイオ化学工学科	3.92	3.83	3.42	2.96	2.79	2.42	3.60	3.62	3.92	3.80	3.58	3.04	2.86	2.62	3.44	3.56
	応用生命システム工学科	3.07	3.24	2.83	2.63	2.70	2.28	2.81	2.96	3.58	3.39	3.33	2.86	2.81	2.25	3.53	3.44
	情報科学科	3.71	3.63	3.48	3.04	3.02	2.48	3.38	3.37	3.35	3.47	3.33	2.78	2.76	2.24	3.49	3.37
	電気電子工学科	3.61	3.79	3.13	2.89	3.19	2.73	3.24	3.44	3.58	3.58	3.19	2.93	3.05	2.51	3.33	3.37
	機械システム工学科	3.60	3.71	3.27	3.11	3.15	2.44	3.38	3.51	3.45	3.45	3.18	2.85	2.89	2.48	3.19	3.24
	システム創成工学科(フレックスコース)	3.25	3.04	2.54	2.86	2.82	2.07	2.93	3.21	3.80	3.77	3.23	3.17	3.10	2.70	3.37	3.50
	学部平均	3.56	3.59	3.19	2.90	2.98	2.45	3.31	3.43	3.63	3.61	3.32	2.96	2.93	2.49	3.41	3.44
農学部	食料生命環境学科	3.73	3.71	3.62	2.93	3.90	2.45	3.55	3.47	3.77	3.74	3.50	2.69	2.76	2.55	3.36	3.49
	学部平均	3.73	3.71	3.62	2.93	3.90	2.45	3.55	3.47	3.77	3.74	3.50	2.69	2.76	2.55	3.36	3.49
山形大学平均		3.77	3.83	3.55	3.22	3.38	2.78	3.56	3.65	3.84	3.85	3.53	3.16	3.16	2.		

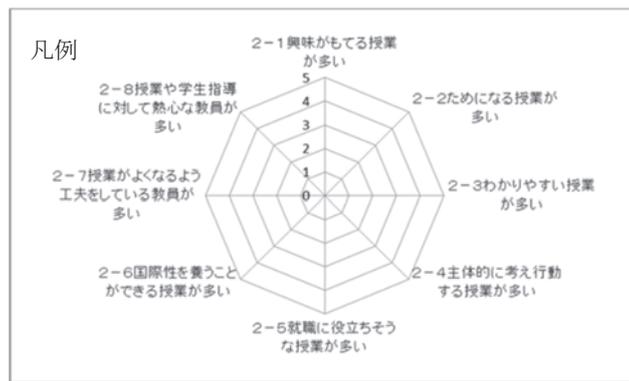


図 2 4 問 2 の授業におけるアンケート結果のレーダーチャート

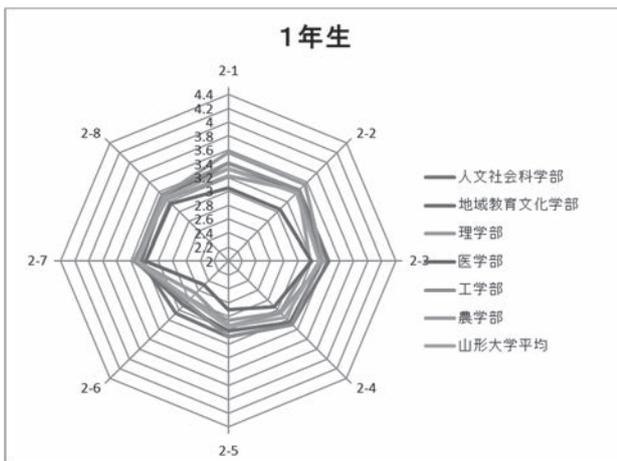


図 2 5 設問 2 に対する山形大学学年別レーダーチャート(1年生)

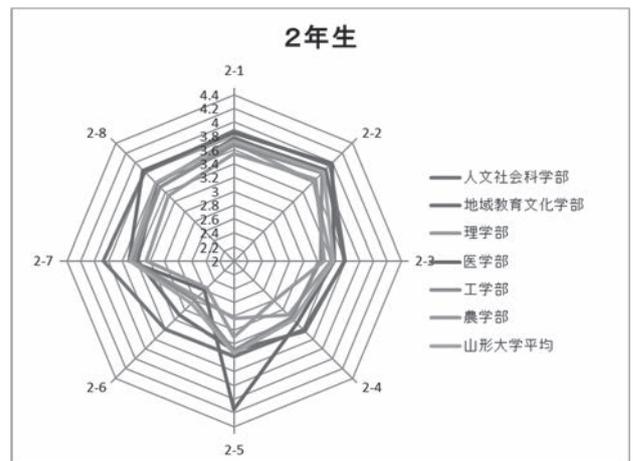


図 2 6 設問 2 に対する山形大学学年別レーダーチャート(2年生)

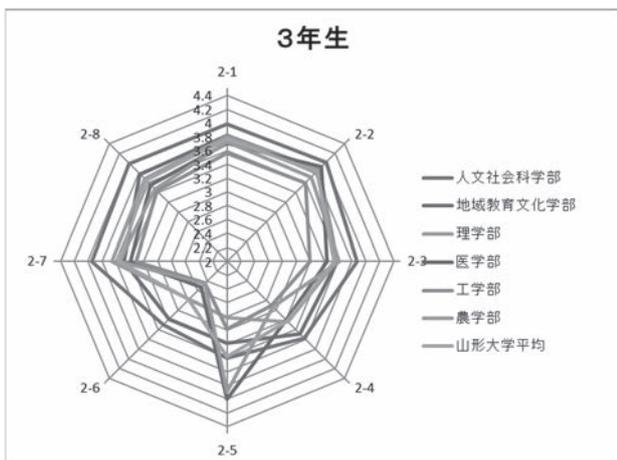


図 2 7 設問 2 に対する山形大学学年別レーダーチャート(3年生)

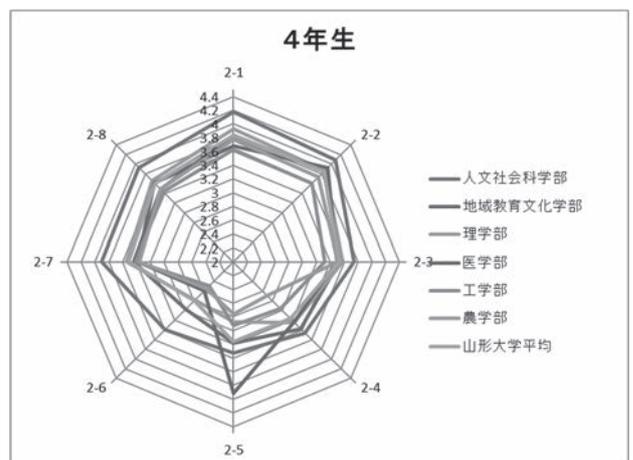


図 2 8 設問 2 に対する山形大学学年別レーダーチャート(4年生)

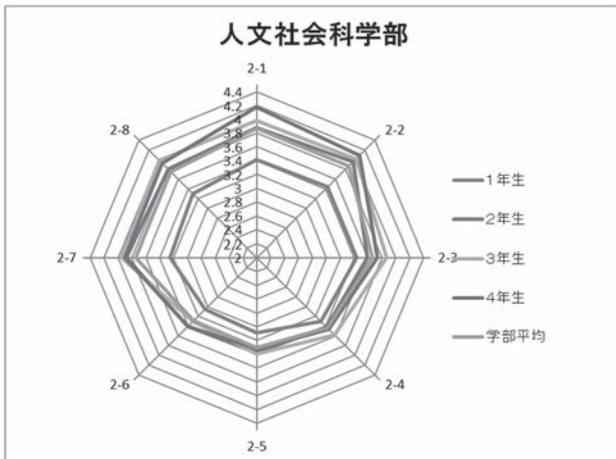


図 2 9 設問 2 に対する山形大学学部別レーダーチャート (人文社会科学部)

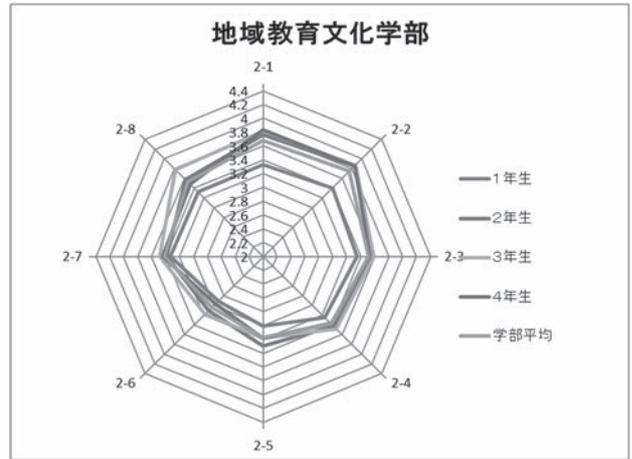


図 3 0 設問 2 に対する山形大学学部別レーダーチャート (地域教育文化学部)

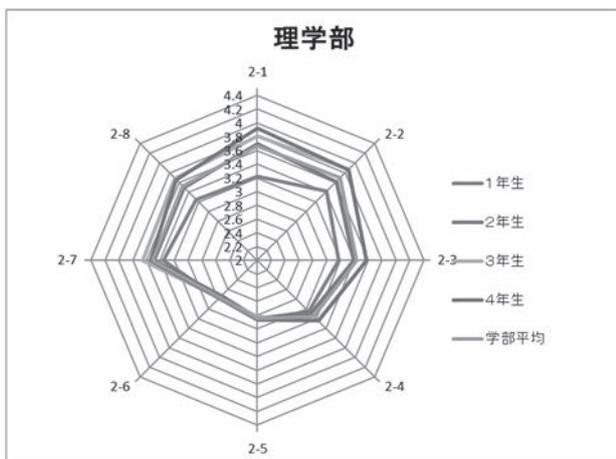


図 3 1 設問 2 に対する山形大学学部別レーダーチャート (理学部)

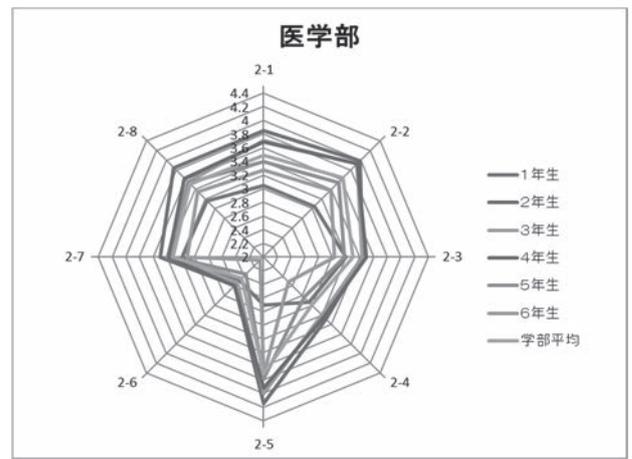


図 3 2 設問 2 に対する山形大学学部別レーダーチャート (医学部)

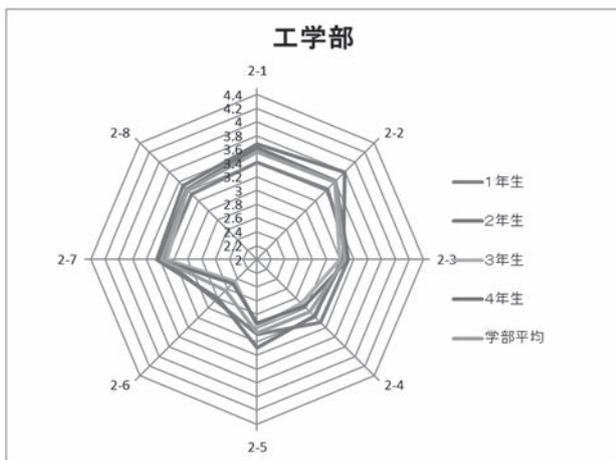


図 3 3 設問 2 に対する山形大学学部別レーダーチャート (工学部)

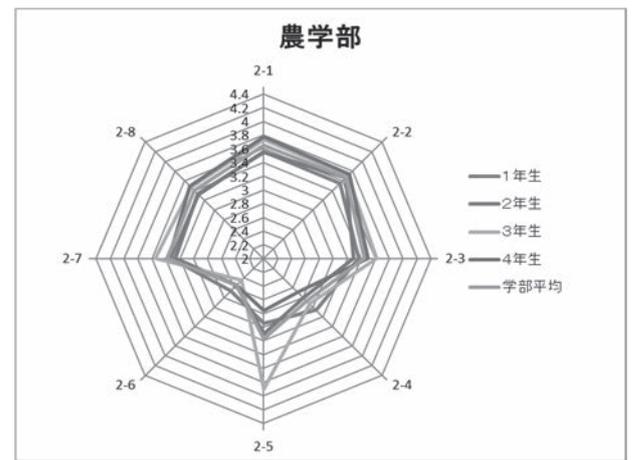


図 3 4 設問 2 に対する山形大学学部別レーダーチャート (農学部)

【3】 授業を受けて、あなたは下記の知識や能力を身につけることができましたか。該当する数字をそれぞれ一つ選んでマークしてください。

\*以下の質問に次の5段階で答えてください。

5 : はい 4 : まあそうである 3 : どちらとも言えない 2 : あまりそうとは言えない 1 : いいえ  
 回答に対する評価(5点満点)をはい=5点、まあそうである=4点、どちらとも言えない=3点、あまりそうとは言えない=2点、いいえ=1点とし、アンケート回答者の平均値を計算したものである。

- 3-1 幅広い教養 3-2 専門知識や技能 3-3 課題解決能力(課題を発見し、解決する力)  
 3-4 物事を批判的に捉え思考する力 3-5 情報機器を使いこなす能力 3-6 外国語を運用する能力  
 3-7 コミュニケーション能力(議論・発表・協働する力) 3-8 リーダーシップをとる力

表27 山形大学のアンケート3の結果を設問ごとに結果

学部	学科・課程	1年生								2年生								
		3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	3-6	3-7	3-8	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	3-6	3-7	3-8	
人文社会科学部	人文社会科学科	3.69	3.37	3.34	3.35	3.40	3.41	3.63	3.05	4.19	4.03	3.88	3.93	3.50	3.38	3.76	3.19	
	人間文化学科									3.90	3.75	3.41	3.61	3.24	2.92	3.49	3.04	
	法経政策学科																	
学部平均		3.69	3.37	3.34	3.35	3.40	3.41	3.63	3.05	4.05	3.89	3.65	3.77	3.37	3.15	3.63	3.12	
地域教育文化学部	児童教育コース	3.61	3.68	3.43	3.45	3.55	3.45	3.82	3.24	3.93	4.11	3.69	3.55	3.22	3.03	3.78	3.18	
	文化創生コース	3.64	3.58	3.35	3.44	3.43	3.17	3.57	3.00									
	異文化交流コース									3.39	4.33	3.67	3.53	2.87	4.07	4.33	3.47	
	造形芸術コース									3.90	4.10	3.50	3.60	3.40	2.70	3.50	2.80	
	音楽芸術コース									4.00	4.62	3.69	3.69	3.38	2.69	3.15	3.08	
	スポーツ文化コース									3.87	4.33	3.67	3.73	3.53	2.87	3.60	3.13	
	食環境デザインコース									3.68	4.00	3.52	3.48	3.42	2.94	3.74	3.03	
	生活環境科学コース									3.67	3.93	3.47	3.47	3.27	3.07	3.67	3.20	
	システム情報学コース									4.21	2.21	3.95	3.95	4.16	3.06	3.53	3.32	
	養護教諭特別科																	
	学部平均		3.63	3.63	3.39	3.45	3.49	3.31	3.70	3.12	3.83	3.95	3.65	3.63	3.41	3.05	3.66	3.15
理学部	理学科	3.50	3.38	3.35	3.37	3.27	3.10	3.45	2.89									
	数理科学科									3.58	4.05	3.63	3.63	3.39	2.79	3.16	2.79	
	物理学科									3.54	4.03	3.51	3.49	3.80	2.60	3.03	2.57	
	物質生命化学科									3.70	4.09	3.30	3.53	3.42	2.93	3.16	2.74	
	生物学科									3.76	4.14	3.76	3.86	3.43	3.00	3.24	3.14	
	地球環境学科									3.93	4.23	3.83	3.80	3.97	3.37	3.53	2.97	
学部平均		3.50	3.38	3.35	3.37	3.27	3.10	3.45	2.89	3.70	4.11	3.61	3.66	3.60	2.94	3.22	2.84	
医学部	医学科	2.98	2.94	2.79	2.83	3.03	2.74	3.01	2.64	3.20	4.18	3.46	3.38	3.08	2.44	3.25	3.03	
	看護学科	3.71	3.91	3.47	3.50	3.55	3.21	3.81	3.09	3.89	4.47	3.95	3.89	3.42	3.32	3.65	3.48	
学部平均		3.35	3.43	3.13	3.17	3.29	2.98	3.41	2.87	3.55	4.33	3.71	3.64	3.25	2.88	3.45	3.26	
工学部	高分子・有機材料工学科	3.76	3.72	3.55	3.50	3.54	3.10	3.73	3.16									
	化学・バイオ工学科	3.42	3.55	3.27	3.31	3.06	2.96	3.40	2.96									
	情報・エレクトロニクス学科	3.45	3.29	3.42	3.39	3.54	3.06	3.43	2.98									
	建築・デザイン学科	3.48	3.62	3.55	3.59	3.79	3.21	3.52	3.24									
	機能高分子工学科									3.69	4.06	3.52	3.37	3.06	2.92	3.14	2.81	
	物質化学工学科									3.88	3.96	3.48	3.40	3.36	3.28	3.28	2.76	
	バイオ化学工学科									3.90	4.18	3.54	3.49	3.23	3.00	3.05	2.62	
	応用生命システム工学科									3.52	3.75	3.43	3.40	3.59	2.83	3.12	2.67	
	情報科学科									3.60	3.85	3.31	3.48	3.85	2.76	2.94	2.66	
	電気電子工学科									3.34	3.96	3.43	3.41	3.66	2.82	3.11	2.59	
	機械システム工学科	3.72	3.82	3.60	3.50	3.54	3.18	3.64	3.02	3.48	3.88	3.38	3.27	3.34	2.60	2.93	2.67	
	システム創成工学科(フレックスコース)									3.97	3.97	3.62	3.56	3.68	3.38	3.65	3.12	
	学部平均		3.57	3.60	3.48	3.46	3.49	3.10	3.54	3.07	3.67	3.95	3.46	3.42	3.47	2.95	3.15	2.74
	農学部	食料生命環境学科	3.69	3.50	3.35	3.31	3.26	2.99	3.52	2.88	3.71	3.89	3.38	3.42	3.37	2.70	3.15	2.65
学部平均		3.69	3.50	3.35	3.31	3.26	2.99	3.52	2.88	3.71	3.89	3.38	3.42	3.37	2.70	3.15	2.65	
山形大学平均		3.57	3.48	3.34	3.35	3.37	3.15	3.54	2.98	3.75	4.02	3.57	3.59	3.41	2.95	3.38	2.96	

学部	学科・課程	3年生								4年生								
		3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	3-6	3-7	3-8	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	3-6	3-7	3-8	
人文社会科学部	人文社会科学科	4.04	3.94	3.86	3.94	3.63	3.02	3.69	3.00	4.26	3.98	3.95	3.93	3.47	3.02	3.67	3.05	
	人間文化学科	4.01	4.01	3.82	3.92	3.59	3.26	3.99	3.59	3.99	3.99	3.68	3.85	3.43	2.98	3.72	3.30	
	法経政策学科																	
学部平均		4.03	3.98	3.84	3.93	3.61	3.06	3.64	3.13	4.13	3.99	3.82	3.89	3.45	3.00	3.70	3.18	
地域教育文化学部	児童教育コース	3.82	4.12	3.74	3.62	3.20	2.69	3.92	3.42	3.89	4.22	3.85	3.64	3.25	2.89	3.96	3.31	
	文化創生コース																	
	異文化交流コース	4.14	4.00	3.79	4.00	3.07	3.29	4.00	3.29	4.14	4.21	3.79	3.86	3.36	3.86	3.93	3.64	
	造形芸術コース	3.33	4.33	4.00	3.67	3.00	2.00	2.33	2.67	4.50	4.50	3.50	4.00	3.50	3.00	3.50	2.50	
	音楽芸術コース	3.83	4.25	3.83	3.42	3.50	2.75	3.42	3.17	4.10	4.30	3.80	3.90	3.10	2.90	3.90	3.60	
	スポーツ文化コース	3.75	3.81	3.44	3.25	3.31	2.88	3.19	3.13	3.88	4.00	3.63	3.63	3.23	3.25	4.00	3.63	
	食環境デザインコース	3.66	4.03	3.59	3.31	3.38	2.62	3.59	3.17	3.80	4.00	3.45	3.75	3.25	2.85	3.75	3.40	
	生活環境科学コース	4.00	4.00	3.75	3.58	3.17	2.33	3.67	3.08	3.70	4.00	3.60	3.80	3.50	3.00	3.50	3.40	
	システム情報学コース	3.85	3.46	3.38	3.46	3.62	2.77	3.00	2.69	3.77	4.15	3.77	3.77	4.15	2.85	3.54	3.31	
	養護教諭特別科																	
	学部平均		3.80	4.00	3.69	3.54	3.28	2.67	3.39	3.08	3.97	4.17	3.67	3.79	3.47	3.08	3.76	3.35
理学部	理学科	3.50	3.72	3.48	3.46	3.00	2.20	2.80	2.54	4.13	4.29	4.17	3.96	3.71	2.88	3.54	3.29	
	数理科学科	3.44	3.78	3.19	3.25	3.06	2.50	2.91	2.69	3.55	3.93	3.66	3.69	3.31	2.83	3.34	2.93	
	物理学科	3.47	4.12	3.74	3.28	3.84	2.86	3.33	2.98	3.58	4.11	3.61	3.36	3.58	2.92	3.47	3.14	
	物質生命化学科	3.88	4.08	3.69	3.73	3.27	2.96	3.85	3.15	3.60	3.88	3.52	3.56	3.40	2.72	3.24	2.64	
	生物学科	4.43	4.38	4.10	4.00	4.05	3.76	4.24	3.43	4.37	4.26	3.96	3.89	4.26	3.59	4.07	3.48	
	地球環境学科	3.74	4.02	3.64	3.54	3.44	2.86	3.43	2.96	3.85	4.09	3.78	3.69	3.65	2.99	3.53	3.10	
学部平均		3.74	4.02	3.64	3.54	3.44	2.86	3.43	2.96	3.85	4.09	3.78	3.69	3.65	2.99	3.53	3.10	
医学部	医学科	3.07	4.05	3.36	3.20	2.89	2.68	3.21	2.93	3.00	3.94	3.29	3.22	2.89	2.53	3.21	2.97	
	看護学科	3.61	4.42	4.00	3.70	3.33	2.63	3.93	3.56	3.71	4.48	3.95	3.91	3.46	2.66	3.98	3.46	
学部平均		3.34	4.24	3.68	3.45	3.11	2.66	3.57	3.25	3.36	4.21	3.62	3.57	3.18	2.60	3.60	3.22	
工学部	高分子・有機材料工学科																	
	化学・バイオ工学科																	
	情報・エレクトロニクス学科																	
	建築・デザイン学科																	
	機能高分子工学科	3.57	4.01	3.49	3.24	3.07	2.79	3.19	2.72	3.51	3.94	3.41	3.36	3.27	3.83	3.07	2.85	
	物質化学工学科	3.57	3.85	3.45	3.36	3.30	2.62	2.98	2.72	3.63	3.76	3.49	3.41	3.32	2.61	3.05	2.80	
	バイオ化学工学科	3.73	3.96	3.52	3.33	3.06	2.65	3.04	2.69	3.62	4.06	3.54	3.26	3.26	3.00	3.06	2.72	
	応用生命システム工学科	3.19	3.39	3.06	3.06	3.04	2.48	2.57	2.39	3.78	3.81	3.25	3.11	3.61	2.58	2.72	2.42	
	情報科学科	3.47	3.90	3.54	3.56	3.82	2.61	3.04	2.67	3.53	3.78	3.57	3.22	3.67	3.47	3.29	2.78	
	電気電子工学科	3.50	3.84	3.45	3.40	3.55	2.85	2.98	2.95	3.53	3.84	3.53	3.28	3.19	2.65	3.21	2.88	
	機械システム工学科	3.53	3.98	3.53	3.35	3.34	2.67	3.04	2.83	3.39	3.83	3.38	3.37	3.34	2.47	3.17	2.73	
	システム創成工学科(フレックスコース)	3.36	3.54	3.18	3.04	3.18	2.11	2.79	2.39	3.57	3.97	3.70	3.57	3.57	2.87	3.60	3.20	
	学部平均		3.49	3.81	3.40	3.29	3.30	2.60	2.95	2.67	3.57	3.87	3.48	3.32	3.40	2.94	3.15	2.80
	農学部	食料生命環境学科	3.55	3.88	3.36	3.33	3.37	2.73	3.38	2.90	3.67	4.12	3.37	3.28	3.26	2.85	3.22	2.71
学部平均		3.55	3.88	3.36	3.33	3												

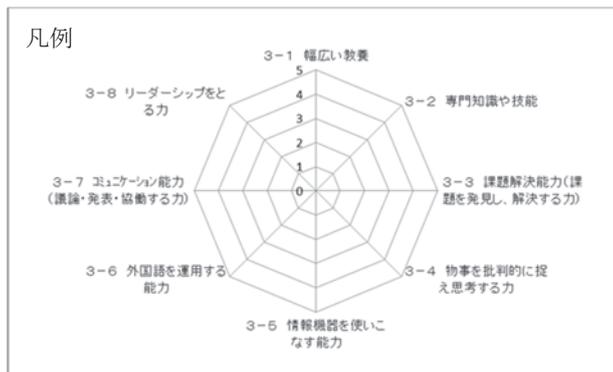


図 3 5 問 3 の授業におけるアンケート結果のレーダーチャート

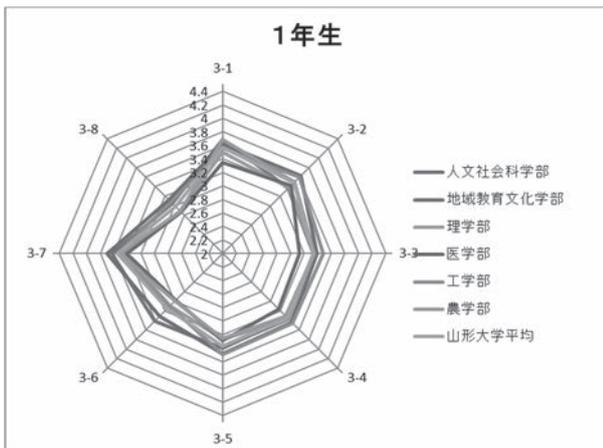


図 3 6 設問 3 に対する山形大学学年別レーダーチャート (1 年生)

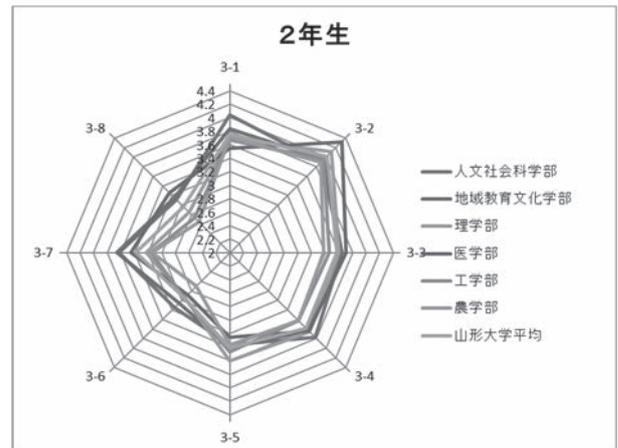


図 3 7 設問 3 に対する山形大学学年別レーダーチャート (2 年生)

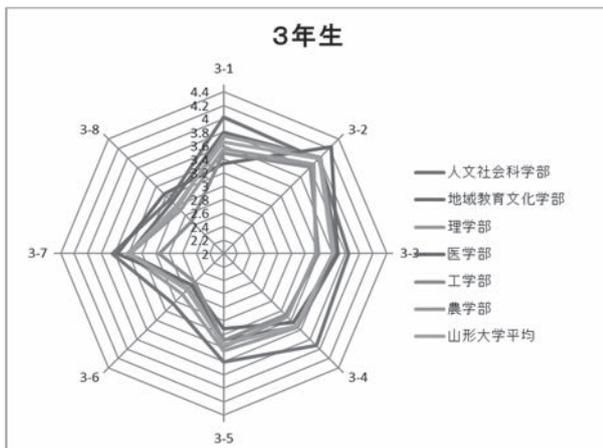


図 3 8 設問 3 に対する山形大学学年別レーダーチャート (3 年生)

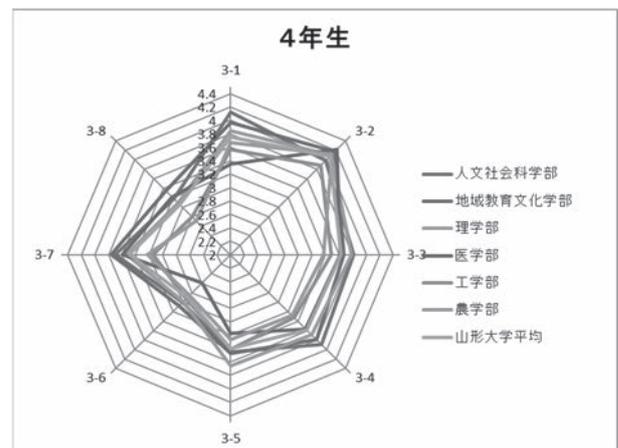


図 3 9 設問 3 に対する山形大学学年別レーダーチャート (4 年生)

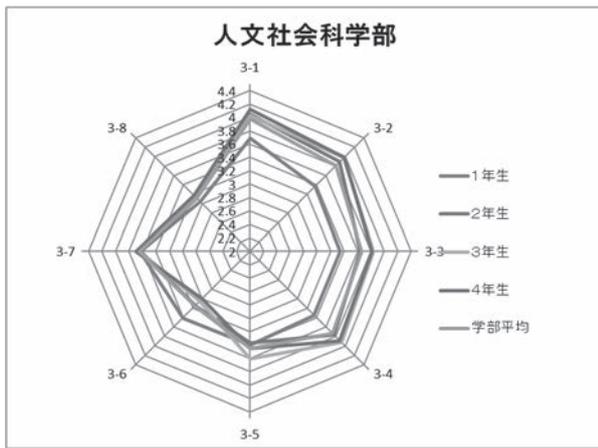


図 4 0 設問 3 に対する山形大学学部別レーダーチャート (人文社会科学部)

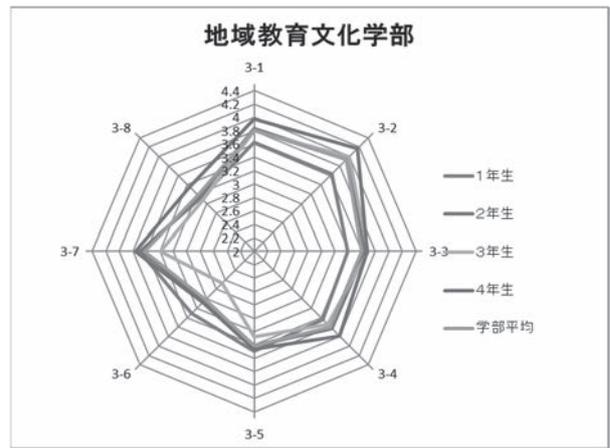


図 4 1 設問 3 に対する山形大学学部別レーダーチャート (地域教育文化学部)

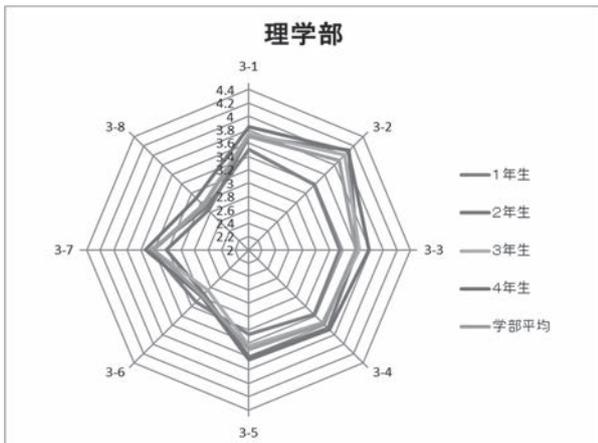


図 4 2 設問 3 に対する山形大学学部別レーダーチャート (理学部)

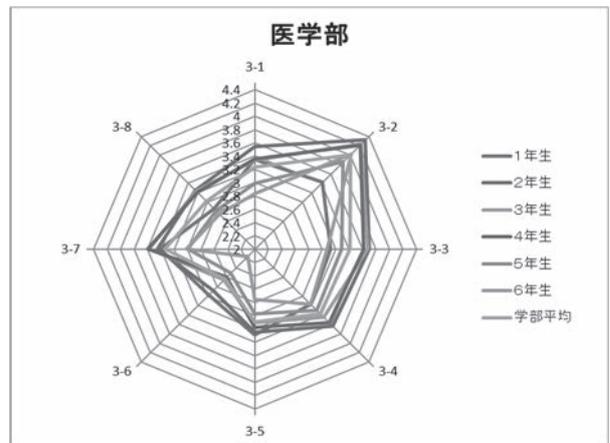


図 4 3 設問 3 に対する山形大学学部別レーダーチャート (医学部)

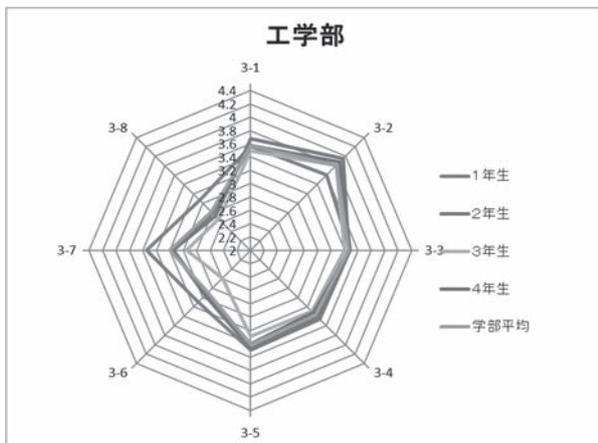


図 4 4 設問 3 に対する山形大学学部別レーダーチャート (工学部)

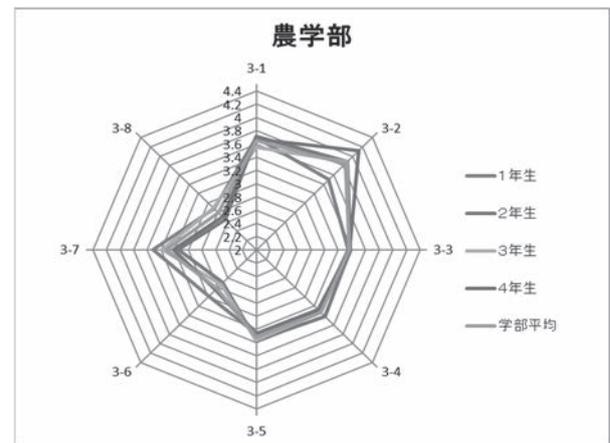


図 4 5 設問 3 に対する山形大学学部別レーダーチャート (農学部)

【4】 本学の改善に向けて今後取り組むべき事項について、該当する数字をそれぞれ一つ選んでマークしてください。

\*以下の質問に次の5段階で答えてください。

5：はい 4：まあそうである 3：どちらとも言えない 2：あまりそうとは言えない 1：いいえ  
 回答に対する評価(5点満点)をはい=5点、まあそうである=4点、どちらとも言えない=3点、あまりそうとは言えない=2点、いいえ=1点とし、アンケート回答者の平均値を計算したものである。

- 4-1 カリキュラムを改善する 4-2 教員の授業力を向上する
- 4-3 コミュニケーション能力の向上を重視した教育を充実する
- 4-4 学習相談等、学習を支援する体制を充実する 4-5 学生生活を支援する体制を充実する
- 4-6 就職に役立つ授業を充実する 4-7 地域社会との関わりを重視する 4-8 施設や設備を充実する

表28 山形大学のアンケート4の結果を設問ごとに結果

学部	学科・課程	1年生								2年生							
		4-1	4-2	4-3	4-4	4-5	4-6	4-7	4-8	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5	4-6	4-7	4-8
人文学部	人文社会科学科	3.51	3.37	3.53	3.54	3.67	3.93	3.40	3.85								
	人間文化学科									3.18	3.23	3.39	3.56	3.54	3.91	3.35	3.96
	法経政策学科									3.39	3.74	3.44	3.35	3.56	3.87	3.47	4.01
	学部平均	3.51	3.37	3.53	3.54	3.67	3.93	3.40	3.85	3.29	3.49	3.42	3.46	3.55	3.89	3.41	3.99
地域教育文化学部 地域教育文化学科	児童教育コース	3.50	3.75	3.59	3.55	3.64	4.04	3.71	4.21	3.47	3.51	3.65	3.58	3.61	3.92	3.70	4.27
	文化創生コース	3.88	3.68	3.41	3.55	3.82	3.90	3.47	4.27								
	異文化交流コース									3.33	3.33	3.80	3.13	3.13	3.40	3.20	4.27
	造形芸術コース									3.50	3.50	3.10	3.30	3.67	4.30	3.70	4.20
	音楽芸術コース									4.46	3.46	3.15	3.38	3.69	3.62	3.15	4.00
	スポーツ文化コース									3.53	3.60	3.60	3.47	3.67	3.67	3.60	4.13
	食環境デザインコース									3.52	3.71	3.58	3.74	3.68	4.19	3.81	4.29
	生活環境科学コース									3.60	3.87	3.73	3.87	3.80	3.87	3.73	4.27
	システム情報学コース									3.84	3.74	3.47	3.16	3.42	3.84	3.21	4.26
	看護教諭特別科																
	学部平均	3.69	3.72	3.50	3.55	3.73	3.97	3.59	4.24	3.66	3.59	3.51	3.45	3.58	3.85	3.51	4.21
理学部	理学科	3.96	3.82	3.38	3.35	3.57	3.67	3.04	3.89								
	数理科学科									3.29	3.55	3.32	3.45	3.66	3.55	2.66	3.87
	物理学科									3.34	3.60	3.49	3.57	3.69	3.74	3.11	3.94
	物質生命化学科									3.65	3.88	3.64	3.40	3.81	3.69	3.10	4.19
	生物学科									3.43	3.62	3.29	3.14	3.67	3.90	2.90	4.00
	地球環境学科									3.83	3.80	3.60	3.93	4.10	4.27	3.53	4.43
学部平均	3.96	3.82	3.38	3.35	3.57	3.67	3.04	3.89	3.51	3.69	3.47	3.50	3.79	3.83	3.06	4.09	
医学部	医学科	4.13	3.80	3.29	3.19	3.53	3.11	3.05	4.17	3.89	3.72	3.08	3.15	3.51	3.00	2.86	4.04
	看護学科	3.30	3.31	3.40	3.17	3.48	3.57	3.40	3.84	3.73	3.55	3.45	3.76	3.74	3.61	3.47	4.11
学部平均	3.72	3.56	3.35	3.18	3.51	3.34	3.23	4.01	3.81	3.64	3.27	3.46	3.63	3.31	3.17	4.08	
工学部	高分子・有機材料工学科	3.52	3.68	3.44	3.33	3.33	3.68	3.08	3.69								
	化学・バイオ工学科	3.77	3.89	3.50	3.60	3.79	3.97	3.36	3.77								
	情報・エレクトロニクス学科	3.52	3.69	3.20	3.12	3.35	3.65	2.99	3.72								
	建築・デザイン学科	3.62	3.62	3.48	3.10	3.45	3.86	3.45	3.97								
	機能高分子工学科									3.38	3.74	3.61	3.55	3.54	3.73	3.24	3.75
	物質化学工学科									3.40	3.76	3.68	3.72	3.84	3.88	3.60	4.08
	バイオ化学工学科									3.28	3.46	3.47	3.46	3.41	3.67	3.05	3.62
	応用生命システム工学科									3.36	3.48	3.07	3.21	3.32	3.54	3.04	3.86
	情報科学科									3.36	3.52	3.51	3.57	3.76	3.79	3.12	3.82
	電気電子工学科									3.14	3.59	3.25	3.10	3.47	3.73	3.01	3.77
	機械システム工学科	3.51	3.49	3.28	3.33	3.48	3.67	3.18	3.84	3.73	3.82	3.42	3.59	3.67	3.88	3.17	3.74
	システム創成工学科(フレックスコース)									3.47	3.62	3.62	3.47	3.73	3.79	3.50	3.68
	学部平均	3.59	3.67	3.38	3.30	3.52	3.77	3.21	3.80	3.39	3.62	3.45	3.46	3.59	3.75	3.22	3.79
	農学部	食料生命環境学科	3.69	3.50	3.35	3.31	3.26	2.99	3.52	2.88	3.63	3.48	3.52	3.39	3.59	3.75	3.34
学部平均		3.69	3.50	3.35	3.31	3.26	2.99	3.52	2.88	3.63	3.48	3.52	3.39	3.59	3.75	3.34	4.35
山形大学平均		3.69	3.61	3.41	3.37	3.54	3.61	3.33	3.78	3.55	3.58	3.44	3.45	3.62	3.73	3.28	4.08

学部	学科・課程	3年生								4年生							
		4-1	4-2	4-3	4-4	4-5	4-6	4-7	4-8	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5	4-6	4-7	4-8
人文学部	人文社会科学科																
	人間文化学科	3.24	3.24	3.37	3.45	3.55	3.78	3.41	3.86	3.26	3.14	3.28	3.33	3.42	3.51	3.44	3.77
	法経政策学科	3.60	3.59	3.68	3.62	3.78	4.07	3.72	4.03	3.49	3.52	3.57	3.52	3.54	3.72	3.66	3.81
	学部平均	3.42	3.42	3.53	3.54	3.67	3.93	3.57	3.95	3.38	3.33	3.43	3.33	3.48	3.62	3.55	3.79
地域教育文化学部 地域教育文化学科	児童教育コース	3.48	3.50	3.44	3.68	3.82	3.76	3.60	4.42	3.47	3.42	3.71	3.38	3.58	3.64	3.76	4.38
	文化創生コース																
	異文化交流コース	3.50	3.57	3.50	3.79	3.86	4.00	3.50	4.36	4.00	3.79	4.21	3.36	3.79	4.00	3.86	4.43
	造形芸術コース	2.33	2.67	2.67	3.00	3.67	3.67	2.67	4.67	4.00	4.50	4.50	4.00	4.00	4.50	5.00	5.00
	音楽芸術コース	4.25	3.50	3.67	3.67	3.83	3.67	3.58	4.25	4.40	3.60	3.70	4.00	3.80	4.00	3.90	4.20
	スポーツ文化コース	3.81	3.69	3.63	3.63	3.75	3.81	3.56	4.40	4.00	3.75	4.00	4.13	4.25	4.00	3.75	4.38
	食環境デザインコース	3.52	3.79	3.93	3.59	3.79	4.14	3.59	4.24	3.55	3.70	3.90	3.60	3.75	3.75	3.90	4.30
	生活環境科学コース	3.42	3.58	3.58	3.42	3.58	3.92	3.08	4.25	4.30	4.50	4.20	4.40	4.30	4.60	4.30	4.30
	システム情報学コース	3.58	3.58	3.33	3.25	3.50	3.75	3.50	3.92	3.85	3.62	3.54	3.54	3.69	3.69	3.62	4.00
	看護教諭特別科																
	学部平均	3.49	3.49	3.47	3.50	3.73	3.84	3.39	4.31	3.95	3.86	3.97	3.83	3.90	4.02	4.01	4.37
理学部	理学科																
	数理科学科	3.61	3.80	3.50	3.65	3.96	3.91	3.50	4.04	3.54	3.46	3.50	3.92	4.17	4.04	3.50	4.29
	物理学科	3.34	3.72	3.47	3.25	3.44	3.31	3.19	3.75	3.83	3.52	3.55	3.52	3.55	3.10	3.03	4.07
	物質生命化学科	3.31	3.65	3.47	3.60	3.70	3.72	2.98	3.98	3.14	3.56	3.56	3.61	3.81	3.69	3.14	3.81
	生物学科	3.38	3.35	3.54	3.35	3.42	3.69	3.12	3.81	3.84	3.68	3.64	3.40	3.68	3.52	3.16	4.16
	地球環境学科	3.67	3.43	3.52	3.57	4.00	3.76	3.19	4.14	3.67	3.48	3.93	3.63	4.11	4.15	3.74	4.11
学部平均	3.46	3.59	3.50	3.48	3.70	3.68	3.20	3.94	3.60	3.54	3.64	3.62	3.86	3.70	3.31	4.09	
医学部	医学科	3.99	3.66	3.10	3.28	3.61	3.24	3.02	4.15	4.23	3.59	3.46	3.45	3.78	3.30	3.18	3.88
	看護学科	3.82	3.66	3.54	3.63	4.07	3.95	3.64	4.32	3.86	3.38	3.39	3.76	4.00	3.61	3.25	4.41
学部平均	3.91	3.66	3.32	3.46	3.84	3.60	3.33	4.24	4.05	3.49	3.43	3.61	3.89	3.46	3.22	4.15	
工学部	高分子・有機材料工学科																
	化学・バイオ工学科																
	情報・エレクトロニクス学科																
	建築・デザイン学科																
	機能高分子工学科	3.44	3.65	3.53	3.51	3.76	3.64	3.25	3.98	3.55	3.49	3.64	3.49	3.59	3.59	3.35	3.88
	物質化学工学科	3.28	3.45	3.53	3.38	3.30	3.53	2.64	3.87	3.54	3.56	3.46	3.39	3.49	3.37	3.02	3.44
	バイオ化学工学科	3.29	3.40	3.37	3.33	3.56	3.42	2.83	3.88	3.50	3.44	3.40	3.42	3.72	3.72	2.96	3.90
	応用生命システム工学科	3.59	3.70	3.44	3.44	3.61	3.80	3.04	3.70	3.53	3.44	3.56	3.19	3.39	3.50	3.19	3.92
	情報科学科	3.35	3.51	3.46	3.16	3.24	3.65	2.94	3.78	3.53	3.27	3.47	3.53	3.67	3.71	3.02	3.94
	電気電子工学科	3.82	3.69	3.55	3.74	3.61	3.85	3.15	3.85	3.70	3.63	3.47	3.42	3.28	3.72	2.91	3.95
	機械システム工学科	3.50	3.56	3.55	3.38	3.52	3.71	2.93	3.85	3.54	3.63	3.54	3.44	3.60	3.72	2.91	3.91
	システム創成工学科(フレックスコース)	4.18	3.82	3.29	3.39	3.32	3.61	2.64	3.89	3.63	3.60	3.50	3.50	3.60	3.90	3.13	4.10
	学部平均	3.56	3.60	3.47	3.42	3.49	3.65	2.90	3.85	3.57	3.51	3.51	3.42	3.54	3.65	3.06	3.88
	農学部	食料生命環境学科	3.60	3.59	3.60	3.51	3.76	3.94	3.61	4.42	3.44	3.53	3.52	3.38	3.64	3.42	3.35
学部平均		3.60	3.59	3.60	3.51	3.76	3.94	3.61	4.42	3.44	3.53	3.52	3.38	3.64	3.42	3.35	4.21

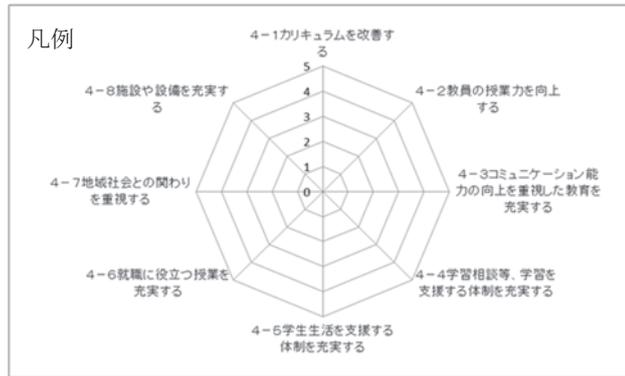


図 4.6 問 4 の授業におけるアンケート結果のレーダーチャート

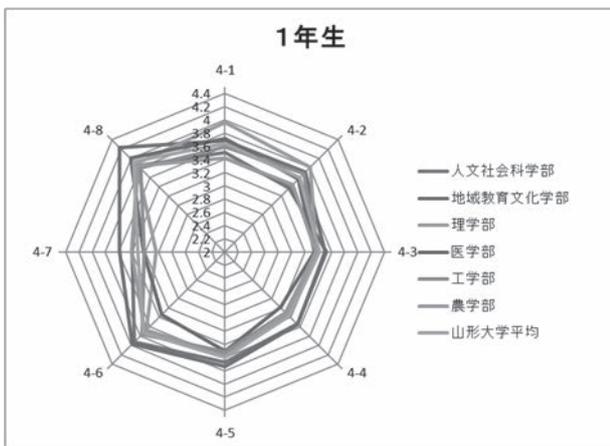


図 4.7 設問 4 に対する山形大学学年別レーダーチャート(1年生)

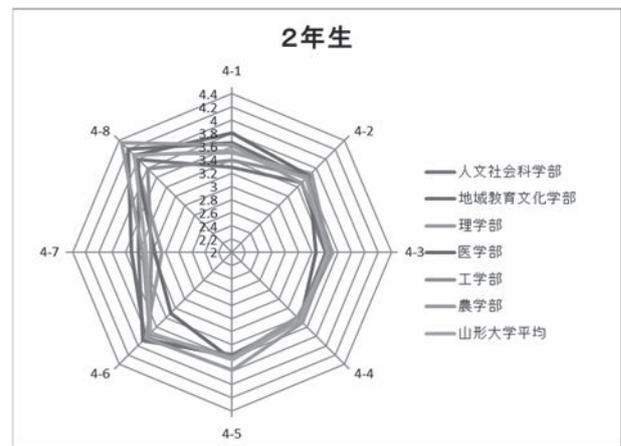


図 4.8 設問 4 に対する山形大学学年別レーダーチャート(2年生)

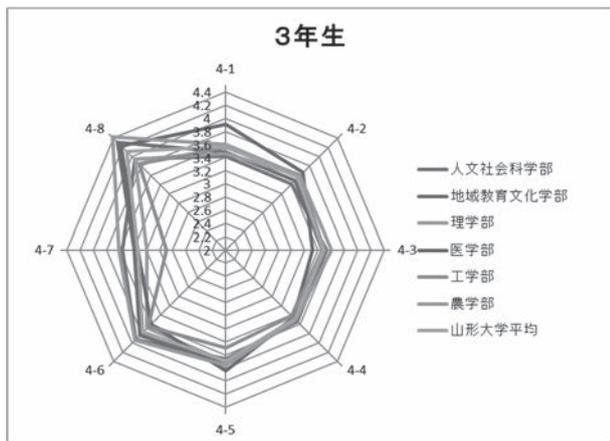


図 4.9 設問 4 に対する山形大学学年別レーダーチャート(3年生)

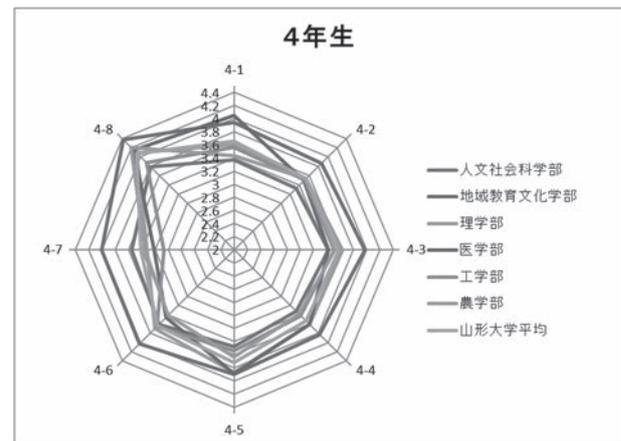


図 5.0 設問 4 に対する山形大学学年別レーダーチャート(4年生)

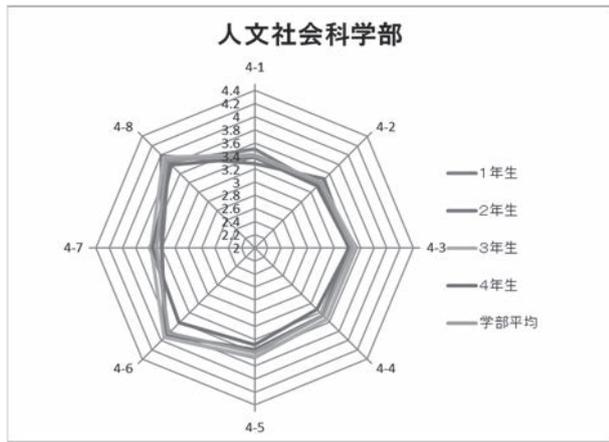


図 5 1 設問 4 に対する山形大学学部別レーダーチャート (人文社会科学部)

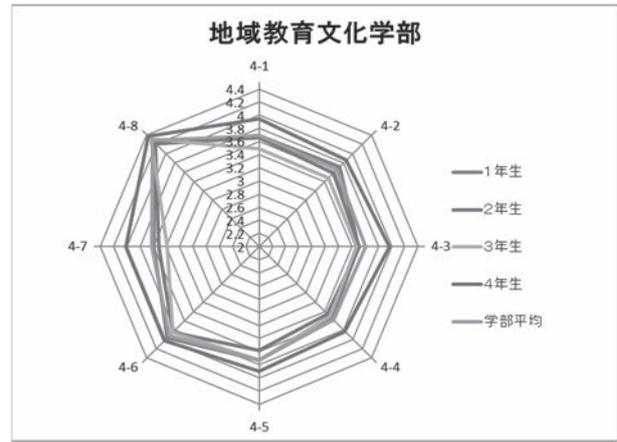


図 5 2 設問 4 に対する山形大学学部別レーダーチャート (地域教育文化学部)

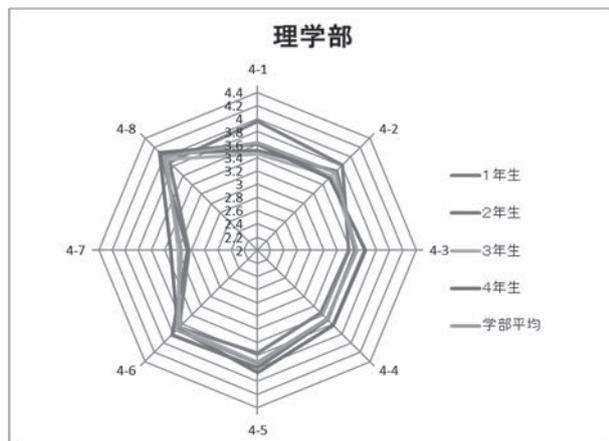


図 5 3 設問 4 に対する山形大学学部別レーダーチャート (理学部)

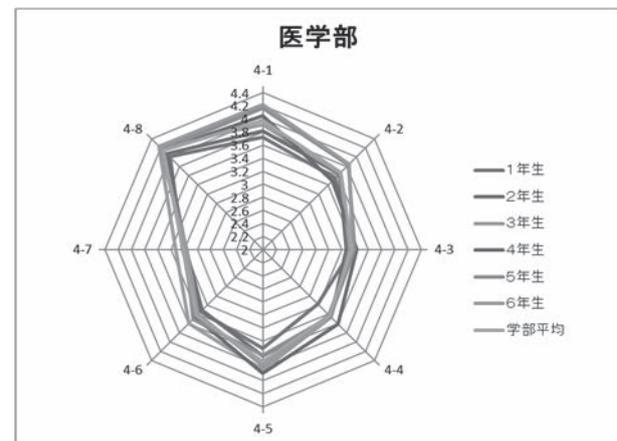


図 5 4 設問 4 に対する山形大学学部別レーダーチャート (医学部)

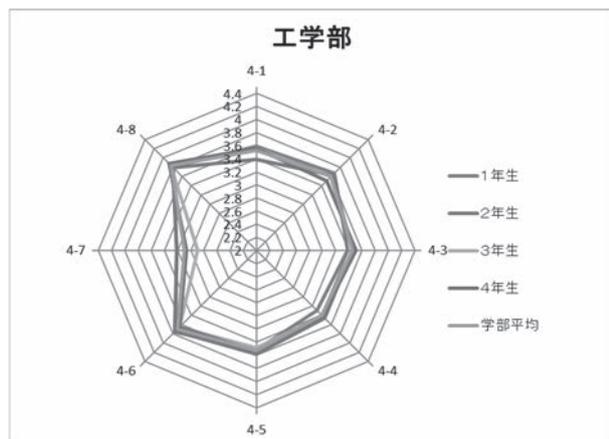


図 5 5 設問 4 に対する山形大学学部別レーダーチャート (工学部)

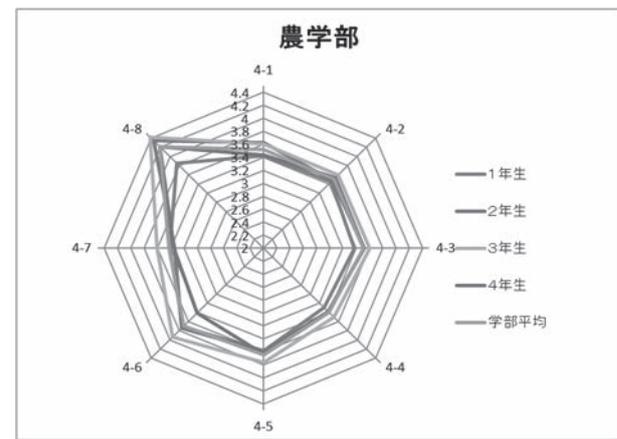


図 5 6 設問 4 に対する山形大学学部別レーダーチャート (農学部)

【5】 この一年間において、授業の予習・復習時間は1日につき平均何時間ですか。

5: 3時間以上 4: 2時間以上3時間未満 3: 1時間以上2時間未満 2: 30分以上1時間未満 1: 30分未満

表29 問5山形大学学部別の一日の学習時間(1年生)

学部	学科・課程	1年生					回答者計	平均点
		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上1 時間未満	30分未満		
人文社会科学部	人文社会科学	5	20	83	105	85	298	2.18
	人文学部計	5	20	83	105	85	298	2.18
地域教育文化学部	児童教育コース	4	7	21	25	19	76	2.37
地域教育文化学部	文化創生コース	2	3	23	28	32	88	2.03
	看護教諭特別科							
	地域教育文化学部計	6	10	44	53	51	164	2.20
理学部	理学科	5	21	61	67	50	204	2.33
	理学部計	5	21	61	67	50	204	2.33
医学部	医学科	6	2	15	18	77	118	1.66
	看護学科	2	2	14	21	19	58	2.09
	医学部計	8	4	29	39	96	176	1.88
工学部	高分子・有機材料工学科	2	11	46	41	30	130	2.34
	化学・バイオ工学科	3	7	42	37	33	122	2.26
	情報・エレクトロニクス学科	2	12	20	48	39	121	2.09
	建築・デザイン学科	0	2	6	8	13	29	1.90
	機械システム工学科	4	10	39	50	27	130	2.34
	システム創成工学科(フレックスコース)							
	工学部計	11	42	153	184	142	532	2.19
農学部	食料生命環境学科	1	8	42	53	49	153	2.08
	農学部計	1	8	42	53	49	153	2.08
	1年生全体	36	105	412	501	473	1527	2.14

表30 問5山形大学学部別の一日の学習時間(2年生)

学部	学科・課程	2年生					回答者計	平均点
		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上1 時間未満	30分未満		
人文学部	人間文化学科	2	4	25	14	12	57	2.47
	法経政策学科	2	6	31	38	42	119	2.06
	人文学部計	4	10	56	52	54	176	2.27
地域教育文化学部	児童教育コース	0	3	18	32	21	74	2.04
地域教育文化学部	異文化交流コース	0	1	10	3	1	15	2.73
	造形芸術コース	0	1	2	1	6	10	1.80
	音楽芸術コース	1	1	1	2	8	13	1.85
	スポーツ文化コース	0	1	2	6	6	15	1.87
	食環境デザインコース	3	4	15	4	5	31	2.87
	生活環境科学コース	1	2	4	4	4	15	2.47
	システム情報学コース	1	3	9	6	0	19	2.95
	地域教育文化学部計	6	16	61	58	51	192	2.32
理学部	数理科学科	1	3	9	14	11	38	2.18
	物理学科	3	6	6	12	8	35	2.54
	物質生命化学科	2	8	19	5	8	42	2.79
	生物学科	1	4	7	4	5	21	2.62
	地球環境学科	1	4	12	8	5	30	2.60
	理学部計	8	25	53	43	37	166	2.55
医学部	医学科	5	14	22	13	17	71	2.68
	看護学科	2	2	14	21	19	58	2.45
	医学部計	7	16	36	34	36	129	2.57
工学部	機能高分子工学科	9	17	42	17	8	93	3.02
	物質化学工学科	0	3	9	7	6	25	2.46
	バイオ化学工学科	1	4	16	9	9	39	2.36
	応用生命システム工学科	1	11	15	21	8	56	2.57
	情報科学科	2	4	15	29	17	67	2.18
	電気電子工学科	3	10	29	19	12	73	2.63
	機械システム工学科	5	22	48	23	15	113	2.81
	システム創成工学科(フレックスコース)	1	7	15	5	5	33	2.82
	工学部計	22	78	189	130	80	499	2.61
農学部	食料生命環境学科	3	10	30	33	35	111	2.22
	農学部計	3	10	30	33	35	111	2.22
	2年生全体	50	155	425	350	293	1273	2.42

表31 問5山形大学学部別の一日の学習時間(3年生)

学部	学科・課程	3年生					回答者計	平均点
		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上1 時間未満	30分未満		
人文学部	人間文化学科	1	2	13	19	14	49	2.12
	法経政策学科	2	2	28	33	31	96	2.07
	人文学部計	3	4	41	52	45	145	2.10
地域教育文化学部	児童教育コース	0	5	15	17	13	50	2.24
地域教育文化学部	異文化交流コース	1	2	5	4	2	14	2.71
	造形芸術コース	1	0	1	1	0	3	3.33
	音楽芸術コース	4	1	4	1	2	12	3.33
	スポーツ文化コース	1	1	6	2	6	16	2.31
	食環境デザインコース	1	3	10	12	3	29	2.55
	生活環境科学コース	0	0	4	3	5	12	1.92
	システム情報学コース	0	1	6	1	4	12	2.33
	地域教育文化学部計	8	13	51	41	35	148	2.59
理学部	数理科学科	3	3	7	15	18	46	2.09
	物理学科	4	4	10	4	8	30	2.73
	物質生命化学科	3	6	12	13	9	43	2.56
	生物学科	0	3	9	9	5	26	2.38
	地球環境学科	0	3	12	4	2	21	2.76
	理学部計	10	19	50	45	42	166	2.50
医学部	医学科	6	4	21	15	54	100	1.93
	看護学科	5	11	23	13	4	56	3.00
	医学部計	11	15	44	28	58	156	2.47
工学部	機能高分子工学科	2	5	27	40	22	96	2.22
	物質化学工学科	2	7	13	12	13	47	2.43
	バイオ化学工学科	0	11	17	15	9	52	2.58
	応用生命システム工学科	1	9	16	16	12	54	2.46
	情報科学科	0	2	14	15	20	51	1.96
	電気電子工学科	3	8	24	17	10	62	2.63
	機械システム工学科	2	11	50	29	25	117	2.45
	システム創成工学科(フレックスコース)	4	5	4	9	5	27	2.78
	工学部計	14	58	165	153	116	506	2.44
農学部	食料生命環境学科	2	5	28	26	30	91	2.15
	農学部計	2	5	28	26	30	91	2.15
	3年生全体	48	114	379	345	326	1212	2.37

表32 問5山形大学学部別の一日の学習時間(4年生)

学部	学科・課程	4年生					回答者計	平均点
		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上1 時間未満	30分未満		
人文学部	人間文化学科	1	2	16	11	13	43	2.23
	法経政策学科	2	7	22	35	35	101	2.07
	人文学部計	3	9	38	46	48	144	2.15
地域教育文化学部	児童教育コース	1	6	13	15	20	55	2.15
地域教育文化学部	異文化交流コース	0	2	7	5	0	14	2.79
	造形芸術コース	0	0	0	1	1	2	1.50
	音楽芸術コース	4	1	0	0	5	10	2.90
	スポーツ文化コース	1	0	2	1	4	8	2.13
	食環境デザインコース	1	0	10	6	3	20	2.50
	生活環境科学コース	3	2	2	2	1	10	3.40
	システム情報学コース	1	1	3	3	5	13	2.23
	地域教育文化学部計	11	12	37	33	39	132	2.45
理学部	数理科学科	4	4	4	5	7	24	2.71
	物理学科	5	4	10	3	7	29	2.90
	物質生命化学科	1	5	11	10	9	36	2.42
	生物学科	8	2	7	4	4	25	3.24
	地球環境学科	3	4	9	3	8	27	2.67
	理学部計	21	19	41	25	35	141	2.79
医学部	医学科	8	21	28	29	23	109	2.65
	看護学科	9	11	23	4	9	56	3.13
	医学部計	17	32	51	33	32	165	2.89
工学部	機能高分子工学科	2	8	22	22	32	86	2.14
	物質化学工学科	4	2	11	12	12	41	2.37
	バイオ化学工学科	6	2	15	12	15	50	2.44
	応用生命システム工学科	1	4	9	12	10	36	2.28
	情報科学科	1	2	10	17	21	51	1.92
	電気電子工学科	2	2	17	8	14	43	2.30
	機械システム工学科	9	8	39	31	16	103	2.64
	システム創成工学科(フレックスコース)	1	2	12	5	10	30	2.30
	工学部計	26	30	135	119	130	440	2.30
農学部	食料生命環境学科	5	6	32	16	18	77	2.53
	農学部計	5	6	32	16	18	77	2.53
	4年生全体	83	108	334	272	302	1099	2.52

表33 問5山形大学学部別の一日の学習時間(5、6年生※医学部)

学部	学科・課程	5、6年生					回答者計	平均点
		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上1 時間未満	30分未満		
医学部	医学科 5年生	12	16	25	13	11	77	3.06
	医学科 6年生	33	26	37	9	11	116	3.53

# 学年別一日の学習時間

図 5 7 問 5 山形大学学年別の一日の学習時間 (1 年生)

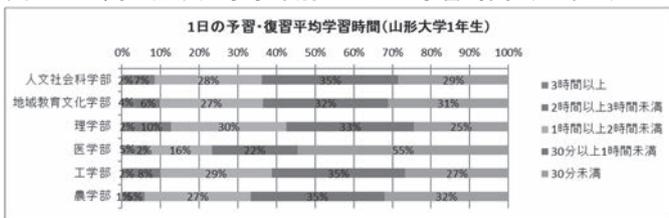


図 5 8 問 5 山形大学学年別の一日の学習時間 (2 年生)

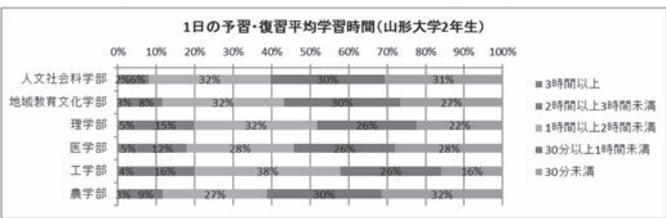


図 5 9 問 5 山形大学学年別の一日の学習時間 (3 年生)



図 6 0 問 5 山形大学学年別の一日の学習時間 (4 年生)

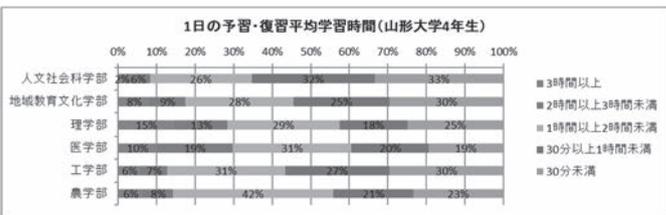
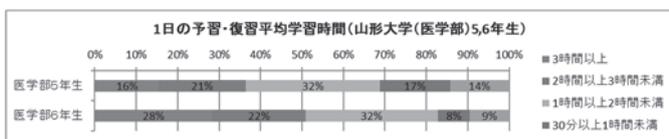


図 6 1 問 5 山形大学学年別の一日の学習時間 (5、6 年生※医学部)



# 学部別一日の学習時間

図 6 2 問 5 山形大学学部別の一日の学習時間 (人文社会科学部)

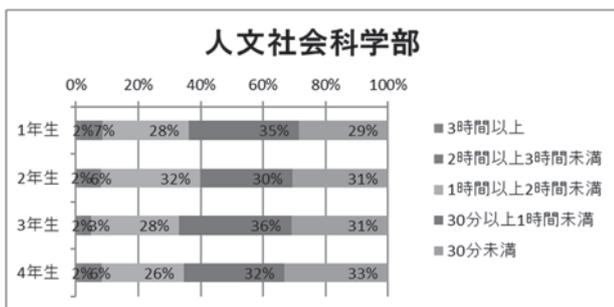


図 6 3 問 5 山形大学学部別の一日の学習時間 (地域教育文化学部)

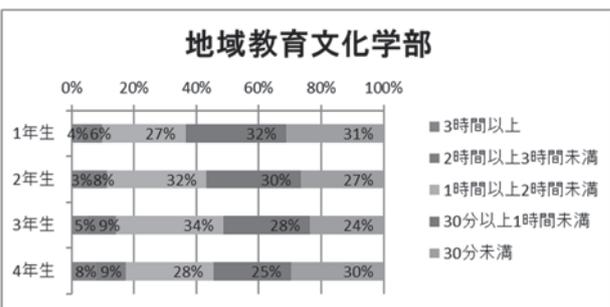


図 6 4 問 5 山形大学学部別の一日の学習時間 (理学部)

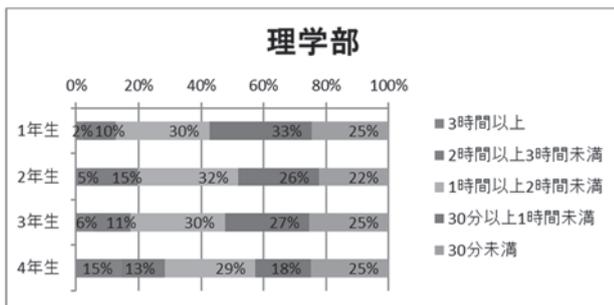


図 6 5 問 5 山形大学学部別の一日の学習時間 (医学部)

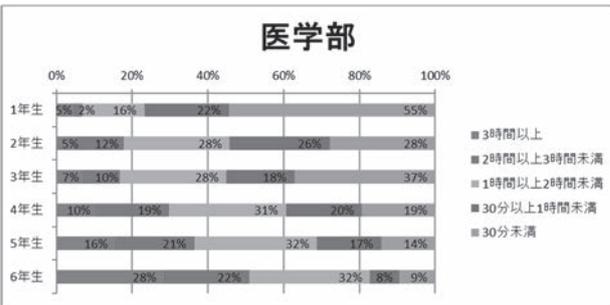


図 6 6 問 5 山形大学学部別の一日の学習時間 (工学部)

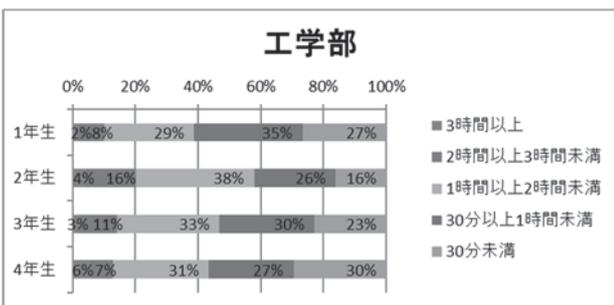
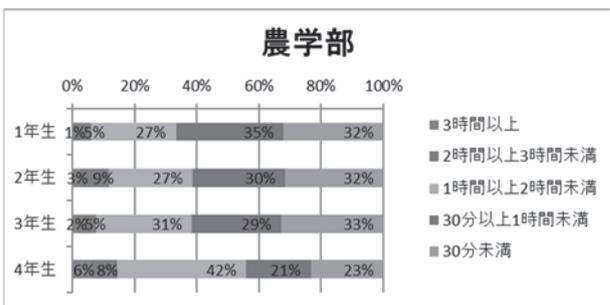


図 6 7 問 5 山形大学学部別の一日の学習時間 (農学部)



【6】 あなたは、本学に入学して良かったと思いますか。該当する数字を一つ選んでマークしてください。  
 5 : はい 4 : まあそうである 3 : どちらとも言えない 2 : あまりそうとは言えない 1 : いいえ

表34 問6山形大学学部別の入学満足度（1年生）

学部	学科・課程	1年生							
		はい	まあそ うである	どちら とも言 ない	あま りそ うは 言 え ない	いい え	回答者計	平均点	肯定的回答 の割合
人文社会科学部	人文社会科学科	65	151	53	25	4	298	3.83	72%
	学部計	65	151	53	25	4	298	3.83	72%
地域教育文化学部 地域教育文化学科	児童教育コース	25	29	13	4	5	76	3.66	71%
	文化創生コース	19	38	22	8	1	88	3.75	65%
	養護教諭特別科								
	学部計	44	67	35	12	6	164	3.81	68%
理学部	理学科	28	102	46	18	10	204	3.59	64%
	学部計	28	102	46	18	10	204	3.59	64%
医学部	医学科	22	43	33	12	8	118	3.50	55%
	看護学科	15	27	10	5	1	58	3.86	72%
	学部計	37	70	43	17	9	176	3.68	61%
工学部	高分子・有機材料工学科	31	62	31	5	1	130	3.90	72%
	化学・バイオ工学科	13	44	46	11	8	122	3.35	47%
	情報・エレクトロニクス学科	29	54	29	4	5	121	3.81	69%
	建築・デザイン学科	9	12	7	1	0	29	4.00	72%
	機械システム工学科	25	62	27	14	2	130	3.72	67%
	システム創成工学科(フレックスコース)								
	学部計	107	234	140	35	16	532	3.76	64%
農学部	食料生命環境学科	37	53	24	7	4	125	3.90	72%
	学部計	37	53	24	7	4	125	3.90	72%
	1年生計	318	677	341	114	49	1499	3.76	66%

表35 問6山形大学学部別の入学満足度（2年生）

学部	学科・課程	2年生							
		はい	まあそ うである	どちら も言 え ない	あま りそ うは 言 え ない	いい え	回答者計	平均点	肯定的回答 の割合
人文学部	人間文化学科	24	29	2	1	1	57	4.30	93%
	法政政策学科	5	4	3	2	1	15	3.87	60%
	学部計	29	57	25	5	3	72	4.09	119%
地域教育文化学部 地域教育文化学科	児童教育コース	5	16	3	5	2	31	4.16	68%
	異文化交流コース	8	5	2	0	0	15	4.40	87%
	造形芸術コース	2	5	2	1	0	10	3.80	70%
	音楽芸術コース	3	6	3	1	0	13	3.85	69%
	スポーツ文化コース	3	8	4	0	0	15	3.93	73%
	食環境デザインコース	5	16	3	5	2	31	3.55	68%
	生活環境科学コース	4	6	4	1	0	15	3.87	67%
	システム情報学コース	7	11	1	0	0	19	4.32	95%
	学部計	37	73	22	13	4	149	3.99	74%
理学部	数理科学科	8	17	9	4	0	38	3.76	66%
	物理学科	5	12	13	2	3	35	3.40	49%
	物質生命化学科	9	20	6	4	3	42	3.67	69%
	生物学科	3	14	4	0	0	21	3.95	81%
	地球環境学科	7	16	5	1	1	30	3.90	77%
	学部計	32	79	37	11	7	166	3.74	67%
医学部	医学科	17	30	19	3	2	71	3.80	66%
	看護学科	14	35	6	5	2	62	3.87	79%
	学部計	31	65	25	8	4	133	3.84	72%
工学部	機能高分子工学科	19	47	20	6	2	94	3.80	70%
	物質化学工学科	3	14	7	0	1	25	3.72	68%
	バイオ化学工学科	9	21	8	0	1	39	4.06	77%
	応用生命システム工学科	5	32	16	0	3	56	3.64	66%
	情報科学科	10	28	20	7	2	67	3.55	57%
	電気電子工学科	10	37	15	9	2	73	3.60	64%
	機械システム工学科	14	46	35	10	8	113	3.42	53%
	システム創成工学科(フレックスコース)	13	13	7	0	0	33	4.18	79%
	学部計	83	238	128	32	19	500	3.55	64%
農学部	食料生命環境学科	22	52	21	11	5	111	3.68	67%
	学部計	22	52	21	11	5	111	3.68	67%
	2年生計	234	564	258	80	42	1131	3.81	71%

表36 問6山形大学学部別の入学満足度（3年生）

学部	学科・課程	3年生							
		はい	まあそ うである	どちら も言 え ない	あま りそ うは 言 え ない	いい え	回答者計	平均点	肯定的回答 の割合
人文学部	人間文化学科	16	22	8	2	1	49	4.02	78%
	法政政策学科	28	48	19	1	0	96	4.07	79%
	学部計	44	70	27	3	1	145	4.05	79%
地域教育文化学部 地域教育文化学科	児童教育コース	23	21	5	1	0	50	4.32	88%
	異文化交流コース	5	6	2	0	1	14	4.00	79%
	造形芸術コース	0	2	1	0	0	3	3.67	67%
	音楽芸術コース	1	8	1	2	0	12	3.33	75%
	スポーツ文化コース	4	3	7	2	0	16	3.56	44%
	食環境デザインコース	2	16	10	1	0	29	3.66	62%
	生活環境科学コース	5	5	2	0	0	12	4.25	83%
	システム情報学コース	1	5	3	1	2	12	2.33	50%
	学部計	41	66	31	7	3	148	3.64	72%
理学部	数理科学科	9	18	12	4	3	46	3.57	59%
	物理学科	5	11	6	4	4	30	3.30	53%
	物質生命化学科	18	15	6	0	4	43	4.00	77%
	生物学科	8	13	4	1	0	26	4.08	81%
	地球環境学科	11	9	1	0	0	21	4.48	95%
	学部計	51	66	29	9	11	166	3.89	70%
医学部	医学科	14	46	25	8	7	100	3.52	60%
	看護学科	11	30	13	3	0	57	3.86	72%
	学部計	25	76	38	11	7	157	3.69	64%
工学部	機能高分子工学科	32	49	13	1	1	96	4.15	84%
	物質化学工学科	12	27	6	1	1	47	4.02	83%
	バイオ化学工学科	15	28	8	1	0	52	4.10	83%
	応用生命システム工学科	2	24	15	10	3	54	2.46	48%
	情報科学科	12	23	11	3	2	51	3.78	69%
	電気電子工学科	12	29	15	4	2	62	3.73	66%
	機械システム工学科	20	53	26	11	7	117	3.58	62%
	システム創成工学科(フレックスコース)	7	10	6	3	1	27	3.70	63%
	学部計	112	243	100	34	17	506	3.69	70%
農学部	食料生命環境学科	18	54	15	4	0	91	3.95	79%
	学部計	18	54	15	4	0	91	3.95	79%
	3年生計	291	575	240	68	39	1213	3.82	71%

表37 問6山形大学学部別の入学満足度（4年生）

学部	学科・課程	4年生							
		はい	まあそ うである	どちら も言 え ない	あま りそ うは 言 え ない	いい え	回答者計	平均点	肯定的回答 の割合
人文学部	人間文化学科	27	12	3	1	0	43	4.51	91%
	法政政策学科	43	44	11	2	1	101	4.25	86%
	学部計	70	56	14	3	1	144	4.38	88%
地域教育文化学部 地域教育文化学科	児童教育コース	24	25	5	1	0	55	4.31	89%
	異文化交流コース	8	5	1	0	0	14	4.50	93%
	造形芸術コース	2	0	0	0	0	2	5.00	100%
	音楽芸術コース	7	3	0	0	0	10	4.70	100%
	スポーツ文化コース	2	2	3	0	1	8	3.50	50%
	食環境デザインコース	8	8	4	0	0	20	4.20	80%
	生活環境科学コース	4	2	1	2	1	10	3.60	60%
	システム情報学コース	6	5	2	0	0	13	4.31	85%
	学部計	61	50	16	3	2	132	4.27	84%
理学部	数理科学科	16	6	2	0	0	24	4.58	92%
	物理学科	11	13	3	0	1	28	4.18	86%
	物質生命化学科	11	20	4	1	0	36	4.14	86%
	生物学科	7	12	5	1	0	25	4.00	78%
	地球環境学科	13	12	2	0	0	27	4.41	93%
	学部計	58	63	16	2	1	140	4.26	86%
医学部	医学科	17	42	34	12	4	109	3.51	54%
	看護学科	16	33	5	1	1	56	4.11	88%
	学部計	33	75	39	13	5	165	3.81	65%
工学部	機能高分子工学科	21	45	14	6	0	86	3.94	77%
	物質化学工学科	7	24	6	2	2	41	3.78	76%
	バイオ化学工学科	16	20	12	2	0	50	4.00	72%
	応用生命システム工学科	9	16	9	2	0	36	3.89	69%
	情報科学科	10	28	13	0	0	51	3.94	75%
	電気電子工学科	6	23	12	2	0	43	3.77	67%
	機械システム工学科	18	47	27	8	3	103	3.67	63%
	システム創成工学科(フレックスコース)	12	12	6	0	0	30	4.20	80%
	学部計	99	215	99	22	5	440	3.90	71%
農学部	食料生命環境学科	29	34	9	6	0	78	4.10	81%
	学部計	29	34	9	6	0	78	4.10	81%
	4年生計	350	493	193	49	14	1099	4.12	77%

表38 問6山形大学学部別の入学満足度（5、6年生 ※医学部）

学部	学科・課程	はい	まあそ うである	どちら も言 え ない	あま りそ うは 言 え ない	いい え	回答者計	平均点	肯定的回答 の割合
医学部	医学科 5年生	10	30	27	7	3	77	3.48	52%
	医学科 6年生	28	45	24	14	5	116	3.66	63%

図 6 8 問 6 山形大学学年別グラフ (1 年生)

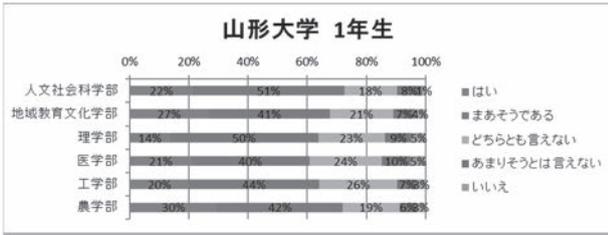


図 6 9 問 6 山形大学学年別グラフ (2 年生)

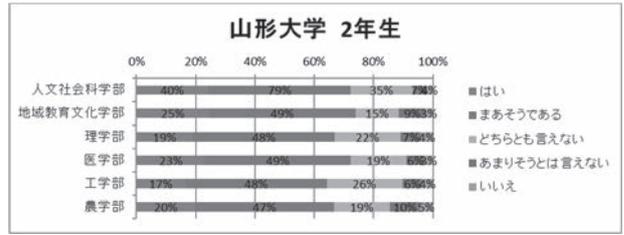


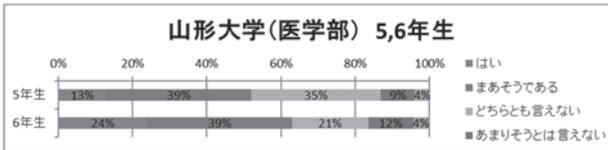
図 7 0 問 6 山形大学学年別グラフ (3 年生)



図 7 1 問 6 山形大学学年別グラフ (4 年生)



図 7 2 問 6 山形大学学年別グラフ (5、6 年生※医学部)



## 学部別の満足度

図 7 3 問 6 山形大学学部別グラフ (人文社会科学部)

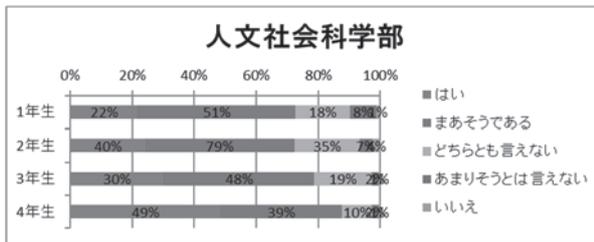


図 7 4 問 6 山形大学学部別グラフ (地域教育文化学部)

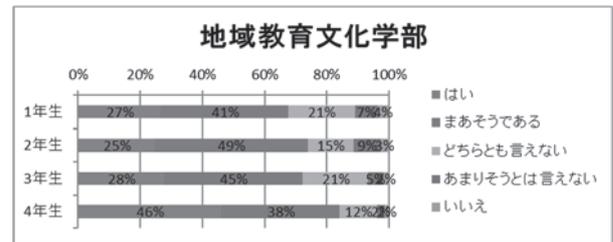


図 7 5 問 6 山形大学学部別グラフ (理学部)

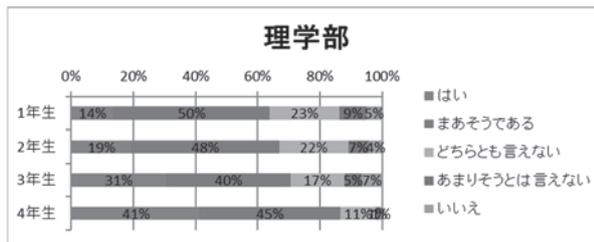


図 7 6 問 6 山形大学学部別グラフ (医学部)

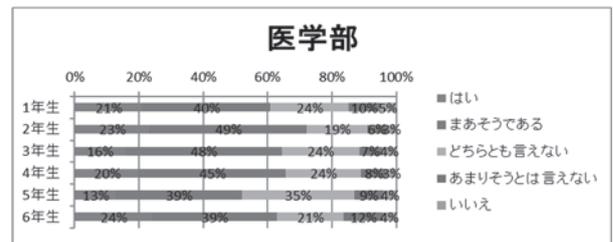


図 7 7 問 6 山形大学学部別グラフ (工学部)

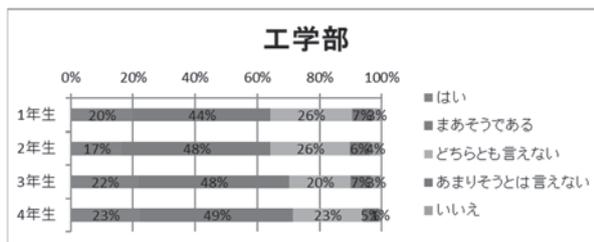
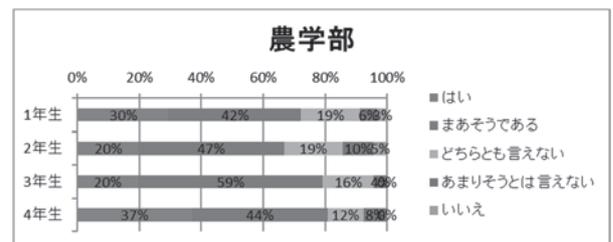


図 7 8 問 6 山形大学学部別グラフ (農学部)



## 第7章

### 大学間連携 SD 研修会

## はじめに

平成29年9月1日(金)、FDネットワーク“つばさ”では、平成29年度大学間連携SD研修会を開催した。

今回は、「学生獲得のための大学職員の企画力と行動力」をテーマに行い、FDネットワーク“つばさ”加盟校をはじめ、全国の国公私立大学・短大の24機関から職員29名の参加があった。

この研修会は、主にグループワークからなる3部で構成される。所属機関の特性・職種・階層・年齢といった、異なる背景を持つ事務職員が5グループに分かれ、大学と地域が連携した活動についてグループワークを行い、まとめとして発表会を実施する形態である。

研修会は、FDネットワーク“つばさ”協議会議長である山形大学教育開発連携支援センターの小田隆治教授進行のもとオリエンテーションが行われ、今回の研修会の目的、形態等の説明が行なわれた。その後、各グループで自己紹介を行い、アイスブレイキングとして新聞タワーの作成で高さを競い合い、グループの親交を深めた。

プログラムⅠのミニレクチャーでは、小田教授から「大学の現状認識と学生獲得の方法」と題して、日本が抱える少子高齢化、人口減少の問題、大学が生き残るための学生獲得方法などについての講義があった。その後のグループワークでは「自分が知っている学生獲得の方法」が話題として挙げられ、各グループそれぞれ自分の大学の活動などを挙げた上で、現在の状況を把握し、午後からのプログラムの参考とした。

プログラムⅡ「バーチャル大学の学生獲得作戦」では、仮想大学における学生獲得に関する企画をグループ毎に考えた。企画の内容は、実施大学の規模、対象地域、内容や特長、予算、スケジュールなど、細部にわたり議論・考察し、グループ全員で作業を行った。

プログラムⅡで活発に意見を出し合い、話し合った成果を、プログラムⅢ「発表会」で報告し、各グループの成果の共有を図った。

## (1)スケジュール

日時:平成29年9月1日(金) 9:30～

場所:山形大学基盤教育1号館2階(山形県山形市)

日程:

9:30 開会・オリエンテーション

9:50 アイスブレイキング・グループワーク(自己紹介)

10:30 プログラムⅠ

・ミニレクチャー

「大学の現状認識と学生獲得の方法」

・グループワーク

「自分が知っている学生獲得方法を発表する」

13:00 プログラムⅡ

・グループワーク

「バーチャル大学の学生獲得作戦」

16:20 プログラムⅢ「発表会」

17:30 修了式

## (2)研修会記録

ミニレクチャー



自己紹介



アイスブレイキング



グループワーク



全体発表会



修了式



集合写真(研修会終了後の情報交換会)



## (3)参加校一覧(都道府県順)

1. 弘前大学
2. 弘前医療福祉大学
3. 弘前医療福祉大学短期大学部
4. 仙台青葉学院短期大学
5. 秋田大学
6. 秋田県立大学

7. 山形県立保健医療大学
8. 東北芸術工科大学
9. 東北文教大学
10. 羽陽学園短期大学
11. 福島工業高等専門学校
12. 桜の聖母短期大学
13. 筑波技術大学
14. 西部文理大学
15. 国際武道大学
16. ヤマザキ学園大学
17. 昭和音楽大学
18. 東京音楽大学
19. 田園調布学園大学
20. 山梨学院大学
21. 名古屋芸術大学
22. 大阪保健医療大学
23. 摂南大学
24. 南九州大学・南九州短期大学

(4)各グループの全体発表会用資料および参加後の感想

## A班

羽陽学園短期大学	舘橋 理恵
山梨学院大学	花木 大樹
秋田県立大学	精沼 創太
弘前医療福祉大学	木村 晶
桜の聖母短期大学	佐久間 聡
秋田大学	佐藤 大樹




【発表資料】

**楽天大学**

- ・所在地：宮城県仙台市（仙台空港近く）
- ・4年制大学
- ・編入学部（定員100名）
- ・経営学部（定員100名）

※2018年度4月開校のオープン学部（100名）も新設予定  
※国際交流・留学支援……  
2022年4月に定員100名増設予定！

**楽天大学のライバル**

- ・東北福祉大

**楽天大学の特長**

- ・学生募集はスカウトが主体
- ・スチーフ出身私立大学者

楽天大学は  
※楽天大学独自の考えとごんごん感じます！！



【感想】山梨学院大学・花木大樹

今回、この研修会に初めて参加させていただきました。1年目、同期もいない私に人事課の方が提案して下さい、参加したという経緯です。まだ大学職員として右も左も分かりませんが、積極的に交流することを目標に臨み、結果として達成できたと感じています。

まず、小田先生の講演では、①「自分の大学の強み」が当たり前になっていないか②入学者から「ライバル校の情報」を引き出せているか③オープンキャンパスの影響力は「学校関係者の態度」ではないか、などの質問が出されました。これらの問いは私たち自身考えさせられるものであり、自分の大学に持ち帰り自省しなければならないと感じました。同時に、今度は私自身が上記の問いを発信者として広めていきたいと思いました。

次に、グループ内での学生募集方法の発表会では、東北地域の大学が多く、その地域に共通した学生募集方法が行われており非常に驚きました。しかし、これはこの研修会の最大の特徴であると感じました。なぜなら異なった地域、異なったバックグラウンドの方と交流するため、異なった発想が生じ、自身の知見を広げることができるからです。このように様々な大学の方と交流することによって自分の大学の発展に繋げることができ、大学間にも繋がりが作れたため充実した濃い研修となりました。

さらに架空大学の学生獲得についてのグループワークでは、架空大学の設定を具体的に行うことや、学生獲得事業の設定が困難でした。私たちのグループでは楽天大学をテーマに話を進めていきましたが、話が広がりすぎたため收拾がつかず発表までうまく持っていけませんでした。【発表】というゴールを目標に計画を立てて進行していくことの重要性を改めて感じ、この経験を活かして自分の大学でも企画し、新たなことにチャレンジしたいです。

最後に、この研修会を開いて下さった小田先生、山形大学の職員の皆様にAグループ代表として感謝申し上げます。ありがとうございました。

## B班

昭和音楽大学	鈴木 智之
仙台青葉学院短期大学	石井 学
ヤマザキ学園大学	丸山 正志
筑波技術大学	北條 梨沙
弘前医療福祉大学 短期大学部	佐藤 吉彦
山形県立保健医療大学	小川 勇喜




【発表資料】

2度でおいしい  
オープンキャンパス

発表 2022

プロジェクト名  
・2度でおいしい  
オープンキャンパスプロジェクト

<b>大学の規模・学部特性等</b> ・大学名：仙台モフモフ動物看護大学 ・規模：私立単科大学（動物看護学部4年制/1学年80名） ・特性・地域性：全国唯一の動物看護学部（東北地方）	<b>目標</b> ・学部定員（定員80名）の充足 →経験制から、オープンキャンパスに2回参加する学生の出席率及び入学率が高い。 →この層の学生を増やすことが定員充足のキーになると考える。
<b>内容</b> ・オープンキャンパスでの仕掛けで志願者を囲い込む	<b>内容</b> ・＜オープンキャンパスの2回開催＞ ・1日目オープンキャンパス（大学生生活の体験/後に参加者限定のオープンキャンパスを実施） ・参加者限定の2日目については、1日目と違う（志願に向けた）メニューとし、集客を主とする。 ・＜オープンキャンパスでの参加者同士の人間関係づくり＞ ・2日目は情報交換会のような形で、事前に人間関係をつくれる機会を設ける。 ・2日目の交流なども奨励する。 ・＜保護者への安心づくり＞ ・オープンキャンパスには保護者の就職先などから出席してもらい、保護者の安心感を醸成する。
<b>特長</b> ・希少な学部だからこそ、志願者の人間関係をつくらせる →ともに本学への進学を目標とする「仲間」とさせ、囲い込む。	<b>そのほか</b> ・精神力でカバーする

### 【感想】 ヤマザキ学園大学・丸山正志

他分野大学・短大と意見交換ができたことは有意義だった。同分野校の状況を考えることはあるが、違う分野の大学・短大職員の生の声はなかなか聞く機会がない。自校の特色でもある「動物分野」というのはいわゆる特殊分野と言われるが、同じ班はやはりどの大学・短大も個性的な学部学科といえ、詰まる所どころ「特殊な分野であることを活かしてきていない」ということが募集の悩みの根底にある、ということに通じているのは大変興味深かった。「特殊分野」は強いときはとことん強いが、興味のない人にとっては見向きもされないという諸刃の剣であるがゆえに、募集がマイナスになってくると考えが袋小路に入ってしまう。研修のはじめにあった「自分たちで常識となっているものは見落としやすい」というのは、私自身、もしかしたらその言葉すら「常識化」してしまっており、それをわかっている前提で物事を進めようとしてしまっていたかもしれないということは、今回の気付きの一つであった。

班ごとに課題を作り、検討し、まとめていくというグループワークは、個人的には新卒で就職した職場以来おそらく二十数年ぶりになると思え新鮮であった。同班の大学・短大の現状の募集の課題について出し合うことから始め、かなり現実的な特殊分野大学を想定し、主たる課題を全員の現実の共通課題である「定員充足」とした。最も苦労したのは発表の形式で、これはさすがに全員が戸惑った。終了後の評価は今一つだったが、限られた時間の中で考えたことはやれたと思っているので、一つの経験を積んだと考えることにした。

参加するまでは、長い一日になると思っていたが、終わってみれば時間が足りなく感じ、もう少し深くやってみたく思ったが、続きは現実の自分の職場で活かすこととして、今後も継続して参加し、自分自身成長していきたいと考える。また、こういった形式の研修に参加したことがなく、現職以外の世界を知らない職員にはぜひ参加させたいと思う。

# C班

南九州大学 ・南九州短期大学	戸高 貴詞
摂南大学	井上 尚星
福島工業高等専門学校	藤原 清
大阪保健医療大学	白神 康裕
昭和音楽大学	石鍋 和香子
名古屋芸術大学	中山 周

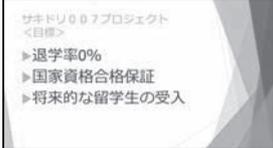


### 【発表資料】



大阪白神大学  
〔規模・学部・特性・地域性〕

- ・大阪府にある医療系の私立単科大学
- ・保健医療学部/保健福祉科学科
- ・収容定員50人（入学生員140人）
- ・新卒入学生あり
- ・理学療法専攻 70人
- ・作業療法専攻 30人
- ・福祉保健医療科 40人





### 【感想】 昭和音楽大学・石鍋和香子

第4回の開催時に初めて参加をしてから、3回目の参加となる大学間連携SD研修会。今回も小田先生のエネルギーを体感して、仕事に対する意欲が高まり、凝り固まった意識をほぐし視野を広げ、『競合しない他大学』の方と交流することが出来た魅力の詰まった1日でした。

グループワークの課題は「バーチャル大学の学生確獲得作戦」を考え、寸劇により発表するというものでした。この課題にC班ではキャッチーなプロジェクト名を付け、記者会見を模して発表をし参加者の皆様から好評をいただきましたが、発表に至るまでは大学入試改革に沿った高大接続プログラムについて時間を割いてディスカッションしました。

募集という観点も必要ですが、何よりミスマッチから休退学者を出す、あるいは学士を量産して世に送り出す「学士の形骸化」を阻止することが本質だと考え、単なる入口だけを見据えるのではなく出口、さらには当該者の将来を見据えて入学者選抜することが望ましいという結論に至りました。

真剣な意見交換を重ねるあまり、発表(寸劇)について検討する時間はごく限られてしまいましたが、今回の研修のテーマである「企画力と行動力」を集結させ、短時間で形にすることが出来ました。

また、他の班の発表にはそれぞれ工夫の凝らされた発表形式で多くのアイデアが盛り込まれており、見ているだけでもたくさんの刺激を受けることが出来ました。

研修会後の懇親会のおかげもあり、日常業務に戻ってからも『競合しない他大学』の皆様と連絡を取り合い、頼りになる仲間が全国にいる気持ちで情報交換を重ねています。

最後になりますが、7分間の記者会見(発表)を企画したC

班の皆様、研修と一緒に取り組んだ参加者の皆様、毎年このような素晴らしいSD研修会を企画・運営して下さる小田先生、山形大学のスタッフの皆様へ心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。

# D班

南九州大学 ・南九州短期大学	黒田 年洋
東北芸術工科大学	山縣 賢太
東京音楽大学	江口 巧
国際武道大学	稲垣 亮
秋田県立大学	石田 仁
東北文科大学	江口 あき



### 【発表資料】

<b>大学紹介・現状</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関東郊外にある自然環境豊かな小規模 体育大学</li> <li>・定員充足率の割、野球が唯一の目玉</li> <li>・現在、女子学生を増やすため戦略会議中……！</li> </ul>	<b>第5回 大学戦略会議(定員割れ改善)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ+女子 の観点で 強化分野を検討中</li> <li>・女子ラグビー強化 試合を避ける(ラグビー以外をターゲット)</li> <li>・従来の枠セブン！を育成する！</li> </ul>
<b>オープンキャンパス</b> 野合大学も少なく、優勝まであと1歩 オリンピック選手になれるかも……！！	<b>オープンキャンパス</b> 安心・安全の環境(寮・食生活)！ ご両親も安心！
<b>オープンキャンパス</b> 卒業後の進路は…… <b>教員免許取得可能！</b> <b>公務員試験対策もばっちり！！</b>	<b>五郎丸子 パーチャル大学に入り……</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・五郎丸子は 競れて入学</li> <li>・楽しい練習に耐え</li> <li>・在学中に東京オリンピック ラグビー日本代表に選出！</li> </ul>
<b>2020年！東京オリンピック</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・五郎丸子のオリンピック活躍により、大学の知名度アップ！</li> <li>・志願者数もろなぎのぼり！！</li> <li>・定員割れを解消！</li> </ul>	<b>終了！</b>

### 【感想】 国際武道大学・稲垣亮

今回は「学生獲得のための大学職員の企画力と行動力」というテーマで研修を行いました。

前半は「大学の現状認識と学生獲得の方法」に関し、山形大学の小田教授に講義をしていただきました。学生獲得のためには、明確に自学の現状を把握することが第一であります。またライバル校の存在を認識し、互いの優位性を理解することも必要となります。高校生が進学大学を選定する際の大きな柱の一つとして、オープンキャンパスがありますが、そこでは高校生が実際に大学の教職員や在学生、また全体の雰囲気等を見て、聞いて、肌で感じる」ことができ、進学時のキャンパスライフのイメージをより明確に持てる、という点においても

オープンキャンパスは非常に大きな役割を担っていると考えます。ここで重要になってくるのは、いかに自学の魅力をしっかりと高校生に伝えられるかということであり、そこでの対応の一つ一つが「この大学へ入学したい」という強い意志に結びつき、学生獲得へと繋がっていくのではないかと感じました。

後半は「バーチャル大学の学生獲得作戦」というテーマで研修を行いました。具体的に大学の規模、学部、特性や地域性等を細かく設定し、学生獲得までのプロセスをストーリーにして、そこで必要となってくることは何か、そこにはどのような困難があり、結果としてはどのような成果、波及効果が期待されるのかということに関し、互いに持っている知識を出し合い、共有しながらグループワークを行い、検討を重ねました。このワーキング、そして各グループの発表を通して、学生獲得に対するアプローチを様々な角度・側面から見ることができ、とても視野が広がったと感じています。

他大学の方々と積極的に交流ができたことは、とてもよい刺激になりました。「脳が汗をかいた」と表現できるほどに頭をフル活用して行った今回の研修会、非常に有意義なものとなりました。貴重な体験をありがとうございました。

# E班

弘前大学	中野 紀明
筑波技術大学	佐々木 優大
田園調布学園大学	古賀 康一郎
山形県立保健医療大学	佐藤 直子
西武文科大学	石田 直紀



### 【発表資料】

<b>E班</b> 県民7割プロジェクト	<b>大学の概要</b> ▶埼玉県狭山市に拠点を置く「狭山大学」。都心までは電車で1時間 ▶定員300人 ▶知名度、偏差値が低い
<b>ある日、高校訪問をしたが…</b> 高校教師にチェックチェックされる。トリアゴって…	<b>緊急ミーティング</b> ▶プライダル社を立ち上げ、実習や研究に使う。 ▶しかし、予算はどこから捻出するか。
<b>バスだ！！！！</b> 交通の便が悪いので、年間1億円をスクールバス代に割いているが、本数を減らして5000万円をプライダル社立ち上げに充てる。	<b>いざ！高校ヘリベンジ</b> しめしめ、高校教師が負いている

### 【感想】 西部文科大学・石田直紀

今回のSD研修に参加し、まず「SDは生涯学習である」とい

う言葉がすっと腑に落ちる感覚を覚えた。日本の最高学府で勤務する者には、教育に対する認識を常にリニューアルし、国全体の教育を担っている意識を醸成する必要があると考えていたが、当にその為にも「学び続ける重要性」を理解する必要があると感じた為だと思う。

その中であって募集戦略は、「大学教育の継続」を維持するためには、成功が義務づけられた物で、生き残ることが教育の継続に繋がる。研修の始めに、自己紹介、大学の特徴、地元の自慢(時間で割愛されたが)をグループの中でプレゼンした。ここで感じたのは、自分たちの持つ資源を深掘りし、本当の魅力や財産を見つけること。そして、初対面でも、どのような時間、空間設定であっても、相手に的確に伝える能力を磨くことの重要性。1分であろうと60分であろうと、設定された時間と空間の中で、自らの魅力が伝えられるなら、相手の心の中に何かを残すことができる。それができる人材こそが、募集のエース足りうる存在になるのだと感じた。

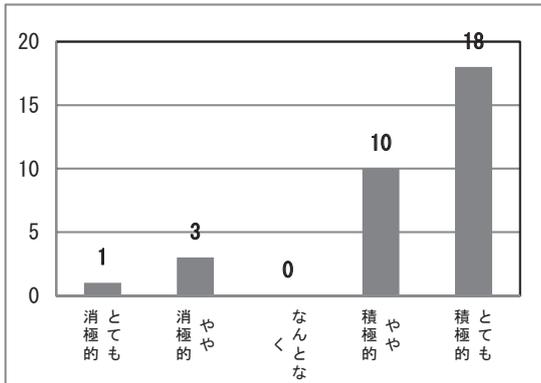
また、新聞紙のタワーを建てる。各グループの募集を題材とした劇を含むプレゼンテーション。我々のグループは、常に中間位。なぜ、どちらも「悪くはないが、良くはない。」結果だったのか？足りなかったのは、力技だったように感じる。綺麗にまとめようとする理屈先行の方法は、大崩がない代わりに、短期的な爆発力がない。新聞タワーなどは、多少強引でもぐちゃりとなぎ合わせ、計測時間の中で維持できればそれは成功。理屈でない「よしやろう！」というエネルギーは、時に理屈を上回る。劇を含めたプレゼンは、出来る募集を考えるよりも、「こんなのが出来たらいいね！」のパワーと、表現力。熱量で相手に食い込んでいくことの大切さを感じる事が出来た。

おそらく、参加した人それぞれに、大切とするポイントは異なるだろう。熱量を維持出来る人には、冷静な判断力の大切さを感じられ、私の様にパワーの重要性を感じる人も居たと思う。自分の持つ武器を感じながら、その磨き方と新しい能力の獲得のヒントになった研修であった。

追伸:最後の得票、1票足りずに景品を逃しましたが、、我が班は一人少なかったのが悔やまれます。ええ、負け惜しみです。次は勝ちたいです！

## (5) 大学間連携SD研修会に関するアンケート調査

### 設問1 この研修会には積極的に参加しましたか。



### 設問2 どのようにしてこの研修会を知りましたか。

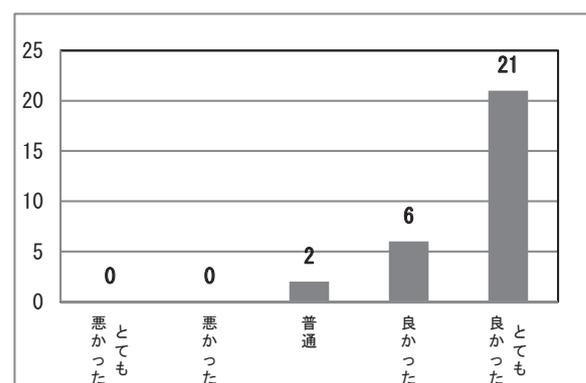
- ・所属機関に届いた案内を学内担当部署が紹介して。(同意見25名)
- ・上司が以前、このSD研修会に参加しとても充実していたことを伺っていました。ちょうどこの度その上司の元に今回の案内が届きご紹介いただきました。
- ・過去に参加経験があり、日程を問い合わせた。

### 設問3 なぜこの研修会に参加しましたか。簡単に経緯等をご記入ください。

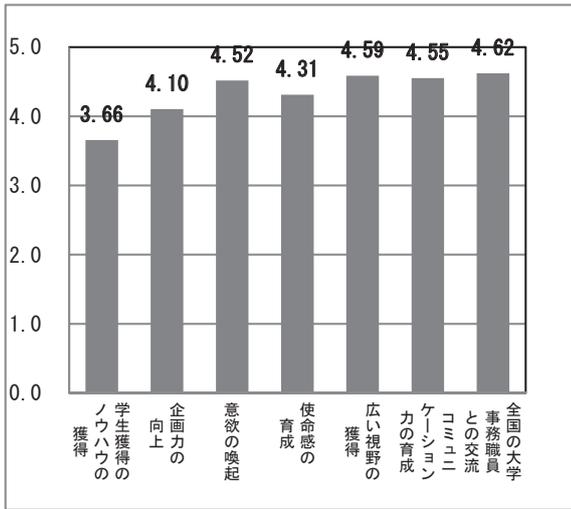
- ・2014年の第6回の「大学改革に挑む職員」に参加したことがあり、そのときの経験が活かされたこともあり、今回の学生募集というテーマにまた参考になればと思い参加しました。
- ・学部総務担当であるが、広報担当がおらず、学部広報～入学者増にも責任を持たなければ、と思ったため。
- ・まずはテーマが自信の所属している部署と直結していたため。また、他大学の職員の方々と交流しながら、意見交換をする機会がなかなかなかったため。
- ・上司からの指示。(同意見3名)
- ・学内から「入試広報課に入って日も浅いので」と紹介された。
- ・毎年新任の人が参加しており、今年新任の私が参加させていただきました。
- ・上司から紹介され、今後の業務に活かせるものがあると考えたから。
- ・若手職員を参加させたいとの事務局の意向があり、自分も興味があったため。
- ・テーマが「学生募集」と現在の職務と同一で、興味深かったため。
- ・本学もSDに力を入れるため、見学と体験をしに、また、私自身も成長したかったため。
- ・FD/SD担当の方から声がかかったため。
- ・今年7月に異動があり、FD/SDの事務担当になって可能な限りいろいろな研修に参加しようとしている。
- ・学内で推挙されて。
- ・自身の能力向上。

- ・学生募集に携わっており、勉強させてもらうため。
- ・これまで携わったことのない分野だからこそ学ぶことが多いと思ったため。
- ・学部長自身が参加を望むほどでしたが、こういったSDは、より多くのスタッフにと事務に紹介された。
- ・この4月に入試課へ異動しましたが、学生確保の現状は厳しく、少しでもヒントがもらえればと思い参加しました。(案内文の内容を見て)
- ・山大のSD研修会の本を読んで、以前から興味がありました。所属大学から参加の打診があり「チャンス！」と思い参加しました。
- ・短大事務局→法人本部→企画広報センターでメールが回ってきました。開催が東北であった点も参加できた理由です。無料な点も良かったです。
- ・職場において、FD担当であることから、SDにも興味があったため。
- ・自学という狭い環境から外に出て、他大学の方の知識や情報を得たかったため。
- ・いただいたメールを本学SD委員より紹介いただき参加。
- ・上司からの指名と内容が現職にマッチしていたので。
- ・単科大学、特殊分野として他大学がどのように募集に取り組み、考えているのかを知り、今後のヒントにつなげたいと思った。
- ・小田先生は以前本大学でもご講演いただいたとお聞きしており、是非講義に参加したいと考えていたため。
- ・職務に疲弊していく中で、前向きなエネルギーと関わりたいと思ったから。小田先生からエネルギーをもらいたかったから。

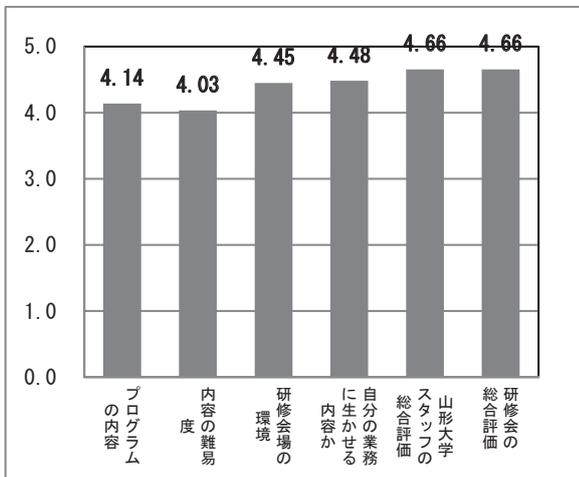
### 設問4 参加して良かったと思いますか。



### 設問5 個人的な収穫度を各項目別に5段階で評価してください。



**設問6 この研修会を各項目別に5段階で評価してください。**



**設問7 この研修会において良かったと思う点。**

- ・他大学の職員とのコミュニケーションにより、業務に対する意欲の向上が図れたことと、学生募集の参考になった。
- ・他大学の方との交流、置かれている状況を聞く事ができたこと。
- ・前半は小田先生の仕切りによって、グループ内で交流を図るきっかけをいただけて情報交換が取りやすく助かりました。また、他大学の方々のご意見や現状のお話を伺うことで、本学の広報業務（オープンキャンパスの内容など）の良い点、改善点が明確になっていくことがわかりました。
- ・自由に意見をまじあわせ、一つの課題に取り組むことの重要性。さらに、それを自由な意見で一つの形にする部分が良かった。
- ・他学の方々との交流。自学の置かれている状況の再確認。
- ・他の大学の学生募集を知ることができた。本学でまだ導入していないことをたくさん教えていただいたので、月曜日に学内で相談して、できる限り取り入れたいです。
- ・仮想の大学について自由に考えを出して自由に発表できる一

方で、現実の問題について考えることができた点。（ガイドルの大学の発表は特にリアルな問題だと感じました）

- ・全国の様々な大学の職員が参加しており、多様な視点から、大学運営のことを考えられる機会となった。
- ・企画とグループ別で行う活動が多い点。グループ内での情報共有が深まりました。
- ・様々な条件の大学の職員と関わること。（条件が違うからこそ参考になることも多かったです）
- ・お互いの大学の情報を出し合うことで、腹を割った話ができただこと。
- ・企画において様々な異なる性質の方と交流できたこと。
- ・様々な大学事務の方と活発に意見を出し合っただ交流できたので良かったと思います。他の班の発表も多様な視点からの意見もあり、とても参考になるものでした。
- ・狙いがはっきりしていて積極的に参加しやすい。
- ・様々な大学と交流できた点。発表形式なもの面白かったです。
- ・複数人で企画を練り上げていく過程の楽しさ。
- ・最後に小田先生が言われた「楽しくなくてははいけない。しかも面の業務にはどこか無理が発生している」という点。
- ・大学の今後が知れたこと。他大学の人と交流できたこと。
- ・個性的な大学・メンバーとグループワークでき様々なものを吸収できた。
- ・学生獲得に向けた取組を実際に行っていかなければならないと思うようになった。→危機感を持た点で参加して良かったと思った。
- ・他の大学の様子がわかりました。（グループ内の）特に同様の問題をもっている大学さんや、全く異なる状況を伺うことで自らの問題を考えることができました。
- ・新しい一歩を踏み出す気持ちを強く持つことができた。
- ・「学生獲得」というテーマは身近な問題であるためイメージしやすかった。
- ・他大学の方と情報交換ができ、新しい発見が多く勉強になりました。
- ・グループワークが多め。
- ・他学の広報分野の先生と交流できた点
- ・講義だけでなく、自分たちで考えることが多く面白かったと思う。
- ・限られた時間で、テーマにそって討論をし、スライドや演劇にて発表をするスタイルが斬新で良かった。
- ・初対面の方といきなりディスカッションする点。大変緊張するが、問題解決に向け前向きに取り組むことができた。
- ・また普段できないコミュニケーションの場面で体験できた。
- ・意欲あるスタッフと参加者で構成されているところ。
- ・他大学で同じように悩みを持っている方々の話が聞けたこと。
- ・自らの職務にプライドを持って取り組む多くの職員の方と接点を持た点
- ・メンバーに恵まれ、様々な大学の事例を知ることができた。

## 設問8 この研修会で良くないと思う点（改善すべき点）。

- ・時間に余裕がなかった。
- ・自己紹介は全員の前でやるべきではと思いました。せっかくですので皆さんのお話を聞きたかったです。
- ・もっと時間をかけて、グループ内やグループ外の方々とお話ををする時間（情報交換の機会）があると宜しいかと思いました。（例えば午前中と午後で別のグループにする等）
- ・この研修会の良かった点とも重なるが、グループワーク及び発表・その内容の自由度が高すぎた部分。できるだけ締め付けず、自由な発想を引き出し組み合わせるプロセスが大事な部分であるとはわかるが、自由すぎる故に本来とは違うベクトルにチームが向かってしまった気がする。
- ・時間のない中で、実用的な企画を考えることが難しかった。予習をする必要があると思った。
- ・他のグループとの情報共有が少ない。
- ・演劇要素が強くて、学生募集の議論が少なくなってしまったような気がします。
- ・班以外の交流がなかった点。班同士の計画をよく見れず、そこで交流できればと後から反省しています。
- ・発表に関し、当初は7分は長いと感じていましたが、各班の作り込まれた内容をもう少し聞きたいと感じたのでもう少し長くても良いと感じました。
- ・発表時のアイテム（模造紙やペン）がもっとほしかった。
- ・また、もう少し他の班とも交流できる形式であれば尚良かったと感じました。
- ・時間がなくまとめきれなかった。遅れている班の背中を押してほしかった。
- ・グループ以外の大学の方とのコミュニケーションがとれなかった。明日の地元の業務のため2部に参加できないことが残念でした。
- ・大変素晴らしい会だと思います。1日で終了するのは残念だったと感じます。
- ・プロジェクトが利用できると良かったです。
- ・時間が短く充実したコミュニケーションが取りたかった。（問題設定が広すぎた）
- ・学生募集における具体例をもう少しお聞きしたかったです。

## 設問9 次回SD研修会を開催するとしたら、いつ・どのような内容で企画したらよろしいでしょうか。

- ・職員力の向上について自学でSD研修を行うためのノウハウを学びたい。
- ・時期は8月後半～9月の今の時期。大学職員のモチベーション向上をテーマにさせていただくのも宜しいかと思いました。
- ・時期は今頃がいろいろいいでした。
- ・他学の成功事例・失敗事例の発表会。開催時期は長期休暇中。
- ・学生への対応。高校生や保護者に対して有効なアプローチ。

大学の知名度やブランド力の広め方。SNSの活用方法。

- ・今回のように夏休みなど学生がお休みの時期が良いです。
- ・次回は、より具体的な問題を提示していただけると幸いです。
- ・広報戦略やブランディング、学生獲得に関しての内容を期待します。
- ・今時期がちょうど良いかと思います。
- ・テーマも学生募集ということで、入試担当の私としては大変良かったです。
- ・同時期で良いと思います。
- ・大学間の情報を交流し、「あなたとあなたの大学足して割ったらどんな大学？」など
- ・本学は秋（9月）は人事異動のシーズンで引継等で来れない職員も多いので、10、11月あたりが良いです。内容は事務に関するものが良いです。
- ・8月末か9月頭がベスト
- ・職員の情報共有、協働について
- ・抽象的なものより、今回のような具体的な内容が良いと思います。
- ・同じ時期で良いと思います。
- ・時期は今回くらいが良いです。
- ・学生獲得の事例が知りたい。（成功、失敗）
- ・長期休みの間ならば参加しやすいですが、小さな大学はオープンキャンパス等の日程で、いつなら確実ということがなく、お知らせいただいたときが大丈夫かどうかになります。
- ・时期的には大学の夏休みのこの時期がありがたいです。
- ・内容は今回のように発表形式を希望します。
- ・今回と同じくらいの時期で良いと思います。（2、3日早めだとありがたいですが）
- ・経営改善計画の作成
- ・12月くらい
- ・時期・日程はこれで良いと思う。学生支援の内容で開催していただけると助かります。
- ・時期は、この夏の時期で良いと思います。
- ・広報活動のやり方（高校との連携強化方法など）もご教示いただきたい。
- ・他大学の方と悩みの共有、解決策を話し合える機会は大変良いと思う。
- ・今日は広報担当以外の方の参加も多かったように思う、他部署の方の参加も大変良いと思う。
- ・内容も開催時期もバラエティ豊富に展開されていると思いますので、宜しいかと思います。一点あげるとすれば、「高大接続プログラム」についてです。
- ・ほぼ同時期（8月後半～9月中旬）
- ・学生募集、退学防止等について希望。
- ・8月下旬～9月上旬の授業開始前の時期を希望します。
- ・SD・FDの義務感を拭えることを考える内容。

## 設問10 ご自由に感想を書いてください。

- ・大変有意義な研修でした。ありがとうございました。
- ・とても貴重な時間を過ごせました。また参加できたらと思います。(石鍋さんに負けないように)
- ・ありがとうございました。機会があれば、また参加したいです。
- ・県内人口減少と学生募集について注目しているところだったので、全国の人口減少や背景を知ることができて良かったです。手探りの状況でしたので、すごく勉強になりました。またこのような機会に参加したいです。
- ・来年も来たいです。よろしくをお願いします。
- ・参加する前は不安と緊張でいっぱいだったのですが、様々な職員の方との交流を通して、自学の強み弱み、また他学の強み弱みを知り、互いに悩みを共有することができよかったです。ありがとうございました。
- ・次回は若い職員複数で参加させたいと思います。
- ・本日は大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ご準備と運営をありがとうございました。非常に有意義な研修となりました。得たたくさんものを今後の業務に活かしたいと思います。
- ・他大学の方と意見交換できて勉強になりました。参加して良かったです。
- ・これまで私大職員と交流する機会がなかったため、貴重な経験となりました。私大は学部が少ないか、特化した分野で目的を明確に考えながら運営しているという印象でした。そのような視点を今後の仕事に活かしていきたいです。本日はありがとうございました。
- ・大変難しい内容の割には、楽しく取り組みました。本日学んだことを職場にフィードバックしたいと思います。ありがとうございました。
- ・狭い範囲で考えていた自分に気づきました。多くの大学の方の意見や実際の話を伺い、まだまだやれることがあることにあらためて気づき、それを実行していくことが大切だと感じることができました。
- ・このような研修会を無料で行われていることに本当に驚きました。機会があれば是非次回も参加させていただきたいと思っております。案内状、会場準備、運営等本当にありがたい限りです。
- ・狭い範囲でものごとを考えがちになっていたため、今回参加して、視野を(少しかも知れませんが)広がった気がします。また参加したいです。
- ・普段の業務ではあまりない、発表をすることで自身の成長につながったと思う。
- ・新聞タワーで負けたのが悔しかったので、寸劇でとれて良かったと思います。
- ・最初は不安な気持ちで参加しましたが、同じグループになった方に支えられ、また、大学事情を聞くことができ、本当に勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ありがとうございました。
- ・本日は、ありがとうございました。最初のプログラムから終了まで、SD研修会ならではの緊張感がありました。しかし、前向きな意見に触れることができ、ありがたく感じております。
- ・時間があつという間でした。ありがとうございました。若手や担当部署以外の職員にも参加させてみたいと思いました。
- ・小田先生、ファンになりました。元気が出ました。腐らずに頑張ろうと思います。
- ・3回目の参加でしたが、毎回元気づけられます。このエネルギーを元に、後期も積極的に業務に取り組みたいと思います。ありがとうございました。

# 第 8 章

## 学生 FD 会議

## 学生 FD 会議

平成 29 年 9 月 13 日(水)に FD ネットワーク“つばさ”学生 FD 会議が、北翔大学(北海道江別市)を会場に開催された。

今回は、「今と未来～なりたい自分になるために～」をメインテーマとし、未来のなりたい自分になるために現在の自分はどのようなことを考え、どのような行動を取れば良いのかということを考える議論が行われた。

参加者の募集に当たっては“つばさ”加盟校や北海道を中心とした高等教育機関、また関わりのあった江別市役所の職員の方にも参加していただき、学生、教職員など約 50 名が参加して行われた。



まず、全体会場で行われたオープニングは、北翔アンビエント 2 名の息の合った司会で始まり、北翔アンビエント副代表の大町将太、北翔大学の西村弘行学長から挨拶をいただいた。その後、参加者の緊張を解きほぐすことを目的とした「指キャッチ」というアイスブレイクを行った。

各班は、ディスカッション会場に移動してワークシートを中心に各々が考える「なりたい自分」を出し合い、その中から自身の考える「なりたい自分」を選んでもらうというところで昼休みに入った。

昼休みを終えた参加者は班のメンバーとの交流も深まった様子で、長丁場となる午後のプログラムを迎えた。午前中に各々が考えた「なりたい自分」になるための方策を一人一人にスポットを当て、一人当たり 15 分から 20 分の時間を設けて話し合った。

ここまでグループ内での交流は深まったが、他のグループとの交流を図る機会がないため、Teatime という休憩時間を設けて他のグループとの交流を図るきっかけを作った。



Teatime で羽を伸ばした後はグループ発表に向けた準備を進めた。発表は全体会場で行われ、各班思い思いの「なりたい自分」になるための方策やまとめを行った。そのままエンディングに移り、北翔アンビエント代表の直江隆志の挨拶、続いて山形大学の小田隆治先生から講評をいただいた。その後はアンケート記入、記念撮影、閉会式を無事終了し幕を閉じた。

(1) スケジュール

日付：平成 29 年 9 月 13 日(水)

場所：北翔大学 7 号棟(北海道江別市)

テーマ：今と未来～なりたい自分になるために～

日程：

10：00～10：30 オープニング

10：30～11：30 グループディスカッション①

11：30～12：30 昼休み

12：30～14：30 グループディスカッション②

14：30～15：00 Tea Time

15：00～15：30 グループディスカッション③

15：30～16：30 グループ発表

16：30～17：00 エンディング

17：00～18：30 懇親会

(2) 当日の様子



(当日の受付)



(アイスブレイク)



(グループディスカッション)



(グループディスカッション)



(Teatime)



(グループ発表会)

(3) 参加団体一覧(都道府県順)

北翔大学  
北海道大学  
札幌学院大学  
札幌大学  
酪農学園大学  
北海道情報大学  
札幌大谷大学  
室蘭工業大学  
江別市役所  
青森中央学院大学  
会津大学  
山形大学

(4) オープニング



司会

山田帆乃香(写真左)・益山璃々菜(写真右)

- 山田&益山：皆さん、おはようございます！
- 山田：これより学生 FD 会議 2017in 北翔大学を開催いたします。
- 益山：本日司会を務めさせていただくのは北翔大学 1 年の益山璃々菜と
- 山田：同じく北翔大学 1 年の山田帆乃香です。
- 山田&益山：よろしくお願いします！



北翔アンビエント 副代表  
大町 奨太

○大町：本日はお忙しい中、この「学生 FD 会議 2017」に足を運んでいただき誠にありがとうございます。唐突な質問ですが、皆さんは「こんな自分になりたい」、「こんな将来を掴みたい」などの目標を持っていますでしょうか？また、それに向かい現在行動を取ることが出来ていますでしょうか？僕の場合は、自分の掲げる目標までまだまだ距離があるように感じています。ですが、僕のように将来に不安を抱えている人は少なくないのではないかと思います。ですので、今回皆様と、自分の掲げる未来に向かい、どのように行動していくべきなのかということ学びたく設定したのが今回のテーマである「今と未来」です。皆様と有意義な時間を過ごしていきたいと思うので、今回はよろしくお願いいたします。



北翔大学 学長  
西村弘行

○西村：本日は学生 FD 会議にご出席いただきまして、特に FD ネットワーク“つばさ”、FD 協議会の議長であられます、山形大学の教授の小田隆治先生をはじめ、江別市役所の大槻様、そして多数の方々が本学にお越しいただきまして誠にありがとうございます。

本日学生 FD 会議の開催校を代表して一言挨拶をさせていただきます。

今日、高等教育機関はより一層の教育の内部質保障に向けた組織的な取り組みが課せられまして、授業改善や教育改善を目的に各大学で FD・SD 活動が展開されています。

要するに学生に何を教えたかではなく、学生が何をできるようになったかということが新たな指針になって参りました。このような状況下の中で学生の主体的な学びを目標にした大学間連携組織として山形大学を中心に、2008年(平成20年)FD ネットワーク“つばさ”が設立されまして2012年(平成24年)に文部科学省の大学間連携共同教育推進事業の FD ネットワーク“つばさ”プロジェクト連携事業として採択されて参りました。

これまで各大学と地域との連携、すなわち「大地連携輪ワークショップ」がさまざまな形で

実施されてきて、学生の主体的な学びを通じて、課題解決に大いに貢献して参りました。古い中国の論語の中には「義を見てせざるは勇無きなり」という言葉がございます。これは何を意味するのかというと、「義」というのは課題でございまして、その課題を前にしているにもかかわらず何もしないのは勇気がない人であるということの意味をしています。まさにこの学生 FD の活動は様々な課題に取り組もうという意識が見られ「義を見てせざるは勇無きなり」という言葉と一致する部分があるというように感じています。そして、皆様の FD 活動によって地域を明るくし、教員の教育力を向上させ、さらに大学内での課題解決に向けて一石を投じる力となっているんだと思います。

本日まで参加の皆様のご健勝とご活躍を心からお祈りをするとともに、本日が実り多き会になりますよう心からご祈念申し上げまして、歓迎の挨拶と代えさせていただきます。どうもありがとうございました。

#### (5) グループディスカッション ワークシート

#### ワークシートの使い方

**目的**  
現在の自分の満足度(何に対してでも構いません)をコップの水量に似せて(セツト)で表してみよう。

**STEP 1**  
「どんな自分になりたいか」をポストイットに思いつく限り書き出してみよう。メモ欄は自由に使いましょう。

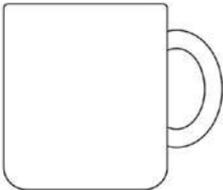
**STEP 2**  
STEP 1 で出した意見を参考に、その中から誰になりたい自分を3つ選び、説明します。その3つから最も満足したい自分を誰か発表してください。

**STEP 3**  
選んだ3つの「なりたい自分」になるためのアドバイスを他の人からもらい、その意見を自分なりにまとめみてください。そして他の人は「なりたい自分」になるためのアドバイスをしましょう。難しく考えず、簡単な自分の言葉で構いません。

**STEP 4**  
グループで話し合ったことをまとめ、全体発表の準備をしましょう。

**STEP 5**  
グループディスカッションや他のグループの発表を聞いて、気付いた点など記入しましょう。

#### 今の自分への満足度は？



**STEP 1.** どんな自分になりたいかを考えてみましょう。  
(ポストイットに記入をお願いします。)

メモ

**STEP 2.** 他にどんななりたい「自分」が見つかりましたか？  
みなさんの考えを参考に、**特に**なりたい自分を3つに絞り込んでみましょう。

**STEP 3.** 他の人や自分が考えたことを書いてみましょう。  
最もなりたい自分に近づけば？

**STEP 4.** 自分のグループで話し合ったことをまとめて整理してみましょう。



}

**STEP 5.** 自分について気が付いたこと、今や明日からでもなりたい自分になるためにできることを書いてみましょう。

## (6) グループ発表



### A 班

ステップ1で出た「なりたい自分」を項目分けし、その項目としては、趣味、生活、人付き合い、学習の4つがあった。参加していた学生のアルバイトでの経験から、言われてから行動をするのではなく、自分から気付いて行動することが大切だという話があった。

これらの話から、4つに分けた項目に共通して言えることは「思ったら行動に移す」ということであった。これは、悩んでも始まらないから「言わないで後悔をするより、言って後悔をした方がいい」という意見からのキーワードであったという。

思ったら行動に移すことを意識することによって、その思い切った行動をすることに慣れることができるのではないかという意見もあった。

また、自分ひとりで出来ることには限界があるということから、コミュにケーションを積極的に図ることの大切さ、仲間とだから成し遂げられることがあるという気づきがあったようだ。

最後には「このような話し合いをできたのも、仲間や他者のおかげ。今回あげられた意見や、新しくできた仲間と共に、なりたい自分になれるように努力していきたい」という力強い決意表明もあった。



### B 班

メンバー全員で「我ら B 専！」という掛け声から、ディスカッションの充実度合いが伝わってきた。B 班は最初に、それぞれのなりたい自分について発表していった。

「影響力のある人になる」、「タフになる」、「大学を変える」、「必要とされる人間になる」、

「好きなことをする」など様々であった。ところが、なりたい自分になるためのアドバイスをメンバーからもらっていくうちに「なりたい自分」というものが、もっとその先にある「なりたい自分」への過程にすぎないということに気づいている様子が見て取れた。例えば「影響力のある人になりたい」と思っていた学生は「本当に影響力のある人は、影響力を与えようと思って行動しているわけではなく、自分自身に対して芯を持っている人だ」ということにディスカッションを通して気づいていた。このような気づきを得ることができたというのは、グループディスカッションだからこそ得ることができたのだと感じた。また、発表の雰囲気もとても明るかったということから楽しくディスカッションをすることができたということが伝わってきた。



### C班

ステップ1でメンバーから出てきたなりたい自分を分類すると、「職業」、「成し遂げたいこと」、「気持ち」の3つに分けられた。「職業」については、社長や看護師、そして札幌市長など抽象性のある職業から具体性のある職業まで様々であった。「成し遂げたいこと」としては、北海道の人口増加、高齢者の生きがい作りなどの現在の社会で課題とされているような意見が多く出てきた。「気持ち」という項目でメンバーの意見で共通していたことはメンタルを強くするということであった。また、メンバーの考えるなりたい自分の中で共通していることとしては、決断力のある人、強い人、評価される人、常に上を目指す人(向上心のある人)があった。また、これらのようななりたい自分を挙げる自分の人生の目的として、周り自分が幸せになるためであるということにグループワークを通して気がついていた。



### D班

D班は発表において、メンバーの考えるなりたい自分というものはそれぞれバラバラであるが、その中には共通して重要な項目が2つ存在すると言っていた。それは「意識」と「行動」である。「意識」と「行動」が同時に存在することによって、なりたい自分に近づくが

できる。逆にどちらか一つだとなりたい自分に近づくことは難しい。「意識」が基盤となって、なりたい自分になるための「行動」を起こさせるが、この工程を、失敗や成功を通して繰り返していくことが重要であるとも話していた。発表の最後には「意識が行動を起こし、行動が意識を起こす、これらの積み重ねが結果的になりたい自分へ近づく」という明確な結論を挙げていた。



## E 班

班のメンバーの一人が、会議などで多数派の意見に流されてしまうことや、自分の気持ちを押し殺してしまうなどの経験から「根拠を持って自分の意見を述べることのできる人」というなりたい自分を挙げていた。これに対してのアドバイスとして、自分の意見に対して証拠を持たせるために見聞を広げておくことや、同じ意見の仲間を見つける、そして妥協しないという強い意志を持つ、さらには結論を先に述べて立場をはっきりさせるなどが出されていた。また、別のメンバーの一人が大学生活を有意義に過ごすために「趣味を持っている自分」というものを挙げていた。趣味を持つことで大学生活を有意義に過ごすことができるだけでなく、息抜きになる、集中力を高めることができるというメリットも話していた。これに対してのアドバイスとしては、趣味としてだけ持とうとするのではなく、人生を楽しくするために今何ができるかを考えることが重要であるということが出てきた。



## G 班

ある参加者が生活の中でも、一つ一つの行動が遅れてしまうという悩みから「優先順位をつけられる自分になりたい」というなりたい自分を挙げた。これに対しては「できないことを無理にするのではなく、できることからやっていく」というアドバイスももらったようだ。また、別の参加者は「周りに気を配れる自分になりたい」というなりたい自分を挙げていた。これに対しては「わからないから行動をしないという選択肢を取るのではなく、わからない

なりに行動をしてみる」というアドバイスももらっていた。これによって周りの人との円滑な人間関係を築くことができるという話もあった。他にも「人のために生きる自分」や「身も心も美しい自分」などがあった。

発表の最後には今回のディスカッションを通して感じたことでもある「幸せは自分が与えた分だけ自分に与えられる」という意味から「Give and Give」という言葉で占めた。



## H 班

私たちの人生を「今と未来」という言葉に当てはめて考えた時に、それは全 50 話構成の壮大なドラマであるのではないかという H 班。1 話～10 話は「悩みの時期」ということで、理想とするなりたい自分と今の自分がかげ離れているのではないかという不安に駆られる時期であるという。11 話～35 話は「努力の時期」ということで、悩みから抜け出してなりたい自分になるための具体的な手段を試行錯誤する時期であるという。これらの全 50 話構成でなされているものを一つの人生と見立てた時に、これは「仮面ライダー」に類似しているのではないかというユニークなアイデアが出た。

## (7) エンディング



北翔アンビエント 代表

直江 隆志

○直江：今回の学生 FD 会議のテーマは「今と未来」でした。そのテーマの中で D 班の発表の発表では「意識と行動」が重要であるという意見がありました。これは、北海道で言う大谷翔平選手の「二刀流」に該当すると思うのですが、どちらか一つでは効果的ではないと思います。「意識」だけではダメ。「行動」だけではダメ。「意識と行動」の二つがないと、今後の人としての成長は望まれないと思います。このようなことを自分自身に置き換えて

考えてみた時に、この学生 FD 会議 2017 という場は「意識」を高めるという役割があるような場であったのではないかと思います。では、「意識」を高めることができたのであれば、次に必要になってくるのは「行動」になります。皆さんは、それぞれの大学を代表して今この場にいると思うので、各大学に帰られた際には是非「行動」を起こしてみてください。大学というものは、学生・教員・職員らによって構成されていますが、それは一人一人が歯車になっているのではないかと私は思っています。その歯車が噛み合っていくことによって、大学という大きな組織が構成されている。だとしたら、今回のこの学生 FD 会議 2017 という場がどういう場所なのかというと、よりよい歯車になるための場所なのではないかと思えます。皆さんがよりよい歯車となって大学に帰られた際には、自分自身がより良い歯車なんだという「意識」を持って「行動」を起こしてみてください。具体的には、今の積み重ねが未来に繋がるということ意識して行動を起こすことによってもしかしたら周りに影響を与えられる人になるかもしれません。このようなことを皆さんが意識していただくことができれば、今回の学生 FD 会議を開催した意味になるのではないかと思います。今回は本当にありがとうございました。



FD ネットワーク“つばさ” 議長

小田 隆治

○小田先生：今日すごいなと思ったのは、北翔アンビエントの学生ならびに教職員の方々が、とてもよく全体を設計されているなと思いました。これだけ計画的に設計なされたのは大変な努力があったからだと思います。すごく気持ちの良い学生 FD 会議が開催されたのではないかと思います。本当に感謝が絶えません。オープニングでは、司会の山田さんと益山さんがとても明るく全体の雰囲気を作ってくくださったなと思っています。二人を司会として置いたことは大きいだらうなと感じています。そして、見事に設計してくださったグループワークですが、発表の内容を見たらわかるように、グループディスカッションが良く盛り上がったんだということが伝わってきます。私のように学生に比べたら未来があまりない教職員でも気持ち良く話をする事ができたのはとてもうれしいことでした。

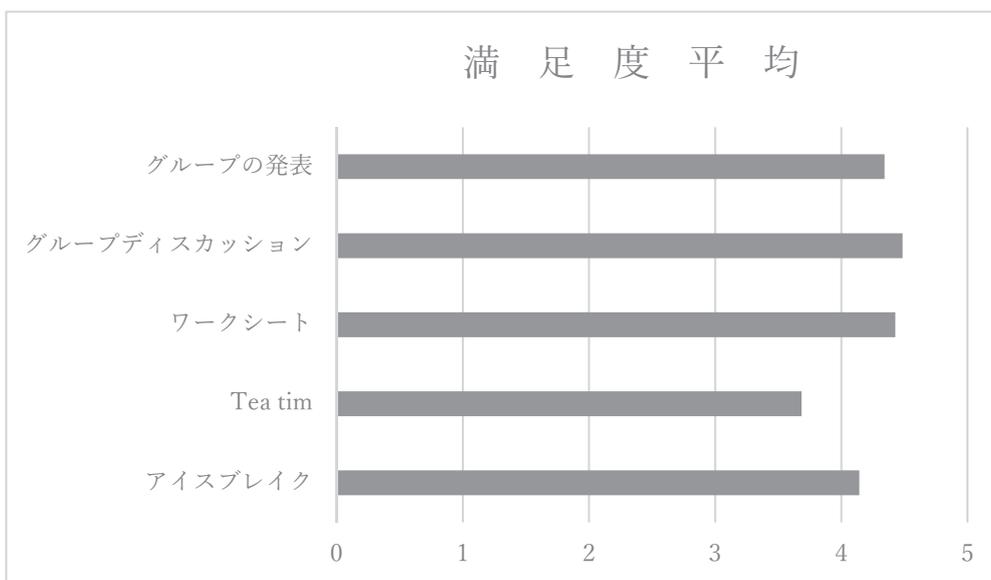
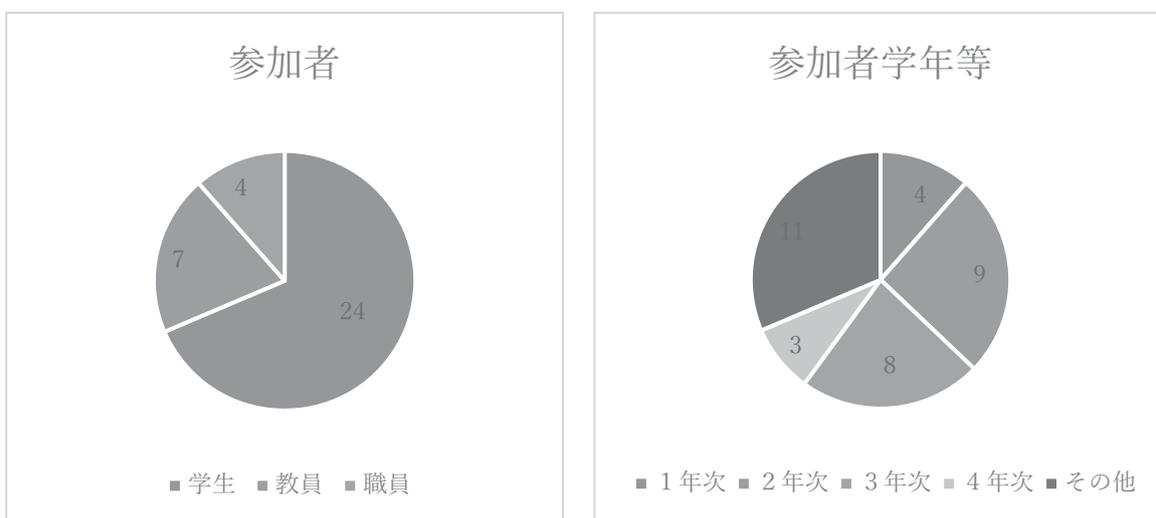
今回のテーマが「今と未来～なりたい自分になるために～」だったので、学生からの意見としては職業が中心になるのかと思いきや「信頼される人になりたい」などの「人格の陶冶」という形の意見が多くてすごいなと思いました。善人の集まりだと思いました。このような善人の意識を持った学生が今後の日本を切り開いていくことはとても良いことだと思います。

した。現実では難しいことだと感じていると思いますが、今日の会議で皆さんが話し合われたことを今後も大事にしてほしいと思います。

もっとも大事なことは、学生の皆さんは若い。若いからこそ、自分に限界を決めないでください。皆さんの限界は、あなたが思っている以上にある。世界は、あなたが思っている以上に大きな世界です。D班が発表の中で言っていた「意識と行動」。意識は、世界を駆け巡ってください。その中で、現実の行動をとって行ってください。そして、最期になったら「これで良い人生を送ることができた」と思えるような人生にしていただければと思います。今回はどうもご苦労様でした。

(8) 学生 FD 会議 2017 に関するアンケート結果

(n = 35)



「今と未来」というテーマから何か得たものはありましたか？

- ・ to do よりも、気持ちを整理させるものであった
- ・ "テーマ(今と未来)について、あまり話さなかった"
- ・ これからやるべきこと
- ・ ありました！
- ・ 考える時間ができてよかった
- ・ 今が大事だということ。
- ・ 経験と知識のバランス
- ・ 自分があまりしようとしてこなかったけれど他人にとって当たり前であることを見つけられた。
- ・ やはり意識は夢を叶える上で基盤となるのだなと思いました。
- ・ 発表したとおりです。
- ・ とても有意義でした。
- ・ 今の自分に足りないもの、これからやるべき事を自分でも考え直すことが出来たし他のグループの発表をきいて参考にしたいこともたくさんありとても充実したグループディスカッションだった。
- ・ 色々な考え方を共有することができた。
- ・ たくさんの目標達成の元は今とこれからの意識と行動だと言うこと
- ・ まずは自分を知ることからだなと思いました
- ・ 視野が広がりました
- ・ 今後の方向性
- ・ 自分に限界を持たない。前向きに生きていく。
- ・ 既成概念に捉われずにチャレンジしていく事が大切だと認識した。
- ・ 自らを見直す機会となった
- ・ 自分がどうなりたいか、そういう考えもあるんだと参考になりました
- ・ 自分のこれからの将来やるべきことを整理できたし、やるべきことも見つかった
- ・ これから自分がどのように行動していけば良い未来が来るのか少しでも明確になれました
- ・ 未来が明るくなった
- ・ 未来とただひとくくり考えるだけでなくその途中途中での行動も重要だなと思った。
- ・ これまでの人生を振り返る良い機会になった。
- ・ 自己理解、他者理解のきっかけ作りとして、とても有益だった。
- ・ 人生どんなステージにも成長や夢はあること、それを意識して行動し続けることが重要だと学びました。
- ・ 考え→行動→考え

- ・紆余曲折するのは当たり前で、悩んだり、挫けたりすることもあるけれど、周りのアドバイスを元に「なりたい自分」へと、未来を繋いでいく姿勢そのものが大事なんだと改めて思えた。また、こう言った機会ですら普段話さない人とも話すと面白い発見があったり、心が震えるような経験ができることが分かった。
- ・自分以外で考え方の異なる人からその人なりの考えや感じた事を聞いたのは良かったと思います。
- ・学年の変化を感じられよかったです。
- ・学生さんの未来はこれから。ノビシロがあるってすばらしい！私は人生半ば過ぎましたが、残された時間を有意義に過ごしたいと思いました。
- ・今の自分に自信を持っていることを改めて確認できたので明日からも胸を張って生きていこうと思えた。
- ・これ、FD 活動なんですか？自己啓発的な活動も FD 活動なのですか？
- ・「未来はいつの時にでもある」ということです。
- ・若者が心優しい人々であることがわかりました。

#### **運営について気がついたことがあれば教えてください。**

- ・お疲れサマンサタバサ
- ・素晴らしい
- ・ありがとうございました
- ・同じ学生として尊敬する点が幾つもありました。お疲れ様！
- ・"円滑に進んでいたのも、良かったと思う。
- ・もう少し時間に余裕があっても良かったんじゃないかと思う。"
- ・準備、配慮が行き届いていてスムーズな進行だった。
- ・素晴らしい運営でした。ありがとうございました。
- ・最後のスライドショーとても良かったです
- ・お疲れ様でした。次回も参加します。
- ・これだけスムーズに進められたのは準備が良かったからだと思います。
- ・ありがとうございました。
- ・来て良かったです。
- ・事前に必要な準備、当日の持参物等について、早めにご連絡いただければ助かります。
- ・大変お疲れ様でした。素晴らしい司会、構成、ファシリテーションだと感じました。ありがとうございました。
- ・細部への配慮が行き届いており、過ごしやすい1日でした。ありがとうございました。
- ・発表の準備時間と発表時間が少し足りないのかなと思いました。話す内容と比較して、なかなかコンパクトにまとめづらかったです。それはさておき。その他についてはもう素晴らしい運営でした。司会も、ファシリテーターのみなさんも素敵でした。

- ・明るい雰囲気に参加者をうまく誘導できていたと思います。
- ・部屋割りをされていましたが、部屋が分からなくなる事もあったのでA～Dの部屋・E～Hの部屋など立て看板を廊下に置いてもいいと思いました。運営お疲れ様でした。
- ・場面場面で細やかな配慮があり、感動しました！司会のお二人、ファシリテーターのたちくんありがとう😊♥️✦
- ・元気もらいました。たくさんの気付きがある充実した時間を過ごすことができました！
- ・文句なし。良かったと思う。
- ・添付で頂いたチラシに会場名がなかった。懇親会会場は会ったけど(笑)
- ・運営自体は不足なくやってくださって助かりました。ありがとうございます。
- ・とても素晴らしい運営でした。ご苦労様でした。





# 第9章

合同 FD/SD 研修会

## 第20回 FDネットワーク“つばさ”FD協議会

### はじめに

平成30年2月17日(土)に、第20回FDネットワーク“つばさ”FD協議会を山形大学小白川キャンパスにて開催し、18機関29名の出席があった。

はじめに、小田隆治運営協議会議長から、FDネットワーク“つばさ”の平成29年度の事業報告、平成30年度の事業計画などについて説明があった。

次いで、4つの分科会に分かれて、4～6人のグループで各テーマに沿ったグループ討論を行い、その成果を全体会で発表し合った。

協議会終了後の情報交換会では、今後の“つばさ”の活動について、活発な話し合いが展開され、充実した会となった。

### (1) スケジュール

日時：平成30年2月17日(土) 13:00～17:15

場所：山形大学小白川キャンパス 基盤教育1号館（全体会場：121教室）

日程：13:00 開会の挨拶

【第一部：協議会】13:10～14:00

- ① 「FDネットワーク “つばさ”」事業報告について
- ② 「FDネットワーク “つばさ”」の平成30年度事業計画について

【第二部：ワークショップ】14:00～17:15

①趣旨説明

②分科会 [会場：基盤教育1号館]

第1分科会：学生の主体的な学び（学生主体型授業、アクティブ・ラーニング、授業外学習、ラーニング・コモンズ など）

第2分科会：大地連携（大学と地域の連携、フィールドワーク、地域の活性化など）

第3分科会：大学教育と学生支援（入学者確保、就学支援、キャリア教育、就職支援、卒業後の実態把握と支援など）

第4分科会：連携IR（学習成果等アンケート）の分析と活用（授業改善、カリキュラム改善、学習成果の可視化など）

③全体発表 [会場：121教室]

17:30～ 情報交換会（山形大学厚生会館）

配付資料

資料 1 出席者名簿

資料 2 FD ネットワーク “つばさ” 平成29 年度の活動について

資料 3 平成29年度実施事業

資料 4 平成30年度FDネットワーク “つばさ” 事業計画

資料 5 ワークショップ 分科会別班編成名簿

参考資料1 FDネットワーク “つばさ” 加盟校一覧

参考資料2 FDネットワーク “つばさ” 協議会要項

協議会参加者ポストアンケート

### (2) 協議会模様



事業説明と18機関29名の出席者分科会



分科会



全体発表会

### (3) 出席機関一覧

FDネットワーク “つばさ”

【加盟校】

山形大学

札幌大学、札幌大学女子短期大学部

北翔大学、北翔大学短期大学部

札幌学院大学

八戸学院大学、八戸学院短期大学

青森中央学院大学

青森中央短期大学

仙台大学

仙台青葉学院短期大学

東北芸術工科大学

羽陽学園短期大学

東北文教大学、東北文教大学短期大学部

鶴岡工業高等専門学校

会津大学

桜の聖母短期大学

明海大学

国際武道大学

帝京平成大学

## 第1分科会/学生の主体的な学び Aグループ

報告者：仙台大学 教育改善企画運営委員 講師 高橋 徹

第1分科会Aグループの今回の議論は、数点挙げられたキーワードの中でも、特に「授業外学習」に焦点を当てたものとなった。グループのメンバーの全員が教員ということもあり、実際の授業方法や成績評価方法、授業時の学生の様子、各自の授業時における問題点や悩み事などの情報をお互いに共有しようという形で議論を進めた。以下に列記する内容は、今回話し合われた要点を抽出したものである。

### (1) 授業外学習の実践例

- ・地域企業や青年会議所との連携
- ・実習を通じた老人ホームとの関わり
- ・地域イベント（お祭りやスポーツイベントなど）への参加
- ・大学主催の各種行事への参加

### (2) 授業外学習のメリット

- ・普通の授業（例、教室で行う講義型の授業）では引き出すことのできない学生の積極性を引き出すような環境設定ができる。
- ・地域企業と学生との繋がりが将来の就職活動の際にも有利に働くこともある。

### (3) 授業外学習のデメリットや難しさ

- ・積極的に活動（学習）しようとする学生とそうではない学生との間に差が生まれてしまう。
- ・学生の個人的な能力や持ち合わせている知識の差をいかにして縮めるかが課題。
- ・成績評価をつけるのが難しい。
- ・授業の一環として行える活動（単位認定できる活動）であれば良いが、完全なボランティア活動（単位認定にはつながらない活動）として実施している事例もある。

### (4) 各大学の教員が抱えている課題

- ・授業外学習の場合、学生をアクティブにする要素は多く存在するが、そのアクティブ（活動）のどこがラーニング（学び）につながるのかを考える必要がある。
- ・授業外学習による活動が学生の成長につながることは間違いないが、その成長を大学（学部）のカリキュラムに位置付けることが難しい。
- ・単に授業外学習を行ったというだけでなく、学習後の振り返りや評価の時間を設けないと意味のある学びとはならない。

以上のまとめとして、授業外学習の場は、学生にとって教室での講義とは異なる形での成長の場となり得る可能性を有していることが挙げられる。しかし、それは一方では学習内容が不明瞭であるということも意味している。授業外学習で学ぶことのできる内容を大学のカリキュラムに位置付けるためには、学習内容を明確化し、且つその内容がどれだけ身についたかの成績評価までを想定したカリキュラムづくりや授業づくりが求められる。

## 第1分科会/学生の主体的な学び Bグループ

報告：仙台青葉学院短期大学ビジネスキャリア学科 講師 高野 宏輝

前段で「主体的な学び」を進める上での問題点について情報共有を行った。

学外における問題解決を取り入れる活動や、学内での施設整備（パソコン、プロジェクター、丸テーブルや印字可能なホワイトボードの設置、ラーニング・commons）を行うなど、工夫している。しかし、座学では真剣に聞いてくれない学生が多く、学生の学びの力の差も大きい。発達障害をかかえる学生も存在し、口頭発表ができない学生にどのような対応をするか、学生をいかに授業へ参画させるかが重要テーマとなる。

自由な発言ができる環境、雰囲気を作り出すことが大切である。双方の対話に心掛けているが、学生からはあまり当てないで欲しいといったクレームが多く、できる限り平易な質問を行うことや質問の回数を調整することに心掛けている。なぜこのような授業を進めるのか、講義の前段で目的や効果をしっかり学生に伝え、納得を得たうえで授業をすすめることが大切である。

ITツールを活用することも効果的である。サイボウズLiveなどのグループウェアにより、チャットや掲示板で質問と回答をリアルタイムに全体へ示し、授業の感想を投稿することで評価の対象とする。他のことを考える隙を与えず、常に脳が働いている状態を作り出す。レポートもグループウェア上に投稿させる。すべての学生の情報が開示されている状況にあり、誰かのレポートをコピー&ペーストする学生はいない。

アクティブ・ラーニングとは、グループワークをやることではなく、様々な手法により「主体的な学び」を生み出すことではないか。グループワークばかりを繰り返しても学生には苦痛である。学科全体での情報共有、連携も重要になる。また、主体的な学びが効果的に生み出されているか評価するもの難しい。確かな効果が見える定型的な汎用パターンをもとにアクティブ・ラーニングを普及させることも大切ではないか。

最近の学生は大学に「習いに来ている」ところがある。「どこが重要なのか教えてほしい」「穴埋めのレジメにして欲しい」など、答えを覚えることに注力している。アクティブ・ラーニングが求められているのは、「アクティビティ」を提供すること自体ではなく、学生に考えさせ、興味を持たせることで「アクティブ」な状態をつくることである。唯一の答えがある課題に対しても、そこに至るまでのプロセスは数多くあり、失敗により多様な見方、考え方が存在することを知ることが重要な気づきになることもある。数多くの情報収集の中から視野を広げ、専門性につながる深い学びに導けるよう、「主体的な学び」を追求していくことが重要ではないか。

## 第2分科会/大地連携 Cグループ

報告者：札幌大学・札幌大学女子短期大学部

学生支援オフィス 係員 森 義郎

### 【C班構成】

千葉 道博（北翔大学・北翔大学短期大学部）

松本 賢彦（札幌学院大学）

大津山 公平（会津大学）

風間 良則（国際武道大学）

阿部 宇洋 (山形大学)

森 義郎 (札幌大学・札幌大学女子短期大学部)

各大学での事例や課題について発表してもらい、共通課題となっている以下5項目について、意見交換を実施。

#### 課題①：補助金の獲得・大学予算・学生自己負担

学外でのプログラムでは、どうしても費用が発生する。単位認定をすることが学生の参加率を高めることにも繋がるが、本質的な問題としては、「2度目の感動をいかに与えられるか」である。これが課題②にも繋がり、予算獲得のための解決の糸口も見えてくるのではないかと。

#### 課題②：プログラムの質向上

課題①で触れたように (2度目の感動)、次年度教育への活用が必須である。4年間を通じて、段階的に地域での学びを行うことが、これまでの大地連携でも培われてきた「学生の伸び」、「学生の主体性」を更に育むことに繋がるはずである。また、1つの大学だけで実施するのではなく、複数の大学で実施することも、成長の幅 (大学・学生・地域) を広げる一つの要因となり得るのではないかと。

しかしながら、受入側の限界 (宿泊場所や対応していただける講師の人数、その地域でのイベントとの重複、他大学・他機関のプログラムとの重複) も問題視されるようになってきている。

#### 課題③：ボランティア活動との線引き

日当が発生する活動もあり、学生の「目的」をしっかり確認する必要がある。

また、地域の方との調整においても、「教育活動」であることを大学側が説明したうえで、企画・実施することが大事である。「貰う」ではなく、「払ってでも」参加したくなるような、普通の授業では味わうことのできない魅力的なプログラムの質が私たちに求められている。

#### 課題④：地域の範囲設定

各大学、規模や立地条件も大きく異なるため、特定の条件によって、ここからここまでが大学における「地域」とは明確に出来ないであろう。各大学が独自に定める範囲内で連携を推進していくことが大切である。

※参考：私立大学等改革総合支援事業タイプ5  
「プラットフォーム形成」

#### 【まとめ】

上記課題解決のために共通していることは、「教職協働」であり、教員の指導が行われた後に、職員が学生のフォローを行うなど、バランスよく学生との距離感を双方が保つことが、大地連携のみならず、学生への指導・教育にも生きてくるであろうとの結論に至った。

また、「教職協働」を進めていくにあたっては、体制づくりの充実も更なる課題として浮かび上がってきた。フィールドラーニング専門の教

員が少数であることや、職員側も学生を派遣したら業務終了の感じが拭いきれていないことが実状であり、これは、地域科目の企画・実施は決して片手間では行えないことを意味している。大地連携に特化した部署の充実等が望まれる。

#### 【所感】

事例発表の中にもあったが、「大 (学) 地 (域) 連携」→「個 (人) 地 (域) 連携」の流れはどこのプログラムにおいても形が見え始めている。次は、「個 (人) 地 (域) 連携」での繋がりを活かした、更なる「大 (学) 地 (域) 連携」に結びつけなければいけない時期ではないだろうか。このような好循環が、段階的な学びにも繋がり、大学・学生・地域の全てに関わる人が有益な経験、学びを行うことができるのではないかと感じた。

「大地連携」→「個地連携」→「大地連携」→「個地連携」→「大地連携」……途切れることのない連携を今後の業務では意識して取り組みたいと強く思う。

最後に、大変有意義な時間を作ってくくださった、ファシリテーターの北翔大学千葉課長はじめC班の皆様、山形大学関係者の皆様に感謝申し上げます。

#### 第3分科会/大学教育と学生支援 Dグループ

報告者：明海大学 浦安キャンパス事務部

学事課 (教務担当) 主任 小野原 隼一

第3分科会では、大学教育と学生支援 (入学者確保、就学支援、キャリア教育、就職支援、卒業後の実態把握と支援など) をテーマに、山形大学 小田教授、鶴岡工業高等専門学校 吉住教授、青森中央学院大学 奥村講師、東北文教大学・東北文教大学短期大学部 長岡係長、小野原 (教員3名・事務職員2名) の5名で入学者確保及び入学後の学生支援を中心に意見交換を行いました。

各大学等の事例報告や問題点について積極的に意見交換がなされましたが、問題として挙げられた項目は、入学者確保の困難さや学生支援の多様化ということでした。

入学者確保では、オープンキャンパスや高校での出張講義を積極的に行う、広報活動を行う地域を限定して戦略的に広報活動を行う、入学試験の成績や入学後の成績等による授業料免除制度の実施、卒業生を地元企業等へ就職させる、職業訓練制度を利用した者の受入等さまざまな事例報告があり、今後の展望としては、経済的理由により大学進学を断念せざるを得ない者の掘り起しが大切になるであろうという意見交換もなされました。

入学後の学生支援では、初年次教育の重要性、退学者抑止、修学支援サポート体制等々について意見交換がなされ、学生支援体制構築についてFD やSD の重要性についても話し合いました。

各大学の様々な取組を直接伺うことができたことはとても貴重な経験となりました。協議会の中で小田先生から「相互研鑽と個別支援の両立」というお話がありましたが、各大学が相互研鑽し、より良い大学へ発展していける内容の分科会であったと感じております。

第3分科会の皆様及び山形大学の関係者の皆様に感謝申し上げます。

#### 第4分科会/連携IR（学習成果等アンケート）の分析と活用 Eグループ 報告者：青森中央学院大学 教育開発推進課 リーダー 葛西 崇文

E班では、第4分科会のテーマ（連携IRの分析と活用）について、現在実施している授業評価アンケートや、学習成果等アンケートをより良いものにするために、どのようなことが必要なか、議論を行った。その結果、主として以下の3点に意見が集約された。

##### 1. 学習成果を可視化・定量化する必要がある

E班では、学習成果を、①学力、②動機付け、③（学びに関する）興味の広がり3つであると考えた。これらを定量的に測定する場合、学力と動機付けについては、これまでの知見からおおむね正確に測定ができると考えられるが、興味の広がりについては、量的な測定だけではなく、質的にも測定する必要があるのではないかと意見が出された。

また、定量化する際にも、単純に平均値を算出するのではなく、アンケートで使用している文章の語句が、回答する学生にとって十分わかりやすく、誤解を生じないものになっているのかどうか検討するなど、アンケート調査や統計処理に関する専門知識・技術を持った教職員が実施に携わる必要性が指摘された。

##### 2. アンケート実施に係るコストを考える必要がある

授業アンケートや学習成果等アンケートなどの学生を対象とするアンケートを実施する場合、媒体に関わらず、各種のコストが発生する。

当然、コストを下げながら、信頼性や妥当性のあるアンケートを実施する必要がある。特に、授業時間内でアンケートを実施する場合には、以下のようなコストがかかっていることに留意しなければいけない。例えば1年間の授業料が100万円で、40単位（2単位で1科目として）履修している学生の場合、 $100万円 \div 20科目 \div 15回 \approx 333円$ となる。つまり1回の授業は約3,000円ということだが、このうちの30分をアンケートに使えば1,000円、15分を使えば500円のコストがかかる。それだけのお金に見合うアンケートを実施し、活用できているのか、しっかり検討する必要がある。

##### 3. 学生にも協力を依頼する必要がある

授業アンケートなどは、1～5までの数字を選ぶ形式が多いようであるが、その数字の間隔にどのような意味、違いがあるのかなど、回答する側の学生にも、しっかりと説明し、理解をしてもらう必要がある。

そうしなければ、算出した平均値が高いことに安心してしまい、そもそもそのアンケートに信頼性や妥当性があるのかどうか問われることとなる。実質的な授業改善や教育改革を進めるためにも、教職員の側だけではなく、学生の側にも協力を求めて行く必要があるだろう。

#### 第4分科会/連携IR（学習成果等アンケート）の分析と活用 Fグループ 報告者：会津大学 学生課教務係 主事 横山 咲子

IRは包括する範囲が広く、個人を特定してデータ分析を行うため、匿名性で実施することが多いFDのアンケート調査とは矛盾する点がある。そのため、グループ内では「FD活動におけるIR的取組のあり方」をテーマとして絞り、特に、教育の質の向上を目的として広く実施されている学生による授業評価アンケートを基に議論をした。

##### 1. 授業評価アンケート実施の問題点

- ・学生の回答に対して、教員からのフィードバック等が無ければ、学生はアンケート実施の意味を感じず、回答のモチベーションも下がる。
- ・個人情報の管理
- ・WEB上での回答では、回答率が低い。また、自由記述について、筆記よりも書き込みやすくなるため、筆記による回答よりも内容が過激になる可能性があり、データの質が変化することが考えられる。

##### 2. 解決策

- ・アンケート結果を公開する際に、教員からのフィードバックを併せて記載するようにする。
- ・個人情報の管理を徹底するとともに、たとえ匿名で実施した場合でも、個人が特定できる情報公開は行わない。（匿名性の保持）
- ・WEB上で実施する際には、授業中にスマートフォン等で回答させるようにし、回答することで学生が得する特典等を設ける。（例：回答すると、通常よりも早く次年度のシラバスを閲覧することが出来る等。）また、設問数は学生が回答しやすい数（10問以下）にする。データの質に関しては、結果を参考にする際に、匿名かつ書き込みやすい環境で記入されたものであることを考慮する必要がある。  
注意点としては、同時間に開講されている授業の学生全員がアクセスしてもネットワークがパンクすることが予想されるため、ネットワーク環境を整備する必要がある。

##### 3. 活用方法

- ・教員がアンケート結果を基に、自身の授業について内省し、その後の授業で改善を図っていく。
- ・すでに実施している大学もあるが、アンケート結果をベストティーチャーの選考に活用する。ただし、単純に数値のみにより判断するのではなく、アンケート結果は、あくまでもベストティーチャー選考の第一段階として活用すべきである。実際には、対象教員に対するFD推進委員によるヒアリングや対象教員による公開授業を実施して、より授業の実態を理解したうえで選考することが重要だと考えた。

##### 4. まとめ

「FD活動におけるIR的取組のあり方」として考えた際に、授業評価アンケートは、学生が回答して、その結果を教員が見ることが目的ではなく、教員のリフレクションやフィードバックがあって初めて完結し、教育の質の向上につながるものである。

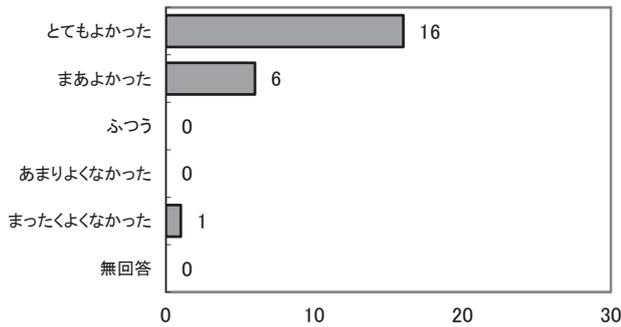
実施するうえで問題点もあるが、それぞれ解決策を講じ、結果を授業改善やベストティーチャーの選考等へ活用することができる。

結果で得た数値を鵜呑みにすることは出来ないが、アンケートの優れた部分を積極的に活用していくことが重要であると考えた。

## ○第20回 FD協議会 アンケート集計

### ① 本日のワークショップはいかがでしたでしょうか？

(n=23)



### ② ワークショップの良かった点を具体的に記述ください。

- ・他大学の状況を知ることができた。
- ・課題を知ることにより、改善等を考えるきっかけづくりができた。
- ・様々な大学の教職員の話が聞けて、学びになりました。山大職員もグループに入れるとよいのではと思いました。
- ・他大学で取り組んでいる事例が数多く出てきて、参考になりました。
- ・少人数で情報交換できた点。
- ・授業評価アンケートの活用方法の具体例とその問題点。
- ・Webアンケートの実際。
- ・参加できたこと。
- ・ふだんわからない統計的な処理について、他の先生方に伺えたところ。
- ・共通する課題（例：ベストティーチャー賞）について別の視点から見る事ができた。
- ・アクティブラーニングのような質疑応答であった。
- ・教員と職員の垣根なく、自由に意見交換できました。あまりない機会です。
- ・他大学（特に地方の大学）入学者確保の取組や学生支援体制について、意見交換（情報共有）できたことで今後の刺激になりました。
- ・他大学の実情を開けたことが良かった。
- ・授業改善の具体的方法を知ることができた。
- ・他大学の状況を知れて良かった。
- ・自分の業務と直接関わらない分科会に参加し、議論に加わることができると不安であったが、自己研鑽の場となった。
- ・少人数で込み入った話題でも盛り上がったことは良かった。
- ・各大学の取組、課題を聞くことが出来た。
- ・他大学の様々な取組をきけた。
- ・今後の参考にしていきたい。
- ・楽しく先生方の様々な取り組みや、同じ悩みを共有でき有意義だった。話が多岐にわたり、発表をまとめきれなかった。
- ・東北文教大学の松田浩平先生のお話がとても素晴らしかった（授業評価アンケートの問題点について）
- ・地域的違い、学校種別による違いがあったが、現状を聞くことができ、良かった。
- ・教員、職員のバランス、参加メンバーに経験者が偏りされていること。
- ・他大学の授業評価アンケートの実施や刮目状況を聞くことができた点。
- ・先生と一緒にしたので心理的側面からのアンケートの考え方を聞くことが出来ました。

### ③ ワークショップの改善点、あるいは今後のご希望等をご記述下さい。

- ・発表質疑の時間が短いように感じました。もう少し時間を取って全体で議論できればと思いました。
- ・PCの電源をつけてほしい。
- ・自由記述を主体とした調査票に対し、最初に数値的評価を求めることは結果にバイアスを与えるのみです。きちんと社会調査法や心理調査法の手続きをふまえていない調査票には回答しかねます。あえて回答するならば「1」になります。
- ・教育評価、教育測定については長い研究の結果があり、それらを学んでいないままでは、一切の議論意味をなさない。時間のムダ。二度と参加したくない。
- ・16:00くらいに、各分科会の教室に、山形大学の職員さんでお声がけいただけてと助かります。なかなか、話がとぎれず、もり上がってなごりおいしいことが多いので。
- ・設定したテーマに詳しい方がメンバーに何人かいらっしやると有難い。
- ・IRは事例がないとむずかしいと思います。
- ・継続的に参加させていただきます。
- ・話し合いの内容がより具体的になると良い。
- ・発表者とファシリテーターは一緒のほうが良いかと思った。話の方向性をコントロールできるため。
- ・明海吉田、青森中央学院大の葛西様、帝京平成大の小畑様の3人だけしか聞けなかったのは惜しい。基盤教育のワークショップの基調講演等を御願いすべきであると思います。
- ・時間は少し長い？
- ・4人は少なかったので、6人くらいで行えたら良かったです。

# 第 10 章

## シンポジウム

## シンポジウム

「地域連携とフィールド・ラーニング山形から日本・世界を考える」

### 【開催要項】

開催日時 平成 29 年 12 月 9 日（土）10 時から 17 時

場所及び内容

第 1 部 遊学の森および道草ぶんこう

(山形県金山町)

フィールド・ラーニングの見学

第 2 部 新庄市民プラザ（山形県新庄市）

基調講演 山形大学教授 小田隆治

事例発表 東北芸術工科大学教授

山下英一

沖縄県立芸術大学准教授

呉屋淳子

山形大学准教授 滝澤匡

レインボー推進プラン協議会

小林美和子

山形大学人文社会科学部

1 年 山本嘉太

パネルディスカッション

司会 山形大学教授 栗山恭直

パネラー 山形大学教授 小田隆治

東北芸術工科大学教授

山下英一

沖縄県立芸術大学准教授

呉屋淳子

山形大学准教授 滝澤匡

レインボー推進プラン協議会

小林美和子

山形大学人文社会科学部

1 年 山本嘉太



### 【基調講演 要旨】

○山形大学の地域と連携した現地体験宿泊型授業（フィールド・ラーニング）の十年の歩み

小田隆治

山形大学は平成 17（2005）年に、学長と最上 8 市町村の首長の間で包括協定を結び、最上広域圏全体を山形大学のバーチャルなキャンパスと見立てた「エリアキャンパスもがみ」を設立した。

設立元年は、地元で大学祭を行い、地域の人々を巻き込んだ講座などを実施したが、大学から「エリアキャンパスもがみ」までの距離が 50～100km あることから、地元が望むたくさんの学生の参加はなかった。そこで平成 18 年に全学共通教育の教養教育の正規の授業として『フィールドワーク：共生の森もがみ』を前・後期に開講した。本授業は現在まで毎年開講されている。本授業の特色は、土日を利用した①現地体験宿泊型、②講師は現地の匠、③少人数教育、④地元の子供の積極的参加、⑤寄付授業、となっている。教育目標は、社会性の涵養、課題発見・探求能力の育成、コミュニケーション能力の育成等である。

大学と地域との事前の打ち合わせによって、各市町村のプログラムが出来上がる。プログラムの数は、毎年若干の変動はあるが、前期 15 後期 10 程度である。プログラムの内容は、地域の文化や自然、産業など多岐にわたるが、いずれもこの地域に根差した活動をバックボーンとし、それに関わっている人たちが講師となっている。

授業の大まかな流れは、①オリエンテーション（大学）、②事前指導（大学）、③現地活動（土日×2 回）（地域）、④合同発表会（大学）となっている。この授業の学生たちの満足度は非常に高い。地元講師や地域の人たちからも高い評価をキープしているので、これまで地域と連携した授業を継続することができた。平成 18 年から 29 年の 12 年間で 3,000 人近くの学生がこの授業を履修した。また、本授業は地域の人々の生涯学習の機能も果たしていることが指摘された。

現在、日本の多くの高等教育機関で現地体験型授業が試みられるようになった。山形大学は文科省に認定された教育拠点事業の一環として、全国の大学に向けてフィールド・ラーニングの開発支援を行っている。

## 【事例発表 要旨】

○山形から日本・世界を考える～学生及び卒業生の事例から～

東北芸術工科大学 教授 山下英一

大量生産大量消費の経済優先の消費産業社会から、一人ひとりの自律性（生きる力）を大事にしながらお互いの存在（価値観）を認め合う文化社会へと、生産の形は大きく変わろうとしている。それは、日本が産業社会になってから100年の間に失って来た文化や思考を掘り起こし、人の幸せのためにこれから本当に何が必要なのか本質的に考えて、足元から企画を構想し、情報を計画する模索がはじまったことを意味する。

以上のような認識にたつて、山形で学生が取り組んでいる事例を紹介。

※学生事例（企画構想学科3年生）

「暮らす僕らのハートフルガイド」活動について

ハートフルガイドとは、やまがた宝さがし活動の展開として、山形市に暮らす一人ひとりの想いを通して場所の魅力を紹介する活動。

・2016年度は「馬見ヶ崎川」:NTT山形市タウンページ冒頭特集として掲載。

馬見ヶ崎川は、芋煮会等で山形市民にあたりまえのように利用されている川だが、あらためて一人ひとりに聞いてみると、馬見ヶ崎川のハートフルな思い出は本当にいろいろあることがわかり、山形市民にとってなくてはならない大切な川であるということを楽しく紹介。

・2017年度は「山寺と山寺街道」:NTT山形市タウンページ冒頭特集（制作中）。

山寺は観光地として大変有名だが、果たして山寺の本当の姿を私たちは知っているだろうか。山形におじいちゃんの歯骨を納めに登る方、山形で生まれ暮らす方、山寺の仏像を修復している方、山寺小学校そしてその卒業生の方等、山寺を大切に思う様々な方々にお話しをお聞きし、ハートフルガイドする。同時に、知られているようで知られていない山寺街道についてもハートフルガイド。

暮らす一人ひとりが、どのような大切な想いや宝のような思い出を持っているのか、知っているつもりにならずに真摯に耳に傾けることこそ、これからのまちづくり・地域デザインの本質的な基礎である。

○芸術系大学におけるフィールド・ラーニングの実践の可能性を探る

呉屋淳子（沖縄県立芸術大学）

筆者は、2015年4月から2年間に亘り、山形大学教育開発連携支援センターの教員として、大学と地域が連携したフィールド・ラーニングの実践に携わってきた。

また、現在、筆者が所属する沖縄県立芸術大学音楽学部において、実技を中心としたカリキュラムのなかで、フィールド・ラーニングの手法を活かした音楽や芸能の歴史や

文化の学習という可能性について模索している。

本シンポジウムでは、「芸術系大学におけるフィールド・ラーニングの実践の可能性—琉球歌劇「組踊」の学習事例から—」と題して、実践事例の一部を紹介した。「組踊」とは、琉球王国の時代に中国からの使節団をもてなすための芸能（御冠船踊（うかんしんうどうい））をもとに1719年に創作されたものである。今回のフィールド・ラーニングでは、組踊「執心鐘入」「万歳敵打」を題材に、その物語世界を深く体感するために、那覇市首里大名町の史跡をたどるまち歩きを行った。筆者が組踊の学習にフィールド・ラーニングの導入の必要性を感じている理由は、従来の組踊の教育が、実技指導とテキスト分析に止まった詞章研究を中心に行っているからである。その場合、組踊はある物語の作品としてのみ解釈される。しかし、組踊を「文化資源」[渡辺2013]として捉えることによって、地域に存在するさまざまな文化的歴史的遺産との関わりのなかで、多元的に捉える視点を養うことが可能になる。

組踊の学習におけるフィールド・ラーニングの実践には、次の3つのねらいである。まず、自分が演じるものを文化的・歴史的な広がりや奥行きをなかで捉えられること。そして、自分たちの生きている現在との繋がりを認識できること。さらに、それらを体験として深められるような学習へと発展できること。つまり、フィールド・ラーニングを導入した組踊の学習は、実際の体験を通して、学び手の想像力を高める学習が可能になると考える。引き続き、このような実践を積み重ねていきたい。

○地域体験型科目「感じる山形」～地域志向と社会人力への影響～

山形大学准教授 滝澤匡

地域体験型科目の学習内容および成果を、学生の地域志向性と社会人力の変化を中心に報告する。

体験型科目「感じる山形」では、山形の地域が持つ自然・文化・歴史・産業・まちづくりなどを現地での体験を通じて学ぶ。例えば、前期プログラム「民話語り部体験」では、南陽の方言と豊かな表現力で語られる民話を語り部の方々から教えていただき、学生が実際に語りを行う。本科目に対する学生の授業評価は4.6/5であり、教養科目全体（平均4.4）を上回る高い満足度がうかがえた。

本科目のねらいは、現地学習を通じて学生が山形の魅力にふれ、地域への興味・関心を向上させることである。これらを評価するため、「地域の現状を知ることができたか」等の地域関連アンケートを受講後に実施した結果、4.7/5と高い評価を得た。そして、本科目も含めた地域系科目が就労地意向に及ぼす影響を、県内大学の人材育成事業全体で調査した結果、山形での就労意向を示した学生の割合は20%増加した。さらに、当該事業の受講者の県内就職率を調査した結果、県内出身者で69%、県外出身者で31%と非常に高く、体験型科目を含めた地域系科目の受講が県内就職率の向上へ寄与することが明らかとなった。

科目のもうひとつのねらいは、年齢や背景の異なる様々な人々との集団活動を経験し、コミュニケーション力や協調性など社会人を向上させることである。学生の変化を測定する目的で、社会人に関する16項目の自己評価調査を受講前後で行った。その結果、学生の主観的な判断ではあるが、全ての項目で向上が見られた(受講前3.3/5→受講後3.9:  $P < 0.001$ )。さらに、体験活動における具体的な行動指標を示した“社会人カテゴリーブック”を作成し、客観的な評価を行った場合でも同様に向上していた(受講前3.2/5→受講後3.9:  $P < 0.001$ )。これら社会人力の向上は、体験型科目がキャリア教育の面でも有効であることを示唆している。

本体験型科目の展開により、地域の次世代を担う人材の輩出を究極的な目標としている。

○大正大学 地域創生学部 長期地域実習と地域づくり  
レインボープラン推進協議会 小林美和子

長井市は、平成28年度から、大正大学地域創生学部の長期滞在実習の受け入れを開始した。同学部は、各地から学生を受け入れ、地域を担う人材として育成して地域へ回帰させることを目標としており、1年次から4年次まで都市と地方の双方での地域実習を課している。平成29年度に長井市は、1年生7名の42日間の滞在実習を受け入れた。

実習カリキュラムは、行政、現地指導員、大学の実習指導教員らの協議によって構築する。平成29年度は、「人々に学ぶ・自然に学ぶ・歴史に学ぶ。そして自身の将来的な地域活動に向かう」というテーマのもと、行政や地区公民館での聞き取り、イベントのスタッフ体験など、長井市を広く浅く学ぶ実習を行った。ねらいは、社会経験のほとんどない学生たちに、地域の全体像や多様性を学ばせ、3年次地域実習そして地方と都市をむすぶ働き方・生き方の根底となる「地域とは何か?」ということを感じとらせることだ。

学習プログラムと並び、住民に混ざっての買い物、地元のお母さんたちが作る朝晩の食事など、日々の生活自体が実習だ。イベントなど「ハレ」の場面だけではなく普段着の地域に触れることで、実習の厚みが増し、学生が長井市に第2の故郷とも言うべき親近感を持つことにつながっている。

実習前は「地方は時代遅れ。どんどん変えなければならない」という意識であった学生たちが、終了時には、「地域づくりで大切にしなければいけないのは、人のつながり、都市と地方の「豊かさ」の違い、地域のアイデンティティの尊重」と報告した。地域実習ならではの実感がともなった学びだろう。

受入側の成果としては、よそ者、若者の視点による地域資源の再認識と、大学が都内に開店したアンテナショップを拠点にした地場物産のPRがあげられる。将来的には、学生が実習をとおして地方と都市をつなぐビジネスチャンスを開拓し、長井市で就業・定住できるような仕組みづ

くりを目指したい。

○マルシェ本活プロジェクト 私たちは新庄市で考えた!  
山形大学人文社会科学部1年 山本嘉太



## 第二回目

- ▶ 自分たちの企画でkitokito MARCHÉ



今あるものを生かして楽しむ！



つながりやきっかけはお金では手に入らない！！

楽しみ方を探すのは誰？ → 新庄が好きな人たち



## 目指す理想像

誰が居てもいい、居心地の良い図書館

## 移動図書館に関する結果

- ▶ 例年の6月ワークショップ参加者：約50名  
↓ 倍以上の動員！！
- ▶ 今回のワークショップ参加者：約110名
- ▶ 前回の貸し出し冊数：12冊  
↓ 6冊増
- ▶ 今回の貸し出し冊数：18冊

活動は成功

## 私たちの今後…

- ▶ 11月開催の「図書館まつり」への協力参加
- ▶ 「しずく」とタイアップしたボランティアの継続

継続的な活動を！！

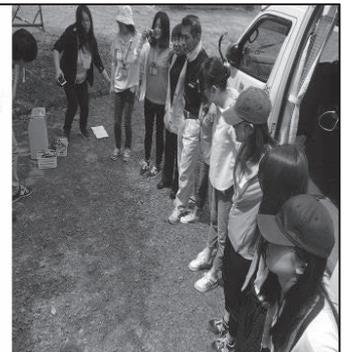
## 新庄の課題

- ▶ 人口減少の進行  
→ 人と人、人と地域のつながりを大事に
- ▶ 図書館の利用者の減少  
→ 「待つ」だけでなく、「発信する」図書館へ  
図書館を通じて、本と人をつなぐ

私達は新庄が大好き！



次は私たちが興味を持つきっかけを提供したい！！



## 新庄の活力あふれる若者

- 中高生ボランティア団体しずく
- 新庄市の職員さん



ご清聴ありがとうございました



## 第 11 章

### 大学・短大のアンケート調査

## アンケート調査とその分析

小田隆治

### はじめに

当センターが教育拠点に認定されて“つばさ”で毎年9月に実施している「FD 合宿セミナー」や「大学間連携 SD 研修会」以外に、申請書に挙げていなかった取組として、全国のすべての大学・短大を対象として「教育改善・改革に関わるアンケート調査」を実施した。その方法ならびに結果の概略を報告する。

### アンケート調査の目的と調査対象

アンケートの目的は、全国の大学・短大の教育状況の実態把握にあった。我々は、「地方中小規模大学の教育実践力の開発・向上を支援する連携・体験型拠点」として、地方中小規模大学・短大の教育改善・改革を支援することを目的とし、その意欲に燃えていたが、地方中小規模大学・短大の全体像を正確には把握していないことに気づいた。そこで、我々独自で調査する必要に迫られ、支援の前段としてアンケート調査を行うことにした。

しかし、地方中小規模大学・短大だけのアンケート調査では、そうした大学・短大が首都圏や大規模大学と比較してどのような固有の課題があるのかを捉えることはできない。そこで、我々は大学院大学や通信制大学など一部の大学を除いて日本の全大学・短大を調査の対象とすることにした。

### アンケートの設計

アンケートの目的を全国の大学・短大の教育状況の実態把握としながらも、詳細を知るための大部のアンケートにするつもりは初めからなかった。大学は政府機関や研究機関、新聞社を始めとする様々なマスコミから毎年かなり大部のアンケート調査を求められ、少々アンケート疲れをしているのが現状である。我々はそうした実情を考慮して、アンケートの項目を自由記述も含めて A4 用紙表裏 1 枚に留めることに決めた。

アンケートの項目は 50 個からなり、具体的な項目は別表を参照して頂きたい。我々がアンケートの念頭にあるのは常に地方中小規模大学・短大である。そこで、問 1 で 18 歳人口の減少の課題を、問 2 で学生確保の問題をたずねた。問 4 は問 1 と 2 が学内の教員に共有されているか、問 5 は事務職員に共有されているかたずねた。我々は、問 1 から 5 で学内の意識の共有化がなされているかどうかを聞いたのである。もし、課題の共有化が学内でなされていないならば、課題に立ち向かっていくのは非常に困難であると思えるからだ。

問 7 から 12 までは、国からの政策的・財政的支援についてたずねた。問 12 では東京 23 区内の学生定員の抑制案の可否についてたずねた。

問 13 と 14 は学生確保の対策として、社会人入学あるいは留学生確保についてそれぞれたずねた。問 15 から 48 までは、教育改革の状況を様々な切り口からたずねた。問 15 と 16 は学生定員の増減、問 18 は学部・学科の改組である。問 18 と 19 は建物などのハード面の改装などをたずねた。

問 20 からは教育改革・改善の内実をたずねていった。問 20 は広報活動、問 22 は教育改善・改革全体の自己評価、問 23 は FD、問 25 は SD、問 27 は大学間連携の活用状況、問 28 は IR の推進をたずねた。

問 29 から 35 は、学士課程教育の要素であるリメディアル教育、初年次教育、教養教育、専門教育がそれぞれうまく機能しているかをたずねた。

問 37 と 38 はアクティブラーニングを、問 39 と 40 は地域連携の教育についてたずねた。問 41 は学生の主体的な学びの推進をたずねた。

問 43 から 47 は、学習成果等アンケート、学修成果の可視化、学生の質保証についてたずねた。

そして、問 48 で教育改善のシステムはうまく回っているかをたずねた。最後に、我々の拠点を活用したいか、とたずねた。

## アンケートの実施

アンケートの配布は平成 29 年 10 月 18 日に行い、提出期限は 11 月 10 日とした。回答の返却は、郵送、FAX、PDF ファイルのいずれかの方法を指定した。

日本の平成 29 年度の大学数は 764 校で、国立大 82 校、公立大 87 校、私立大 588 校で、短期大学は 319 校であった。返却は全大学・短大 290 校で、回答率は全体で 26.8%であった。各区分の返却数は表 1 から 4 の通りである。

表1 四年制大学と短期大学のアンケート回答数

四年制大学	短期大学	全大学・短大
223	67	290

表2 四年制大学の設置形態別のアンケート回答数

国立大学	公立大学	私立大学
46	35	142

表3 私立大学の東京都内と都外のアンケート回答数

東京都内	東京都外
24	118

表4 私立大学の規模別のアンケート回答数

大規模（入学定員 1001 名以上）	中規模（入学定員 501～1000 名）	小規模（入学定員～500 名）
35	30	77

## 結果の分析の概要

問1の「貴学を運営していくうえで 18 歳人口の減少は重要な課題か」という設問では、回答した全大学・短大の内 5 が 82%、4 が 17%で 5 と 4 の合計で 99%となった。このようにすべての大学・短大で 18 歳人口の減少が大学運営の重要な課題としてとらえられているが、細かく見ていくと大学間で違いがあることがわかる。5 の数値を見ると、四年制大学では 79%であるが、短大では 90%と短大の危機感の方が強いのがわかる。四年制大学の中を 5 の数値で比較すると、国立大学は 63%、公立大学は 60%と両者にそれほどの違いがあるわけではないが、一方で私立大学は 90%と顕著に高く、その数値は短大と同じである。すなわち、設置母体が私立の場合は、大学と短大の違いはなかった。

問 1 において、私立四年制大学の中をさらに詳しく見ていくことにしよう。東京都内の私立大学の 5 の数値が 75%なのに対して、東京都以外では 92%である。このことから危機感は如実に地方の私立大学にあると言えるだろう。一方で、大学の規模別では顕著な差は見られなかった（大規模 89%、中規模 87%、小規模 91%）。

問 2 の学生確保の設問では、全大学・短大の内 5 が 65%、4 が 25%で合計 90%であり、学生確保を大きな課題と捉えていることがわかる。5 の数値を見ると、四年制大学では 58%であるが、短大では 87%と短大の切迫

感が強いのがはっきりとわかる。四年制大学の中を5の数値と比較すると、国立大学は35%、公立大学は23%、私立大学は74%と私立大学で顕著に高い。だが、この数値は短大の87%よりも13ポイント低い。東京都内の私立大学の5の数値が42%なのに対して、東京都以外では81%で、2倍近い差があった。大学の規模別についてみると、大規模57%、中規模80%、小規模79%であった。この結果から、中小規模の私立大学が大規模のそれよりも学生確保が大きな課題であるという認識が強いことが判明した。

**問4の課題の共有が教員間でなされているかという設問**では、問2は、全大学・短大の内5が41%、4が47%で合計87%であり、かなり共有されていることがわかる。4と5の合計では、大学が85%であるのに対して、短大は95%と、短大の方が共有されている。これは5の数値を比較しても同様である（大学38%、短大49%）。国・公・私立の設置形態では顕著な差は見られなかった。また、私立の東京都内と都外においてもほとんど差は認められなかった。大学の規模別においてもそれほど差はなかった。

課題の共有は、**問5において事務職員も問4の教員の結果とほとんど同じ結果であった。**

**問7の国に法的対策をとってもらいたいかという設問**では、回答は5から1までかなりばらついていて、決して、国のリードを願っているわけではないことがわかった。大学と短大を比較すると、5と4の合計は大学で29%であったのに対して、短大は46%と顕著に高かった。これも短大の危機感の表れであろう。大学の中を5と4の合計値で比較すると、国立大学29%、公立大学9%、私立大学34%と、公立大学が他の二つと比べて顕著に低いことがわかり、国立と私立はそれほど差がなかった。東京都内の私立大学の5と4の合計値が12%に対して、東京都以外では38%で、3倍近い差があった。大学の規模別についてみると、大規模14%、中規模37%、小規模42%であった。この結果から、中小規模の私立大学が大規模のそれよりも国に対する期待が大きいことがわかった。

**問9の国による財政支援の強化についての設問**では、5と4の合計値は61%で、予想していたよりも高くはなかった。大学と短大を比較すると、5と4の合計は大学で59%であったのに対して短大は69%と、短大が10ポイント高かった。大学の中を5と4の合計値で比較すると、国立大学76%、公立大学25%、私立大学62%と、地方自治体の財政に負う公立大学は別として、国立大学が私立大学や短大よりも国から財政支援の強化を願っているのは、国立大学法人によって国からの運営交付金が減ったことによる切実さが物語っているのだろう。東京都内の私立大学の5と4の合計値が54%に対して、東京都以外では64%であった。大学の規模別についてみると、大規模48%、中規模64%、小規模68%であった。この結果から、中小規模の私立大学が大規模のそれよりも国に対する財政的支援の期待が大きいことがわかった。

**問11の授業料の無償化についての設問**では、全大学・短大において5と4の合計値は46%と、予想していたよりも高くはなかった。大学と短大を比較すると、5と4の合計は大学で46%であったのに対して短大においても47%と、違いは見られなかった。だが、5だけの数値を見ると、大学16%なのに対して短大34%とおおよそ2倍の開きがあった。大学の中を5と4の合計値で比較すると、国立大学35%、公立大学40%、私立大学51%と、私立大学が高かった。東京都内の私立大学の5と4の合計値が54%に対して東京都以外では50%で、ここに都内外の違いは認められなかった。大学の規模別についてみると、大規模42%、中規模57%、小規模52%であった。この結果から、中小規模の私立大学が大規模のそれよりも無償化に賛成の大学が多いことがわかった。

**問12の東京23区の学生定員の規制についての設問**では、全大学・短大において5と4の合計値は57%であった。大学と短大を比較すると、5と4の合計は大学で55%であったのに対して短大は78%と、明らかな違いがみられた。大学を設置形態別に5と4の合計値で比較すると、国立大学48%、公立大学63%、私立大学55%と、公立大学が高かった。東京都内の私立大学の5と4の合計値が8%に対して東京都以外では65%であった。一方、1の反対は東京都内の大学で58%、都外で3%であった。大学の規模別について5と4の合計値をみると、大規模24%、中規模70%、小規模65%であった。この結果から、中小規模の私立大学が大規模のそれよりも23

区の定員抑制に賛成の大学が多いことがわかった。

**問 13 の社会人確保についての設問**では、全大学・短大において 5 と 4 の合計値は 65%であった。大学と短大を比較すると、5 と 4 の合計は大学で 61%であったのに対して短大は 79%と、明らかに短大が積極的だった。大学を設置形態別に 5 と 4 の合計値で比較すると、国立大学 79%、公立大学 45%、私立大学 59%と、国立大学が高かった。東京都内の私立大学の 5 と 4 の合計値が 54%に対して東京都以外では 60%とそれほどの違いはなかった。大学の規模別について 5 と 4 の合計値をみると、大規模 63%、中規模 63%、小規模 56%であった。以上の結果から、短大と国立大学の社会人確保に対する積極性がわかった。

**問 14 の留学生確保についての設問**では、全大学・短大において 5 と 4 の合計値は 52%であり、社会人確保よりも 13 ポイント消極的な姿勢であった。大学と短大を比較すると、5 と 4 の合計は大学で 58%であったのに対して短大は 34%と、短大が消極的だった。短大にとっては、日本の社会人よりも留学生を支援することの方が敷居が高いのであろう。大学を設置形態別に 5 と 4 の合計値で比較すると、国立大学 83%、公立大学 45%、私立大学 52%と、社会人確保とともに国立大学が積極的であることがわかった。東京都内の私立大学の 5 と 4 の合計値が 54%に対して東京都以外では 52%とそれほどの違いはなかった。大学の規模別について 5 と 4 の合計値をみると、大規模 63%、中規模 64%、小規模 44%であった。短大と同様に小規模大学においても留学生の確保に消極的であった。

**問 15 の過去 5 年間の学生定員の削減についての設問**では、全大学・短大において 5 と 4 の合計値は 20%であった。大学と短大を比較すると、5 と 4 の合計は大学で 19%であったのに対して短大は 24%と、若干短大が高かった。大学を設置形態別に 5 と 4 の合計値で比較すると、国立大学 28%、公立大学 0%、私立大学 19%と、国立大学が高かったことがわかった。東京都内の私立大学の 5 と 4 の合計値が 0%に対して東京都以外では 23%と、東京都内はまったく定員減をしていないことがわかった。大学の規模別について 5 と 4 の合計値をみると、大規模 6%、中規模 19%、小規模 26%であった。規模が小さくなるほど学生定員を縮小したことがわかった。

**問 16 のこれから 5 年間の学生定員の削減についての設問**では、全大学・短大において 5 と 4 の合計値は 5%と低かった。だが、3 の不確定が 26%もあった。大学と短大を比較すると、5 と 4 の合計は大学で 5%であったのに対して短大は 8%であった。3 の未定は、大学で 23%、短大で 36%と短大の方が多かった。この設問は答えづらいものだったのかもしれない。大学を設置形態別に 5 と 4 の合計値で比較すると、国立大学 9%、公立大学 0%、私立大学 6%と、いずれも低かった。不確定の 3 は、国立大学 26%、公立大学 6%、私立大学 26%と公立大学以外は高かった。東京都内の私立大学の 5 と 4 の合計値が 4%で東京都以外では 6%であった。3 の未定は、都内で 17%、都以外で 28%であった。大学の規模別について 5 と 4 の合計値をみると、大規模 3%、中規模 10%、小規模 5%であった。不確定の 3 は、大規模 17%、中規模 30%、小規模 29%と、小中規模の大学の方が削減する可能性を残していることがわかった。

**問 17 のこの 5 年間に学部・学科改編を実施したかという設問**では、全大学・短大において 5 は 53%と半数の大学が行っていた。大学と短大を比較すると、5 は大学で 56%であったのに対して短大は 4%であった。短大は 4 の値も 20%で、4 が 0%であった大学と比較すると、短大は学部・学科改組をほとんどしていないことがわかった。大学を設置形態別に 5 で比較すると、国立大学 67%、公立大学 29%、私立大学 58%と、公立大学で低かった。東京都内の私立大学の 5 は 62%で東京都以外では 58%であった。大学の規模別について 5 の値をみると、大規模 77%、中規模 73%、小規模 34%であった。小規模の私立大学が学部・学科改組していないことが判明した。

**問 18 の建物の新增設の設問**では、全大学・短大において 5 は 42%であった。大学と短大を比較すると、5 は大学で 46%であったのに対して短大は 30%であった。大学を設置形態別に 5 で比較すると、国立大学 41%、公立大学 34%、私立大学 50%と、私立大学が高かった。東京都内の私立大学の 5 は 75%で東京都以外では 45%

であった。大学の規模別について5の値をみると、大規模80%、中規模60%、小規模33%であった。規模が小さくなるほど建物の新增設をしていない傾向がみられた。小規模校と短大の数値はほとんど同じだった。

**問19の図書館や教室などの充実の設問**では、全大学・短大において5と4の合計値は76%であった。大学と短大を比較すると、5と4の合計値は大学で78%であったのに対して短大は67%であった。短大が11ポイント低かった。大学を設置形態別に5と4の合計値で比較すると、国立大学89%、公立大学60%、私立大学79%と、国立大学が高く、公立大学が低かった。東京都内の私立大学の5と4の合計値は96%で東京都以外では76%であった。東京都内の私立大学の教室等の充実ぶりがうかがえる。大学の規模別について5と4の合計値をみると、大規模100%、中規模79%、小規模70%であった。規模が小さくなるほど教室等のハード面の改装が進んでいない傾向がみられた。小規模校と短大の数値はほとんど同じだった。

**問20の学生確保のための広報の設問**では、5を付けた大学・短大は少なかった。全大学・短大において5と4の合計値は43%であった。大学と短大を比較すると、5と4の合計値は大学で42%であったのに対して短大は45%と、両者の間にそれほどの違いはみられなかった。大学を設置形態別に5と4の合計値で比較すると、国立大学52%、公立大学29%、私立大学42%と、国立大学が高く、公立大学が低かった。東京都内の私立大学の5と4の合計値は54%で東京都以外では40%であった。大学の規模別について5と4の合計値をみると、大規模40%、中規模53%、小規模30%であった。中規模校でもっとも高く、小規模校で最も低い値が示された。

**問22の教育改善・改革の進み具合の設問**では、全大学・短大において5と4の合計値は78%であった。大学と短大を比較すると、5と4の合計値は大学で89%であったのに対して短大は73%と、短大の方が16ポイントも低かった。大学を設置形態別に5と4の合計値で比較すると、国立大学87%、公立大学79%、私立大学77%と、国立大学が高かった。東京都内の私立大学の5と4の合計値は88%で東京都以外では74%であった。大学の規模別について5と4の合計値をみると、大規模68%、中規模80%、小規模80%であった。大規模校よりも小中規模校で高い値が示された。

**問23のFDの設問**では、全大学・短大において5と4の合計値は91%であった。大学と短大を比較すると、5と4の合計値は大学で91%であったのに対して短大は89%であった。大学を設置形態別に5と4の合計値で比較すると、国立大学91%、公立大学86%、私立大学92%であった。東京都内の私立大学の5と4の合計値は92%で東京都以外では92%であった。大学の規模別について5と4の合計値をみると、大規模89%、中規模97%、小規模89%であった。FDにおいては、設置形態、地域、規模の顕著な違いは見られなかった。

**問25のSDの設問**では、全大学・短大において5と4の合計値は79%であった。大学と短大を比較すると、5と4の合計値は大学で78%であったのに対して短大は83%であった。大学を設置形態別に5と4の合計値で比較すると、国立大学76%、公立大学60%、私立大学82%であった。東京都内の私立大学の5と4の合計値は88%で東京都以外では81%であった。大学の規模別について5と4の合計値をみると、大規模77%、中規模94%、小規模81%であった。まだSDはFDよりも実施されていないことがわかった。これは法制化の時期の違いが大きく作用しているのかもしれない。

**問27の大学間連携の設問**では、全大学・短大において5と4の合計値は45%であった。大学と短大を比較すると、5と4の合計値は大学で44%であったのに対して短大は51%で、短大の方が若干大学間連携を利用して割合が高いことがわかった。大学を設置形態別に5と4の合計値で比較すると、国立大学59%、公立大学40%、私立大学40%であった。東京都内の私立大学の5と4の合計値は54%で東京都以外では36%であった。都内の方が大学間連携を活用していることがわかった。大学の規模別について5と4の合計値をみると、大規模48%、中規模40%、小規模39%であった。大規模校の方が大学間連携を活用していることが判明した。

**問28のIRの設問**では、全大学・短大において5と4の合計値は66%であった。大学と短大を比較すると、5と4の合計値は大学で66%であったのに対して短大は65%で、両者にほとんど違いはみられなかった。大学を

設置形態別に5と4の合計値で比較すると、国立大学85%、公立大学32%、私立大学68%であった。公立大学が著しく低いのがわかる。東京都内の私立大学の5と4の合計値は79%で東京都以外では66%であった。都内の方がIRを推進していることがわかった。大学の規模別について5と4の合計値をみると、大規模77%、中規模77%、小規模61%であった。小規模校は比較的IRを推進できていないが判明した。

**問29のリメディアル教育の設問**では、全大学・短大において5と4の合計値は36%であった。大学と短大を比較すると、5と4の合計値は大学で37%であったのに対して短大は33%で、両者にあまり違いはみられなかった。大学を設置形態別に5と4の合計値で比較すると、国立大学46%、公立大学37%、私立大学34%であった。国立大学が比較的高かった。東京都内の私立大学の5と4の合計値は29%で東京都以外では35%であった。都内の方が低かった。私立大学の規模別について5と4の合計値をみると、大規模23%、中規模44%、小規模35%であった。大規模校で難渋し、中規模校では国立大学なみに比較的うまくいっていることがわかった。

**問31の初年次教育の設問**では、全大学・短大において5と4の合計値は68%であった。大学と短大を比較すると、5と4の合計値は大学で71%であったのに対して短大は58%で、短大が13ポイント低かった。大学を設置形態別に5と4の合計値で比較すると、国立大学85%、公立大学71%、私立大学65%であった。私立大学が比較的低かった。東京都内の私立大学の5と4の合計値は79%で東京都以外では63%であった。都外の方が16ポイント低かった。私立大学の規模別について5と4の合計値をみると、大規模62%、中規模73%、小規模64%であった。中規模校は比較的うまくいっていることがわかった。

**問33の教養教育の設問**では、全大学・短大において5と4の合計値は61%であった。大学と短大を比較すると、5と4の合計値は大学で61%であったのに対して短大は60%で、両者に差はなかった。大学を設置形態別に5と4の合計値で比較すると、国立大学83%、公立大学71%、私立大学51%であった。私立大学がもっとも低かった。東京都内の私立大学の5と4の合計値は63%で東京都以外では49%であった。都外の方が14ポイント低かった。私立大学の規模別について5と4の合計値をみると、大規模48%、中規模43%、小規模56%であった。小規模校が中大規模校よりも若干うまくいっていることがわかった。

**問35の専門教育の設問**では、全大学・短大において5と4の合計値は85%であった。大学と短大を比較すると、5と4の合計値は大学で83%であったのに対して短大は91%で、短大の方が8ポイント高かった。大学を設置形態別に5と4の合計値で比較すると、国立大学91%、公立大学92%、私立大学79%であった。私立大学がもっとも低かった。東京都内の私立大学の5と4の合計値は92%で東京都以外では76%であった。都外の方が16ポイント低かった。私立大学の規模別について5と4の合計値をみると、大規模77%、中規模87%、小規模77%であった。中規模校で相対的にうまくいっていることがわかった。

**問37のアクティブラーニングの学内定着の設問**では、全大学・短大において5と4の合計値は49%であった。大学と短大を比較すると、5と4の合計値は大学で49%であったのに対して短大は48%で、ほとんど同じだった。大学を設置形態別に5と4の合計値で比較すると、国立大学63%、公立大学49%、私立大学45%であった。国立大学がもっとも高かった。東京都内の私立大学の5と4の合計値は54%で東京都以外では43%であった。都外の方が11ポイント低かった。私立大学の規模別について5と4の合計値をみると、大規模46%、中規模47%、小規模49%であった。規模による違いはほとんどなかった。

**問38のアクティブラーニングの授業数の増加の設問**では、全大学・短大において5と4の合計値は63%であった。大学と短大を比較すると、5と4の合計値は大学で67%であったのに対して短大は52%で、短大が15ポイント低かった。大学を設置形態別に5と4の合計値で比較すると、国立大学85%、公立大学49%、私立大学65%で、国立大学が顕著に高かった。東京都内の私立大学の5と4の合計値は79%で東京都以外では63%であった。都外の方が16ポイント低かった。私立大学の規模別について5と4の合計値をみると、大規模74%、中規模73%、小規模59%であった。小規模校が低かった。

**問 39 の地域と連携した授業の設問**では、全大学・短大において 5 と 4 の合計値は 69%であった。大学と短大を比較すると、5 と 4 の合計値は大学で 68%であったのに対して短大は 73%で、短大が 5 ポイント高かった。大学を設置形態別に 5 と 4 の合計値で比較すると、国立大学 74%、公立大学 86%、私立大学 62%で、公立大学が高かった。東京都内の私立大学の 5 と 4 の合計値は 67%で東京都以外では 61%であった。都外の方が 6 ポイント低かった。私立大学の規模別について 5 と 4 の合計値をみると、大規模 74%、中規模 57%、小規模 59%であった。大規模校が高かった。

**問 40 の地域と連携した事業の設問**では、全大学・短大において 5 と 4 の合計値は 85%であった。大学と短大を比較すると、5 と 4 の合計値は大学で 85%であったのに対して短大は 88%で、ほぼ同じだった。大学を設置形態別に 5 と 4 の合計値で比較すると、国立大学 91%、公立大学 91%、私立大学 80%で、私立大学が他の 2 つよりも 11 ポイント低かった。東京都内の私立大学の 5 と 4 の合計値は 79%で東京都以外では 81%で、ほぼ同じだった。私立大学の規模別について 5 と 4 の合計値をみると、大規模 88%、中規模 87%、小規模 74%であった。小規模校が低かった。

**問 41 の学生の主体的な学びの設問**では、全大学・短大において 5 と 4 の合計値は 86%であった。大学と短大を比較すると、5 と 4 の合計値は大学で 87%であったのに対して短大は 81%であった。大学を設置形態別に 5 と 4 の合計値で比較すると、国立大学 96%、公立大学 91%、私立大学 83%で、私立大学が他の 2 つよりも低かった。東京都内の私立大学の 5 と 4 の合計値は 92%で東京都以外では 82%で、都外で 10 ポイント低かった。私立大学の規模別について 5 と 4 の合計値をみると、大規模 83%、中規模 90%、小規模 82%であった。中規模校が高かった。

**問 43 の学修成果等アンケートの設問**では、全大学・短大において 5 と 4 の合計値は 80%であった。大学と短大を比較すると、5 と 4 の合計値は大学で 80%であったのに対して短大は 79%であった。大学を設置形態別に 5 と 4 の合計値で比較すると、国立大学 86%、公立大学 74%、私立大学 79%であった。東京都内の私立大学の 5 と 4 の合計値は 83%で東京都以外では 76%で、都外 7 ポイント低かった。私立大学の規模別について 5 と 4 の合計値をみると、大規模 75%、中規模 80%、小規模 76%であった。中規模校がわずかに高かった。

**問 44 の学修成果の可視化の設問**では、全大学・短大において 5 と 4 の合計値は 65%であった。大学と短大を比較すると、5 と 4 の合計値は大学で 66%であったのに対して短大は 58%であった。大学を設置形態別に 5 と 4 の合計値で比較すると、国立大学 83%、公立大学 66%、私立大学 61%で、国立大学が高かった。東京都内の私立大学の 5 と 4 の合計値は 63%で東京都以外では 61%で、両者に違いはほとんどなかった。私立大学の規模別について 5 と 4 の合計値をみると、大規模 66%、中規模 60%、小規模 61%であった。規模による違いはほとんどなかった。

**問 46 の教育の質保証の設問**では、全大学・短大において 5 と 4 の合計値は 79%であった。大学と短大を比較すると、5 と 4 の合計値は大学で 79%であったのに対して短大は 78%であった。大学を設置形態別に 5 と 4 の合計値で比較すると、国立大学 96%、公立大学 77%、私立大学 74%で、国立大学で顕著に高かった。東京都内の私立大学の 5 と 4 の合計値は 88%で東京都以外では 71%で、都外は 17 ポイントも低かった。私立大学の規模別について 5 と 4 の合計値をみると、大規模 83%、中規模 73%、小規模 70%であった。大規模校が高かった。

**問 48 の教育改善のシステムの設問**では、全大学・短大において 5 と 4 の合計値は 54%であった。大学と短大を比較すると、5 と 4 の合計値は大学で 54%であったのに対して短大は 53%であった。大学を設置形態別に 5 と 4 の合計値で比較すると、国立大学 74%、公立大学 43%、私立大学 50%で、国立大学で顕著に高かった。東京都内の私立大学の 5 と 4 の合計値は 67%で東京都以外では 47%で、都外は 20 ポイントも低かった。私立大学の規模別について 5 と 4 の合計値をみると、大規模 54%、中規模 47%、小規模 49%であった。規模による違いはそれほど認められなかった。

**問 49 の本拠点の利用の設問**では、全大学・短大において 5 と 4 の合計値は 21%であった。大学と短大を比較すると、5 と 4 の合計値は大学で 19%であったのに対して短大は 22%であった。大学を設置形態別に 5 と 4 の合計値で比較すると、国立大学 24%、公立大学 19%、私立大学 19%で、国立大学でわずかに高かった。東京都内の私立大学の 5 と 4 の合計値は12%で東京都以外では 20%で、都外は 8 ポイント高かった。私立大学の規模別について 5 と 4 の合計値をみると、大規模 11%、中規模 17%、小規模 22%であった。規模の増加によって高くなった。

## まとめ

大学経営の危機感はすべての大学でしっかりと認識されているが（全大学・短大で 5 と 4 が 99%）、その中でもとりわけ短大と東京都外の私立大学が高いことがわかった。こうした大学の多くはすでに定員割れを起こしている大学・短大が含まれているのかもしれないし、その反映であるかもしれない。

学生確保の危機意識は全大学・短大でとても高かった（5 と 4 が 90%）。大学よりも短大が、国公立よりも私立大学の方が高く、特に東京都内よりも都外の大学、大規模校よりも小中規模校の方が高かった。

学内の教職員への危機感の共有もかなり浸透していることがわかった（全大学・短大で 5 と 4 が 87%）。その中でも大学（85%）よりも短大（95%）でより浸透していることがわかった。

国からの法的・財政的支援に関しては、回答にばらつきがあり、すべての大学が支援を求めているわけではないことが明らかとなった。そうした中であって、短大、東京都外、規模の小さな私立大学がそうでないところよりも国からの支援を求める傾向が強かった。経営危機の深刻さの反映であるのかもしれない。

授業料の無償化については、賛成とする意見（5 と 4）は全大学・短大のうちおよそ半数（46%）であり、半数の大学がかならずしも賛成ではないことがわかった。おそらく、国の財政的危機を考慮しての態度表明であるのかもしれない。

東京 23 区の学生定員の抑制に賛成とする意見（5 と 4）は、都内の私立大学で 8%だったのに対して都外は 65%であった。学生確保の観点から、こうした地域差の結果が現れたのは当然ともいえる。

社会人確保については、大学よりも短大が積極的であるが、私立よりも国立の方が高かった。東京都内外の差はほとんどなく、規模の大小の差もそれほど見られなかった。

留学生確保については、社会人確保よりも消極的であった。社会人確保は大学よりも積極的だった短大は、留学生確保では消極的だった。小規模校も中・大規模校よりも消極的であった。留学生の確保や教育・学生支援は、社会人よりもハードルが高いのであろう。

学生定員の削減はそれほど進行しているわけではないことがわかった。しかしその中でも、都内の私立大学がこの 5 年間でまったく削減していないのに対して、都外の 23%の大学が削減している、という地域間格差がくっきりと表れた。また、規模が小さくなるほど削減していることもわかった。

学部・学科改組は、大学よりも短大、中・大規模校よりも小規模校で低かった。学部・学科が少ない学校は、組織の改編をしづらいのであろう。

建物の新增設や教室の改築などのハード面の改善は、短大や小規模校の方が低かった。改修する既存の建物などの少なさと共に、財政的な余裕のなさがあるのかもしれない。

学生確保のための広報活動は、全大学・短大の 43%が十分であると答えている。都内よりも都外で低く、小規模校は 30%と低く、中規模校は 53%と大規模校の 40%よりも高かった。

教育改善・改革がうまくいっているかという設問には、全大学・短大の 78%がうまくいっている（5 と 4）と答えていた。なかなかうまくいっていないとは答え難いなのかもしれない。短大は大学よりも、都外（74%）は都内（88%）よりも、大規模は中小規模よりも低かった。この設問では珍しく大規模校の方が自己評価が低かった。

FDは全大学・短大の91%、SDは79%が自力で推進していると答えていた(5と4)。内実はともかくとして、法制化によってどこの大学も実施しているのである。

大学間連携の活用については、全大学・短大の45%が積極的に利用していると答えた。大学(44%)よりも短大(51%)の方が利用していた。都内の方が都外よりも、大規模の方が中小規模よりも活用していた。大学間連携は、情報が少なく財政的資源の少ない地方の小規模の大学が積極的に活用した方がいいと思うが、実際にはそうなっていないことがわかった。地方でも地域間格差が大きいのかもしれない。

IRは、全大学・短大の65%(5と4)が推進していると答えた。大学と短大に差はなかったが、都内よりも都外、中・大規模よりも小規模の方が推進できていなかった。

教育課程においては、リメディアル教育(5と4:29%)は、初年次教育(68%)、教養教育(61%)、専門教育(85%)と比較して、うまく機能しているとする回答が著しく少ないことがわかった。リメディアル教育をきちんと構築しなければ、専門教育もうまくいかないはずであるし、教育の質保証もできないのではないかと考えられる。一方で、初年次教育は大学に定着し、専門教育は学部・学科教育の根幹をなすので高い値であることは容易に理解できる。もっと教育課程の有機的な連関が求められるのではなかろうか。

全大学・短大のアクティブラーニングの定着率は49%(5と4)で、授業数を拡大するところは63%であった。定着率と授業数拡大はいずれも都内よりも都外が低かった。

地域と連携した授業を開講している大学は、全大学・短大の69%であった。都内よりも都外の方が低かった。大規模校よりも小規模校の方が低かった。

地域と連携した事業の開設は、全大学・短大の85%であり、授業の開講よりも多かった。都内と都外はほぼ同じであった。小規模校の方が低かった。地方の大学は地域と連携した方策を求められる時代にあっても、まだそれがうまくいっていないのが現状であることがわかった。また、小規模の大学が推進できていないことは、リソースが限られていて、新たな展開ができずにいないのかもしれない。

学生の主体的な学びが推進されているかと聞くと、全大学・短大の86%がそうだと答えている。だが、都内よりも都外の方が低かった。中規模が他の規模よりも高かった。

学修成果等アンケートの実施については、全大学・短大で80%が実施していると答えた。だが、都内よりも都外の方が低かった。中規模が他の規模よりも高かった。

学修成果の可視化については、全大学・短大で65%が取り組んでいると答えた。ここでは、都内外、規模による違いは見られなかった。

教育の質保証については、全大学・短大で79%が取り組んでいると答えた。都外は都内よりも17ポイントも低かった。大規模校が他よりも高かった。

教育改善システムは、全大学・短大のうち54%がうまく回っていると答えている。この数値は、上記の78%が教育改善・改革がうまくいっているとした回答の数値とはかなりかけ離れていることに驚く。どちらが実態を反映しているのだろうか。教育改善・改革がうまくいっているとした回答は都外(74%)が都内(88%)よりも14ポイント低かったが、教育改善システムではその差が広がり、都外(47%)が都内(67%)よりも20ポイントも低かった。

## 結果の要約

大学経営の危機意識は地方の短大を含めた小規模校で高く、それは教職員間で広く共有されていた。実際に学生定員を削減しているところも多かった。だが、小規模ゆえに学部・学科改組、建物の教室の改修はあまり行われていなかった。学生確保の手段として、小規模校は社会人の確保に比較的積極的であるが、留学生についてはそれほど積極的ではなかった。留学生の教育支援システムを確立するにはリソースが十分でないことが大きな理

由ではないだろうか。

地方小規模校こそが必要に迫られているはずなのに、学生確保のための広報活動がうまくいっていない。結果が出せずに苦しんでいるのかもしれない。さらに、必要とされている地域との連携授業や事業も都内よりも弱いことがわかった。「学生の主体的な学び」、「学修成果等アンケート」、「学修成果の可視化」、「教育の質保証」などの現代的教育課題に対しても、情報の入り方が弱いのか、それとも対策が遅いのか、いずれにしても危機感とは裏腹に実行力の低さがうかがわれた。

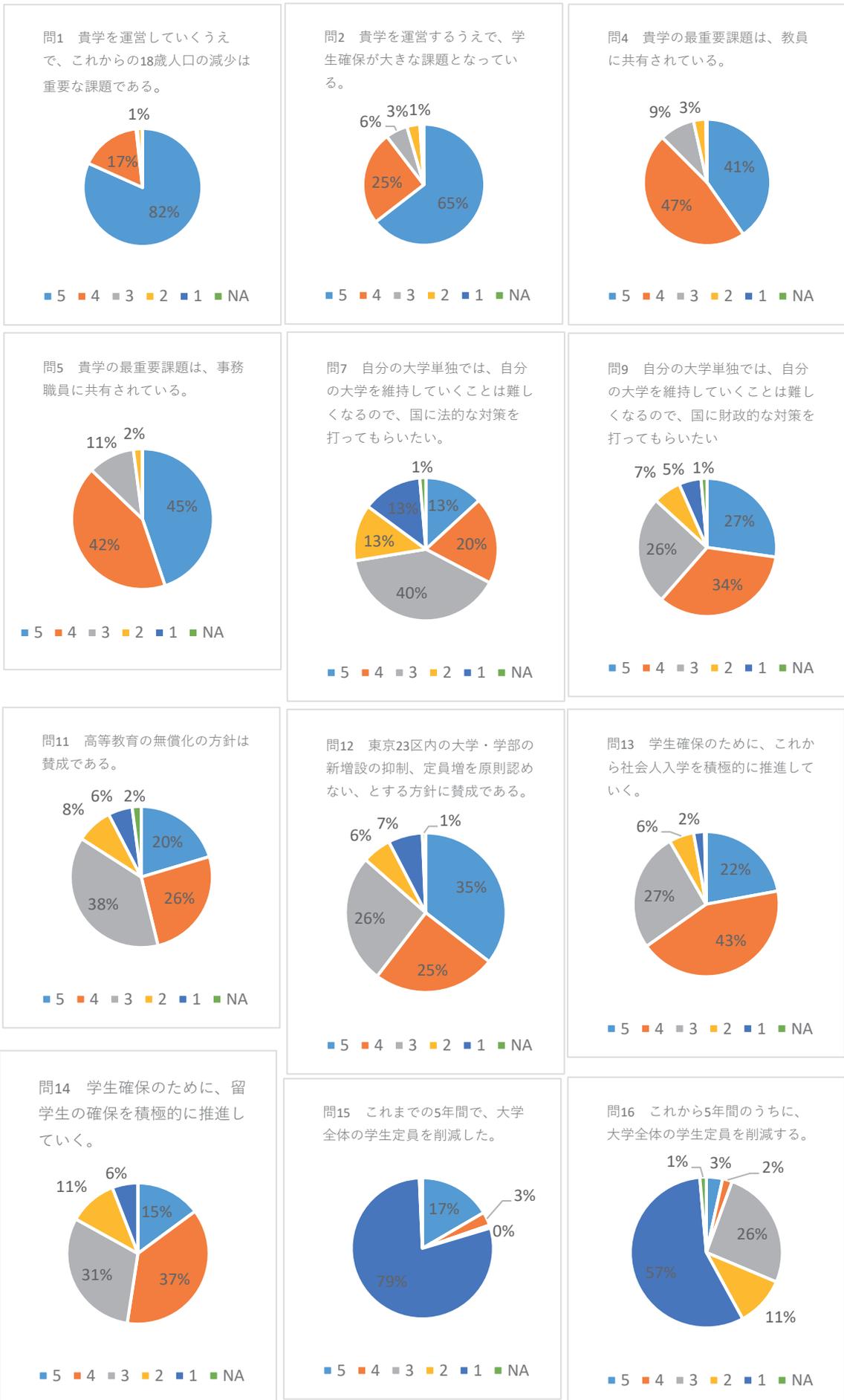
最後になるが、設置形態別に見ると、国立大学は公立・私立大学よりも教育改善・改革が進んでいることが改めてわかった。だが、国からの財政支援を一番望んでいるのも国立大学であった。また、公立大学は財政的かつ学生獲得においても安定しているからか、国立や私立に比べて教育改善や改革が進んでいないことがうかがわれた。

危機感だけでは何も解決はしない。都市部は激しい競争的環境にあって、積極的に情報を仕入れ、対策を打っているようである。地方も積極的に打って出る必要がある。そのためにも、大学間連携を積極的に活用した方がいいのではないだろうか。

我々の拠点を活用する意志を表明してくれた大学・短大が21%あった。これは我々が当初予想した数値よりも大きかった。ありがたいことである。我々はこの数値が上がり、実際に教育改善・改革の成果が出るように支援の輪を広げていきたい。

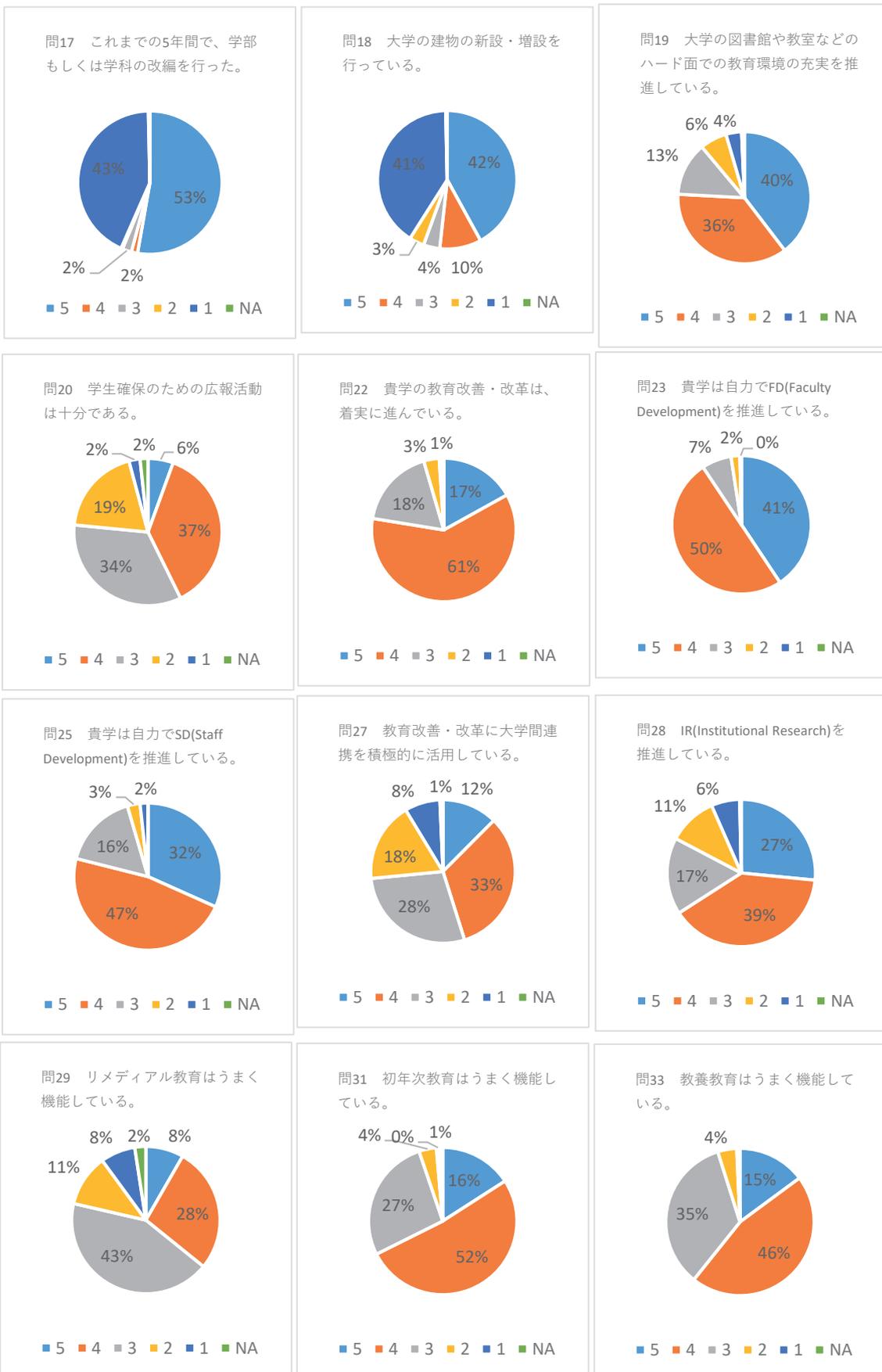
## おわりに

各大学の生き残りは、全体の一般的傾向がどこまで参考になるのかわからない。我々は、アンケートに答えてくれた大学の自由記述を参考にしながら、大学訪問をし、学長などと面談して、各大学・短大の発展に尽力していきたいと考えている。



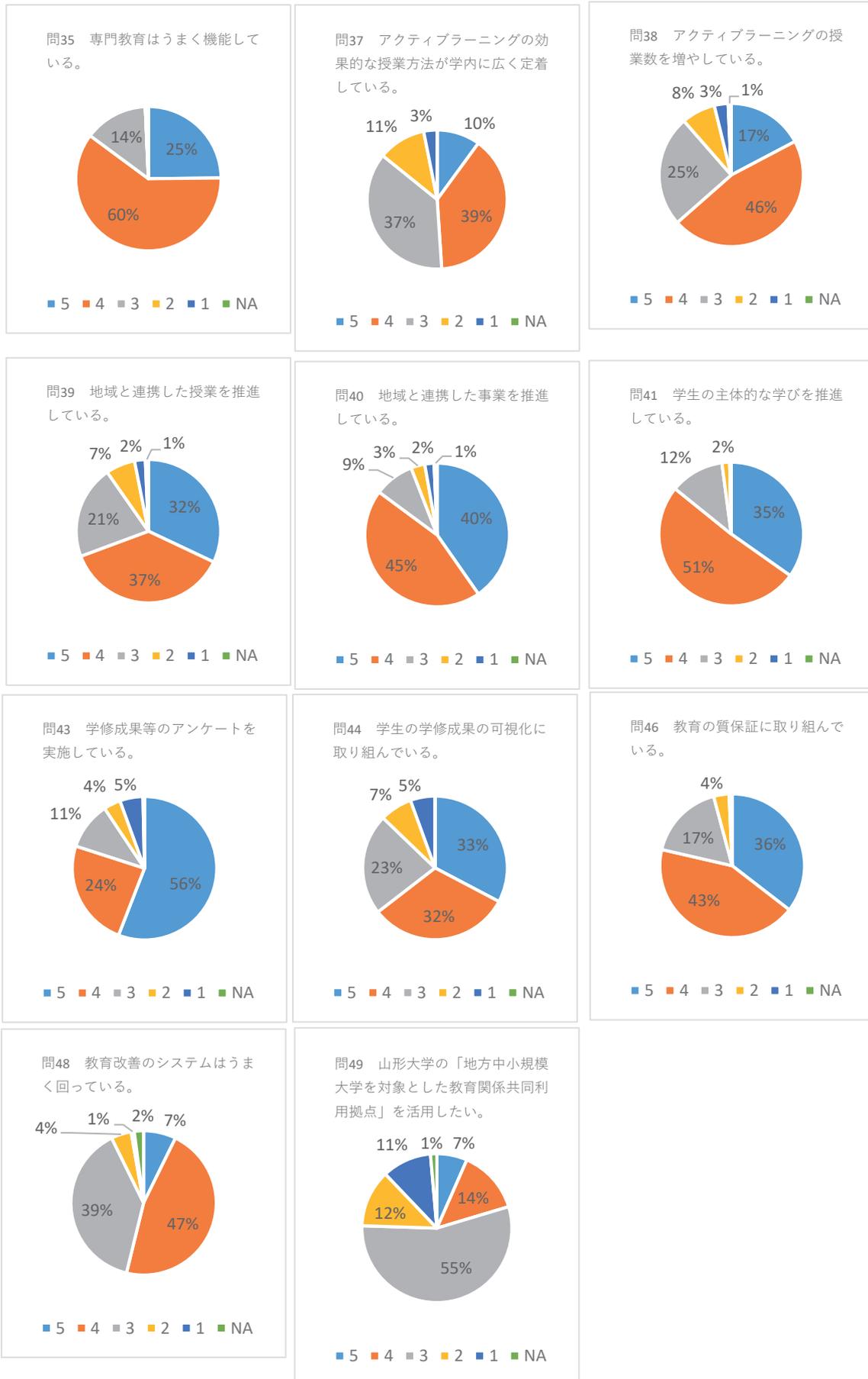
平成29年度 教育関係共同利用拠点

「地方中小規模大学の教育実践力の開発・向上を支援する連携・体験型拠点」事業アンケート

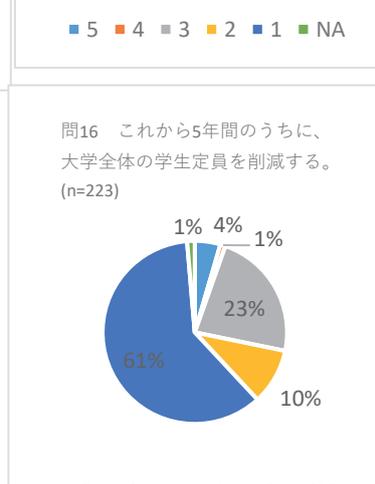
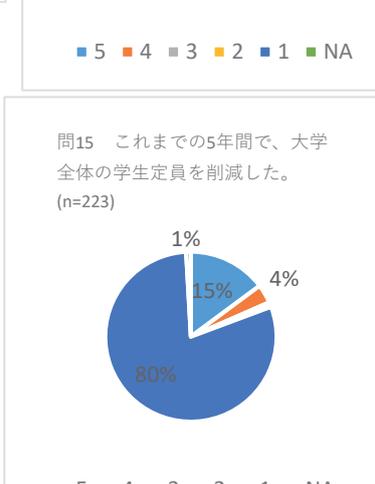
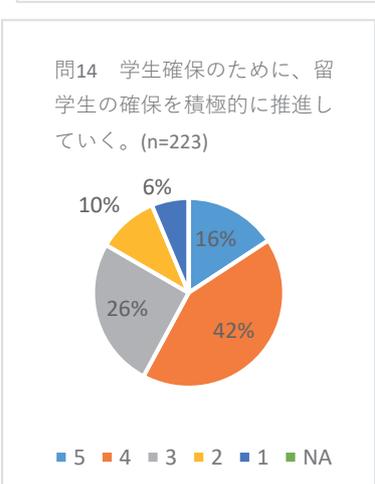
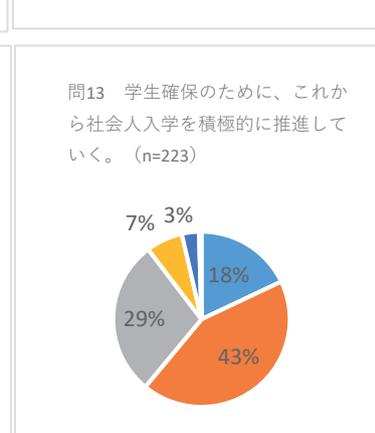
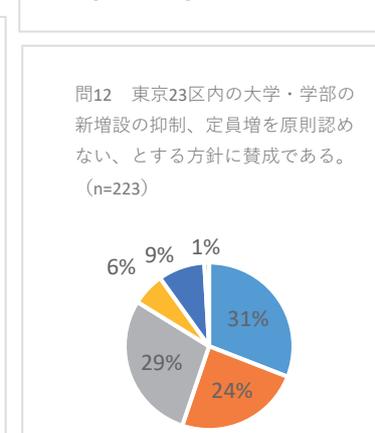
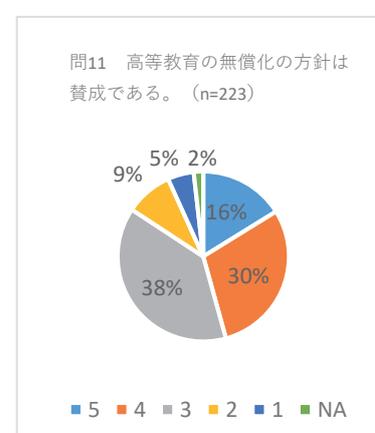
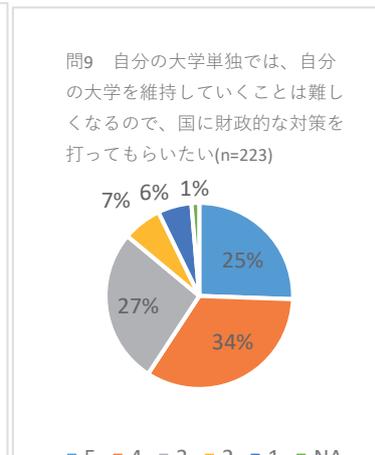
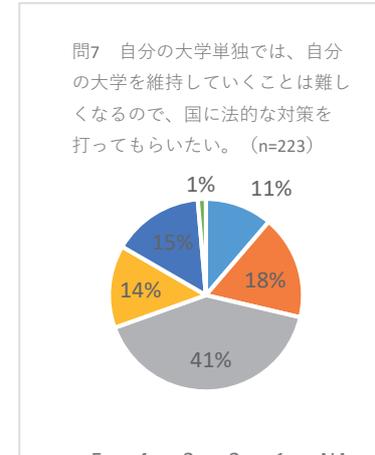
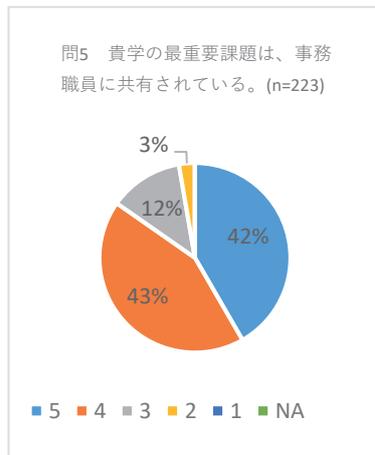
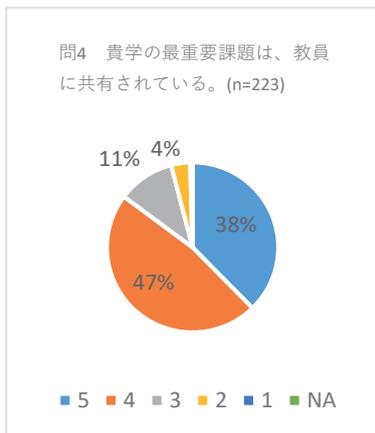
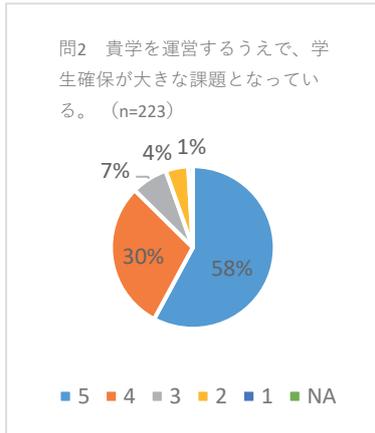
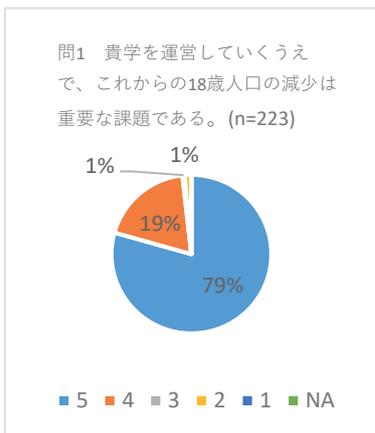


平成29年度 教育関係共同利用拠点

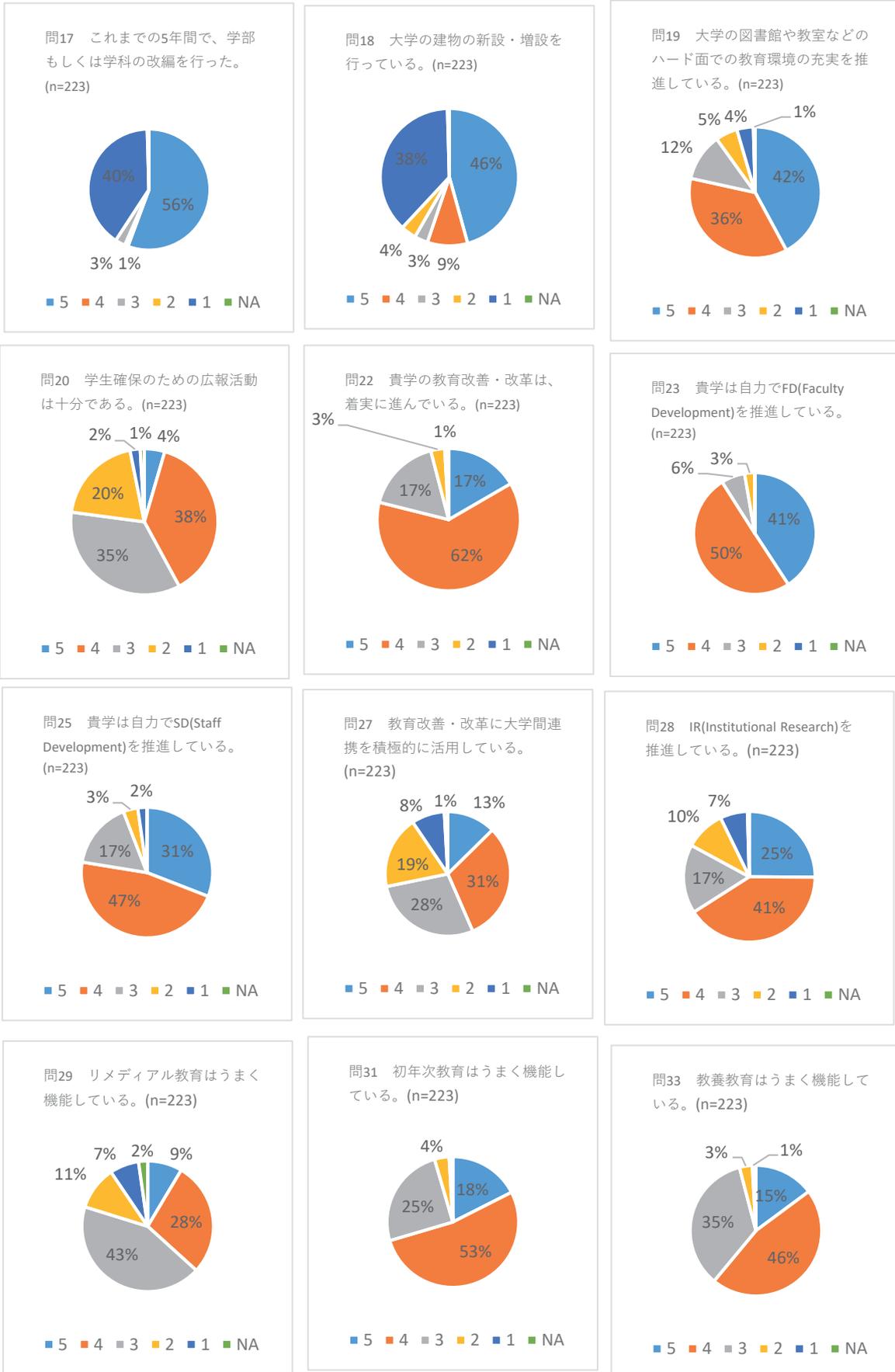
「地方中小規模大学の教育実践力の開発・向上を支援する連携・体験型拠点」事業アンケート



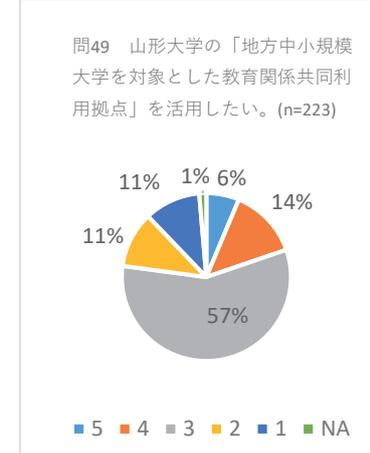
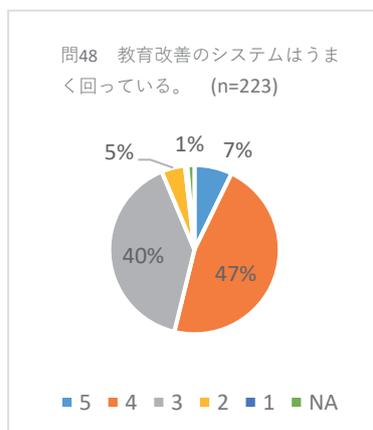
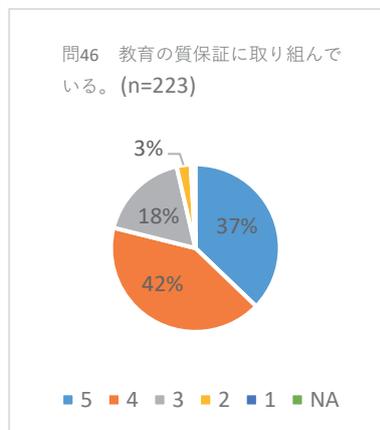
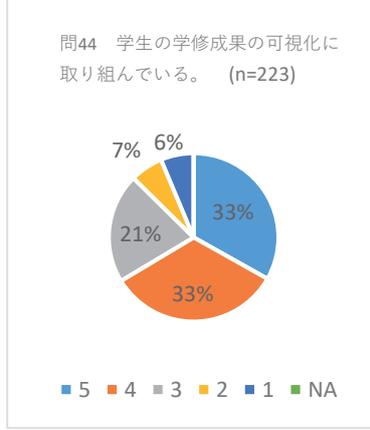
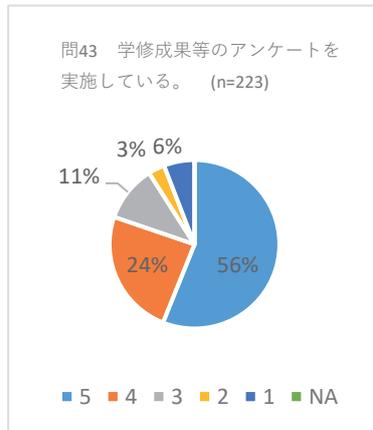
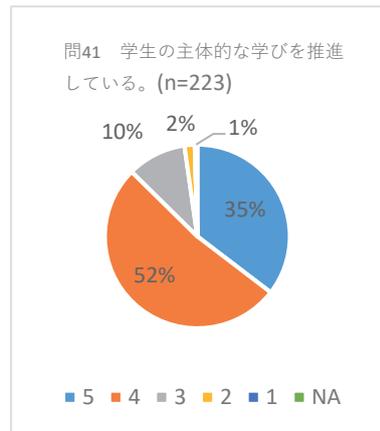
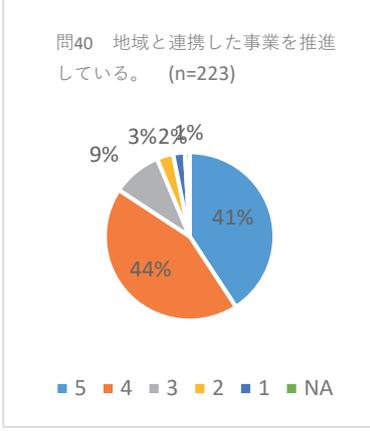
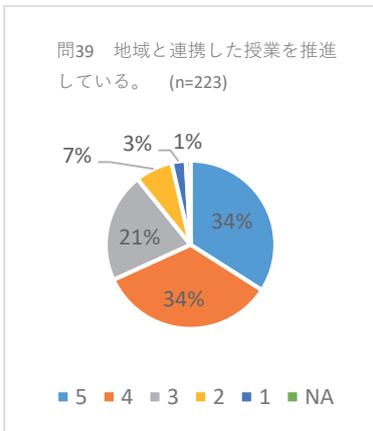
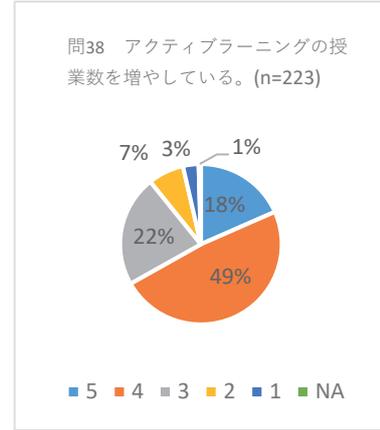
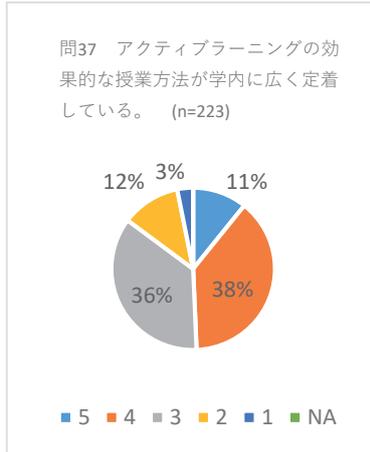
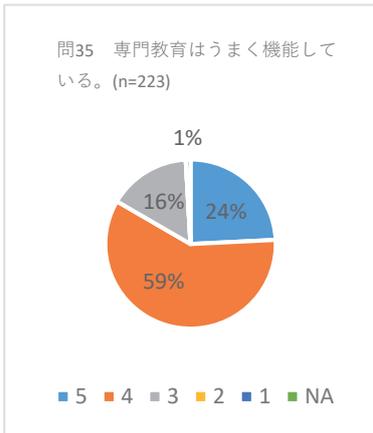
【 全国 大学 】



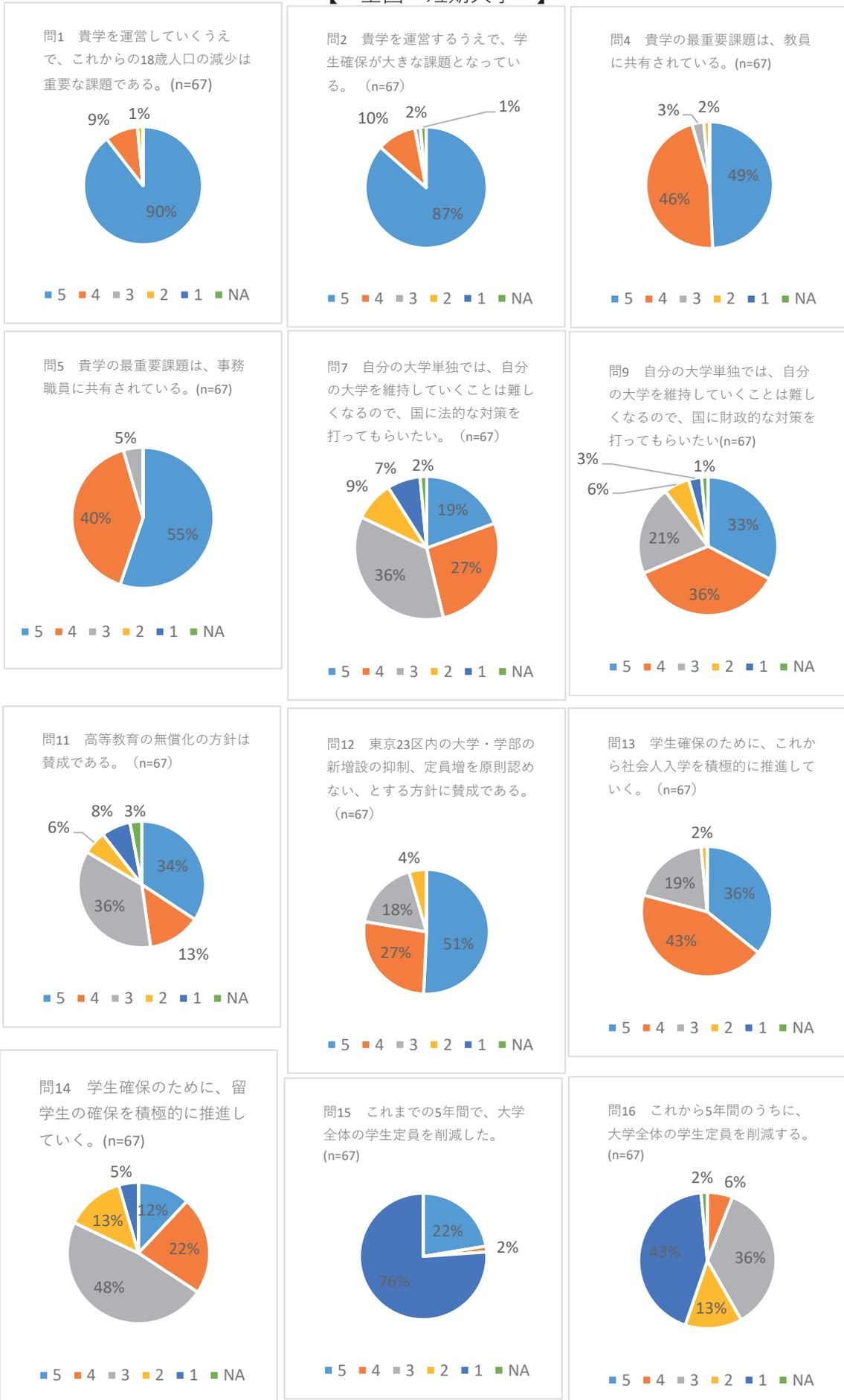
【 全国 大学 】



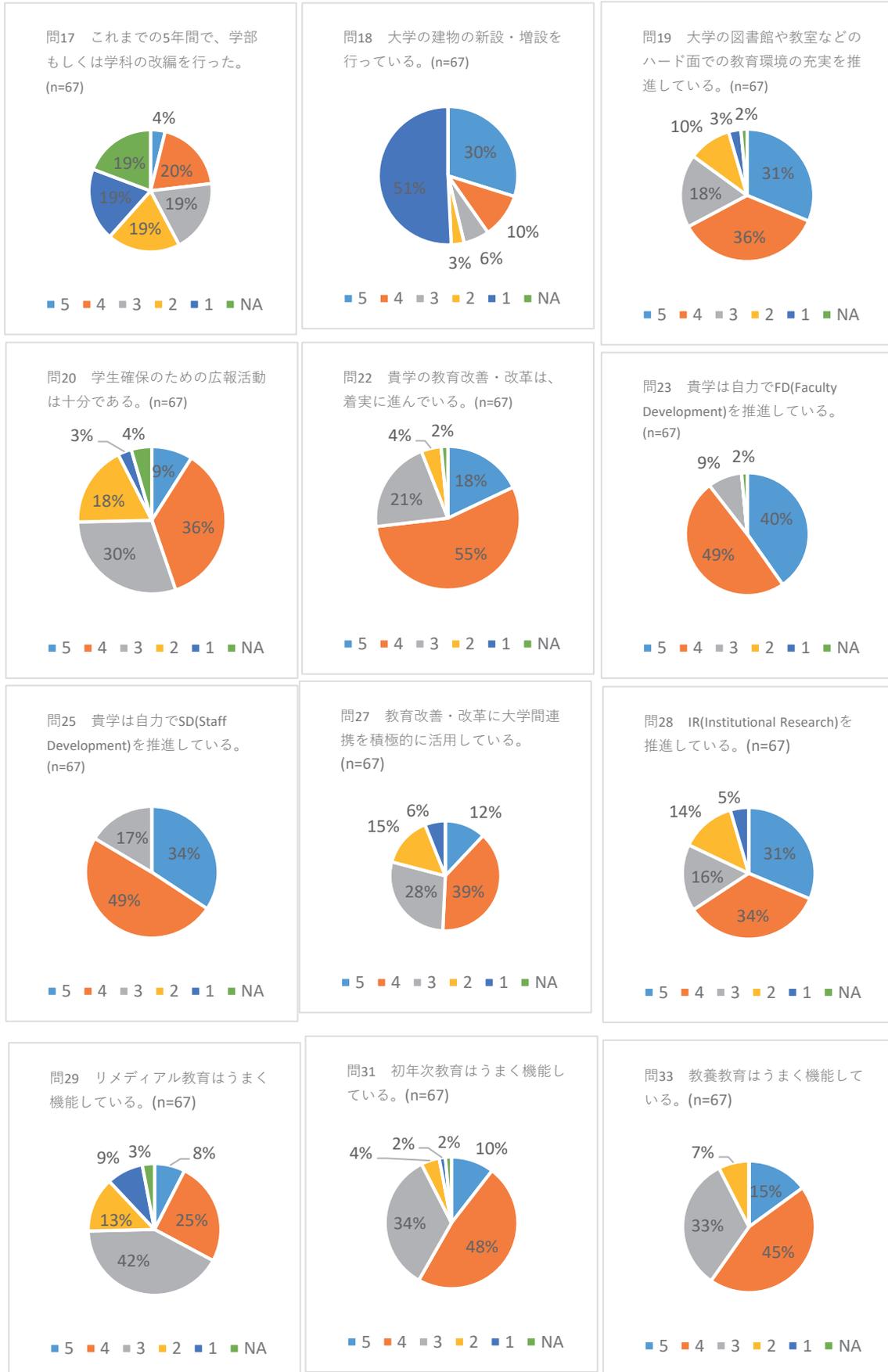
【 全国 大学 】



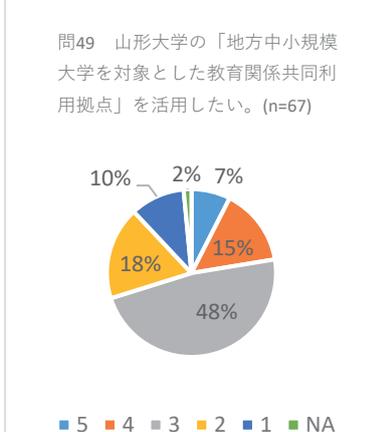
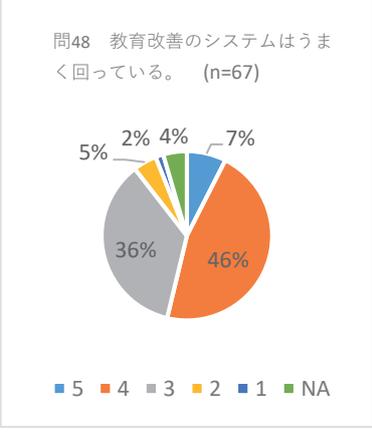
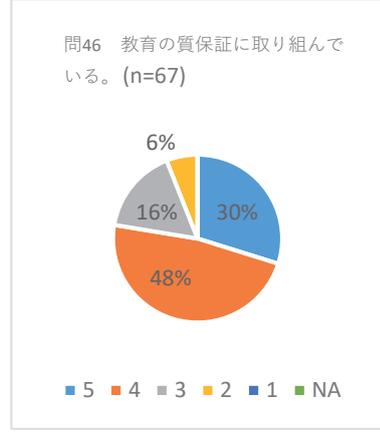
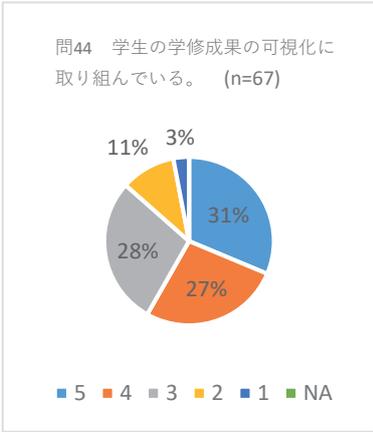
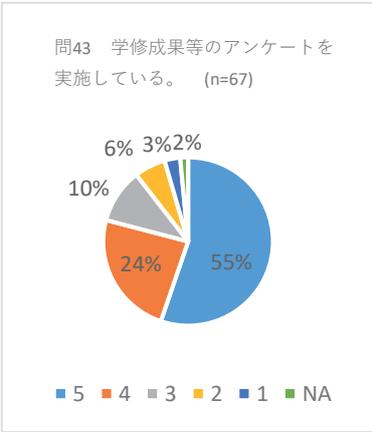
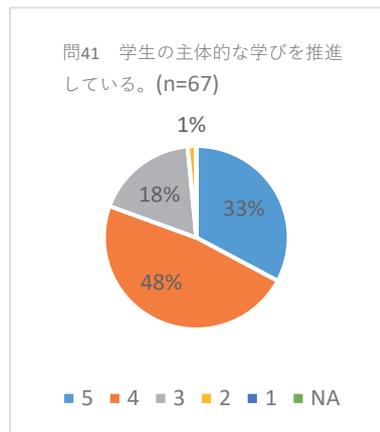
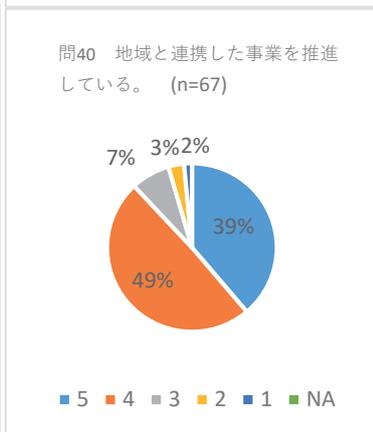
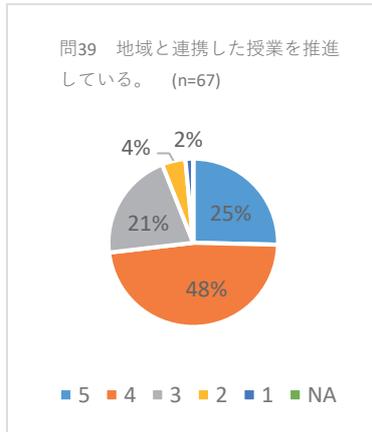
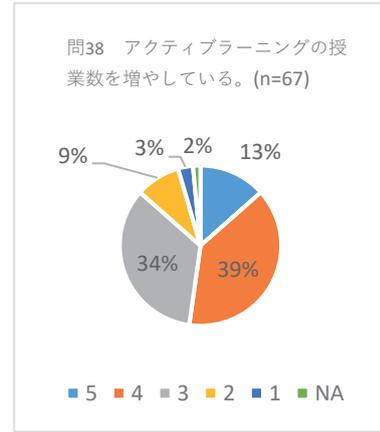
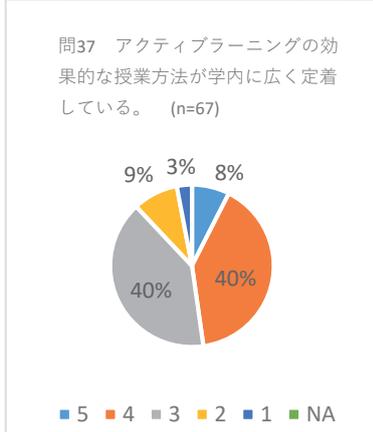
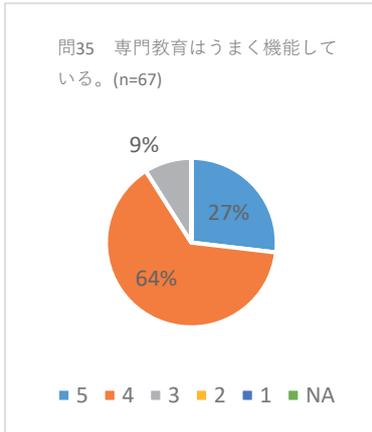
【 全国 短期大学 】



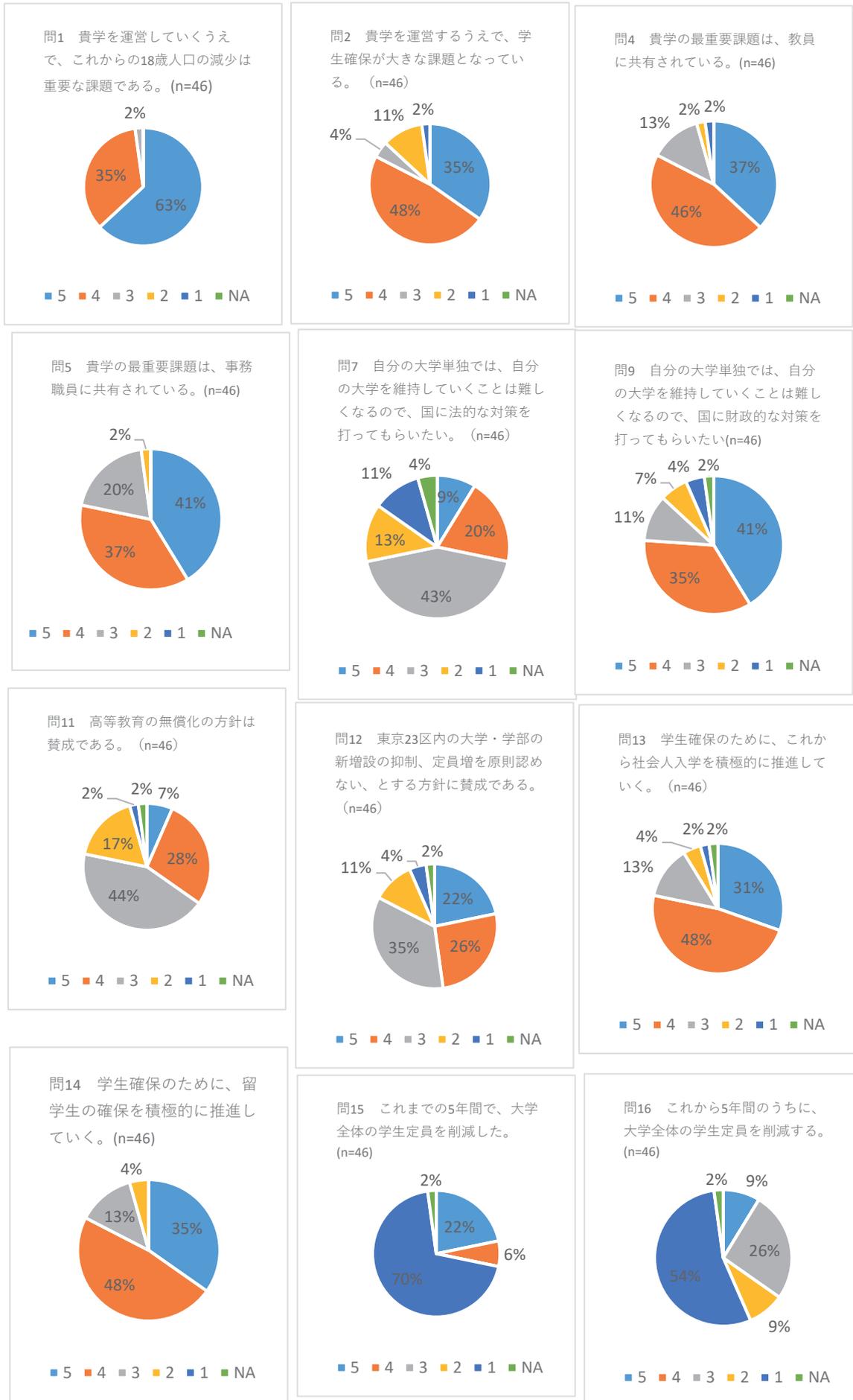
【 全国 短期大学 】



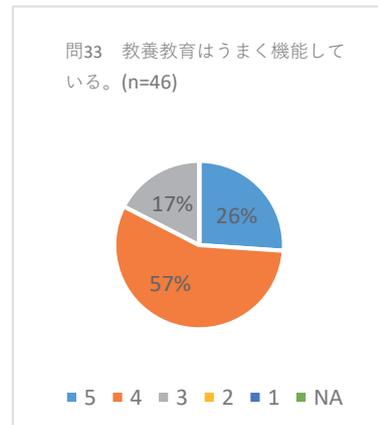
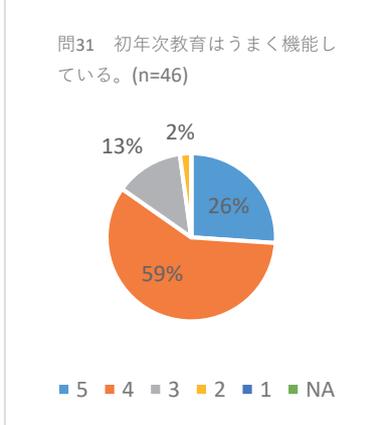
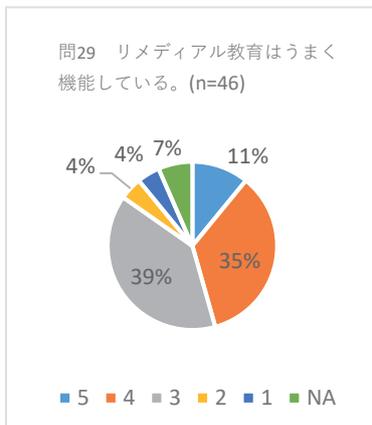
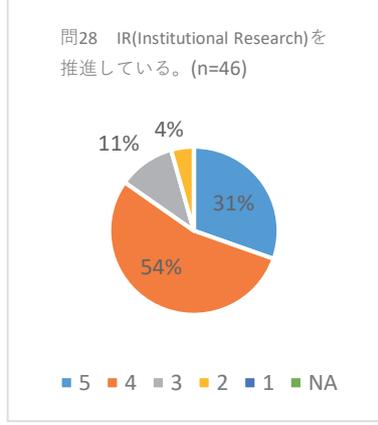
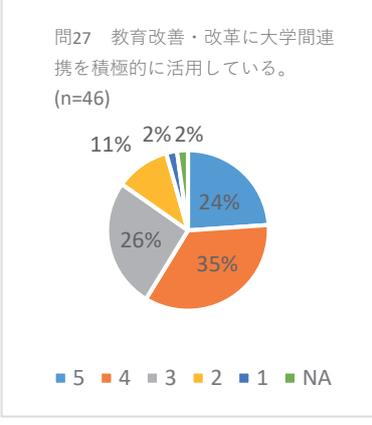
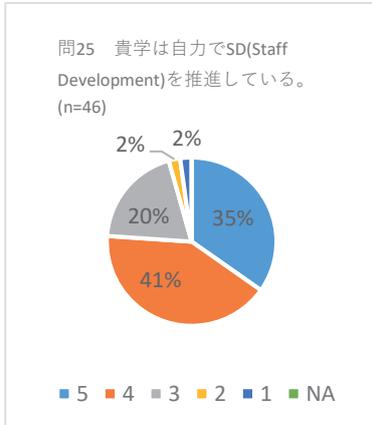
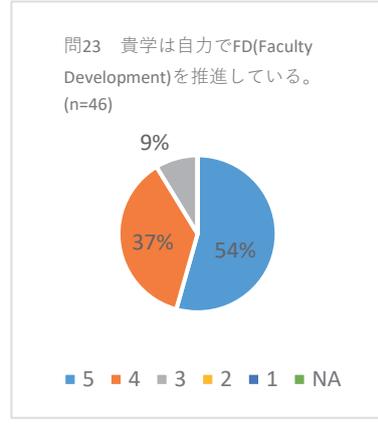
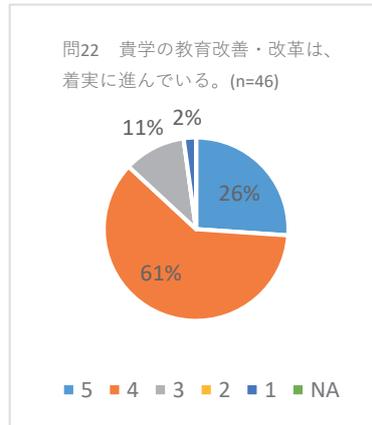
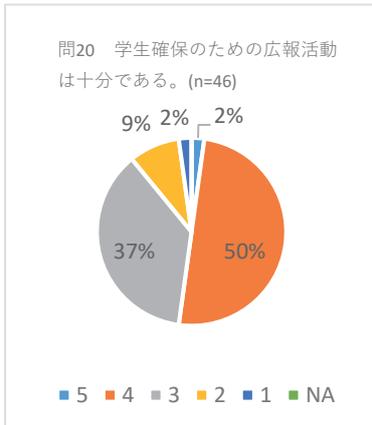
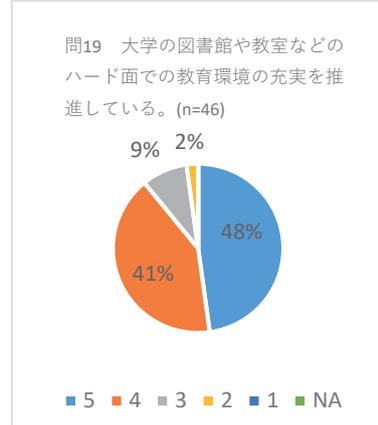
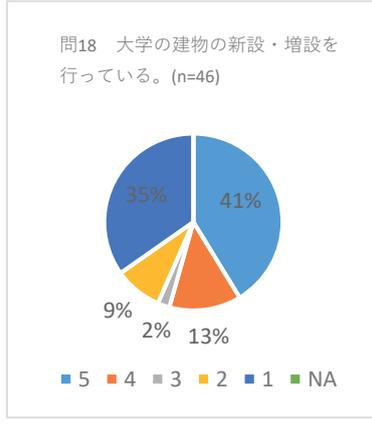
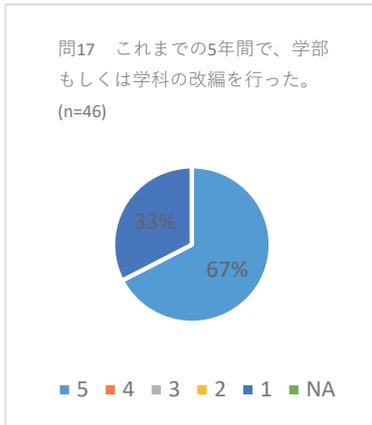
【 全国 短期大学 】



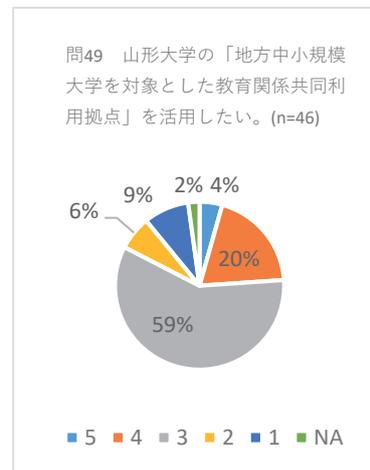
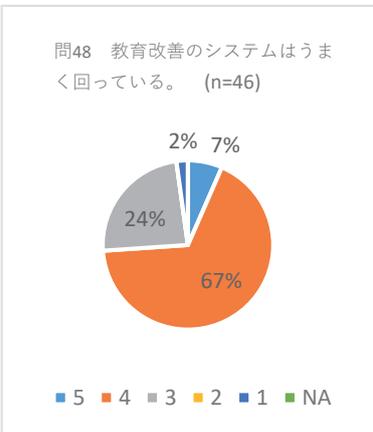
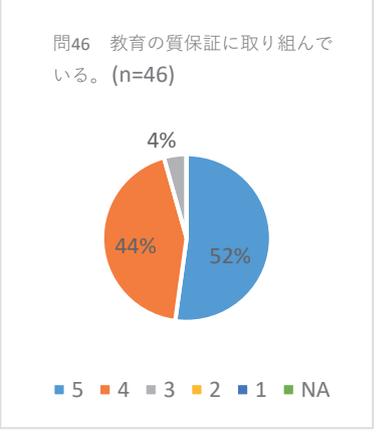
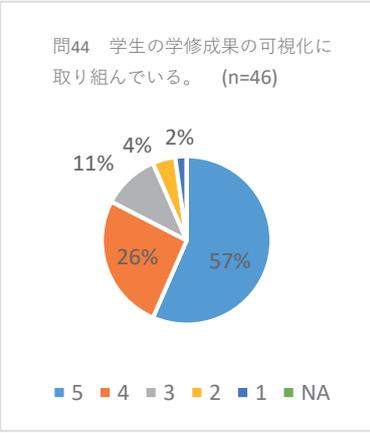
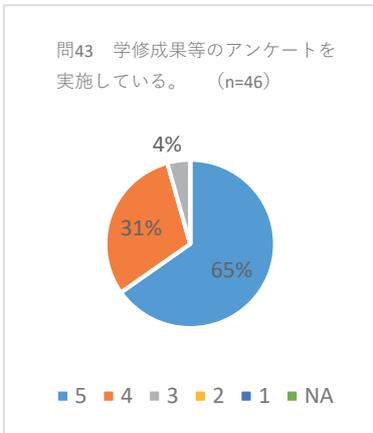
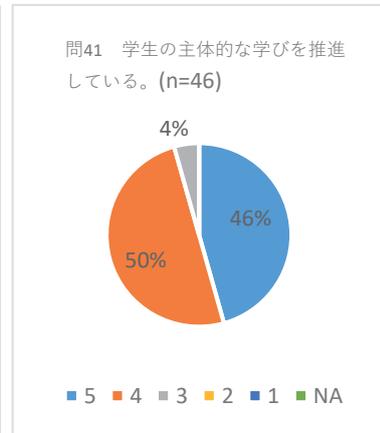
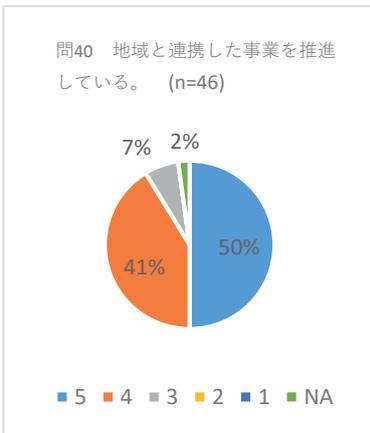
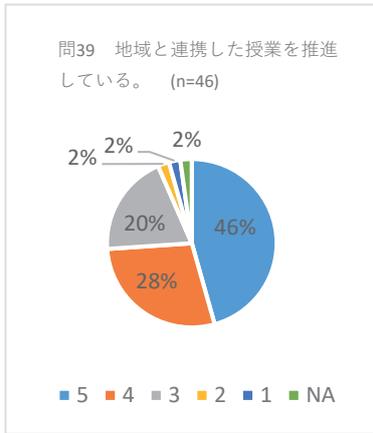
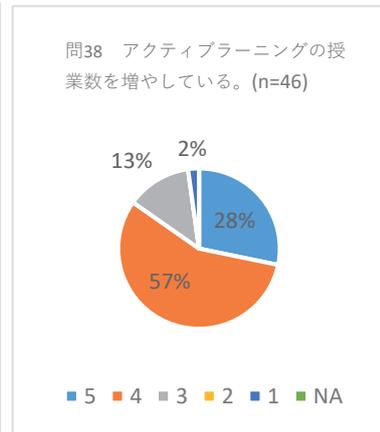
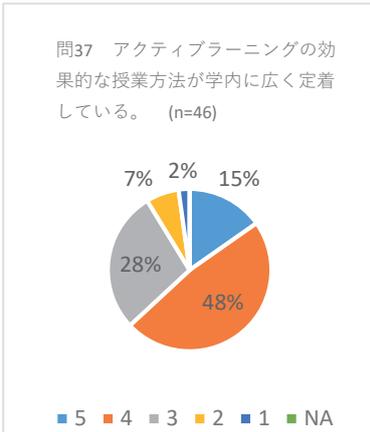
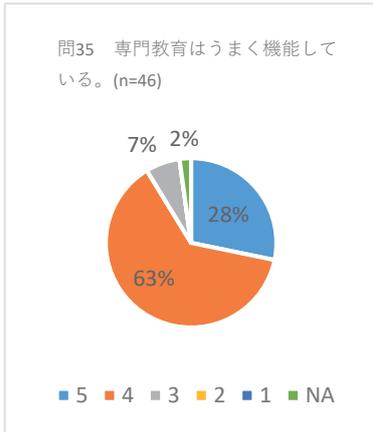
【 全国 国立大学 】



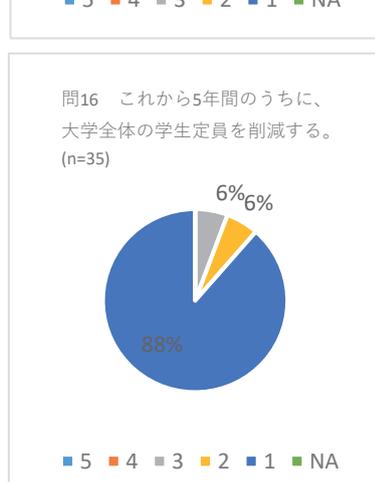
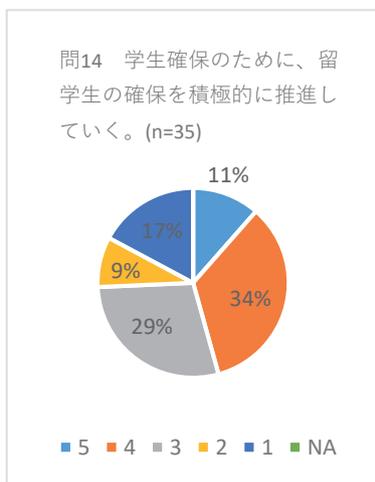
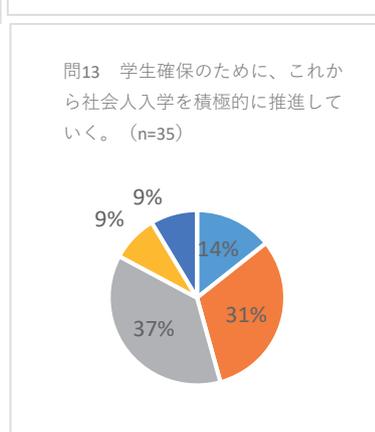
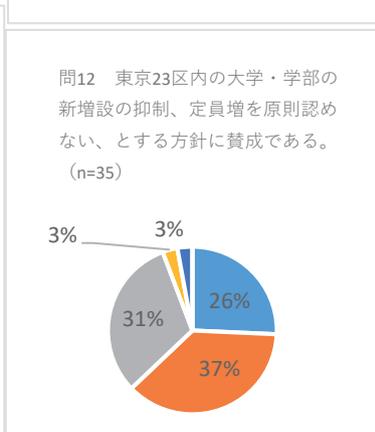
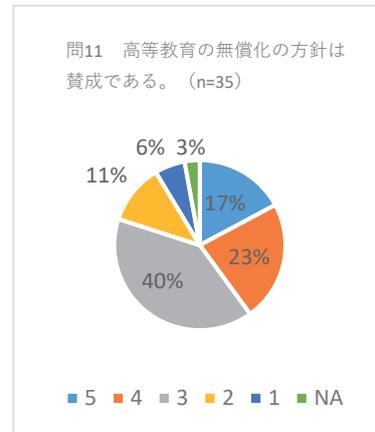
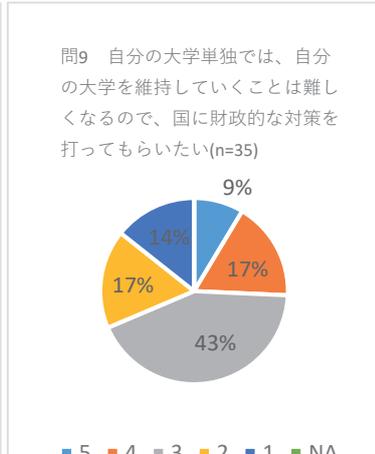
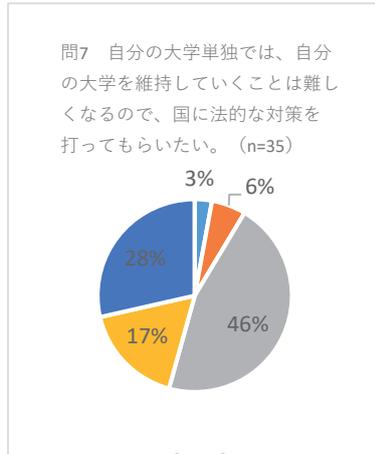
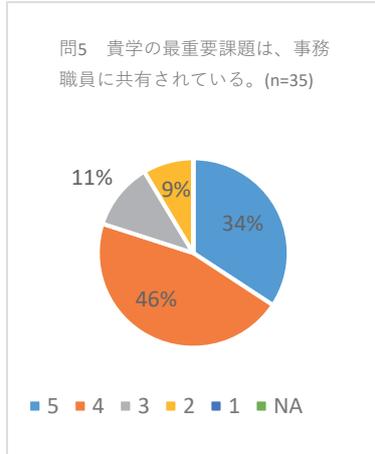
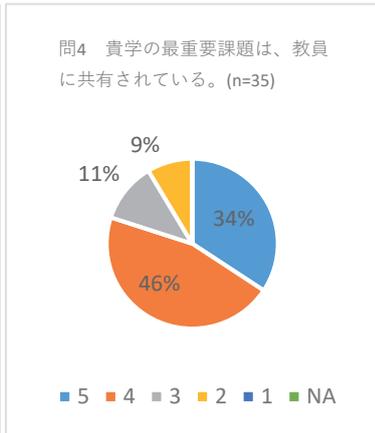
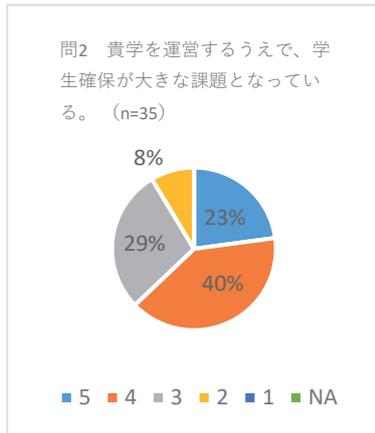
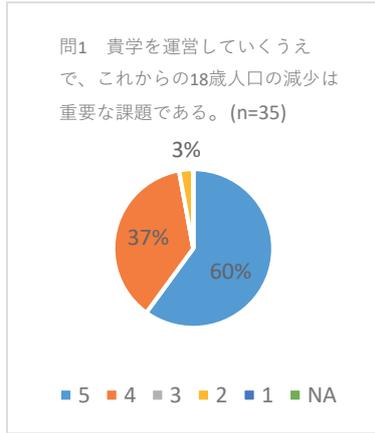
【 全国 国立大学 】



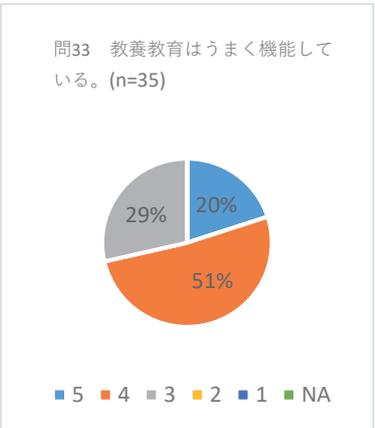
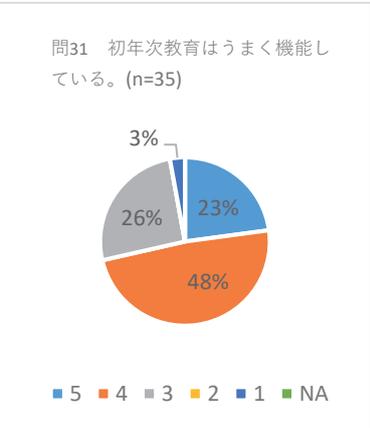
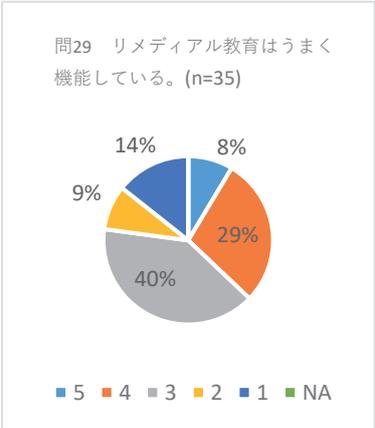
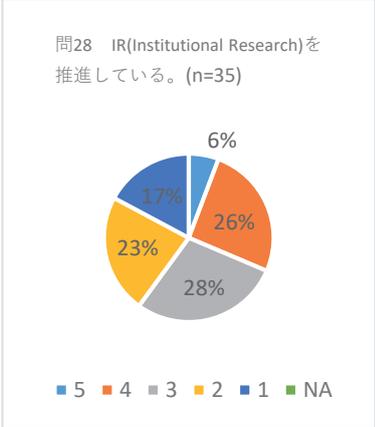
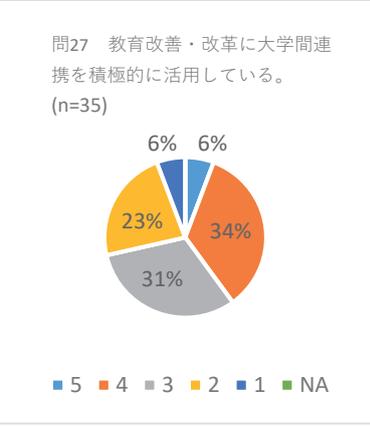
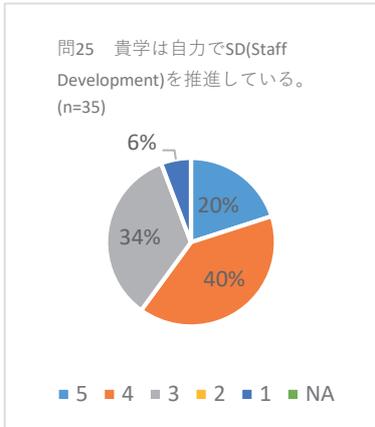
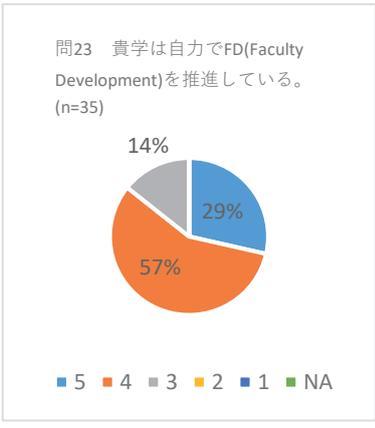
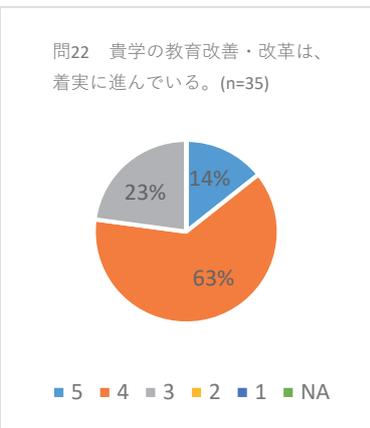
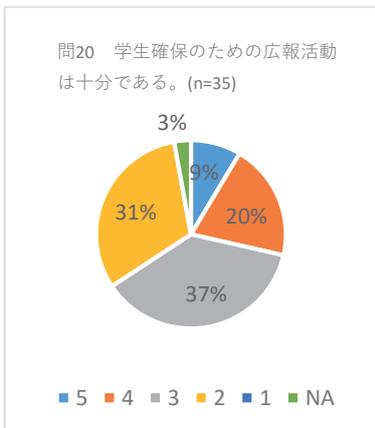
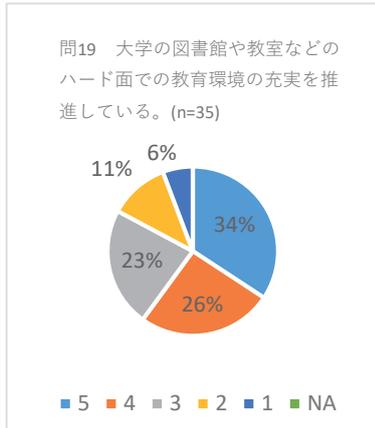
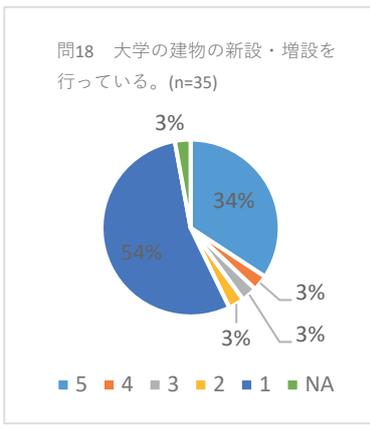
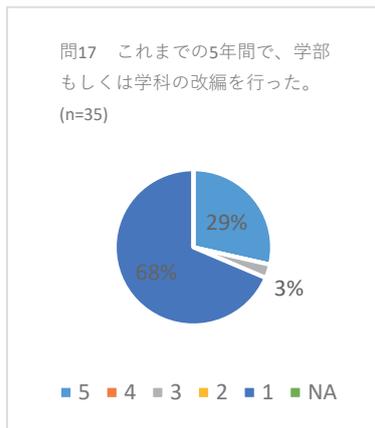
【 全国 国立大学 】



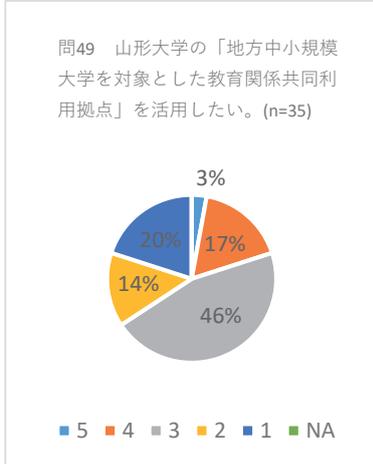
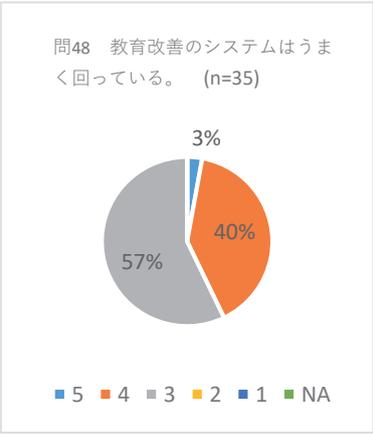
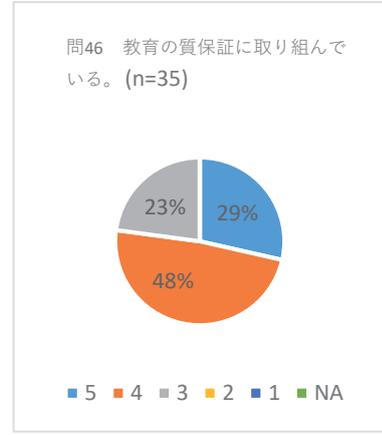
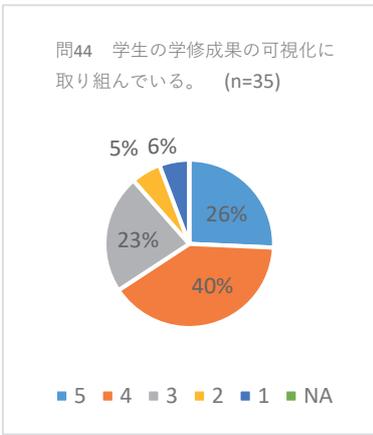
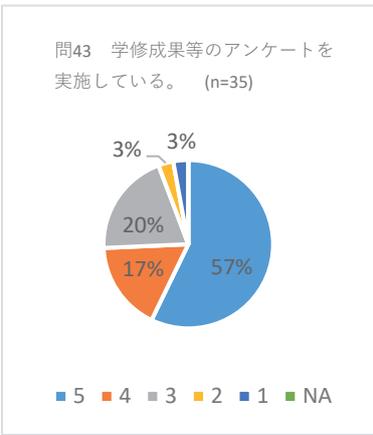
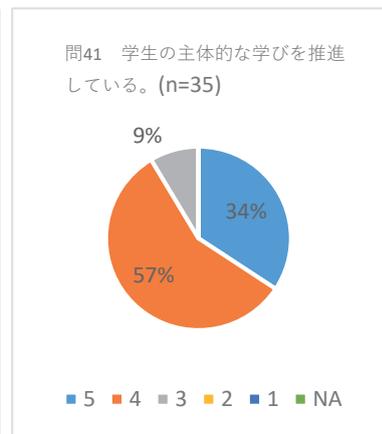
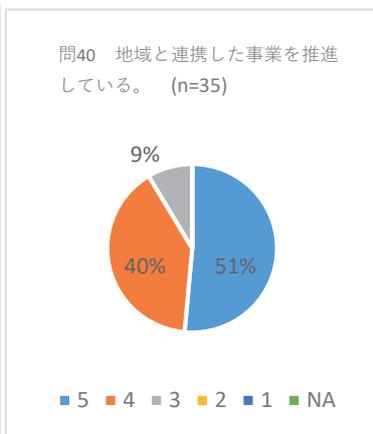
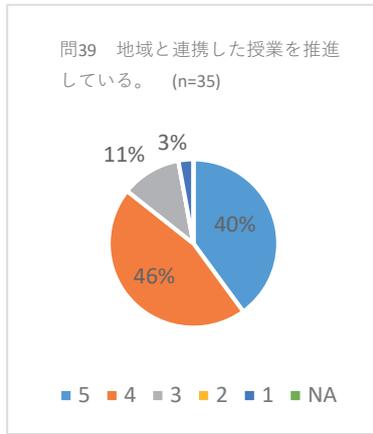
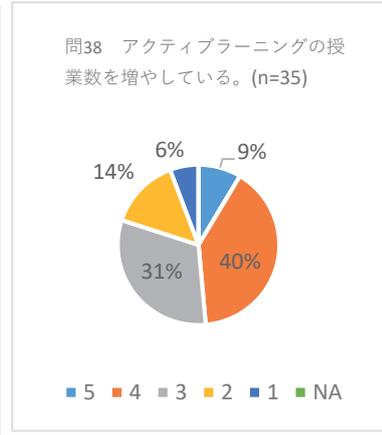
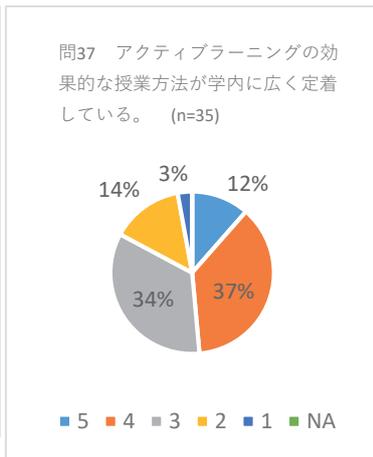
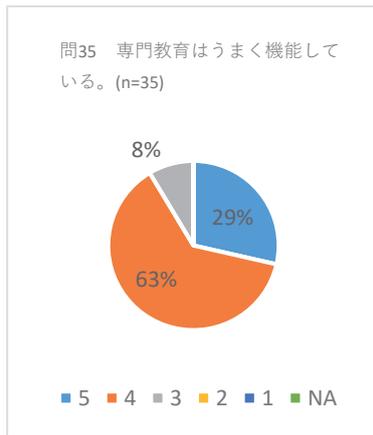
【 全国 公立大学 】



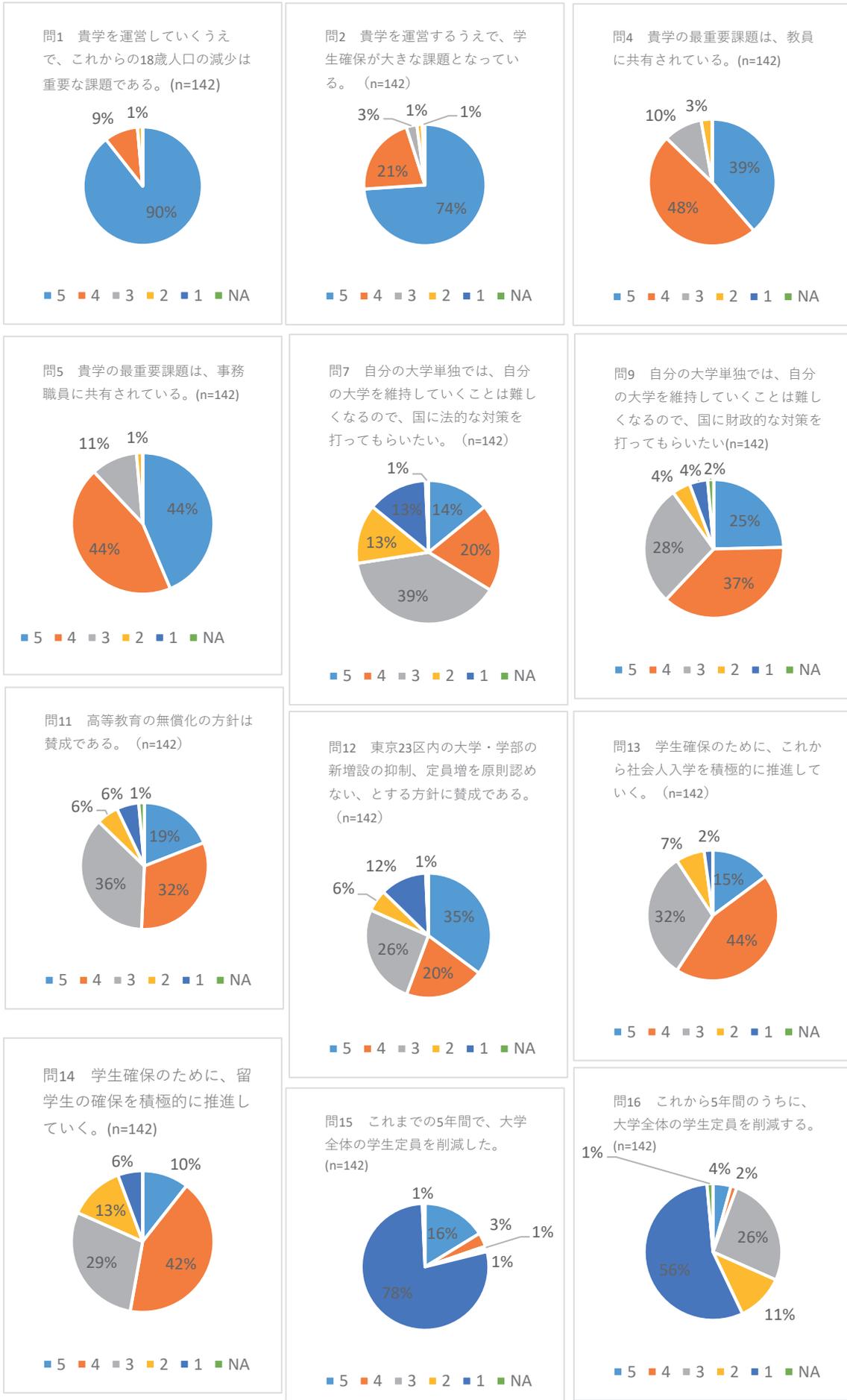
【 全国 公立大学 】



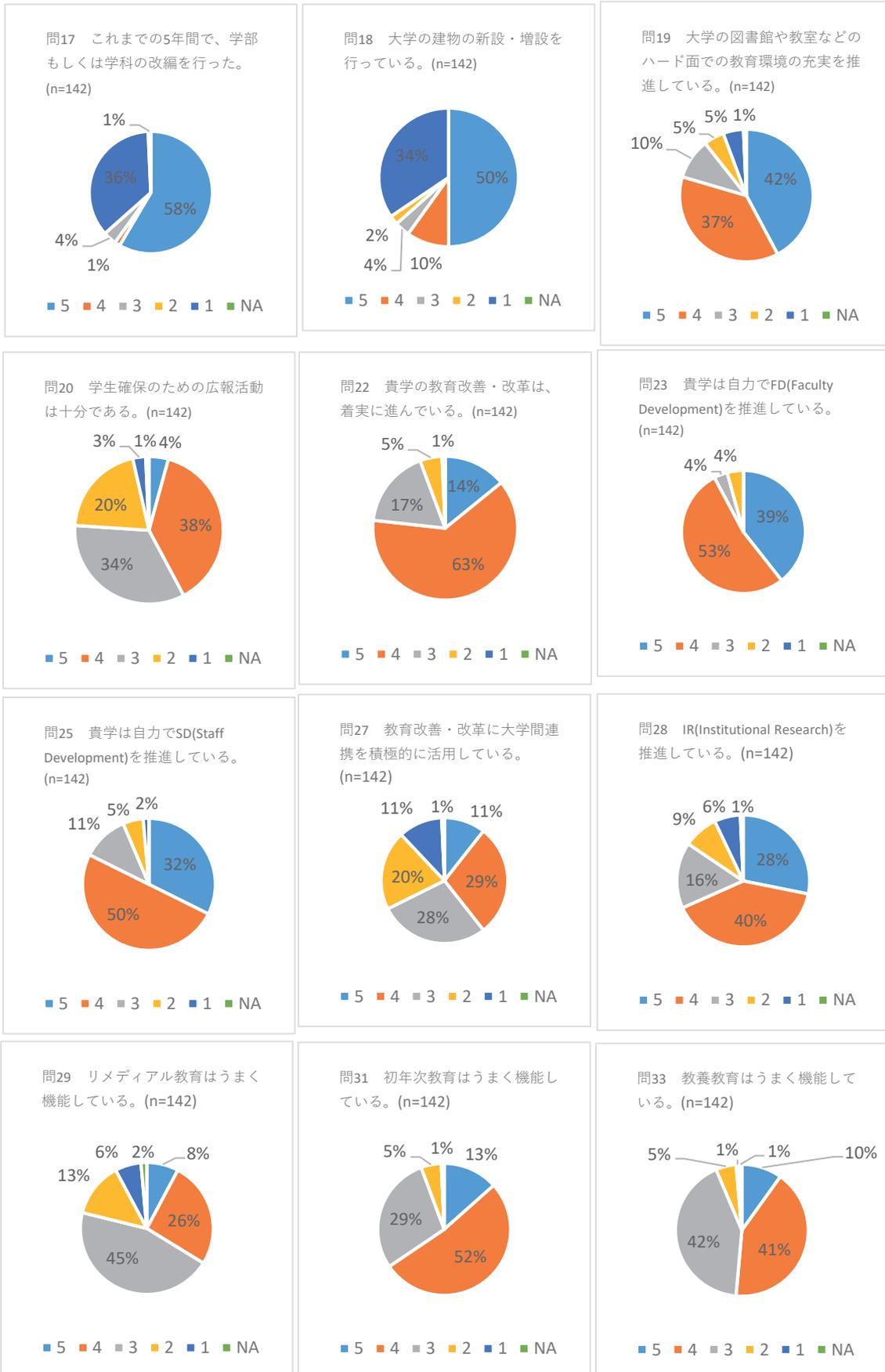
【 全国 公立大学 】



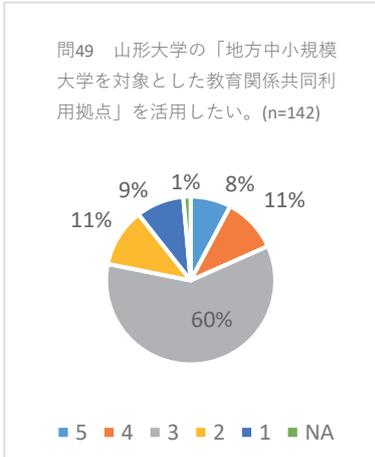
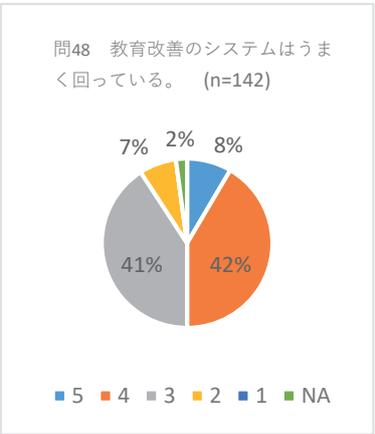
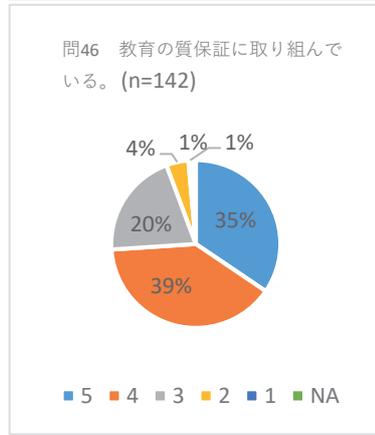
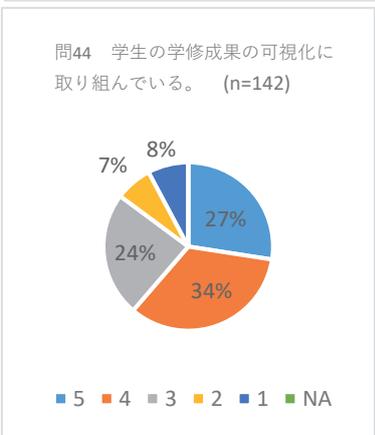
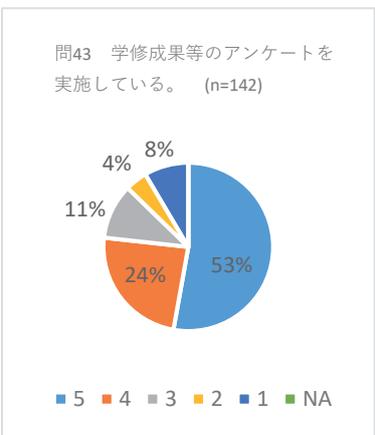
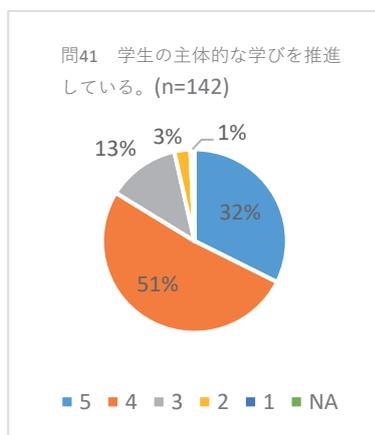
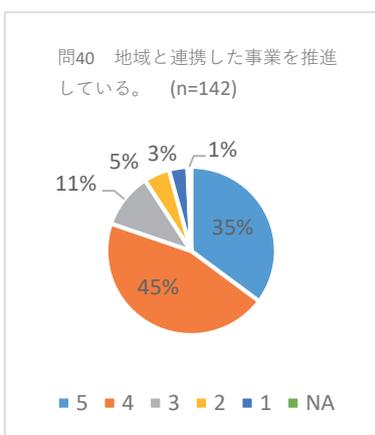
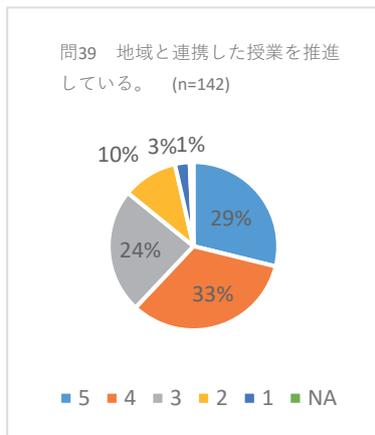
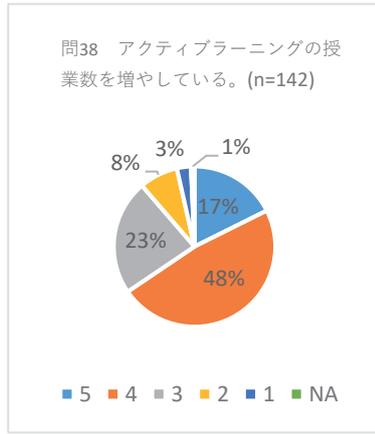
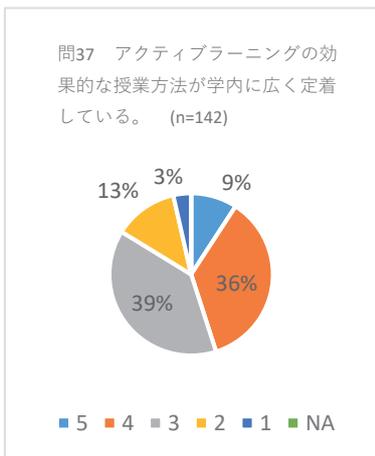
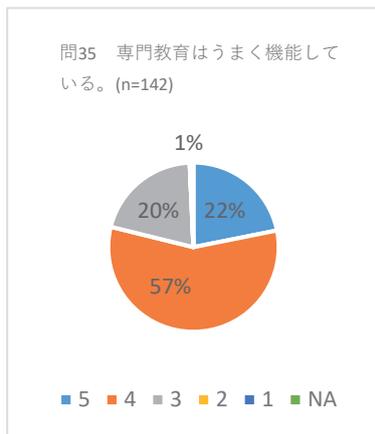
【 全国 私立大学 】



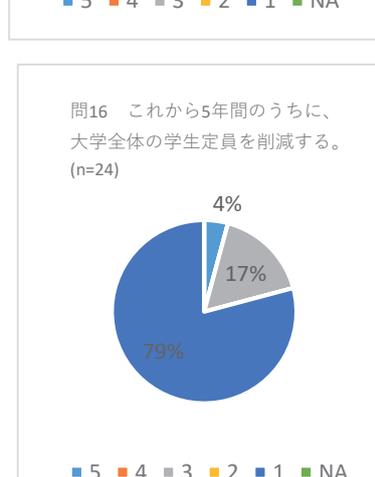
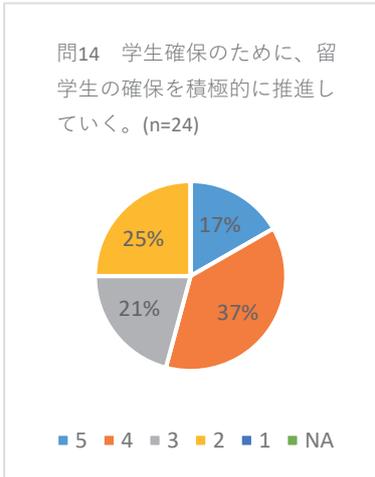
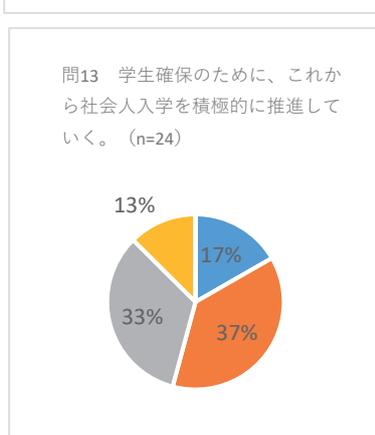
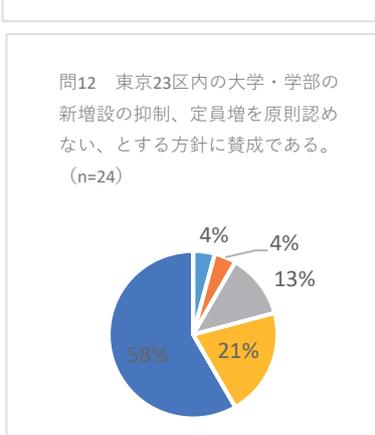
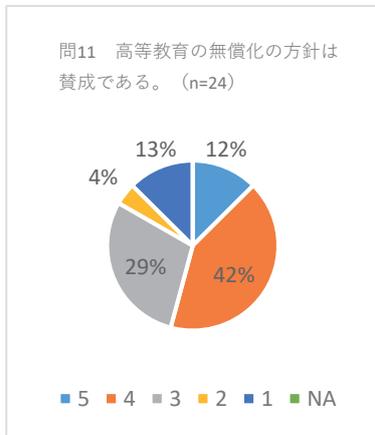
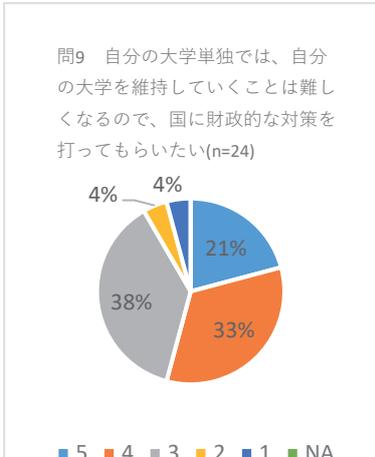
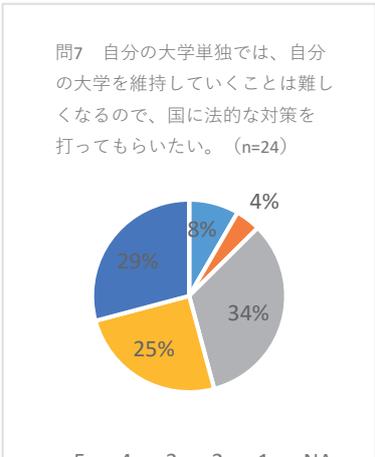
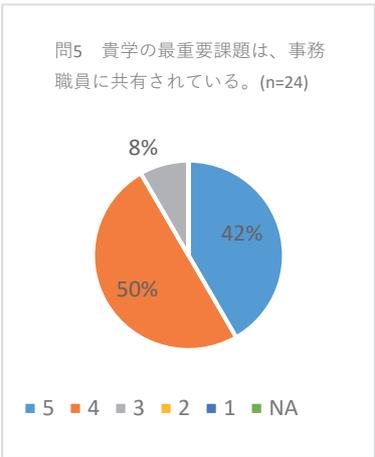
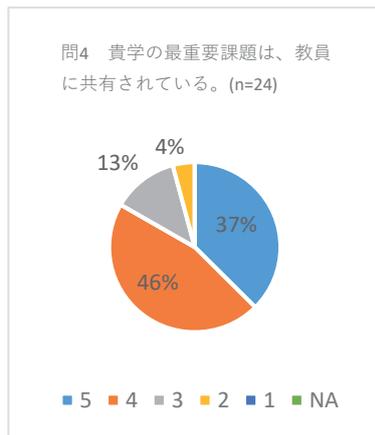
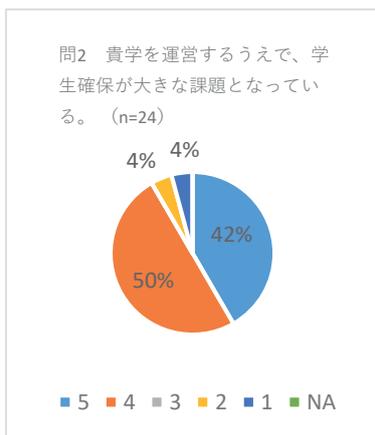
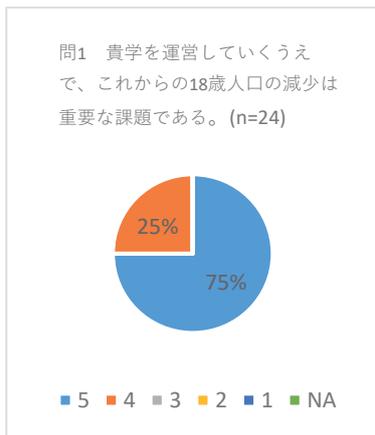
【 全国 私立大学 】



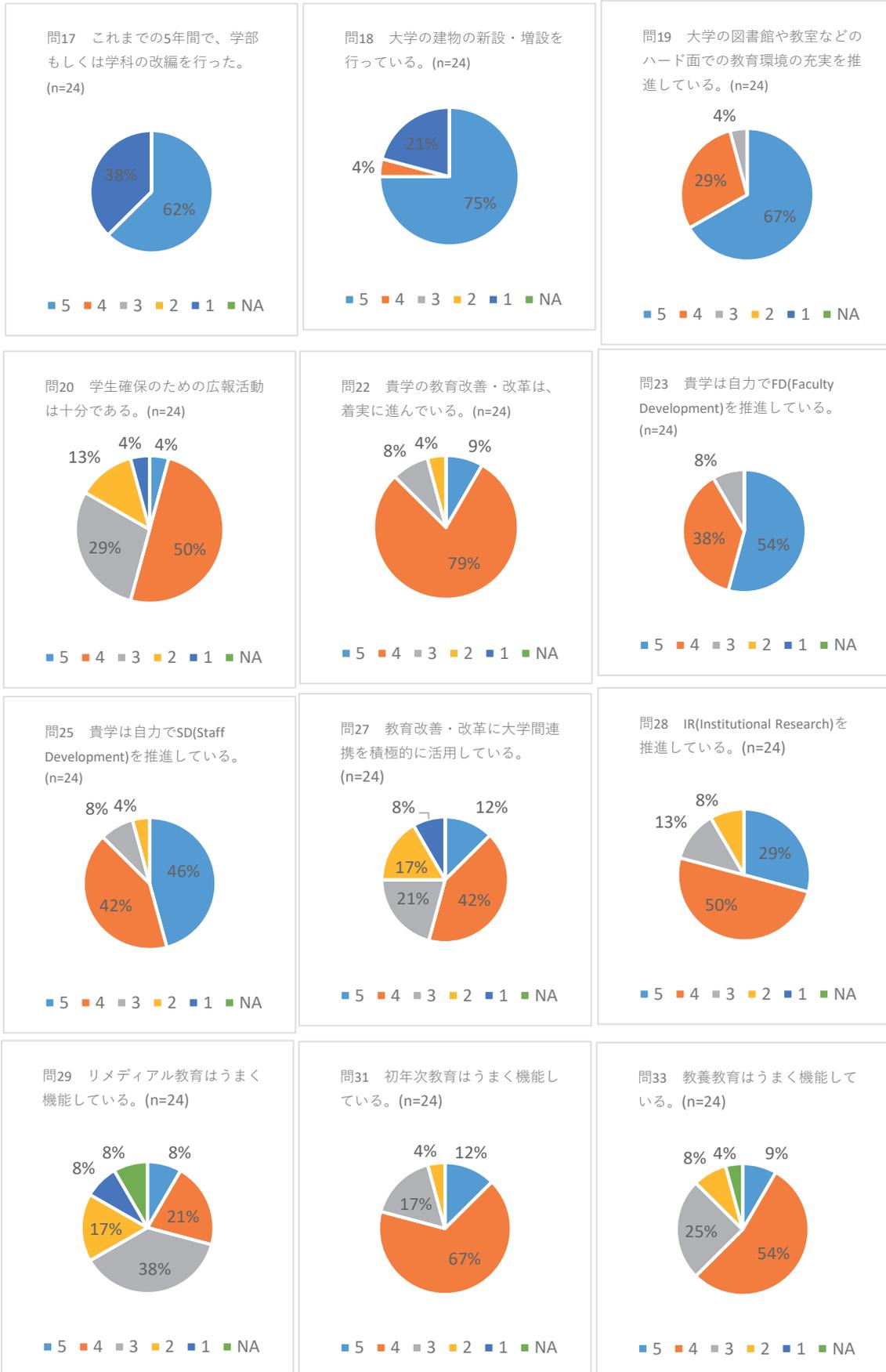
【 全国 私立大学 】



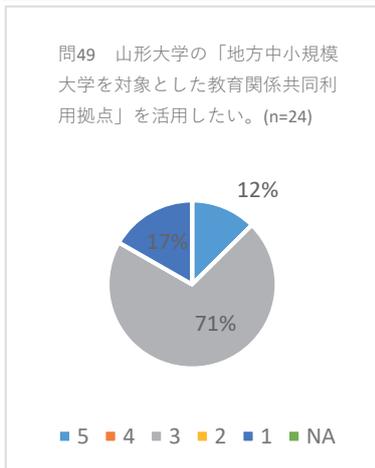
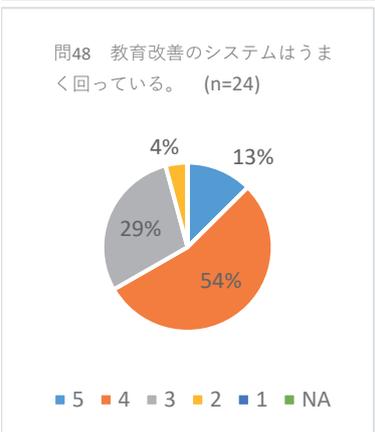
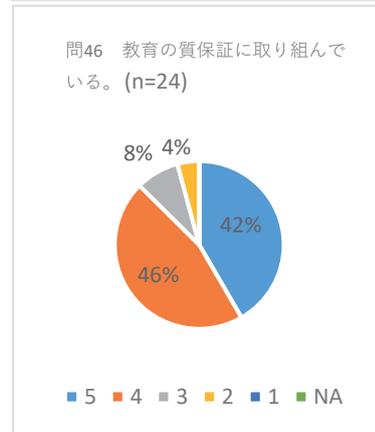
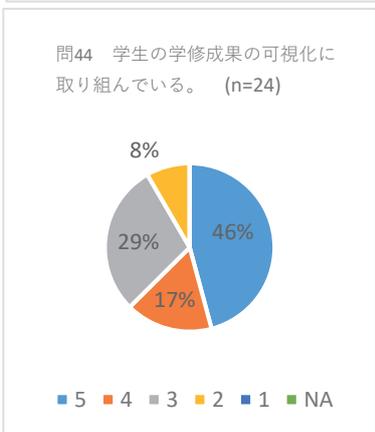
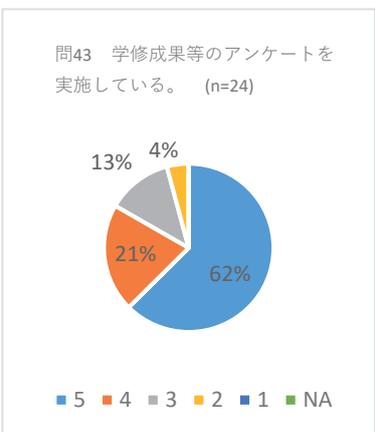
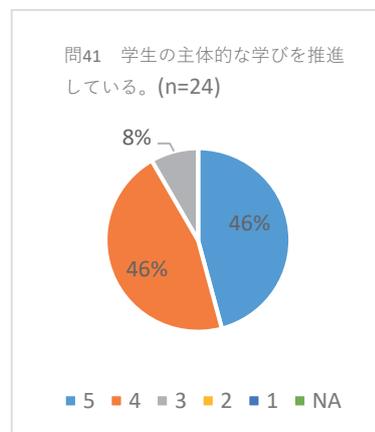
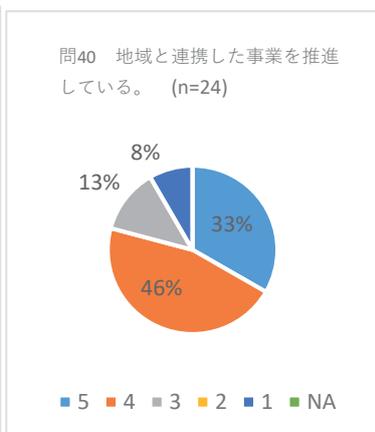
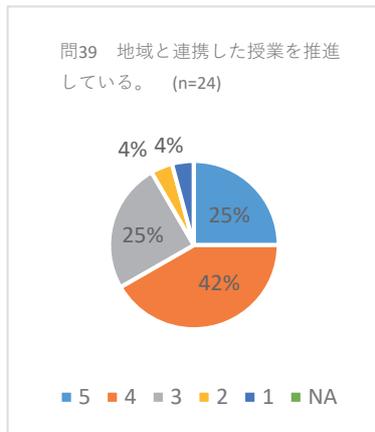
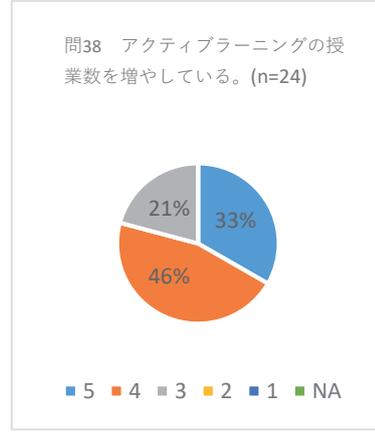
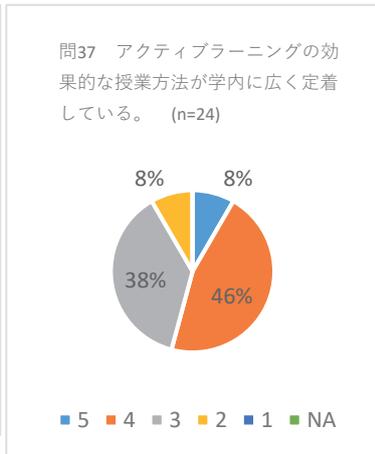
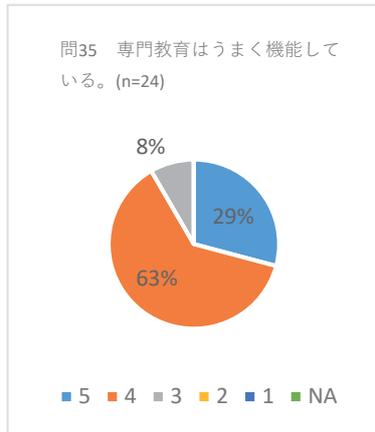
【 東京都内 私立大学 】



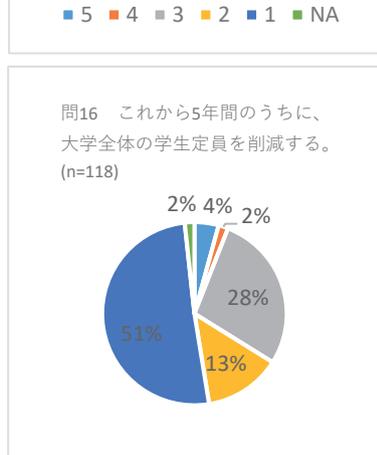
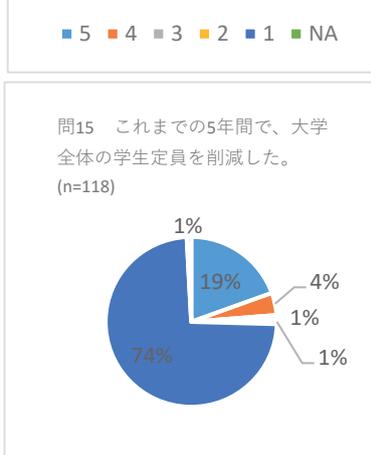
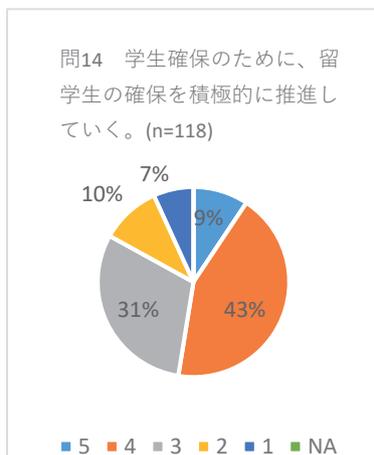
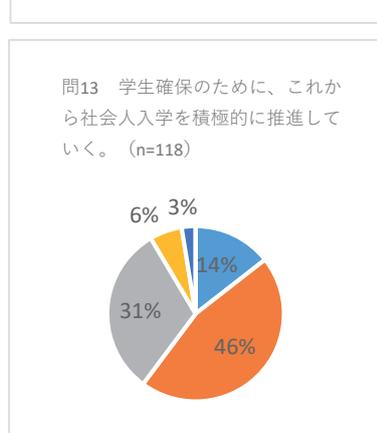
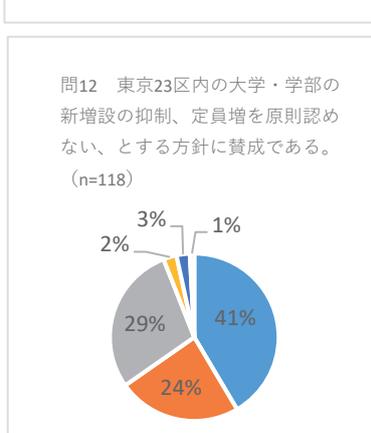
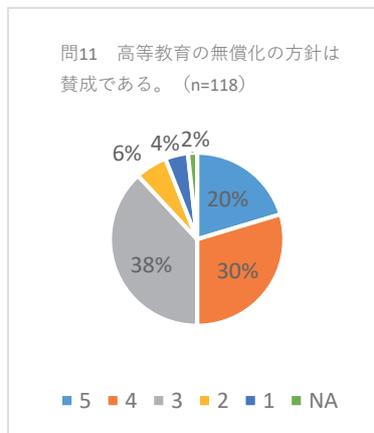
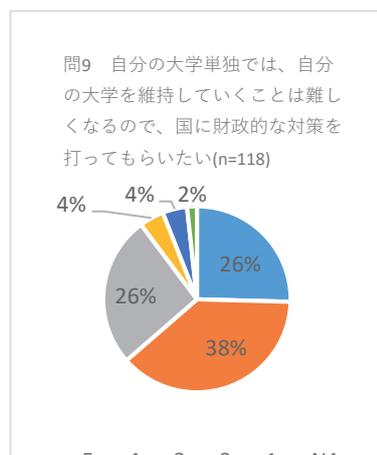
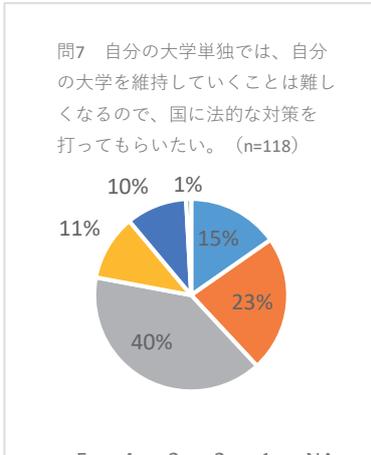
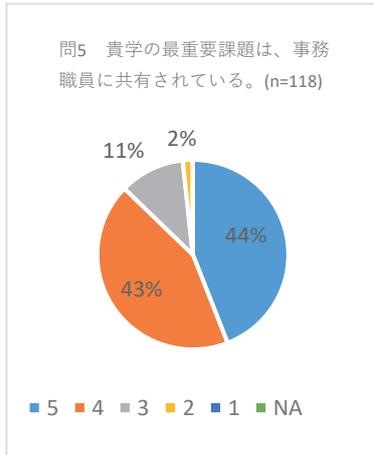
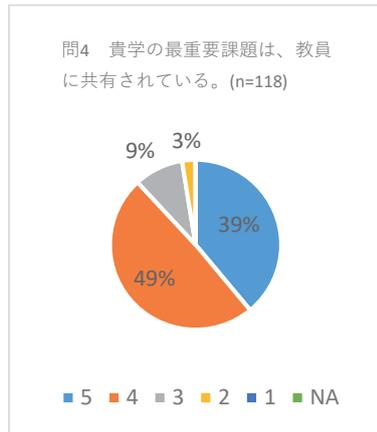
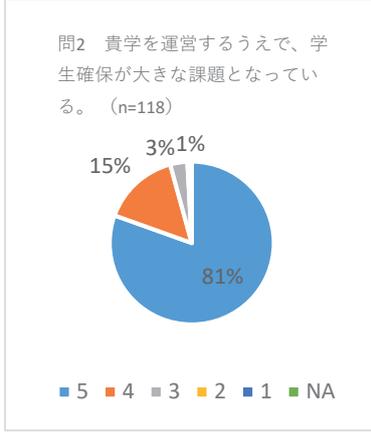
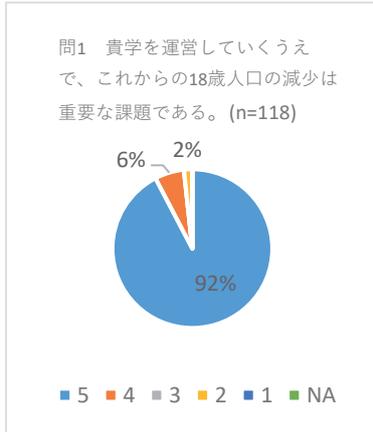
平成29年度 山形大学教育開発連携支援センター 教育関係共同利用拠点事業アンケート  
【 東京都内 私立大学 】



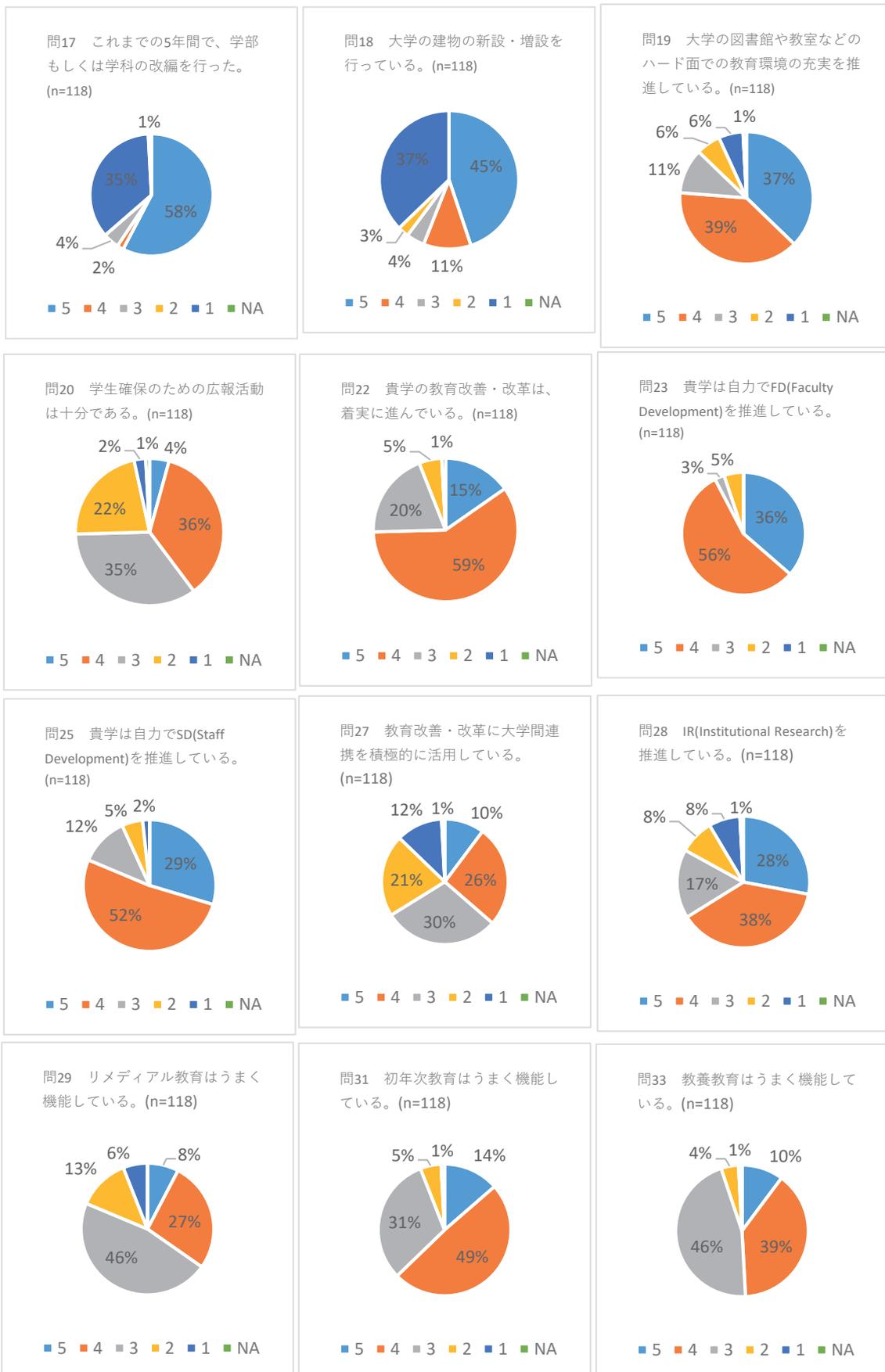
平成29年度 山形大学教育開発連携支援センター 教育関係共同利用拠点事業アンケート  
【 東京都内 私立大学 】



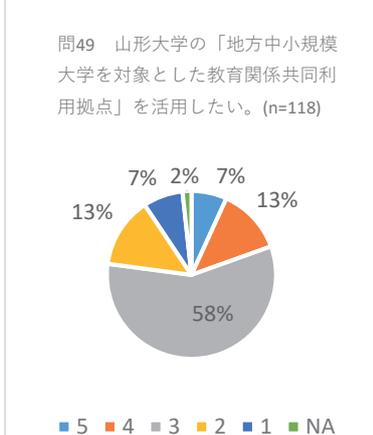
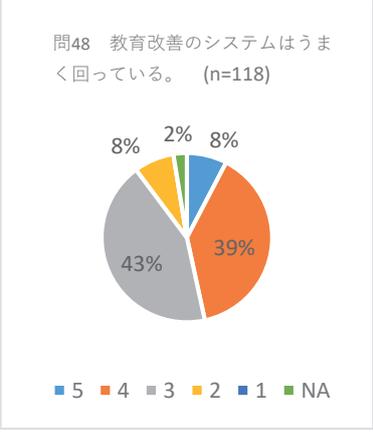
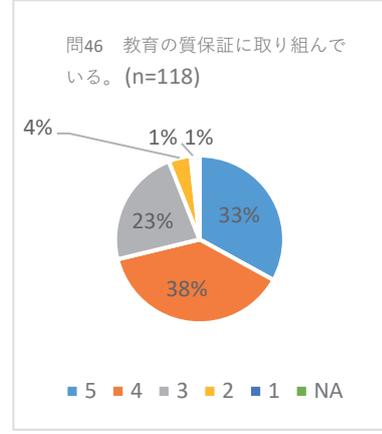
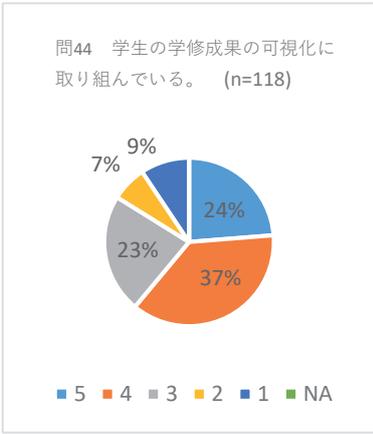
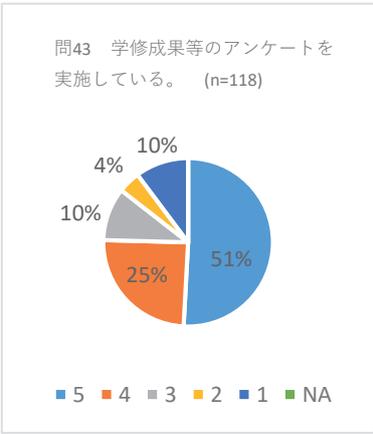
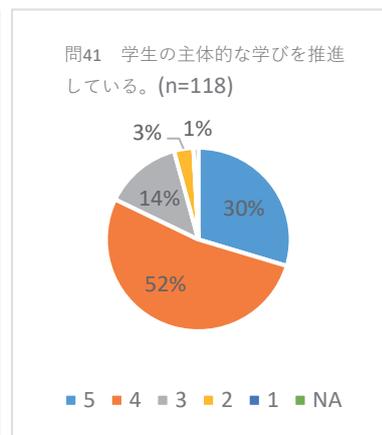
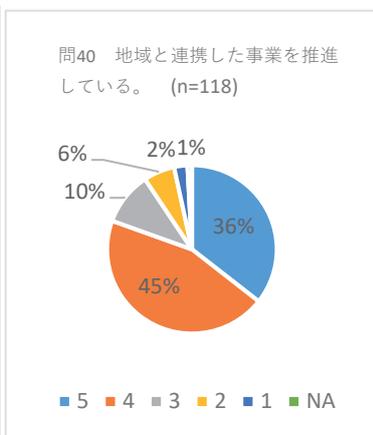
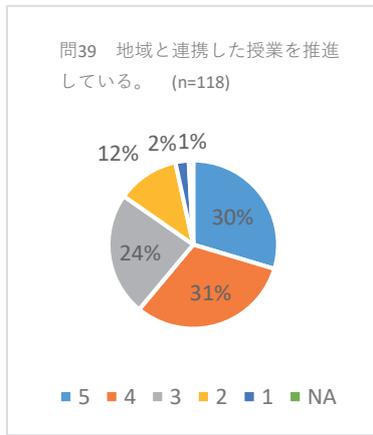
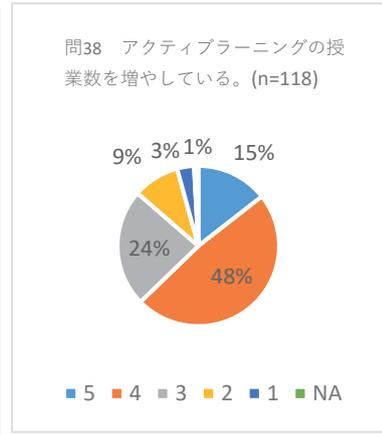
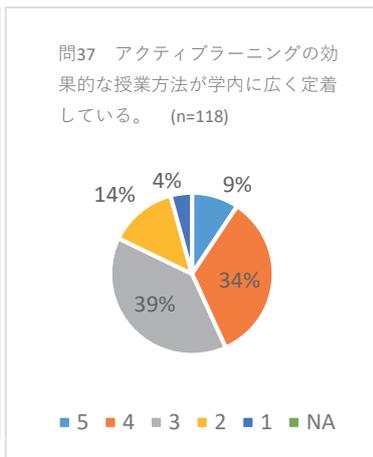
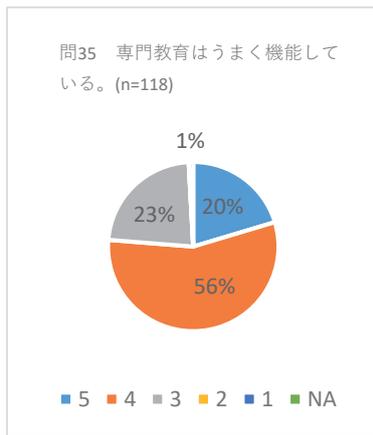
【 東京都以外 私立大学 】



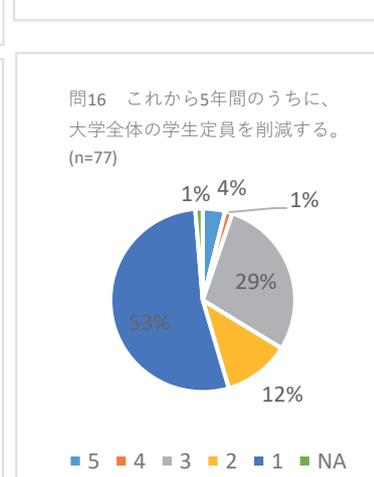
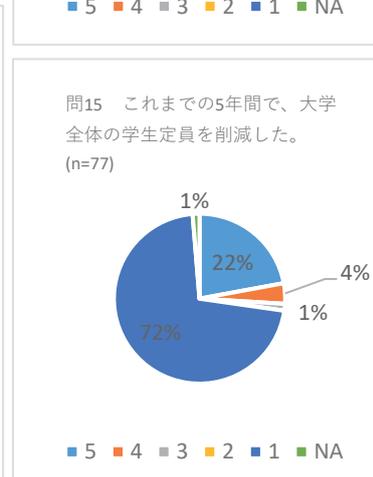
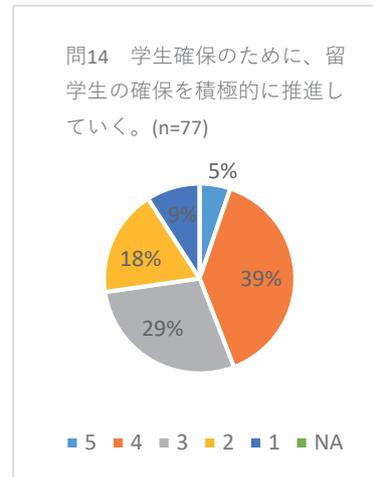
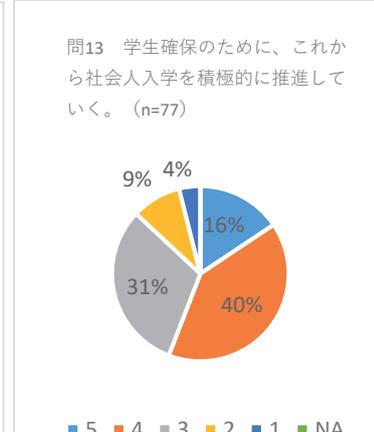
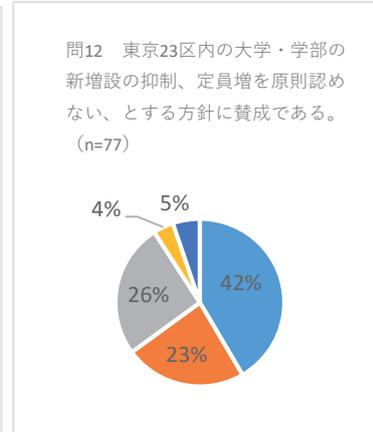
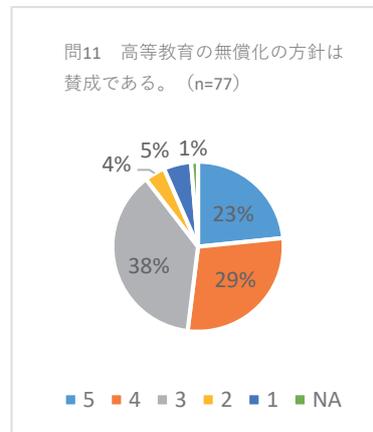
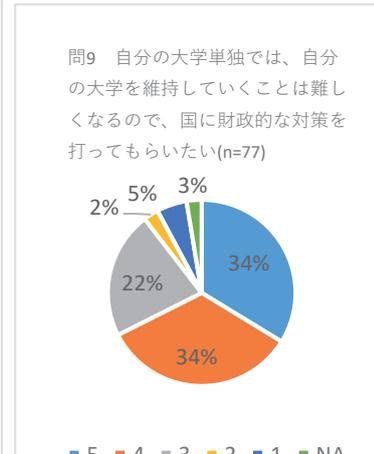
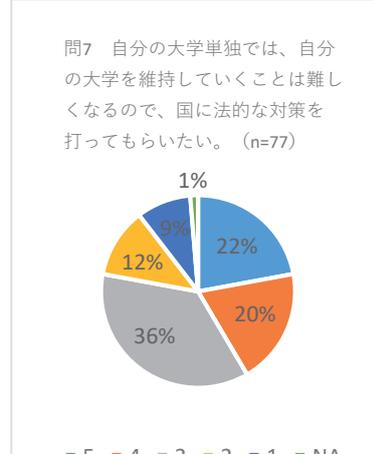
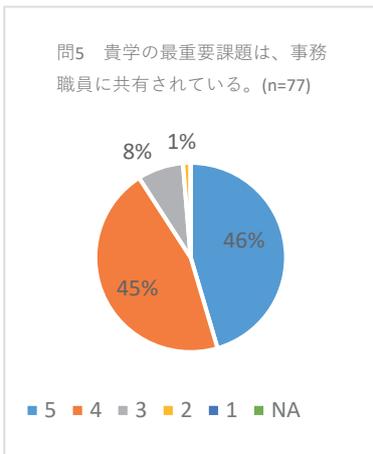
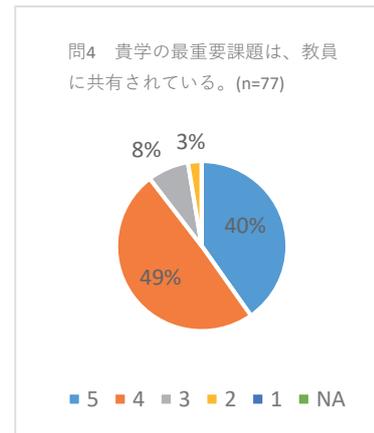
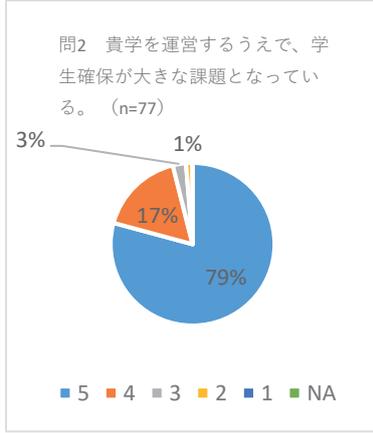
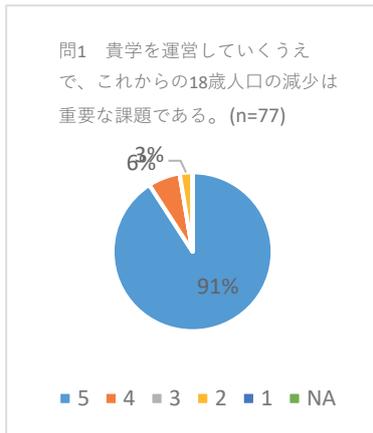
【 東京都以外 私立大学 】



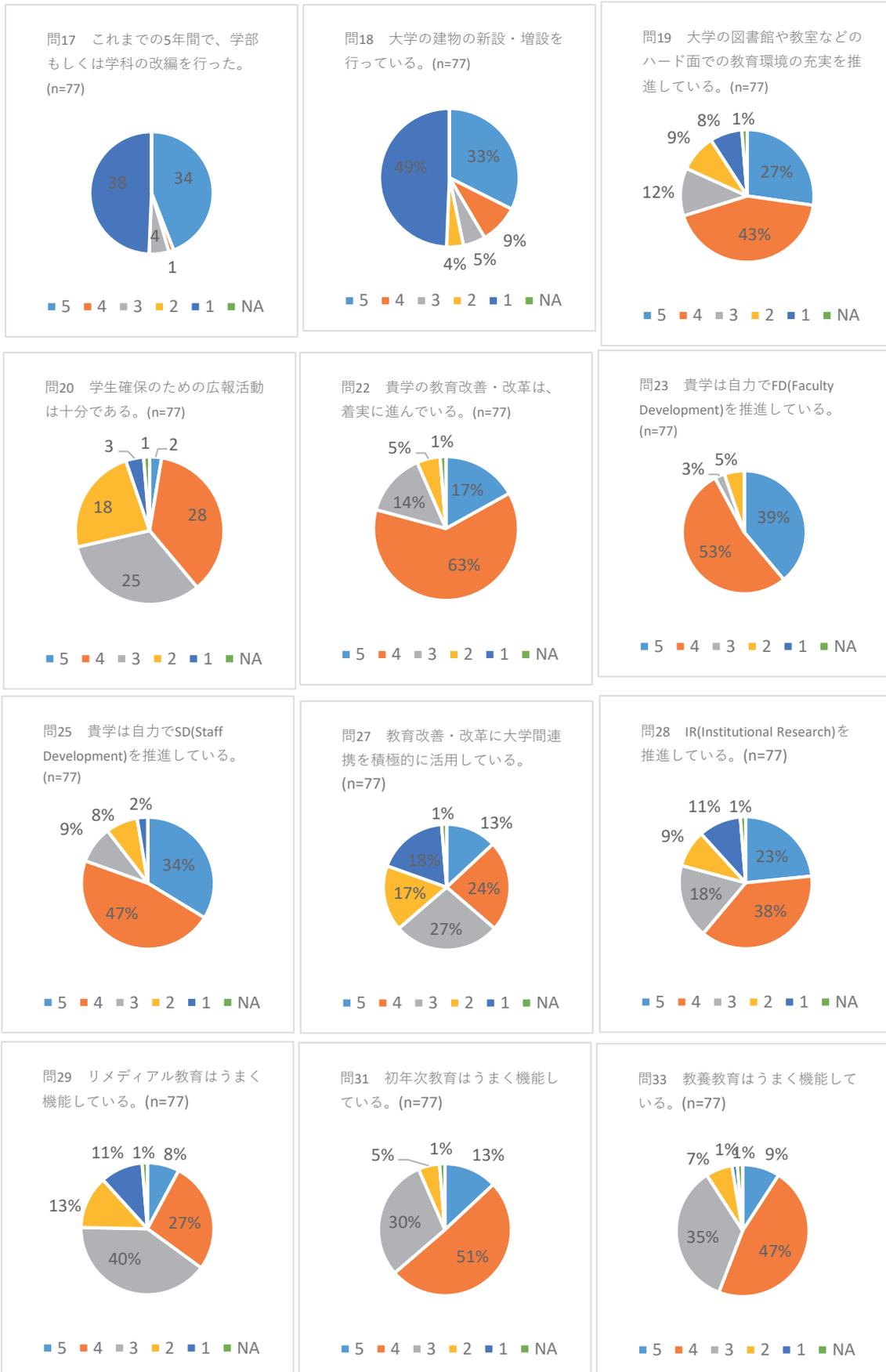
【 東京都以外 私立大学 】



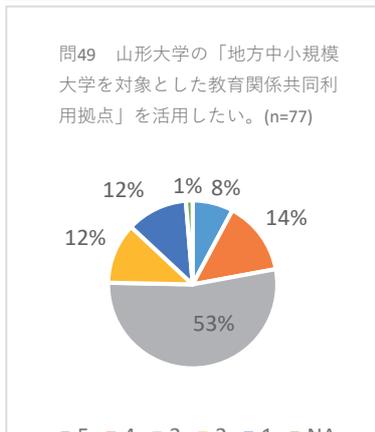
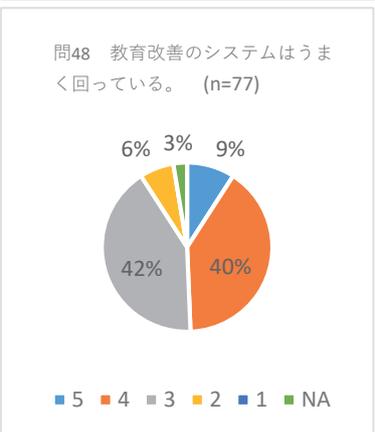
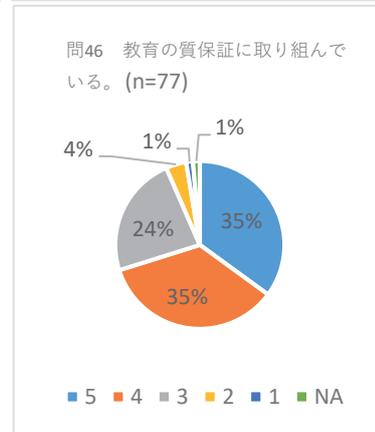
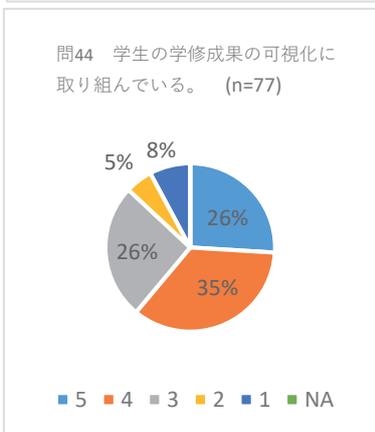
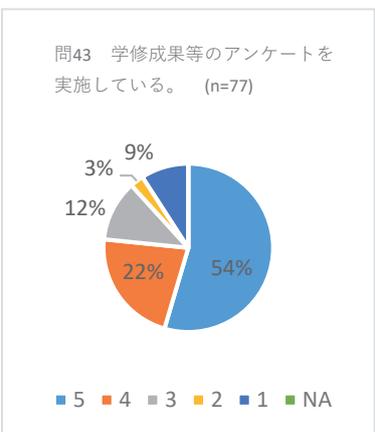
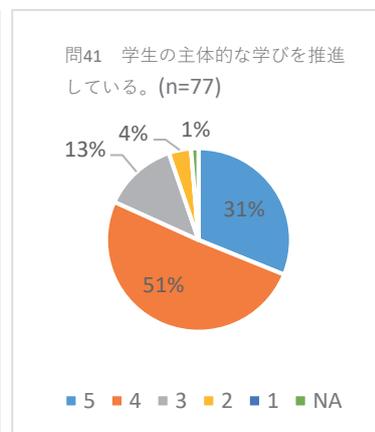
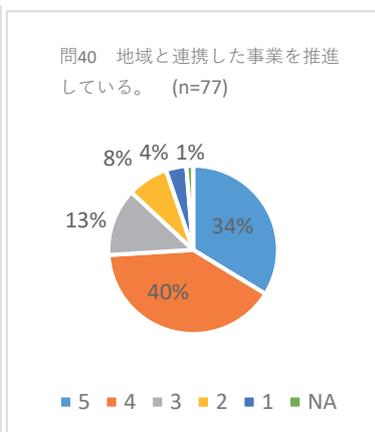
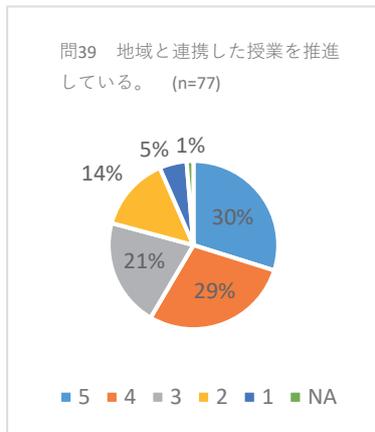
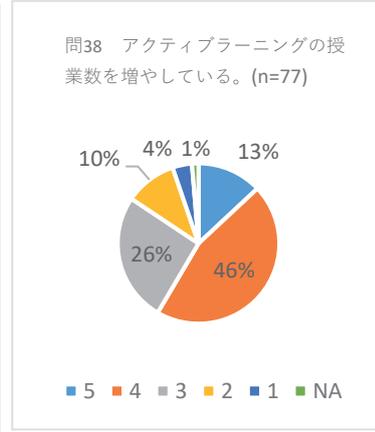
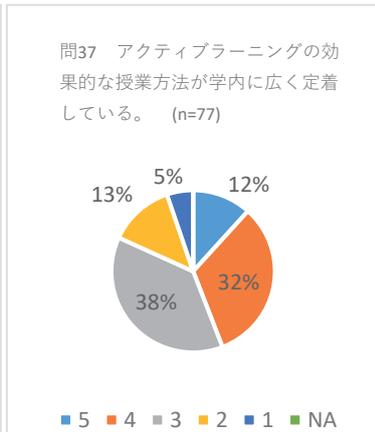
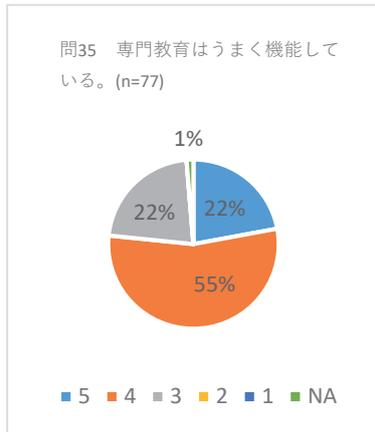
【 全国 小規模私立大学（入学定員1～500名） 】



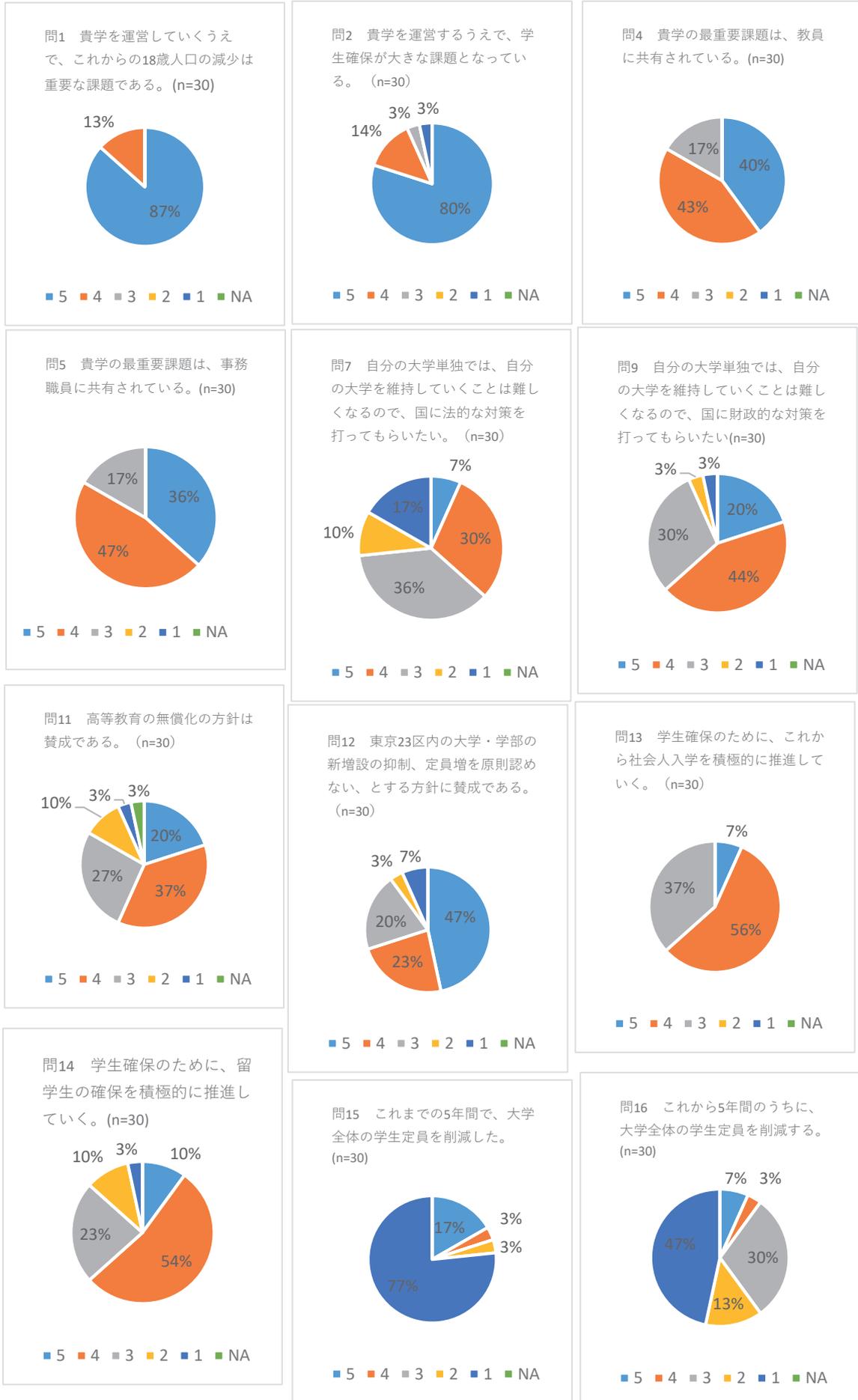
【 全国 小規模私立大学（入学定員1～500名） 】



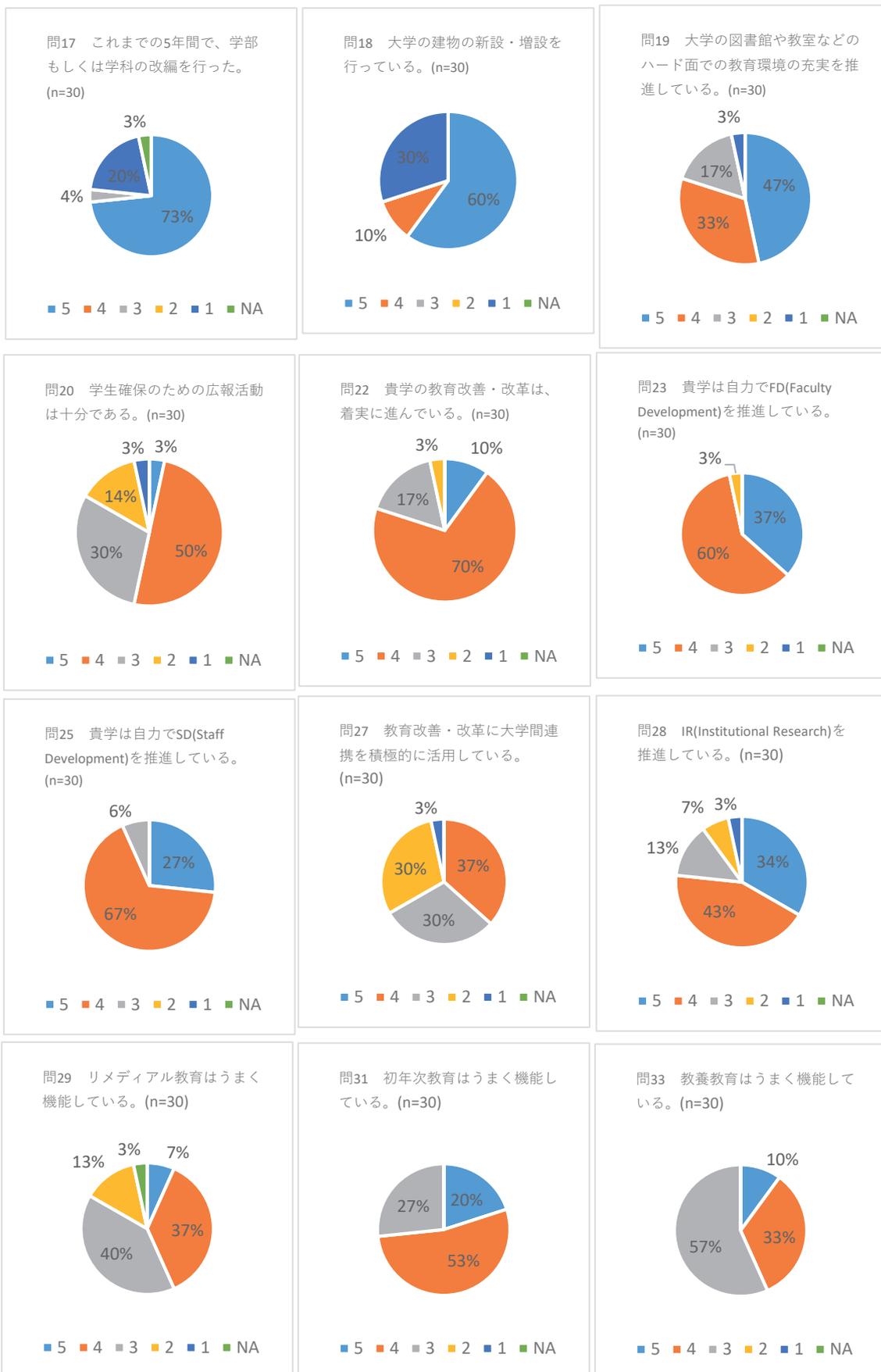
平成29年度 山形大学教育開発連携支援センター 教育関係共同利用拠点事業アンケート  
 【 全国 小規模私立大学（入学定員1～500名） 】



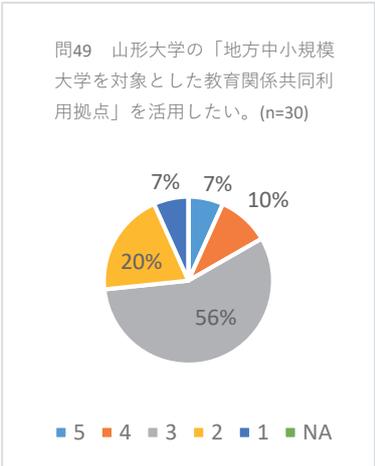
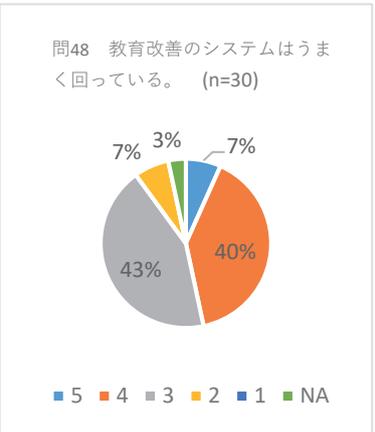
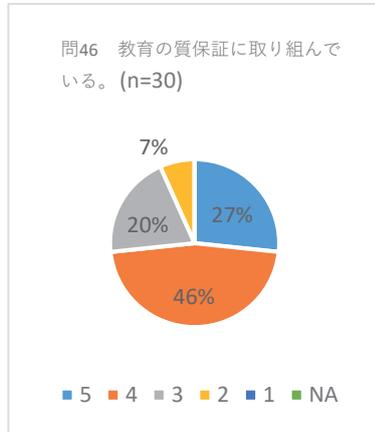
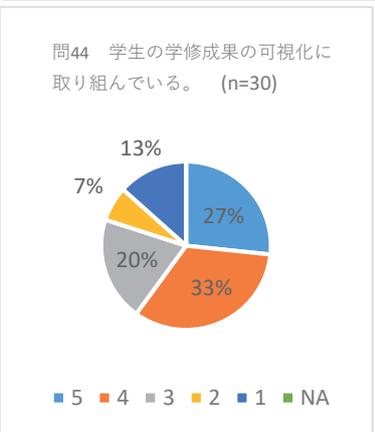
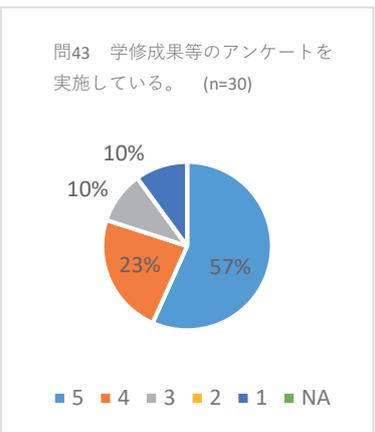
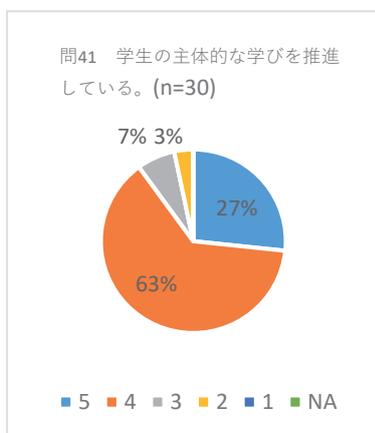
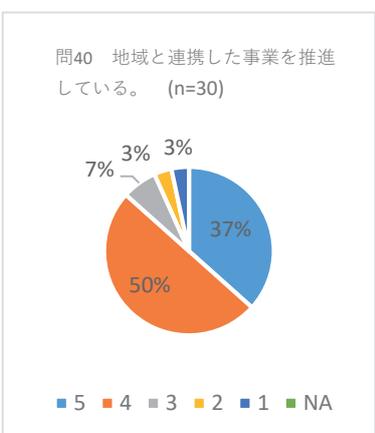
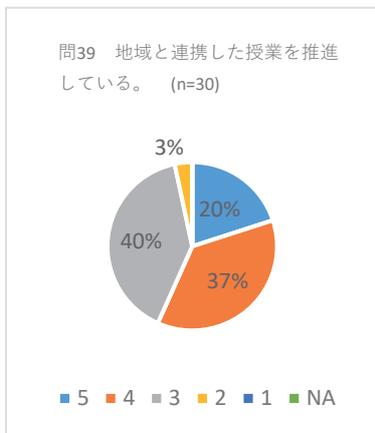
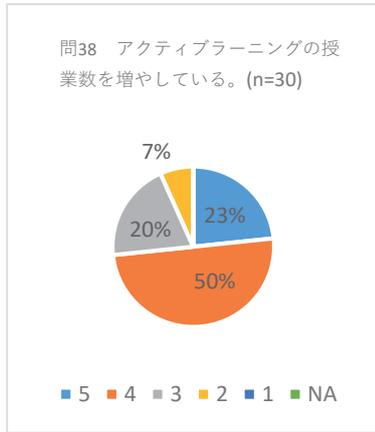
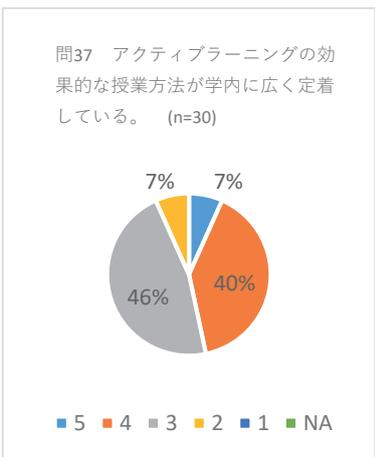
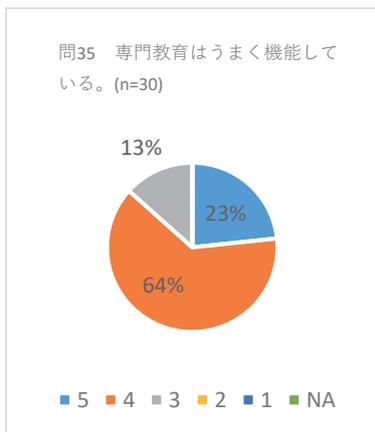
【 全国 中規模私立大学（入学定員501～1000名） 】



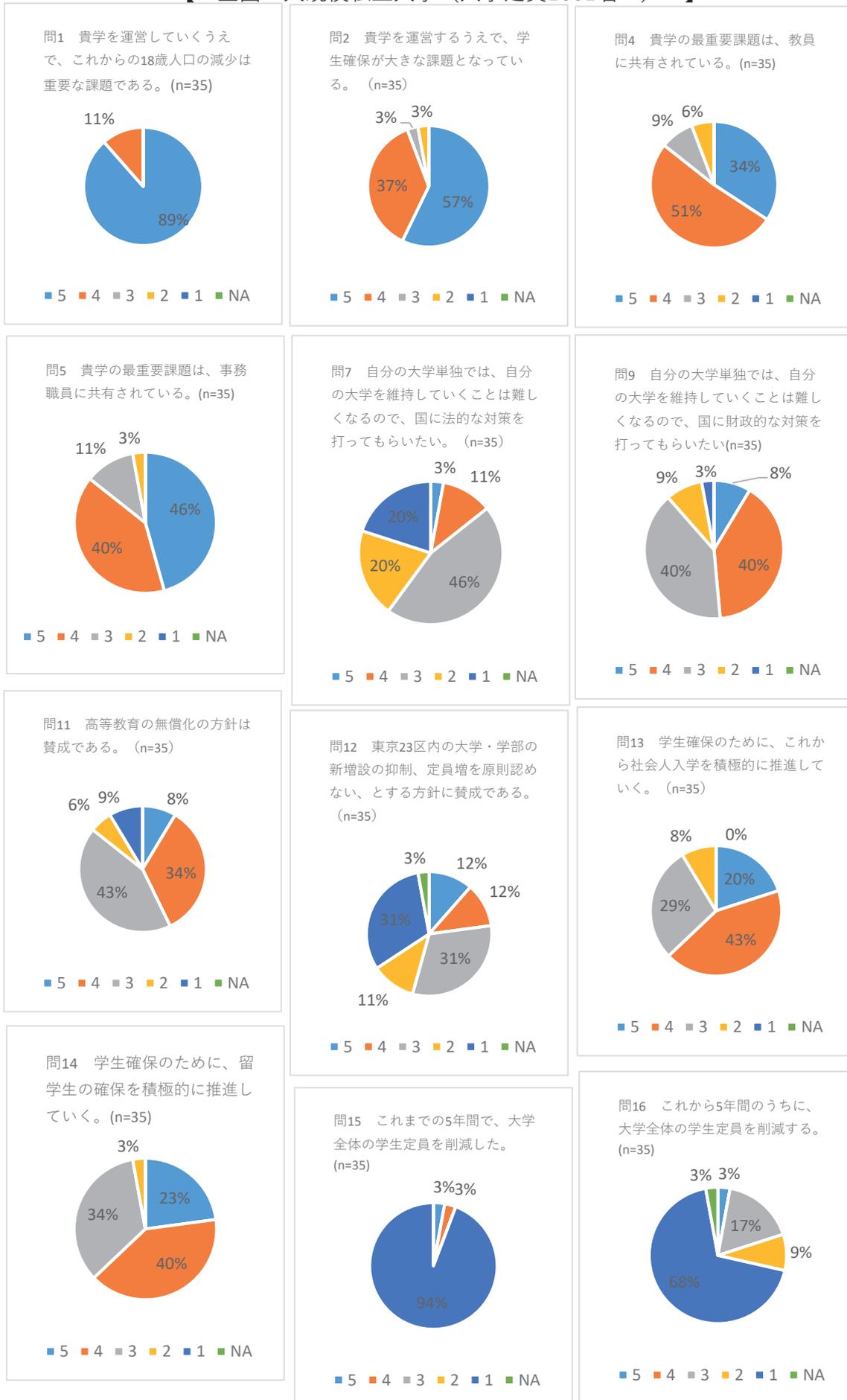
【 全国 中規模私立大学（入学定員501～1000名） 】



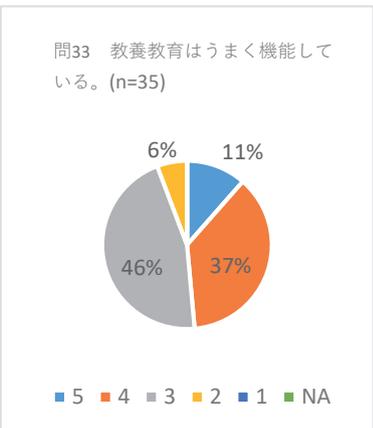
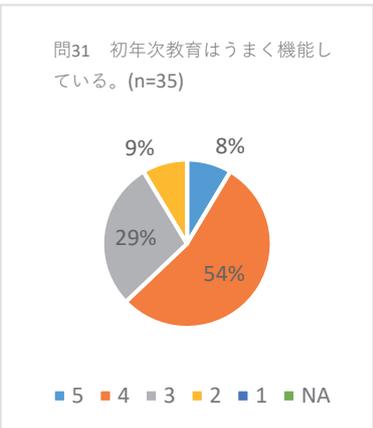
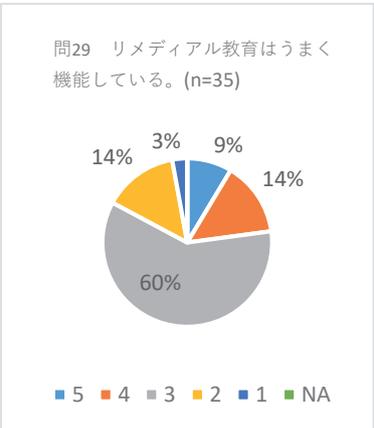
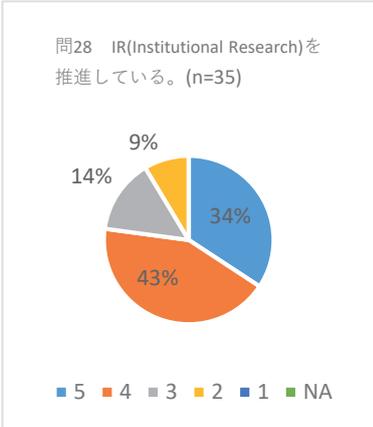
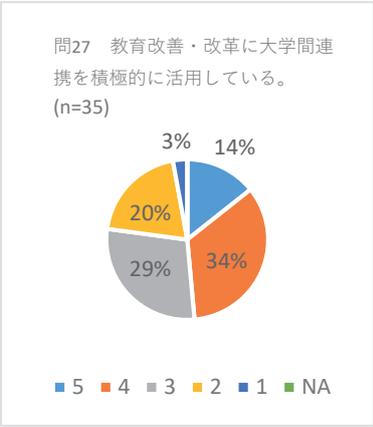
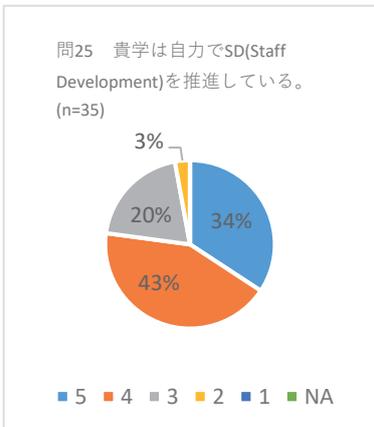
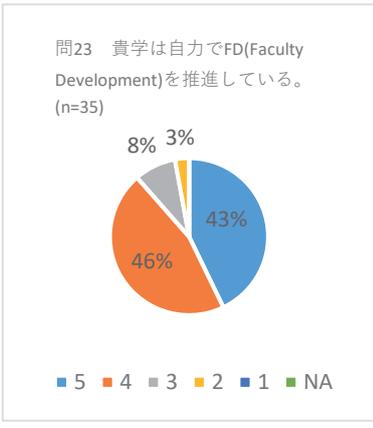
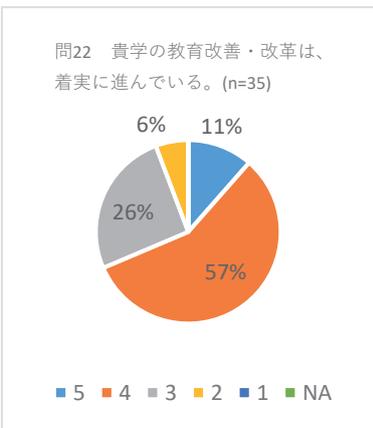
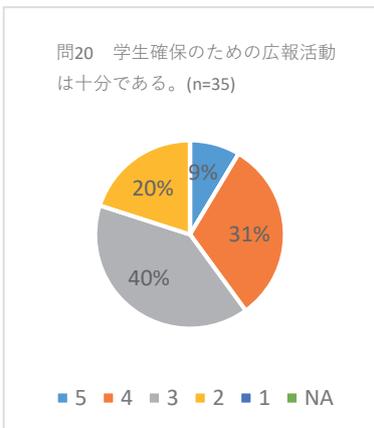
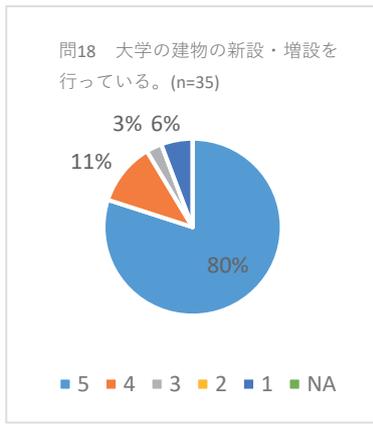
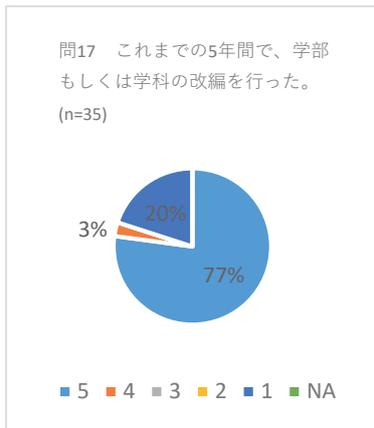
【 全国 中規模私立大学（入学定員501～1000名） 】



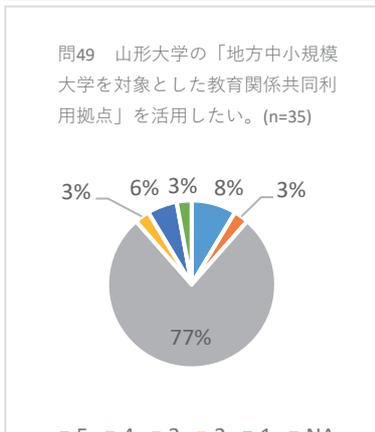
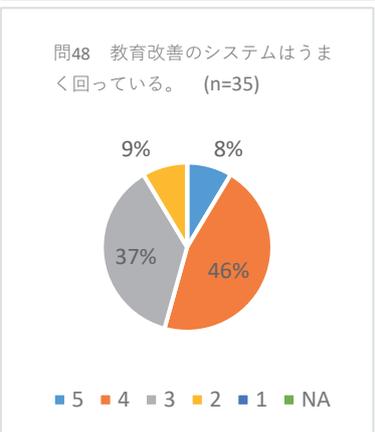
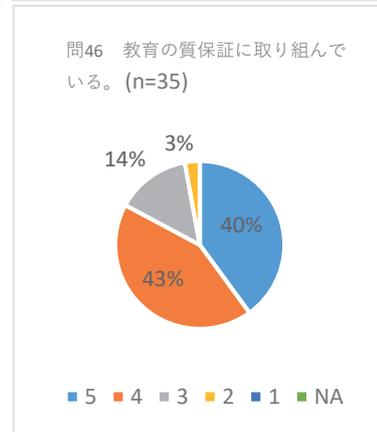
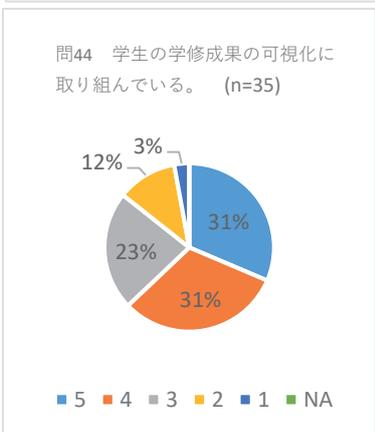
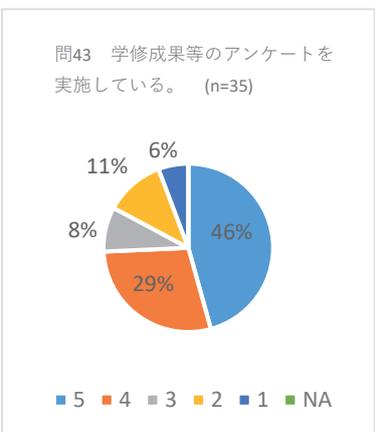
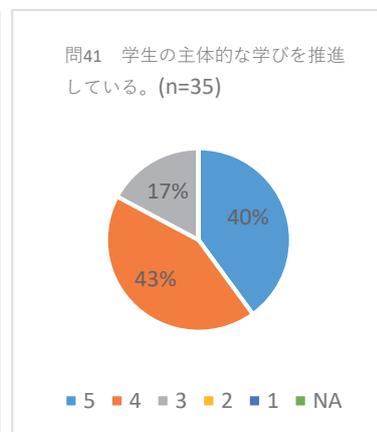
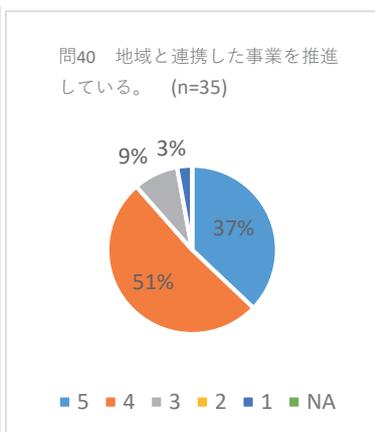
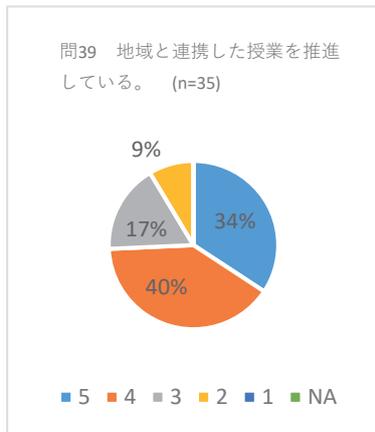
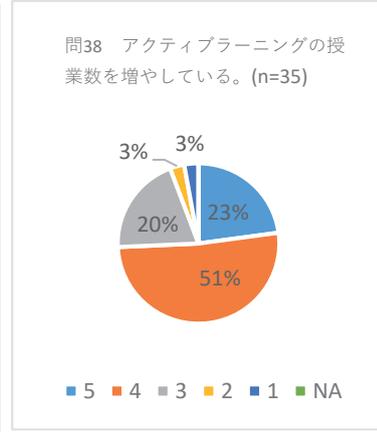
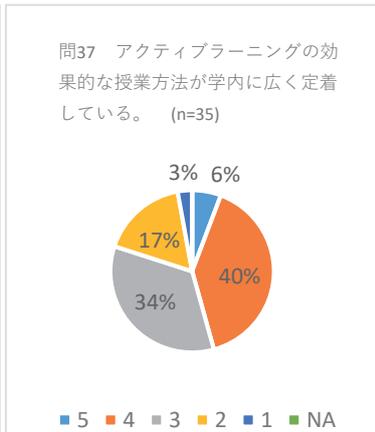
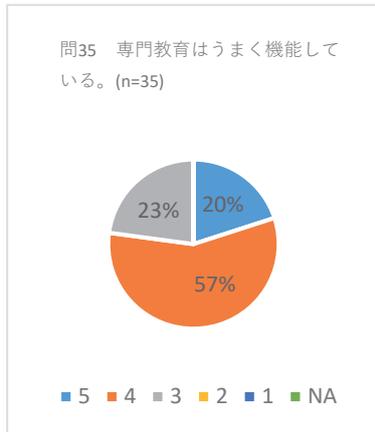
【 全国 大規模私立大学（入学定員1001名～） 】



平成29年度 山形大学教育開発連携支援センター 教育関係共同利用拠点事業アンケート  
 【 全国 大規模私立大学（入学定員1001名～） 】



平成29年度 山形大学教育開発連携支援センター 教育関係共同利用拠点事業アンケート  
 【 全国 大規模私立大学（入学定員1001名～） 】



## 第 12 章

大学・短大の学長等との  
面談・提言

(11) 大学・短大の学長等との面談・提言

- 訪問先 東北文教大学  
訪問日 平成29年8月30日(水)  
・教育関係共同利用拠点事業において、重点大学となつていただくよう検討をお願いした。  
・4年制大学の今後のあり方について議論した。
- 訪問先 羽陽学園短期大学  
訪問日 平成29年10月16日(月)  
・高校生へのPR活動や入学志願者の確保などについて議論した。
- 訪問先 桜の聖母短期大学  
訪問日 平成29年11月17日(金)  
・生涯学習にいち早く取り組むなどしている。  
・高校生へのPR活動や入学志願者の確保などについて話し合った。
- 訪問先 宮崎国際大学  
訪問日 平成29年11月20日(月)  
・地域連携の一環として新規に実施するフィールドワークの授業方法について検討した。
- 訪問先 南九州大学  
訪問日 平成29年11月21日(火)  
・留学生の受け入れ及びその対応について検討した。
- 訪問先 公立大学法人名桜大学  
訪問日 平成29年11月27日(月)  
・学内におけるFD研修のあり方などについて現状の確認を行った。  
・地域連携の今後のあり方について検討した。
- 訪問先 沖縄国際大学  
訪問日 平成29年11月28日(火)  
・大学独自の授業アンケートを実施しており、学科毎に改善点を抽出しているが、そこからさきをどのように「改善」へ結びつけていくのか、という点について検討した。
- 訪問先 沖縄県立芸術大学  
訪問日 平成29年11月29日(水)  
・教職員の方を対象とする講演会を実施したほか、沖縄県内の地域連携について現状を確認し、今後のあり方について検討した。
- 訪問先 群馬医療福祉大学  
訪問日 平成29年12月12日(火)  
・学生確保・FD・SDについて話をし、「つばさ」について説明をした。
- 訪問先 富士大学  
訪問日 平成29年12月19日(火)  
・入学志願者数の推移について現状の確認を行い、IRを活用した今後の展開について検討した。  
・FDネットワーク“つばさ”加盟校で実施している学習成果等アンケートの詳細について説明を行った。
- 訪問先 神奈川工科大学  
訪問日 平成29年12月22日(金)  
・リメディアル教育の現状を確認し、今後どのように充実させていくかについて検討した。
- 訪問先 大正大学  
訪問日 平成30年2月13日(火)  
・地域創生学部で実施しているフィールドワークの現状と問題点について議論した。また、今後の地域連携のあり方について検討した。

## 半年間のまとめ

小田隆治

平成 29 年 8 月に本センターは教育拠点に認定されたが、その後半年が経ち、当初予定していた事業をすべてやり遂げることができた。

9 月に行った「FD 合宿セミナー」、「大学間連携 SD 研修会」、「学生 FD 会議」などの研修会は、“つばさ”の例年の恒例行事でもあり、今年度も全国の大学や短大、高専からたくさんの参加があり、参加者にはとても好評であった。

“つばさ”には、沖縄県立芸術大学と富士大学の新規加盟校があった。沖縄県立芸術大学と富士大学は、我々の訪問をきっかけに入会してくれることになった。“つばさ”は当初東日本を地盤として発足したが、岩手県の高専教育機関では発足時からのメンバーである一関工業高等専門学校以外に加盟している大学はなかった。今回、初めて岩手県の大学が加盟してくれたのはうれしい限りである。

“つばさ”に沖縄県立芸術大学が加盟してくれたことは、教育拠点としての本センターと“つばさ”が全国展開する象徴的な出来事となった。これもひとえに本拠点の沖縄支部長である沖縄県立芸術大学の呉屋淳子先生のおかげである。これから“つばさ”の中に、沖縄の風が吹き込んでくれることを切に望むものである。“つばさ”は、北は稚内北星学園大学から南は沖縄県立芸術大学までの、日本列島を覆う広大な大学間連携組織となった(かなり中抜けであるが)。今まで以上に面白い展開があるかもしれない。

今年度は、“つばさ”の活動と同時に、まったく新しい取組に着手することになった。その一つは全国の大学・短大を対象として実施した教育改善・改革に関わるアンケート調査である。調査結果は、本文をお読みいただきたい。

我々が今回特に力を入れたのが、学長たちとの面談であり提言であった。学長たちは快く我々との面談を受け入れてくれ、2 時間近くのインタビューに率直に答えてくれた。学長たちとの話し合いから、地方中小規模大学・短大のおかれた厳しい状況がひしひしと伝わってきた。アンケート調査では見えなかったずっとリアルな姿が現れてきたのである。大学・短大の中には、真面目に IR として状況分析をし、問題を洗い出し、その対策をすべてとっていいくらい打ってきたところがあった。だが、それでも学生定員を充足できずにいた。我々は、なんとかそうした大学・短大の力になりたいと思い、いくつかの具体的提言をしてきた。また、訪問以後何度も学長たちとメール交換をして、支援し続けているところもある。どういう提案をし支援をしたのかという具体的内容については大学・短大の事情もあるので、ここで書くことはできないが、ありがたくは思われている。なんとか実績に結びつけたいと望んでいる。

学長のリーダーシップの影響力は、大規模校よりも中小規模大学・短大において強いことがわかった。そしてこの経営的危機の時代にあって、学長のリーダーシップは良いかたちで発揮されないと、その大学の将来はないように思われた。一方で、そのリーダーシップが独善的であって、現場と遊離しているとするならば、教職員はニヒリズムに陥り、かれらが教育改善・改革の当事者になりえないことも判明した。効率だけを求めて、教員がティーチングマシン化し、職員が AI ロボット化したならば、それは決して健全な教育組織とはならないだろう。

ここに、大学改革を目指し、それを迅速に進めるためには、学長―教務担当副学長 (FD/SD 委員長)―教職員の三層が信頼を持って有機的に連携する必要がある。そして各々の層の間で、情報交換を密にする必要がある。どこからアイデアが出てくるかわからないし、アイデアが出てこなければ学長も指令を出せないのである。文科省や大規模大学の事例をまったく同じかたちで自分の大学に導入することなどできはしないのだ。たとえできたとしても歪みが生じてしまうだろう。

三層の良好な関係は、地方中小規模大学の成功例であり、我々が調査に及んだ共愛学園前橋国際大学や松本大学にみることができた。そしてそうした大学の学長たちは理想に燃え、実行力があつた。

中小規模大学は大規模大学に比べて、絶対的に資金と人材が少ない。資金はともかく教職員数の少なさや大学改革を担う人材を発掘し活用する上においても厳しいものがある。絶対数が少ないのは仕方のないことなので、風通しが良く働き甲斐のある民主的な組織にし、FDやSD、そして日常的なOJTで教職員を育てていき、活発な組織にしていく必要があるだろう。それは大学改革と同時並行して進めていかなければならないことである。

地方の中小規模大学・短大は我々の拠点をもっと活用した方がいい。自校だけでは閉塞状況に陥ってしまう。実際、他大学にFDやSDの講演を頼まれ、その後の懇親会で、その大学の教職員が非常にフランクかつ活発に授業改善等について議論を戦わせていることに、私は感激することがある。私がそれを「素晴らしい」と言うと、私がある場にいるからであって、通常は途中で議論をやめてしまうと言われた。同じメンバーでのマンネリ化は避けられないのだ。このように他者が入ることによって、その大学の教育改善は迅速に進む可能性があるし、もしかすると学長に言えないことを私が代わって言うことができるかもしれないのである。このように、ぎくしゃくとした三層構造の中で、スムーズに動かす潤滑油の役割を第三者である私に託すこともできるのである。それは教職員だけでなく、学長にとっても然りと言える。

地方中小規模大学・短大の支援のためには、学長たちへの面談・提言抜きには上滑りなものになってしまうだろうと考えた。私は日頃懇意にしているコンサルティングを生業としているシンクタンクの研究員や、品質保証の審査員、教育産業の方々に教えを乞うた。そこで唯一無二の解答はどこにもないことを知ったし、我々の経験と知識が十分に役立つことも再確認できた。

我々は来年度も全国の大学・短大を訪問し、学長や教職員と面談と提言を進めていく。望む大学・短大には、その大学に合った計画を立て、具体的な支援を一年を通して行っていく。こうして拠点の存在価値を増していきたい。



## 山形大学教育開発連携支援センター

〒990-8560 山形市小白川町 1-4-12

Tel:023-628-4480 Fax:023-628-4720

<http://www.yamagata-u.ac.jp/gakumu/rche-yu/index.html>